

機能文型に基づく相談の談話の構造分析

2007年9月

早稲田大学大学院日本語教育研究科

鈴木 香子

機能文型に基づく相談の談話の構造分析

目次

第1章 本研究の目的と課題	1
第2章 日本語の相談の談話に関する先行研究	10
2.1 日本語の談話分析に関する先行研究	10
2.1.1 勧誘の談話に関する先行研究	10
2.1.2 依頼の談話に関する先行研究	11
2.1.2.1 カノックワン(1995)の先行研究	11
2.1.2.2 高木(2003, 2006)の先行研究	12
2.1.3 提案の談話に関する先行研究	12
2.1.4 相談の談話に関する先行研究	13
2.1.4.1 村上(1994, 1995)の先行研究	14
2.1.4.2 能田(1994, 1996)の先行研究	16
2.1.4.3 拙稿(2002)の先行研究	17
2.1.4.4 拙稿(2003b)の先行研究	19
2.1.4.5 国立国語研究所(1994)の「相談／助言」の規定と基本構造	20
2.1.4.6 コミュニケーション学および心理学における先行研究	21
2.2 発話機能に関する先行研究	22
2.2.1 国立国語研究所(1960)「表現意図」	23
2.2.2 国立国語研究所(1986)「発話機能」	27
2.2.3 国立国語研究所(1994)「発話の機能」	31
2.2.4 ザトラウスキー(1993, 1997)の「発話機能」	34
2.2.5 拙稿(2003a)の「発話機能」と先行研究との分類観点と分類項目の相違点	39
2.3 日本語の文型に関する先行研究	41
2.3.1 文型に関する先行研究	41
2.3.2 「機能文型」に関する先行研究	42
2.4 日本語の「話段」と「談話型」に関する先行研究	43
2.4.1 「話段」および「談話の単位」に関する先行研究	43
2.4.2 「発話」に関する研究	50
2.4.3 「談話型」に関する先行研究	51
第3章 本研究における相談の談話の構造分析の方法	54
3.1 本研究における「談話」の定義	54
3.1.1 本研究における「談話」「大話段」の定義	54
3.1.2 本研究における「話段」「小話段」の定義	58
3.1.3 ラジオの相談番組と他の相談の談話における分析単位の相違点	64
3.1.4 本研究における「発話」の概念規定	64
3.2 相談の談話の資料の収集方法	65
3.2.1 ラジオの相談番組の談話の収集方法	65
3.2.2 日本語教材における「相談」の談話の規定と収集方法	68
3.2.3 図書館レファレンスにおける相談の談話の収集方法	69
3.3 相談の談話の文字化の方法	70
3.4 本研究における「発話機能」の定義	77

3. 5 相談の談話における「文型」と「談話型」の定義および分析方法	90
第4章 ラジオの医療相談番組における相談の談話の構造	98
4. 1 ラジオの医療相談番組における「談話」と「大話段」	98
4. 2 「電話相談の談話」の構造	109
4. 2. 1 「電話相談の談話」における「話段」と「小話段」	109
4. 2. 2 「電話相談の談話」における「話段」と「小話段」の展開	112
4. 2. 3 「電話相談の談話」における「話段」と「小話段」の発話機能	123
4. 3 医療相談の談話の機能文型の種類と出現傾向	135
4. 4 医療相談の談話型	143
第5章 ラジオの心理相談番組における相談の談話の構造	149
5. 1 ラジオの心理相談番組における「談話」と「大話段」	149
5. 2 「電話相談の談話」の構造	156
5. 2. 1 「電話相談の談話」における「話段」と「小話段」	156
5. 2. 2 「電話相談の談話」における「話段」と「小話段」の展開	159
5. 2. 3 「電話相談の談話」における「話段」と「小話段」の発話機能	165
5. 3 心理相談の機能文型の種類と出現傾向	173
5. 4 心理相談の談話型	184
第6章 図書館レファレンスにおける相談の談話の構造	190
6. 1 図書館レファレンスにおける「談話」の規定	190
6. 2 図書館レファレンスにおける相談の談話の構造	191
6. 3 図書館レファレンスにおける相談の談話の発話機能	197
6. 4 図書館レファレンスにおける要求と提供の機能文型の種類と出現傾向	197
第7章 機能文型による相談の自然談話の談話型	205
7. 1 日本語の相談の談話の構造分析	205
7. 2 日本語の相談の談話における「要求」系と「提供」系の機能文型	207
7. 2. 1 相談の談話の「要求」系と「提供」系の機能文型の種類	207
7. 2. 2 本研究の相談の談話構造における「要求」系と「提供」系の 機能文型の相違点	234
7. 3 日本語の相談の談話型	255
第8章 機能文型による日本語の会話教育の可能性	263
8. 1 日本語初級と中級教材における相談の談話の構造と機能文型	263
8. 1. 1 日本語の会話教材における「相談場面」の規定 ——機能文型に基づく談話型の観点から	263
8. 1. 2 日本語初級教材における相談の談話の構造と発話機能の傾向	264
8. 1. 3 日本語中級教材における相談の談話の構造と発話機能の傾向	278
8. 1. 4 日本語中級教材における機能文型の種類と出現傾向	292
8. 2 相談の談話型の会話教育と聴解教育への応用	298
8. 2. 1 相談の談話型の教育	298
8. 2. 2 中級学習者への指導方法	300
第9章 結論と今後の課題	319
巻末注	333
参考文献	337
謝辞	347
相談の談話資料集	

機能文型に基づく相談の談話の構造分析

図表目次

【表 1】本研究の「要求」系と「提供」系の発話機能	7
【表 2-1】能田(1996:214)の「相談の談話の重層構造」	17
【図 2-1】表現意図の分類とそれに応ずる文表現について	23
【図 2-2】表現意図に応ずる文表現の文末部分について	24
【図 2-3】国立国語研究所(1986:158)「発話機能」のカテゴリー	28
【表 2-2】談話における発話機能の種類	38
【表 2-3】談話の発話機能によるかかわりあい	39
【表 2-4】国立国語研究所(1987)(1994), ザトラウスキー(1993)(1997), 拙稿(2003a), および本研究の「発話機能」	40
【表 2-5】南不二男(国立国語研究所(1971), 南(1972)(1981) 国立国語研究所(1983)の「会話」「談話」の規定と認定基準の相違点	47
【表 2-6】原文残存認定単位の分類基準	52
【表 3-1】相談の談話における 3 段階の話段の多重構造	58
【図 3-1】「電話相談の談話」の構造と各話段・各小話段における主な参加者	59
【表 3-2】拙稿(2003b, 2003c)の医療相談・心理相談の「電話相談の談話」における 「話段」「小話段」と、本研究における「話段」「小話段」の相違点	60
【表 3-3】医療相談の談話資料の基礎情報	68
【表 3-4】心理相談の談話資料の基礎情報	68
【表 3-5】図書館レファレンスカウンターにおける相談の談話の発話数と所要時間	70
【表 3-6】本研究における発話機能	78
【表 3-7】佐久間まゆみ(2002:168)「接続表現の文脈展開機能による分類」	79
【表 4-1】医療相談の談話における大話段の展開	100
【表 4-2】医療相談の大話段における参加者別発話数の合計	101
【図 4-1】医療相談における「電話相談の談話」の構造と 各話段・各小話段における主な参加者	110
【表 4-3】医療の電話相談における所要時間と発話数	111
【表 4-4】医療相談の「話段」と「小話段」における参加者別発話数	112
【図 4-2】医療の電話相談における「話段」と「小話段」の展開	113
【表 4-5】医療相談における「Ⅱ-1. 電話相談の談話」の「話段」「小話段」 の展開	114

【表 4－6】医療相談（【資料 1】【資料 2】【資料 3】）の 「電話相談の談話」における話段・小話段別発話機能	124
【図 4－3】「B-2. 相談内容確認の小話段」における回答者の「要求」系の発話機能と 相談者の「提供」系の発話機能の関係	126
【図 4－4】「C-2. 回答確認の小話段」における相談者の「要求」系の発話機能と 回答者の「提供」系の発話機能の関係	134
【表 4－7】医療相談における「要求」系と「提供」系の機能文型	136
【図 4－5】医療相談の談話における「話段」と「小話段」の展開パターン	144
【図 4－6】医療相談の談話型	145
【表 5－1】心理相談の談話における大話段の展開	151
【表 5－2】心理相談の大話段における参加者別発話数	152
【表 5－3】心理の電話相談における所要時間と発話数	157
【図 5－1】心理相談における「電話相談の談話」の構造と各話段・各小話段における 主な参加者	157
【表 5－4】心理相談の「話段」と「小話段」における参加者別発話数	158
【図 5－2】心理の電話相談における「話段」と「小話段」の展開	159
【表 5－5】心理相談における「Ⅱ－1. 電話相談の談話」の 「話段」「小話段」の展開	160
【表 5－6】心理相談（【資料 4】【資料 5】【資料 6】）の「電話相談の談話」に おける話段・小話段別発話機能	166
【図 5－3】「B-2. 相談内容確認の小話段」における回答者の「要求」系の発話機能と 相談者の「提供」系の発話機能の関係	170
【表 5－7】心理相談における「要求」系と「提供」系の機能文型	174
【図 5－4】心理相談の談話における「話段」と「小話段」の展開パターン	184
【図 5－5】心理相談における相談の談話型	185
【表 6－1】図書館レファレンスにおける相談の談話の発話数と所要時間	190
【表 6－2】図書館レファレンスの相談の談話における「話段」と「小話段」の展開	192
【表 6－3】図書館レファレンス（【資料 7】【資料 8】【資料 9】）の 相談の談話における話段・小話段別発話機能	198
【表 6－4】図書館レファレンスの相談の談話における「要求」系と「提供」系の 機能文型	199
【表 7－1】本研究の相談の談話における「要求」系と「提供」系の 機能文型	208
【表 7－2】ラジオの電話相談の談話の「話段」と「小話段」における 「要求」系と「提供」系の機能文型	235

【表 7－3】図書館レファレンスの相談の談話の「話段」と「小話段」における 「要求」系と「提供」系の機能文型	244
【図 7－1】日本語の相談の話段と小話段の展開のパターン	255
【図 7－2】日本語の相談の談話型	262
【表 8－1】日本語初級教材における相談場面の談話	264
【表 8－2】日本語初級教材の相談の談話の構造	266
【表 8－3】日本語初級教材における相談の談話の発話機能	270
【表 8－4】日本語初級教材における各発話機能の例	271
【表 8－5】日本語初級教材の相談の談話における「要求」系と「提供」系の 機能文型	273
【表 8－6】日本語中級教材における相談場面の談話	278
【表 8－7】日本語中級教材の相談の談話の構造	279
【表 8－8】日本語中級教材における相談の談話の発話機能	290
【表 8－9】日本語中級教材における各発話機能の例	291
【表 8－10】日本語中級教材の相談の談話における「要求」系と「提供」系の 機能文型	293
【図 8－1】相談の談話型のパターン	299
【表 9－1】本研究の「要求」系「提供」系の発話機能	321
【表 9－2】相談の自然談話に共通して見られた「要求」系と「提供」系の 機能文型	326
【図 9－1】日本語の相談の談話における「話段」と「小話段」の展開パターン.....	329
【図 9－2】日本語の相談の談話型	330
【図 9－3】相談の談話における「話段」と「小話段」の展開パターン	331

第1章 本研究の目的と課題

本研究は、相談者が専門的知識を提供する回答者に、何か困ったことを相談したのを受けて、回答者が相談者の状況を正確に把握し、解決策や要因などを回答する相談の談話の「談話型」を「機能文型」に基づいて解明するものである。

1. 問題提起

問題提起① 日本語の中級以降の会話および聴解教育において、「談話練習」などで、談話の展開を示している教科書は見られるが、談話のどの展開で、どのような形式の発話をどのように用いるのか、といったことを明示することが、会話の運用能力、聴解能力を高めるものなのではないか。

例えば、日米会話学院日本語研修所編(1987)『日本語でビジネス会話 中級編』(本文冊)には、一つの課が「談話型」、「本文会話」および「類話」、「語句の使い方」から構成されているが、「談話型」を次のように定義している。

「談話型」というのは、ある場面・状況での話の流れの中から取りだした話のまとまりをパターン化したものである。学習者はこの「談話型」を理解し使いこなせるようになることによって、より良いコミュニケーションが達成できるようになるであろう。(p. v)

そして、第13課の「表現、やり方を聞く」の「談話型」は以下のように示されている。

談話型

やり方を聞く

A：_____さん、ちょっとお聞きしたいことがあるんですが…。

B：どんなことでしょうか。

A：_____時、_____たらいいんでしょうか。

B：そうですね。特に_____必要はありませんが、_____ぐらい_____の方がいいと思います。(p. 75)

上記の「やり方を聞く」のAとBのやりとりが、「談話型」の定義の「ある場面・状況で
の話の流れの中から取りだした話のまとまり」であるのなら、話の流れの中から「やり
方を聞く」に至る過程、および、Bからの助言を聞いたあとのAのお礼などまでを入れる
のが「話のまとまり」ではないかと思われる。

また、『ニューアプローチ中上級日本語』「談話で学ぶ会話文型・表現<5>」(p. 197)
の「反省～慰め・同情～励ます 「もう少し気をつけていれば」にある「談話練習の流れ」
とは、以下のように示されており、会話が示されている。

反省する・後悔する	⇒	慰める	⇒	励ます	⇒	応える
(残念な結果になる)		同情する				
満足する						

(p. 197)

最初は2人による会話5文程度で、徐々に長くなり、最後は30文による「談話例」が載
っている。「談話練習の流れ」は、最初は、「満足する」と「反省する・後悔する」の3文
～4文の会話例で、次第に「流れ」が長くなり、その流れに即した会話例が1例ずつ載っ
ている。

会話(3)は、「残念な結果になる」⇒「同情する」⇒「慰める」⇒「励ます」という例
で、会話例が3例載っており、下記のCが最も長い会話になっている。

C 論文の指導

- 1 桜井：論文のことで森先生からかなり厳しく言われたらしいわね。
- 2 アリ：これじゃ、子供の作文と同じだって。
- 3 桜井：へえ、そんなことを。森先生は厳しいことで有名だけど、それはあんまり
ね。
- 4 アリ：僕、このゼミでやっていけるかどうか心配で。
- 5 桜井：そんなに落ち込まないで。森先生は厳しいけど、こちらがやる気を出せば
それに応えてくれる先生だから。
- 6 アリ：そうなの？

7 桜井：そうよ。だから、逆にどこがいけないかどんどん聞けばいいのよ。一回くらいしかられたからって、くよくよすることないわよ。これから何回も論文の指導があるんだから、それで良くなればいいじゃない。

(pp. 199-200)

1「満足する」、2「後悔する」、3「同情する・慰める」、4「励ます」、5「応える」それぞれの「表現・文型」のうち、3「同情する・慰める」の「表現・文型」は、以下の5つである。

1. せっかく・・・のに、～（ん）じゃ、大変ですね／しょうがないですね。
2. でも、よくやったと思いますよ。
3. その気持ち（は）よく分かりますよ。
(私も同じような経験がありますから)
4. (普通だったら・・・のに) 運がなかった／悪かったんだね。
5. 縁がなかったんですよ。

(pp. 202-203)

上記5つの「表現・文型」によると、前述の会話の「森先生は厳しいことで有名だけど、それはあんまりね。」が「同情する・慰める」の1「せっかく・・・のに、～（ん）じゃ、大変ですね／しょうがないですね。」に当てはまると考えられる。

しかし、上記のような談話例のどこが「同情する・慰める」ことを示す「表現・文型」なのかがわかりにくい。また、「同情する・慰める」がどこから始まり、次の「励ます」に移る手がかりはどこかといったことが示されていないため、単に「表現・文型」の練習にとどまっているのではないかという疑問が生じる。¹⁾

「談話型」や「談話の流れ」という項目を掲げて、必要な「表現・文型」が提示されているが、学習文型の習得のための会話の提示を、談話型の学習のための文型の提示にすることにより、談話の展開に必要な文型が見えてくるのではないかというのが、本研究の研究目的である。

問題提起② 日本語教育の映像教材としては、国立国語研究所(1986)の初級映像教材と、国語研(1994)の中級編がある。国立国語研究所(1986)では、発話機能と形式の対応関係が

整理されていたが、国語研(1994)にはない。

国立国語研究所(1986:153)では、「それぞれの文は何を言うために用いられたのか」すなわち「個々の文が発話中に用いられて果たす機能」という観点で、『日本語教育映画 基礎編』のシナリオを分類している。

個々の文の「形式」とそれが用いられる際の「発話意味」の対応関係を整理することによって、まず、ある形を持った文がどのような発話意味をもって用いられるか、そして逆に、ある発話意味を表すにはどのような種類の文が使用できるか、を知ることができる。この分析は、場面の種類に対応した教育内容を組み立てようとする際に参考にされるべきことがらである。

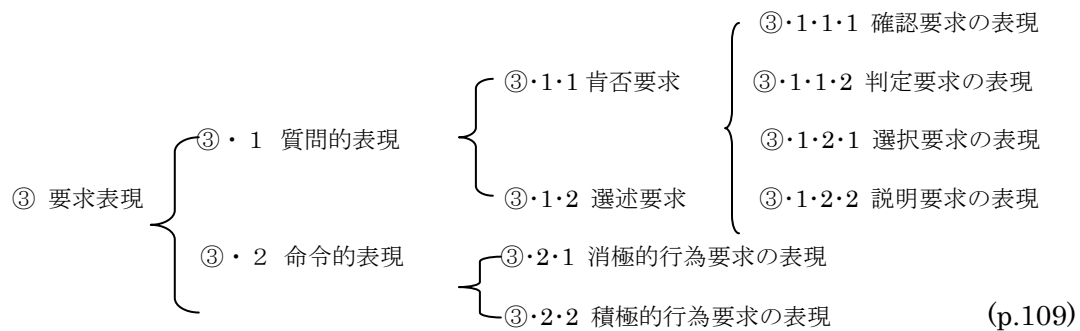
(p.153)

国立国語研究所(1994:14)では、「発話の機能は言語形式のみによって担われているわけではない。」とあり、発話機能と言語形式の対応関係の整理はなされていない。しかし、言語形式を文型として提示することによって、国語研(1986)における「場面の種類に対応した教育内容を組み立てる」ことができるのではないか。

本研究では、言語の意味と形式の対応関係を整理し、談話の中でどのように機能しているのかを解明するために、もう一度「発話機能」について考察し、ザトラウスキー(1993)の「発話機能」を再分類した全5類40種に分類する。

拙稿(2002)(2003b)では、ラジオの医療相談の番組と心理相談の番組において、全発話をザトラウスキー(1993)の「発話機能」12類22種に分類した結果、相談者と回答者の「発話機能」の出現傾向から「話段」が認められた。しかし、ザトラウスキー(1993)の「発話機能」の③〈情報要求〉に約4割、⑥〈情報提供〉に約1割の発話が分類されたため、再分類することにより、相談の談話の全体的構造がより明確に説明しうるのではないかと考えたのである。

本研究の〈要求系〉の「発話機能」の基になったものは、以下の国立国語研究所(1960)の「表現意図に応ずる文表現の文末部分について」である。



2. 本研究の相談の談話資料

本研究の相談の談話は、いずれも、専門的知識を持つ医師、図書館員、カウンセラー等に、相談をする場面の談話3類5種である。

I. ラジオの相談番組、全6資料

①医療相談【資料1】【資料2】【資料3】の3資料、総発話数5,649発話のうち、15件の「電話の医療相談の談話」4,080発話

②心理相談【資料4】【資料5】【資料6】の3資料、総発話数5,779発話のうち、9件の「電話の心理相談の談話」4,757発話

II. ③図書館レファレンスの図書館員と学生の相談の談話、【資料7】【資料8】【資料9】の3資料、総発話数1,002発話

III. 日本語教材の相談の会話文、④初級レベルの5種6場面、総発話数284発話、⑤中級レベルの5種5場面、総発話数334発話

Iの談話資料①、②に関しては、ラジオの放送1回分を「談話」として、談話の全体的構造を「大話段」、「話段」、「小話段」という構造分析をするが、相談の談話型の解明のために、主に相談者が参加する「電話相談の談話」を取り上げて考察する。

IIの談話資料③は、早稲田大学中央図書館のご協力により収集した談話であり、日本人学生2名、韓国人留学生1名の資料である。

IIIの④と⑤の日本語の初級・中級教材は、①～③の自然談話との比較から問題点を挙げ、会話および聴解教育への応用を考察するためのものである。

3. 本研究の課題

本研究の5種の相談の談話において、明らかにすることは、主として以下の4点についてである。

- ① 参加者の目的と発話機能による相談の談話の全体的構造の解明
- ② 「要求」系7種,「提供」系4種の「機能文型」の提示
- ③ 日本語の相談の「談話型」の解明
- ④ 日本語教育の会話および聴解教育への応用方法の提示

3-1. 参加者の目的と発話機能による相談の談話の全体的構造の解明

相談の談話は、相談者と回答者の目的が異なる。相談者は回答者から自分の知りたい回答を得るために相談することが目的であり、回答者は、相談者の相談内容を受けて、現在の状況を把握し、相談者が知りたい回答を的確にすることが目的である。

参加者相互の目的の異なる談話については、ザトラウスキー(1993)による勧誘の談話を勧誘者と被勧誘者の発話機能の出現傾向から「勧誘の話段」と「勧誘応答の話段」に分類し、談話の構造を明らかにした研究がある。

本研究では、まず、内容上のまとまりと参加者の目的によって「話段」を認定する。

拙稿(2002)(2003b)では、ラジオの医療相談番組、心理相談番組において、全発話をザトラウスキー(1993)の「発話機能」12類22種に分析した結果、相談者と回答者の出現傾向から「話段」が認められた。しかし、ザトラウスキー(1993)の「発話機能」の③〈情報要求〉に約4割、⑥〈情報提供〉に約1割の発話が分類されたため、細分類することで、相談の談話の全体的構造がより明快になるのではないかと考えられる。本研究で、5類40種の発話機能²⁾により、発話を分類し、相談の談話の全体的構造を支える発話機能を明らかにする。

3-2. 「要求」系7種,「提供」系4種の「文型」の提示

相談の談話においては、相談者と回答者の情報のやりとりが主要な部分を占めるため、相談の談話の全体的構造を支える発話機能としては、「要求」系7種と「提供」系7種が挙げられる。【表1】に示した「要求」系7種と、「提供」系のうち、IV-5〈選択情報提供〉、IV-6〈言い直し〉、IV-7〈応答〉の3種を除くⅢ-1〈事実報告〉、Ⅲ-2〈意見説明〉、Ⅲ-3〈感情表出〉、Ⅲ-4〈感情表出〉の4種について、「機能文型」を提示する。「機能文型」とは、「発話機能」の文型のことである。「提供」系の7種の発話機能のうち、Ⅲ-1〈事実報告〉、Ⅲ-2〈意見説明〉、Ⅲ-3〈感情表出〉、Ⅲ-4〈意志表明〉の4種の発話機能について「機能文型」を提示するのは、4種に多くの発話が含まれること、また、「要求」系と「提供」系

の発話の対応関係を相談の談話の全体的構造の中で捉えるには、4種の「文型」を明らかにすることが先決であろうと考えたからである。

【表1】本研究の「要求」系と「提供」系の発話機能

Ⅲ. 要求	
1 確認要求	2 判定要求
3 選択要求	4 説明要求
5 単独行為要求	6 共同行為要求
7 言い直し要求	
Ⅳ. 提供	
1 事実報告	2 意見説明
3 感情表出	4 意志表明
5 選択情報提供	6 言い直し
7 応答	

佐久間(2006:2)は、文章・談話の「機能」について、「言語の『意味』と『形式』が結びつくことで生じる言語的コミュニケーションを遂行する『働き』のことである。」と定義し、佐久間の提唱する「機能文型」について、「コミュニケーションの実現を支えるための種々の役割を担う文を中心とした表現の類型（パターン）であり、文章・談話の構成要素となるもの」と定義している。

本研究における「機能」とは、発話機能の有する「機能」のことであるが、発話機能による発話の分類から形式を分類し、佐久間(2006:2)の定義による「『意味』と『形式』」の結びつきにより生じるものである。

3-3. 日本語の相談の「談話型」の解明

3-1の相談の談話の全体的構造の解明と、3-2の全体的構造を支える「要求」系7種、「提供」系4種の発話機能に基づいて、日本語の相談の「談話型」を解明する。

相談の「談話型」とは、相談の談話が開始し、展開し、終了するという全体的構造に不可欠の「機能文型」の組み合わせによるパターンのことである。

相談の談話には、相談者が回答者からの回答をうけて、すぐに納得するものと、相談者が回答を確認してから終わるものなどによる複数の談話展開パターンがある。本研究における相談の談話型は、話段と小話段の展開パターンによって、機能文型を提示する。

各話段、小話段は、相談者と回答者のやりとりで展開しているため、ある小話段におけ

る「NハVマス。」という機能文型は、単独の1文のみを提示するのではなく、それに対する他の参加者のあいづち等の反応までを含むため、機能文型の組み合わせを提示する。

3-4. 日本語教育の会話教育への応用方法

3-3の談話型の解明を踏まえ、日本語教育の会話および聴解教育への応用方法を提示する。

ある機能文型を導入するための会話教材ならば、学習者に談話型を意識させた上で、談話展開の段階を踏みながら、談話の構築に必要な機能文型を提示していくことが学習者の談話の表現と理解に有用なのではないかと考えられる。

4. 本研究の構成

本研究は、以下の全9章から構成される。

まず、**第2章**では、日本語の談話分析、発話機能、文型、「話段」、「談話型」に関する先行研究を概観し、本研究における相談の談話の構造分析、発話機能、談話型の問題の所在を明らかにする。

2. 1の日本語の談話分析に関する先行研究のうち、参加者相互が各自の目的に向かって談話を遂行する、勧誘、依頼、提案、相談の談話の先行研究を取り上げる。また、本研究の相談の談話との参加者相互の関係、談話の構造等との相違についても論じる。相談の談話の先行研究に関しては、ラジオやテレビの相談番組の構造分析を行った研究を取り上げる。

2. 2では、発話機能に関する先行研究を検討する。国立国語研究所(1960)「表現意図」の分類、国立国語研究所(1986)「発話機能」、国立国語研究所(1994)「発話の機能」、ザトラウスキー(1993)(1997)の「発話機能」の分類観点や分類項目の相違点について比較・検討し、拙稿(2003a)の「発話機能」と先行研究との相違点を述べる。

2. 3では、日本語教育の文型に関する先行研究を取り上げる。「文型」とは何かを問い直し、「構造文型」と国立国語研究所(1960)の「表現意図」による文型に言及した鈴木(1972)、「構造文型」の問題点を挙げ、日常の生活場面、仕事の場面で、どういうことが言いたいとき、どういう表現を使えばよいか、という機能的な方向から文の型を整理・配列していこうとする「表現文型」を検討した寺村(1987)を挙げる。また、「表現文型」をさらに発展させた「機能文型」の定義、分類と配列について述べた佐久間(2006)を挙げ、「機能

文型」の捉え方について述べる。

2. 4の日本語の「話段」と「談話型」に関する先行研究では、南((国立国語研究所1971)(1972)(1981)(1983)(1987))の「会話のまとまり」と「談話の要素」、佐久間(1987)の提唱する「話段」、ザトラウスキー(1993)の「話段」に関する先行研究を取り上げ、概念規定や認定基準について検討する。また、「談話型」については、ザトラウスキー(1986)(1987)の談話の分析と教授法における「談話型」を用いた教授法についての研究、佐久間(1989)の「文章型」に基づき、講義の談話型を解明した佐久間(2007)を取り上げる。

第3章「本研究の相談の談話における構造分析の方法」では、「談話」「大話段」「話段」「小話段」「発話」の定義、談話資料の収集方法や文字化の方法について述べる。

また、本研究における「発話機能」全5類 40種の定義、「要求」系7種、「提供」系4種の「機能文型」を挙げ、談話型の分析方法を述べる。

第4章から第6章では、**ラジオの医療相談の談話(第4章)**、**ラジオの心理相談の談話(第5章)**、**レファレンスの談話(第6章)**について、①談話の構造、②話段と小話段の展開、③話段、小話段における発話機能、④「要求」系と「提供」系の機能文型の出現傾向、⑤談話型について分析・考察し、3種の談話型の異同を解明する。

第7章では、第4章～6章を踏まえ、機能文型に基づく日本語の相談の談話型について考察する。

第8章では、日本語教育の初級、中級の会話・聴解教材の相談の談話を取り上げ、第4章～6章と同様の構造分析を行い、自然談話との構造上の差異を考察する。機能文型の分析を行い、**8. 2**で日本語の会話および聴解教育への応用方法として、中級で談話型を用いた教授法を提示する。

第9章で本研究の結論と今後の検討課題について述べる。

日本語の教育経験の浅い筆者の立場から、ごく限られた狭い範囲の学習者の声などに耳を傾けつつ、理想の会話教育、聴解教育のあり方を探りたい。

第2章 日本語の相談の談話に関する先行研究

2. 1 日本語の談話分析に関する先行研究

本章では、日本語の談話分析に関する先行研究のうち、参加者相互がある目的に向かって談話を遂行する、勧誘、依頼、提案、相談の談話の先行研究を取り上げ、本研究における相談の談話との参加者相互の関係、談話構造等の差異についても論じることとする。

2. 1. 1 勧誘の談話に関する先行研究

勧誘の談話の先行研究として、ザトラウスキー(1991a, 1991b, 1992, 1993)が挙げられる。ザトラウスキー(1993)は、日本語母語話者による電話の「会話」を録音し、13種の勧誘の「談話」の構造分析を行った。³⁾

ザトラウスキー(1993:71)は、勧誘の談話の分析には、「従来の「勧誘」と「応答」からなる「応答ペア」という発話レベルに見られる機能を拡大して、「勧誘の話段」と「勧誘応答の話段」を認めることが必要である。」として、佐久間(1987)の提唱する「話段」を「新たに設定」している。ザトラウスキー(1993:72)は、「「勧誘の談話」の基本的な構造を支える」話段として、「勧誘の話段」と「勧誘応答の話段」を挙げる。この2話段は、「話題・発話機能・音声面」において特徴があるという。

本研究の相談の談話も、相談者と回答者の目的の違いによって「相談かけの話段」と「相談うけの話段」に分けられる点ではザトラウスキー(1993)の話段の考え方に近い。しかし、本研究では、「談話」が最も上位のまとまりであり、その下位単位として、「大話段」、「話段」、「小話段」の3種を認定する。そのため、ザトラウスキー(1993)による「南(1981)の「会話」がいくつかの「談話」からなる」ものとする立場とは異なる。このことは、本研究の2. 4. 1で詳述する。

ザトラウスキー(1993:73)は、「談話中の個々の発話相互の関係は、個々の「発話機能」と「話題」によって決定される」としている。また、「勧誘者と被勧誘者の発話は、『話段』の種類によって『発話機能』が異なり、「各「話段」の「発話機能」は出現順序が固定しておらず、様々な組み合わせがある。」としている。このザトラウスキー(1993)の「発話機能」については、2. 2. 4で詳述する。

ザトラウスキー(1993)では、前述したように、「応答ペア」の機能の拡大として「話段」

の必要性を述べ、また、「談話中の個々の発話相互の関係」として、「発話機能」と「話題」を挙げるなど、応答ペアとしての発話対、あるいは、1発話を出発点として、談話を見る際の中間点に、参加者の目的による話段を設定しているように思われる。「話段と発話機能の関係」に関しても、「勧誘者と被勧誘者の発話は、「話段」の種類によって「発話機能」が異なる」としており、発話を積み上げていった先に話段が作り上げられるという、いわばボトムアップ的な視点であると考えられる。

本研究では、相談の談話が、どのような「談話型」をしているか、談話型の構成要素としての文が、どのような機能文型のものかを考察するため、談話の方から参加者の目的と内容のまとまりからなる話段を認定するという、いわばトップダウン的な方向のとらえ方をする。各話段の成立を決定づけるものの範囲は、1発話や1文のみならず、他の参加者の受け答え（質問に対する答え、意見に対するあいづち等）までの発話対、あるいは、さらに広い発話のまとまりであり、各話段を形成する発話体をつないだものが、相談の「談話型」になると思われるため、談話を出発点として、談話→話段→小話段→文→発話へと見ていく方向と、さらに、発話→文→小話段→話段→談話へと見ていく方向の、双方向によって相談の談話の構造を分析するものである。

2. 1. 2 依頼の談話に関する先行研究

依頼の談話における先行研究としては、日本語教科書と電話の会話資料における依頼や勧誘の「断り」の相違点を比較したカノックワン(1995)、電話の会話による依頼の会話において、「表現意図」と「当然性」の観点から、被依頼者の「受諾」と「断り」の方法について考察した高木(2003, 2006)等が挙げられる。

2. 1. 2. 1 カノックワン(1995)の先行研究

カノックワン(1995)は、依頼の会話について、「断りの構造」、「相手との関係」、「時間的・能力可能性」、「状況の可能性」の4観点に注目して、日本語教科書と電話の会話資料を比較した結果、日本語教科書には、「依頼の『断り』」がほとんどなかったが、『誘い』の断りは多く見られ、「断りの構造」としては、「理由のみ」を挙げたものが多かったとしている。一方、電話の会話の依頼と誘いに対する「断り」の構造は、「理由のみ」と「理由+不可」が多く見られた。カノックワン(1995:33)では、「断り」を先に言わず、「理由のみ」で、「断り」を省略するか、「理由+不可」で断るかという構造は、「断り」に際し、特に相手の気持ちへの配慮が必要な場合、日本語ではまず理由を述べるのが大切であることを示してい

るように思われる。」としている。

しかしながら、この「断りの構造」は、相手との関係によって異なり、相手が「同等」か「目上」の場合は、上記の「理由のみ」か「理由＋不可」で断るのが多いのに対し、相手が「目下」の場合は、「不可＋理由」「不可のみ」という構造になるという傾向を挙げている。「不可のみ」には、相手が親しいか同等の場合、「時間的・能力的に可能であるが、特にはっきりした理由もなく断る」現象があり、相手との関係次第で断り方が変わること示している。

2. 1. 2. 2 高木(2003, 2006)の先行研究

高木(2003:147)は、親しい関係の日本語母語話者同士依頼の会話例により、被依頼者の「受諾」と「断り」の方法を考察している。被依頼者の「『受諾』と『断り』の表現意図」は、依頼者の発話とその表現意図を理解するところから生まれ、「段階的に表現される」として、7項目を挙げている。各項目は、「依頼者の依頼内容を実行する『当然性』が自分にあるかどうかを判断しようとする。」「依頼内容を実行することにする自分の肯定的、あるいは否定的な態度を表す。」「肯定的な態度の場合は、それが『受諾』の意図を表し、その後、実行に向けて具体的な交渉を始める。」「否定的な態度の場合は、その後、依頼内容の実行にかかわる問題点を指摘して交渉する余地を表すか、情報提供か意思表示によって明示的に「断り」の意図を表す。」等、緻密な段階が示されている。また、「受諾」と「断り」の方法についても、「待遇ストラテジー」の観点から複数の方法があるとしている。

カノックワン(1995)、高木(2003, 2006)も被依頼者が依頼、(勧誘)に対して、受諾したり、断る際のストラテジーを参加者相互の関係、表現意図の観点から分析しているが、いずれも被依頼者の観点からの分析に重きが置かれているため、依頼者の依頼、勧誘者の勧誘の仕方と対にして考察をするならば、「会話」の全体的構造と、依頼と依頼に対する応答の表現方法の関係をより明らかに説明できるのではないかと考えられる。

また、カノックワン(1995)の「断りの構造」の「構造」とは、断りに際して文の展開を示していると思われる。どこからどこまでが「断り」なのかという「会話」全体における「断り」の話段の規定がないため、「談話型」が明確になっていない。

2. 1. 3 提案の談話における先行研究

提案の談話における先行研究として、会議の提案の談話における「話段」の展開とストラテジーについて考察した桑原(1996, 1998)が挙げられる。

桑原(1998)は、「提案行動の中核をなす提案の遂行が目的の『提案』の話段と、提案の却下が目的の『反対』の話段」について、発話機能の特徴から考察している。桑原(1998)は、ザトラウスキー(1993)および、国立国語研究所(1994)の「行為的功能」と「相手へのはたらきかけの姿勢」という観点を「修正を加えて用いた」「発話機能」によって分析をしている。特に、「人間関係を維持しつつ提案の談話を進展させる」ためには、「伝達内容や表現形式を選択し、発話機能を使い分けて、目的達成を図ろうとする」傾向が見られたとして、ビジネスにおける会議では、社会的な上下関係による「配慮」、「体面」が関係するため、「操作」などの強い働きかけを持つ発話機能が多く見られたとしている。発話例としても、文型を意識して示されており、日本語学習者の談話の習得に役立つ目的に即した分析がなされている。

提案の談話における「話段」は、ザトラウスキー(1993)の規定と同様であるが、「発話機能」に関しては、提案や賛成、反対がどのような発話機能を伴っているのかを示すために、国立国語研究所(1994)の発話機能を加えるなど、独自の分析方法で考察されている。提案の談話の「構造」ではなく、「話段」の展開に重点を置き、どのように話段が展開しているのかというパターンを探っているところは、提案の談話型を指向するものに通じるものであると考えられる。しかしながら、会議全体において、どのように提案が始まり、続き、終わるのかという会議全体における提案の談話の位置づけを欠き、提案の話段と反対の話段の展開とストラテジーの記述に終始しているため、会議の展開過程において、提案を決定づける発話と、反対を決定づける発話の規定が明確でないため、談話型の解明にはなお距離があるように見受けられる。

2. 1. 4 相談の談話に関する先行研究

相談の談話に関する先行研究としては、NHKラジオの教育相談番組の回答者の助言に対する相談者の抵抗の様子を、相談者のあいづちやポーズの時間数などから分析し、「助言への抵抗」や、折衝過程について考察した村上(1994)、回答者の説得行動について分析した村上(1995)、NHKテレビの相談番組の談話構造を解明し、発話をザトラウスキー(1993)の「発話機能」12類で分析した能田(1996)、提案の談話における「と」相談の分析を行った柏崎・足立・福岡(1997)、同じくラジオの医療相談を分析した拙稿(2002)、心理相談番組を分析した拙稿(2003b)、ラジオ相談番組の「回答の話段」において、回答者の行為を示す発話機能の特徴を、相談者が大人、子供の場合で比較した湯浅(2004)等がある。

本研究も、ラジオの「相談番組」を分析対象とするため、特に、村上(1994)(1995)、能田(1994)(1996)主に両氏の談話構造の捉え方や分析結果を参考にする。

2. 1. 4. 1 村上(1994, 1995)の先行研究

村上(1994)は、NHKラジオ番組「子どもと教育電話相談」16日分、相談件数42件を取り上げている。村上(1994)の分析対象は、本研究の「子どもと心相談」(心理相談)と以下の点で共通している。

- ① 番組の途中でニュース等により中断すること。
- ② 番組の参加者は司会者、回答者、相談者の3名である。⁴⁾
- ③ 1日の相談件数が2件から4件である。
- ④ 相談者の相談内容は、司会者との相互行為で、相談者から直接話される。司会者の役割は、相談内容を聞くことと、回答者への引継ぎを行うことにある。

村上(1994)は、「1件の相談」、つまり、一人の相談者の電話相談を「大きく分けて」、「問題提示」部」「診察」部」「処方」部に分類している。しかし、各部分の客観的な認定基準は述べられていない。村上(1994)の各部の説明は、以下の通りである。

「問題提示」部では、アナウンサーの誘導に応じて、相談者が相談したい問題や状況について説明する。必要に応じて、問題の状況の具体化、明確化のための質問がアナウンサーから行われる。アナウンサーからアドバイザーへ引き継ぎが行われた後、「診察」部に入る。「診察」部では、アドバイザーが助言を行うために必要とする情報を手に入れるために、質問が行われる。最後に、「処方」部においてアドバイザーから状況判断や問題に対する対処の仕方が提示される。

(p.328)

村上(1994)は、「処方」部の「アドバイザー」の助言に対する「相談者の抵抗という状況を認識する手がかり」として、「逆接の接続詞」「逆接の接続助詞」、また、「周辺言語表現」として、「ポーズ、下降イントネーションの使用、あいづちの長音化」を挙げている。

また、「相談者の抵抗の対象」を、以下の3つに分けている。

- ① 現状認識・判断 ② 行為Xの内容 ③ 行為Xの効果 (p.332)

上記3点の「相談者の抵抗内容」に対し、アドバイザーとの間で、どのような過程で折

衝するかを考察しており、「折衝の型」として、「否認型」「回避型」「容認：包合型」「容認：併合型」の4つを挙げている。

村上(1994)では、「処方」部の認定基準が述べられていないことから、「アドバイザー」の助言に対する「相談者」の抵抗や、アドバイザーと相談者の「折衝過程」の範囲が十分に記されておらず、それぞれの例を内容的に説明するに留まっている。

また、村上(1995)では、村上(1994)と同じく、「処方」部に焦点を絞り、「アドバイザーの助言に相談者が納得して相談がうまく達成されたと感じる」「成功した相談」と、そうではない「不成功の相談」に分け、それぞれの「アドバイザーの説得行動」の違いを考察している。

「成功した相談」では、アドバイザーの「行為指示の説得が行われて」おり、「行為指示の表現形式と発話スタイル」として、最も多いのは、仁田義雄(1991)⁵⁾の「当為表現」であるとしている。「～ばいい」や、「～たらしい」が用いられているという。また、当為表現以外に用いられていた「行為指示」の主な表現形式として、以下の表現を挙げている。

- ・ 授受表現 ex. 「～てやる」「～てあげる」「～てもらう」「～ていただく」
 - ・ 希望表現 ex. 「～たい」「～てほしい」
 - ・ 可能表現 ex. 「～できる」「～れる／られる」
 - ・ 依頼表現 ex. 「～てください」
- (p.225)

村上(1995)は、これらの「行為指示の表現形式」が、「不成功の相談」にも見られるとしているが、「不成功の相談」では、「あの一」のような「ためらい表現」や「～と思います」のような「緩和表現」が多用され、「行為指示の説得性が弱められて」と述べている。

村上(1995)では、「行為指示」の表現形式を挙げているが、アドバイザーの「説得行動」の枠組みが不明瞭であり、「処方部」のどの発話から説得行動を開始するのか、あるいは、「説得行動」そのものが、全ての相談にあるのかが判断しかねる。また、上記の表現形式は、本研究では、全発話を「発話機能」に基づいて分析するため、村上(1995)の「処方部」のみならず、相談の各話段ごとの発話の特徴を、文型とともに提示できると考えられる。

また、村上(1995)のいう「成功した相談」と「不成功の相談」は、一回性の電話相談で判定することは若干難しいのではないかと考えられる。テーマの異なる資料を収集し、分析する必要があると考えられる。

2. 1. 4. 2 能田(1994, 1996)の先行研究

能田(1994)(1996)は、NHK総合テレビの「テレビ電話相談室」から、「漢方・鍼灸」「ペットのいる暮らし」「娘への注文・母への注文」の3資料、各45分番組、発話総数4,726発話を取り上げ、「一回分の放送全体」を「談話」としてとらえ、4種の下位単位として、「大話段」「話段」「小話段」「発話」を認定した。各単位の主な認定基準は、南不二男(1983)の「単位認定の手がかり」8種⁶⁾を参考に、「大話段」は「参加者の出入り」,「話段」は「参加者の出入りと話題の変化」,また、「小話段」は「話題の変化」によって、それぞれ認定している。

能田(1994)(1996)は、「相談の談話の多重構造」を次頁の【表2-1】「相談の談話の重層構造」のようにまとめ、「相談番組の主要部分」が「大話段」の「展開部Ⅰ」であるとしている。さらに、各相談者の電話相談は、「相談内容説明の話段」と「回答の話段」を「中心に構成されて」おり、司会者・回答者・相談者の役割と目的から、発話機能の用いられ方が異なることを明らかにするなど、相談番組の重層構造の解明および、発話機能による分析を仔細に行っており、本研究において参考にする点が多い。

本研究で扱う相談の談話も、能田(1994)(1996)と同じく、司会者・回答者・相談者という、参加者の役割が明確であり、放送時間があらかじめ定められている放送番組の談話である。本研究でも、放送一回分を「談話」として扱う。談話の構造は、多重構造を本質とするため、「大話段」,「話段」,「小話段」を設ける点では、能田(1994)(1996)を参考にするが、本研究の分析対象は、放送時間内にニュースが挟まるなど、番組編成法が能田(1994)(1996)とは若干異なる。したがって、能田(1994)(1996)の「大話段」の「開始部」「展開部」「終了部」の区分より、番組編成によって認定するほうが、本研究の相談の談話構造が客観的に把握できるのではないかと考えられる。

さらに、能田(1994)(1996)の「相談内容説明の話段」と「回答の話段」以外にも話段は存在すると考えられる。相談者が、回答者からの回答を得た後、再び回答者に確認をしたり、新たな質問をしたりする展開も十分考えられると思われるからである。また、能田(1994)(1996)の「小話段」の認定基準は、「話題の変化」によるものとされているが、「話題」をどう捉えているかについての言及が全くないため、「小話段」と発話機能との関係や、「小話段」における参加者の役割・目的との関係の有無が明らかにされていないという欠点がある。

【表 2－1】 能田(1996:214)の「相談の談話の重層構造」

大話段	話段	小話段
開始部	番組開始	番組開始の挨拶
		テーマの提示
	回答者紹介	回答者の紹介
		テーマに関連する話題
		テーマの確認
展開部Ⅰ	相談内容説明	相談の開始
		相談者の確認
		事情説明
	回答	回答の要求
		専門知識の提供・意見の表明
		相談の終了
展開部Ⅱ	相談発展	相談内容に関連する話題
		テーマの確認
	視聴者不参加の相談	相談内容の説明
		回答
		相談内容に関連する話題
		テーマの確認
終了部	番組終了	テーマのまとめ
		回答者への感謝
		次回テーマの予告
		視聴者への挨拶

2. 1. 4. 3 拙稿(2002)の先行研究

拙稿(2002)では、能田(1994)(1996)が、テーマの異なる相談番組を各1資料ずつ分析しているのに対し、医療相談に限定し、「消火器」「呼吸器」「漢方」⁷⁾をテーマにした3種の資料から、相談者各2名ずつ、計6名による相談の合計38分41秒、発話総数1,429発話について、談話構造を解明し、全発話をザトラウスキー(1993)の「発話機能」12類で分析した。

拙稿(2002)では、放送1回分を「談話」、番組編成によって、全9種の「大話段」を認定した。各相談者による相談を一つの「大話段」として、各相談の大話段において、「参加者の目的と役割」によって、以下の4種の話段を認定した。

- A. 相談紹介の話段
- B. 開始の挨拶の話段
- C. 相談の話段
- D. 終了の挨拶の話段

(p.120)

「A. 相談紹介の話段」では、司会者が相談者の相談内容を代弁する。相談者の参加は、「B. 開始の挨拶の話段」において、司会者が相談者からの電話をつなぎ、参加者相互が挨拶を交わすところからである。

「C. 相談の話段」は、4種の話段の中で、発話数や時間が最も長く、「回答者と相談者の相互行為によって展開」することから、回答者の「的確な回答をする目的」と、相談者の「有益な回答を得る」目的の違いにより、さらに以下の3種の話段に分けた。

C. 相談の話段

C-1.相談内容確認の話段(回答者は相談者に情報要求,相談者は回答者に情報提供) ⁸⁾

C-2.回答の話段 (回答者が情報提供をし、相談者は主に注目表示で聞く)

C-3.回答確認の話段 (相談者が情報要求をし、回答を確認する) (p.120)

拙稿(2002)では、能田(1994)(1996)の「相談内容説明の話段」「回答の話段」のみならず、相談者が回答者から回答を得た後に、「最後に確認し、回答者が情報を補った上で再度回答を補充」する「C-3.回答確認の話段」を加えた。ただし、これは、能田(1994)(1996)と分析対象と伝達媒体が異なるためのものではないと考えられる。相談者は、「C-2.回答の話段」において、回答者が回答を得た後、すぐに回答に納得するわけではなく、もう一度確認することも十分にありうるということを示唆するものと考えられる。

また、拙稿(2002:126)では、「C-1.相談内容確認の話段」が「A. 相談紹介の話段」で「得られなかった情報」を回答者が、相談者から直接聞き出しており、「回答者が相談者の状況を把握し、的確に回答するために必要な段階」があることも明らかにした。さらに、「相談内容確認の話段」は、「異なるテーマの相談番組や自然談話にも同様に見られる」と考えら

れることを示唆した。

2. 1. 4. 4 拙稿(2003b)の先行研究

拙稿(2003b)では, NHKラジオの心理相談3日分⁹⁾, 計9件の電話相談, 118分42秒, 発話総数4,917発話を拙稿(2002)の医療相談番組と同様, 「談話」, 「大話段」, 「話段」に区分したところ, 以下の6種の話段が認定された。

A. 電話相談開始の話段

B. 挨拶1の話段

C. 相談紹介の話段

D. 挨拶2の話段

E. 相談の話段

F. 挨拶3の話段

(p.121)

拙稿(2002)の医療相談と比較すると, 拙稿(2003b)の心理相談の各電話相談の構造は, 以下の共通点と相違点が認められた。

まず, 医療相談と心理相談は, ともに「相談紹介の話段」「相談の話段」や挨拶の話段から成り立ち, ともに最も多くの発話数を占めるのは「相談の話段」である。

「相談の話段」は, 回答者と相談者が直接やりとりしており, 回答者が相談者の役に立つ回答をする目的と, 相談者が現在の症状について詳しく知り, 今後役に立つ回答を得るという目的から, さらに「相談内容確認」「回答」「回答確認」の3小話段が認定された。

医療相談と心理相談の各話段と参加者の相違点は, 「相談紹介の話段」の参加者が異なることである。医療相談の「相談紹介の話段」では, 司会者が相談者の相談内容を代弁するのに対し, 心理相談の「相談紹介の話段」では, 司会者と相談者のやりとりで展開していた。心理相談の相談内容は, 個別的であり, 司会者, 回答者が相談内容を相談者との相互行為の中で時間をかけて, 十分に理解する必要があるためと考えられる。また, ラジオの電話相談番組ということから, 視聴者へ相談内容を「紹介する」上での時間も要すると考えられる。

ただし, 拙稿(2002,2003a,2003b)では, 「相談の話段」の「相談」にいわゆる相談者が相談内容を相談かける部分は入っておらず, 「相談紹介の話段」として独立させている。話段のレベルの名称としての「相談の話段」には, 談話のレベルの名称としての「相談」

とは異なる意味合いが含まれており、「相談紹介の話段」の「紹介」という名称に関しても検討を要することから、本研究では、話段・小話段の名称を再検討し、他の相談や異なる種類の談話にも汎用可能な名称に変更することにする。

本研究では、医療相談3日分、心理相談3日分の中で、「電話相談の談話」における多重構造を参加者の発話機能から、さらに考察する。「話段」の認定基準となる発話機能の分布の様相を話段、小話段ごとに示し、相談の談話における「談話型」を提示するために、各機能の発話を文型とともに明示する。

2. 1. 4で取り上げた、主に相談番組を分析対象としている村上(1994)(1995)、能田(1996)、拙稿(2002,2003a,2003b)では、時間的な制約や、参加者の役割があらかじめ明確であるという特徴はあるものの、相談者が相談内容を話す部分、回答者が回答をし、助言をする部分等に分かれていることが明らかになった。また、各部分ごとに発話機能の用いられ方は、参加者によって異なっていることも観察されていることがわかった。

しかしながら、いずれも、相談の談話の多重構造の認定基準が曖昧で、個々の発話や文の機能は論じられているものの、言語形式とともに提示されていないことから、「相談」という談話に見られる回答者と相談者の実質的な情報のやりとりの様相が具体的にとらえきれないという弱点がある。

2. 1. 4. 5 国立国語研究所(1994)の「相談／助言」の規定と基本構造

国立国語研究所(1994:183)では、「日本語学習者がさまざまな種類のタスクを遂行する能力を身につけるためには、タスクの種類ごとに基本的・典型的な遂行手順を知っておくことが有効である。」として、「相談／助言」の場面における規定と基本構造を挙げている。

- ◇ 相談／助言：一方が意向・希望を示し、その実現のために必要な情報を相手に求めながら結論にいたる談話。確実な情報を持つ専門家に相談する場合などが典型的である。助言を受ける側は、行動の方針を決定するために情報を求めるので、とるべき行為に関する指示や勧めが含まれるのが自然である。(p.192)

国立国語研究所(1994)の「相談／助言」の「場面」の「基本構造」は以下の通りである。まず、「基本構造」については、「それぞれの談話に必須、あるいは頻繁に現われる単位方略を最も基本的と考えられる順序で配列して示したものである。」と規定している。

{基本構造}

意向の表明→（事情説明の要求→事情の説明）

→情報の提供→（提案の提示／行為の指示）→話題の収束

この種の談話では、助言を受け入れる、または少なくとも助言を受信したことを表示する発話が最後に置かれるのが普通である。 国立国語研究所(1994)(p.192)

国立国語研究所(1994)の「単位方略」¹⁰⁾による「相談／助言」の場面の「基本構造」がどの程度のサイズのものを指しているのかが明確でないこと、「話題の収束」の「話題」の規定が曖昧なため、どのような「タスク」として日本語教育に応用するのかが明らかではない。

2. 1. 4. 6 コミュニケーション学および心理学における先行研究

最後に、専門的知識を持つ医師やカウンセラーが患者にどのように接するべきか、接する際の基本的な技術についてまとめられている文献から取り上げる。

岡野(2004)には、コミュニケーション学における「医療従事者と患者」間の「治療コミュニケーションの特徴」として、クレップスとソーントン(Kreps & Thornton, 1992)による5点の特徴を挙げる。その5点の特徴は、特に「特別なトレーニングを受けた医療従事者のみによって行われるもの」ではなく、親しい友人や家族間でも応用可能であるとしている点である。

クレップスとソーントンの治療コミュニケーションの特徴

1. 共感(empathy)
2. 信頼(trust)
3. 誠実さ (honesty)
4. 確認(validation / confirmation)
5. 思いやり (caring)

岡野(2004:192)

岡野(2004)は、クレップスとソーントンの5点の特徴すべての「基本前提」として、「傾聴(active listening)」を挙げ、重要性が説かれているとしている。

コミュニケーション学や心理学におけるカウンセリングの分野においても、専門家が「共感」や「傾聴」の技法を用いて、相談者の「自己開示」を促すとされているが、質問方法にも一定の「技法」がある。

国分(2001:98)では、「カウンセリングの技法」として、アイビー(Ivey,A.E)(1985)による

「質問」の2分類を挙げている。

質問は、「イエス・ノーや単語で答える閉ざされた質問(closed-question)」と自身のことを自由に語る「開かれた質問(open-question)」の2種であり、カウンセラーは、「クライアントの理解やおかれた状況・背景の把握の可能」のために「発問を発することが求められる」としている。

本研究では、ザトラウスキー(1993)の発話機能の〈情報要求〉を、国立国語研究所(1960)に基づき、〈確認要求〉〈判定要求〉〈選択要求〉〈説明要求〉の4種に分類するが、「閉ざされた質問」の〈確認要求〉〈判定要求〉や「開かれた質問」の〈選択要求〉〈説明要求〉を、回答者が相談の談話中のどこに、どのように用いているのかについて探るために、本節で挙げた専門家の「技法」も参考にしたいと考えている。

2. 2 発話機能に関する先行研究

本研究は、相談の談話において、回答者・相談者がどのような言語形式の発話をどの話段において用いているかを分析することによって、発話機能の形式と意味を明らかにし、相談の談話型と、それを支える「機能文型」を解明することにある。

本研究では、ザトラウスキー(1993,1997)の「発話機能」を検討し、相談の談話の発話を、拙稿(2003a)の全6類44種を細分類した全5類40種の発話機能に分類する。

従来の「発話機能」による分析には、日本語の電話の勧誘の談話を12類22種の「発話機能」によって分析したザトラウスキー(1993)、12類22種を「Ⅰ. 要求」、「Ⅱ. 提供」、「Ⅲ. 受容」の三つに大別したザトラウスキー(1997)の3類12種22項、日本語の中級映像教材のシナリオを6類12種で分類した国立国語研究所(1994)等がある。これらの発話機能には、国立国語研究所(1960)の「表現意図」4類19種、同(1987)の「働きかけの種類」2類10種が基盤にあると考えられる。

本節では、国立国語研究所(1960)の「表現意図」、同(1987)の「発話機能」、同(1994)の「発話機能」、ザトラウスキー(1993,1997)の「発話機能」、拙稿(2003a)の「発話機能」等を挙げ、各々の分類観点や分類項目の相違点を論じる。

また、ザトラウスキー(1993)の「発話機能」において、相談番組を分析した能田(1994,1996)、拙稿(2002,2003b)の分析結果を示し、本研究の相談の談話を「発話機能」により分析する意義について論じる。

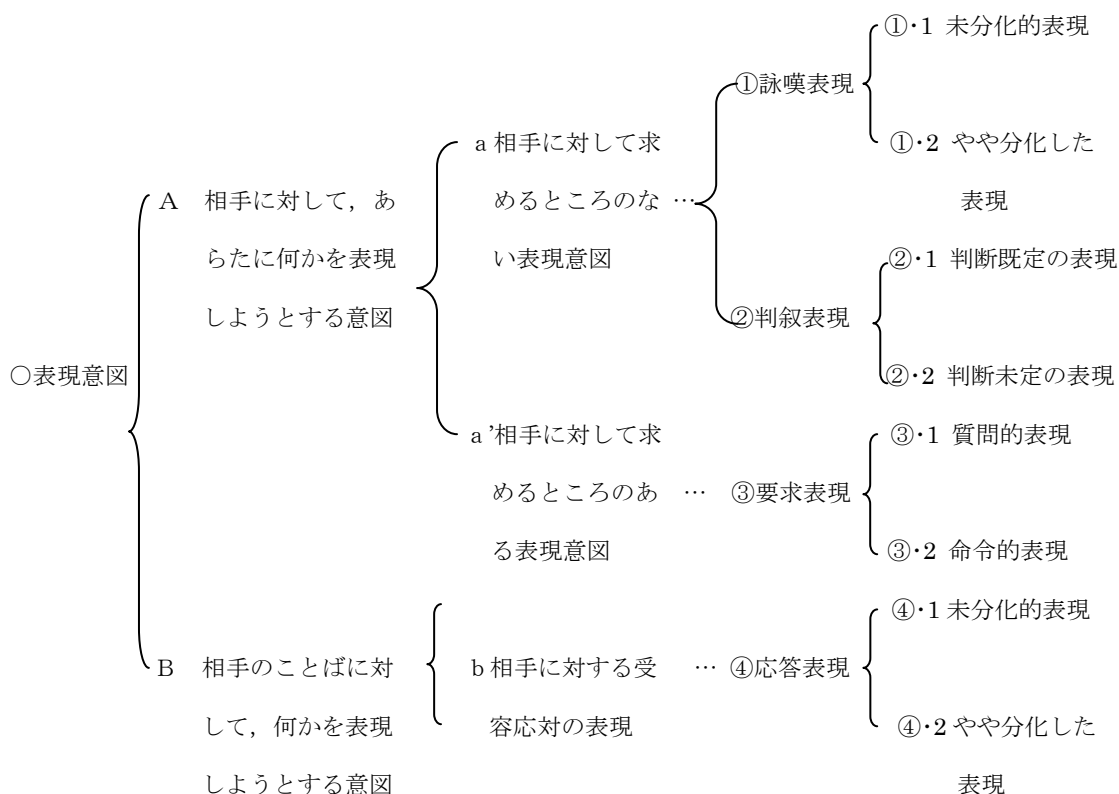
2. 2. 1 国立国語研究所(1960)の「表現意図」

国立国語研究所(1960:1)は、対話資料を分析し、「表現意図」による文型を、「表現意図と構文の型とイントネーションの型の総合としてとらえようと」している。本研究の相談の談話において、日本語教育への応用を考察する上で、「文型」と「表現意図」との関連を解明するためには、次の【図2-1】に挙げる国立国語研究所(1960:88)の「表現意図の分類とそれに応ずる文表現について」の分類が非常に有益であると考えられる。

国立国語研究所(1960:87)は、「表現意図」を「言語主体が文全体にこめるところの、いわゆる命令・質問・叙述・応答などの内容のことである。」と定義している¹¹⁾。また、「表現意図」には、「個別的表現意図」と「一般的表現意図」の2類に分類される。前者は、「個別的な場面で成立する意味の伝達」を指し、「表現意図」も「個別的・一回的」であり、「社会習慣との対応を持たない」ものを指す。後者の「一般的表現意図」は、「文の意義と形式との対応」が、「社会習慣に反するところがない」と認められるものであり、「表現意図」の分類を行う対象としては、「一般的表現意図」が取り上げられている。

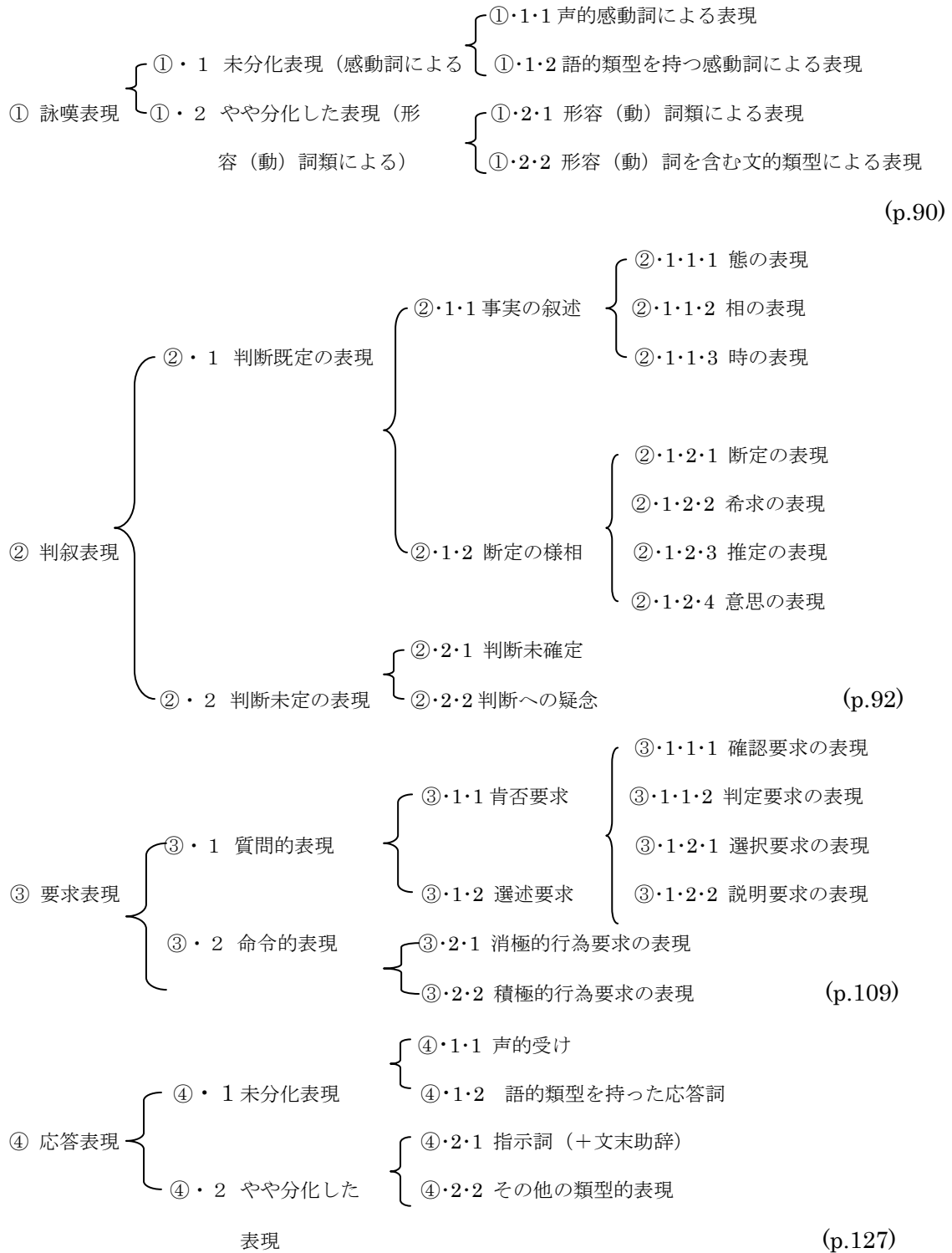
国立国語研究所(1960:88)では、「表現意図」を次のように分類している。

【図2-1】 表現意図の分類とそれに応ずる文表現について



国立国語研究所(1960) (p.88)

【図 2－2】 表現意図に応ずる文表現の文末部分について



【図2-1】のAは、「一般の多くの文を生む表現意図」であり、Bは、「相手のことばに対する受容応対の表現意図」である。AとBとは、「合して1つのコミュニケーション単位を構成する表現を生む意図である。」と述べている。更に、①～④は、「次第に、表現意図に応ずる文表現の形式との関連が緊密」であり、「文表現の形式との対応をとくに重視」した上で分類しており、「表現意図の大まかな分類ではなく、表現意図から見た文表現の分類である。」と述べている。

上記の①～④には、【図2-2】に示したようなさらに下位分類が設けられている。「②判叙表現」と③要求表現とが、もっとも形式上の分化もこまかいものになっている。本研究の「発話機能」の「Ⅲ. 要求」のⅢ-1〈確認要求〉、Ⅲ-2〈判定要求〉、Ⅲ-3〈選択要求〉、Ⅲ-4〈説明要求〉は、【図2-2】の「③要求表現」の下位分類である「③・1・1.1 確認要求の表現」、「③・1・1.2 判定要求の表現」、「③・1・2.1 選択要求の表現」、「③・1・2.2 説明要求の表現」に依拠したものである。

主に「①詠嘆表現」と「④応答表現」の下位分類は、文末の形式や品詞による分類項目となっているが、「②判叙表現」と「③要求表現」は、形式による分類と、意味的な分類とが混在しており、質が整っていないように思われる。

国立国語研究所(1960)の「③・1 質問的表現」の下位分類のうち、本研究が依拠した「③・1.1.1 確認要求の表現」、「③・1.1.2 判定要求の表現」、「③・1.2.1 選択要求の表現」、「③・1.2.2 説明要求の表現」説明を以下に挙げる。

「③・1.1.1 確認要求の表現」－「自己の判断について、相手の確認を求めることの明瞭な表現」であり、「判叙表現の文末に「ネ」「ナ」などの終助詞をとまなうもの」のほか、「「～ダロウ?」「～デショウ?」「～ジャナイ?」「～ジャナイカ?」という文末助辞をとまなう形式がある。」としている。

「③・1.1.2 判定要求の表現」－「相手に yes か no かの判定を求める表現」であり、「話し手が、自己の判断の成立するか否かを、相手の判定にまつもの」である。形式としては、判叙表現の形式そのままの文末に昇調を加えるものと、文末に終助詞「カ」「ノ」をとるものなど」である。

「③・1.2.1 選択要求の表現」－「判定要求の表現が、2つ、特殊な形で連結し、そのどちらかの判断を、相手に選択することを要求するものである。」とし、典型としては、「Aか、Aでないか?」の形であり、また、「Aか、Bか?」の方がある。

「③・1.2.2 説明要求の表現」－「特定の時・所・人などをさだめえない」「不定詞」を

含み、「その内容を説明することを相手に求めるもの」である。「何」「どこ」「誰」「いつ」等の「一般不定詞」や、「何回」「何時」「何人」等の「数に関する不定詞」「どう」「どうして」等の「副詞的不定詞」や、「どんなの」「どのくらい」「どんな」等の「連体詞的不定詞」が含まれる。

また、以下のような表現は、「説明要求の表現に入れた。」と断っている。

「ほかには 何か 御希望 ありませんか？」

「お母さんは 何か 仕事を 持っていますか？」 (p.117)

しかし、「一次的には判定要求の表現であり、二次的に説明要求の表現であると解釈することもでき」、「その逆の解釈もできる」としている。

以上4種の「質問的表現」の下位分類項目は、それぞれ、「質問」に対する「提供」として、どのような表現が用いられるかといった研究に際しては、形式と意味との関わりを加味した有効な分類項目であるといえよう。

また、「③・2・1 消極的行為要求の表現」は、「いわゆる勧誘・勧奨などの“すすめ”の表現」および、「希求・依頼」等である。主に「～シマシヨウ」「～シヨウ」という形式をとる。「消極的行為要求の表現」は、後述する国立国語研究所(1987)、ザトラウスキー(1993)においては、「⑦共同行為要求」と称されている。また、「いわゆる“命令”の表現」である「③・2・2 積極的行為要求の表現」は、国立国語研究所(1987)、ザトラウスキー(1993)では、「⑧単独行為要求」となっている。

国立国語研究所(1960)の「表現意図」の分類は、分析対象が対話であることから、相手に対して何を意味するか、何を意図するかといった観点から分類されており、その項目は、ほぼ網羅されているといってもよいと考えられる。しかし、前述したように、下位分類の質が同一でないこと、対話を扱っていないながら、個々の文型を明らかにすることを目標とするため、下位分類を各文型に認定したあと、対話全体として、どのような機能が現れるのかまでは明らかにされていない。また、情報の授受という点では、「③要求表現」に対して、「④応答表現」や「②判叙表現」が現れることが予測されるが、国立国語研究所(1960)の全23種の下位項目を見る限り、「③要求表現」の各下位項目に対して、どの「④応答表現」や「②判叙表現」が現れるのかといった組み合わせが示されていない。以上の点から、特に、役割や目的の異なる参加者からなる「相談の談話」において、相談者と回答者の情報

の授受の様相を把握するための分類項目としては、まだ不十分な点があると考えられる。

2. 2. 2 国立国語研究所（1987）の「発話機能」¹²⁾

国立国語研究所(1987:153)では、「それぞれの文は何を言うために用いられたのか」、すなわち「個々の文が発話中に用いられて果たす機能」という観点で、『日本語教育映画 基礎編』のシナリオを分類している。

個々の文の「形式」とそれが用いられる際の「発話意味」の対応関係を整理することによって、まず、ある形を持った文がどのような発話意味をもって用いられるか、そして逆に、ある発話意味を表すにはどのような種類の文が使用できるか、を知ることができる。この分析は、場面の種類に対応した教育内容を組み立てようとする際に参考にされるべきことである。

(p.153)

国立国語研究所（1987）には、「文末の表現意図による分類」の外に、ザトラウスキー(1993)が基にした「働きかけの種類」による分類も含まれている。

「文末の表現意図による分類」は、個々の文の形式上の特徴を示し、さらに「場面や発話態度の特徴と対応させる」ために、「文の表現上の意図が最も現れやすい文末の要素」によって、次の7類11種の分類項目を設けている。

1. 叙述要素文（伝達要素や疑問・意志などを表す要素を含まない形で終わる）
2. 伝達要素文（終助詞など、聞き手に対するなんらかの伝達態度を示す要素で終わる）
 21. 終助詞 ネ で終わる文
 22. その他の終助詞で終わる文
 23. ノダ／ノデス で終わる文
3. 疑問要素文（終助詞カ、上昇音調、聞き手に向けられたダロウ・デショウ、などのいずれかで終わる）
 31. 質問（尻上がり。カナ・カシラなどの自問を含む）
 32. 納得・詰問（尻下がり）
4. 要求要素文（命令形・依頼形で終わる）
 41. 命令（命令形などで終わる）
 42. 依頼（テ、テクレ、テクダサイ、などで終わる）
5. 意志要素文（ウ／ヨウで終わる。推量を表すものもここに含む。また、後にヨ、ネなどがついたものも含む）
6. 単語文（あいさつ表現等の定型的な語句、非活用語、などで終わる）

7. 言いさし文（述語の省略など、不完全な形で終わる）

(p.154)

【図2－3】に示す分類は、イントネーション、文末の終助詞、言いさし、あいさつなどの表現なども含まれており、話しことばとして、相手とのコミュニケーションを行う上で立てられた分類になっている。しかし、すでに、国立国語研究所(1960)の分類に見られた「詠嘆表現」や「応答表現」はなく、あいづちや応答表現の聞き手に見られる表現の分類が抜けている。これは、国立国語研究所(1960)の対話資料の分析に対し、国立国語研究所(1987)が日本語教育の映像教材のシナリオの分類を行ったことによるものではないかと考えられる。

【図2－3】 国立国語研究所(1987:158)「発話機能」のカテゴリー

文の形式上の特徴	場面を形成する要因		
文末の表現意図	(1)発話の動機 (場面メアテ)	(2)働きかけの種類 (聞き手メアテ)	(3)発話内容に対する態度 (素材メアテ)
1.叙述要素文	1.自律的	1.没対者性	0.中立的
2.伝達要素文	2.非言語的文脈への対応	11.独語	1.肯定的評価
21.終助詞 ネ		12.聞かせ	2.否定的評価
22.その他の終助詞	21.事態の推移に対する反応	2.対者性	
23.ノダ	22.他の動作・行為に対する反応	21.要求	
3.疑問要素文	3.言語による文脈への対応	211.情報要求	
31.質問		2111.質問	
32.納得・詰問		2112.同意要求	
4.要求要素文	31.ワキ的文脈	212.行為要求	
41.命令	32.マトモ的文脈	2121.単独行為	
42.依頼		2122.共同行為	
5.意志要素文		213.注目要求	
6.単語文		22.非要求	
7.言いさし文		221.情報提供	
		222.意志表示	
		223.注目表示	

(p.158)

国立国語研究所(1987:155-156)は、さらに「場面を形成する要因による分類」を行っている。これは、「発話行為が成立する場面を形成する諸条件」を「(1)発話の動機（場面メアテの条件）」「(2)働きかけの種類（聞き手メアテの条件）」「(3)発話内容に対する態度（素材メアテの条件）」の「3種の範疇」によって記述したものである。

国立国語研究所(1987:155-156)「場面を形成する要因による分類」

- (1) 発話の動機（場面メアテの条件） 話し手にその発話をなさしめた動機がなんであったか、の条件。
 - 1.自律的（外的な状況に関わりなく、または、それまでの文脈を断ち切って、話し手が自分から発話する場合）
 - 2.非言語的文脈への対応
 - 21.事態の推移に対する反応（その場面で起こったことがら、そこで目に触れる事物などに対する反応。他のことばに対する直接の応答でなく、ことばを使うことによって明らかになった事態に対して反応する発話はここに含む）
 - 22.他の動作・行為に対する反応（他の人、特に聞き手の行為に対する直接的な反応。かならずしも話し手に直接に向けられた行為に対するものに限らず、相手がしていることについての発言なども含む）
 - 3.言語による文脈への対応（いずれも、直前の発話に対するものだけをここに分類した）
 - 31.ワキ的文脈（自分に向けられたのではない他の人のことばに対する反応）
 - 32.マトモ的文脈（自分に直接的に向けられた他のことばに対する反応）
- (2)働きかけの種類（聞き手メアテの条件） 発話の向けられた相手に対して、どのような効果を生じさせようとするものか、の条件。
 - 1.没対者性（マトモの聞き手を想定しない）
 - 11.独語（感動・驚きなどを含む）
 - 12.聞かせ（ワキの聞き手を想定する。すなわち、ある聞き手に向けて直後に発言するのではなく、聞き手の耳に入ることを予期した上で、または期待

して行われる発話。数を読み上げるなどの場合を含む)

2.対者性(マトモの聞き手を想定する。すなわち、はっきりとある聞き手に向けて行われる発話)

21.要求(聞き手に対して求めるところがある)

211.情報要求(何らかの情報を与えるよう求める)

2111.質問

2112.同意要求(判断を下し、同意を促す。申し出を行い相手の意向を尋ねる場合を含む)

212.行為要求(何らかの行為を行うよう求める、または、勧める)

2121.単独行為(依頼、勧告、命令、など話し手の参加しない行為)

2122.共同行為(勧誘など、話し手の参加する行為)

213.注目要求(呼びかけなど)

22.非要求(聞き手に対して求めるところがない)

221.情報提供(事実内容などを伝える。客観的事実に関する質問に対する答えを含む)

222.意志表示(話し手の感情、意志などを表明する。それらに関する質問への答えを含む)

223.注目表示(相手の発話、相手の存在、その場の状況・事物の存在などを認識したことを表明する。「同意要求」に対する反応、人に会ったり分かれたりする時のあいさつ、礼を述べたり謝罪したりする表現、などを含む)

(3)発話内容に対する態度(素材メアテの条件) 話し手がその発話に対して持っている、良い／悪い、好ましい／好ましくない、快い／不快、などの評価。

0. 中立的(特に評価を含まない)

1. 肯定的評価(良い、好ましい、快い、などの評価を含む)

2. 否定的評価(悪い、好ましくない、不快だ、などの評価を含む)

国立国語研究所(1987:155-156)

国立国語研究所(1987:156)の 211.「情報要求」の下位項目の 2111.「質問」と 2112.「同

意要求」の2種や、22.「非要求」の下位項目である221.「情報提供」と222.「意志表示」の2種は、それぞれが同じレベルではないと思われる。シナリオの分類をしていることから、文の言語形式に発話の質に偏りがあったと考えられるが、本研究のような実際の談話においては、2111.「質問」の下位項目や、221.「情報提供」の下位項目を設けることにより、よりきめこまかな形式と意味が備わった機能による文型の分析ができるのではないかと考えられる。

2. 2. 3 国立国語研究所(1994)の「発話の機能」

国立国語研究所(1994)の第1部「発話の機能」¹³⁾には、以下の10種の「特徴分析項目」が示されている。国立国語研究所(1994:6)では、「ある発話をいくつかの角度から検討して各々の角度からその発話の特徴を求め、複数の特徴の束という形で機能をみる」という方法で、分析を行っている。

国立国語研究所(1994:6)では、談話においては、「さまざまな要因」、一例として、「発話のもつ言語形式、伝達の内容、やりとりの参加者、前後に存在する他の発話、伝達の媒体、やりとりがなされている場面」があり、それぞれの「各々に関して発話を観察すること」によって、「発話のありようを多角的に検討することが可能になる」と述べている。

以下の10種類が「特徴分析項目」である。

国立国語研究所(1994)第1部 「発話の機能」特徴分析項目

〈伝達の内容・姿勢〉 ①行為的機能

②相手へのはたらきかけの姿勢

③話題・内容に対する話し手の評価・態度

④同調性

〈やりとりの参加者〉 ⑤話し手の種類

⑥発話の受け手の種類

〈やりとりの構成〉 ⑦発話のきっかけ

⑧発話のうけわたし

⑨発話のうけつぎ

⑩談話構成上のはたらき

この中で、特に、①「行為的機能」には、以下に引く6種があり、前述した国立国語研究所（1987）やザトラウスキー(1993)と共通する機能が多い。以下に、国立国語研究所（1994:7-9）の①「行為的機能」6種を引用する。

国立国語研究所(1994:7-9)の①「行為的機能」6種

①行為的機能：その発話がなされることによってどのような行為が遂行されるか、という、発話の行為のもつ行為としての機能の基本的な種類を特定する項目。

1.情報要求：相手に情報を提供してくれるよう要求するはたらき。何かを尋ねる、質問するというのが典型例。情報要求は、ここでは提供されるべき情報についてどれだけ強い確信をもって話し手が情報要求しているかで、さらに3つに分類している。

a.内容についての確信－弱

話し手が、自分の要求に対して相手が提供するであろう情報、すなわち返答の内容について、確信や予測をまったくあるいはほとんど持っていない場合。わからないことについて質問するような場合がこれにあたる。

21-008 何、なさるんですか。

b.内容についての確信－中

話し手が、自分の知識や状況判断などに基づいて、相手の返答内容についてある程度の予測をもっている場合。

23-057 結婚は、するんでしょ？

c.内容についての確信－強

話し手が、相手の返答内容について確信やかなり強い予測をもっている場合。確認や念押しの質問などがこれにあたる。

20-007b お味噌は、赤いのでしたよね。

2.行為要求：相手に何かをするよう促す機能。

a.相手の単独行為

b.話し手と相手の共同行為

3.注目要求：相手の注意を喚起する、自分の方に向けさせる機能。相手への呼びかけが、典型的な例である。

4.陳述・表出：何らかの命題内容や、自分の思ったことなどを述べる機能。これも内容についての確信の度合いによって以下の4つに分けられる。ただし、ここでは言語形式によってではなく、発話の文脈におけるはたらきをもとに、どの程度の確信が込められた発話かを判断している。従って、「～と思います」という形やはっきり言いきれない形でおわっていても、それらが単に丁寧さを出すためのやわらげとして使われているにすぎないと判断されるような場合には、確信の度合いは強と分析している。

a.内容についての確信－弱

自分の述べている内容について、話し手がころもとなく思っている場合。

02-095b 会う日取りは…，

b.内容についての確信－中

自分の述べている内容が妥当である、事実である、あるいは必ずそうなる、などといった自身が確固としたものではない場合。推測や創造、断言できるほど決定的ではないことがらを述べる場合などがこれにあたる。

14-064b 大雪は私，去年，八月に行きました。

c.内容についての確信－強

自分の述べていることが事実である、あるいは妥当である、などの確信をもった発話の場合。

d.内容についての確信－不定

話し手の確信の度合いはあまり問題ではないような場合。冗談など、あるいは社交辞令で述べられる謙遜やお世辞などがこれにあたる。また、伝聞のように、確信のありかがその発話の話し手の外にあるものもここに含む。

02-080b それから，これ，ほんのつまらないものですが。

09-103 丸山先生，これから伺ってもいいそうです。

5.注目表示：事物の存在や相手の発話など、何らかの対象の存在を認識したことを示す機能。「あっ」、あいづち、質問に答える前に入れられる「そうですねえ」、「えーと」などの間つなぎなど。

6.関係づくり、儀礼：相手との関係を調整したりコミュニケーションの雰囲気をつくるはたらきが主であるような発話。出合いや別れの挨拶やお礼やお詫びなど。

国立国語研究所(1994:6-7)

「1.情報要求」には3種、と「4.陳述・表出」には4種の「内容についての確信」による下位項目が設けられている。「実質的な発話」においては、「1.情報要求」「4.陳述・表出」に多くの発話が分類されると考えられるが、「内容についての確信」の度合いによる下位項目は、文脈情報に頼るところが多く、客観性を欠く部分が多いのではないかと考えられる。

国立国語研究所(1994)で扱うようなシナリオではなく、本研究のような、ラジオの相談番組や自然談話における参加者の相互行為によって展開する談話を「発話機能」によって分析する上では、「内容についての確信」を談話の参加者以外の分析者が判断するのは、限界があるのではないかとと思われる。

2. 2. 4 ザトラウスキー(1993, 1997)の「発話機能」

ザトラウスキー(1993)は、前述の国立国語研究所(1987)の「〈情報要求〉」と「〈同意要求〉」を同じレベルに据えており、「〈情報提供〉」や「〈意志表示〉」という機能もそのまま用いている。

本項では、ザトラウスキー(1993)の「発話機能」の定義と、ザトラウスキー(1993)の「発話機能」に基づき、テレビの相談番組を分析した能田(1994)(1996)の分析結果と、拙稿(2002)(2003)の結果を示しつつ、ザトラウスキー(1993)の「発話機能」の分類基準の問題点について検討する。

ザトラウスキー(1993)は、日本語の電話による勧誘の談話構造を分析する際に、全発話を12類22種の「発話機能」に分類した。上述の国立国語研究所(1987)の「発話機能」を「一部修正」したという。下記の分類に下線で示した機能が、ザトラウスキー(1993)により新たに設けられた発話機能である。また、⑬〈注目表示〉に分類される「あいづち」を、「談話の流れという面から」捉えなおして、その下位に11種の分類を新たに設けている。

ザトラウスキー(1993:67)の「発話機能」12類

- ①注目要求 ②談話表示 ③情報提供 ④意志表示 ⑤同意要求
⑥情報要求 ⑦共同行為要求 ⑧単独行為要求 ⑨言い直し要求
⑩言い直し ⑪関係作り・儀礼 ⑫注目表示 (p.67)

注目表示の下位分類 11種

- a. 継続 b. 承認 c. 確認 d. 興味 e. 感情 f. 共感
g. 感想 h. 否定 i. 終了 j. 同意 k. 自己 (p.67)

以下、各機能の定義を直接引用する。

ザトラウスキー(1993:67)の「発話機能」12 類の定義

- ① 〈注目要求〉 「呼びかけ」の類。②に示す〈談話表示〉と似たような機能を持つ。
- ② 〈談話表示〉 談話の展開そのものに言及する「接続表現」,「メタ言語的発話」などを含む。
- ③ 〈情報提供〉 実質的内容を伝える発話で、客観的事実に関する質問に対する答えも含む。
- ④ 〈意志表示〉 話し手の感情、意志等を表示する発話で、それらに関する質問の答えも含む。
- ⑤ 〈同意要求〉 相手の同意を求める発話で、「でしょ?」・「よねえ。」・「じゃない?」で終わることが多い。
- ⑥ 〈情報要求〉 情報の提供を求める発話で、「質問」の類が多い。
- ⑦ 〈共同行為要求〉 「勧誘」等のように、話し手自身も参加する行為への参加を求める発話である。
- ⑧ 〈単独行為要求〉 話し手が参加しない、聞き手単独の行為を求める発話で、「依頼」・「勧告」・「命令」等がある。
- ⑨⑩ 〈言い直し要求〉・〈言い直し〉 〈言い直し要求〉は、先行する発話がうまく聞き取れなかった場合の発話であり、〈言い直し〉は、〈言い直し要求〉に先行する発話を繰り返す、あるいは、多少言い換えてもう一度述べる形の応答である。
- ⑪ 〈関係作り・儀礼〉 「感謝」,「陳謝」,「挨拶」等の良い人間関係を作る(中田(1991a))。中田(1991a)と同様、次の⑫ 〈注目表示〉¹⁴⁾として扱わない。
- ⑫ 〈注目表示〉 国立国語研究所(1987)による定義の一部を用いる。
相手の発話、相手の存在、その場の状況・事物の存在などを認識したことを表明する。「同意要求」に対する応答…を含む。(国立国語研究所 1987:156)

(pp.67-68)

ザトラウスキー(1993)の「⑥ 〈情報要求〉」には、多くの要求表現が含まれており、「〈情報要求〉」と「〈同意要求〉」の2分類のみでは、分類される発話に偏りが生まれ、発話の質の相違が判別できない恐れがある。また、「〈情報提供〉」と「〈意志表示〉」が同じレベルの機能として位置づけられているのも同様である。

ザトラウスキー(1993:70)は、「〈注目表示〉には「実質的な発話」と「相づち的な発話」がある。」として、下記の c. 〈確認の注目表示〉の例として、「【会話例 B】 51N じゃあ、当分は忙しいわけだ。」という実質的な発話が含まれている。

以下、ザトラウスキー(1993:70)の〈注目表示〉の下位分類 11 種の定義を引用抜粋する。

ザトラウスキー(1993:70)の〈注目表示〉の下位分類 11 種の定義

- a. 〈継続の注目表示〉 先行する発話に暗示された意味を認めないまま、単に話を継続させる。
- b. 〈承認の注目表示〉 先行する発話に暗示された意味を認める。
- c. 〈確認の注目表示〉 先行する発話の繰り返しによる確認、または、そこから導かれる結論を確認する。
- d. 〈興味の注目表示〉 興味や関心を示す。
- e. 〈感情の注目表示〉 感情を示す。
- f. 〈共感の注目表示〉 相手と同じ感情をいだいていることを示す。
- g. 〈感想の注目表示〉 相手が言った事柄に対して感想を述べる。
- h. 〈否定の注目表示〉 「感謝」、「陳謝」等を打ち消す。
- i. 〈終了の注目表示〉 話を終了してもいいことを示す。
- j. 〈同意の注目表示〉 上記 a ～ i を受ける発話の機能
- k. 〈自己注目表示〉 自分で自分の発話に相づちを打つ。 (p.70)

「〈注目表示〉」の下位分類は、自然談話に多く現れる「相づち的な発話」を重視しており、話し手と聞き手の相互作用の解明するには、非常に有効な分類である。しかし、「実質的な発話」を「〈注目表示〉」に含めて分類した場合の恣意性は否めない。本研究では、上記の 11 種の下位分類を再検討して、特に、「相づち的な発話」を「〈注目表示〉」として分類し、相談の談話に見られるであろう下位分類に絞って分析を行う。

能田(1994)(1996)は、テレビの相談番組 3 資料、発話総数 4,726 発話について、ザトラウスキー(1993)の「発話機能」12 種に、「13.その他」を加えて分析を行ったが、「〈注目表示〉」の下位分類はしていない。

能田(1996:216)は、特に、「〈情報提供〉」「〈情報要求〉」「〈注目表示〉」の「出現数が多い」結果になったと述べている。「相談」は、「相談内容説明の話段」と「回答の話段」を中心

に構成」され、各話段の「参加者の目的や役割、相談のテーマによって発話機能の用いられ方が異なる」ことを解明した。

「相談内容説明の話段」では、司会者の〈情報要求〉に対して相談者が〈情報提供〉をする発話をし、司会者があいづちなどの〈注目表示〉の発話をするという談話展開の型が見られる。また、「回答の話段」では、回答者が相談内容へ助言の〈情報提供〉をして、相談者と司会者があいづちを打つ〈注目表示〉の発話で対応するという談話展開の型がある。

(p.220)

能田(1994)(1996)の分析においても、各話段内における参加者の発話機能の用いられ方の相違に関する結果は出ているものの、「相談内容説明の話段」中の相談者の〈情報提供〉と、「回答の話段」における回答者の〈情報提供〉の相違は明らかにされていない。能田(1994)(1996)は、「回答の話段」では、「回答者の助言の〈情報提供〉」と説明しているが、「助言の〈情報提供〉」についての言及はなく、「回答の話段」中の回答者の〈情報提供〉が、果たして「助言」の意味だけを有するものなのかも疑問が残る。

一方拙稿(2002,2003b)においても、全発話をザトラウスキー(1993)の「発話機能」12種に分類したが、〈情報提供〉は医療相談に約4割、心理相談には3分の1の発話が分類された。

本研究で、〈情報提供〉と〈情報要求〉を細分することによって、相談の談話の各話段ごとの発話の用いられ方が解明されることが期待される。また、〈情報要求〉と〈同意要求〉の2類で、いわゆる質問的表現を分類すると、〈情報要求〉に多くの発話が分類され、偏りが生じるのではないかと考えられる。

ザトラウスキー(1997:167)は、「参加者の一方が他方にかかわりあう」表現として、12種類の発話機能を挙げている。発話機能の種類や名称は、ザトラウスキー(1993)と同様であるが、12種における発話機能を「Ⅰ．要求」「Ⅱ．表示・提供」「Ⅲ．受容」という3類に大別している点が、本研究の発話機能の枠組みの基本となった点である。

「Ⅱ．表示・提供」の類の「7．談話表示」は、「Ⅰ．要求」の発話にも付随することが本研究における相談の談話に見られる。回答者が談話展開の主導権を握り、接続表現とともに相談者に要求の発話をする例がそれに当たる。実質的な内容を伴う発話の外に別に置くことによって、「かかわりあう」質の違いを明確にする必要がある。

さらに、ザトラウスキー(1997:167,169)は、「複数の発話や文が対応し合って、他の参加者と協力し合う」かかわりあい方として、発話機能による「かかわりあい」をまとめている。

基本的に「要求」に対しては、「表示・提供」に対しては「受容」か「要求」、「受容」に対しては「受容」という組み合わせを述べている。発話機能を3類にまとめたことにより、各機能の談話における働き、参加者との関係が明らかになっているが、〈注目表示〉に代表される「表示」と、〈情報提供〉に代表される「提供」という質の異なる発話機能が「表示・提供」という同じ類にまとめられていることは、談話の中での機能を考察する上では、検討が必要なのではないかと思われる。

本研究では、全5類 40 種のうち、特にザトラウスキー(1993,1997)の〈情報提供〉〈情報要求〉を細分類した機能の組み合わせを明示することにより、談話の展開に伴う参加者のかかわりあい方、さらに、各話段における中心発話も明らかになるのではないかと考えられる。

【表 2－2】 談話における発話機能の種類

発話機能		用法
I 要 求	1. 注目要求	呼びかける発話。
	2. 情報要求	相手に質問して情報を求める発話。
	3. 共同行為要求	話し手の参加する行為に参加を求める発話。「勧誘」が多い。
	4. 単独行為要求	聞き手単独の行為を求める発話。「依頼」・「勧告」・「命令」がある。
	5. 言い直し要求	相手の発話が聞き取れなかった場合の「問い返し」の発話。
	6. 同意要求	相手の発話が聞き取れなかった場合の「問い返し」の発話。同意を求める発話。
II 表 示 ・ 提 供	7. 談話表示	談話の展開の仕方を述べる発話。「接続表現」
	8. 情報提供	内容を伝える発話。質問に対する答えも含む。
	9. 意志表示	話し手の感情や意志を示す発話。
	10. 言い直し	5.「言い直し要求」に先行する発話を繰り返す発話。
III 受 容	11. 関係作り・儀礼	人間関係を作る発話。感謝・陳謝・挨拶がある。
	12. 注目表示	相手の発話を認識する発話。6.「同意要求」に対する答えも含む。

ザトラウスキー(1997:168)

【表 2－3】 談話の発話機能によるかかわりあい

発話機能によるかかわりあい		
質問(要求・情報要求)→	応答(提供・情報提供)	
誘い(要求・共同行為要求)→	承諾(表示・意志表示)	
依頼(要求・単独行為要求)→	確認(受容・注目表示)→	同意(受容・注目表示)
情報提供(提供・情報提供)→	相づち(受容・注目表示)	
情報提供(提供・情報提供)→	感想(受容・注目表示)	
情報提供(提供・情報提供)→	質問(要求・情報要求)→	答え(提供・情報提供)
挨拶(受容・関係作り・儀礼)	挨拶(受容・関係作り・儀礼)	
確認(受容・注目表示)→	同意(受容・注目表示)	

ザトラウスキー(1997:169)

2. 2. 5 拙稿(2003a)の「発話機能」と先行研究の分類観点と分類項目の相違

前述したように、拙稿(2003a)の「発話機能」全5類 40種は、ザトラウスキー(1993)の〈情報要求〉〈情報提供〉を細分類したものであるが、特に、〈情報提供〉は、「IV. 要求に対する提供」と「V. 自発的な提供」に2分し、情報の授受が行われる「相談内容確認」と「回答確認」の各小話段を特徴づける発話機能を解明するためのものであった。

しかしながら、「IV. 要求に対する提供」と「V. 自発的な提供」に細分してはみたものの、それぞれに〈事実説明〉〈見解表明〉〈評価表明〉〈意志表明〉の各機能を共通に設けていたために、従来の〈情報提供〉を2分類意義が薄れてしまったことが、本研究で、発話機能の枠組みを再検討するに至った一つの要因である。

さらに、拙稿(2003a)で「V. 自発的な提供」に分類していた〈関係作り・儀礼〉が、他の機能とは質が異なること、先行研究においては、〈注目表示〉に位置づけられていたことに鑑み、本研究では、「V. 受容」の下位項目とした。

次頁の【表 2－4】には、国立国語研究所(1987)(1994)、および、ザトラウスキー(1993)の「発話機能」を並べ、拙稿(2003a)の6類 44種、および、本研究の5類 40種の発話機能を一覧表にまとめた。国立国語研究所(1994)やザトラウスキー(1993)は、言及されるとおり、国立国語研究所(1987)に基づくことが明らかなである。「情報要求」「情報提供」「注目表示」は、多少の名称変更や下位項目は設けられているものの、変わりがなかったことがわかる。

本研究における全5類 40種の「発話機能」の分類規定については、3. 4で再び述べることにする。

【表2-4】国立国語研究所(1987)(1994)、ザトラウスキー(1993)(1997)、拙稿(2003a)、および本研究の「発話機能」

国立国語研究所(1987) 『日本語教育実践論』 総合文選集 中道真木男	国立国語研究所(1994) 『日本語教育実践論』中級編 関連教材 伝えようことば 熊谷智子	ザトラウスキー・ポリー(1993) 『日本語の会話の構造分析』 著者 発話機能	ザトラウスキー・ポリー(1997) 『日本語の会話の構造分析』 著者 発話機能	拙稿(2003a)	本研究の
場面を形成する要因による分類 (2)聞きかけの種類(聞き手メタの条件) 2. 対抗性	<伝達の内容・姿勢>①行為的機能 ⑩話語構成上のはたとき 1. 談話の開始 2. 談話の終結 3. 話題の開始 4. 話題の終結	②<談話表示>	Ⅱ 表示・提供 ②<談話表示>	Ⅱ. 談話表示 a1 話を始める a2 話を再び始める b1 話を続ける b2 話を重ねる b3 話を深める b4 話をうながす b5 話を展す b7 話をそらす b8 話をさえぎる b9 話を交える b10 話をまとめる c1 話を終える c2 話を一応終える	Ⅱ. 談話表示 a1 話を始める a2 b1 話を続ける b2 b3 話を深める b4 b5 話を展す b7 b8 話をさえぎる b b10 話をまとめる c1 話を終える c2
21. 要求 211. 情報要求 2112. 同意要求 2111. 質問	1. 情報要求	⑤<情報要求> ⑥<同意要求>	Ⅰ 要求 ⑤<情報要求> ⑥<同意要求>	Ⅲ. 要求 1. 確認要求 2. 判定要求 3. 選択要求 4. 説明要求	Ⅲ. 要求 1. 確認要求 2. 判定要求 3. 選択要求 4. 説明要求
21. 要求 212. 行為要求 2121. 単独行為 2122. 共同行為 213. 注目要求	2. 行為要求 a. 相手の単独行為 b. 話し手と相手の共同行為 3. 注目要求	⑤<単独行為要求> ⑦<共同行為要求> ①<注目要求> ⑨<言い直し要求>	⑤<単独行為要求> ⑦<共同行為要求> ①<注目要求> ⑨<言い直し要求>	Ⅲ. 要求 5. 単独行為要求 6. 共同行為要求 Ⅰ-1. 注目要求 Ⅰ-2. 間投詞的表現 7. 言い直し要求	Ⅲ. 要求 5. 単独行為要求 6. 共同行為要求 Ⅰ-1. 注目要求 Ⅰ-2. 間投詞的表現 7. 言い直し要求
22. 非要求 221. 情報提供 222. 意志表示	4. 陳述・表出	③<情報提供> ④<意志表示>	Ⅱ 表示・提供 ③<情報提供> ④<意志表示>	Ⅳ. 要求に対する提供 1. 選択情報提供 2. 事実説明 3. 見解表明 4. 評価表明 5. 意志表明 7. 肯定 8. 否定 Ⅴ. 自発的な提供 1. 事実報告 2. 意見説明 3. 感情表明 4. 意志表明 5. 関係作り・確立 Ⅵ. 非実質的な発話 a. 継続 b. 承認 c. 否認 d. 確認 e. 興味 f. 共感 g. 感情 h. 同意 i. 終了 j. 自己 k. 自己	Ⅳ. 提供 1. 事実報告 2. 意見説明 3. 感情表明 4. 意志表明 5. 選択情報提供 6. 言い直し Ⅳ. 受容 3相手注目表示 a. 継続 b. 承認 c. 否認 d. 確認 e. 興味 f. 共感 g. 終了 h. 同意 Ⅳ. 受容 2自己注目表示 Ⅳ. 提供 6. 言い直し
223. 注目表示	5. 注目表示	⑩<注目表示> ⑩<言い直し>	Ⅲ 受容 ⑩<注目表示> ⑩<言い直し>	Ⅳ. 受容 2自己注目表示 Ⅳ. 提供 6. 言い直し	Ⅳ. 受容 2自己注目表示 Ⅳ. 提供 6. 言い直し
	6. 関係づくり・確立	⑩<関係作り・確立>	Ⅲ 受容 ⑩<関係作り・確立>	Ⅴ. 自発的な提供 5. 関係作り・確立	Ⅴ. 受容 1. 関係作り・確立

2. 3 日本語の文型に関する先行研究

本節では、相談の談話を発話機能により分類し、「要求」系7種、「提供」系4種を中心とした発話機能の文型を「機能文型」として提示し、相談の談話型を解明するため、「構造文型」「表現文型」「機能文型」に関する先行研究を取り上げ、相違点を考察する。

2. 3. 1 文型に関する研究

鈴木(1972:140-141)は、「構造文型」と「表現意図による文型」について、「日本語の教育の立場」から以下のように述べている。

(略) 表現する立場からいえば、ある話し手が、ある聞き手に向かって、何らかの意図をもって、何かについてものをいう場合の表現形式にはどのようなものがあるか、具体的には「命令・要求・希望・意志・推量」などの意を表すのにはどのような表現形式があるかを探ること、すなわち表現意図による文型を求めることがたいせつであることはじゅうぶん納得できる。しかし、日本語の教育の立場からいうと、この構造文型を求めることも決しておろそかにしてはいけない。(pp. 140-141)

一方、寺村(1987:166)は、「文型教育というとき、どういう原理で文を類型としてとらえ、どういう順で配列するかという側面」が考えられるとして、文型の選定、配列に関する考え方として、次のように述べている。

さて、文型を選定し、配列するときの考え方としては、ごく大まかに言って二通りの方向がある。その一つは、その言語の文法的な特質についての研究を背景として、構文的に基本的と考えられるものから、その変形、組み合わせへと発展させていく方向である。そしてもう一つは、いろいろな日常の生活場面、仕事の場面で、どういうことが言いたいとき、どういう表現を使えばよいか、という機能的な方向から文の型を整理・配列していこうとするものである。前者をここでかりに「構造文型」、後者を「表現文型」とよぶことにし、以下、それぞれの考え方について問題点を検討していくことにする。(p.167)

「表現文型」とは、寺村(1983)で『日本語表現文型 中級Ⅰ・Ⅱ』の「はしがき」に、「構造文型に対するものである」と述べていることから「構造文型」と「表現文型」が違うものである前提がある。

寺村(1987:179)では、「表現文型」について、『人を誘う言い方』、『依頼の言い方』、『断り方』、『依頼の言い方』、『断り方』、『注意、警告の仕方』といったものである。」としているが、問題点として、「実用があまりにも先行して、理論的研究が追いつかないように見えるのが気掛かりである。」としている。

佐久間(2006:9)は、2. 3. 2に挙げる「機能文型」と『日本語表現文型』の分類を挙げ、相違点を述べている。「表現文型」は、「機能文型」に比べ、未分化で曖昧なとらえ方のものであったという点が留意される。」として、「機能文型」を定義づけている。

2. 3. 2 「機能文型」に関する先行研究

佐久間(2006:3)によると、「1999年以降、早稲田大学日本語研究教育センターにおいて、北條淳子・川本喬氏らとともに、「機能文型」という新しいコンセプトによる「日本語文法」の教材開発に着手」したとある。1999年より機能文型の分類とレベル別の配列が行われ、現在の「日本語文法」の教材開発に反映されている。

佐久間(2006:7)では、「機能文型」は、「文章・談話レベルのコミュニケーション能力を身に付け、また、他の技能科目への応用可能性の高いもの」を目指す上で、「表現文型」のコンセプトをより強化して、「理解文型」をも含む統合的な「類型」と付けられた枠組みであり、「機能文型」という名称は、佐久間氏の案であると断っている。

佐久間(2006:4)は、「表現文型」に対する「機能文型」の捉え方」についての見解を以下のように述べている。

「機能」とは、言語の「意味」と「形式」が結びつくことで生じる言語的コミュニケーションを遂行する「働き」のことであるが、これは、小泉保(2000:237～257)の「言語研究における機能主義」の「機能」という用語の歴史的背景を踏まえたものである。また、日本語の「機能文型」とは、日本語教育における学習項目の中核に位置して、文章や談話を構成する様々な「文」のしくみとはたらきを学習者に効率よく習得させるための「定型表現」のことである。したがって、当然のことながら、機能文型は、単独の文としてより、複数の文集合が組み合わさることによって、いわゆる「段落」

のような話題のまとまりを表す働きとして認定されるものであり、「機能文型」というより、むしろ「機能類型」といったほうがよいかもしれない。佐久間(2006:4)

本研究の2.2で、「発話機能」の先行研究を概観したが、発話機能による談話の構造分析の結果を、即、日本語の会話教育へ応用するのでは、不十分である。発話機能による分類を言語形式とともに提示して初めて、談話の全体構造が解明されるのではないかと考えられる。

したがって、本研究における発話機能の「要求」系と「提供」系の文型を提示することは、佐久間(2006)の「言語の「意味」と「形式」が結びつくことで生じる言語的コミュニケーションを遂行する」という「機能」の概念に沿うものであるため、本研究の発話機能の「要求」系と「提供」系の文型は、「機能文型」と呼べるものであると考えられる。

佐久間(2006:4)では、「機能文型は、文章・談話における各文の働きの種類と規模により、大きく3種類に分類される。」として、以下の3種を挙げている。

a. 実質（内容）機能 b. 構文（文法）機能 c. 構話（文章・談話）機能

上記a～cの機能は、「対立する種類のものではなく、一つの文に重複して認められ、相互補完し合いつつ、最終的に「c. 構話機能」として、文章・談話によるコミュニケーションを成立させる。」としている。「機能文型」は、「文章・談話によるコミュニケーションの実現を支えるための種々の役割を担う文を中心とした表現の類型（パターン）であり、文章・談話の主要な構成要素となるものである」と規定している。¹⁵⁾

文の意味と形式、そして文章・談話を形作る「表現の類型（パターン）」により、さまざまな種類の「文章型」、「談話型」が解明されるのではないかと考えられる。

2.4 日本語の「話段」と「談話型」に関する先行研究

2.4.1 「話段」および「談話の単位」に関する先行研究

音声言語最大のまとまりである「談話」の構成要素に関しては、佐久間(1987)が提唱した「話段」、南((国立国語研究所 1971)(1972)(1981)(1983)(1987))の「会話のまとまり」「談話の要素」、また、勧誘の談話から「勧誘の話段」「勧誘応答の話段」を認定したザトラウ

スキー(1993)の話段の研究がある。

「話段」は、佐久間(1987:103)が「文段の概念の必要性は、話し言葉の文章構造を対象とする際により重要なものとなる」として提唱した、音声言語の談話の成分である。¹⁶⁾「文段」については、市川(1978:126)が次のように定義している。

文段とは、一般に、文の内部の文集合（もしくは一文）が内容上のまとまりとして、相対的に他と区分される部分である。「文段」は、改行によってではなく、前後の分集合（もしくは一文）が、内容上なんらかの距離と連関を持つことによって区分されるのである。(p.126)

佐久間(1987:102)は、南(1983:94)の「談話の単位」を認定する手がかり 8 種類」のうち、「かなりのものが文段の認定基準としてみなすことができる」としている。特に、「改行等の目印を持たない音声資料」においては、「これらの観点を総合して分析することで、その単位——文段を認定する必要がある。」とした上で、文段が、「独話・対話・会話のいずれにも不可欠な文章の成分」であることを説いている。

また、佐久間(1987:99)では、「文段には提題表現とそれについての叙述表現を伴った文と、その相当表現があるのではないか」という観点を設けた上で、「文段」の認定基準として、「提題表現の統括」を、佐久間(1989)では、「接続表現の統括」を挙げており、「文段」の認定基準としての言語形態的な分析がなされている。

佐久間(2000:69)では、「段」の規定と「段」の構成要素について次のように述べている。

文章は、原則として、複数の段からなるが、中には、1文で1文章となるものや、1段で1文章たりうるものもある。また、段は、原則として、内容上の統一のある複数の文集合からなるが、一つ的话题を表す「提題表現」(題部)と「叙述表現」(述部)を備えた単独の文からなるものもある。

文章・談話の主要な成分としての段を構成する言語要素は、厳密には、「文」ではなく、提題と叙述からなる「題——述関係」を成立要件とした、話題の統括機能を備えた「情報単位」で、「節」に近いものだと考えられる。(p.69)

「情報単位」については、次節で述べるが、本研究において、談話における構成要素と

して最小の単位と規定している「発話」のうち、節は、「実質的な発話」の基本的単位である。特に本研究における、電話による、相談者と司会者、相談者と回答者との相互行為や、対話・会話においては、一つの「節」の後、聞き手である参加者があいづちを打ったり、非言語行動でうなずいたりする傾向が多い。

佐久間(2002:81)では、3人の会話 38 発話から、2 話段、17 小話段を認定し、「音声言語の談話資料の中にも、文章の文段に相当する言語単位の「話段」が存在するのは、確かである。」と説いている。

各話段の内部には、実質的な発話と相づち、情報要求の疑問と情報提供の応答の発話が、交互に組合わさって発話連鎖を作り、提題表現と叙述表現が対応して、小話題の統括機能を発揮する。(略)

話段は、発話権をもつ話者の実質的な発話や質問で始まり、他の参加者の相づちか応答で終わる。これは参加者の役割分担のある談話や対話の場合にも共通する傾向だといえよう。

(p.81)

佐久間(1987:102)が話段の認定基準の論拠として挙げた、南(国立国語研究所 1983:94)の8基準は、国立国語研究所(1971)、および、南(1972)(1981)の「会話」「談話」の規定と「談話」認定の基準と異なる部分がある。

【表 2－5】に、南（国立国語研究所(1971)、南(1972)(1981) 国立国語研究所(1983)の「会話」「談話」の規定と認定基準の相違点を示す。

まず、国立国語研究所(1971)、南(1972)(1981)では、音声言語最大のまとまりを「会話」、会話の一つ一つの部分を「談話」と規定し、以下の6基準を認定基準として挙げている。

「会話」とは、いくつかの「談話」からなる全体的構造であり、例えば、「挨拶」から始まり、その後何種類かの「談話」が続いた後、再び「挨拶」で終わる、ひとまとまりの言語表現全体である。一方、「会話」の中の「談話」は、個々ばらばらのものではなく、「会話」の「全体的構造」を形作るものであり、次の6つの基準により区分される。

- a. その部分の前またはあとのはっきりしたポーズ。
- b. その部分内部の連続性。
- c. その部分に現れる各センテンス（にあたる発話）の参加者（話し手および聞き

- 手) が一定していること。一部の参加者の途中からの参加, 脱落は許容した。
- d. その部分のコミュニケーション上の機能が一定していること。たとえば, あいさつ, 用談, 雑談, 感情の直接表現など。
- e. その部分のことばの調子が一定していること。たとえば, ふつうの調子, あらたまった調子, くだけた調子など。途中での多少の変化は許容した。
- f. その部分の話題の性格が一定していること。たとえば, 日常生活に関することながら, 世間話, 他人のうわさなど。途中での多少の変化は許容した。

(国立国語研究所(1971)p.33, 南 (1972) p.30, (1981) p.89)

さらに, 国立国語研究所(1983:1)では, 「会話」と「談話」の用語の定義を以下のように定めており, 上記6基準が8基準に増えている。(下線, 鈴木付す)

話を進めるにあたって, まず, 談話とは何か, ごく簡単に定義しておく。ここで「談話 (discourse) というのは, いくつかの文 (一つの文だけでもかまわない) が常識的に見た場合なんらかのひとまとまりの言語表現となっているものをいう。話しことば, 書きことばの別は問わない。書き言葉について談話ということばを用いることには, やや問題があるかもしれないが, 他に適当な語を考えつかないので, 話しことばのもの, 書き言葉のものいずれについても談話と呼んでおくことにする。 (p. 1)

国立国語研究所(1983)では, 音声言語最大のまとまりを「談話」とすることから, 同研究所(1971), 南(1972)(1981)の「会話」「談話」とは逆の規定を立てていることになる。

国立国語研究所(1983:106)で, 南氏は, 以下のように述べている。

国語研(1971)では, その単位に「談話」という名称を与えたのだが, 一般にいう談話 (Discourse) とまぎらわしいので, ここではそれを使わないことにする。かわりに「会話のまとまり」と言っておこうと思う。 (p.106)

【表 2－5】南不二男（国立国語研究所（1971），南（1972）（1981）国立国語研究所（1983）の「会話」「談話」の規定と認定基準の相違点

最大の単位の名称 下位要素の名称 基準の数	1971		1972		1981		1983		1987	
	会話	会話	会話	会話	会話	会話	談話	談話	会話	会話
	談話 6基準	談話 6基準	談話 6基準	談話 6基準	談話 6基準	談話 6基準	会話のまとめ 8基準	談話の要素 11基準	談話の要素 11基準	談話の要素 11基準
基準	a. その部分の前またはあとのはっきりしたポーズ。				表現された形そのもの		表現された形そのもの		言語表現そのもの	
	b. その部分内部の連続性。一部の参加者の途中からの参加，脱落は許容した。						全体的構造		全体的構造	
	c. その部分に現れる各センテンス（にあたる発話）の参加者（話し手および聞き手）が一定していること。						参加者		参加者	
	d. その部分のコミュニケーション上の機能が一定していること。たとえば、あいさつ、用談、雑談、感情の直接表現など。				コミュニケーションの機能		コミュニケーションの機能		コミュニケーションの機能	
	e. その部分のことばの調子が一定していること。たとえば、ふつうの調子、あらたまった調子、くだけた調子など。途中での多少の変化は許容した。				表現態度（フリ		表現態度（フリ		表現態度	
	f. その部分の話題の性格が一定していること。たとえば、日常生活に関すること、世間話、他人のうわさなど。途中での多少の変化は許容した。				話題		話題		話題	
					使用言語		使用言語			
					媒体		媒体		媒体	
									非言語表現	
									状況	
									文脈	

「会話のまとまり」に区切る認定基準として、以下の8基準を挙げている。

単位認定の手がかり

表現された形そのもの	参加者	
話題	使用言語	
コミュニケーションの機能	媒体	
表現態度（フリ）	全体的構造	(p.94)

その後、南(1987:22)は、国立国語研究所(1971),南(1972,1981)と同じく、「会話」の下位の要素と「談話」と呼んでいる。が、「談話の要素」の認定基準は、11種類に及んでいる。

談話の要素

言語表現そのもの	参加者	
話題	コミュニケーションの機能	
表現態度	媒体	
状況	ネットワーク	
文脈	非言語表現	
全体的構造		(p.6,22)

南氏によると、「会話」を音声言語最大のまとまりであり、その下位に「談話」が存在するという規定であるようであるが、南(1987:6,22)では、「非言語表現」も設けられるなど、書き言葉である文章と異なり、動きのある、複数の参加者の相互作用によって展開する談話においては、さまざまな要素が絡み合いながらいくつかのまとまりを作り上げ、最大のまとまりを形成していくことがうかがえる。

本研究では、音声言語最大のまとまりを「談話」と考えるため、本研究の分析対象である一回分の放送全体を「談話」とする。

「話段」の認定にあたっては、佐久間(1987)、能田(1994)(1996)が論拠とした、南(1983)の8基準が参考になると考えられる。特に、「参加者」「話題」「コミュニケーションの機能」「全体的構造」が本研究の談話における「話段」認定の基準に大きく関わると考えら

れる。

ザトラウスキー(1993)は、南(国立国語研究所(1971)(1972)(1981))の「談話」の「下位の単位」として、「話段」を「設定」している。¹⁷⁾

本研究で設定した「話段」は、2つの発話からなる「応答ペア」を発話の発話集合に当てはめようとしたものであり、それぞれの発話集合を「勧誘の話段」、「勧誘応答の話段」とすることで、発話がどのように関係づけられているかをとらえることができる。

(p.71)

さらに、「話段」を以下のように規定している。

「話段」とは、一般に、談話の内部の発話の集合体（もしくは一発話）が内容上のまとまりをもったもので、それぞれの参加者の「談話」の目的によって相対的に他と区分される部分である。

(p.72)

ザトラウスキー(1993:72)は、「話段」を特徴づけるものとして、「メタ言語的発話」「イニシアティブ」「話者交替等」を挙げている。また、以下のように述べている。

この単位は、従来の言語単位、つまり音素・形態素・文等の単位がただ単に組合わされたものではなく、コミュニケーションの過程を含む動的な単位である。会話の参加者が相互に協力して作り上げるものであるため、従来の言語単位のように、構造が定まっているものとは違い、その大きさも一定していない。

(p.85)

ザトラウスキー(1993)の「話段」は、構造が定まっていないとしているが、「話段」の特徴としては、「メタ言語的発話」¹⁸⁾などを挙げており、言語形態的指標が関与していると考えられる。ザトラウスキー(1993)は、「話段」を「コミュニケーションの過程を含む動的な単位」としているが、佐久間(1987,1989)が、「提題表現」「接続表現」を話段の認定基準として掲げていることから、「話段」は、形態的指標から成り立っていることは明らかであり、ザトラウスキー(1993)の「コミュニケーションの過程」は、常に言語の形態と密接に関わり合っているといえる。

また、ザトラウスキー(1993)は、「話段」を「従来の言語単位のように、構造が定まっているものとは違い、その大きさも一定していない。」と述べているが、談話資料を多く収集することで、構造や規模、言語の形態的指標は定まってくるのではないかと考えられる。ザトラウスキー(1993)のいう、「コミュニケーションの過程を含む動的な単位」とは、「話段」のみならず、「大話段」と「小話段」を設け、参加者相互のかかわりあい方を考察することで、見えてくるのではないかと思われる。

拙稿(1994)(1995)では、雑談の対話、対談、計4資料を各5名の「内容区分調査」を行い、主に5人、4人の区分指摘が一致した部分を「話段」として認定した。各「話段」の開始部・話段の開始部には、「話を変える機能」の接続表現、疑問形式の提題表現、反復表現の初出語が現れ、話段の終了部には、「話をまとめる機能」の接続表現や、あいづちの繰り返し、沈黙が観察された。また、話段の展開部は、開始部に見られた反復表現の初出語の同系列の反復表現が現れており、次の話段が開始すると、前の話段に見られた反復表現の系列とは異なる、新たな初出語が現れることが観察された。

ザトラウスキー(1993)の「勧誘の談話」と同じく、本研究でも、参加者の目的や役割が定まっている。本研究では、ラジオ番組である点から、ザトラウスキー(1993)の親しい人同士による、くだけた相互行為ではなく、時間的にも制限があるため、参加者の役割はかなり厳しく制限されているといえよう。ザトラウスキー(1993)の「話段」は、本研究の各相談者の相談において、司会者・回答者・相談者の相互作用における「話段」の概念規定とほぼ同一である。が、本研究は、放送一回分を「談話」とするため、「話段」より大きな「大話段」を番組編成上区分される部分で認定する。この「大話段」の規定は、「話段」よりも大きく、参加者の目的で区切られるというより、佐久間(1987)の「内容上のまとまり」によって認定されると考えられる。さらに、本研究の「話段」「小話段」は、参加者の発話機能が認定基準に大きく関わっている。本研究の「談話」「大話段」「話段」「小話段」の認定基準は、3. 1. 1, 3. 1. 2で詳述する。

2. 4. 2 「発話」に関する先行研究

「発話」の認定は、杉戸(1983:83)が、「一人の参加者のひとまとまりの音声言語連続（笑い声や短いあいづちも含む）で、他の参加者の音声言語連続（同上）とかポーズ（空白時間）によって区切られる」と定義づけている。しかし、本研究では、他の参加者のひとまとまりの音声言語連続でさえぎられなくても、一人の参加者の音声言語連続が文の終わり

の下降イントネーションや、接続助詞が見られた場合は、一発話として区切る。特に、二人以上の対話、会話では、一人の参加者の音声言語連続によって、他の参加者が非言語行動であいづちを打つ場合もあるからである。

本節では、前述の佐久間(2000)の「情報単位」の認定基準である、佐久間編(1997)の要約文の研究における、「残存認定単位の認定基準」を次頁に挙げる。

佐久間編(1994)では、「節」を中心とした「第一次成分」と、「その周辺にある「句」からなる「第二次成分」の計 10 種が、「意味的・機能的な側面の強い、「情報単位」とでも言うべき性質のものである。」と述べている。

佐久間編(1997)では、「第一次成分」を「節」から「表現」という名称に改め、10 類 24 種の「残存認定単位の認定基準」を挙げている。

本研究の特に実質的な「発話」の認定に際しては、佐久間編(1997)の「第一次成分」「1. 文末叙述表現」「2. 節末叙述表現」「3. 修飾表現」を参考にした。

2. 4. 3 「談話型」に関する先行研究

「談話型」については、ザトラウスキー(1987:85)が「従来では、初級レベルで「構造文型」、中級レベルで「表現文型」のように分けて教えてきたが、むしろ初級から「構造文型」「表現文型」を含む総合的な「談話型」のアプローチを取ったほうがいい」と述べ、「コミュニケーションのための教授法は、生の話し言葉の資料から得られた「談話型」に基づくもの」であるとしている。

ザトラウスキー(1986b:99)では、「談話型」を次のように規定している。

「談話型」というのは、談話、会話のレベルでの話し手と聞き手のコミュニケーションの場面に関する全体を示す。言語的なものもあれば、非言語的なもの（例えば、身振り、視線等）もある。相手と会話を始めるためのきっかけや呼びかけ、会話を終えるしめくくりやあいさつ等も含まれている。(p.99)

また、「談話型」の指導については、「話が進展していく中でそれがどういうふうに進展していくのかに焦点をあて」、「対話者の発話への関わり方や流れを重視する」と述べている。「談話型」に基づく日本語を教材作成に際しては、自然談話の収集と談話分析の必要性を述べている。勧誘の談話分析を行い、「談話型」の指導においては、「相づち」、「ためらいの表現」、「倒置文」、「接続語句」等の機能の検討の重要性を挙げている。

【表 2－6】 原文残存認定単位の分類基準

種類	原文残存認定単位の名称	分類番号	分類基準	用例
1	文末叙述表現	1	文末述部・句点	(A9-2-2) そんなにダメ人間揃いなのだろうか。
2	節末叙述表現	2.1	連用中止形	(A1-1) 五〇〇字提言を依頼され、
		2.2	接続助詞	(A1-3) 見本誌を読んで、 (A5-2-2) 静か[5-3]だが、
		2.3	その他	(I 16-2) もめた末、
3	修飾表現	3.1	内の関係	(A1-2) 一緒に送られてきた [見本誌]
		3.2	外の関係	(A7-2) 何か日本人を叱る [文章]
		3.3	形式名詞	(I 6-8) 近づいて来るのは(3.3+5.1)
4	引用表現	4.1	ト	(A1-4-2) 大変だと [思い]
		4.2	ヨウニ	(A4-2) 私のことを言っているように [思うのだ]
		4.3	その他	(A3-1) 日本人は声が大きいぞとか、
5	提題表現	5.1	ハ	(A5-1) 私は [A5-2-1,A5-2-2,A5-3]
		5.2	モ	(I 18-4) 今も (6.1+5.2)
		5.3	ガ	(I 15-1) 超党派七十七人の都議が
		5.4	その他	(I 15-8) スタジアムの名称まで
6	状況表現	6.1	時間	(I 12-2) 明治三年に
		6.2	空間	(I 1-2) 上野の不忍池に
		6.3	その他	(I 3-5) 年に , (I 3-7) ハンターの前で
7	文副詞表現	7		(A4-1) どうも、[A4-3]
8	接続表現	8		(A10-1) しかし[A10-2-1,A10-2-2]
9	独立表現	9		(A7-14) 「会長、[A7-15～A17-17]
10	その他の特殊表現 (上記の1～9以外)	10.0	表題・署名	(A0-1-1) 「日本人は , (A0-1-2) そんなに駄目か」
		10.1	挿入	(A5-3) (当たり前だ)
		10.2	省略	(A7-13) [清書した] 秘書が
		10.3	その他	(A2-1) 日本人に対して、

(A : 原文A「日本人はそんなに駄目か」 I : 原文I「命拾い」からの用例)

佐久間まゆみ編(1997:5)

ザトラウスキー(1986b,1987)における「談話型」は、自然なコミュニケーションを図るために、参加者相互が関わり合う様相を示すものであるため、「相づち」、「ためらいの表現」、「倒置文」、「接続語句」等の表現の指導を重視している。が、実際に行われている勧誘の談話分析を見ると、2発話～3発話単位のやりとりを考察していることから、「談話の流れ」といっても、非常に細かい単位を扱っているにすぎない。談話の「相互性」を2発話～3発話で捉えていくより、談話の構造を「話段」レベルで捉え、話段における参加者相互の関わり合い方を見るほうが、先に挙げた「談話、会話のレベルでの話し手と聞き手のコミュニケーションの場面に関する全体」が見えてくるのではないだろうか。

また、自然なコミュニケーションを行うためには、談話の全体を形成する骨格部分の発話を捉え、それらに対する「相づち」や「ためらいの表現」をセットにして指導したほうが、はるかに効率的な談話型の指導ができるのではないかと考えられる。

本研究の「談話型」は、談話の全体構造を形成する機能文型を提示によって解明されるものであると考えられる。したがって、参加者相互が、談話の全体的構造にどう関わっているのかを捉えることができ、ザトラウスキー(1986b,1987)よりもダイナミックな観点での「談話型」を提示できるのではないかと考えられる。¹⁹⁾

本研究における「談話型」の定義については、3. 5で述べる。

第3章 本研究における相談の談話の構造分析の方法

3. 1 本研究における「談話」の定義

本研究の分析対象は、ラジオの相談番組、図書館レファレンスの談話、日本語初級および中級教材における「相談場面」の談話である。

まず、ラジオの相談番組の「談話」「大話段」「話段」の定義を述べる。その他の分析対象における「談話」「大話段」「話段」「小話段」については、ラジオの相談番組との相違点を踏まえて説明する。

3. 1. 1 本研究における「談話」「大話段」の定義

ラジオの相談番組の「談話」は、放送一回分とする。『暮らしの電話相談』という番組として、完結されているからである。参加者は、司会者・回答者が各1名、および、2～6名の相談者である。

下位要素の「大話段」は、鈴木(2002)(2003a)(2003b)では、ラジオの相談番組固有の編成上の区分の名称を立て、12種の大話段を設けていた。が、本研究では、番組という、時間的な制約があり、司会者やディレクターのもとで進行される特殊性はあるものの、完結した談話であることを重視し、談話が「開始」し、「展開」し、「継続」し、「終了」する談話の構造を主軸においた名称にした。これは、テレビの相談番組を分析した能田(1994)(1996)の「開始部」「展開部Ⅰ」「展開部Ⅱ」「結尾部」の4種の「大話段」を参考にしたものである。

ただ、本研究のラジオの相談番組は、放送時間内に2回のニュースが挟まる。ニュースは、独立した「談話」であることから、放送1回分の「談話」の中の「談話」ともいえるが、ニュースの前後に、司会者が電話相談の受付を継続している旨や、受付電話番号の案内を行っていることなどを聴取者に向けて伝えていることから、放送1回分の「談話」の中の「大話段」として扱った。

ラジオの相談番組における「大話段」は、以下の5種類である。

I. 番組開始の大話段

I-1. 番組案内の大話段

- I-2. 番組のテーマに関わる一般的解説の大話段
- II. 番組展開の大話段
 - II-1. 電話相談の談話
 - II-2. 電話相談の補足解説の大話段
- III. 番組継続の大話段
- IV. 番組終了の大話段
- V. 別番組 {ニュース・音楽} の大話段

各大話段の定義は、以下の通りである。

「I. 番組開始の大話段」には、「I-1. 番組案内の大話段」と「I-2. 番組のテーマに関わる一般的解説の大話段」の2種がある。

「I-1. 番組案内の大話段」は、司会者が、番組開始を知らせるもので、聴取者に向けて、今日の相談のテーマ、回答者紹介、電話受付時間、電話番号等の紹介を行う。

参加者は、司会者と回答者であるが、回答者は、挨拶をするのみである。

「I-2. 番組のテーマに関わる一般的解説の大話段」は、回答者が、聴取者に、番組のテーマに関連する解説を行う大話段である。

医療相談では、「消化器」「漢方」「呼吸器」など、日によってテーマを定めて放送している。回答者が、聴取者に向けて、それぞれのテーマに関連した一般的な解説を行う。例えば、医療相談の【資料2】「呼吸器」では、「風邪とインフルエンザの違い」、心理相談の【資料4】では、「子どもの心身症の症状と対処法」などである。

参加者は、司会者と回答者で、司会者は、進行役および聞き手になり、回答者が解説を行う。

「II. 番組展開の大話段」は、ラジオの相談番組の談話の中で、中心的な部分を担う。相談者が参加する部分で、最も番組のテーマに即した部分である。「II-1. 電話相談の談話」と「II-2. 電話相談の補足解説の大話段」の2種がある。

「II-1. 電話相談の談話」は、実際に相談者と電話をつなぎ、相談者の電話相談を受け、回答者が回答する大話段である。参加者は、司会者、回答者、相談者である。相談者は、資料によって2名～6名と人数に違いがあり、「II-1. 電話相談の談話」は、相談者の数に伴って反復されることになる。

「II-1. 電話相談の談話」は、直接相談者と電話をつなぐことで、電話相談を開始し、

展開し、終了の挨拶を交わすことで終了する点で、「談話」として完結しているといえること、図書館レファレンスや、日本語教科書・教材の相談の談話との構造上の比較を行うため、本研究では、「談話」と呼ぶ。

「Ⅱ-1. 電話相談の談話」は、参加者の目的と発話機能の分布により、4種の話段に分かれる。「電話相談の談話」における、話段、小話段の定義は、後述する。

「Ⅱ-2. 電話相談の補足解説の大話段」は、すべてに見られるわけではないが、「Ⅱ-1. 電話相談の談話」に後続して成り立つ大話段である。

参加者は、司会者、回答者である。

「Ⅱ-2. 電話相談の補足解説の大話段」は、以下の2種がある。

① 1件の電話相談終了後、先の相談者に対し、また、相談者と似た問題を抱えている聴取者に補足説明を行う。司会者が回答者に質問し、回答者が答える場合と、回答者が、電話相談終了後、似た問題を抱える聴取者に向けて、すぐに解説を加える場合がある。

② 直接電話はつながないものの、個別の相談者の相談内容を司会者が代弁し、回答者が簡単に回答をする相談者が参加しない相談である。医療相談の【資料1】に3件あるのみである。以下は、②の例である。

(例3-1) 「Ⅱ-2. 電話相談の補足解説の大話段」

1510 司 もうおひとかた、アドバイスをお願いします。

1511 司 Oにお住まいのTGさん、64歳の方、ご本人からの、男性からの相談なんですが、

1512 司 大腸の内視鏡検査のグループ3というのはどんなふうに考えればよいのでしょうか//と。

1513 回 うーん。

1514 司 えー、健康診断、地区の健康診断を受けてきて、

1515 司 えー、便の潜血反応が陽性となりました。

1516 司 専門の、おー、病院で、大腸の内視鏡検査を受けて、

1517 司 グループ3というふうに、

1518 司 何度か、あー、その結果が出たということです。

1519 司 主治医の先生からは、1と2は異常なし、

1520 司 4から5は、まあ、あの一、悪性腫瘍だというような説明を受けましたけれども、

うに「Ⅱ-1. 電話相談の談話」は、A～Dの4種の「話段」が認められる。

【表3-1】 相談の談話における3段階の話段の多重構造

	大話段	話段	小話段
相談の談話	I. 番組開始の大話段		
	I-1. 番組案内の大話段		
	I-2. 番組のテーマに関わる一般的解説の大話段		
	Ⅱ. 番組展開の大話段		
	Ⅱ-1. 電話相談の談話	A. 相談開始の話段	
		相談展開の話段	
		B. 相談かけの話段	B-1. 相談提示の小話段
			※ B-2. 相談内容確認の小話段
		C. 相談うけの話段	※ C-1. 回答提供の小話段
			※ C-2. 回答確認の小話段
		D. 相談終了の話段	
	Ⅱ-2. 電話相談の補足解説の大話段※		
	Ⅲ. 番組継続の大話段※		
	Ⅳ. 番組終了の大話段		
	Ⅴ. 別番組（ニュース、音楽）		

※⇒反復する

3. 1. 2 本研究における「話段」「小話段」の定義

本研究の「話段」は、佐久間(1987)(1992)(1992)(2000)の「話段」(「段」)の概念規定を前提にして、さらに「参加者の目的」によって区切られる部分であるとしたザトラウスキ

一(1993)を参考にして立てた拙稿(2003a)に、拙稿(2003a)の発話機能による分析結果を基にした以下の定義を立てる。

「話段」とは、内容上のまとまりを持ち、談話の参加者の目的、発話機能により、他と相対的に区分される部分である。各話段は、参加者の発話機能が異なり、さらに、各話段は、その成立を決定づける発話が1文相当含まれる。

「話段」の他の認定基準としては、話者交替や沈黙が挙げられる。また、「話段」を認定する言語形態的指標は、話段の開始部には、「メタ言語的発話」や、佐久間(2002)の「接続表現の文脈展開機能」のb9「話を変える機能」に代表される接続表現、話題を切り出す際の「あの一」、「なんか」、他の参加者への呼びかけ「～さん」、などがあり、終了部には、b10「話をまとめる機能」、c1「話を終える機能」の接続表現、あいつちの繰り返し、沈黙などが挙げられる。

「小話段」は、「話段」のさらに下位の要素であり、「話段」の成立を支える必須の小話段と、必ずしも不可欠とはいえないが、現れる場合がある副次的な小話段がある。

本研究における4種の話段、4種の小話段と主な参加者は、以下の通りである。

【図3－1】「電話相談の談話」の構造と各話段・各小話段における主な参加者

電話相談の談話の構造	主な参加者
A. 相談開始の話段	司会者・回答者・相談者
相談展開の大話段	
B. 相談かけの話段	各小話段、および資料により、異なる。
B-1. 相談提示の小話段	(医療相談) 司会者／(心理相談) 司会者と相談者
B-2. 相談内容確認の小話段	回答者と相談者
C. 相談うけの話段	回答者と相談者
C-1. 回答提供の小話段	回答者と相談者
C-2. 回答確認の小話段	回答者と相談者
D. 相談終了の話段	司会者・回答者・相談者

大話段の構造と同じく、各相談者の「電話相談の談話」は、開始部、展開部、終了部が存在する。拙稿(2003c)の医療相談では4類6種、および拙稿(2003b)の心理相談では6類9種の「話段」、「小話段」を認定していた。以下に、拙稿(2003b, 2003c)と、本研究の話段・小話段の対照表を示す。

【表3-2】は、本研究における話段・小話段が、拙稿(2003b, 2003c)のどの話段・小話段に当たるのかを示したものである。

拙稿(2003b, 2003c)では、電話相談の編成に重きを置き、参加者の出入りを考慮に入れて、話段・小話段を認定していたため、医療相談と心理相談の各電話相談の展開の異なりが、話段・小話段の名称に違いをもたらし、電話相談そのものの典型的な構造を見出すには足りないものであった。

【表3-2】拙稿(2003b, 2003c)の医療相談・心理相談の「電話相談の談話」における「話段」「小話段」と、本研究における「話段」「小話段」の相違点

拙稿(2003c)医療相談	拙稿(2003b)心理相談	本研究
A. 相談紹介の話段	A. 電話相談開始の話段	A. 相談開始の話段
B. 開始の挨拶の話段	B. 挨拶1の話段	相談展開の大話段
C. 相談の話段	C. 相談紹介の話段	B. 相談かけの話段
C-1. 相談内容確認の小話段	D. 挨拶2の話段	B-1. 相談提示の小話段
C-2. 回答の小話段	E. 相談の話段	B-2. 相談内容確認の小話段
C-3. 回答確認の小話段	E-1. 相談内容確認の小話段	C. 相談うけの話段
D. 終了の挨拶の話段	E-2. 回答の小話段	C-1. 回答提供の小話段
	E-3. 回答確認の小話段	C-2. 回答確認の小話段
	F. 挨拶3の話段	D. 相談終了の話段

本研究では、相談者と電話をつなぎ、司会者・回答者・相談者が挨拶を交わす部分（拙稿(2003c)の医療相談では「開始の挨拶の話段」、拙稿(2003b)の心理相談では、「挨拶1の話段（司会者と相談者が挨拶を交わす）」「挨拶2の話段（回答者と相談者が挨拶を交わす）」を、相談が「開始する」部分であると見なし、「A. 相談開始の話段」とした。

同じく、拙稿(2003c)の医療相談の「終了の挨拶の話段」と拙稿(2003b)の心理相談の「挨拶3の話段」は、司会者・回答者・相談者が挨拶を交わし、電話相談が終了するものであるため、本研究では、「D. 相談終了の話段」とした。

また、拙稿(2003b, 2003c)では、「相談紹介の話段」と「相談の話段」が共通して見られたが、各電話相談において、「相談紹介の話段」「相談の話段」がどのような機能を持つかが不明確であるという点、ラジオの相談番組のみならず、専門的知識を持つ回答者と相談者による相談の談話の基本構造を考察するために、電話相談の談話の構造を再検討した。

相談の談話は、相談者が回答者に相談をかけ、回答者がそれを受けて応えるという部分から成り立っていることから、本研究では、前者を「B. 相談かけの話段」、後者を「C. 相談うけの話段」とする。

拙稿(2003b, 2003c)の「相談紹介の話段」は、医療相談では司会者が代弁し、心理相談では、司会者と相談者による相互行為により、相談内容が回答者とラジオの聴取者に向けて紹介される話段であると定義していた。が、医療相談のように、代弁の形であっても、相談者が相談するという部分であることから、本研究では、「B. 相談かけの話段」の中の「B-1. 相談提示の小話段」とした。

拙稿(2003b, 2003c)において、最も多くの発話数を占める「相談の話段」の各小話段のうち、「相談内容確認の小話段」は、本研究では、「B. 相談かけの話段」の「B-2. 相談内容確認の小話段」とした。「回答の小話段」は、本研究では、「C. 相談うけの話段」の「C-1. 回答提供の小話段」に、さらに、「回答確認の小話段」は、「C-2. 回答確認の小話段」に位置するものと認定した。

以下、本研究における各話段・小話段の定義を述べる。

1. 「A. 相談開始の話段」

司会者と相談者、相談者と回答者が挨拶を交わす。「もしもし?」「こんにちは。」

「よろしくお願いします。」等の発話がある。

2. 「相談展開の大話段」

各「電話相談の談話」の中で、最も中心の部分である。回答者と相談者が情報のやりとりを行う。「B. 相談かけの話段」と「C. 相談うけの話段」の2種がある。

2-1. 「B. 相談かけの話段」

「B. 相談かけの話段」は、談話の展開上、さらに「B-1. 相談提示の小話段」「B-2. 相談内容確認の小話段」の2種の小話段に区分される。

「B-1. 相談提示の小話段」相談者が相談をかける。それに対して、回答者は、「B-2. 相談内容確認の小話段」で相談者の相談内容を確認する。

ラジオの相談番組では、医療相談と心理相談で、「B-1. 相談提示の小話段」の参加者、相談内容の提示のされ方が異なる。

まず、医療相談における「B-1. 相談提示の小話段」には、相談者は参加しない。司会者が相談者の相談内容を代弁する。回答者は、まれにあいづちを打つものの、積極的な参加はしていない。司会者は、相談者の代わりに、600～602 司「で、この一、お一、症状一、お一、について、今後もう少しこの、症状が悪化しないために、日常生活の注意点はどのようにしたらよいのでしょうか、というご質問です。」の下線部で示したような質問を引用して、間接的に相談をかけているといえる。

(例3-3) 「B-1. 相談提示の小話段」

589 司 では、次の方です。

590 司 続いての方、Oにお住まいのTYさん、72歳の方、ご本人からの相談です。

591 司 慢性間質性肺炎についての相談です。

592 司 昨年の暮れ、人間ドックを受けたところ、肺ガンの疑いがあると言われました。

593 司 再検査をしました。

594 司 で、こ一、今年の5月入院して、

595 司 精密検査を受けた結果、慢性間質性肺炎の診断を受けました。

596 司 で、主治医の先生から、3、今後3年間のせい、生存率は50%と言われたよう
です。

- 597 司 初期症状で、3ヶ月ごとの定期、診断を、お一定期受診をしてくださいと言われました。
- 598 司 で、半月前から漢方薬を飲んだり、
- 599 司 あるいは、筋肉強化のために運動も始めました。
- 600 司 で、この一、お一、症状一、お一、について、
- 601 司 今後もう少しこの、症状が悪化しないために、
- 602 司 日常生活の注意点はどのようにしたらよいでしょうか、というご質問です。

【資料2-2】

一方、心理相談の「B-1. 相談提示の小話段」は、司会者と相談者のやりとりで展開する。司会者が、①誰についての相談か、「どなたのご相談ですか？」②話題の人物の学年「お孫さん、何年生ですか？」、家族構成「ご家族を教えてくださいか？」③相談内容の質問「どのようなご相談ですか？」をする。

司会者の①に対し、相談者は、「孫（子ども）のことなんです（けど）。」、②には、「小学校4年生です。」等、③に対しては、夏休みの少し前から、学校へ行かないんです。」等で、相談内容を話し始める。

司会者は、あいづちを打ちながら聞く。

「B-2. 相談内容確認の小話段」は、「C-1. 回答提供の小話段」の前に現れる。回答者が回答を提供する前に、直接、相談者から情報を聞きだす小話段である。回答者の質問と相談者の答えが繰り返される。

相談者が回答者から回答を得た後、さらに確認する小話段である。相談者が質問し、回答者が答える。

2-2. 「C. 相談うけの話段」

「C. 相談うけの話段」は、「B. 相談かけの話段」に対する話段である。「C-1. 回答提供の小話段」と「C-2. 回答内容確認の小話段」の2種が含まれる。

まず、「C-1. 回答提供の小話段」は、回答者が相談者に回答し、相談者が聞く小話段である。回答者が、相談者の現在の症状、状況に対する見解を述べ、原因について、専門的な見地から説明する。さらに、対処法、注意点を述べる。相談者は、あいづちを打ちながら聞く。

「C-2. 回答確認の小話段」は、相談者が、前の「C-1. 回答提供の小話段」で得た回答を確認し、回答者が答える。

3. 「D. 相談終了の話段」

各電話相談が終了する部分であり、相談者の「ありがとうございました。」、司会者や回答者の「お大事に。」「ご参考にどうぞ。」などの発話が見られる。

4種の「小話段」のうち、相談者の「かけ」と回答者の「うけ」の中で、中心を占めるのは、「B-1. 相談提示の小話段」と「C-1. 回答提供の小話段」である。いわば、この2小話段が「B. 相談かけの話段」と「C. 相談うけの話段」中心の対をなしているといえる。

「B-2. 相談内容確認の小話段」と「C-2. 回答確認の小話段」は、「B-1. 相談提示の小話段」と「C-1. 回答提供の小話段」のそれぞれに付随し、「B. 相談かけの話段」と「C. 相談うけの話段」を支えることになる。

3. 1. 3 ラジオの相談番組と他の相談の談話における分析単位の相違点

3. 1. 1, 3. 1. 2に挙げた、「談話」、「大話段」、「話段」、「小話段」のうち、4種の「話段」、4種の「小話段」は、相談の談話の基本構造を示すものである。

日本語教科書および教材、図書館レファレンスの「相談の談話」では、談話の下位要素に「話段」「小話段」が認められる。

4種の「小話段」のうち、相談者の「かけ」と回答者の「うけ」の中心の対は、「B-1. 相談提示の小話段」と「C-1. 回答提供の小話段」である。「B-2. 相談内容確認の小話段」と「C-2. 回答確認の小話段」は、「B-1. 相談提示の小話段」と「C-1. 回答提供の小話段」それぞれに付随し、「かけ」と「うけ」の各話段を支えることになる。

日本語教材、ラジオの相談番組、図書館レファレンスにおける相談の「話段」「小話段」の展開は、4章、5章、6章、7章に述べる。

3. 1. 4 本研究における「発話」の概念規定

「発話」については、杉戸清樹(1983:83)が、「一人の参加者のひとまとまりの音声言語連続（笑い声や短いあいづちも含む）で、他の参加者の音声言語連続（同上）とかポーズ（空白時間）によって区切られる」と定義づけている。

しかし、本研究における「発話」は、他の参加者のひとまとまりの音声言語連続でさえられなくても、一人の参加者の音声言語連続が文の終わりの下降イントネーションや、接続助詞が見られた場合は、一発話とする。特に、二人以上の対話、会話では、一人の参加者の音声言語連続によって、他の参加者が非言語行動であいづちをうつ場合もあるためである。

本研究の分析対象の発話の具体的な認定方法については、3. 3で取り上げる。

3. 2 相談の談話の資料の収集方法

3. 2. 1 ラジオの相談番組の談話の収集方法

本研究のラジオの相談番組の談話は、NHKラジオ第一放送で毎週月曜日から金曜日の午後1時45分から2時55分に放送されている「暮らしの電話相談」である。「暮らしの電話相談」では、以下のように、毎日異なるテーマが設定されている。

月曜日－「年金」

火曜日－「あなたの健康・家族の健康」（毎週、「消化器」「呼吸器」「漢方」等、さらに細かくテーマが絞られる。）

水曜日－「介護 Q&A」

木曜日－「子どもの心相談」

金曜日－「余暇を楽しく」（毎週、「アウトドアについて」「庭木について」等、さらに細かくテーマが絞られる。）

「暮らしの電話相談」では、毎日、聴取者からの電話相談の受付を放送前の午後1時から2時30分まで行っており、相談番組の途中も、アナウンサーが受付時間の告示、電話番号の告示を随時行っている。番組中に取り上げられる聴取者からの相談は、毎日2人から6人程度である。

本研究では、2001年9月18日（火）から11月2日（木）の放送分から、毎週火曜日放送の「あなたの健康・家族の健康」（医療相談）と、毎週木曜日放送の「子どもの心相談」（心理相談）を各3日分ずつの6資料、発話総数11428発話を分析対象とする。発話総数の平均は1904.7発話である。

本研究において、相談番組を録音し、分析するにあたり、分析対象とすることの許可、および、質問をNHKラジオ第一放送のホームページにアクセスしてメールにて行った。

質問は、以下の３点である。

1. 電話受付の際、相談者からの相談事項を書く用紙には、氏名・年齢・住所・電話番号、および、相談内容等の項目があらかじめ立てられているのか。
2. 番組で取り上げる予定であった相談者からの相談が、時間の都合上割愛されてしまう場合はあるのか。その場合、放送終了後、回答者が個別に電話相談に答えるのか。
3. 「子どもの心相談」(心理相談)において、女性アナウンサーは、相談者と挨拶を交わした後、誰の相談であるか(子や孫か)、相談者と本人との関係、本人の家族構成などを聞いた後、具体的な相談内容を尋ねているようであるが、番組ディレクターやアナウンサーとの打ち合わせで、相談者にどんな情報を聞いてから相談内容を説明してもらうかといった段取りをあらかじめ立てているのか。

回答は、NHKラジオセンター午後班のディレクター高橋佳久氏より、ファックスにて頂いた。以下に回答を引用する。(上記３点の質問に対する回答部分には、質問と対応する番号を筆者が付した。)

1. A4の大きさの用紙があり、基本的なことをお聞きするため、名前、住所、電話番号、質問項目、質問内容という項目があらかじめ印刷されており、それにそって、箇条書きで、相談者の基礎的情報を書き込みます。それをコピーして、先生とアナウンサーに渡します。

ですから、先生とアナウンサーは同程度の情報を共有しています。

2. 時間がなくなる場合があるのかということですが、相談者からの質問が続いたり、先生のお答えが長くなった場合には、予定していた方の順番が回ってこないということもあり得ます。ただ、そういうこともあり得るということは、初めに受け付けた時点で申し上げています。

番組終了後に、先生が個別にお答えするという事はやっておりません。

3. 相談者との関係や、家族構成については、アナウンサーがそれを紹介する必要があると判断した場合には紹介していますが、ケースバイケースであると思います。

本研究の分析対象の司会者は、すべて同じ女性アナウンサーである。また、回答者は、そのテーマに対して、専門的な知識を持っており、本研究の分析対象である医療相談では、大学教授や病院の医科部長、心理相談では、病院の院長や心理カウンセラーである。

回答者がすべて一人のみであるという点は、NHKテレビの相談番組を分析した能田(1994)(1996)とは異なる。

次頁の【表3-3】【表3-4】に、本研究の分析対象である、医療相談（【資料1】【資料2】【資料3】）、心理相談（【資料4】【資料5】【資料6】）の放送日時、司会者、回答者名、発話総数、相談件数および、その内訳を示す。²⁰⁾

医療相談番組の3資料【資料1】【資料2】【資料3】の発話総数は、5,649発話であり、平均発話数は、1,883発話である。また、心理相談番組3資料【資料4】【資料5】【資料6】の発話総数は、5,779発話で、平均発話数は、1,926.3発話である。医療相談番組と心理相談番組は、心理相談番組のほうが130発話多い。が、同じ時間に行われている、時間的な制約のある番組である点で、医療相談・心理相談ともに、発話数にはほとんど差がないといってよいと考えられる。

番組中に取り上げられる相談件数は、【資料6】の2件から【資料2】の6件と、やや幅があるが、平均4件である。本研究における電話相談の相談件数は、医療相談は合計15件、心理相談は9件の計24件である。

医療相談は、【資料1】の4件中1件と、【資料3】の5件中3件が、家族からの相談であるが、心理相談は、「子どもの心相談」というテーマからか、【資料5】の1件を除き、8件が、母親や祖母から子どもや孫について相談している。

放送中に、直接相談者と電話はつながない、「相談者不参加」の相談は、【資料1】に3件見られた。が、心理相談では「相談者不参加」の相談は1件もなかった。これは、医療相談では、相談者の症状が、電話受付の際のメモである程度把握でき、相談者と回答者が直接電話で話さなくても回答ができる可能性が高いことを示している。心理相談では、相談内容が個別的であるため、相談者と直接相互行為をとることが、相談内容を把握するために重要であることを示している。また、相談者は、問題を抱えている子どもあるいは孫の近親者であり、近親者自体も、子どもあるいは孫に対して悩みを抱いており、悩みが複雑であると考えられる。

医療相談、心理相談の相談者の年齢・性別・相談内容については、4章、5章で取り上げる。

【表 3－3】 医療相談の談話資料の基礎情報

談話資料	【資料1】	【資料2】	【資料3】	医療相談 の 発話総数	医療相談 の 平均発話数
テーマ	消化器	呼吸器	漢方		
放送日時	2001. 9. 18	2001. 10. 16	2001. 10. 30		
司会者	A. K アナウンサー	A. K アナウンサー	A. K アナウンサー		
回答者	T I 大学名誉教授 Y. Y 氏	T R センター 呼吸器部長 K. K 氏	T 大学 助教授 T. M 氏		
発話総数	1,578発話	1,887発話	2,184発話	5,649発話	1,883発話
相談件数 { 本人の相談 近親者からの相談	4 { 3 1 妻からの相談	6 { 6 0	5 { 2 3 父親からの相談 姉からの相談 母親からの相談	15 { 11 4	相談件数平均 5件
相談者不参加の相談	3	0	1	4	

【表 3－4】 心理相談の談話資料の基礎情報

談話資料	【資料4】	【資料5】	【資料6】	心理相談 の 発話総数	心理相談 の 平均発話数
放送日時	2001. 9. 20	2001. 10. 18	2001. 11. 2		
司会者	A. K アナウンサー	A. K アナウンサー	A. K アナウンサー		
回答者	UM 病院院長 S. T 氏	心理カウンセラー U. R 氏	児童精神科医 S. E 氏		
発話総数	2,016発話	2,151発話	1,612発話	5,779発話	1926.3発話
相談件数 { 祖母からの相談 母親からの相談 本人からの相談	4 { 4 0 0	3 { 0 2 1	2 { 0 2 0	9 { 4 4 1	相談件数平均 3件
相談者不参加の相談	0	0	0	0	

3. 2. 2 日本語教材における「相談」の談話の規定と収集方法

本研究では、初級・中級の日本語教材における相談の談話とラジオの相談番組との相違点を探るため、該当課の学習目標や、学習文型、助言を行う話者が、目上か、専門的知識を持っている医師などであることを条件に、「相談」の談話を抽出した。

日本語教材は、初級と中級が継続して出版されているものを選定した。

初級の日本語教材の相談の談話は6場面、中級の日本語教材は5場面である。

日本語教材における相談の談話は、ラジオの相談番組や、図書館レファレンスの談話との比較を図るため、発話の単位を「節」とし、本研究の談話資料の記述方法に従い、音声テープ等でイントネーションを確認し、表記した。

3. 2. 3 図書館レファレンスにおける相談の談話の収集方法

まず、図書館レファレンスにおける司書と学生の会話を収集した目的は、以下の通りである。

- ①専門的知識を持つ司書と、図書に関わる明確な相談内容を持つ学生との談話は、参加者相互の関係も、始まり、展開し、終えるという談話の構造を持っている点でも、ラジオの相談番組との構造上の比較、参加者の用いる発話の機能の比較等ができる。
- ②ラジオの相談番組のように、相談者が、やや深刻な症状を抱えている談話とは異なり、相談者の相談内容が身体面に関わることでない点で、収集しやすいものである。また、明確な回答が得られる点で、構造上は単純なものであると考えられる。単純な構造の中にも、3. 1で挙げた「話段」「小話段」は顕現していると考えられるため、内容の異なる相談の談話の中で、収集および可能な資料である。

談話の収集にあたっては、早稲田大学中央図書館のご協力を得た。実施日等は以下の通りである。

実施日：2004年7月26日（月）10:00～10:50

協力者：学生3名（女性、日本人2名／韓国人留学生1名）、図書館員2名（女性／男性）

学生3名のうち、【資料7】【資料9】（【資料9】は留学生）には、女性図書館員が対応し、【資料8】には、男性図書館員が対応した。

協力者募集の際の条件²¹⁾：純粋に図書館レファレンスカウンターに相談したいことがある人に限定。細かい相談内容の指示は一切しなかった。

調査の際に使用した機材：ビデオカメラ1台、MD、ICレコーダー、カセットテープレコーダー各1台

調査方法：学生には、次々にカウンターにきてもらった。

同意書：図書館員と学生に、録画・録音終了後、同意書に記入し、提出してもらった。

アンケートの実施：分析・考察の参考にするため、図書館員、学生それぞれに、録画・録音の翌日、アンケートをメールで送り、返答を得た。

【表 3－5】図書館レファレンスにおける相談の談話の発話数と所要時間

資料	相談者と発話数	回答者と発話数	沈黙	発話総数	時間
【資料 7】	日本人母語話者 220 発話	女性 210 発話	15 発話	4 4 5 発話	15 分 21 秒
【資料 8】	日本人母語話者 145 発話	男性 195 発話	5 発話	3 4 0 発話	14 分 16 秒
【資料 9】	外国人留学生 105 発話	女性 108 発話	4 発話	2 1 7 発話	8 分 21 秒

3. 3 相談の談話の文字化の方法

本研究の相談の談話の記述は、ザトラウスキー(1991)(1993)を参考にした、佐久間まゆみ監修(1991)²²⁾、鈴木(1994)の談話資料、さらに、相談の談話資料集を作成した、能田(1994)(1996)、鈴木(2003a)の規則を踏まえた以下の 24 規則で行う。

なお、発話例は、主に【資料 1】【資料 6】から抜粋する。

1. 各発話には発話番号を付け、原則として改行して記す。

2. 発話番号の後に発話者のイニシャルをつける。ラジオの相談番組は、司会者と回答者、相談者の発話を明確にするため、司会者は「司」、回答者は「回」、相談者は「相」とそれぞれ示す。

1503 回 //じゃあ、お//願いしまー//す。

1504 相 はい。

1505 相 はい。

1506 司 はい。

1507 司 どうぞ、お//大事になさってください。

1508 相 どうも、ありがとうございました。

1509 司 はい。

1510 司 お大事にどうぞ。 【資料 1】

371 司 胸の音はよくなったんですけれども、

372 司 胸が苦しい状態、圧迫される感じがありました。

373 司 そして、12日に3回目の受診を受け、

374 司 えー、受診の時に、

375 司 胸のレントゲン検査、と心電図の検査を受けましたが

376 司 特に問題はありません。

【資料2】

3. 接続助詞、連用中止形、「～時に」「～場合」「～前に」「～次に」「～後」などの形式名詞は1発話として扱い、改行する。一人の発話の場合も同様にする。また、ある発話者の発話が、他の発話者の発話によってさえぎられた場合は、さえぎられる前までを1発話として扱い、改行する。

1324 回 えー、喉が渇くとか、

1325 回 はい。

1326 回 あるいはあの一、歯の噛み合わせが悪くて、

1327 相 はい。

1328 回 つい、生唾飲んで//しまったり、

1329 相 はあ。

1330 相 はい。

1331 回 食べ物の中の空気を、//押し出さないで食べてしまったり、

1332 相 はい。

1333 相 はい。

1334 回 ということもあります。

1335 相 はい。

【資料1】

4. 一人の発話の、文の終わりには「。」を、文の途中には「、」を記す。読点は、発話中のポーズに限らず、テキストとしての読みやすさを目安として記す。

606 司 えー、10数年前から、朝方お腹が空いている時に、

607 司 胃のあたりに、不快感を感じます。

608 司 ひどい時は、冷や汗も出るということです。

【資料1】

5. 疑問表現にかかわらず、発話末のイントネーションが上昇している文には「？」をつ

ける。

1443 回 そいで、えー、3 年以降、検査はなさっていないんですね？

1444 相 さ、さあー、えーっと、そう、いや、こと、去年//ですね？

1445 回 あっ、そうですか。

1446 相 大腸、去年やりまし//た、また 3 年目を。

1447 回 あー、そうですか。 【資料 1】

6. 間接話法は、引用内容が明らかに直接話法のようなものだけ、「 」をつけて記す。また、専門用語も「 」内に記す。なお、「 」内にも、規則 3 を適用し、接続助詞や文の終わりは改行する。

1351 相 その一、ちょっと悪くなるー 2, 3 年前頃、

1352 回 はい。

1353 相 けんこ、会社の健康//診断で、

1354 回 はい。

1355 相 あの、「ガスが溜まっています。

1356 相 多いですねー。」って//おっ//しゃいました。

1357 回 うーん。

1358 回 うーん。 【資料 1】

460 回 まあ一般的には、例えば、あー「^{とうきしぎやくかごしゅゆしょうきょうとう}当帰四逆加呉茱萸生姜湯」っていう薬ですね？

【資料 3】

7. 倒置の文は、1 発話として表記する。ただし、倒置された一節が一定の長さを持つ場合は、その一節は別の発話とする。

1443 回 そいで、えー、3 年以降、検査はなさっていないんですね？

1444 相 さ、さあー、えーっと、そう、いや、こと、去年//ですね？

1445 回 あっ、そうですか。

1446 相 大腸、去年やりまし//た、また 3 年目を。

1447 回 あー、そうですか。 【資料 1】

8. 前の発話の途中で重なる形で、次の日との発話が発せられたときは、前の発話中の次の発話が始まった箇所に「//」をつける。次の発話は前の行の「//」の下に記す。

284 司 は//い、どうぞ、お大事になさっ//てください。

285 相 どうも。

286 司 ありがとうございます//ました。

287 回 どうも。 【資料1】

9. あいづちは、前の発話が終わったところのすぐ後の、次の行に記す。

874 司 特に痛みはありません。

875 回 はい。

876 司 便通は順調です。

877 回 はい。

【資料1】

10. 応答表現は行頭に記す。

1670 回 それで一、タバコはもう完全に止められましたか？

1671 相 はい。 【資料2】

11. 前の発話に対するあいづちか判断しかねる間投表現は行頭に記す。

616 回 何を言ってて、

617 回 何をわかってほしいんですかー？

618ー [沈黙]

619 相 うーん。 【資料6】

12. 前の発話者が話しているとき、他の発話者があいづちを重ねて打った場合、前の発話と次のあいづちが重なる箇所に「//」を記し、「//」のすぐ後の、次の行にあいづちを記す。あいづちが複数回連続して発される場合は、その都度改行して記す。

1928 相 「ちゃんと行きなさい。」って言ってるんですけどー、

1929 司 うー//ん。

1930 回 そう。 【資料5】

13. 発話の途中、あるいは発話末の音節を延ばしている場合は、長音を付す。2拍以上延びていると判断された場合は、拍数に応じて長音を記す。

1283 相 あ、まあ、これといって、何かを言ってくるってことは、そんなにはないんですけどもー。

1284 回 うーーん。 【資料6】

14. 1つの発話に続く笑い声は、それが生じる発話の前後に、{笑い} と記す。

490 回 お子さんが何かをこぼしたからですか？

491 回 それとも、お母さんが見てて、

492 回 感じたんですか？

493 相 あ、子どもが、年中 {笑い} こぼすようになって。 【資料6】

15. 独立して発せられる笑い声や、連続して発せられる他の発話者の笑い声は1発話とし、改行して {笑い} と書き、発話番号を記す。

710 相 小さく縮こもって、

711 回 {笑い}

712 相 汗だらけになってねー。 【資料1】

16. 沈黙は、発話番号をつけて、[沈黙] と記す。発話者のイニシャル欄には、「--」と記す。

616 回 何を言ってる、

617 回 何をわかってほしいんですかー？

618ー [沈黙]

619 相 うーん。 【資料6】

17. 相談番組放送時間内に挟まれる、ニュースや音楽は、《 》内に《ニュース》《音楽》と記す。発話者のイニシャル欄には、「--」と記す。ニュースの内容等は、相談番組内の相談内容等に関わらないので、文字化はしない。

306ー 《ニュース》 【資料1】

997ー 《音楽・交通情報・ニュース》 【資料1】

18. 発話は、漢字・仮名交じりの表記にする。ただし、「私」「何か」といった、発音が紛らわしい漢字に際しては、以下のようにする。

18－1. 「私」－「わたし」

「わたくし」「あたし」などは、仮名表記にする。

1554 回 これ、隣のやつも、グループ3だったという意味だ//ろうと//私は思うんですね？

1555 司 あー。

1556 司 はい。

【資料1】

1412 相 わたくしが褒めると、

1413 相 「これも上手？

1414 相 これも上手？」ってやってたんですけどー、

1415 相 うん。

1416 相 今は、「やる？」って聞くと、

1417 相 やん、もう、絶対にやらないっていう感じで//いて。

1418 司 そうですね。 【資料4】

18－2. 「家」－「いえ」

「うち」は仮名表記にする。

1064 司 お宅では、ずっと家にはいらっしゃるわけですね？//お嬢さんは。

1065 相 はい、そうです。

【資料6】

1116 相 まあ、うちの近くだったんですが。

1117 回 はい。

1118 相 はい。 【資料6】

18－3. 「何か」－「なにか」

「なんか」は仮名表記にする。

242 回 だから弱くなってるのも、そう、そうなることによって、

243 回 何かが足りないって教えてる//わけだしー、

244 司 うーん。

245 回 いろんなものが見えてきたら、

246 回 み、見せて、見てちょうだいって言ってるわけだし、

247 回 なん、なんかの、こう、メッセージである、

248 回 なんかの意味である、

249 司 はい。

250 回 そういうふう to 受け取ることができたら、

251 回 それを生かすことができます。【資料 6】

19. 数字は、原則としてアラビア数字で記す。

1001 司 みなさんからの相談の受付は、さきほど、2 時半で終了させて頂きました。

【資料 1】

20. 相談者の氏名は、音声から予想される漢字を当てて記す。

315 司 山口県にお住まいの勝本さん、6 3 歳の方、ご本人からの相談です。【資料 1】

21. わかりにくい読みにはルビをふる。

484 回 「^{そ けいか けつ とう}疎経活血湯」です//ねー。

【資料 3】

22. 文字化の際に、聞き取れなかった部分については、以下の 2 通りをつける。

22- 1. 何を言っているのか全くわからない場合は、(?) をつける。

920 回 また、(?) に、そこには、悪い物ができやすい場所でも//ありますので、

921 司 あー。

922 司 はい。

923 回 なるべく早く、いつ、あの一、医師、えー、お医者さんのところへ行って、

924 回 安心なさるほうがいいと思いますね。【資料 1】

22- 2. 聞き取れたが、明確ではない場合、その部分は、() に補って記す。

1272 回 噛む、うまく噛ん、噛(める)ようになってま//すか。

1273 相 はい。【資料 1】

3. 4 本研究における「発話機能」の定義

本研究では、ザトラウスキー(1993)の「発話機能」12 類のうち、〈談話表示〉〈情報要求〉〈同意要求〉〈情報提供〉を以下の三点の理由から検討し、細分した。また、ザトラウスキー(1993)の〈注目表示〉の下位項目 11 種に関しては、相談の談話に見られる相づち的な発話と考えられるもののみを分類するために、8 種に絞った。

理由 1. 〈談話表示〉に主に含まれる接続表現、特に接続詞は、談話の展開に関わる重要な言語形態的指標となる。特に、本研究で認定する「大話段」「話段」の開始部や終了部にはある種の機能を持つ接続表現が見られると推測される。〈談話表示〉に下位項目を設けることにより、談話の構造が明確に解明されと考えられる。

理由 2. 従来の〈情報要求〉には、多くの発話が分類され、〈同意要求〉との差を明確に表せていなかったと考えられる。本研究では、〈情報要求〉と〈同意要求〉を国立国語研究所(1960)の「③・1 質問的表現」の下位項目 4 種に分けることにより、どのような〈情報要求〉の表現がどの話段に見られるかが明らかになると思われる。特に、「B-2. 相談内容確認の話段」における回答者の〈情報要求〉のタイプや、「C-2. 回答確認の話段」における相談者の〈情報要求〉のタイプにどのような差異が見られるかが解明されると、相談の談話の典型的な〈情報要求〉の型が明らかになると考えられる。

理由 3. 従来の〈情報提供〉にも、多くの発話が分類されていた。本研究では、〈情報提供〉にも下位項目を設ける。〈情報要求〉の各下位項目との組み合わせや、形式との対応関係を明らかにすることができ、相談の談話における各話段の性質が明らかになるとと思われる。

本研究では、3. 1. 4 の認定基準により、「発話」を認定し、すべての「発話」を下記の 5 類 40 種の発話機能に分類した。特に実質的な発話の機能に関しては、他の参加者のあいづち的な発話をはさまるため、同じ機能の発話が、複数の発話にまたがることが多い。また、あいづち的な発話に代表される「V. 受容」の機能は、前後の他の参加者の実質的な発話によって決まるため、前後の文脈を見ながら発話を分類することになる。

本研究の「発話機能」の用例と定義は以下のとおりである。用例は、主に医療相談の「呼

吸器」についての相談【資料2】から採った。

【表3-6】本研究における発話機能

I. 相手に対する呼びかけや、自身の発話に含まれる間投表現	
1 注目要求☆	2 間投表現
II. 談話表示★	
A 話題開始機能	
a1 話を始める機能	a2 話を再び始める機能
B 話題継続機能	
b1 話を重ねる機能	b2 話を深める機能
b3 話を進める機能	b4 話をうながす機能
b5 話を戻す機能	b6 話をはさむ機能
b7 話をそらす機能	b8 話をさえぎる機能
b9 話を变える機能	b10 話をまとめる機能
C 話題終了機能	
c1 話を終える機能	c2 話を一応終える機能
III. 要求	
1 確認要求＊	2 判定要求＊
3 選択要求＊	4 説明要求＊
5 単独行為要求☆	6 共同行為要求☆
7 言い直し要求☆	
IV. 提供	
1 事実報告	2 意見説明
3 感情表出	4 意志表明
5 選択情報提供	6 言い直し☆
7 応答	
V. 受容	
1 関係作り・儀礼☆	2 自己注目表示☆
3 相手への注目表示	
a 継続 b 承認 c 否認	
d 確認 e 興味 f 共感	
g 終了 h 同意	

「II. 談話表示」の下位項目14種(★)は、佐久間(2002)の「接続表現の文脈展開機能」による。

「III. 要求」の下位項目7種のうち、＊で示した4種は、国立国語研究所(1960)による。

☆で示した〈単独行為要求〉〈共同行為要求〉〈言い直し要求〉、V. 提供の〈言い直し〉、およびVI. 受容の〈関係作り・儀礼〉、〈自己注目表示〉は、ザトラウスキー(1993)による。

I. 相手に対する呼びかけや、自身の発話に含まれる間投詞的表現

実質的な発話に付随し、発話の順番を取ったり、IIの〈談話表示〉に付随したりして、談話内の展開に関わる言語的指標の一部を担う。

I-1 注目要求－「呼びかけ」の類（ザトラウスキー(1993:67)）

(例1) 383 司 服部さん? (【資料2-1】)

(例2) 750 相 これねー, 先生, (【資料2-2】)

I-2 間投表現

(例3) 462 回 それでー, あの一確かに一番最初はですねー,

(例4) 464 回 えー, 風邪のようですよ, 症状はね? (【資料2-1】)

II. 談話表示

談話の構造, 話段の展開を探るために, 「接続表現」や, メタ言語的な発話を佐久間まゆみ(2002:168)の「接続表現の文脈展開機能」3類14種に分類する。それぞれの機能の定義は, 次頁に引用する。

(例5) 702 回 それから一たばこは止めていらっしゃいますか?

(b1 話を重ねる機能: 【資料2-2】)

(例6) 358 司 では, 初めの方です。

(b9 話を変える機能: 【資料2-1】)

III. 要求

従来の〈情報要求〉〈同意要求〉を国立国語研究所(1960)の「③・1 質問的表現」の4種の下位項目に依拠して分類した。また, III-5〈単独行為要求〉III-6〈共同行為要求〉III-7〈言い直し要求〉は, ザトラウスキー(1993)に依拠し, 以下の7種に分類する。

以下, 用例を挙げる。それぞれの要求の機能の発話には実線を付す。III-1~III-4 に関しては, 相手の応答も含めて記す。相手の応答は, 点線を付して示す。

III-1 〈確認要求〉

自己の判断について, 相手に確認を求める表現で, 文末に「ネ」「ナ」などの終助詞を伴うもののほか, 「〜デショウ?」「〜ジャナイ?」「〜ジャナイカ?」などの文末助辞を伴うものがある。相手の〈応答〉, あるいは, 〈応答〉+〈事実報告〉の発話が来る。

(例7) 611 回 あの一, 慢性間質性肺炎であると, あの一, 言われたわけですねー。

612 相 はい, そうござい(ます)。〈応答〉+〈事実報告〉

(例8) 623 回 でー, 現在その慢性間質性肺炎については特別な治療は
して, いない//ということですね?

624 相 はい。 〈応答〉 (【資料2-2】)

【表 3－7】佐久間まゆみ(2002:168)「接続表現の文脈展開機能による分類」

文脈展開機能	定義	接続類型 市川孝(1978)	接続表現の例
A 話題開始機能			
a 1 話を始める機能	話を最初から始める。	転換型	ソレデハ・デハ・ジャ ア
a 2 話を再び始める機能	前と違う話を途中から始める。	転換型	サテ・トコロデ・デ
B 話題継続機能			
b 1 話を重ねる機能	前の話を繰り返し、同じ話を続ける。	添加型／対比型 ／補足型	ソシテ・サラニ／マタ ハ／ナオ
b 2 話を深める機能	前の話を言い換えて説明する。	同列型／補足型	タトエバ・スナワチ／ ナゼナラ
b 3 話を進める機能	前の話の結果や反対の話を述べる。	順接型／逆接型 ／対比型	ソコデ／ケレドモ・ガ ムシロ
b 4 話をうながす機能	話が先へ進むように相手をうながす。	添加型／順接型	ソレカラ／ソレデ・ デ・ダカラ
b 5 話を戻す機能	一度それた話を再び元の話に戻す。	転換型	トコロデ／サテ・ソモ ソモ
b 6 話をはさむ機能	前の話に関連する別の話をさし込む。	順接型／逆接型 ／補足型	ダカラ／ダケド・デモ ／タダ
b 7 話をそらす機能	前の話を避けて、違う話をする。	転換型／補足型	デ／タダ・モットモ・ チナミニ
b 8 話をさえぎる機能	相手の話を続けさせないようにする。	逆接型／補足型	デモ・ダケド・シカシ ／ダッテ
b 9 話を変える機能	前の話を切り上げて、違う話をする。	転換型／逆接型 ／補足型	トコロデ・ジャ／シカ シ／実ハ
b 10 話をまとめる機能	前の話をまとめて、しめくくる。	同列型／順接型 転換型	要スルニ／従ッテ・ユ エニ／トニカク
C 話題終了機能			
c 1 話を終える機能	話をすべて完了する。	順接型／転換型	コウシテ・トイウワケ デ／ソレデハ・ジャア
c 2 話を一応終える機能	前の話を途中で切り上げる。	順接型／転換型	ダカラ・ソコデ・デ／ デハ・ジャ

佐久間まゆみ(1992)「接続表現の文脈展開機能」参照

佐久間まゆみ(2002)「3 接続詞・指示詞と文連鎖」『複文と談話』pp.119～189, p.168

(表 3. 2「接続表現の文脈展開機能による分類」より)

Ⅲ-2 〈判定要求〉

相手に肯定か否定かの判定を求める表現。相手の応答としては、〈応答〉、〈応答〉＋〈事実報告〉の発話が来る。

(例 9) 1669 回 それで一、タバコはもう完全に止められましたか？

1670 相 はい。〈応答〉 (【資料 2－6】)

(例 10) 1156 回 雨が降って//いた。

1157 相 いえ。〈応答〉 (【資料 6－2】)

(例 11) 1643 回 で、鼻は悪いですか？

1644 相 ええ、あの、鼻水も出ます。〈応答〉＋〈事実報告〉 (【資料 2－6】)

(例 12) 1646 回 蓄膿症と言われていることはありますか？

1647 相 それは、な、言われたことないですけど。〈否定〉＋〈事実報告〉
(【資料 2－6】)

Ⅲ-3 〈選択要求〉

AかBかを提示し、相手に選択させる表現。相手の応答としては、〈選択情報提供〉の発話が来る。

(例 13) 490 回 お子さんが何かをこぼしたからですか？

491 回 それとも、お母さんが見てて、

492 回 感じたんですか？

493 相 あ、子どもが、年中 {笑い} こぼすようになって。〈選択情報提供〉
(【資料 6－1】)

Ⅲ-4 〈説明要求〉

「特定の時・所・人などをさだめえない」「不定詞」を含み、「その内容を説明すること」を相手に求めるもの」である。(国立国語研究所(1960:116))

相手の応答としては、〈事実報告〉の発話が来る。

(例 14) 440 回 食欲はどうですか。 (【資料 2－1】)

441 相 今はあります。〈事実報告〉

(例 15) 1673 回 いくつから吸い始めましたか？ (【資料 2－6】)

1674 相 25 ぐらいから吸いました。〈事実報告〉

(例 16) 1675 回 で一、止められたのはいつですか？

1676 相 6，うんと一，1 年半になります。〈事実報告〉

1677 司 はあ。

1678 回 一番吸った時で何本ですか。

1679 相 うーん，50 本ぐらい。〈事実報告〉 (【資料 2－6】)

(例 17) 298 司 どなたの相談でしょうか。

299 相 えっと一，中学 2 年の男子です。〈事実報告〉 (【資料 6－1】)

Ⅲ-5 〈単独行為要求〉

話し手が参加しない，聞き手単独の行為を求める発話で，「依頼」・「勧告」・「命令」等がある。(ザトラウスキー(1993:68))

(例 18) 1807 回 それは，あの，主治医の先生にちょっと相談してみてください。

(例 19) 1818 回 主治医の先生に，ちょっと相談してみてくれますか？

(2 例とも【資料 2－6】)

Ⅲ-6 〈共同行為要求〉

「勧誘」等のように，話し手自身も参加する行為への参加を求める発話である。(ザトラウスキー(1993:68))

本研究の分析対象のうち，特に相談者と回答者の相互行為には〈共同行為要求〉は見られなかった。司会者の番組進行上の発話に以下のような発話が見られたが，11 回で，回答者による，〈承認の注目表示〉の「はい。」があるため，10 司が「一緒に何かをしましょう」という意味の〈共同行為要求〉の発話になったものと解される。

(例 20) 9 司 では，お電話たくさん，い，頂いてますので，〈事実報告〉

10 司 早速，相談に参りましようか。

11 回 はい。〈承認の注目表示〉 (【資料 1】)

Ⅲ-7 〈言い直し要求〉

先行する発話がうまく聞き取れなかった場合の発話である。(ザトラウスキー(1993:68))

〈言い直し要求〉の後，IV-6〈言い直し〉の発話が来る。

- (例 21) 1671 回 それまでは、いちば、いくつから吸い始めました？〈説明要求〉
 1672 相 えっ？ 〈言い直し要求〉
 1673 回 いくつから吸い始めましたか？〈言い直し〉
 1674 相 25 ぐらいから吸いました。〈事実報告〉 (【資料 2－6】)

IV. 提供

IV-1 〈事実報告〉

名詞文、動詞文が代表的なものである。

- (例 22) 1 司 1 時 45 分になりました。〈事実報告〉
 2 司 ここから、2 時台にかけては、「暮らしの電話相談」です。〈事実報告〉
 3 司 毎週火曜日は、「あなたの健康・家族の健康」__ 〈事実報告〉
 4 司 で、今日は、呼吸器についての電話相談を致します。
 〈b1 話を重ねる機能〉＋〈事実報告〉
 5 司 みなさんからの相談にお答え頂きますのは、東京都老人医療センター呼吸器部長の KK さんです。〈事実報告〉 (【資料 2】)

なお、Ⅲ-1〈確認要求〉、Ⅲ-2〈判定要求〉に対する〈事実報告〉は、後述するⅣ-7〈応答の発話と共起することが多い。

Ⅲ-1〈確認要求〉に対する〈応答〉＋〈事実報告〉は、(例 7) 612 相「はい、そうでございます。」Ⅲ-2〈判定要求〉に対する〈応答〉＋〈事実報告〉は、(例 12) 1647 回「それは、な、言われたことないですけど。」があたる。

Ⅲ-2〈判定要求〉に対する〈応答〉と〈事実報告〉の発話

以下の用例は、1191 回の〈判定要求〉に対して、1192 相の〈応答〉を示す発話に続いて、1193 相,1194 相,1196 相,1197 相,1198 相で、詳しく事実を説明している。1194 以降の相談者の 5 発話は、1191 回に対する応答と見なして、要求に対する〈事実報告〉の提供の発話とする。

- (例 23) 1191 回 で、すこーし、お痩せになられたんですか？
 〈b1 話を重ねる機能〉＋〈判定要求〉
 1192 相 そうなんですよ。 〈応答〉

- 1193 相 それがね、もう、あの、ずーっ、大体50キロを維持してたんですが、
 〈事実報告〉
- 1194 相 ここ、もう、えーっと、5年6年ぐらいは、もう、毎年人間ドック行く
度に、
 〈事実報告〉
- 1195 回 ええ。
 〈継続の注目表示〉
- 1196 相 もう、2、3キロずつ減ってくるんですよ。
 〈事実報告〉
- 1197 相 で、今は、背は高いですのに、
 〈事実報告〉
- 1198 相 4.5キロぐらいまで痩せて。
 〈事実報告〉
- 1199 回 はあ、そうですか。〈承認＋確認の注目表示〉
- 1200 相 はい。 〈同意の注目表示〉

Ⅲ-4 〈説明要求〉に対する〈事実報告〉

- (例 24) 1796 回 1回に吸入する量は？ 〈説明要求〉
- 1797 回 なんか、何回吸入してますか？ 〈説明要求〉
- 1798 相 1回ずつやってます。 〈事実報告〉 (【資料2－6】)

Ⅳ-2 〈意見説明〉

自らの意見を表す発話であり、文末には、「～と思います。」が来ることが多い。また、「わかりました。」等の発話もここに含まれる。

以下の(例 25)は、前述のⅢ-3 〈選択要求〉の例として挙げた(例 13)の続きの部分である。
 501 相が、498 回、500 回の〈確認要求〉に対する〈意見説明〉である。

- (例 25) 498 回 ということは、彼は、やめ、辞めることについては一、
 〈b2 話を深める機能〉＋〈確認要求〉
- 499 相 はい。
 〈継続の注目表示〉
- 500 回 それでよかったんでしょうか？ 〈確認要求〉
- 501 相 よかったと思います。 〈意見説明〉
- 502 回 ふんふん。〈承認の注目表示〉 (【資料6－1】)

IV-3 〈感情表出〉

他の発話者の要求に対し、自らの感情を表す発話であり、文末に「～たほうがいいです。」が来ることが多い。

以下の用例の〈感情表出〉は、784回の発話である。

(例 26) 780回 歩くこと、歩くだけではしかし、上肢の運動にはなりませんので、

〈b3 話を進める機能〉＋〈事実報告〉

781 相 はい。

782 回 あのー、上肢の運動をまあ、少し入れられてですね、

〈間投詞的表現〉＋〈意見説明〉

783 相 はあ。

784 回 あんまり負担にならないくらいの運動はされた方がいいんじゃないでしょう//か。 〈感情表出〉

785 相 あー、そうですか。 (【資料 2－2】)

IV-4 〈意志表明〉

要求に対し、自らの意志を表明する。「～したい」等が文末につく。

以下の(例 26)は、回答者の 49 回の〈説明要求〉に対して、相談者が、50,52,53,55 および 58 で〈事実報告〉をする。56 は、「太りたい」という意志がこめられているため、要求に対する〈意志表明〉の発話となる。

(例 27) 49 回 これ、生活上何か変わったことはございませんですか？ 2 年半、前のころ。

〈説明要求〉

50 相 えーつとですね、 〈間投詞的表現〉

51 回 ええ。

52 相 えー、2 年半前って言いますとですね、〈間投詞的表現〉＋〈事実報告〉

53 相 あのー、トレーニングジムに行ってたんですよ。

〈間投詞的表現〉＋〈事実報告〉

54 回 ええ。

55 相 それでですね、あのーまあ痩せ柄ですので、

〈b1 話を重ねる機能〉 + 〈間投詞的表現〉 + 〈事実報告〉

56 相 少しふ、太りたいと思ひましてですね？ 〈意志表明〉

57 回 はい。

58 相 ちょっとあの一、補助食品なんかを食べていたんですね？

〈間投詞的表現〉 + 〈事実報告〉

59 回 はい。

(【資料 1 - 1】)

IV-5 〈選択情報提供〉

上記Ⅲ-3 〈選択要求〉に対してのみ現れる。(例 13)の 493 相の発話がこれに当たる。

IV-6 〈言い直し〉

〈言い直し〉は、〈言い直し要求〉に先行する発話を繰り返す、あるいは、多少言い換えてもう一度述べる形の応答である。(ザトラウスキー(1993:68))

前述のⅢ-7 〈言い直し要求〉に対する応答の発話である。(例 21)の 1673 回「いくつから吸い始めましたか？」(【資料 2 - 6】)が、〈言い直し〉の発話にあたる。

IV-7 〈応答〉

相手の要求に対する肯定の発話。Ⅲ-1 〈確認要求〉Ⅲ-2 〈判定要求〉に対して用いられる。〈応答〉の発話は、単独で用いられることもあるが、〈事実報告〉の発話と共起して現れることが多い。

前述のⅢ-1 〈確認要求〉の(例 8)の 624 回「はい。」(【資料 2 - 2】)や、Ⅲ-2 〈判定要求〉の(例 9)の 1670 回「はい。」(【資料 2 - 6】)がこれにあたる。

V. 受容

本研究では、拙稿(2003a)で「非実質的な発話」としていた項目を「受容」に名称変更した。「受容」という用語は、ザトラウスキー(1997)の用語にならった。が、ザトラウスキー(1997)とは、〈注目表示〉の下位項目の扱いと意味に関して以下の点が異なる。

- ①ザトラウスキー(1993,1997)では、〈注目表示〉の下位項目に〈自己注目表示〉を加えていたが、拙稿(2003a)および本研究では、〈自己注目表示〉と〈相手注目表示〉に

分類し、受容がどの参加者に向いているかを分けた。

- ②〈相手注目表示〉の下位項目は、ザトラウスキーの注目表示の下位項目のうち、あいづち的な発話に絞り、特に相談の談話に現れるであろうと推測される、8項目に絞って分類した。あいづち的な発話に絞ったのは、前の実質的な発話を受容したなんらかの反応に限定して分類するのが、「要求」「提供」との対応関係を見るのに適していると判断したからである。

以下、V-1〈関係作り・儀礼〉、V-2〈自己注目表示〉V-3〈相手注目表示〉の定義を述べる。

V-1 〈関係作り・儀礼〉

(ザトラウスキー(1993:68))〈関係作り・儀礼〉 「感謝」、「陳謝」、「挨拶」等の良い人間関係を作る(中田(1991a))。

〈関係作り・儀礼〉の発話は、本研究の分析対象においては、番組開始および終了時の司会者と回答者の挨拶や、電話相談の際の司会者と相談者との開始の挨拶、回答者と相談者による挨拶、司会者、回答者、相談者の電話相談終了時の挨拶等に見られる。

(例 28) 6 司 木田先生よろしくお願い致します。〈注目要求〉 + 〈関係作り・儀礼〉

7 回 よろしく申し上げます。〈関係作り・儀礼〉 (【資料 2】)

(例 29) 1138 司 太田さん? 〈注目要求〉

1139 回 はい。

1140 司 はい、こんにちは。〈確認の注目表示〉 + 〈関係作り・儀礼〉

1141 司 お//待たせ致しました。〈関係作り・儀礼〉

1142 回 お世話になりますー。〈関係作り・儀礼〉

V-2 〈自己注目表示〉

自分で自分の発話に相づちを打つ。

以下の(例 29)では、871 相から回答者が回答を行おうとしているが、875 回で、〈自己注目表示〉の「あっ、」の後、相談者に聞いていなかった質問を行っている。875 回「あっ、」は、ザトラウスキー(1993:70)の〈気づきの自己注目表示〉である。

(例 29) 871 回 あの一、H J さんねー、

872 相 はい。

873 回 あのー、おそらくね？

874 相 はい。

875 回 あのー、あっ、H J さん、タバコは吸っていらっしやらないんでしょ？

876 相 あっ？

877 回 今までタバコを吸ったことはありますか。

878 相 はい、ございません。 (【資料 2】)

V-3 〈相手への注目表示〉

a. 〈継続の注目表示〉

先行する発話に暗示された意味を認めないまま、単に話を継続させる。(ザトラウスキー(1993:70))

下記の 690 相がこの発話にあたる。

(例 30) 689 回 で、注意すべきことはですね、

690 相 はい。

691 回 あのー大体先程お話した、

692 回 風邪で悪くなるんですよ。

693 相 はーはー。 (【資料 2】)

b. 〈承認の注目表示〉

先行する発話に暗示された意味を認める。(ザトラウスキー(1993:70))

前掲の 693 回「はーはー。」が〈承認の注目表示〉である。

c. 〈否認の注目表示〉

ザトラウスキー(1993:70)で、〈否定の注目表示〉という名称であったが、本研究では、のIV-7〈応答〉と区別するため、〈否認の注目表示〉とした。

先行する発話に対し、否定の反応を示す発話であり、180 回「うーん、」がこれにあたる。

(例 31) 179 相 薬はもうできるだけ飲まないようにしてる//んですけど。

180 回 うーん、逆に飲まないといー。

181 回 例えば今あなたに申し上げたことは、

182 回 あなたの消化力、に、食べた量がおいつい、多すぎるんですよ。

(【資料 2-1】)

d. 〈確認の注目表示〉

先行する発話の繰り返しによる確認、または、そこから導かれる結論を確認する。(ザトラウスキー(1993:70))

b. 〈承認の注目表示〉とともに発せられる「あー、そうですか。」の「そうですか。」が〈確認の注目表示〉である。

(例 32) 885 回 乳がんの手術をされた、

886 相 はい。

887 回 後遺症というふうに考えていいと思いますね。

888 相 **そうですか。**

(例 33)

989 回 つまり、12 時間は、吸って頂いたほうがいいと思いますねー。

990 相 あー、**そ**

うですかー。〈承認＋確認の注目表示〉

e. 〈興味 of 注目表示〉

興味や関心を示す。(ザトラウスキー(1993:70))

(例 34) 140 回 例えば、鼻とかですね、

141 回 あるいは喉とかというレベルは、風邪とかって//いつてるわけですねー。

142 司 **ふーん。**

143 司 はい。

(【資料 2】)

f. 〈共感の注目表示〉

相手と同じ感情をいだいていることを示す。(ザトラウスキー(1993:70))

(例 35) 1453 相 あの、心//も少し、こう、//あの、前向きになってきたのかなー//てい

1454 回 そうですね？

1455 回 そうですね？

1456 回 そうですね？ （【資料6-2】）

793 司 はい。

917 相 はい。

90

要求〉Ⅲ-7〈言い直し要求〉の7種、「提供」系Ⅳ-1〈事実報告〉Ⅳ-2〈意見説明〉Ⅳ-3〈感情表出〉Ⅳ-4〈意志表明〉の4種の「機能文型」を提示する。

本研究の「機能文型」の「機能」は、発話機能の有する「機能」のことであるが、発話機能による発話の分類から形式を分類し、佐久間(2006:2)の「機能文型」の定義による『意味』と『形式』の結びつきにより生じるものである。

また、相談の「談話型」とは、相談の談話が開始し、展開し、終了するという全体的構造に不可欠の「機能文型」の組み合わせによるパターンのことである。

3. 4で挙げたように、「提供」系は7種あるが、本研究では、Ⅳ-5〈選択情報提供〉、Ⅳ-6〈言い直し〉、Ⅳ-7〈応答〉の3種を除いた、Ⅲ-1〈事実報告〉、Ⅲ-2〈意見説明〉、Ⅲ-3〈感情表出〉、Ⅲ-4〈意志表明〉の4種について、「文型」を提示する。Ⅲ-1〈事実報告〉、Ⅲ-2〈意見説明〉、Ⅲ-3〈感情表出〉、Ⅲ-4〈意志表明〉の4種に多くの発話が含まれること、また、「要求」系と「提供」系の対応関係を全体構造の中で捉えるためには、4種の「文型」を明らかにすることが先決であろうと考えたからである。

本研究における「機能文型」は、提題表現＋叙述表現の「文」の型であり、主に文末叙述表現によって認定した。

本研究における日本語初級・中級教材、ラジオの医療相談番組、心理相談番組、図書館レファレンスの談話における「要求」系7種、「提供」系4種の「機能文型」は、以下の通りである。

相談の談話の「要求」系に見られた文型は全 62 種、「提供」系に見られた文型は全 47 種、全体として 109 種の文型が見られた。各発話機能の「機能文型」の数は以下の通りである。

「要求」系の機能文型数

Ⅲ-1〈確認要求〉16 種

Ⅲ-2〈判定要求〉9 種

Ⅲ-3〈選択要求〉1 種

Ⅲ-4〈説明要求〉13 種

Ⅲ-5〈単独行為要求〉15 種

Ⅲ-6〈共同行為要求〉1 種

Ⅲ-7〈言い直し要求〉7 種

「提供」系の機能文型数

Ⅲ-1 〈事実報告〉 7 種

Ⅲ-2 〈意見説明〉 27 種

Ⅲ-3 〈感情表出〉 4 種

Ⅲ-4 〈意志表明〉 9 種

なお、文型の記述方法は、早稲田大学日本語研究教育センター編(2006)の凡例に従った。

以下、本研究の各発話機能による機能文型を挙げる。

まず、「要求」系の「機能文型」は、以下の通りである。

Ⅲ-1. 〈確認要求〉は、「～トイウワケデスネ？」や、「～トイウコトデスカ。」等、相手が前に言ったことなどを引用して確かめたり、「デスネ?」「デスヨネ?」「デショウカ。」を伴うものが含まれる。

Ⅲ-1 〈確認要求〉	Ⅲ-1-	1	N/V{ル/タ} (トイウ) ワケデスネ?
	Ⅲ-1-	2	Nガ {V/Ai/An} トイウコトデスカ {。/?/ネ?}
	Ⅲ-1-	3	N1/V { (ル/タ) /Ai/An/N2} ンデス {ネ?/ヨネ?}
	Ⅲ-1-	4	N1 {ガ/ハ} {Anナ/Ai/N2} デス {ネ?ヨネ?}
	Ⅲ-1-	5	Nハ {V/Ai/An/} タコトモナイ。(デスネ?)
	Ⅲ-1-	6	N {ハ/ガ} V {マス/マシタ} ネ?/ヨネ?
	Ⅲ-1-	7	(φハ) デスヨネー。/ネエ。/ネ?/ソウデスネ?
	Ⅲ-1-	8	N1ハ {V/An/Ai/N2} ンジャナイデスカ?
	Ⅲ-1-	9	(N1ハ) N2デス {カ/ネ}。
	Ⅲ-1-	10	N/V {ル/タ} デショウ?
	Ⅲ-1-	11	N/V マスデショウカ。
	Ⅲ-1-	12	N/V ンデスカネ。
	Ⅲ-1-	13	N/V ルミタイヨネ?
	Ⅲ-1-	14	NヲV {タラ/テモ/タホウガ} イイン {デスネ?/デショ?} ・N1ハN2デイデショウカ。
	Ⅲ-1-	15	N/V {ル/タ} ンデショウカ。
	Ⅲ-1-	16	N/Ai デスカ?

Ⅲ-2 〈判定要求〉の6文型は、「ヨネ?」「ネ?」を伴うものが含まれたⅢ-1 〈確認要求〉

とは異なり、「～カ？」で終わるものである。

Ⅲ-2〈判定要求〉	Ⅲ-2-	1	NハV {マス/マシタ} カ?
	Ⅲ-2-	2	N1ハ {N2/Ai/An} デスカ。
	Ⅲ-2-	3	NハVンデスカ。・N1ハ {An/N2} ナノデショウカ。
	Ⅲ-2-	4	Nハアリマス {カ/ネ} ?
	Ⅲ-2-	5	NハV {ル/タ} ワケデスカ。
	Ⅲ-2-	6	NハVデマスカ?
	Ⅲ-2-	7	NハVタコト (ガ) アリマスカ?
	Ⅲ-2-	8	NハVルヨウデスカ。
	Ⅲ-2-	9	(φハ) Vテ (モ) イイデスカ?

Ⅲ-3〈選択要求〉は、1文型のみである。

Ⅲ-3〈選択要求〉	Ⅲ-3-	1	N1ハ {V/Ai/An/N2} デスカ? (ソレトモ/アルイハ/φ) N3デスカ?
-----------	------	---	---

Ⅲ-4〈説明要求〉は、疑問詞を伴うものである。Ⅲ-4-4「イカガデショウカ。」は、ある程度の回答をしたあと、回答者が相談者に回答が終了したことを暗にたずねるものである。

Ⅲ-4〈説明要求〉	Ⅲ-4-	1	何カ (Vタコトハ) アリマスカ?/アリマセンカ?
	Ⅲ-4-	2	Nハ {ナンカ/何ニ/イクツカラ/イツ/ドウ/ドンナN2ヲ} V {マスカ?/マシタカ?/デマスカ?/デマシタカ?}
	Ⅲ-4-	3	N {ハ/トイウノハ} . {ドウ/イツ/ナン/ドッチ/イクツ/ドコ/ドウイウコト/ドンナコト/ドノクライ/何年生/何本/何時ゴロ/何号} {デスカ?/デス?/デシタカ?/ナンデショウ} .
	Ⅲ-4-	4	イカガデショウカ。
	Ⅲ-4-	5	Nハ. {ドウ/ドンナフウニ/何回/何種類/ドノ程度} Vテ {マスカ?/ルンデショウカ。}
	Ⅲ-4-	6	何ヲVテホシインデスカ?
	Ⅲ-4-	7	ドンナ (ドノヨウナ. ドウイウ) Nデスカ?/Nデシタカ?/Nデショウカ。
	Ⅲ-4-	8	ドンナNガV{デスカ?/Vノデショウカ?/Vデマスカ?}
	Ⅲ-4-	9	ドノアタリガVマスカ?
	Ⅲ-4-	10	ドナタノNデショウカ。
	Ⅲ-4-	11	ドウV {タインデスカ?/タンデスカ?}
	Ⅲ-4-	12	ドウ (イウフウニ) Vタライイデショウカ。
	Ⅲ-4-	13	N1ガVルノハ. ドウシデスカ?

Ⅲ-5〈単独行為要求〉は、14 種ある。「Vテクダサイ。」のように、行為を直接要求することがわかる文型と、Ⅲ-5-5「Vテイタダイテ。Vテイタダクト。」等のように、婉曲的に行為を要求するものもある。Ⅲ-5-5「NヲVテミマショウネー。」は、「一緒に努力してみましようねー。」という例が談話の中にあり、型としては、Ⅲ-6〈共同行為要求〉のように見える。が、文脈上、Ⅲ-5〈単独行為要求〉であると判断できるものである。

Ⅲ-5 〈単独行為要求〉	Ⅲ-5-	1	NヲVテクダサイ（ネ）。
	Ⅲ-5-	2	NヲVテミテクダサイ。
	Ⅲ-5-	3	NヲVテミテクレマスか？/Vテミテイタダケマスか？
	Ⅲ-5-	4	NヲV {テハ/タラ/テミタラ} {ドウ/イカガ} デショウカ（ネ）。
	Ⅲ-5-	5	NヲVテイタダイテ。/Vテイタダクト。/Vテイタダケルトカ。
	Ⅲ-5-	6	NヲVテイタダケレバ/テイタダキタイト（ ϕ /ト思ウ。思イマスケド）
	Ⅲ-5-	7	オ願イシマス。
	Ⅲ-5-	8	NヲVテイタダケ/モラエマスか？（ネ）
	Ⅲ-5-	9	NヲVテアゲテ。（クダサイ）
	Ⅲ-5-	10	NヲVテ。/。
	Ⅲ-5-	11	NヲVタライイン/ノカナト。/ジャナイデショウカ。/ジャナイデスカ？
	Ⅲ-5-	12	NヲVテミマショウカ。
	Ⅲ-5-	13	NヲVテミマショウネー。
	Ⅲ-5-	14	NヲVルコト。
	Ⅲ-5-	15	N { ϕ /ニ/ハ} ドウゾ。

Ⅲ-6〈共同行為要求〉は、1 文型のみであり、司会者が回答者や聴取者に向けて、「次の方に参りましょう。」と言って、次の相談者の電話をつなぐものである。

Ⅲ-6 〈共同行為要求〉	Ⅲ-6-	1	NニVマショウ。
-----------------	------	---	----------

Ⅲ-7〈言い直し要求〉の次に、Ⅳ-6〈言い直し〉が現れる。

Ⅲ-7 〈言い直し要求〉	Ⅲ-7-	1	もう一度オネガイシマス。
	Ⅲ-7-	2	ハッ？
	Ⅲ-7-	3	エッ？
	Ⅲ-7-	4	アッ？
	Ⅲ-7-	5	ハイッ？
	Ⅲ-7-	6	教エテモラエマス？
	Ⅲ-7-	7	相手の発話の聞き取れた部分まで反復

続く「提供」系の「機能文型」は、以下の通りである。

Ⅳ-1〈事実報告〉の7文型は、主に動詞文が挙げられる。

Ⅳ-1〈事実報告〉	Ⅳ-1-	1	Nハ、Vマス/Vマセン。Vテ。Vシ。/Vナイデス。
	Ⅳ-1-	2	Nガアリマス。/アリマセン。
	Ⅳ-1-	3	Nハ/ヲ。Vテイマス。
	Ⅳ-1-	4	Nハ（Vヨウ。Vコト。Nニ/ト。Ai<。An）ニナリマス。/ナリマシタ。
	Ⅳ-1-	5	Nハ、Vタコトガ/モアリマス。/アリマセン。/アルノネ？
	Ⅳ-1-	6	Nハ、Vルコトガデキマス。/デキマセン。/Vラレマス。/Vラレマセン。/動詞の可能形
	Ⅳ-1-	7	NガVデキマス。/Vデキマスヨネ？

次頁に挙げるⅣ-2〈意見説明〉は、27文型と非常に多い。名詞文、形容詞文、判断文をはじめとして、「～ト思イマス。」等、相談の談話に見解や意見を述べる際の文末叙述表現の種類の多さがうかがえる。

Ⅳ-3〈感情表出〉のⅣ-3-1のい形容詞、な形容詞、名詞には、それぞれ「いい」「大事な」「一番」など、ある種の評価を加えるものが入る。

Ⅳ-3〈感情表出〉	Ⅳ-3-	1	N {ガ/デ/モ} Ai /Anデス。N1ガN2デス。
	Ⅳ-3-	2	Nハ、Vル必要 {ガ/ハ} アリマ {ス。/セン。}
	Ⅳ-3-	3	Nハ、Vナイトイケナイ {ンデス。/ワケデス。}
	Ⅳ-3-	4	Nハ、Vテモショウガナインデス（ネ）。

Ⅳ-4〈意志表明〉は、「～タイノデスケレドモ」などの「Vタイ」のほか、宣言するように意志を表明するものも含まれる。

Ⅳ-4〈意志表明〉	Ⅳ-4-	1	NハVマス。
	Ⅳ-4-	2	N1ハ、N2ヲVヨウニシテイマス。
	Ⅳ-4-	3	NハVタワケデスガ。
	Ⅳ-4-	4	NハVマスケドネ？
	Ⅳ-4-	5	NヲVタイト思イマシテ。/思ウノデスガ。
	Ⅳ-4-	6	N1ハ、N2ヲVテ {ミマス。/ミタイト思イマス。}
	Ⅳ-4-	7	N1ハ、N2ヲVル気ハアリマセン。
	Ⅳ-4-	8	Vタイトコロナンデスガ。
	Ⅳ-4-	9	Vタイノデスケレドモ。

Ⅳ-2〈意見説明〉	Ⅳ-2-	1	N1ハ、N2デス。
	Ⅳ-2-	2	Nハ、{A i /An /V ナイ} {デス/デスネー、デシタネー、/デス ヨネー、}
	Ⅳ-2-	3	Nハ、{Vル/Vタ/A i /An /N} ン {マス/デス} {、/ネ、/ デスネ、}
	Ⅳ-2-	4	Nハ、{V/A i /An /N} {ヨウ/ラシイ/ミタイ/ソウ} デ ス。
	Ⅳ-2-	5	Nハ、{V/A i /An /N} カモシレマセン {、/ネー、}
	Ⅳ-2-	6	Nハ、{V/A i /An /N} トイウコト {デショウ (ネ) /デス ネ、}
	Ⅳ-2-	7	N1ハ、{N2/An} ジャナイ {デショウカ (ネー)、/デスカ?/カ シラ、}
	Ⅳ-2-	8	Nハ、{V/A i /An /Nダ} ト思 {イマス、/ウンデス、/テルン デスヨー、/ッテ、}
	Ⅳ-2-	9	Nハ、Vタホウガイイ {ト思イマス、/デショウ、/ンジャナイデショ ウカ、/ンジャナイカト思イマス、}
	Ⅳ-2-	10	Nハ、Vテ {シマイマス、/シマウンデス、/キチャイマス、テキチャウ (ンデス)、}
	Ⅳ-2-	11	V {マシタ、/マセン、/マスネ、}
	Ⅳ-2-	12	Nハ、V1 {タリ/トカ/シ}、V2 {タリ/トカ/シ} {シテ、/シ マス/スルノネ?}
	Ⅳ-2-	13	Nハ、V1 {カラ、タメニ、ノデ} (V2)。
	Ⅳ-2-	14	Nハ、V1 { (ン) ケド/ガ/ノニ、} (V2)。
	Ⅳ-2-	15	Nハ、V{ナクデハ/ナケレバ/ナクチャ} ナリマセン。
	Ⅳ-2-	16	N1ハ、N2ノN3 {ガ/ハ} アリマス。
	Ⅳ-2-	17	Nハ、Vタインデス (ヨネ)、/ネ。
	Ⅳ-2-	18	Nハ、Vテイタンデショウ。
	Ⅳ-2-	19	Nハ、{Vル/Vタ/A i /An} ワケ {デス、/ナンデス、}
	Ⅳ-2-	20	N1ハ、{V1/A i /An} (ヨウナ/フウニ) N2 {ガ/モ} V2マ ス。
	Ⅳ-2-	21	Vルコトハアリマセン (ヨ)。
	Ⅳ-2-	22	Nハ、V {テイマス、/マス、}
	Ⅳ-2-	23	Nハ、V {テ (モ) /タラ/ト/バ/N2デモ} イイ {ト思イマス/カ モワカリマセン、/ンジャナイデショウカ、}
	Ⅳ-2-	24	Nハ、V1 {ル/ナイ} {ト/バ/タラ} {A i ク/Nニ/Anニ} V2マ ス。
	Ⅳ-2-	25	Nハ、Vル {ベキダ/ハズダ} ト思イマス。
	Ⅳ-2-	26	Nハ、Vテイルノデショウカ。
	Ⅳ-2-	27	NモA i クナリマスネー。

上記 109 種の文型による分類で、5 種の資料に傾向は見られるのか、相談の話段と小話段を形成するものは、どの機能文型かを 4 章～7 章で述べる。

また、文型で、複数の発話機能にまたがって現れるものは、「NはVます。」という 1 文型のみであった。Ⅳ-4-1〈事実報告〉とⅣ-4-4〈意志表明〉に出ている。が、NやVに入るものが全く異なる。Ⅳ-4-4〈意志表明〉では、自分が言い、「(ぼく) 頑張ります。」などの意志を宣言するようなものである。

Ⅳ-1-	1	Nハ. Vマス/Vマセン. Vテ. Vシ. /Vナイデス.
------	---	-------------------------------

Ⅳ-4-	1	NハVマス.
------	---	--------

以上、「要求」系と「提供」系の機能文型が何種見られるのか、どの話段、小話段に見られるのか、どの参加者が用いているのか等について、4 章～7 章で考察し、日本語の相談の談話型を解明したいと思う。

第4章 ラジオの医療相談番組における相談の談話の構造

4. 1 ラジオの医療相談番組における「談話」と「大話段」

本研究の医療相談3資料【資料1】【資料2】【資料3】の発話総数は5,649発話である。医療相談の3資料のテーマ、発話総数等の詳細は、【表3-3】の通りである。

【表3-3】 医療相談の談話資料の基礎情報

談話資料	【資料1】	【資料2】	【資料3】	医療相談 の 発話総数	医療相談 の 平均発話数
テーマ	消化器	呼吸器	漢方		
放送日時	2001. 9. 18	2001. 10. 16	2001. 10. 30		
司会者	A. K アナウンサー	A. K アナウンサー	A. K アナウンサー		
回答者	T I 大学名誉教 授 Y. Y氏	T Rセンター 呼吸器部長 K. K氏	T 大学 助教授 T. M氏		
発話総数	1,578発話	1,887発話	2,184発話	5,649発話	1,883発話
相談件数	4	6	5	15	相談件数平均 5件
{ 本人の相談	{ 3	{ 6	{ 2	{ 11	
{ 近親者からの相談	{ 1	{ 0	{ 3	{ 4	
	妻からの相談		父親からの相談 姉からの相談 母親からの相談		
相談者不参加の相談	3	0	1	4	

3資料は、すべて同じアナウンサーによるものであり、回答者は、各資料のテーマに対して専門的な知識を持つ医師である。3資料の平均発話数は、1,883発話、また、電話相談の相談件数の平均は、5件である。

本章での「談話」は、ラジオの放送1回分とする。また、「大話段」は、ラジオの放送1回分の「談話」が「開始」し、「展開」し、「終了」とするという構造を主軸に置いて認定した、以下の5類7種である。

I. 番組開始の大話段

I-1. 番組案内の大話段

I-2. 番組のテーマに関わる一般的解説の大話段

II. 番組展開の大話段

II-1. 電話相談の談話

Ⅱ-2. 電話相談の補足解説の大話段

Ⅲ. 番組継続の大話段

Ⅳ. 番組終了の大話段

Ⅴ. 別番組の大話段

【表4-1】は、医療相談の3資料における大話段の展開を示したものである。「Ⅱ. 番組展開の大話段」、「Ⅲ. 番組継続の大話段」「Ⅴ. 別番組の大話段」は、また、【表4-2】は、各大話段における参加者別発話数を資料別に示したものである。

本研究の医療相談【資料1】【資料2】【資料3】は、ラジオ番組であり、放送1回分の談話として完結しているということもあり、「Ⅰ. 番組開始の大話段」、「Ⅱ. 番組展開の大話段」、「Ⅲ. 番組継続の大話段」「Ⅳ. 番組終了の大話段」「Ⅴ. 別番組の大話段」が3資料全てに現れている。

「Ⅰ-1. 番組開始の大話段」、「Ⅲ. 番組継続の大話段」「Ⅳ. 番組終了の大話段」は、司会者による発話がほとんどである。まれに回答者の発話が数発話見られるが、あいづちを打つか、司会者の挨拶に対して、挨拶を返すのみの発話である。

ラジオの相談番組で、最も中心的な大話段は、「Ⅱ. 番組展開の大話段」である。また、「Ⅱ-1. 電話相談の談話」は、唯一相談者が参加する大話段であり、相談者と回答者のやりとりが行われる大話段である。

「Ⅰ-1. 番組開始の大話段」、「Ⅲ. 番組継続の大話段」「Ⅳ. 番組終了の大話段」は、番組の進行役である司会者による発話であり、聴取者に向けて、番組のテーマ、回答者の氏名、電話相談の受付時間・電話番号等の情報を提供する。

発話数は、10発話程度であり、相談者や回答者がほとんど介在しない点、司会者が伝える内容が聴取者に向けられており、あくまでも番組進行上の情報であるという点から、相談番組の中心部分である「Ⅱ. 番組展開の大話段」とは質が異なっている。

(例4-1)「Ⅰ-1. 番組開始の大話段」

- 1 司 1時45分になりました。
- 2 司 ここから、2時台にかけては、「暮らしの電話相談」です。
- 3 司 毎週火曜日は、「あなたの健康・家族の健康」、

【表4-1】医療相談の談話における大話段の展開

【資料1】(消化器)	【資料2】(呼吸器)	【資料3】(漢方)
I. 番組開始の大話段 I-1. 番組案内の大話段	I. 番組開始の大話段 I-1. 番組案内の大話段	I. 番組開始の大話段 I-1. 番組案内の大話段
II. 番組展開の大話段 II-1-①. 電話相談の談話 【資料1-1】	I-2. 番組のテーマに関わる 一般的解説の大話段	I-2. 番組のテーマに関わる 一般的解説の大話段
III-①. 番組継続の大話段	III-①. 番組継続の大話段	III-①. 番組継続の大話段
V-①. 別番組{ニュース・音楽}	V-①. 別番組{ニュース・音楽}	V-①. 別番組{ニュース・音楽}
III-②. 番組継続の大話段	III-②. 番組継続の大話段	III-②. 番組継続の大話段
II-①. 番組展開の大話段 II-1-②. 電話相談の談話 【資料1-2】	II-①. 番組展開の大話段 II-1-①. 電話相談の談話 【資料2-1】	II-①. 番組展開の大話段 II-1-①. 電話相談の談話 【資料3-1】
II-2-①. 電話相談の補足解説 の大話段	II-2-①. 電話相談の補足解説 の大話段	II-2-①. 電話相談の補足解説 の大話段
II-1-③. 電話相談の談話 【資料1-3】	II-1-②. 電話相談の談話 【資料2-2】	II-1-②. 電話相談の談話 【資料3-2】
II-2-②. 電話相談の補足解説 の大話段	III-③. 番組継続の大話段	II-2-②. 電話相談の補足解説 の大話段
III-③. 番組継続の大話段	V-②. 別番組{ニュース・音楽}	III-③. 番組継続の大話段
V-②. 別番組{ニュース・音楽}	II-1-③. 電話相談の談話 【資料2-3】	V-②. 別番組{ニュース・音楽}
III-④. 番組継続の大話段	III-④. 番組継続の大話段	III-④. 番組継続の大話段
II-②. 番組展開の大話段 II-2-③. 電話相談の補足解説 の大話段	V-③. 別番組{ニュース・音楽}	V-③. 別番組{ニュース・音楽}
II-1-④. 電話相談の談話 【資料1-4】	III-④. 番組継続の大話段	III-④. 番組継続の大話段
II-2-④. 電話相談の補足解説 の大話段	II-②. 番組展開の大話段	II-②. 番組展開の大話段
IV. 番組終了の大話段	II-1-④. 電話相談の談話 【資料2-4】	II-1-③. 電話相談の談話 【資料3-3】
	II-1-⑤. 電話相談の談話 【資料2-5】	II-2-③. 電話相談の補足解説 の大話段
	II-1-⑥. 電話相談の談話 【資料2-6】	II-1-④. 電話相談の談話 【資料3-4】
	II-2-②. 電話相談の補足解説 の大話段	II-1-⑤. 電話相談の談話 【資料3-5】
	IV. 番組終了の大話段	IV. 番組終了の大話段

(注)大話段の「I. 番組開始の大話段」、「II. 番組展開の大話段」、「III. 番組継続の大話段」、「IV. 番組終了の大話段」のうち、「II. 番組展開の大話段」、「III. 番組継続の大話段」は、複数回現れるため、出現回数を丸数字の枝番で示した。

【表４－２】 医療相談の大話段における参加者別発話数の合計

大話段	司会者	回答者	相談者	合計	(資料別)発話総数に対する割合
I. 番組開始の大話段	286 44.9%	351 55.1%	0 0.0%	637 100.0%	11.3%
【資料１】	9 81.8%	2 18.2%	0 0.0%	11 100.0%	0.7%
【資料２】	156 45.6%	186 54.4%	0 0.0%	342 100.0%	18.2%
【資料３】	121 42.6%	163 57.4%	0 0.0%	284 100.0%	13.0%
I－１. 番組開始の大話段	24 85.7%	4 14.3%	0 0.0%	28 100.0%	4.4%
【資料１】	9 81.8%	2 18.2%	0 0.0%	11 100.0%	0.7%
【資料２】	9 90.0%	1 10.0%	0 0.0%	10 2.6%	2.9%
【資料３】	6 85.7%	1 14.3%	0 0.0%	7 100.0%	2.5%
I－２. 番組のテーマに関わる一般的解説	262 43.0%	347 57.0%	0 0.0%	609 100.0%	95.6%
【資料１】	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0%
【資料２】	147 44.3%	185 55.7%	0 0.0%	332 43.0%	97.1%
【資料３】	115 41.5%	162 58.5%	0 0.0%	277 100.0%	97.5%
II. 番組展開の大話段	849 17.5%	2290 47.1%	1723 35.4%	4862 100.0%	86.2%
【資料１】	300 19.6%	748 49.0%	480 31.4%	1528 100.0%	97.0%
【資料２】	234 15.5%	674 44.6%	603 39.9%	1511 100.0%	80.2%
【資料３】	315 17.3%	868 47.6%	640 35.1%	1823 100.0%	83.6%
II－１. 電話相談の談話	484 11.9%	1873 45.9%	1723 42.2%	4080 100.0%	83.9%
【資料１】	114 9.9%	559 48.5%	480 41.6%	1153 100.0%	75.5%
【資料２】	198 14.0%	613 43.4%	603 42.6%	1414 100.0%	93.6%
【資料３】	172 11.4%	701 46.3%	640 42.3%	1513 100.0%	83.0%
II－２. 電話相談の補足解説の大話段	365 46.7%	417 53.3%	0 0.0%	782 100.0%	16.1%
【資料１】	186 49.6%	189 50.4%	0 0.0%	375 100.0%	24.5%
【資料２】	36 37.1%	61 62.9%	0 0.0%	97 100.0%	6.4%
【資料３】	143 46.1%	167 53.9%	0 0.0%	310 100.0%	14.2%
III. 番組継続の大話段	113 91.1%	11 8.9%	0 0.0%	124 100.0%	2.2%
【資料１】	32 97.0%	1 3.0%	0 0.0%	33 100.0%	2.1%
【資料２】	26 96.3%	1 3.7%	0 0.0%	27 100.0%	1.4%
【資料３】	55 85.9%	9 14.1%	0 0.0%	64 100.0%	2.9%
IV. 番組終了の大話段	15 83.3%	3 16.7%	0 0.0%	18 100.0%	0.3%
【資料１】	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%	0.3%
【資料２】	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	4 100.0%	0.2%
【資料３】	9 90.0%	1 10.0%	0 0.0%	10 100.0%	0.5%
V. 別番組(ニュース、音楽)	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0%
【資料１】	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0%
【資料２】	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0%
【資料３】	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0%
参加者別発話数合計	1263	2655	1723	5641	100.0%
発話総数に対する割合	22.4%	47.1%	30.5%	100.0%	

各大話段は太字で示す。
各大話段の下段に、各大話段の合計に対する割合を示す。
表右欄に、発話総数5641発話に対する、各大話段の合計の割合を示す。

「I. 番組開始の大話段」における「I－１. 番組開始の大話段」「I－２. 番組のテーマに関わる一般的解説の大話段」、および、「II. 番組展開の大話段」における「II－１. 電話相談の談話」「II－２. 電話相談の補足解説の大話段」の割合は、資料別の発話総数に対する割合を示す。

参加者別の発話数を見るために、本表では、参加者別の発話数合計には、「V. 別番組の大話段」に付した2発話は含まない。

ニュースや音楽に付した発話数を含めると、発話総数は、5649発話である。

- 4 司 で、今日は、呼吸器についての電話相談を致します。
- 5 司 みなさんからの相談にお答え頂きますのは、東京都老人医療センター呼吸器部長の
KKさんです。
- 6 司 K先生よろしくお願い致します。
- 7 回 よろしくお願ひします。
- 8 司 えー、この時間も、みなさんからの相談のうけ付けをしています。
- 9 司 電話番号は03、34848888。
- 10 司 03の34858888番です。 【資料2】

「Ⅲ．番組継続の大話段」は、「Ⅴ．別番組 {ニュース・音楽} の大話段」の前後に現れる。「Ⅴ．別番組 {ニュース・音楽} の大話段」は、そのみで一つの「談話」を形成しているが、前後に「Ⅲ．番組継続の大話段」があることで、ラジオの相談番組の中に内包された「大話段」である。「Ⅴ．別番組 {ニュース・音楽} の大話段」は、番組中、2～3回ほぼ同じ時間帯に現れる。司会者は、「Ⅲ．番組継続の大話段」で、次にニュースや音楽を聞かせることを聴取者に断るとともに、電話相談の受付時間や受付番号等の情報を再度聴取者に知らせることで、相談番組自体は継続していることを伝えている。

「Ⅲ．番組継続の大話段」は、5発話未満の短いものである。

以下の例(4-2)は、1119～1122 司、1124～1125 司がそれぞれ「Ⅲ．番組継続の大話段」であり、「Ⅴ．別番組の大話段」をはさんでいる。1126 司からは、「Ⅱ-1. 電話相談の談話」が開始する。

(例4-2) 「Ⅲ．番組継続の大話段」, 「Ⅴ．別番組の大話段」, 「Ⅱ-1. 電話相談の談話」

「Ⅲ．番組継続の大話段」

1119 司 では、この呼吸器についての電話相談、音楽、ニュースをはさんで、

1120 司 また続けます。

1121 司 ヒロシマの演奏です。

1122 司 「バップホップ」。

「Ⅴ．別番組の大話段」

1123- 《音楽・交通情報・ニュース》

「Ⅲ．番組継続の大話段」

1124 司 この時間は、呼吸器についての電話相談をしています。

1125 司 お答え頂いているのは、東京都老人医療センター呼吸器部長のKK先生です。

「Ⅱ-1. 電話相談の談話」

1126 司 では、続いての方、Oにお住まいのOTさん、65歳の方、ご本人からの相談です。 【資料2】

「Ⅳ. 番組終了の大話段」は、司会者が番組を終了する旨を聴取者に伝え、回答者を再度最後に紹介し、回答者へ礼を述べる大話段である。回答者の発話が3資料ともに1発話ずつあるのは、司会者の礼に答える儀礼的な発話である。

「Ⅳ. 番組終了の大話段」も10発話以内の短い大話段である。

(例4-3)「Ⅳ. 番組終了の大話段」

1884 司 この時間は、呼吸器についての電話相談を致しました。

1885 司 お答え頂いたのは、東京都老人医療センター呼吸器部長のKK先生でした。

1886 司 K先生ありがとうございます//ございました。

1887 回 はいはい、どうも、失礼しました。 【資料2】

「Ⅰ. 番組開始の大話段」の中の「Ⅰ-2. 番組のテーマに関わる一般的解説の大話段」は、回答者が聴取者に向けて、番組のテーマに関連する解説を行う大話段であり、司会者と回答者による対話である。まず、司会者が回答者に、質問し、解説を促して、回答者の解説が開始する。司会者は、あいづちを打ちながら聞いたり、質問をしたりして展開する。医療相談の3資料では、【資料2】【資料3】に見られる。

【資料2】の「呼吸器」では「風邪とインフルエンザの違い」、【資料3】の「漢方」では、「漢方薬と西洋薬の違い」についての一般的な解説が行われる。

以下の例(4-4)では、11司から「Ⅰ-2. 番組のテーマに関わる一般的解説の大話段」が開始する。司会者が回答者に呼びかけ、「最近の寒さ」という状況設定をした後、24司で、「これは、違うん、ものなんですよね?今の風邪と。」という〈確認要求〉による質問し、25回から風邪とインフルエンザの違いについての回答者の解説が始まる。

(例4-4)「I-2. 番組のテーマに関わる一般的解説の大話段」

- 11 司 さて、K先生、あのー、ここ、このところ、やはり寒さが、めっきり寒くなってきました//んで、
- 12 回 はい。
- 13 司 結構、風邪をひいている方が、目//立つようになってきましたね。
- 14 回 そうですね。
- 15 司 ゴホゴホという//咳が取れないといい//ますかね。
- 16 回 ええ。
- 17 回 電車の中でもですね、
- 18 司 ええ。
- 19 回 あのー、咳き込んでいる人に時々会いますねー。
- 20 司 はい。
- 21 司 あの、この風邪と、それから、もう間もなくですか、//インフルエンザというの。
- 22 回 ええ。
- 23 回 //はい。
- 24 司 これは、違うん、ものなんですよね?//今の風邪と。
- 25 回 あのー、風邪というのはですね、あのー、風邪のほとんどは、まあ、ウィルスによって、起こるわけですね。
- 26 回 でー、ウィルスによって、起こるんですがー、
- 27 回 大人は、平均すると、
- 28 回 いっ、いっ、年間にですね、4回ぐらいは風邪をひくと。
- 29 司 はあはあ。
- 30 回 それから、子供さんのほうが、もっと風邪をひいてです//ね、
- 31 司 はい。
- 32 回 7回くらいだと、
- 33 司 あ//ー。
- 34 回 言われてるんですねー。
- 35 司 はい。
- 36 回 そいでー、今、そのー、お話に出た、インフルエンザはですね、風邪の中でも、

最も激烈なものだと、いうことになりますね。

37 司

はい。

【資料 2】

例（４－５）は、【資料 3】の「I-2. 番組のテーマに関わる一般的解説の大話段」である。司会者は、8 司で、「少し、漢方薬、漢方の考え方について、この時間は、伺いたと思います。」という前置きをしたあと、最近、漢方薬が病院で処方されるようになった状況を言い、14～15 司の「この、漢方薬と、いわゆる西洋薬の使い方の違い、基本的な違いっていうのは、どういうところにあるんでしょうか。」という〈説明要求〉により、回答者の解説が開始する。

（例 4－5）「I-2. 番組のテーマに関わる一般的解説の大話段」

8 司 漢方薬、漢方の考え方について、この時間は、伺いたと思います。

9 回

はい。

10 司 まあ、漢方専門の病院に行かなくても、

11 回

ええ。

12 司 最近は、漢方薬を処方されることが、ずいぶん多くなったと思うんですが、

13 回

ええ。

14 司 この、漢方薬と、いわゆる西洋薬の使い方の違い、

15 司 基本的な違いっていうのは、どういうところにあるんでしょうか。

16 回 まあ、薬ですからね、あ//の、基本的に同じといえば同じなんですが、

17 司

ええ。

18 司

はい。

19 回 多少だけ、違うところがありますね。

20 司

ええ。

21 回 で一、それはですね、漢方の場合、

22 回 あの一、症状、よりも、もっと、その、まあ、その時の患者さんが訴えてる症状がありますね。

23 司

はい。

24 回 その症状よりも、もっと大事な治療すべきものがあると、

25 司

ふふーん。

27 司 はい。

29 回 治療していくという考え方があるんですね。

30 司 はい。

31 回 これは、あの一、西洋医学にはない考え方だと思います。

【資料 3】

「I-2. 番組のテーマに関わる一般的解説の大話段」は、「呼吸器」「漢方」といった番組のテーマに関連する、しかも、一般的で誰にでも役に立つ話題について、司会者の質問と回答者の解説の対話形式で進んでいる。

【資料１】には、「Ⅰ-2. 番組のテーマに関わる一般的解説の大話段」は見られず、「Ⅰ-1. 番組開始の大話段」１～１１で司会者による挨拶や番組のテーマの説明等の情報提供がなされたあと、１２司から「Ⅱ. 番組展開の大話段」の「Ⅱ-2. 電話相談の談話」に移る。

(例４－６)【資料１】の「Ⅰ-1. 番組開始の大話段」から「Ⅱ-1. 電話相談の談話」「Ⅲ-1. 番組開始の大話段」

1 司 1 時 45 分になりました。

2 司 「暮らしの電話相談」の時間です。

3 司 今日は、胃や腸といった消化器についての電話相談を致します。

4 司 答え頂くのは、東京女子医科大学名誉教授の、Y I さんです。

5 司 Y先生よろしくお願い致します。

6回 よろしくお願ひします。

7 司 この時間もみなさんから相談の受け付けをしています。

8 司 電話番号は 03、34858588、03 の 34858588 番です。

9 司 では、お電話たくさん、い、頂いてますので、

10 司 早速、相談に参//りましょうか。

11 回 はい。

「Ⅱ-1. 電話相談の談話」

12 司 初めの方はNにお住まいのMYさん、

13 司 65歳の方ご本人からの相談です。

【資料1】

「Ⅱ. 番組展開の大話段」の中の「Ⅱ-2. 電話相談の補足解説の大話段」は、9件ある。

「Ⅱ-2. 電話相談の補足解説の大話段」には以下の2種がある。

①1件の電話相談終了後、先の相談者、また、相談者と似た問題を抱えている聴取者に補足説明を行う。司会者が回答者に質問し、回答者が答える場合と、回答者が、電話相談終了後、似た問題を抱える聴取者に向けて、すぐに解説を加える場合がある。

②直接電話はつながず、個別の相談者の相談内容を司会者が代弁し、回答者が簡単に回答する相談者が参加しない相談である。

上記②の例は、6. 1. 1の(例6-1)で挙げたように、医療相談の【資料1】に3件あるのみである。

①は、6件あり、全て「Ⅱ-1. 電話相談の談話」の直後に現れる。

以下の(例4-7)は、【資料2-2】の「Ⅱ-1. 電話相談の談話」の直後に現れる「Ⅱ-2. 電話相談の補足解説の大話段」の例である。ビタミンB12が欠乏している相談者の対処法として、注射を打つことを回答し、電話相談が終了した。司会者の584司～587司「これ、注射じゃなくて、こう、錠剤などで飲めたらいいんでしょうけれども//ね、そうするともっと、(いいのではないかと思うが、どうか)」という間接的な質問に対して、回答者が胃を切除したという先の相談者のように、特別な場合は、内服薬より注射が向いているという補足の説明を行う。

(例4-7)【資料2-2】「Ⅱ-1. 電話相談の談話」の「D. 相談終了の話段」の終了部から「Ⅱ-2. 電話相談の補足解説の大話段」

「D. 相談終了の話段」

576 相 はい、いろいろ、お世話//になりました。

577 司 どうぞ、お大事になさっ//てください。

578 回 はい。

579 回 じゃあ、お大事に//どうぞ。

580 相 はい、ありが//とうございました。

581 司 失礼致します。

582 回 はい。

583 司 はい。

「Ⅱ-2. 電話相談の補足解説の大話段」

584 司 これ、注射じゃなくて、

585 司 こう、錠剤などで飲めたらいいんでしょうけれども//ね、

586 回 あのー、

587 司 そうするともっと、

588 回 内服的な//物もあるんです。

589 司 ええ。

590 司 あっ、そうです//か。

591 回 はい。

592 回 ビタミンB 1 2 は、えー、神経系の、ビタミンとも言われてーい//ましてー、

593 司 あー。

594 回 神経痛の方や何か//にも、

595 司 ええ。

596 回 つ、えー使う内服薬もあります。

597 司 はい。

598 回 ところが、えー、な、胃を切除した場合には吸収がうまくいかない//もんですから、

599 司 あー。

600 回 内服ではなかなか、

601 司 はい。

602 回 あの、えー追いつかないということがあるんですねー。

603 司 はい。 【資料2-2】

以上、医療相談においては、「Ⅰ. 番組開始の大話段」「Ⅱ. 番組展開の大話段」「Ⅲ. 番組継続の大話段」「Ⅳ. 番組終了の大話段」「Ⅴ. 別番組の大話段」の大話段が全て共通して見られる。「Ⅰ. 番組開始の大話段」「Ⅲ. 番組継続の大話段」「Ⅳ. 番組終了の大話段」

は、司会者が番組の進行を行う大話段であり、発話数は少ないものの、談話が開始し、継続し、終了するという展開上、重要な大話段である。

「Ⅰ．番組開始の大話段」の中の「Ⅰ-1. 番組案内の大話段」, 「Ⅰ-2. 番組のテーマに関わる一般的解説の大話段」と, 「Ⅱ．番組展開の大話段」の中の「Ⅱ-2. 電話相談の補足解説の大話段」は、司会者と回答者による対話である。司会者の質問に対する回答者の解説が行われる。「Ⅱ-2. 電話相談の補足解説の大話段」は、全ての「Ⅱ-1. 電話相談の談話」の直後にある大話段ではなく、必要に応じて、司会者が質問し、回答者が解説するものである。

「Ⅱ．番組展開の大話段」の中の「Ⅱ-1. 電話相談の談話」は、唯一、相談者が参加する大話段であり、電話相談の件数に比例して現れる大話段である。3 資料それぞれに複数存在する「Ⅱ-1. 電話相談の談話」は、電話相談の各件が開始し、展開し、終了する「談話」ともいえる。

次節で「Ⅱ-1. 電話相談の談話」の構造を述べる。

4. 2 「電話相談の談話」の構造

4. 2. 1 「電話相談の談話」における「話段」と「小話段」

医療相談【資料 1】、【資料 2】、【資料 3】の「電話相談の談話」は、各件の電話相談が開始し、展開し、終了する独立した「談話」ともいえる。【資料 1】には 4 件、【資料 2】には 6 件、【資料 3】には 5 件、計 15 件の電話相談がある。

【表 4-3】は、各電話相談の相談内容、発話数、時間数を示したものである。最も時間数の短い電話相談は、【資料 2-1】の 3 分 56 秒、最も長い電話相談は、【資料 1-4】の 9 分 57 秒であり、15 件の電話相談は、10 分以内で終了する。15 件中【資料 1-4】、【資料 3-2】【資料 3-3】【資料 3-5】の 4 件を除き、11 件は全て本人からの相談である。

【図 4-1】は、「電話相談の談話」の構造と各話段・各小話段における主な参加者を示したものである。

4. 1 で述べた大話段の構造と同じく、A の「相談開始の話段」、「相談展開の大話段」、D の「終了」の各話段が全ての「電話相談の談話」に存在する。4 種の話段は、電話相談の基本構造といえる。

「A. 相談開始の話段」と「D. 相談終了の話段」は、司会者・回答者・相談者による挨拶が交わされる話段である。

「電話相談の談話」の最も中心的な話段は、「相談展開の大話段」の「B. 相談かけの話段」と「C. 相談うけの話段」であり、さらに、それぞれ2種の小話段に分かれる。

「B-1. 相談提示の小話段」で、相談者の相談内容を司会者が代弁するのを除き、回答者と相談者の相互行為によって展開する。

【表4-4】は、医療相談の各話段・各小話段における発話数を参加者別に示したものである。「B. 相談かけの話段」と「C. 相談うけの話段」が、主に回答者と相談者から成り立っている話段であることがわかる。

計15件の医療相談の発話数の合計4,080発話中、「B. 相談かけの話段」は1290発話で31.3%、「C. 相談うけの話段」は2561発話で62.8%であり、「相談展開の大話段」は、「電話相談の談話」の9割強の発話数を占めていることがわかる。

「B. 相談かけの話段」の「B-1. 相談提示の小話段」が、司会者による代弁で行われているため、「B. 相談かけの話段」の発話数および、発話総数に占める割合は、6.8%であり、1件当たりの電話相談発話数の平均は、18.5発話にとどまっている。

【図4-1】医療相談における「電話相談の談話」の構造と各話段・各小話段における主な参加者

電話相談の談話の構造	主な参加者
A. 相談開始の話段	司会者・回答者・相談者
相談展開の大話段	
B. 相談かけの話段	各小話段により、異なる。
B-1. 相談提示の小話段	司会者
B-2. 相談内容確認の小話段	回答者と相談者
C. 相談うけの話段	回答者と相談者
C-1. 回答提供の小話段	回答者と相談者
C-2. 回答確認の小話段	回答者と相談者
D. 相談終了の話段	司会者・回答者・相談者

【表 4-3】 医療の電話相談における所要時間と発話数

電話相談資料	相談者	年齢	性別	相談内容	所要時間	発話数
【資料 1】 2001.9.18 (消化器)						
【1-1】	本人	65歳	男性	下痢が止まらない。原因は何か。	8分10秒	278
【1-2】	本人	63歳	男性	ビタミン12が不足している。体にどんな影響があるか。	8分5秒	270
【1-3】	本人	64歳	女性	朝方、胃のあたりに不快感がある。原因は何か。	7分55秒	256
【1-4】	妻	74歳	男性	腹部膨満感がある。原因は何か。	9分57秒	349
合計					34分7秒	1153
平均					8分32秒	288.3
【資料 2】 2001.10.16 (呼吸器)						
【2-1】	本人	69歳	女性	風邪で、胸の苦しい症状が治らない。原因は何か。	3分56秒	163
【2-2】	本人	72歳	男性	慢性間質性肺炎の症状が悪化しないための日常生活の注意点は何か。	5分9秒	214
【2-3】	本人	82歳	女性	右の肺が機能していないといわれた。今後の対策は何か。	7分27秒	308
【2-4】	本人	65歳	男性	肺の切除術を以前行った。日常生活の注意点は何か。	7分35秒	284
【2-5】	本人	67歳	男性	肺炎を患った。息切れが残る。心臓と肺の関連はあるのか。	4分19秒	191
【2-6】	本人	65歳	男性	痰が多い。どんな治療を受けたらいいか。	6分6秒	254
合計					34分14秒	1414
平均					5分25秒	235.7
【資料 3】 2001.10.30 (漢方)						
【3-1】	本人	58歳	女性	冷え性、首や肩のこり、目がショボショボする。これらの症状を和らげる漢方薬は何か。	6分41秒	282
【3-2】	父親	小学4年	女性	アレルギー鼻炎に効く漢方薬はどんなものか。	7分33秒	403
【3-3】	姉	59歳	女性	便秘で「センナ」を5年前から飲んでいるが、飲み続けていていいのか。	5分13秒	249
【3-4】	本人	66歳	女性	慢性甲状腺炎の他、睡眠障害、三叉神経障害もある。これらの症状に効く漢方薬は何か。	5分8秒	224
【3-5】	母親	36歳	女性	脳幹部出血後、目がぶれたり、顔面神経痛によるしびれや痛み、不眠症状もある。よい漢方薬は何か。	7分27秒	355
合計					32分2秒	1513
平均					6分24秒	302.6
総計					100分23秒	4080

【表４－４】医療相談の話段・小話段における参加者別発話数

話段	司会者	回答者	相談者	沈黙	合計	1件当たりの平均発話数
A. 相談開始の話段	68 14.0%	19 1.0%	47 2.7%	0 0.0%	134 3.3%	8.9
相談展開の大話段						
B. 相談かけの話段	284 58.7%	512 27.3%	494 28.7%	0 0.0%	1290 31.3%	86
B-1. 相談提示の小話段	264 54.5%	13 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	277 6.8%	18.5
B-2. 相談内容確認の小話段	20 4.1%	499 26.6%	494 28.7%	0 0.0%	1013 24.8%	67.5
C. 相談うけの話段	85 17.3%	1323 70.6%	1153 66.1%	0 0.0%	2561 62.8%	170.7
C-1. 回答の小話段	65 13.4%	1210 64.6%	1002 58.2%	0 0.0%	2277 55.8%	151.8
C-2. 回答確認の小話段	20 4.1%	113 6.0%	151 8.8%	0 0.0%	284 7.0%	18.9
D. 相談終了の話段	47 9.7%	19 1.0%	29 1.7%	0 0.0%	95 2.3%	6.3
参加者別発話数	484	1873	1723	0	4080	272.0
合計	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	

各話段の参加者別発話数の合計に対する小計と、参加者別発話数に対する割合を示す。
縦軸の合計欄は、各話段の発話数の合計を、割合は、発話総数4080に対する割合を示す。
表下段の合計欄は、参加者別の発話数の合計を、割合は、発話総数4080に対する割合を示す。

「B-2.相談内容確認の小話段」,「C-1.回答提供の小話段」「C-2.回答確認の小話段」は、回答者と相談者の相互行為で展開するため、各小段における回答者と相談者の参加者別発話数に対する割合には、それほど差異がない。「B-2.相談内容確認の小話段」では、回答者が26.6%,相談者が28.7%,「C-1.回答提供の小話段」では回答者が64.6%,相談者が58.2%,「C-2.回答確認の小話段」では回答者が6.0%,相談者が8.8%であることから、「B-2.相談内容確認の小話段」,「C-1.回答提供の小話段」「C-2.回答確認の小話段」において、回答者と相談者はそれぞれ話し手と聞き手の役割を交替させながら相互行為をしていることがわかる。

4. 2. 2 「電話相談の談話」における「話段」と「小話段」の展開

医療の電話相談における「話段」「小話段」の基本的な展開は、以下のとおりである。

【図 4－2】医療の電話相談における「話段」と「小話段」の展開

B. 相談かけの話段（「B-1. 相談提示の小話段」）⇒ A. 相談開始の話段⇒ B. 相談かけの話段（「B-2. 相談内容確認の小話段」）⇒ C. 相談うけの話段（「C-1-1. 回答提供の小話段」）⇒（「C-2. 回答確認の小話段」）⇒（「C-1-2. 回答提供の小話段」）⇒ D. 終了の挨拶の話段

まず、司会者による「B. 相談かけの話段」の「B-1. 相談提示の小話段」で、司会者が相談者の代弁により、相談内容を回答者や電話をつなぐ前の相談者本人、そして、聴取者に「かけ」る。

「A. 相談開始の話段」で、相談者に電話をつなぎ、挨拶を交わす。

続いて、「B. 相談かけの話段」の「B-2. 相談内容確認の小話段」から相談者と回答者の二者によるやりとりが始まる。「B-2. 相談内容確認の小話段」で、回答者が相談者に直接情報を聞き出すために、質問を「かけ」、相談者が回答者の質問を「うけ」て答える。

次の「C. 相談うけの話段」の「C-1-1. 回答提供の小話段」で回答者が回答を相談者に「かけ」る。相談者は、回答をあいづちで「うけ」る。回答者の回答を確認する場合は、「C-2. 回答確認の小話段」で相談者が回答者に質問を「かけ」、回答者が質問を「うけ」て、相談者の質問に対する直接の回答を「C-1-2. 回答提供の小話段」で「かけ」、相談者が「うけ」る。

最後の「D. 相談終了の話段」で、司会者・回答者・相談者が挨拶を交わし、1件の電話相談が終了する。

【表 4－5－1】～【表 4－5－7】は、医療の電話相談 15 件の話段、小話段の展開を示したものである。15 件の「Ⅱ-1. 電話相談の談話」の全てに見られた話段は、「A. 相談開始の話段」、「B-1. 相談提示の話段」、「B-2. 相談内容確認の小話段」、「C-1. 回答提供の小話段」、「D. 終了の挨拶の話段」である。「C-2. 回答確認の小話段」は、15 件中、【資料 1－3】、【資料 1－4】、【資料 2－1】、【資料 2－6】の計 4 件には見られなかった。相談者は、回答を得られた時点で納得し、すぐに「D. 相談終了の話段」に展開し、電話相談を終えるものであった。

【表4-5-1】医療相談における「Ⅱ-1. 電話相談の談話」の「話段」「小話段」の展開

【資料1-1】		【資料1-2】					
話段	小話段	発話番号、参加者	発話数割合	話段	小話段	発話番号、参加者	発話数割合
B 相談かけの話段①	B-1-1相談提示の小話段	12 司 ～ 33 回	22 7.9%	B 相談かけの話段①	B-1-1相談提示の小話段	314 司 ～ 332 回	19 7.0%
A 相談開始の話段		34 司 ～ 41 相	8 2.9%	A 相談開始の話段		333 司 ～ 348 相	16 5.9%
B 相談かけの話段②	B-2-1相談内容確認の小話段	42 回 ～ 142 回	101 36.3%	B 相談かけの話段②	B-2-1相談内容確認の小話段	349 回 ～ 416 相	68 25.2%
C 相談受けの話段①	C-1-1回答提供の小話段	143 回 ～ 165 相	23 8.3%	C 相談受けの話段①	C-1-1回答提供の小話段	417 回 ～ 539 相	123 45.6%
B 相談かけの話段③	B-2-2相談内容確認の小話段	166 回 ～ 180 回	15 5.4%	C-2-1回答確認の小話段	C-2-1回答確認の小話段	540 相 ～ 575 回	36 13.3%
C 相談受けの話段②	C-1-2回答提供の小話段	181 回 ～ 240 司	60 21.6%	D 相談終了の話段		576 相 ～ 583 司	8 3.0%
D 相談終了の話段	C-2-1回答確認の小話段	241 相 ～ 256 回	16 5.8%	発話総数		270	
	C-1-3回答提供の小話段	257 回 ～ 283 回	27 9.7%	発話総数に対する割合		100.0%	
		284 司 ～ 289 回	6 2.2%				
発話総数		278					
発話総数に対する割合		100.0%					

【表4-5-2】医療相談における「Ⅱ-1. 電話相談の談話」の「話段」「小話段」の展開

話段		【資料1-3】		【資料1-4】	
話段	小話段	発話数 割合	発話番号、参加者	話段	発話番号、参加者
B 相談かけの話段①	B-1-1相談提示の小話段	16 6.3%	604 司 ～ 619 回	B 相談かけの話段①	B-1-1相談提示の小話段 1161 司 ～ 1183 回
A 相談開始の話段		7 2.7%	620 司 ～ 626 回	A 相談開始の話段	1184 司 ～ 1192 回
B 相談かけの話段②	B-2-1相談内容確認の小話段	45 17.6%	627 回 ～ 671 回	B 相談かけの話段②	B-2-1相談内容確認の小話段 1193 回 ～ 1301 相
C 相談受けの話段①	C-1-1回答提供の小話段	29 11.3%	672 回 ～ 700 相	C 相談受けの話段①	C-1-1回答提供の小話段 1302 回 ～ 1441 相
B 相談かけの話段③	B-2-2相談内容確認の小話段	54 21.1%	701 回 ～ 754 回	B 相談かけの話段③	B-2-2相談内容確認の小話段 1442 回 ～ 1449 相
C 相談受けの話段②	C-1-2回答提供の小話段	99 38.7%	755 回 ～ 853 回	C 相談受けの話段②	C-1-2回答提供の小話段 1450 回 ～ 1501 相
D 相談終了の話段		6 2.3%	854 相 ～ 859 司	D 相談終了の話段	1502 回 ～ 1509 司
	発話総数	256		発話総数	349
	発話総数に対する割合	100.0%		発話総数に対する割合	100.0%

【表4-5-3】医療相談における「Ⅱ-1. 電話相談の談話」の「話段」「小話段」の展開

【資料2-1】		【資料2-2】	
話段	発話数 割合	話段	発話数 割合
B 相談かけの話段①	25 15.3%	B 相談かけの話段①	589 司 ～ 602 司
A 相談開始の話段	9 5.5%	A 相談開始の話段	603 司 ～ 610 司
B 相談かけの話段②	70 42.9%	B 相談かけの話段②	611 回 ～ 678 相
C 相談受けの話段①	52 31.9%	C 相談受けの話段①	679 回 ～ 701 相
D 相談終了の話段	7 4.3%	B 相談かけの話段③	702 回 ～ 711 相
発話総数 発話総数に対する割合	163 100.0%	C 相談受けの話段②	712 回 ～ 749 回
		C-2-1回答確認の小話段	750 相 ～ 758 相
		C-1-3回答提供の小話段	759 回 ～ 794 相
		D 相談終了の話段	795 司 ～ 802 司
		発話総数 発話総数に対する割合	214 100.0%

【表4-5-4】医療相談における「Ⅱ-1. 電話相談の談話」の「話段」「小話段」の展開

話段		【資料2-3】		【資料2-4】	
話段	発話数割合	小話段	発話番号、参加者	話段	発話番号、参加者
B 相談かけの話段①	21 6.8%	B-1-1相談提示の小話段	811 司 ～ 831 司	B 相談かけの話段①	B-1-1相談提示の小話段 1126 司 ～ 1137 司
A 相談開始の話段	8 2.6%		832 司 ～ 839 司	A 相談開始の話段	1138 司 ～ 1145 回
B 相談かけの話段②	41 13.3%	B-2-1相談内容確認の小話段	840 回 ～ 880 相	B 相談かけの話段②	B-2-1相談内容確認の小話段 1146 回 ～ 1201 相
C 相談受けの話段①	30 9.7%	C-1-1回答提供の小話段	881 回 ～ 910 相	C 相談受けの話段①	C-1-1回答提供の小話段 1202 回 ～ 1266 回
B 相談かけの話段③	7 2.3%	B-2-2相談内容確認の小話段	911 回 ～ 917 相	C-2-1回答確認の小話段	1267 相 ～ 1278 相
C 相談受けの話段②	24 7.8%	C-1-2回答提供の小話段	918 回 ～ 941 相	C-1-2回答提供の小話段	1279 回 ～ 1310 司
B 相談かけの話段④	18 5.8%	B-2-3相談内容確認の小話段	942 回 ～ 959 相	C-2-2回答確認の小話段	1311 相 ～ 1316 回
C 相談受けの話段③	81 26.3%	C-1-3回答提供の小話段	960 回 ～ 1040 司	C-1-3回答提供の小話段	1317 回 ～ 1331 司
	9 2.9%	C-2-1回答確認の小話段	1041 相 ～ 1049 回	C-2-3回答確認の小話段	1332 相 ～ 1336 回
	13 4.2%	C-1-4回答提供の小話段	1050 回 ～ 1062 相	C-1-4回答提供の小話段	1337 回 ～ 1349 司
	16 5.2%	C-2-2回答確認の小話段	1063 相 ～ 1078 相	C-2-4回答確認の小話段	1350 相 ～ 1360 相
B 相談かけの話段④	9 2.9%	B-2-4相談内容確認の小話段	1079 回 ～ 1087 相	C-1-5回答提供の小話段	1361 回 ～ 1366 回
C 相談受けの話段④	24 7.8%	C-1-5回答提供の小話段	1088 回 ～ 1111 相	C-2-5回答確認の小話段	1367 相 ～ 1370 回
D 相談終了の話段	7 2.3%		1112 司 ～ 1118 司	C-1-6回答提供の小話段	1371 回 ～ 1390 司
		発話総数 発話総数に対する割合	308 100.0%	C-2-6回答確認の小話段	1391 相 ～ 1395 司
				C-1-7 回答提供の小話段	1396 回 ～ 1401 司
				D 相談終了の話段	1402 司 ～ 1409 司
				発話総数 発話総数に対する割合	284 100.0%
					8 2.8%

【表4-5-6】医療相談における「Ⅱ-1. 電話相談の談話」の「話段」「小話段」の展開

【資料3-1】		【資料3-2】	
話段	小話段	話段	小話段
B 相談かけの話段①	B-1-1相談提示の小話段	B 相談かけの話段①	B-1-1相談提示の小話段
A 相談開始の話段		A 相談開始の話段	
B 相談かけの話段②	B-2-1相談内容確認の小話段	B 相談かけの話段②	B-2-1相談内容確認の小話段
C 相談受けの話段①	C-1-1回答提供の小話段	C 相談受けの話段①	C-1-1回答提供の小話段
	C-2-1回答確認の小話段		C-2-1回答確認の小話段
	C-1-2回答提供の小話段		C-1-2回答提供の小話段
D 相談終了の話段		D 相談終了の話段	
発話総数 発話総数に対する割合		発話総数 発話総数に対する割合	
	282 100.0%		403 100.0%

【表4-5-7】医療相談における「Ⅱ-1. 電話相談の談話」の「話段」「小話段」の展開

展開	【資料3-3】			【資料3-4】		
	話段	小話段	発話数 割合	話段	小話段	発話数 割合
B	相談かけの話段①	B-1-1相談提示の小話段	14 5.6%	B	相談かけの話段①	B-1-1相談提示の小話段 1596 司 ～ 1611 司 7.1%
A	相談開始の話段		10 4.0%	A	相談開始の話段	1612 司 ～ 1618 司 3.1%
B	相談かけの話段②	B-2-1相談内容確認の小話段	43 17.3%	C	相談受けの話段①	C-1-1回答提供の小話段 1619 回 ～ 1638 相 8.9%
C	相談受けの話段①	C-1-1回答提供の小話段	172 69.1%	B	相談かけの話段②	B-2-1相談内容確認の小話段 1639 回 ～ 1645 回 3.1%
		C-2-1回答確認の小話段	7 2.8%		B-1-2相談提示の小話段	1646 相 ～ 1659 回 14 6.3%
D	相談終了の話段		3 1.2%	C	相談受けの話段②	C-1-2回答提供の小話段 1660 回 ～ 1751 相 92 41.1%
		発話総数 発話総数に対する割合	249 100.0%		C-2-1回答確認の小話段	1752 相 ～ 1759 相 8 3.6%
					C-1-3回答提供の小話段	1760 回 ～ 1806 司 47 21.0%
					C-2-2回答確認の小話段	1807 相 ～ 1815 司 9 4.0%
				D	相談終了の話段	1816 司 ～ 1819 司 4 1.8%
					発話総数 発話総数に対する割合	224 100.0%

展開	【資料3-5】		
	話段	小話段	発話数 割合
B	相談かけの話段①	B-1-1相談提示の小話段	1820 司 ～ 1843 回 24 6.8%
A	相談開始の話段		1844 司 ～ 1852 司 9 2.5%
B	相談かけの話段②	B-2-1相談内容確認の小話段	1853 回 ～ 1860 相 8 2.3%
C	相談受けの話段①	C-1-1回答提供の小話段	1861 回 ～ 2009 相 149 42.0%
B	相談かけの話段③	B-2-2相談内容確認の小話段	2010 回 ～ 2021 相 12 3.4%
C	相談受けの話段②	C-1-2回答提供の小話段	2022 回 ～ 2105 司 84 23.7%
		C-2-1回答確認の小話段	2106 相 ～ 2118 回 13 3.7%
		C-1-3回答提供の小話段	2119 回 ～ 2145 相 27 7.6%
		C-2-2回答確認の小話段	2146 相 ～ 2167 司 22 6.2%
D	相談終了の話段		2168 相 ～ 2174 司 7 2.0%
		発話総数 発話総数に対する割合	355 100.0%

最も複雑な構造をしていた電話相談は、【資料２－４】であり、「Ｃ．相談うけの話段」の「Ｃ-1. 回答提供の小話段」が７回、「Ｃ-2. 回答確認の小話段」が６回反復されている。「Ｃ-1. 回答提供の小話段」で回答をうけた相談者が、「Ｃ-2. 回答確認の小話段」で回答を確認し、それに対して回答者が再度「Ｃ-1. 回答提供の小話段」で回答を施す展開となっている。

【資料２－４】では、1202 回～1206 回の「Ｃ-1-1. 回答提供の小話段」で、肺の機能が低下している相談者に対して、インフルエンザや肺炎球菌のワクチンを接種すること、栄養面での工夫をし、体重が減らないように注意することといった対処法を述べている。

1267 相～1278 相の「Ｃ-2-1. 回答確認の小話段」では、栄養面での確認、1311 相～1316 回の「Ｃ-2-2. 回答確認の小話段」では、体重面での確認、1332 相～1336 回「Ｃ-2-3. 回答確認の小話段」は、体重の減少に加え、肺活量も減っていることを言い、1337 回～1349 司の「Ｃ-1-4. 回答提供の小話段」で、なぜ肺活量にも影響が及んでいるのかを解説している。「Ｂ．相談かけの話段」や「Ｃ．相談うけの話段」には、司会者はほとんど参加しないが、【資料２－４】には、繰り返される「Ｃ-2. 回答確認の小話段」、「Ｃ-1. 回答提供の小話段」に司会者が「はい。」という〈終了の注目表示〉を言うことで、電話相談を収束させようと働きかけている。

下記の例は、1337 回～1349 司の「Ｃ-1-4. 回答提供の小話段」の終了部である。相談者が1348 相で「ありがとうございます。」と礼を述べていることから、司会者が〈終了の注目表示〉で「はい。」と述べ、電話相談の終了へと導こうとしているが、1350 相からの「Ｃ-2-4. 回答確認の小話段」で「それから先生、」という、「Ｂ1 話を重ねる機能」の接続表現と「先生」と呼びかける〈注目要求〉により、ワクチンに関して、質問をしていることから、さらに「Ｃ．相談うけの話段」の２小話段が反復されている。

(例４－８)

「Ｃ-1-4. 回答提供の小話段」の終了部から「Ｃ-2-4. 回答確認の小話段」

1341 回 ですから、あの一、きんりょ、筋力を強化するためにはですね、

1342 相 はい。

1343 回 あの一、適度な運動//をして、

1344 相 うんうん。

1345 回 筋力が衰えていかないようにです//ね、

1346 相 はいはい。

4. 2. 3 「電話相談の話段」における「話段」と「小話段」の発話機能

【表4－6】は、「電話相談の話段」における各話段、各小話段の発話を全5類40種の発話機能に分類し、参加者別に示したものである。

【表4－6】の太字で示した発話数は、各話段、各小話段において、顕著に見られる機能を示す。以下、例とともに、各話段、各小話段の特徴を述べる。

「A. 相談開始の話段」は、司会者が電話をつなぎ、相談者に呼びかけ、参加者相互が挨拶を交わす話段である。司会者の〈注目要求〉、それをうける相談者の〈承認の注目表示〉、相談者が電話に出たことを確認する司会者の〈確認の注目表示〉の後、司会者、相談者、回答者による挨拶の〈関係作り・儀礼〉の発話が見れる。

(例4－9)では、620 司の相談者への〈注目要求〉により、621 相で、「はい。」と〈承認の注目表示〉で返事をし、本人が出たことによる確認を622 司「はい。」の〈確認の注目表示〉でうけ、622 司、623 回、624 相で、参加者三者が相互に挨拶を交わす、〈関係作り・儀礼〉の発話が見れる。

(例4－9) 「A. 相談開始の話段」の例

- 620 司 MSさん? 〈注目要求〉
621 相 はい。〈承認の注目表示〉
622 司 はい、//こんにちは。〈確認の注目表示〉＋〈関係作り・儀礼〉
623 回 あっ、//こんにちは。〈自己注目表示〉＋〈関係作り・儀礼〉
624 相 よろしくお願ひ//致しま//す。〈関係作り・儀礼〉
625 司 お待たせ致しました。〈関係作り・儀礼〉
626 回 Yですー。〈関係作り・儀礼〉

【資料1－1】

「A. 相談開始の話段」における〈関係作り・儀礼〉の発話は、参加者により、以下の発話に定まっている。

司会者：「こんにちは。」「お待たせいたしました。」

回答者：「こんにちは。」「(回答者の氏名)です。」(【資料1】のみ)

相談者：「こんにちは。」「よろしくお願ひ致します。」

「相談展開の大話段」の「B. 相談かけの話段」は、「B-1. 相談提示の小話段」と「B-2. 相談内容確認の小話段」では、参加者と発話機能に違いがある。

医療の電話相談における「B-1. 相談提示の小話段」は、司会者の代弁により相談内容が提示される。電話受付の時点で、受付に応じた人が、相談者からの相談内容をメモに取っているため、司会者は、メモを見ながら、これから電話をつなぐ相談者の相談内容を説明する役割がある。司会者は、相談者の相談内容をわかりやすく伝えるために、まず、誰からの相談かを明示し、具体的な相談者の症状、診察の経過などを説明した後、相談者の直接の相談内容が疑問形式で引用され、「～（でしょう）かという相談です。」という名詞文で総括されるという、一定の型がある。

相談者の相談内容は、司会者の〈事実報告〉〈意見説明〉の発話により、示されている。「NはVます。」の動詞文、「Nは／があります。」の存在文、経験を表す「NはVたことがあります。」等の〈事実報告〉、「N 1はN 2です。」の名詞文、「N 1はA n/N 2なんです。」といった「ノダ文」の〈意見説明〉が見られる。

以下の（例4－10）は、下線部で示した〈事実報告〉〈意見説明〉により、相談者の相談内容が提示されている。

（例4－10） 「B-1. 相談提示の小話段」

- 12 司 初めの方はNにお住まいのMYさん、 〈意見説明〉
- 13 司 65歳の方ご本人からの相談です。 〈意見説明〉
- 14 司 下痢が、止まらないということな//んですけれども。〈意見説明〉
- 15 回 うーん。〈自己注目表示〉
- 16 司 2年半前から、下痢が止まりません。〈事実報告〉
- 17 司 個人病院やそうぎょう、総合病院と、色々な、あー、病院で検査を受けましたが、
〈事実報告〉
- 18 司 特に、えー問題はありませんでした。〈事実報告〉
- 19 司 大腸の内視鏡検査も2回うけましたが、〈事実報告〉
- 20 司 こちらも、検査結果は特に問題がなかったと。〈事実報告〉
- 21 司 で、現在も1日、えー、1回から3、4回の下痢や軟便を繰り返しています。
- 22 司 腹痛は、ありません。 〈事実報告〉
- 23 司 食欲はあります。 〈事実報告〉

- 24 司 で、和食中心できちっとお食事は召し上がっている、
- 25 司 三食一召し上がっているということなんですが、
- 26 司 これはどういう原因が考えられ//るのでしょうかという、〈説明要求〉
- 27 回 そうですねー。〈自己注目表示〉
- 28 回 うーん。〈自己注目表示〉
- 29 司 相談です。 〈意見説明〉 【資料 1－1】

上述の(例 4－10)では、12 司～13 司の「初めの方はNにお住まいのMYさん、6 5 歳の方ご本人からの相談です。」で、相談者の居住地・氏名・年齢、本人からの相談であることを述べている。何についての相談かは、14 司「下痢が、止まらないということな//んですけれども。」の「下痢が止まらない」内容を引用形式で述べた後に、16 司から症状の詳細を説明し、最後に 26 司、29 司で、「これはどういう原因が考えられるのでしょうか。」という相談者の具体的に相談したい疑問を「という相談です。」で引用して総括している。

「B-1. 相談提示の小話段」のあと、前述の「A. 相談開始の話段」で、参加者相互が挨拶を交わしたあと、次の「B-2. 相談内容確認の小話段」から、相談者と回答者のやりとりで、相談が展開する。

「B-2. 相談内容確認の小話段」では、回答者の要求と相談者の提供が繰り返される。回答者の「要求」系と相談者の「提供」系の発話機能は、以下の通りである。

回答者の要求系の発話機能と、相談者の提供系の発話機能の関係は、以下の通りである。

【図 4－3】「B-2. 相談内容確認の小話段」における回答者の「要求」系の発話機能と相談者の「提供」系の発話機能の関係

回答者の要求	⇒	相談者の提供
〈判定要求〉、〈確認要求〉	⇒	〈応答〉、〈事実報告〉、〈意見説明〉 〈応答〉＋〈事実報告〉、〈応答〉＋〈意見説明〉
〈説明要求〉	⇒	〈事実報告〉、〈意見説明〉
〈選択要求〉	⇒	〈選択情報提供〉

AかBかを選択させる〈選択要求〉には、どちらかを選択する〈選択情報提供〉のみが現れる。不定詞疑問文の〈説明要求〉には、肯否を表す〈応答〉の発話は来ない。

(例4-11) では、「胸の圧迫感」について相談している相談者に、回答者が〈判定要求〉、〈説明要求〉で直接情報を聞き出している。回答者の要求と相談者の提供が繰り返され、回答者は、〈判定要求〉、〈説明要求〉に対する相談者の〈事実報告〉をうけ、さらに詳しく情報を聞きだそうと要求の発話を重ねていく。

(例4-11) 「B-2. 相談内容確認の小話段」

- 394 回 今は一、あの、要するに、問題になっているのは、胸が押されるような
感じですか？ 〈判定要求〉
- 395 相 そうです。 〈応答〉
- 396 相 咳が少し出まして。 〈事実報告〉
- 397 回 少し出るんです//か？ 〈判定要求〉
- 398 相 ええ、そんなに、続けて出てるわけじゃないんですけども、
〈応答〉 + 〈事実報告〉
- 399 回 ええ。〈継続〉
- 400 相 咳は、あの、とちゅ、始めは出なかったんですが、 〈事実報告〉
- 401 相 途中から出始めまして。 〈事実報告〉
- 402 回 一番出るのは、い、一日のうちにいつ頃ですか？ 〈説明要求〉
- 403 回 //たとえば、 〈b2 話を深める機能〉
- 404 相 やっぱり温度が変わったとき、お布団入ったときとか。 〈事実報告〉
- 405 回 夜中は、夜明けはどうですか？ 〈説明要求〉
- 406 相 夜明けとか、あのーそういう時も出ます。 〈事実報告〉
- 409 回 出て眠れないくらいです//か。 〈判定要求〉
- 410 相 眠れないってほどじゃないんですけども、 〈事実報告〉
- 411 回 ええ。〈継続〉
- 412 相 咳がなかなか、治りきれないっていいですか。 〈事実報告〉
- 413 回 なるほど。 〈承認〉
- 414 相 はい。 〈同意〉

【資料2-1】

394 回が、「今は一、あの、要するに、問題になっているのは、胸が押されるような感じですか？」と、相談者が現在一番悩んでいることを直接聞くところから開始する。395 回「そうです。」396 相「咳が少しでまして。」という肯定と〈事実報告〉の発話をうけ、397 回「少し出るんですか？」と、再度〈判定要求〉により、詳しく聞こうとしている。さらに、402 回「一番出るのは、い、一日のうちにいつ頃ですか？」405 回「夜中は、夜明けはどうですか？」という〈説明要求〉で、咳の出る時間帯を聞き、406 相「夜明けとか、あのーそういう時も出ます。」という〈事実報告〉に対して、409 回「出て眠れないくらいですか。」〈判定要求〉で、相談者の答えを得たあと、〈承認の注目表示〉である 413 回「なるほど。」で、咳の症状を一通り認識したことを表している。

（例 4－12）は、【資料 2－2】の「B-2. 相談内容確認の小話段」の終了部である。

（例 4－12）「B-2. 相談内容確認の小話段」

659 回	息苦しさはどうですか、//息切れ。	〈説明要求〉
660 相	はっ、	〈自己注目表示〉
661 相	息切れはね、	〈意見説明〉
662 回	はい。	〈継続〉
663 相	これはまあやっぱりちょっと階段上がったたりすれば、	〈意見説明〉
664 回	ええ。	〈継続〉
665 相	出ますんで。	〈事実報告〉
666 相	これ、あたし歳のせいか、	〈意見説明〉
667 回	ええ。	〈継続〉
668 相	どっちかわからないような、感じですけど。	〈意見説明〉
669 相	//まあやはり今までよりは、ちょっとそういう面ではちょっと苦しいなあと思うことがございます。	〈意見説明〉
670 回	はあ。	〈承認の注目表示〉
671 回	ああ、そうですか。	〈承認〉＋〈確認〉
672 相	はい。	〈確認〉
673 回	あのー、 <u>からぜきはですね、</u>	〈間投表現〉＋〈意見説明〉
674 相	はい。	〈継続〉

675 回 あの一、肺線維症、あるいは間質性肺炎の一、一つの特徴なんですね。

〈間投表現〉＋〈話を重ねる機能〉＋〈意見説明〉

676 相 はあはあ。〈承認〉

677 回 あるいは息切れもそうです。 〈話を重ねる機能〉＋〈意見説明〉

678 相 はあはあ。 〈承認の注目表示〉

回答者が、間質性肺炎の相談者に対して、659 回の〈説明要求〉で、息苦しさについて聞いた後、673 回、675 回「あの一、からぜきはですね、あの一、肺線維症、あるいは間質性肺炎の一、一つの特徴なんですね。」および、677 回「あるいは息切れもそうです。」の〈意見説明〉により、現在、相談者が抱えている間質性肺炎の特徴を専門的見地から述べており、相談者から得た情報からいえることを「B-2. 相談内容確認の小話段」の終了部でひとまず述べた上で、679 回からの「C-1. 回答提供の小話段」に移行する例である。

「C-1. 回答提供の小話段」では、回答者は、〈事実報告〉〈意見説明〉、〈感情表出〉、〈単独行為要求〉の発話を用いており、相談者は、〈継続の注目表示〉〈承認の注目表示〉〈確認の注目表示〉で聞いている。

(例 4-13) の 679 回からの「C-1. 回答提供の小話段」は、679 回「で一、お話を伺うとですね、」で、今までの「B-2. 相談内容確認の小話段」で聞いた話をとりまとめ、681 回「あんまり、その一重一いと状態ということではないですよ。」で、現時点での回答者の見解を「～ですよ。」の〈意見説明〉で述べている。

(例 4-13) 「C-1. 回答提供の小話段」

679 回 で一、お話を伺うとですね、 〈話を重ねる機能〉＋〈意見説明〉

680 相 はい。

681 回 あんまり、その一重一いと状態ということではないですよ。

〈間投表現〉＋〈意見説明〉

682 相 はい。〈継続の注目表示〉

683 回 ただ、ゆっくりですね、 〈意見説明〉

684 相 はい。 〈継続の注目表示〉

685 回 原因が不明なだけにですね、 〈意見説明〉

686 相 はい。 〈継続の注目表示〉

- 687 回 ゆっくり進行していく可能性は十分あります。 〈意見説明〉
- 688 相 はいはい。〈承認の注目表示〉
- 689 回 で、注意すべきことはですね、 〈意見説明〉
- 690 相 はい。 〈継続の注目表示〉
- 691 回 あの一大体先程お話した、 〈間投表現〉 + 〈意見説明〉
- 692 回 風邪で悪くなるんですよ。 〈意見説明〉
- 693 相 はいはい。 〈承認の注目表示〉
- 694 回 つまり、そのウィルス性の感染で、 〈話を深める機能〉 + 〈意見説明〉
- 695 相 はい。 〈継続の注目表示〉
- 696 回 悪くなることが、//多いんですね。 〈意見説明〉
- 697 相 はいはい。 〈承認の注目表示〉
- 698 回 急性増悪と言いますけれども。 〈意見説明〉
- 699 相 はいはい。〈承認の注目表示〉
- 700 回 おー、ですからまあ、風邪に気を付けて頂くということですねー。
〈間投表現〉 + 〈話をまとめる機能〉 + 〈単独行為要求〉
- 701 相 はい。〈承認〉

上の 687 回までは、「注意すべきこと」として、698 回「急性増悪」という医学的な用語の説明を 691 回、692 回、694 回、696 回の〈事実報告〉〈意見説明〉で説明している。700 回の「ですから」という B10 〈話をまとめる機能〉の接続表現で、今までの回答をまとめ、「～て頂くということですねー。」という間接的な指示を〈単独行為要求〉でしている。

医療相談において、「C-1. 回答提供の小話段」の回答は、回答の方法として、以下のような順序、発話機能で提供されている。

- a) 相談者の現在の症状について述べる。
 - a-1) 相談者の現在の症状について回答者の見解を述べる。→ 〈意見説明〉
 - a-2) 相談者の現在の症状について医学的な知識を加えて説明する。→ 〈事実報告〉、〈意見説明〉
- b) 相談者の現在の症状の原因について見解を述べる。

b-1) 相談者の現在の症状の原因について回答者の見解を述べる。→〈意見説明〉

b-2) 相談者の現在の症状の原因について、医学的な知識を加えながら説明する。

→〈事実報告〉, 〈意

見説明〉

c) 今後の対処法を述べる。→〈意見説明〉〈感情表出〉〈単独行為要求〉

d) 対処法をとることの効果を述べる。→〈事実報告〉

前述の(例4-13)では、「C-1. 回答提供の小話段」では、回答者が a-1) 相談者の現在の症状について回答者の見解を述べた後、a-2) 相談者の現在の症状について医学的な知識を加えて〈意見説明〉で説明する。さらに、c) 今後の対処法を〈単独行為要求〉で述べている。

「C-1. 回答提供の小話段」では、回答者の「あの一」「えーつと」等の〈間投表現〉,

「b1 話を重ねる機能」(「それで」)「b2 話を深める機能」(「つまりですね」)

「b3 話を進める機能」(「だから」), 前の「C-1. 相談内容確認の話段」の内容をまとめ

て回答を始める「b10 話をまとめる機能」(「じゃあ」)の接続表現(〈談話表示〉)が回答者が回答を順序だてて提供していく上で、重要になる。(以下, 例4-14)

また, 前の「B-2. 相談内容確認の小話段」での相談者とのやりとりをソ系, コ系の指示表現「そういうことからも」「こういう場合には」でまとめて, 回答を開始する例も見られる。

(例4-14)

462 回 それで一, あの一, 確かに一番最初はですねー,

463 相 はい。

464 回 えー, 風邪のようですよ, 症状はね?

465 相 はい。 (【資料2-1】)

(例4-15)

409 回 だからあの一, つまりですね,

410 回 そういうことからもおわかりになりますように,

411 相 はい。

412 回 冷えるということは、あの、病的な、あの、血管に異常があって冷える場合もあるんですけども、

413 相 はあ。

414 回 あの、多くの場合はですねー、血液の分布といいますか、循環のムラなんですか？

415 相 はあ

（【資料 3－1】）

「C-1. 回答提供の小話段」のあと、「D. 相談終了の話段」へ展開していく際は、相談者が、回答をうけ、納得したことを表す、「あー（は一）、そうですか。」〈承認＋確認の注目表示〉や、〈意見説明〉「わかりましたー。」が来る。

さらに、回答者・相談者双方のあいづちの繰り返しや、相談者の「あー、（は一、）そうですか。」という〈承認＋確認の注目表示〉に対する回答者の〈同意の注目表示〉の「はい。」等の繰り返しにより、もうこれ以上の「C-1. 回答提供の小話段」としての展開はないことをお互いに確かめ合うのが、最終的な収束のサインとなる。

以下は、「C-1. 回答提供の小話段」の終了部である。回答者の相談者へ今後の対処法を述べ、回答を終えるのを相談者が納得し、お互いにこれ以上の展開はないことを確かめ合っている。

（例 4－16）

694 回 夕食の後は、

695 相 はい。

696 回 普通の白湯とかー、薄いお茶とかー、

697 相 はい。

698 回 そういう物に、し、なさったほうがいいかもしれませんねー。

699 相 はい、そうですか。

【資料 1－3】

（例 4－17）

1259 回 体重をもう少し増やすようにですね、

- 1260 相 はい。
- 1261 回 えー，食べ物の，おー，種類を増やすとか，
- 1262 回 あるいは，少しカロリーを増やす，
- 1263 回 あるいは，タンパク質の多い物を増やすという，
- 1264 回 栄養面の工夫を少しされてはいかがでしょうか。
- 1265 相 あー，そうですか。
- 1266 回 ええ。

【資料 2－4】

(例 4－18)

- 503 回 それからー，あの一，ゼイゼイが止まらない時ですね？
- 504 相 はい。
- 505 回 え，つまりゼイゼイがずっと続いて，
- 506 回 特に夜明けに苦しいというようなことがありますとですね？
- 507 回 あの一，気管支を広げる吸入薬がありますので，
- 508 相 はい。
- 509 回 あの一，主治医の先生に相談してみてください。
- 510 相 あっそうです//か。
- 511 回 はい。【資料 2－1】

「C-1. 回答提供の小話段」のあと，相談者が回答を納得し，「D. 相談終了の話段」に展開する例は，医療相談で 15 件中 4 件ある。あとの 11 件は，「C-2. 回答確認の小話段」に展開する。

「C-2. 回答確認の小話段」は，「C-1. 回答提供の小話段」で得た回答を相談者が改めて確認する例と，新たに相談をする例が含まれる。

発話機能としては，「B-2. 相談内容確認の小話段」と同じであるが，参加者が逆になる。

【図 4-4】「C-2. 回答確認の小話段」における相談者の「要求」系の発話機能と回答者の「提供」系の関係

相談者の要求	⇒	回答者の提供
〈判定要求〉, 〈確認要求〉	⇒	〈応答〉, 〈事実報告〉, 〈意見説明〉 〈応答〉 + 〈事実報告〉, 〈応答〉 + 〈意見説明〉
〈説明要求〉	⇒	〈事実報告〉, 〈意見説明〉
〈選択要求〉	⇒	〈選択情報提供〉

下記の(例4-19)の「C-2. 回答確認の小話段」の開始部では、582 相が〈b10 話をまとめる機能〉の「じゃあ」, 〈確認要求〉「よろしいと(いうことですね?)」で改めて回答者に確認している。586 相から 588 相のあいづちの繰り返いで、相談者と司会者が相談を終了してもいいことをお互いに同意しあい、「D. 相談終了の話段」へ移る。

「D. 相談終了の話段」では、司会者や回答者の「お大事に」、相談者の「ありがとうございました。」という〈関係作り・儀礼〉の発話が見られる。

(例4-19) 「C-2. 回答確認の小話段」から「D. 相談終了の話段」

582 相　　は一、じゃあ//やはり、きちんと先生に診て頂いてと//いうことがよろしいと。

〈承認の注目表示〉 + 〈話を進める機能〉 + 〈確認要求〉

583 回 はい。〈継続の注目表示〉

584 回 そのほうがいいと思いますね? 〈感情表出〉

585 回　そうですね？　　　　　〈応答〉

586 相 はい。〈終了の注目表示〉

587 司 はい。〈終了の注目表示〉

588 相 はい。〈同意の注目表示〉

「D. 相談終了の話段」

589 相 はい、//どう、

590 司 お大事になさって//ください。

591 相 はい、ありがとう//ございました。

592 司 失礼いたします。【資料 3-1】

次節では、発話機能の「Ⅲ. 要求」と「Ⅳ. 提供」の各機能に分類された発話の文型の種類と、出現傾向を考察する。

4. 3 医療相談の談話の機能文型の種類と出現傾向

【表4-7】は、医療相談における要求系7種Ⅲ-1〈確認要求〉、Ⅲ-2〈判定要求〉、Ⅲ-3〈選択要求〉、Ⅲ-4〈説明要求〉、Ⅲ-5〈単独行為要求〉、Ⅲ-6〈共同行為要求〉、Ⅲ-7〈言い直し要求〉と、提供の4機能Ⅳ-1〈事実報告〉、Ⅳ-2〈意見説明〉、Ⅳ-3〈感情表出〉、Ⅳ-4〈意志表明〉の7文型を挙げ、各話段、小話段における出現傾向を示したものである。

要求系の7種の中でⅢ-1〈確認要求〉には12種、Ⅲ-2〈判定要求〉には8種、以下、Ⅲ-3〈選択要求〉1種、Ⅲ-4〈説明要求〉7種、Ⅲ-5〈単独行為要求〉7種、Ⅲ-6〈共同行為要求〉1種、Ⅲ-7〈言い直し要求〉7種見られた。

これらのうち、Ⅲ-5〈単独行為要求〉の文型7「オ願イシマス。」の2文が「D. 相談終了の話段」に、また、Ⅲ-6〈共同行為要求〉の文型1「次ノ方ニ参リマショウ。」の1文が「A. 相談開始の話段」に見られる外は、全て「B. 相談かけの話段」と「C. 相談うけの話段」に現れており、要求系の7機能が相談者と回答者、あるいは相談者と司会者による相互行為に現れる機能であることがいえる。要求系の7機能は、特に「B-2. 相談内容確認の小話段」、「C-1. 回答提供の小話段」、「C-2. 回答確認の小話段」の3小話段に見られ、「B-2. 相談内容確認の小話段」では回答者が、「C-1. 回答提供の小話段」では回答者と相談者双方が、「C-2. 回答確認の小話段」では相談者が用いるものである。

Ⅲ-1〈確認要求〉は12文型見られた。Ⅲ-1-1「NハV{ル／タ}(トイウ)ワケデスネ?」、Ⅲ-1-2「Nガ{V／A i イ／A n} トイウコトデスカ{。／?／ネ?}」のように、相談者の相談内容を引用して確認するのに、「トイウワケデスネ?」「トイウコトデスカ?」という形式を用いている。「B-2. 相談内容確認の小話段」に用いられる場合は、以下のように用いられている。

(例4-20)

あの一、慢性間質性肺炎であると、あの一【言われた】わけです//ねー?[資2-2 相談かけ 相確 611 回]

【表4-7】医療相談における「要求」系と「提供」系の機能文型

発話機能	文型No.	文型	文例	相談開始		相談かけの経路		相談うけの経路		相談終了	文型別合計	機能別合計に対する割合
						相談指示	相談内容確認	回答提供	回答確認			
Ⅲ-1〈確認要求〉	Ⅲ-1-1	N1/V (ル/タ) (トイウ) ウケデスネ?	あのー、慢性関節性肺炎である、あのー【言われた】取ります//ねー?【関2-2 相談かけ 相 関 611 回】	0.0%	0.0%	0	13	1	7	0	21	12.4%
				0.0%	0.0%	0.0%	61.8%	4.8%	33.3%	0.0%	100.0%	
	Ⅲ-1-2	N2/V (V/A1/A1) トイコトデスカ し、/?/ネ?	【それ】が、【重要だ】ということですか、【関1-2 相談うけ 回 関 572 回】	0	0	0	16	9	4	0	29	17.1%
	Ⅲ-1-3	N1/V (Uル/タ) /A1/A1/N2) ンデス {ネ?/ヨネ?}	2年一半年前、スー一非難にこう、今の様な症状が【出てきた】//ねー?【関1-1 相 関 45 回】	0.0%	0.0%	0	56.2%	31.0%	13.8%	0.0%	100.0%	
				0	0	1	13	8	7	0	29	17.1%
	Ⅲ-1-4	N1/V (Uル/タ) /A1/A1/N2) ンデス {ネ?/ヨネ?}	【関2-4 相談かけ 相 関 1189 回】	0.0%	0.0%	3.4%	44.8%	27.6%	24.1%	0.0%	100.0%	
	Ⅲ-1-5	N1/V (V/A1/A1) タコトモタイ、(デスネ?)	【関1-1 相談かけ 相 関 78 回】	0.0%	0.0%	0	66.7%	20.8%	12.5%	0.0%	100.0%	
	Ⅲ-1-6	N1/V (Uル/タ) V {マス/マシタ} ヨネ? (-、)	つまり、今1リットル、1分間について//5しゅると【8しゅいしゅ】だねー、【関2-3 相談うけ 回 関 1052 回】	0.0%	0.0%	0	7	7	3	0	17	100%
				0.0%	0.0%	0.0%	41.2%	41.2%	17.6%	0.0%	100.0%	
	Ⅲ-1-7	(6ハ) デスヨネー、/ネエ、/ネ?/ソウデスネ?	【関1-3 相談かけ 相 関 639 回】	0	0	0	1	1	0	0	2	1.2%
	*Ⅲ-1-8	N1/V (V/A1/A1/N2) シヤナイデスカ?	【関1-1 相談かけ 相 関 78 回】	0.0%	0.0%	0	4	0	0	0	4	2.4%
	Ⅲ-1-9	(N1/V) N2デス {カ/ネ、}	【クラリスストル】ですか?【関2-1 相談受け 回 関 479 回】	0.0%	0.0%	0	1	11	0	0	12	7.1%
	Ⅲ-1-10	N1/V (Uル/タ) デシヨウ?	でー、もし、あのー、今、肩が滑り落ちると滑り落ちる【滑り落ちる】でしよう、【関1-1 相談かけ 相 関 166 回】	0.0%	0.0%	0	9	1	0	0	10	5.9%
				0.0%	0.0%	0.0%	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	*Ⅲ-1-11	*Ⅲ-1-1		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-1-12	N1/Vデスカネ、		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-1-13	*Ⅲ-1-1		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	Ⅲ-1-14	N1/V (タラ/タモ/タホウカ) イイン {デスネ?/デシヨウ?}・N1/V N2デシヨウカ、	そういうものは、やはりー、こういう、今先生がおっしゃったようなお薬、あの、【関1-1 相 関 2117 回】	0	0	0	0	4	16	0	20	11.8%
	Ⅲ-1-15	N1/V (Uル/タ) デシヨウカ、	それによって、滑り落ちると滑り落ちる【滑り落ちる】でしよう、【関3-1 相談うけ 回 関 536 回】	0.0%	0.0%	0	0	0	1	0	1	0.6%
				0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	
	Ⅲ-1-16	*Ⅲ-1-1	【低かった】ですか、【関3-5 相談かけ 相 関 2014 回】	0	0	0	1	0	0	0	1	0.6%
Ⅲ-2〈特定要求〉	1 2文型			0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	*Ⅲ-1-1	N1/V {マス/マシタ} カ?	機能別合計に対する割合	0.0%	0.6%	0	81	47	41	0	170	100.0%
	Ⅲ-2-1	N1/V (マス/マシタ) カ?	僕の前には、お茶や何か、かなり【召し上がり】ますか?【関1-3 相談かけ 相 関 663 回】	0.0%	0	0	17	1	0	0	18	24.3%
				0.0%	0.0%	0.0%	94.4%	5.6%	0.0%	0.0%	100.0%	
	Ⅲ-2-2	N1/V (N2/A1/A1) デスカ、	で、【関】は【悪い】ですか?【関2-6 相談かけ 相 関 1644 回】	0	0	0	13	1	0	1	15	20.3%
	Ⅲ-2-3	N1/Vデスカ、・N1/V {An/N2} ナノデシヨウカ、	【お姉さん】は、体格なんかは【よろしい】//ねー?【関3-3 相談かけ 相 関 1276 回】	0.0%	0.0%	0	86.7%	6.7%	0.0%	6.7%	100.0%	29.7%
			機能別合計に対する割合	0.0%	18.2%	0.0%	68.2%	0.0%	13.6%	0.0%	100.0%	

発話機能	文型No.	文型	文例	相談開始		相談かけの経路		相談うけの経路		相談終了	文型別合計	機能別合計に対する割合
				相談指示	相談内容確認	相談提示	相談内容確認	回答提供	回答確認			
発話機能	Ⅲ-2-	4	N/Aアリマス (カ/ネ) ?	0	0	0	9	0	2	0	11	14.9%
	Ⅲ-2-	5	N/V (ル/タ) ワケデス。	0.0%	0.0%	0.0%	81.8%	0.0%	18.2%	0.0%	100.0%	1.4%
	Ⅲ-2-	6	*Ⅲ-1- 回	0	0	0	0	3	0	0	3	4.1%
	Ⅲ-2-	7	*Ⅲ-1- 回	0	0	0	3	0	0	0	3	4.1%
	*Ⅲ-2-	8	*Ⅲ-1- 回	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	Ⅲ-2-	9	*Ⅲ-1- 回	0	0	0	1	0	0	0	1	1.4%
	8文型			0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
	1文型			0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%
	Ⅲ-4-	1	何カ (Vタコトハ) アリマスカ?/アリマセンカ?	0	0	0	4	2	0	0	6	3.6%
	Ⅲ-4-	2	N/A (タコトハ) アリマスカ?/アリマセンカ?	0	0	0	4	2	0	0	6	3.6%
	Ⅲ-4-	3	N/A (タコトハ) アリマスカ?/アリマセンカ?	0	0	0	4	2	0	0	6	3.6%
	Ⅲ-4-	4	(ドウ/イカガ) デショウ (カ/カネ、)	0	0	0	2	0	0	0	2	3.6%
発話機能	Ⅲ-4-	5	N/A、(ドウ/ドンナフウニ/何回/何種類/ドノ種類) ヴデマスカ?	0	0	0	9	0	0	0	9	16.4%
	*Ⅲ-4-	6	何ヲVテホシインデスカ?	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-4-	7	ドンナ (トノヨウナ、ドウイウ) Nデスカ?/Nデシタカ?/Nデショウカ?	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	Ⅲ-4-	8	ドンナNガVデスカ?/Vノデショウカ?/Vデマスカ?	0	2	0	0	0	0	0	2	3.6%
	Ⅲ-4-	9	ドンナリガVデスカ?	0	1	0	0	0	0	0	1	1.8%
	*Ⅲ-4-	10	ドンナノNデショウカ。	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	—
	*Ⅲ-4-	11	ドウV (タインデスカ?/タンデスカ?)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-4-	12	ドウ (イウフウニ/ヤッテ) V (タラ/ハ) (イイデショウカ。	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-4-	13	N1ガVルノハ、ドウシデスカ?	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	7文型			0	5	40	4	1	0	55	100.0%	100.0%

発話機能	文型No.	文型	文例	相談開始		相談かけの経段		相談うけの経段		相談終了	文型別合計に対する割合	機能別合計に対する割合
				相談提示	相談内容確認	相談提示	相談内容確認	回答提供	回答確認			
Ⅱ-6(準備行為要求)	Ⅱ-1-1	N1Vチクダサイ(ネ)。		0.0%	0.0%	9.1%	72.7%	7.3%	1.8%	0.0%	100.0%	
				0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.0%	0.0%	0.0%	6.0%	9.8%
	Ⅱ-5-	N1Vチミテクダサイ。		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.0%	0.0%	0.0%	100.0%	9.8%
	Ⅱ-6-	N1Vチミテクダサイか？		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	4.0%	6.6%
	Ⅱ-5-	N1V(チハ/タラ/チミタラ) (ドウ/イカガ) デショウカ(ネ)。		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%	16.4%
	Ⅱ-5-	N1Vチイタダイテ、ハチイタダクト、ハチイタダケルトカ。		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	32.8%
	Ⅱ-6-	N1Vチイタダケレハチイタダキタイト(♂/トコ) 思イマスケド		0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	12.0%	0.0%	0.0%	13.0%	21.3%
	Ⅱ-5-	オコシタマス。		0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	92.3%	0.0%	0.0%	100.0%	3.3%
	Ⅱ-5-	N1Vチイタダケ/モウエマスカ？(ネ)		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	
	Ⅱ-5-	N1Vチアサテ、(ウダサイ)		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	Ⅱ-5-	N1Vチ、/。		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	Ⅱ-5-	N1Vタラインノノカサト、ノジャナイデショウカ、ノジャナイデスカ？		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	Ⅱ-5-	Ⅱ-1-		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	Ⅱ-5-	N1Vチミマショウネー。		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	Ⅱ-5-	N1Vルコト。		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
Ⅱ-6(表裏行為要求)	Ⅱ-1-1	N1Vマショウ。		0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	95.1%	0.0%	3.3%	100.0%	
				1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	100.0%
	Ⅱ-7-	モウ一度オネガイシマス。		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
				100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	Ⅱ-7-	ハッ？		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	1.0%	4.2%
	Ⅱ-7-	エッ？		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	2.0%	20.8%
	Ⅱ-7-	アッ？		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	40.0%	4.2%
	Ⅱ-7-	ハイッ？		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	1.0%	12.5%
	Ⅱ-7-			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	66.7%	
	Ⅱ-7-			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	Ⅱ-7-			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	Ⅱ-7-			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	Ⅱ-7-			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	Ⅱ-7-			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

発話機能	文型No.	文型	文例	相談開始		相談かけの経段		相談うけの経段		相談終了	文型別合計	機能別合計に対する割合
				相談提示	相談内容確認	相談提示	相談内容確認	回答提供	回答確認			
IV-1〈事業報告〉	Ⅲ-7-	6 職工モラエマス?	文型別合計に対する割合 文型別合計 1701 相	0	0	0	0	1	0	0	1	4.2%
				0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	Ⅲ-7-	7 相手の電話の聞き取れた部分まで返直	文型別合計に対する割合 文型別合計 462 相	0	0	0	0	11	1	0	12	50.0%
				0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	91.7%	8.3%	0.0%	100.0%	
		7 文型	合計	0	0	0	3	16	5	0	24	100.0%
				0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	66.7%	20.8%	0.0%	100.0%	
	Ⅳ-1-	1 N/A (ノ/A)・Vマス/Vマセン。Vシ、Vナイデス。	文型別合計に対する割合 文型別合計 16 相	0	60	69	35	16	0	180	39.2%	
				0.0%	33.3%	36.3%	19.4%	8.9%	0.0%	100.0%		
	Ⅳ-1-	2 Nガアリマス、/アリマセン。	文型別合計に対する割合 文型別合計 822 相	0	12	21	29	0	0	62	13.5%	
				0.0%	19.4%	33.9%	45.8%	0.0%	0.0%	100.0%		
IV-2〈質問説明〉	Ⅳ-1-	3 N/Vラ、Vタイマス。	文型別合計に対する割合 文型別合計 813 相	0	27	30	23	0	0	80	17.4%	
				0.0%	33.8%	37.5%	28.8%	0.0%	0.0%	100.0%		
	Ⅳ-1-	4 N/A (Vヨウ、Vコト、Nニ/ト、Aク、An) ニナリマス、/ナリマシタ。	文型別合計に対する割合 文型別合計 1648 相	0	0	2	12	0	0	14	3.1%	
				0.0%	0.0%	14.3%	85.7%	0.0%	0.0%	100.0%		
	Ⅳ-1-	5 N/A、Vタコトガ/モアリマス、/アリマセン、/アルノネ?	文型別合計に対する割合 文型別合計 822 相	0	12	9	89	0	0	110	24.0%	
				0.0%	10.9%	8.2%	80.9%	0.0%	0.0%	100.0%		
	Ⅳ-1-	6 N/A、(Vル/Vタ/AI/AAn/N)ン (マス/デス) も、/ネ、/セン、/聞取の可能形	文型別合計に対する割合 文型別合計 820 相	0	0	0	5	0	0	5	1.1%	
				0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	Ⅳ-1-	7 NガVチキマス、/Vチキマスヨネ?	文型別合計に対する割合 文型別合計 1791 相	0	1	0	7	0	0	8	1.7%	
				0.0%	12.5%	0.0%	87.5%	0.0%	0.0%	100.0%		
IV-2〈質問説明〉	Ⅳ-2-	1 *Ⅲ-1-	機能別合計に対する割合 機能別合計 315 相	0	112	131	200	16	0	459	100.0%	
				0.0%	24.4%	28.5%	43.6%	3.5%	0.0%	100.0%		
	Ⅳ-2-	2 N/A、(A I/AAn/Vナイ) (マス/デスネー、デシタネー、/デスヨネー、)	文型別合計に対する割合 文型別合計 1283 相	0	90	37	112	10	0	249	21.9%	
				0.0%	36.1%	14.9%	45.0%	4.0%	0.0%	100.0%		
	Ⅳ-2-	3 N/A、(Vル/Vタ/AI/AAn/N)ン (マス/デス) も、/ネ、/デスネー、)	文型別合計に対する割合 文型別合計 1458 相	0	5	5	1	1	0	12	1.1%	
				0.0%	41.7%	41.7%	8.3%	8.3%	0.0%	100.0%		
	Ⅳ-2-	4 N/A、(V/AI/AAn/N) (ヨウ/ラシ/ミタイ/ソウ) デス。	文型別合計に対する割合 文型別合計 743 相	0	13	1	3	0	0	17	1.5%	
				0.0%	76.5%	5.9%	17.6%	0.0%	0.0%	100.0%		
	Ⅳ-2-	5 N/A、(V/AI/AAn/N) カモシマセン も、/ネー、)	文型別合計に対する割合 文型別合計 780 相	0	0	0	15	0	0	15	1.3%	
				0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
IV-2〈質問説明〉	Ⅳ-2-	6 N/A、(V/AI/AAn/N) トイウコト (デシヨウ (ネ) /デスネー、)	文型別合計に対する割合 文型別合計 460 相	0	0	4	10	0	0	14	1.2%	
				0.0%	0.0%	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%	100.0%		
	*Ⅳ-2-	7 N/A、(N2/AAn) ジャナイ (デシヨウ (カ (ネー)、/デスカ?/カシラ、)	文型別合計に対する割合 文型別合計 1800 相	—	—	—	—	—	—	—	—	
				0	0	8	122	3	0	133	11.7%	
	Ⅳ-2-	8 N/A、(V/AI/AAn/N) トモ (イマス、/ウンデス、/チルンデスヨネー、/ツチ、)	文型別合計に対する割合 文型別合計 1670 相	0.0%	0.0%	6.0%	91.7%	2.3%	0.0%	100.0%		
				0	0	0	57	3	0	60	5.3%	
	Ⅳ-2-	9 N/A、(Vカワリタイ (トモ/マス、/デシヨウ、/ンジャナイデシヨウカ、/ンジャナイカトモイマス、)	文型別合計に対する割合 文型別合計 1670 相	0.0%	0.0%	0.0%	95.0%	5.0%	0.0%	100.0%		
				0.0%	0.0%	0.0%	95.0%	5.0%	0.0%	100.0%		

発話機能	文型No.	文型	文例	相談開始		相談かけの段階		相談うけの段階		相談終了	文型別合計	機能別合計に対する割合	
				相談指示	相談内容確認	相談提示	相談かけの段階	相談内容確認	回答提供				回答確認
IV-4《電話要請》	IV-3-	4	N1ハ、Vテモショウガサインデス（ネ）。	4文型	床を（きれいに）はがしてて//ほ、しょうがないんですね。【調3-2 相談うけ 回答提供 1723 回】		0	0	0	1	0	1	1.1%
			文型別合計に対する割合		0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%		
			合計		0	0	5	89	0	94	100.0%		
			機能別合計に対する割合		0.0%	0.0%	5.3%	94.7%	0.0%	100.0%	—		
	*IV-4-	1	N1/Vマス。	IV-4-	【調】ほもうでるだけ【断まない】ようにしてる//んですけど、【調1-1 相談かけ 相違 1179 回】		—	—	—	—	—	—	
		2	N1ハ、N2ラVヨウニシデイマス。		文型別合計に対する割合		0	0	1	0	0	1	25.0%
				文型別合計に対する割合		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	25.0%	
				ま、あのーちょっと【ご相談した】返//ですが、【調1-2 相談かけ 相違 386 回】		0	0	1	0	0	1	25.0%	
				文型別合計に対する割合		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	25.0%	
				//あの、ちょっと【お尋ねし】ますけどな？【調3-3 相談かけ 相違 1273 回】		0	0	1	0	0	1	25.0%	
				文型別合計に対する割合		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	25.0%	
				少しふ、【太り】たいと思いましてて//すね？【調1-1 相談かけ 相違 56 回】		0	0	1	0	0	1	25.0%	
				文型別合計に対する割合		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	—	
				—		—	—	—	—	—	—	—	
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		
			—		—	—	—	—	—	—	—		

【注】表の右側に発話機能の「要求系」(Ⅲ-1(確認要求)、Ⅲ-2(決定要求)、Ⅲ-3(選択要求)、Ⅲ-4(説明要求)、Ⅲ-5(単独行為要求)、Ⅲ-6(共同行為要求)、Ⅲ-7(言い直し要求))の22種、「提供系」(Ⅲ-1(事実報告)Ⅲ-2(意見表明)Ⅲ-3(感情表出)Ⅲ-4(意志表明))に分類された47種、計69種の文型を示す。

各発話機能の番号の*は、医療相談の話しに用いられなかった文型であることを示す。

文型欄の書き方は、『日本語文法』(早稲田大学日本語研究教育センター編 2006)の凡例にしたがう。

表の「文例」欄には、医療相談の例を挙げた。下線は、文型を、[]内は、[資料番号、語段、小語段、発話番号、参加者]をそれぞれあらわす。

表右欄には、相談の各「語段」「小語段」の出現数を示した。合計に対する割合は、下段の「文型別合計に対する割合」に示す。医療相談の話しにおける「要求系」「提供系」の各機能に見られた文型数は、各機能の最下段に示す。「合計」、「機能別合計に対する割合」は、各語段、小語段別の出現数の合計と機能別合計に対する割合をそれぞれ示す。

また、回答をうけた相談者が「C-2. 回答確認の小話段」で質問をする際は、以下のよう
に用いる。

(例 4-21)

【それ】が、【重要だ】ということですか。[資 1-2 相談うけ 回確 572 相]

国立国語研究所(1960)の〈確認要求〉には、「文末に「ネ」「ナ」などの終助詞をとまな
うもの」と定義づけられているが、文型 1「～(という)わけですね?」、文型 2「～とい
うことですか。」のように、相談者の相談内容を引用して、直接確認する文型も医療相談に
は含まれることが観察された。

Ⅲ-2〈判定要求〉の 8 文型は、すべて終助詞が「か?／。」で終わっていることから、回
答者が「寝る前には、お茶や何か、かなり【召し上がり】ますか? [資 1-3 相談かけ 相確
663 回]」などで、「C-1. 回答提供の小話段」に向けて、相談者からさらに情報を聞き出し
ていることがうかがえる。

不定詞疑問文のⅢ-4〈説明要求〉も回答者が「B-2. 相談内容確認の小話段」に用いられ
るものが多い。Ⅲ-5〈単独行為要求〉の 7 種の文型は、前述の(例 4-16)のように、「C-1.
回答提供の小話段」の最後に来ることが多い。

提供系 4 種の機能文型としては、Ⅳ-1〈事実報告〉に 7 種、Ⅳ-2〈意見説明〉に 21 種、
Ⅳ-3〈感情表出〉に 4 種、Ⅳ-4〈意志表明〉に 4 種の機能文型が見られた。

Ⅳ-1〈事実報告〉の機能文型のうち、最も多い文型は、以下の 2 種である。

Ⅳ-1- 1 Nハ(／ハ), Vマス／Vマセン。Vテ, Vシ, ／Vナイデス。

Ⅳ-1- 5 Nハ, Vタコトガ／モアリマス。／アリマセン。／アルノネ?

「2 年半前から、下痢が【止まり】ません。[資 1-1 相談かけ 相談提示 16 司]」や、
「【それ】は、な、【言われ】たことないですけど。[資 2-6 相談かけ 相確 1648 相]」等
の例が見られる。

Ⅳ-1 の〈事実報告〉は、各小話段によって、用いる参加者が異なっている。「C-1. 回答
提供の小話段」は回答者、「B-2. 相談内容確認の小話段」は回答者の要求に対して相談者
が、「B-1. 相談提示の小話段」は司会者が相談者の相談内容を代弁するために用いている。

「C-2. 回答確認の小話段」には、16 文出現しているが、すべて V-1-1 の動詞文による
ものであり、相談者の要求に対する回答者の回答に用いられている。

IV-2〈意見説明〉21種の文型は、「C-1. 回答提供の小話段」で回答者が回答をするのに用いているのが最も多く747文ある。回答者が、相談者の体の症状について見解を述べるのに用いているものと考えられる。下記の2種は、特に「C-1. 回答提供の小話段」において回答者が多く見られた。

IV-2-3 Nハ、{Vル/Vタ/Ai/An/N}ン {マス/デス} {。/ネ。/デスネ。}

IV-2-8 Nハ、{V/Ai/An/Nダ}ト思 {イマス。/ウンデス。/テルンデスヨ一。/ッテ。}

「でー、【こういう薬】はですねー、あの、比較的高齢の方でも、安心して飲んでもらえる【漢方薬な】んです。[資 3-3 相談うけ 回答提供 1458 回]」、「あー、【それ】はちょっと量が【少ない】と思いますね。[資 2-6 相談うけ 回答提供 1800 回]」等で、回答者が相談者に回答をする際、意見を述べる際に用いている。

「IV-2-19 Nハ、{Vル/Vタ/Ai/An}ワケ {デス。/ナンデス。}」は、「で、【肺の機能というの】はですね、あの一、健康な人でも、だんだん【落ちてくる】わけですよ、年とともにですね。[資 2-4 相談うけ 回答提供 1214 回]」のように、回答者が相談者に医学的見地から専門的知識を提供している。

III-4〈感情表出〉の4種のうち、IV-3-1「N {ガ/デ/モ} Ai/Anデス。N1ガN2デス。」のい形容詞、な形容詞、名詞に入る語句は、「いい」「大事な」「一番」等であり、「C-1. 回答提供の小話段」において、回答者が相談者に、現在行っている治療に対し、また今後の対処法を評価を加えて述べている。

III-5〈意志表明〉のIV-4-2「N1ハ、N2ヲVヨウニシテイマス。」、IV-4-3「NハVタワケデスガ。」、IV-4-4「NハVマスケドネ?」、IV-4-5「NヲVタイト思イマシテ。/思ウノデスガ。」の4種は、「B-2. 相談内容確認の小話段」に出現しており、相談者が回答者の要求に答える形で用いている。

4. 4 医療相談の談話型

医療相談の話段、小話段の展開パターンと、全15件の電話相談の内訳を示すと、以下のようになる。

【図4-5】医療相談の談話における「話段」と「小話段」の展開パターン

パターン1			パターン2			パターン3			パターン4		
1	A. 相談開始 の話段		1	A. 相談開始 の話段		1	A. 相談開 始の話段		1	A. 相談開始 の話段	
2	B. 相談かけ の話段	2-1 B-1. 相談 提示の小 話段	2	B. 相談かけ の話段	2-1 B-1. 相談 提示の小 話段	2	B. 相談か けの話段	2-1 B-1. 相談 提示の小話 段	2	B. 相談かけ の話段	2-1 B-1. 相談 提示の小話 段
		2-2 B-2. 相談 内容確認 の小話段			2-2 B-2. 相談 内容確認 の小話段			2-2 B-2. 相談 内容確認の 小話段			2-2 B-2. 相談 内容確認の 小話段
3	C. 相談うけ の話段	3-1 C-1. 回答 提供の小 話段	3	C. 相談うけ の話段	3-1 C-1. 回答 提供の小 話段	3	C. 相談うけ の話段	3-1 C-1. 回答 提供の小話 段	3	C. 相談うけ の話段	3-1 C-1. 回答 提供の小話 段
4	D. 相談終 了の話段				3-2 C-2. 回答 確認の小 話段			3-2 C-2. 回答 確認の小話 段	4	B. 相談かけ の話段	4-1 B-2. 相談 内容確認の 小話段
			4 D. 相談終 了の話段			3-3 C-1. 回答 提供の小 話段		5	C. 相談うけ の話段	5-1 C-1. 回答 提供の小話 段	
									6 D. 相談終 了の話段		
医療1件			医療9件			医療0件			医療5件		

注 日本語の相談の談話の「話段」、「小話段」の展開の4パターンを示したものである。
各話段の右に話段の順序を、各小話段の右に小話段の順序を枝番号で示す。
表の最下段に、各パターンのデータ数を示した。

医療相談においては、パターン3は0件であった。各パターンについては、【図4-6】を参照されたい。【図4-6】は医療相談における談話型を示したものである。

「A. 相談開始の話段」、「B. 相談かけの話段」、「C. 相談うけの話段」、「D. 相談終了の話段」の各話段、「B-1. 相談提示の小話段」、「B-2. 相談内容確認の小話段」「C-1. 回答提供の小話段」、「C-2. 回答確認の小話段」の典型的な展開を示すとともに、各小話段の成立を決定付ける機能文型を挙げる。

中心文は、各話段、各小話段の特徴づけるものであるが、実質的な発話のみならず、その発話をうける発話も組にして示すことで、日本語学習者が表現し、理解する相談の談話の典型例を理解することが目的である。

【図4-6】は、縦軸に医療相談の話段、小話段を出現順に並べ、発話機能と文型の分析から、各話段、小話段を特徴づける中心発話を作例としてあげたものである。

医療相談は、15件すべてが「B. 相談かけの話段」の「B-1. 相談提示の小話段」から始まり、司会者の紹介による〈意見説明〉の発話によって、相談内容が示される。

その後、「A. 相談開始の話段」により、参加者相互の〈関係作り・儀礼〉による挨拶が交わされる。「B. 相談かけの話段」の「B-2. 相談内容確認の小話段」は、〈確認要求〉〈判定要求〉〈選択要求〉〈説明要求〉の4種の要求の発話とそれらに対する提供の発話が順不同で繰り返されるのが特徴であり、縦の矢印を示した。

【図4－6】医療相談の談話型

話段・小話段		文番号	例	文型	発話機能
B 相談 かけ の 話 段	B 1 相 談 提 示 の 小 話 段	1	司：初めの方は、～さんからの相談です。	Ⅳ-2- 1 N1ハ、N2デス。	〈意見説明〉
		2	司：風邪についての相談です。	Ⅳ-2- 1 N1ハ、N2デス。	
		3	司：もう少し様子を診てもらったほうがいいでしょうかという相談です。	Ⅲ-1- 14 NヲVタホウガイイデショウカ。	
A. 相談開始の話段		4	司：鈴木さん？	Ⅲ-1- 1 Nサン？	〈注目要求〉
		5	相：はい。	V-2 a- 6 ハイ	〈承認の注目表示〉
		6	司：お待たせいたしました。	V-1- 2 オ待タセシマシタ。	〈関係作り・儀礼〉
		7	相：よろしく願います。	V-1- 4 ヨロシクオ願イシマス。	〈関係作り・儀礼〉
B 相談 かけ の 話 段	B 2 相 談 内 容 確 認 の 小 話 段	8－1	回：咳は出ますか？	Ⅲ-2- 1 NハVマスカ？	〈判定要求〉
		8－1	相：はい、出ます。	Ⅳ-1- 1 NハVマス。	〈応答〉＋〈事実報告〉
		↑ ↓			
		8－2	回：今、お薬を飲んでいいるということですね？	Ⅲ-1- 2 NヲVトイウコトデスカ？	〈確認要求〉
		8－2	相：はい、お薬、飲んでます。	Ⅳ-1- 3 Nハ、Vテイマス。	〈応答〉＋〈事実報告〉
		↑ ↓			
		8－3	回：呼吸はどうですか？	Ⅲ-4- 3 Nハ、ドウデスカ？	〈説明要求〉
		8－3	相：すごく苦しいんです。	Ⅳ-2- 3 Nハ、A i ンデス。	〈意見説明〉
		↑ ↓			
		8－4	回：咳が出るのは夜ですか？それとも朝ですか？	Ⅲ-3- 1 N1ハN2ソレトモN3デスカ？	〈選択情報要求〉

話段・小話段	文番号	例	発話機能	
			文型	
	8-4	相: そうですね、夜です。	IV-2- 1 N1ハ、N2デス。	<選択情報提供>
	9	回: なるほどね。	V-2b- 11 ナルホド	<承認の注目表示>
	10	相: はい。	V-2h- 6 ハイ	<同意の注目表示>
C 相談 つけ の 話 段	11	回: そうですね。	ソウデスネ。	<自己注目表示>
	12	回: 今の症状はそれほど重くはないようですよ。	IV-2- 4 Nハ、A I ヨウデス。	<意見説明>
	13	回: ただ、これから悪くなる可能性があります。	IV-2- 16 N1ハ、N2 ノ N3 ガア J マス。	<意見説明>
	14	相: あー、そうですか。	V-2b- 2 アー V-2d- 5 ソウデス カ	<承認+確認の注目表示>
	15	回: 夜、さらに呼吸が苦しくなると思っていますよ。	IV-2- 8 Nハ、A n ト 思 イ マ ス。	<意見説明>
	16	相: うーん、そうですねー。	V-2b- 6 ウーん V-2d- 6 ソウデス ネ	<承認+確認の注目表示>
	17	回: だから、薬は続けて飲んでほしいと思います。	IV-2- 9 Nハ、V タ ホ ウ ガ イ ト 思 イ マ ス。	<意見説明>
	18	相: あー、そうですか。	V-2b- 2 アー V-2d- 5 ソウデス カ	<承認+確認の注目表示>
	19	回: それで様子を見て、まだ苦しいようでしたら、主治医の先生に相談してみてください。	IV-1- 1 Nハ/V デ、 V 1 タ ラ、	<単独行為要求>
	20-1	相: わかりました。	Ⅲ-5- 2 NニV テ ミ テ ク ダ サ イ。 IV-2- 11 V マ シ タ。	<意見説明>
	20-2	相: あー、そうですか。	V-2b- 2 アー V-2d- 5 ソウデス カ	<承認+確認の注目表示>

話段・小話段		文番号	例	文型	発話機能
D. 相談終了の話段					
	pattern1	21-1	相：ありがとうございます。	V-1-7	〈関係作り・儀礼〉
		21-1	回：お大事に。	V-1-5	〈関係作り・儀礼〉
C 相談うけの話段	C2 回答確認の小話段	21-2	相：じゃあ、今のお薬を続けたほうがいいんですね？	III-1-14	〈確認要求〉
		21-2	回：はい、大丈夫だと思います。 ⇒ 20-1か、20-2へ	IV-2-8	〈応答〉+〈意見説明〉
B 相談かけの話段	B2 相談の小話内容確認	21-4	回：それから、たばこは吸ってますか？	III-2-6	〈判定要求〉
		21-4	相：いいえ、たばこは吸っていません。 ⇒ C-1.回答提供の小話段へ	IV-1-3	〈応答〉+〈事実報告〉

続く「C. 相談うけの話段」では、まず、「C-1. 回答提供の小話段」が現れ、回答者の〈意見説明〉〈事実報告〉〈感情表出〉〈単独行為要求〉が順に示される。それらに対する相談者の〈注目表示〉をともに中心発話として示すことで、単なる実質的な回答の羅列に留まらない相談者の反応の必要性を示すことができるのではないと思われる。

「C-1. 回答提供の小話段」の最後の相談者の反応により、その後の談話の展開が3パターン考えられる。

パターン1は、相談者が18-1「わかりました。」と回答を受諾したことを〈意見説明〉で示すと、「D. 相談終了の話段」で相談が終了する。

パターン2は、18-2「あー、そうですか。」という〈承認+確認の注目表示〉を相談者が述べたあと、「C-2. 回答確認の小話段」に展開するもので、相談者が〈確認要求〉で前の回答を確認する。

パターン4は、17「主治医の先生に相談してみてください。」という回答者の〈単独行為要求〉のあと、「B-2. 相談内容確認の小話段」に展開していくもので、一旦回答したあと、さらに相談者に確認をする。

パターン2、パターン4が終了したあとは、それぞれ「D. 相談終了の話段」へ移行し、電話相談が終了する。

「C-1. 回答提供の小話段」の最後の発話が、その後、談話をどう展開させていくかを示すものとなることを日本語学習者に教授することは、談話をさらに発展させていける手段を提示することにもなるのではないと思われる。

本章では、医療相談における談話の構造を発話機能の分布の特徴および、要求と提供の発話機能における文型の観点から考察した。

次章では、心理相談において、医療相談との談話の構造、発話機能、文型の相違点を述べる。

第5章 ラジオの心理相談番組における相談の談話の構造

5. 1 ラジオの心理相談番組における「談話」と「大話段」

本研究の心理相談3資料【資料4】【資料5】【資料6】の発話総数は5,779発話である。
心理相談の3資料の発話総数等の詳細は、【表3-4】の通りである。

【表3-4】 心理相談の談話資料の基礎情報

談話資料	【資料4】	【資料5】	【資料6】	心理相談 の 発話総数	心理相談 の 平均発話数
放送日時	2001.9.20	2001.10.18	2001.11.2		
司会者	A. K アナウンサー	A. K アナウンサー	A. K アナウンサー		
回答者	UM病院院長 S. T氏	心理カウンセ ラー U. R氏	児童精神科医 S. E氏		
発話総数	2,016発話	2,151発話	1,612発話	5,779発話	1926.3発話
相談件数 { 祖母からの相談 母親からの相談 本人からの相談	{ 4 0 0	{ 3 0 2 1	{ 2 0 2 0	{ 9 4 4 1	相談件数平均 3件
相談者不参加の相談	0	0	0	0	

3資料は、すべて医療相談と同じアナウンサーによるものであり、回答者は、カウンセラーや、精神科医である。3資料の平均発話数は、1926,3発話、また、電話相談の相談件数の平均は、3件である。

本章での「談話」も、医療相談と同じく、ラジオの放送1回分とする。また、「大話段」は、ラジオの放送1回分の「談話」が「開始」し、「展開」し、「終了」するという構造を主軸に置いて認定した、以下の5類6種である。医療相談と比較すると、心理相談もラジオの番組であるということから、「Ⅰ. 番組開始の大話段」、「Ⅱ. 番組展開の大話段」、「Ⅲ. 番組継続の大話段」、「Ⅳ. 番組終了の大話段」、「Ⅴ. ニュース・音楽の大話段」が全てに現れていることが共通している。

しかし、心理相談には、「Ⅱ-2. 電話相談の補足解説の大話段」が見られない。心理相談は、相談者の相談内容が個別であることから、「Ⅱ-1. 電話相談の談話」で、各相談者との電話相談が終了したあとは、次の「Ⅱ-1. 電話相談の談話」へ移るか、「Ⅲ. 番組継続の大

【表5-1】心理相談の談話における大話段の展開

【資料4】	【資料5】	【資料6】
I. 番組開始の大話段 I-1. 番組案内の大話段	I. 番組開始の大話段 I-1. 番組案内の大話段	I. 番組開始の大話段 I-1. 番組案内の大話段
I-2. 番組のテーマに関わる 一般的解説の大話段	I-2. 番組のテーマに関わる 一般的解説の大話段	I-2. 番組のテーマに関わる 一般的解説の大話段
Ⅲ-1. 番組継続の大話段	Ⅲ-1. 番組継続の大話段	Ⅲ-1. 番組継続の大話段
V-1. 別番組{ニュース・音楽}	V-1. 別番組{ニュース・音楽}	V-1. 別番組{ニュース・音楽}
Ⅱ-①. 番組展開の大話段 Ⅱ-1-1. 電話相談の談話 【資料4-1】	Ⅱ-①. 番組展開の大話段 Ⅱ-1-1. 電話相談の談話 【資料5-1】	Ⅱ-①. 番組展開の大話段 Ⅱ-1-1. 電話相談の談話 【資料6-1】
Ⅱ-1-2. 電話相談の談話 【資料4-2】	Ⅱ-1-2. 電話相談の談話 【資料5-2】	Ⅲ-2. 番組継続の大話段
Ⅲ-2. 番組継続の大話段	Ⅲ-2. 番組継続の大話段	V-2. 別番組{ニュース・音楽}
V-2. 別番組{ニュース・音楽}	V-2. 別番組{ニュース・音楽}	Ⅲ-3. 番組継続の大話段
Ⅱ-②. 番組展開の大話段 Ⅱ-2-3. 電話相談の談話 【資料4-3】	Ⅱ-②. 番組展開の大話段 Ⅱ-2-3. 電話相談の談話 【資料4-3】	Ⅱ-②. 番組展開の大話段 Ⅱ-2-2. 電話相談の談話 【資料6-2】
Ⅱ-2-4. 電話相談の談話 【資料4-4】	Ⅳ. 番組終了の大話段	Ⅳ. 番組終了の大話段

(注)大話段の「I. 番組開始の大話段」、「Ⅱ. 番組展開の大話段」、「Ⅲ. 番組継続の大話段」、「Ⅳ. 番組終了の大話段」のうち、「Ⅱ. 番組展開の大話段」、「Ⅲ. 番組継続の大話段」は、複数回現れるため、出現回数を丸数字の枝番で示した。

【表５－２】 心理相談の大話段における参加者別発話数

大話段	司会者	回答者	相談者	沈黙	合計	(資料別)発話 総数に対する 割合
Ⅰ．番組開始の大話段	479 47.2%	535 52.8%	0 0.0%	0 0.0%	1014 100.0%	17.6%
【資料４】	181 51.7%	169 48.3%	0 0.0%	0 0.0%	350 100.0%	17.4%
【資料５】	184 50.7%	179 49.3%	0 0.0%	0 0.0%	363 100.0%	16.9%
【資料６】	114 37.9%	187 62.1%	0 0.0%	0 0.0%	301 100.0%	18.7%
Ⅰ－１．番組案内の大 話段	88 88.9%	11 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	99 100.0%	1.7%
【資料４】	24 88.9%	3 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	27 100.0%	1.3%
【資料５】	38 90.5%	4 9.5%	0 0.0%	0 0.0%	42 100.0%	2.0%
【資料６】	26 86.7%	4 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	30 100.0%	1.9%
Ⅰ－２．番組のテーマに関 わる一般的解説	391 42.7%	524 57.3%	0 0.0%	0 0.0%	915 100.0%	15.9%
【資料４】	157 48.6%	166 51.4%	0 0.0%	0 0.0%	323 100.0%	16.1%
【資料５】	146 45.5%	175 54.5%	0 0.0%	0 0.0%	321 100.0%	14.9%
【資料６】	88 32.5%	183 67.5%	0 0.0%	0 0.0%	271 100.0%	16.8%
Ⅱ．番組展開の大話段	848 17.8%	1626 34.2%	2265 47.6%	18 0.4%	4757 100.0%	82.4%
【資料４】	353 21.2%	505 30.4%	802 48.3%	2 0.1%	1662 100.0%	82.6%
【資料５】	382 21.4%	528 29.6%	875 49.0%	1 0.1%	1786 100.0%	83.1%
【資料６】	113 8.6%	593 45.3%	588 44.9%	15 1.1%	1309 100.0%	81.3%
Ⅱ－１．電話相談の談話	848 17.8%	1626 34.2%	2265 47.6%	18 0.4%	4757 100.0%	82.4%
【資料４】	353 21.2%	505 30.4%	802 48.3%	2 0.1%	1662 100.0%	82.6%
【資料５】	382 21.4%	528 29.6%	875 49.0%	1 0.1%	1786 100.0%	83.1%
【資料６】	113 8.6%	593 45.3%	588 44.9%	15 1.1%	1309 100.0%	81.3%
Ⅲ．番組継続の大話段	52 92.9%	4 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	56 100.0%	1.0%
【資料４】	16 88.9%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	18 100.0%	0.9%
【資料５】	20 95.2%	1 4.8%	0 0.0%	0 0.0%	21 100.0%	1.0%
【資料６】	16 94.1%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	17 100.0%	1.1%
Ⅳ．番組終了の大話段	12 85.7%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	14 100.0%	0.2%
【資料４】	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.0%
【資料５】	9 90.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	10 100.0%	0.5%
【資料６】	3 75.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0.2%
Ⅴ．別番組{ニュース、音 楽}	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0%
【資料４】	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0%
【資料５】	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0%
【資料６】	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0.0%
参加者別発話数合計	1327	2161	2265	18	5771	100.0%
発話総数に対する割合	23.0%	37.4%	39.2%	0.31%	100.00%	

各大話段は太字で示す。
各大話段の下段に、各大話段の合計に対する割合を示す。
表右欄に、発話総数1576発話に対する、各大話段の合計の割合を示す。

「Ⅰ．番組開始の大話段」における「Ⅰ－１．番組開始の大話段」「Ⅰ－２．番組のテーマに関わる一般的解説の大話段」、および、「Ⅱ．番組展開の大話段」における「Ⅱ－１．電話相談の談話」「Ⅱ－２．電話相談の補足解説の大話段」の割合は、資料別の発話総数に対する割合を示す。

参加者別の発話数を見るために、本表では、参加者別の発話数合計には、「Ⅴ．別番組の大話段」に付した2発話は含まない。

ニュースや音楽に付した発話数を含めると、発話総数は、5777発話である。

「Ⅲ．番組継続の大話段」は、5 発話未満の短いものである。

(例 5－2) は、333～341 司、「Ⅴ．別番組の大話段」をはさみ、343～349 司がそれぞれ「Ⅲ．番組継続の大話段」である。

(例 5－2) 「Ⅲ．番組継続の大話段」, 「Ⅴ．別番組の大話段」

333 司 さあ、今日は、// 「子どもの心相談」を致します。

334 回 はい。

335 司 お答え頂くのは、東京都立梅が丘病院、院長の回 T 先生です。

336 司 この時間も、皆さんからの相談の受付をしています。

337 司 受付電話番号は、0 3、3 4 8 5 8 8 8 8。

338 司 0 3 の 3 4 8 5 8 8 8 8 番です。

339 司 えー、8 が四つです。

340 司 番号のお間違えのないように、お願い致します。

341 司 時刻は、1 時 5 5 分になります。

342－ 《各地のニュース、全国のニュース》

343 司 2 時 1 0 分を過ぎています。

344 司 「ラジオホットタイム」、今週は、有江活子がお案内役です。

345 司 では、この時間は、「子どもの心相談」を致します。

346 司 お答え頂くのは、東京都立梅ヶ丘病院院長の S T 先生です。

347 司 S T 先生、よろしく//お願い致します。

348 回 はい、あっ、よろしく申し上げます。

349 司 はい。

【資料 4】

「Ⅳ．番組終了の大話段」は、司会者が番組を終了する旨を聴取者に伝え、回答者を再度、最後に紹介し、回答者へ礼を述べる大話段である。回答者の発話が 3 資料ともに 1 発話ずつあるのは、司会者の礼に答える儀礼的な発話である。

「Ⅳ．番組終了の大話段」も 10 発話以内の短い大話段である。【資料 5】では、2146 司から、明日の電話相談番組のテーマの予告もしている。

(例5-3)「Ⅳ. 番組終了の大話段」

2142 司 えー、この時間は、「子どもの心相談」を致しました。

2143 司 スタジオのアドバイザーは、心理カウンセラーのURさんでした。

2144 司 ありがとうございます//した。

2145 回 どうも失礼致しましたー。

2146 司 明日のこの時間、1時、えー、1時45分から2時台にかけての、「暮らしの電話相談」は、「余暇を楽しく」庭木についての電話相談を致します。

2147 司 明日も、皆さんからの相談の受付、1時から始めます。

2148 司 午後1時から始めます。

2149 司 受付電話番号は、03、34858888。

2150 司 03の34858888番です。

2151 司 2時55分になります。

【資料5】

「Ⅰ. 番組開始の大話段」の中の「Ⅰ-2. 番組のテーマに関わる一般的解説の大話段」は、回答者が聴取者に向けて、番組のテーマに関連する解説を行う大話段で、心理相談の場合も、司会者と回答者の対話である。まず、司会者が回答者に、質問をし、解説を促し、回答者の解説が開始する。司会者は、あいづちを打ちながら聞いたり、質問をしたりして展開する。

【資料4】では「子どもの心身症について」、【資料5】では「よい子の落とし穴」、【資料6】では「トラウマについて」の一般的な解説が行われる。

(例5-4)は、10司から「Ⅰ-2. 番組のテーマに関わる一般的解説の大話段」が開始する。12司で、「なにか、最近、子どもたちの間にも、「心身症」が増えているのだそうですねー。」と問題の提示をした後、20司「一体、子どもの、えー、子どもたちの心とか、体の中に、どういうことが起きているんでしょうか。」という質問をし、21回から回答者の解説が始まる。

(例5-4)

10 司 皆さんからの相談にお答え頂く前に、

11 司 少し先生に、お話を伺いたと思います。

12 司 なにか、最近、子どもたちの間にも「心身症」が増えているのだそうですねー。

13 回 はい。

14 司 ええ。

(略)

20 司 一体、子どもの、えー、子どもたちの心とか、体の中に、どういうことが起きているんでしょうか。

21 回 はい。

22 回 そうですねー、あの一、人間は生きてますと、

23 回 子どもさんたちもそうですけども、

24 司 ええ。

25 回 生きてますと、

26 回 あの一、まず、おうちの中の悩みとか、

27 司 はい。

28 回 それから、学校の悩みとか、

29 司 ええ。

30 回 あるいは、ご、ご自身一、ご自身の悩みとか、

31 司 うーん。

32 回 あるいは、その地域とか、まあ、たくさんの悩みがあって、

(略)

38 回 あの一、幼いお子さんですと、

39 回 その、悩みを悩みと感じられないということと、

40 司 ええ。

41 回 それが、これがお母さん、これが辛いんだよーっというふうに、

42 回 表現ができないという、

43 司 あー。

44 回 未発達の部分があるので、

45 司 はい。

46 回 あの一、体で表現をするという//ことが、もう、しばしば見られますね。

47 司 ええ。

48 司 はい。【資料 4】

心理相談においては、医療相談と同じく、「Ⅰ．番組開始の大話段」「Ⅲ．番組継続の大話段」「Ⅳ．番組終了の大話段」は、司会者が番組の進行を行う大話段であり、発話数は少ないものの、談話が開始し、継続し、終了する、談話の展開上、重要な大話段である。

「Ⅰ．番組開始の大話段」の中の「Ⅰ-1．番組案内の大話段」、「Ⅰ-2．番組のテーマに関わる一般的解説の大話段」は、司会者と回答者による対話である。司会者の質問に対する回答者の解説が行われる。

「Ⅱ．番組展開の大話段」の中の「Ⅱ-1．電話相談の談話」は、唯一、相談者が参加する大話段であり、心理の電話相談の件数に比例して、現れる大話段である。3資料それぞれに複数存在する「Ⅱ-1．電話相談の談話」は、電話相談の各件が開始し、展開し、終了する「談話」ともいえる。

次節で、心理相談における「Ⅱ-1．電話相談の談話」の構造を述べる。

5. 2 「電話相談の談話」の構造

5. 2. 1 「電話相談の談話」における「話段」と「小話段」

心理相談における「電話相談の談話」は、【資料4】には4件、【資料5】には3件、【資料6】には2件、計9件の電話相談がある。

【表5-3】は、各電話相談の相談内容、発話数、時間数を示したものである。最も時間数の長い電話相談は、【資料6-2】の19分50秒である。医療相談と異なり、個人的な相談であり、しかも相談者は、問題を抱える家族からのものであることから、医療相談より、1件当たりの所要時間が長くなっているものと考えられる。

【図5-1】は、「電話相談の談話」の構造と各話段・各小話段における主な参加者を示したものである。

5. 1で述べた大話段の構造と同じく、Aの「開始」、Dの「終了」の各話段が全ての「電話相談の談話」に存在する。医療相談と同じく、心理相談においても、4種の話段は、電話相談の基本構造といえる。

「A．相談開始の話段」と「D．相談終了の話段」は、司会者・回答者・相談者による挨拶が交わされる話段である。

「電話相談の談話」の最も中心的な話段は、「相談展開の話段」の「B．相談かけの話段」と「C．相談うけの話段」であり、さらに、それぞれ2種の小話段に分かれる。

【表 5－3】心理の電話相談における所要時間と発話数

電話相談資料	誰についての相談か	学年	性別	家族構成	相談内容	時間
【資料 4】2001. 9. 20						
【4－1】	祖母から孫	小学1年	女	両親・妹	夏休み前から不登校。今後どうしたらよいか。	6分54秒
【4－2】	祖母から孫	中学2年	男	両親・弟	中学1年生の5月以降不登校。今後どうしたらよいか。	10分
【4－3】	祖母から孫	幼稚園年中	女	両親・妹	夏休み以降、孫の態度が変わった。孫との関係をどうしたらよいか。	10分30秒
【4－4】	祖母から孫	小学5年	女	両親・弟	両親の仲がうまくいっていない。孫に対し、どのように接したらよいか。	9分7秒
【資料 5】2001. 10. 18						
【5－1】	母から子供	中学2年	男	両親・妹	学校での態度が悪い。どのように接したらよいか。	16分19秒
【5－2】	母から子供	高校1年17歳	女	両親・本人	昨年、別の高校にいたが、友人関係でトラブルがあり、転校。今もなじめずにいる。今後どうしたらよいか。	17分45秒
【5－3】	本人	高校1年	女	両親・祖母・妹	第一希望の高校には入学したが、疲れてしまい、不登校。今後どうしたらよいか。	9分14秒
【資料 6】2001. 11. 2						
【6－1】	母から子供	中学2年	男	両親・妹	小学校では優秀だったが、中学に入学してから態度が悪くなった。今後どうしたらよいか。	19分50秒
【6－2】	母から子供	中学2年	女	両親・兄	昨年9月、下校途中に通り魔に遭い、以後不登校。今後、どうしたらよいか。	19分3秒

【図 5－1】心理相談における「電話相談の談話」の構造と各話段・各小話段における

主な参加者

電話相談の談話の構造	主な参加者
A. 相談開始の話段	司会者・回答者・相談者
相談展開の話段	
B. 相談かけの話段	各小話段により、異なる。
B-1. 相談提示の小話段	司会者と相談者
B-2. 相談内容確認の小話段	回答者と相談者
C. 相談うけの話段	回答者と相談者
C-1. 回答提供の小話段	回答者と相談者
C-2. 回答確認の小話段	回答者と相談者
D. 相談終了の話段	司会者・回答者・相談者

心理相談における「B. 相談かけの話段」の「B-1. 相談提示の小話段」では、医療相談の「B-1. 相談提示の小話段」とは異なり、司会者と相談者のやりとりで相談内容が提示される。

【表5-4】は、心理相談の各話段・各小話段における発話数を参加者別に示したものである。医療相談と同じく、「B. 相談かけの話段」の「B-2. 相談内容確認の小話段」と「C. 相談うけの話段」の中の「C-1. 回答提供の小話段」「C-2. 回答確認の小話段」の3小話段は、回答者と相談者から成り立っている話段であることがわかる。

【表5-4】心理相談の「話段」と「小話段」における参加者別発話数

話段	司会者	回答者	相談者	沈黙	合計	1件当たりの平均発話数
A. 相談開始の話段	53 6.2%	0 0.0%	44 1.9%	0 0.0%	117 2.4%	13
相談展開の話段						
B. 相談かけの話段	733 86.3%	567 33.1%	1378 59.0%	10 55.6%	2688 54.7%	298.7
B-1. 相談提示の小話段	723 85.2%	21 1.20%	791 33.90%	2 11.1%	1537 31.2%	170.8
B-2. 相談内容確認の小話段	10 1.2%	546 31.9%	587 25.1%	8 44.4%	1151 23.4%	127.9
C. 相談うけの話段	34 4.0%	1105 64.5%	894 38.3%	7 38.9%	2040 41.5%	226.7
C-1. 回答提供の小話段	26 3.1%	1024 59.8%	797 34.1%	6 33.3%	1853 37.7%	205.9
C-2. 回答確認の小話段	8 0.9%	81 4.7%	97 4.2%	1 5.6%	187 3.8%	20.8
D. 相談終了の話段	29 3.4%	21 1.2%	21 0.9%	1 5.6%	72 1.5%	8
参加者別発話数	849	1713	2337	18	4917	546.3
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	

各話段の参加者別発話数の合計に対する小計と、参加者別発話数に対する割合を示す。
縦軸の合計欄は、各話段の発話数の合計を、割合は、発話総数4917に対する割合を示す。
表下段の合計欄は、参加者別の発話数の合計を、割合は、発話総数4917に対する割合を示す。

「B-2.相談内容確認の小話段」,「C-1.回答提供の小話段」「C-2.回答確認の小話段」は,回答者と相談者の相互行為で展開するため,「B-2.相談内容確認の小話段」と「C-2.回答確認の小話段」における回答者と相談者の発話数の割合には,それほど差異がないが,「C-1.回答提供の小話段」では回答者が 59.8%,相談者が 34.1%で,回答者の割合が多くを占めていることから,心理相談においては,回答者は,相談者に共感し,相談者の理解を促しながら回答を進めていくのに,多くの発話を要すると思われる。

5. 2. 2 「電話相談の談話」における「話段」と「小話段」の展開

心理の電話相談における「話段」「小話段」の基本的な展開は,以下のとおりである。

【図 5－2】心理の電話相談における「話段」と「小話段」の展開

A. 相談開始の話段⇒B. 相談かけの話段(「B-1. 相談提示の話段」)⇒A. 相談開始の話段⇒B. 相談かけの話段(「B-2. 相談内容確認の小話段」⇒C. 相談うけの話段(「C-1. 回答提供の小話段」)⇒(「C-2. 回答確認の小話段」)⇒(「C-1. 回答提供の話段」)⇒D. 終了の挨拶の話段

心理相談では,医療相談とは異なり,まず,司会者が相談者と電話をつなぎ,「A. 相談開始の話段」で挨拶をする。続いて,司会者と相談者による「B-1. 相談提示の小話段」で,相談者が相談内容を「かけ」る。次の「A. 相談開始の話段」で,回答者が初めて参加し,相談者と挨拶を交わす。

続く「B. 相談かけの話段」の「B-2. 相談内容確認の小話段」から相談者と回答者の二者による実質的なやりとりが始まる。「B-2. 相談内容確認の小話段」では,回答者が相談者から直接情報を聞き出すために,質問を「かけ」る。相談者は,質問を「うけ」,答える。

「C. 相談うけの話段」では,「C-1. 回答提供の小話段」で,回答者が回答する。回答者が回答を「かけ」,相談者が回答をあいづちで「うけ」る。相談者が回答を確認する場合は,「C-2. 回答確認の小話段」で質問を「かけ」,回答者が質問を「うけ」て答える。

最後に,「D. 相談終了の話段」で,司会者・回答者・相談者が挨拶を交わし,1件の電話相談が終了する。

【表 5－5－1】～【表 5－5－5】は,心理の電話相談9件の話段と小話段の展開を示したものである。

【表5-5-1】心理相談における「Ⅱ-1. 電話相談の談話」の「話段」「小話段」の展開

展開		資料		資料		【資料4-1】		【資料4-2】	
話段	小話段	発話数 割合	発話番号, 参加者	話段	小話段	発話番号, 参加者	発話番号, 参加者	発話数 割合	
A 相談開始の話段①		9 2.7%	350 司 ~ 358 相	A 相談開始の話段①		679 司 ~ 686 司	8 1.8%		
B 相談かけの話段①	B-1-1相談提示の小話段	123 37.4%	359 司 ~ 481 司	B 相談かけの話段①	B-1-1相談提示の小話段	687 司 ~ 841 相	155 35.0%		
A 相談開始の話段②		6 1.8%	482 回 ~ 487 回	A 相談開始の話段②		842 回 ~ 847 回	6 1.4%		
B 相談かけの話段②	B-2-1相談内容確認の小話段	84 25.5%	488 回 ~ 571 回	B 相談かけの話段②	B-2-1相談内容確認の小話段	848 回 ~ 888 回	41 9.3%		
C 相談受けの話段①	C-1-1回答提供の小話段	94 28.6%	572 回 ~ 665 相	C 相談受けの話段①	C-1-1回答提供の小話段	889 回 ~ 1112 相	224 50.6%		
D 相談終了の話段		13 4.0%	666 相 ~ 678 司	D 相談終了の話段		1113 回 ~ 1121 回	9 2.0%		
発話総数 発話総数に対する割合			329 100.0%	発話総数 発話総数に対する割合		443 100.0%			

【表5-5-2】心理相談における「Ⅱ-1. 電話相談の談話」の「話段」「小話段」の展開

展開		資料		資料		資料4-4	
話段	小話段	発話番号, 参加者	発話数 割合	話段	小話段	発話番号, 参加者	発話数 割合
【資料4-3】							
A 相談開始の話段①		1125 司 ~ 1132 司	8 1.7%	A 相談開始の話段①			
B 相談かけの話段①	B-1-1相談提示の小話段	1133 司 ~ 1374 司	242 52.0%	B 相談かけの話段①	B-1-1相談提示の小話段	1598 司 ~ 1737 司	140 42.9%
A 相談開始の話段②		1375 回 ~ 1378 相	4 0.9%	A 相談開始の話段②			
B 相談かけの話段②	B-2-1相談内容確認の小話段	1379 回 ~ 1419 相	41 8.8%	C 相談受けの話段①			
C 相談受けの話段①	C-1-1回答提供の小話段	1420 回 ~ 1583 回	164 35.3%	C-1-1回答提供の小話段			
D 相談終了の話段		1584 相 ~ 1589 司	6 1.3%	C-1-2回答提供の小話段			
発話総数			465 100.0%	C-2-2回答確認の小話段			
発話総数に対する割合				C-2-1回答確認の小話段			
				C-1-3回答提供の小話段			
				D 相談終了の話段			
				1584 相 ~ 1589 司			
				6 1.8%			
				発話総数			
				326 100.0%			
				発話総数に対する割合			

【表5-5-3】心理相談における「Ⅱ-1. 電話相談の談話」の「話段」「小話段」の展開

展開		資料		【資料5-1】		【資料5-2】	
話段	小話段	発話番号, 参加者	発話数 割合	話段	小話段	発話番号, 参加者	発話数 割合
A 相談開始の話段①		351 司 ~ 357 司	7 1.0%	A 相談開始の話段①		1046 司 ~ 1054 相	9 1.2%
B 相談かけの話段①	B-1-1相談提示の小話段	358 司 ~ 567 相	210 30.2%	B 相談かけの話段①	B-1-1相談提示の小話段	1055 司 ~ 1303 司	249 34.5%
A 相談開始の話段②		568 回 ~ 569 相	2 0.3%	中断断りの話段		1304 司 ~ 1314 相	11 1.5%
B 相談かけの話段②	B-2-1相談内容確認の小話段	570 回 ~ 631 相	62 8.9%	B 相談かけの話段②	B-1-2相談提示の小話段	1320 司 ~ 1325 司	6 0.8%
C 相談受けの話段①	C-1-1回答提供の小話段	632 回 ~ 800 回	169 24.3%	A 相談開始の話段②		1326 司 ~ 1331 司	6 0.8%
	C-2-1回答確認の小話段	801 相 ~ 829 相	29 4.2%	B 相談かけの話段③		1332 司 ~ 1399 相	68 9.4%
	C-1-2回答提供の小話段	830 回 ~ 916 相	87 12.5%	A 相談開始の話段③		1400 回 ~ 1402 相	3 0.4%
	C-2-2回答確認の小話段	917 相 ~ 934 相	18 2.6%	B 相談かけの話段④		1403 回 ~ 1629 相	227 31.4%
	C-1-3回答提供の小話段	935 回 ~ 1002 相	68 9.8%	C 相談受けの話段①		1630 回 ~ 1701 司	72 10.0%
D 相談終了の話段	C-2-3回答確認の小話段	1003 相 ~ 1011 相	9 1.3%	C-2-1回答確認の小話段		1702 相 ~ 1707 回	6 0.8%
	C-1-4回答提供の小話段	1012 回 ~ 1040 相	29 4.2%	C-1-2回答提供の小話段		1708 回 ~ 1725 相	18 2.5%
		1041 相 ~ 1045 司	5 0.7%	C-2-2回答確認の小話段		1726 相 ~ 1727 司	2 0.3%
	発話総数 発話総数に対する割合	695 100.0%		C-1-3回答提供の小話段		1728 回 ~ 1767 司	40 5.5%
				D 相談終了の話段		1768 司 ~ 1772 司	5 0.7%
					発話総数 発話総数に対する割合	722 100.0%	

【表5-5-4】心理相談における「Ⅱ-1. 電話相談の談話」の「話段」「小話段」の展開

展開		資料	【資料5-3】	
話段	小話段	発話番号、参加者	発話数 割合	
A 相談開始の話段①		1773 司 ～ 1783 相	11 3.0%	
B 相談かけの話段①	B-1-1相談提示の小話段	1784 司 ～ 1906 回	123 33.3%	
A 相談開始の話段②		1907 回 ～ 1908 相	2 0.5%	
B 相談かけの話段②	B-2-1相談内容確認の小話段	1909 回 ～ 1989 相	81 22.0%	
C 相談受けの話段①	C-1-1回答提供の小話段	1990 回 ～ 2076 司	87 23.6%	
	C-2-1回答確認の小話段	2077 回 ～ 2096 相	20 5.4%	
	C-1-2回答提供の小話段	2097 回 ～ 2134 相	38 10.3%	
D 相談終了の話段		2135 司 ～ 2141 司	7 1.9%	
	発話総数	369		
	発話総数に対する割合	100.0%		

【表5-5-5】心理相談における「Ⅱ-1. 電話相談の談話」の「話段」「小話段」の展開

展開		資料		資料		【資料6-2】	
話段	小話段	発話番号, 参加者	発話数 割合	話段	小話段	発話番号, 参加者	発話数 割合
A 相談開始の話段①		291 司 ~ 297 司	7 1.0%	A 相談開始の話段①		1003 司 ~ 1010 司	8 1.3%
	B-1-1相談提示の小話段	298 司 ~ 405 相	108 15.4%		B-1-1相談提示の小話段	1011 司 ~ 1089 回	79 13.0%
A 相談開始の話段②		406 回 ~ 410 相	5 0.7%	A 相談開始の話段②		1090 回 ~ 1094 回	5 0.8%
	B-1-2相談提示の小話段	411 相 ~ 434 相	24 3.4%		B-2-1相談内容確認の小話段	1095 回 ~ 1313 回	219 36.1%
C 相談受けの話段①	B-2-1相談内容確認の小話段	435 回 ~ 670 相	236 33.6%	C 相談受けの話段①	C-1-1回答提供の小話段	1314 相 ~ 1527 回	214 35.3%
		671 回 ~ 951 相	281 40.0%		C-2-1回答確認の小話段	1528 相 ~ 1529 相	2 0.3%
	C-1-1回答提供の小話段	952 相 ~ 958 相	7 1.0%		C-1-2回答提供の小話段	1530 回 ~ 1547 回	18 3.0%
D 相談終了の話段	C-2-1回答確認の小話段	959 回 ~ 986 相	28 4.0%	C-2-2回答確認の小話段		1548 相 ~ 1552 相	5 0.8%
	C-1-2回答提供の小話段	2135 司 ~ 2141 司	7 1.0%		C-1-3回答提供の小話段	1553 回 ~ 1595 相	43 7.1%
					D 相談終了の話段	1596 回 ~ 1608 -	13 2.1%
発話総数		703 100.0%		発話総数		606 100.0%	
発話総数に対する割合				発話総数に対する割合			

9 件の電話相談のうち、全てに見られた話段は、「A. 相談開始の話段」、「B-1. 相談提示の話段」、「B-2. 相談内容確認の小話段」、「C-1. 回答提供の小話段」、「D. 終了の挨拶の話段」であり、医療相談と共通している。「C-2. 回答確認の小話段」は、【資料 4－1】には見られず、相談者が回答を得た時点で納得し、すぐに「D. 相談終了の話段」で挨拶を交わし、電話相談を終えるものであった。

5. 2. 3 「電話相談の談話」における「話段」と「小話段」の発話機能

【表 5－6】は、「電話相談の談話」における各話段、各小話段の発話を全 5 類 40 種の発話機能に分類し、参加者別に示したものである。

【表 5－6】の太字で示した発話数は、各話段、各小話段において、顕著に見られる機能を示す。以下、例とともに、各話段、各小話段の特徴を述べる。

「A. 相談開始の話段」は、司会者が電話をつなぎ、相談者に呼びかけ、参加者相互が挨拶を交わす話段である。司会者の〈注目要求〉、それを受ける相談者の〈承認の注目表示〉、相談者が電話に出たことを確認する司会者の〈確認の注目表示〉の後、司会者、相談者、回答者による挨拶の〈関係作り・儀礼〉の発話が見れる。

(例 5－5) では、司会者が 680 司の「もしもし?」という〈注目要求〉に対し、681 相で、「はい。」と〈承認の注目表示〉で返事をし、本人が出たことによる確認を 682 司「はい。」の〈確認の注目表示〉で受け、682 司、683 回、684 相で、参加者三者が相互に挨拶を交わす、〈関係作り・作り〉の発話が見れる。

(例 5－5) 「A. 相談開始の話段」

679 司 では、次の方です。 B9 〈話を変える機能〉＋〈意見説明〉

680 司 もしもし? 〈注目要求〉

681 相 はい。 〈承認の注目表示〉

682 司 はい、こんにちは。 〈確認の注目表示〉＋〈関係作り・儀礼〉

683 司 お待たせ致//しました。〈関係作り・儀礼〉

684 相 こちら、 〈関係作り・儀礼〉

685 相 あっ、こんにちは。〈関係作り・儀礼〉

686 司 はい。 〈確認の注目表示〉

【資料 4－2】

「A. 相談開始の話段」における〈関係作り・儀礼〉の発話は、参加者により、以下の発話に定まっている。

司会者：「こんにちは。」「お待たせいたしました。」

相談者：「こんにちは。」「よろしくお願い致します。」

「相談展開の話段」の「B. 相談かけの話段」は、「B-1. 相談提示の小話段」と「B-2. 相談内容確認の小話段」では、参加者と発話機能に違いがある。

心理相談における「B-1 相談紹介の小話段」では、まず、司会者が相談者に、誰についての相談か、その人物の学年、家族構成を聞いた上で、〈説明要求〉で（下記（例5－6）「どのようなご相談ですか？」と相談内容を聞く手順が取られている。相談者は、〈意見説明〉で相談内容を説明する。

相談者の〈意見説明〉では、相談内容が「ノダ」文が多用されている。

（例5－6） 「B-1. 相談提示の小話段」

359 司 どなたの相談でしょうか。〈説明要求〉

360 相 あのー、孫一のことなんですけ//れど。〈意見説明〉

361 司 はい。〈承認の注目表示〉

（略）

368 司 では、お孫さんの家族を教えてください。〈説明要求〉

369 相 えっと、両親と、〈間投表現〉〈意見説明〉

370 司 はい。〈継続の注目表示〉

371 相 妹と、〈意見説明〉

372 司 はい。〈継続の注目表示〉

373 相 あのー、ほ、本人です。〈間投表現〉＋〈意見説明〉

374 司 はい。〈確認の注目表示〉

（略）

380 司 どのようなご相談//ですか？ 〈説明要求〉

381 相 あのねーえ？ 〈注目要求〉

382 司 はい。〈継続の注目表示〉

383 相 夏休みの少し前から、〈意見説明〉

- 384 司 ええ。〈継続の注目表示〉
- 385 相 それまでは、毎日学校行っただけなんですけど、〈意見説明〉
- 386 司 はい。〈継続の注目表示〉
- 387 相 (とも) ちゃん、あの一、「お腹が痛くなった。」って言って、
〈間投表現〉 + 〈意見説明〉
- 388 相 学校から電話があるんです。 〈意見説明〉
- 389 司 ええ。〈継続の注目表示〉
- 390 相 あの一、夏休み前にね？ 〈間投表現〉 + 〈意見説明〉
- 391 相 7月の10日頃。 〈意見説明〉
- 392 司 ええ。〈継続の注目表示〉 【資料4-1】

さらに、具体的に相談したい内容は、一通り、問題を抱える家族についての状況を説明し終えた上で、「ご相談したいと思ひまして。」〈意志表明〉、「心配でねー。」「どうしようと思ひて。」といった〈意見説明〉で示される。

以下の例は、上記(例5-6)の「B-1. 相談提示の小話段」の終了部までの例である。
463 相 「だもんで、心配でねー、」 465 相 「このまんま、どうしようと思ひて。」といった、相談したい状況を〈意見説明〉で述べている。司会者は、孫の様子を〈確認要求〉や〈説明要求〉で聞くものの、積極的な介入はせず、あくまで、相談者の相談内容の整理に努めるのみである。

480 司の〈終了の注目表示〉「はい。」 481 司「先生、お願いします。」という〈注目要求〉 + 〈関係作り・儀礼〉で、司会者から回答者へ引継ぎをし、「B-1. 相談提示の小話段」を終える。482回から、回答者が相談者と挨拶を交わす「A. 相談開始の話段」に展開する。

(例5-7)「B-1. 相談提示の小話段」から「A. 相談開始の話段」へ

- 455 相 今は、学校行かない {笑い} もんだから、
- 456 相 私//のうちへ、
- 457 司 ええ。
- 458 相 とんで来ちゃうんです、朝。
- 459 司 あっ、そうですか。
- 460 相 はい。

461 司 そうすと、大体日は、おばあちゃんと一緒に//過ごされているということですね？

462 相 そうなんです。

463 相 だもんで、心配で//ね一、 〈意見説明〉

464 司 あ一。

465 相 このまんま、どうしようと//思って。 〈意見説明〉

466 司 そうですか一。

467 司 はい。

468 司 あのう、おばあちゃんここにいらっしゃる時は、

469 司 お孫さんどんなふうにして、

470 相 //元気で、

471 司 過ごしてらっしゃる。

472 相 それこそ元気でね一、

473 司 ええ。

474 相 折り紙たたんだり、

475 司 あ一。

476 相 そうということが、とても好きなもんですから、

477 司 ええ。

478 相 あの一、絵を描いたり一。

479 司 そうですか一。

480 司 はい。

481 司 では、S T先生お願い致します。

「A. 相談開始の話段」

482 回 あっ、

483 回 あっ、こんにちは、//S Tです。

484 相 あっ、こんにちは、どうも一。

485 回 はい。

486 相 よろしくお願//い致します。

487 回 ええ。

【資料4－1】

続く「B-1. 相談内容確認の小話段」では、以下の図のような関係で、回答者の要求系と相談者の提供系の発話機能が繰り返される。これは、医療相談における「B-1. 相談内容確認の小話段」と共通している。

【図 5－3】「B-2. 相談内容確認の小話段」における回答者の「要求」系の発話機能と相談者の「提供」系の発話機能の関係

回答者の要求	⇒	相談者の提供
〈判定要求〉, 〈確認要求〉	⇒	〈応答〉, 〈事実報告〉, 〈意見説明〉 〈応答〉 + 〈事実報告〉, 〈応答〉 + 〈意見説明〉
〈説明要求〉	⇒	〈事実報告〉, 〈意見説明〉
〈選択要求〉	⇒	〈選択情報提供〉

以下の（例 5－8）では、回答者の 435 回、437 回の〈判定要求〉に対して、相談者が 438 相の〈応答〉 + 〈意見説明〉で答えている。回答者は、さらに 445 回、446 回の「～ということですか？」という〈確認要求〉で相談者に確認し、相談者は 447 相の〈自己注目表示〉「うーん、」と〈意見説明〉「両方です。」で答えている。463 回の〈説明要求〉に対しては、464 相が〈意見説明〉で応えるなど、回答者の要求と、相談者の提供の発話が交互に交わされている。

（例 5－8） 「E-1. 相談内容確認の話段」（回答者 相談者）

435 回 あの、部活は一、 〈判定要求〉
436 相 はい。
437 回 あの、体力的に大変な部だったんですか？ 〈判定要求〉
438 相 そうです、本人には、ちょっと無理でした。 〈応答〉 + 〈意見説明〉
（略）
445 回 体力的っていうより、精神的に無理だった、という//ことですか？ 〈確認要求〉
446 相 うーん、両方です。
（略）
463 回 何部だったんですか？

464 相 あの一、テニスなんですけどー。

〈意見説明〉

【資料 6－1】

続く「C-1. 回答提供の小話段」では、回答者が〈意見説明〉〈事実報告〉〈感情表出〉〈単独行為要求〉で回答を提供する。

【表 5－6】によると、「C-1. 回答提供の小話段」では、2344 発話中、回答者の〈意見説明〉が 531 発話、〈事実報告〉177 発話が圧倒的に多い。回答者は、「B-1. 相談内容確認の小話段」で相談者から得られた情報に基づき、「C-1. 回答提供の小話段」で、相談者の子や孫の現状をわかりやすく説明し、相談者は、あいづちの〈注目表示〉で聞いている。

一方、回答者は、「C-1. 回答提供の小話段」でも、〈確認要求〉(61 発話)を用いている。「C-1. 回答提供の小話段」における〈確認要求〉は、医療相談には見られなかったものであり、心理相談における回答の仕方の特徴を示すものであると考えられる。回答者は、相談者の現状を相談者に確認しながら、慎重に回答をしているものと考えられる。

(例 5－9)は、「C-1. 回答提供の小話段」の開始部である。回答者が不登校に悩む相談者自身の現状を「そうす(る)と、」でまとめ、「～よねー。」の〈確認要求〉によって整理している。

(例 5－9)「C-1. 回答提供の小話段」

1990 回 そうす(る)と、あなたは、二つの心の中で、揺れているのよねー。

1991 相 はい。

(略)

2000 回 もう、こんな学校、辞めたいわって思う自分と、

2001 相 はい。

(略)

2004 回 高校卒業資格だけは欲しいなあとと思う、

2005 相 はい。

2006 回 もう一つの、ねえ、もう一人の自分と、自分の心の中で、いつもこう、行きつ、
戻りつ、揺れてるみたいよね？

2007 相 あっ、はい。

【資料 5－3】

また、「C-1.回答提供の小話段」には、回答者の〈単独行為要求〉が 62 発話見られた。婉曲的な〈単独行為要求〉「ちょっとお子さんに委ねるってところでやってみてはいかがでしょうか。」等を用いて、直接的に指示せずに慎重に助言している。

(例 5-10) は、1725 相までの「C-1.回答提供の小話段」を踏まえ、1726 相で、親として、子どもにどう接したらよいかという新たな相談をする。1726 相と 1727 司の 2 発話の「C-2.回答確認の小話段」であるが、それまでとは観点が異なる新たな相談内容となっている。1728 回からの「C-1.回答提供の小話段②」では、1728 回の「まああの一、とにかく、なんていうんですか、」という間投詞的な表現に加え、1729 回「ちょっと距離がとれてない感じが、お話を聞いててしますのでね」という婉曲的な意見を述べ、1731 回の「少しご自分のことを、何か始められるといいかもしれませんね、お母さんが。」と、「かもしれません」を付随して暗に「何か始めたほうがいい」と〈単独行為要求〉で進めている。心理相談は、相談者の心理状態を考えながら、婉曲的な〈単独行為要求〉により、相談者に理解を求めている。さらに、「ちょっと」「少し」などの表現を加味することで、さらに慎重に回答をしている。

(例 5-10) 「C-1.回答提供の小話段①」→「C-2.回答確認の小話段」→「C-1.回答提供の小話段②」

「C-1.回答提供の小話段①」

1720 回 ですから、そういう点では、ちょっと、あの、そういう方に委ねてみればいかがでしょうか。 B10〈話をまとめる機能〉+〈単独行為要求〉

1721 相 あ、そうですか。〈承認+確認の注目表示〉

1722 回 お、お子さんと、そちらの方にね？ 〈単独行為要求〉

1723 相 あっ。〈自己注目表示〉

1724 回 はい。〈確認の注目表示〉

1725 相 はい。〈同意の注目表示〉

「C-2.回答確認の小話段」

1726 相 で、//じゃあ、わたくしは、あの、どのように接したらよろしいでしょうか。

B9〈話を変える機能〉+〈説明要求〉

1727 司 はい。 〈終了の注目表示〉

「C-1.回答提供の小話段①」

1728 回 そうですね、まああのー、とにかく、なんていうんですか、

〈自己注目表示〉＋〈間投表現〉

1729 回 ちょっと距離が取れてない感じが、お話を聞いててしますのでね？

〈意見説明〉

1730 相

ええ。〈継続の注目表示〉

1731 回 あの、少しご自分のことを、何か始められるといいかもしれませんね、お母さんが。

〈間投表現〉＋〈単独行為要求〉

1732 相 あっ、わたくしがですか。〈自己注目表示〉＋〈判定要求〉

1733 回 そう。〈応答〉

【資料 5－2】

「D. 相談終了の話段」は、参加者相互の〈関係作り・儀礼〉の発話が見られる。また、番組進行役の司会者の B10〈話をまとめる機能〉や C2〈話を終える機能〉の発話により、1 件の電話相談が終了することが示される。

(例 5－11) 「D. 相談終了の話段」

1768 司 ご参考にな//さってください。V-1〈関係作り・儀礼〉

1769 相 ありがとうございます。V-1〈関係作り・儀礼〉

1770 相 わかりました。V-1〈関係作り・儀礼〉

1771 相 はい。 V-3〈終了の注目表示〉

1772 司 では、失礼致します。Ⅱ. B10〈話をまとめる機能〉 V-1〈関係作り・儀礼〉

次節で、発話機能の「Ⅲ. 要求」「Ⅳ. 提供」に分類された発話の文型を挙げ、出現傾向を考察する。

5. 3 心理相談の機能文型の種類と出現傾向

【表 5－7】は、心理の電話相談における「要求」系 7 種と「提供」系 4 種の機能文型を挙げ、各話段、小話段の出現傾向を示したものである。

【表5-7】心理相談における「要求」系と「提供」系の機能文型

発話機能	文型No.	文型	文例	相談開始	相談かけの経路 相談提示	相談かけの経路 相談内管理 型	相談うけの経路 回答提供 回答確認	相談終了	文型別合計	機能別合計に 対する割合
Ⅲ-1〈確認要求〉	Ⅲ-1-1	N1/V/U/ヲ (トイウ) ワケデスネ?	【お母】では、ずっと家には [いらっしゃる] わけですね?/お嬢さんは、【第6-2 相談 紹 介 1064 回】	0	2	4	5	0	11	7.8%
	Ⅲ-1-2	Nガ (V/A I/A n) トイウコトデスカ、ノ?/ネ?	文型別合計に対する割合 そうと、大休日は、おはあちゃんと一緒に//過ごされているということですね? 【第4-1 相談 紹介 461回】	0.0%	18.2%	36.4%	45.5%	0.0%	100.0%	
	Ⅲ-1-3	N1/V/U/ヲ (トイウ) ワケデスネ?	文型別合計に対する割合 ただ、美奈には、【難しい】 んですよな?【第5-2 相談うけ 相離 1567 回】	0.0%	25.0%	66.7%	8.3%	0.0%	100.0%	8.5%
	Ⅲ-1-4	N1 (ガ/ハ) (A n/A I/A n) デス (ネ?/ヨネ?)	文型別合計に対する割合 学校で、授業をボイコットしてあるという話ですね。【第5-1 相談うけ 回答提供 665 回】	0	8	9	29	1	47	33.3%
	Ⅲ-1-5	N1/V/A I/A n/A n/ヲ タコトモナイ。(デスネ?)	文型別合計に対する割合 そんなことは言ったこと、なかったんですか? 【第6-2 相談うけ 相離 1181 回】	0	0	1	0	0	1	0.7%
	Ⅲ-1-6	N (ハ/ガ) V (マス/マシタ) ネ?/ヨネ?	文型別合計に対する割合 【親子関係】が [にじれます] よね?【第5-1 相談うけ 相離 630 回】	0	6	6	15	0	27	19.1%
	Ⅲ-1-7	(ヨハ) デスヨネー、/ネエ、/ネ?/ソウデスネ?	文型別合計に対する割合 ですよな。【第5-1 相談うけ 回答提供 981 回】	0	0	0	9	0	9	6.4%
	Ⅲ-1-8	N1/A (V/A n/A n/A n) シヤナイデスカ?	文型別合計に対する割合 肉体的にも、【絶対困難な】 んじゃないですか?【第5-1 相談うけ 回答提供 966 回】	0	0	0	6	0	6	4.3%
	Ⅲ-1-9	(N1/A) N2デス (カ/ネ)。	文型別合計に対する割合 あつ、【わたくしが】 ですか。【第5-2 相談うけ 回答提供 1732 回】	0	0	0	1	0	1	0.7%
	Ⅲ-1-10	N1/V (U/ヲ) デショウ?	文型別合計に対する割合 それから、身体的にも、こう、体が、【不調】が [出てる] でしょう?【第5-3 相談うけ 回 答提供 2115 回】	0	0	0	1	0	1	0.7%
	Ⅲ-1-11	N1/Vマスデショウカ。	文型別合計に対する割合 そういう、そういう自分だけじゃないっていうことを【語ってます】 でしょうか。【第6-1 相談うけ 回答提供 872 回】	0	0	0	1	0	1	0.7%
	Ⅲ-1-12	N1/Vンデスカネ。	文型別合計に対する割合 お母を好んだり、そういうところば、少し【ある】 んですがね。//小さい時 (から)。【第 4-2 相談うけ 相離 884 回】	0	0	1	0	0	1	0.7%
	Ⅲ-1-13	N1/V/Uミタイヨネ?	文型別合計に対する割合 もう一人の自分と、自分のゆり中で、いつもこう、行きつ戻りつ【語れてる】 おだいじな? 【第5-3 相談うけ 回答提供 2007 回】	0	0	0	1	0	1	0.7%
	Ⅲ-1-14	N1/V (タラ/デモ/タホウガ) イン (デスネ?/デショウ?)・N1/A n 2タイプデショウカ。	文型別合計に対する割合 そういうものは、やはりー、こーいう、今先生がなっちゃんだったようなお嬢、あの、【第7方】 でよろしいでしょうか。【第3-5 相談うけ 相離 2117 回】	0	0	0	4	16	20	14.2%
	Ⅲ-1-15	N1/V (U/ヲ) ンデショウカ。	文型別合計に対する割合 おれにあって、得意不得意というふうに、【なる】 んで//しょうか。【第3-1 相談うけ 相離 336 回】	0	0	0	0	1	1	0.7%
	Ⅲ-1-16	N1/A Iデスカ?	文型別合計に対する割合 【話かった】 ですか。【第3-5 相談うけ 相離 2014 回】	0	0	1	0	0	1	0.7%
		16文型	文型別合計に対する割合	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
		合計	機能別合計に対する割合	0	23	37	80	1	141	100.0%
				0.0%	16.3%	26.2%	56.7%	0.7%	100.0%	

発話機能	文型No.	文型	文例	相談開始	相談かけの話題		相談うけの話題		相談終了	文型別合計	機能別合計に対する割合	
				相談提示	相談内容確認	回答提供	回答確認					
Ⅲ-5 (単独行為要求)	Ⅲ-4-	8	ドンナNがVデスカ? / ハノデショウカ? / ハチマスカ?	どんな、ま、【約束】が守られてない。【真5-1 相談かけ 相違 598 回】	0	0	1	1	0	3	3.4%	
				文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	100.0%		
	*Ⅲ-4-	9	ドノアタリガVマスカ?		-	-	-	-	-	-	-	
	Ⅲ-4-	10	ドンナノNデショウカ。	どんなの【相談】でしょうか。【真4-3 相談 紹介 1133 回】	0	9	1	0	0	10	11.5%	
				文型別合計に対する割合	0.0%	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	Ⅲ-4-	11	ドウV【サインデスカ? / タンデスカ?】	その辺はどうなってるんですか?【真6-1 相談かけ 相違 596 回】	0	0	1	0	0	1	1.1%	
				文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
	Ⅲ-4-	12	ドウ【イウフウニ】Vタライデショウカ。	で、//じゃあ、わたくしは、あの、どのように【探し】たらいふんでしょうか。【真5-2 相談かけ 相違 1726 回】	0	2	1	1	4	8	9.2%	
				文型別合計に対する割合	0.0%	25.0%	12.5%	50.0%	0.0%	100.0%		
	Ⅲ-4-	13	N1ガVルノハ、ドウシデスカ?	そ、【「そうみたいです。」っておっしゃ】るのは、//どうですか?【真6-1 相談かけ 相違 653 回】	0	0	1	0	0	1	1.1%	
				文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
			12文型	合計	0	45	30	6	6	87	100.0%	
				機能別合計に対する割合	0.0%	51.7%	34.5%	6.9%	6.9%	100.0%		
	Ⅲ-5-	1	NヲVテクダサイ（ネ）。	教習委員会へ【電話】を【かけ】てください。【真4-2 相談うけ 回答提供 1022 回】	0	4	2	8	0	1	15	7.4%
				文型別合計に対する割合	0.0%	26.7%	13.3%	53.3%	0.0%	6.7%	100.0%	
	Ⅲ-5-	2	NヲVテミテクダサイ。	【いーんな情報】【探し】てみてください。【真6-2 相談うけ 回答提供 1543 回】	0	0	0	32	0	0	32	15.7%
			文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
Ⅲ-5-	3	NヲVテミフレマスカ? / ハチミタイダケマスカ?	是非、【そんなふうなこと】を【やっ】てみて頂けますか?【真4-1 相談うけ 回答提供 627 回】	0	0	0	9	0	0	9	4.4%	
			文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
Ⅲ-5-	4	NヲV【ヲハノヲラ/テミタラ】（ドウノイカガ）デショウカ（ネ）。	【やってみ】てはいかがでしょうか。【真5-2 相談うけ 回答提供 1698 回】	0	0	0	54	0	0	54	26.5%	
			文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
Ⅲ-5-	5	NヲVテイタダイテ、ハノチイダクト、ハノチイダケルトカ。	【電話】して頂く//というおうちの傍方】//を【し】て頂く。【真4-2 相談うけ 回答提供 1014 回】	0	0	1	18	0	0	19	9.3%	
			文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	5.3%	94.7%	0.0%	0.0%	100.0%		
Ⅲ-5-	6	NヲVテイタダケレハノチイダダキタイト（Φノト）開ウ、服イマスケド	【お着替】を持って頂く//というおうちの、いいですね、あはあちゃまは。【真4-4 相談うけ 回答提供 1499 回】	0	0	0	1	0	0	1	0.5%	
			文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
Ⅲ-5-	7	ズルイシマス。	//お悪いします。【真6-1 挨拶 相違 987 回】	0	0	0	1	8	0	9	4.4%	
			文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	88.9%	0.0%	100.0%		
Ⅲ-5-	8	NヲVテイタダケ/モラエマスカ?（ネ）	【ご家族】を【教え】ていただけませんか?【真5-2 相談 紹介 1062 回】	0	5	0	2	0	0	7	3.4%	
			文型別合計に対する割合	0.0%	71.4%	0.0%	28.6%	0.0%	0.0%	100.0%		
Ⅲ-5-	9	NヲVテアゲテ、（クダサイ）	ですから、それを返してる//ように、少し//【戻す?】てあげて?【真4-2 相談うけ 回答提供 1109 回】	0	0	0	9	0	0	9	4.4%	
			文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
Ⅲ-5-	10	NヲVテ、ノ。	【自分】を【大事にし】て。【真5-3 相談うけ 回答提供 2119 回】	0	0	0	3	0	0	3	1.5%	
			文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%		
Ⅲ-5-	11	NヲVタライインノノカナト、ノシャナイデショウカ、ノシャナイデスカ?	ちうちよつと、【コミュニケーション】を【教え】たらいふんじゃないでしょうか。【真5-1 相談うけ 回答提供 733 回】	0	0	0	14	0	0	14	6.9%	
			文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%		

発話機能	文型No.	文型	文例	相談開始	相談かけの話段 相談提示	相談かけの話段 相談内登場	相談うけの話段 回答提供 回答確認	相談終了	文型別合計	機能別合計に 対する割合
Ⅲ-6 〈共同行為要求〉	Ⅲ-5-12	NヲVヲミマシヨウカ。	ええ、もう、その、【それ】を【繰り返しやって】てみましょうか。【真4-4 相談うけ 回答提供 1921 回】	0	0	0	12	0	12	5.9%
	Ⅲ-5-13	NヲVヲミマシヨウネー。	みんなで【努力し】てみましょうね。【真4-4 相談うけ 回答提供 1961 回】	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	
	Ⅲ-5-14	NヲVルコト。	だから、一番大事なのは、あなたに、あなたが自分を大事にすること。【真5-3 相談うけ 回答提供 2056 回】	0	0	0	15	0	15	7.4%
	*Ⅲ-5-	15 N (φ/ニ/ハ) ドウゾ。	文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	2.5%
		14 文型	機能別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	
Ⅲ-6 〈共同行為要求〉	Ⅲ-6-1	NニVマシヨウ。	【次のカ】に【繰り返す】。【真4-2 挨拶 相續 1046 回】	2	0	0	0	0	2	100.0%
		1 文型	合計	2	0	0	0	0	2	100.0%
	Ⅲ-7-1	モウ一度オネガイシマス。	はう？【真4-1 相談かけ 相續 499 回】	0	1	1	0	0	2	66.7%
	Ⅲ-7-2	ハッ？	文型別合計に対する割合	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	*Ⅲ-7-3	エッ？	機能別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
Ⅲ-7 〈悪い直し要求〉	Ⅲ-7-4	アッ？	しよ、結構ですか。【真4-2 相談 紹介 805 回】	0	1	0	0	0	1	33.3%
	*Ⅲ-7-5	ハイッ？	合計	0	2	1	0	0	3	100.0%
	*Ⅲ-7-6	教エテモラエマス？	機能別合計に対する割合	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%	
	Ⅲ-7-7	相手の顔の動き取れた部分まで反復	それ-//と、まあ、【最後の例】って、全然【し】ないです。【真5-1 相談うけ 回答提供 811 回】	0	55	49	7	3	114	47.7%
		2 文型	文型別合計に対する割合	0.0%	48.2%	43.0%	6.1%	2.6%	100.0%	
Ⅳ-1 〈事実報告〉	Ⅳ-1-1	Nハ、Vマス/Vマセン。Vヲ、Vシ、Vナイデス。	それであのー、【朝練】の日は一、【朝練】があります、毎日。【真6-1 相談かけ 相續 471 回】	0	21	23	10	1	55	23.0%
	Ⅳ-1-2	Nガアリマス。/アリマセン。	うーん、12時半くらいまではー、【起き】てます。【真6-1 相談かけ 相續 527 回】	0.0%	38.2%	41.8%	18.2%	1.8%	100.0%	
	Ⅳ-1-3	Nハ/Vヲ、Vテイマス。	【真6-1 相談かけ 相續 527 回】	0	30	5	11	0	46	19.2%
	Ⅳ-1-4	Nハ (Vヨウ、Vコト、Nニ/ト、A<、A<、A<) ニアリマス。/ナリマシタ。	【真6-1 相談かけ 相續 527 回】	0.0%	65.2%	10.9%	23.9%	0.0%	100.0%	
	Ⅳ-1-5	Nハ、Vタコトガ/モアリマス。/アリマセン。/アルノネ？	【真6-1 相談かけ 相續 527 回】	0	2	0	13	0	15	6.3%
Ⅳ-1 〈悪い直し要求〉	Ⅳ-1-6	Nハ、Vルコトガテキマス。/テキマセン。/ハラシマス。/ハラシマセン。/【朝練】の可能形	あの一、【朝】は一、あの一、【引き裂きに行つた】【笑い】 ことありますし二、【真6-1 相談かけ 相續 366 回】	0	1	0	0	0	1	0.4%
	Ⅳ-1-7	Nハ、Vルコトガテキマス。/テキマセン。/ハラシマス。/ハラシマセン。/【朝練】の可能形	あの一、一人では【朝】られませんが、【真6-2 相談かけ 相續 1253 回】	0	0	3	2	1	6	2.5%
	Ⅳ-1-8	Nハ、Vルコトガテキマス。/テキマセン。/ハラシマス。/ハラシマセン。/【朝練】の可能形	文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	50.0%	33.3%	16.7%	100.0%	
	Ⅳ-1-9	Nハ、Vルコトガテキマス。/テキマセン。/ハラシマス。/ハラシマセン。/【朝練】の可能形	機能別合計に対する割合	0.0%	0.0%	50.0%	33.3%	16.7%	100.0%	
	Ⅳ-1-10	Nハ、Vルコトガテキマス。/テキマセン。/ハラシマス。/ハラシマセン。/【朝練】の可能形	合計	0	2	1	0	0	3	100.0%

発話機能	文型No.	文型	文例	相談開始	相談かけの話題 相談提示	相談かけの話題 相談内管理 回答提供	相談うけの話題 回答提供	相談終了	文型別合計	機能別合計に 対する割合
	W-1-	7	NがVテキマス、／Vテキマヌヨネ?							
			それいった物に【手】が【出】てきますよね?【真5-1 相談うけ 回答提供 946 回】	0	0	0	2	0	2	0.8%
			文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	
			7 文型							
			合計	0	109	80	45	5	239	100.0%
			機能別合計に対する割合	0.0%	45.6%	33.5%	18.8%	2.1%	100.0%	
W-2〈意見説明〉	W-2-	1	N1/ハ、N2デス。	2	85	33	36	2	158	10.7%
			文型別合計に対する割合	1.3%	53.8%	20.9%	22.8%	1.3%	100.0%	
	W-2-	2	N1/ハ、【A1/A0/A0/Vナ1】(デス/デスネー、デシタネー、/デス ヨネー。)	0	18	8	18	1	45	3.0%
			文型別合計に対する割合	0.0%	40.0%	17.8%	40.0%	2.2%	100.0%	
	W-2-	3	N1/ハ、【V1/V1/Vタ/A1/A0/N1】ン(マス/デス)。(、/ネ、/ デスネー。)	0	295	159	132	8	594	40.1%
			【真欲】はとて【旺盛な】んです。【真4-1 相談かけ 相難 501 相】	0.0%	49.7%	26.8%	22.2%	1.3%	100.0%	
	W-2-	4	N1/ハ、【V/A1/A0/N1】(ヨウ/ラジイ/ミタイ/ソウ)デ ス。	1	16	29	17	0	63	4.2%
			あと、時々、禁だらと【野郎一、をしてる】ようです。【真4-2 相談 紹介 835 相】	1.6%	25.4%	46.0%	27.0%	0.0%	100.0%	
	W-2-	5	N1/ハ、【V/A1/A0/N1】カモシレマセン。(、/ネー。)	0	0	0	45	0	45	3.0%
			【おるさん】は、プレッシャーを【感じる】かもしれませんけど、【真6 相談うけ 回答 提供 595 回】	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	
	W-2-	6	N1/ハ、【V/A1/A0/N1】トイウコト(デショウ(ネ)/デス ネ。)	0	0	0	40	0	40	2.7%
			【それ】はとも、めずみなんだ【弱かる】といふことでは?【真4-4 相談うけ 回答 提供 1946 回】	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	
	W-2-	7	N1/ハ、【N2/A0】シャナイ(デショウカ(ネー)。/デスカ?/カ ラ、)	0	0	2	11	0	13	0.9%
			【真5-1 相談うけ 回答提供 764 回】	0.0%	0.0%	15.4%	84.6%	0.0%	100.0%	
	W-2-	8	N1/ハ、【V/A1/A0/N1】ト思(イマス、/ウンデス、/テルン デスヨ。/ツテ。)	0	25	40	123	2	190	12.8%
			必ず、【ある】と思います。思つかってくるものが、【真6-2 相談うけ 回答提供 1545 回】	0.0%	13.2%	21.1%	64.7%	1.1%	100.0%	
	W-2-	9	N1/ハ、【Vタボウガイイ】ト思(イマス、/デショウ。/ンジャナイデシヨ ウカ、/ンジャナイカト思(イマス、)	0	0	0	3	1	4	0.3%
			【真6-1 相談 うけ 回答提供 816 回】	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	100.0%	
	W-2-	10	N1/ハ、【Vデ】(シマイマス、/シマウンデス、/キチャイマス、デキチャウ ンデス。)	0	11	0	6	0	17	1.1%
			【真5-3 相談 紹介 1873 相】	0.0%	64.7%	0.0%	35.3%	0.0%	100.0%	
	W-2-	11	V【マシタ、/マセン、/マスネ、】	0	12	4	16	0	33	2.2%
			はい、わかりました。【真5-1 相談 紹介 564 回】	0.0%	36.4%	12.1%	48.5%	0.0%	100.0%	
	W-2-	12	N1/ハ、V1【タリ/トカ/シ、V2【タリ/トカ/シ】(シテ、/シ マス/スルノネ?)	0	5	1	8	0	14	0.9%
			だから、無理をいめると、ちろ、ここで止まったほうがいいよっていうんで、熊が【出】 たり、真合が、【驚くなう】たりするのね?【真5 相談うけ 回答提供 2040 回】	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	W-2-	13	N1/ハ、V1【カラ、タメニ、ノデ】(V2)。	0	26	7	17	0	50	3.4%
			【真6-1 相談 紹介 398 相】	0.0%	36.7%	7.1%	57.1%	0.0%	100.0%	
	W-2-	14	N1/ハ、V1【(シ)ケド/ガ/ノニ、】(V2)。	0	52.0%	14.0%	34.0%	0.0%	100.0%	
			【真4-3 相談 紹介 1348 相】	0.0%	4	0	0	0	4	0.3%
			あのー、今までは、そういうこと【あかつた】のに、なんか、重たいを嫌、//に、なんか、	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
			文型別合計に対する割合	—	—	—	—	—	—	—
	*W-2-	15	N1/ハ、V1【クテハ/ナグレハ/ナグチャ】ナリマセン。	0	0	0	0	0	0	—
	W-2-	16	N1/ハ、N2/N3【ガ/ハ】アリマス、	0	0	0	4	0	4	0.3%
			あの時と今は、違うのかも知れないって、思えるような体に変わっていくのを始めている 【同断性】は、あります。【真6-2 相談うけ 回答提供 1406 回】	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	

発話機能	文型No.	文型	文例	相談開始	相談かけの話題	相談うけの話題	相談終了	文型別合計	機能別合計に対する割合
IV-3《感情表明》	IV-2-				相談提示	相談内整理 回答提供	回答確認		
	17	N/A、Vタインデス（ヨネ）。／ネ。	普通の高校生として、【行き】たいんですよ。【属5-2 相談かけ 相違 1418 相】	0	0	2	0	0	0.1%
	IV-2-		文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	
	18	N/A、Vタイタンデショウ。	【親】は【頑張っ】てい込んでしょ。【属6-1 相談うけ 回答提供 757 回】	0	0	0	5	0	0.9%
	IV-2-		文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	
	19	N/A、{V/L/Vタ/AI/A/n} ワケ（デス。／ナンデス。）	その反動で、あの、学校で【嫌る】わけです。【属6-1 相談 紹介 329 相】	0	37	10	12	1	4.0%
	IV-2-		文型別合計に対する割合	0.0%	61.7%	16.7%	20.0%	1.7%	
	20	N1/A、{V1/AI/A/n}（ヨウナ/ワウニ）N2（ガ/モ）V2マ ス。	なんかすごくー、【親戚が煩いっていう】ぶりに感じてー。【属6-1 相談うけ 回答提供 857 相】	0	2	9	30	0	4.1%
	IV-2-		文型別合計に対する割合	0.0%	4.9%	22.0%	73.2%	0.0%	2.8%
	21	V/Lコトハアリマセン（ヨ）。	あのー、【びっくりす】ることはありませんよ？【属4 相談うけ 回答提供 1577 回】	0	0	0	7	0	0.5%
	IV-2-		文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	
	22	N/A、V（タイマス。／マス。）	戻ってき、くるようなことが恐るでー。【属4-4 相談うけ 回答 1983 相】	0	1	7	0	16	1.6%
	IV-2-		文型別合計に対する割合	0.0%	4.2%	29.2%	0.0%	66.7%	
	23	N/A、V（デ（モ）/タラ/ト/バ/N2デモ）イイ（ト思イマス/カ モワカリマセン。／ンジャナイデショウカ。）	彼のかを【嫌じ】てやっています。【属6-1 相談うけ 回答提供 857 回】	0	1	1	49	0	3.4%
	IV-2-		文型別合計に対する割合	0.0%	2.0%	2.0%	96.1%	0.0%	
	*IV-2-	N/A、V1（ル/ナイ）（ト/バ/タラ）（AI/カ/N2/A/n）V2 マス。	あの一、実態は違うよっていう感じが、きつていばい【出回ってる】はですすから。【属5-1 相談うけ 回答提供 788 回】	—	—	—	—	—	—
	IV-2-	N/A、VL（バキダ/ハズダ）ト思イマス。	文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	1.0%
	IV-2-		で、今は、対処法で治すということ、治療を【受け】てらっしゃるのでしょうか。【属3 相談かけ 相談提供 641 回】	0	1	0	0	0	0.1%
	IV-2-	N/A、Vテイルノデショウカ。	文型別合計に対する割合	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	IV-2-	N/A、V（クアリマステー。	あの、様子もわからないということだねー、心配ももっと大きくなりますねー。【属4-4 相談うけ 回答提供 1745 回】	0	0	0	3	0	0.2%
		25文型	文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	
			合計	3	539	312	597	31	1483
	IV-3-	1	N（ガ/デ/モ）AI/A/nデス。N1ガN2デス。	0.2%	36.3%	21.0%	40.3%	2.1%	100.0%
	IV-3-		学校は、自分を、あー、勇気でないけど、期待してるなっていう//嬉しいを、うんと思っ てもらうのが、一番かな？という//【嬉しい】が二重ですね【属4-2 相談うけ 回答提供 948 回】	0	0	0	19	0	19
	IV-3-	2	N/A、VL必要（ガ/ハ）アリマ（ス。／セン。）	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	95.0%
	IV-3-		彼の中に力があることを、一瞬なりとも//【嫌う】必要はありません。【属6-1 相談うけ 回 答提供 854 回】	0	0	0	1	0	1
	*IV-3-	3	N/A、Vナイトイクナイ（ンデス。／ワケデス。）	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	5.0%
	*IV-3-	4	N/A、Vデモショウガサインデス（ネ）。	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
		2文型	文型別合計に対する割合	—	—	—	—	—	—
			合計	0	0	0	20	0	100.0%
	IV-4-	1	N/A/Vマス。	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	35.7%
	IV-4-		それじゃあ、//そこについて、ちょっと【お話し】ますね？【属5 相談うけ 回答提供 2098 回】	0	0	0	15	0	15
	*IV-4-	2	N1/A、N2ヲVヨウニシテイマス。	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
	*IV-4-	3	N/A/Vワケデスガ。	—	—	—	—	—	—
	*IV-4-	4	N/A/Vマスケットネ？	—	—	—	—	—	—

発話機能	文型No.	文型	文例	相談開始		相談かけの話段		相談うけの話段		相談終了	文型別合計	機能別合計に対する割合
				相談提示	相談内管理 認	回答提供	回答確認					
	Ⅳ-4-	5	N1/Vタイト愚イマスガ、ノ愚ウナデスガ。	あの一、【お聞きし】たいと聞いまし//て。【質6 相談かけ 相談提示 385 相】	0	3	0	0	0	0	3	7.1%
				文型別合計に対する割合								
	Ⅳ-4-	6	N1/ハ、N2ヲVテ {ミマス、ノミタイト愚イマス、}	はい、【確認っ】て//みます。【質4 相談かけ 相談提示 1582 相】	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
				文型別合計に対する割合								
	Ⅳ-4-	7	N1/ハ、N2ヲVルヌ/アリマセン、	はい、【確認っ】て//みます。【質4 相談かけ 相談提示 1582 相】	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	4.8%
				文型別合計に対する割合								
	Ⅳ-4-	8	Vタイトコロナンデスガ。	【お聞きし】たいところなんです。【質6 相談かけ 相談提示 1062 相】	0	1	0	0	0	0	1	2.4%
				文型別合計に対する割合								
	Ⅳ-4-	9	Vタイノデスケレドモ。	【ご相談申し上げ】たいのですけれど。【質4 相談かけ 相談提示 780 相】	0	7	0	0	0	0	7	16.7%
6 文型				合計	0.0%	92.9%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	33.3%
				機能別合計に対する割合	0.0%	57.1%	2.4%	40.5%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%

【注】 表の右側に発話機能の「要求系」(Ⅲ-1〈確認要求〉、Ⅲ-2〈判定要求〉、Ⅲ-3〈確認要求〉、Ⅲ-4〈説明要求〉、Ⅲ-5〈単独行為要求〉、Ⅲ-6〈共同行為要求〉、Ⅲ-7〈言い直し要求〉)の82種、「提供系」(Ⅲ-1〈(事実報告)Ⅲ-2(意見説明)Ⅲ-3(感情表出)Ⅲ-4(意志表明)〉)に見られた47種、計109種の文型を示す。

各発話機能の番号の＊は、心理相談の談話に見られなかった文型であることを示す。

文型欄の書き方は、『日本語文法』(早稲田大学日本語研究教育センター編 2006)の凡例にしたがう。

表の「文例」欄には、日本語中級教材の例を挙げた。下線は、文型を、【 】内は、[資料番号、話段、小話段、発話番号、参加者]をそれぞれあらわす。

表右側には、相談の名「話段」「小話段」の出現数を示した。合計に対する割合は、下段の「文型別合計に対する割合」に示す。心理相談の談話における「要求系」と「提供系」の各機能に用いられた文型数は、各機能の最下段に示す。「合計」「機能別合計に対する割合」は、各話段、小話段別の出現数の合計と機能別合計に対する割合をそれぞれ示す。

心理の電話相談の「要求」系はⅢ-1〈確認要求〉に16種、Ⅲ-2〈判定要求〉に6種、Ⅲ-3〈選択要求〉に1種、Ⅲ-4〈説明要求〉12種、Ⅲ-5〈単独行為要求〉14種、Ⅲ-6〈共同行為要求〉1種、Ⅲ-7〈言い直し要求〉2種の機能文型が見られた。

4. 3の医療相談と各機能の文型数を比較すると、Ⅲ-1〈確認要求〉が1文型、Ⅲ-5〈単独行為要求〉が6文型、心理相談においては増えている。一方、Ⅲ-2〈判定要求〉は2文型、Ⅲ-7〈言い直し要求〉は5文型、医療相談より文型数が減少している。

心理相談におけるⅢ-1〈確認要求〉の主な文型は医療相談と同様の以下の5文型である。

Ⅲ-1-1 NハV{ル／タ} (トイウ) ワケデスネ？

Ⅲ-1-2 Nガ {V／A i イ／A n} トイウコトデスカ {。／？／ネ？}

Ⅲ-1-3 N1ハV {(ル／タ)／Ai／An／N2} ンデス {ネ？／ヨネ？}

Ⅲ-1-4 N1 {ガ／ハ} {A n ナ／A i／N2} デス {ネ？ヨネ？}

Ⅲ-1-5 Nハ {V／A i／A n／} タコトモナイ。(デスネ？)

Ⅲ-1-6 N {ハ／ガ} V {マス／マシタ} ネ？／ヨネ？

医療相談では〈確認要求〉は、主に「B-2. 相談内容確認の小話段」で用いられていたのに対し、心理相談においては、「C-1. 回答提供の小話段」、「B-2. 相談内容確認の小話段」、18.3%が「B-1. 相談提示の小話段」の順に出現している。「C-1. 回答提供の小話段」で、回答者は相談者に一つ一つ確認しながら回答を進めていく際に〈確認要求〉を用いており、医療相談とは異なる回答の仕方をしているものといえる。

さらに、心理相談の「B-1. 相談提示の小話段」は、医療相談の司会者による代弁とは異なり、司会者と相談者のやりとりで展開するため、「B-1. 相談提示の小話段」にも〈確認要求〉が出現しており、司会者が相談者に内容を確認していることがわかる。

Ⅲ-2〈判定要求〉

Ⅲ-2-1 NハV {マス／マシタ} カ？

Ⅲ-2-2 N1ハ {N2／A i／A n} デスカ。

Ⅲ-2-3 NハVンデスカ。・N1ハ {A n／N2} ナノデショウカ。

Ⅲ-2-4 Nハアリマス {カ／ネ} ？

Ⅲ-2-5 NハV {ル／タ} ワケデスカ。

Ⅲ-2-8 NハVルヨウデスカ。

Ⅲ-4〈説明要求〉のうち、医療相談と同様に見られた文型は、以下の6種である。

Ⅲ-4-1 何カ（Vタコトハ）アリマスカ？／アリマセンカ？

Ⅲ-4-2 Nハ {ナンカ／何ニ／イクツカラ／イツ／ドウ／ドンナN 2ヲ} V {マスカ？／マシタカ？／テマスカ？／テマシタカ？}

Ⅲ-4-3 N {ハ／トイウノハ}, {ドウ／イツ／ナン／ドッチ／イクツ／ドコ／ドウイウコト／ドンナコト／ドノクライ／何年生／何本／何時ゴロ／何号}{デスカ？／デス？／デシタカ？／ナンデショウ}。

Ⅲ-4-4 イカガデショウカ。

Ⅲ-4-5 Nハ, {ドウ／ドンナフウニ／何回／何種類／ドノ程度} Vテ {マスカ？／レンデショウカ。}

Ⅲ-4-8 ドンナNガV{デスカ？／Vノデショウカ？／Vテマスカ？}

心理相談のみに見られた文型の中で、Ⅲ-4-10「ドナタノNデショウカ。」は、司会者が相談者に「どなたのご相談でしょうか。」と聞くときに見られた文型である。

その他、Ⅲ-4-11「ドウV {タインデスカ？／タンデスカ？}」, Ⅲ-4-12「ドウ（イウフウニ）Vタライイデショウカ。」Ⅲ-4-13「N 1ガVルノハ, ドウシテデスカ？」Ⅲ-4-6「何ヲVテホシインデスカ？」の4種は、医療には見られない機能文型であり、心理的な悩みを持つ相談者が用いたり、回答者がⅢ-4-13「N 1ガVルノハ, ドウシテデスカ？」（そ、【「そうみたいです。」っておっしゃ】るのは、どうしてですか？[資 6-1 相談かけ 相確 653 回]）のように、相談者に確かめ、相談者との距離を測りながら質問をしているものである。

Ⅲ-5〈単独行為要求〉は 204 文見られる。医療相談の 61 文の 3 倍強の文数である。心理相談は、1 件の電話相談が長く、「C-1. 回答提供の小話段」も長いことから、文数も多くなっている。文型は 16 文型見られ、医療相談より 6 文型多い。以下の 14 文型のうち、

心理相談のみに見られた文型は以下の文型 8, 9, 12, 13 のように、婉曲的な行為の要求のものが目立つ。「Vテミル」, 「Vテイタダケマスカ？」等の表現は、心理のみに見られる特徴であろう。

Ⅲ-5-8 NヲVテイタダケ／モラエマスカ？（ネ）

Ⅲ-5-9 NヲVテアゲテ。（クダサイ）

Ⅲ-5-10 NヲVテ, /。

Ⅲ-5-11 NヲVタライイン／ノカナト。／ジャナイデショウカ。／ジャナイデスカ？

Ⅲ-5-12 NヲVテミマショウカ。

Ⅲ-5-13 NヲVテミマショウネー。

Ⅲ-5-14 NヲVルコト。

孫や子供の不登校等に悩む相談者に対し、回答者が婉曲的な行為の指示により、相談者に心理的な負担を与えないようにしているためではないかと考えられる。

Ⅳ. 提供の 1483 文のうち、Ⅳ-1〈事実報告〉(231 文)は、医療相談と同様 7 種の機能文型がある。また、Ⅳ-2〈意見説明〉は 25 種、Ⅳ-3〈感情表出〉は 2 種、Ⅳ-4〈意志表明〉も、医療相談より 2 種増え、6 種の機能文型に分類される。Ⅳ-2〈意見説明〉、Ⅳ-3〈感情表出〉、Ⅳ-4〈意志表明〉は医療相談より多くの機能文型が用いられている。これは、心理相談の「B-1. 相談提示の小話段」が相談者によって話されていることも影響していると考えられる。

Ⅳ-2〈意見説明〉のうち、もっとも多く分類される文型は、医療相談と同様の文型 3 の「のだ」を伴う文型である。

心理相談の「C-1. 回答提供の小話段」で、回答者が主に用いていたⅣ-2〈意見説明〉の機能文型は、以下の 4 文型である。

Ⅳ-2-3 Nハ, {Vル／Vタ／A i／A n／N} ン {マス／デス} {。／ネ。／デスネ。}

Ⅳ-2-8 Nハ, {V／A i／A n／Nダ} ト思 {イマス。／ウンデス。／テルンデスヨー。／ッテ。}

Ⅳ-2-20 N1ハ, {V1／A i／A n} (ヨウナ／フウニ) N2 {ガ／モ} V2マス。

Ⅳ-2-23 Nハ, V {テ (モ)／タラ／ト／バ／N2デモ} イイ {ト思イマス／カモワカリマセン。／ンジャナイデショウカ。}

「Ⅳ-2-20 N1ハ, {V1／A i／A n} (ヨウナ／フウニ) N2 {ガ／モ} V2マス。」は、文末に「～ように思います。」が来る。心理相談では、9 件中 8 件が子供や孫の不登校等に悩む相談者からの相談であり、回答者も相談者の子供や孫の心理状態について考えられる

ことを推測して回答していると考えられる。「IV-2-23 Nハ、V {テ (モ) /タラ/ト/バ/N2 デモ} イイ {ト思イマス/カモワカリマセン。/ンジャナイデショウカ。}」の「～て (も) いい」、「～たらいい」を伴う文型は、「彼の力を信じてやっていいんです。」等の文であり、相談者が子供や孫にどう接したらよいかを回答する際、相談者に自信を持たせたり、子供や孫との接し方を提案する際に用いられている。

5. 4 心理相談の談話型

心理相談の話段、小話段の展開パターンと、全9件の電話相談の内訳を表すと以下のようになる。

【図5-4】心理相談の談話における「話段」と「小話段」の展開パターン

パターン1				パターン2				パターン3				パターン4			
1	A. 相談開始 の話段			1	A. 相談開始 の話段			1	A. 相談開 始の話段			1	A. 相談開始 の話段		
2	B. 相談かけ の話段	2-1	B-1. 相談 提示の小 話段	2	B. 相談かけ の話段	2-1	B-1. 相談 提示の小 話段	2	B. 相談かけ の話段	2-1	B-1. 相談 提示の小 話段	2	B. 相談かけ の話段	2-1	B-1. 相談 提示の小 話段
		2-2	B-2. 相談 内容確認 の小話段			2-2	B-2. 相談 内容確認 の小話段			2-2	B-2. 相談 内容確認 の小話段			2-2	B-2. 相談 内容確認 の小話段
3	C. 相談うけ の話段	3-1	C-1. 回答 提供の小 話段	3	C. 相談うけ の話段	3-1	C-1. 回答 提供の小 話段	3	C. 相談うけ の話段	3-1	C-1. 回答 提供の小 話段	3	C. 相談うけ の話段	3-1	C-1. 回答 提供の小 話段
4	D. 相談終 了の話段			3-2		C-2. 回答 確認の小 話段		3-2		C-2. 回答 確認の小 話段	4	B. 相談かけ の話段	4-1	B-2. 相談 内容確認 の小話段	
			4	D. 相談終 了の話段				3-3		C-1. 回答 提供の小 話段	5	C. 相談うけ の話段	5-1	C-1. 回答 提供の小 話段	
								4	D. 相談終 了の話段			6	D. 相談終 了の話段		
心理0件				心理5件				心理1件				心理3件			

注 日本語の相談の談話の「話段」、「小話段」の展開の4パターンを示したものである。
各話段の右に話段の順序を、各小話段の右に小話段の順序を枝番号で示す。
表の最下段に、各パターンのデータ数を示した。

心理相談は、回答者から回答をうけた後、すぐに納得して終了するものは1件もなかった。相談内容の複雑さも関わっていることと思われる。

【図5-5】に心理相談における談話型を示した。心理相談の話段、小話段の出現順に、各話段、小話段を特徴づける発話機能と文型の出現傾向の結果から、各話段、小話段に典型的に見られると認定できる中心発話を載せたものである。

【図5－5】心理相談における相談の談話型

話段・小話段	文番号	例	文型	発話機能
A. 相談開始の話段	1	司: 鈴木さん?	Ⅲ-1- 1 Nサン?	〈注目要求〉
	2	相: はい。	V-2a- 6 ハイ	〈承認の注目表示〉
	3	司: お待たせいたしました。	V-1- 2 オ待たせシマシタ。	〈関係作り・儀礼〉
	4	相: よろしくお願ひいたします。	V-1- 4 ヨロシクオ願イシマス。	〈関係作り・儀礼〉
B 相談かけの話段	B-1 相談表示の小話段	6 司: どのようなご相談ですか?	Ⅲ-4- 7 ドノウナデスカ?	〈説明要求〉
		7 相: 孫がねー, 学校に行かないんです。	Ⅳ-2- 3 Nガ, Vナインデス。	〈意見説明〉
		8 相: で, ご相談したいのですけれども。	Ⅳ-4- 9 Vタイノデスケレドモ。	〈B1 語を重ねる〉+〈意見説明〉
		9 司: わかりました。	Ⅳ-2- 11 Vマシタ。	〈意見説明〉
		10 司: 先生, お願いします。	Ⅲ-1- 1 先生, V-1- 4 オ願イシマス。	〈注目要求〉+〈関係作り・儀礼〉
		11 回: はい。	V-2d- 11 ハイ	〈承認の注目表示〉
A. 相談開始の話段	12	回: こんにちは。	V-1- 1 コンニチハ。	〈関係作り・儀礼〉
	13	相: こんにちは。	V-1- 1 コンニチハ。	〈承認の注目表示〉
	14	相: よろしくお願ひします。	V-1- 4 ヨロシクオ願イシマス。	〈関係作り・儀礼〉
B 相談かけの話段	B-2. 相談内容確認の小話段	15-1 回: 娘さんは家にいますか?	Ⅲ-2- 1 NハVマスカ?	〈判定要求〉
		15-1 相: はい, おります。	Ⅳ-1- 1 NハVマス。	〈応答〉+〈事実報告〉
		↑ ↓		
		15-2 回: 今, 学校には全然行っていないんですね?	Ⅲ-1- 3 N1ハVナインデスネ?	〈確認要求〉
		15-2 相: はい。	ハイ。	〈応答〉+〈事実報告〉
		↑ ↓		
	15-3	回: 娘さんは, 今, 家でどう過ごされていますか?	Ⅲ-4- 5 Nハ, ドウVデマスカ?	〈説明要求〉

話段・小話段	文番号	例	文型	発話機能
C 回答うけの 話段	↑ ↓	15-3 相：家で音楽を聴いて過ごしています。	Ⅳ-1- 3 N/ハVテイマス。	〈事実報告〉
		15-4 回：先生に叱られたんでしょうか。それとも友達にいじめられたんでしょうか？	Ⅲ-3- 1 N1/ハVデショウカ。ソレトモVンデショウカ。	〈選択情報要求〉
		15-4 相：先生にはよく怒られるようです。	Ⅳ-2- 4 N/ハ、Vヨウデス。	〈選択情報提供〉
		16 回：あー、そうですか。	V-2b- 2 アー V-2d- 5 ソウデスカ	〈承認＋確認の注目表示〉
		17 相：はい。	V-2h- 6 ハイ	〈同意の注目表示〉
		18 回：そうですね。	回：ソウデスネ。	〈自己注目表示〉
		19 回：娘さんは、学校に行きたがらないんですよね？	Ⅲ-1- 3 N1/ハVナインデスヨネ？	〈確認要求〉
	↑ ↓	20 相：はい、そうです。	相：ハイ、ソウデス。	〈応答〉＋〈事実報告〉
		21 回：娘さんは、少しゆっくり休みたいのかもしれませんがねー。	Ⅳ-2- 5 N/ハ、Vタイノカモシレマセンネー。	〈意見説明〉
		22 相：そうですかー。	V-2b- 9 ソウデスカ	〈承認の注目表示〉
		23 回：今の娘さんの状態は、疲労困憊じゃないでしょうか。	Ⅳ-2- 7 N1/ハ、N2ジャナイデショウカ。	〈意見説明〉
		24 相：あー。	V-2b- 2 アー	〈承認の注目表示〉
		25 回：お母さんは、ゆっくりと見守っていていいと思います。	Ⅳ-2- 23 N/ハ、Vテイイト思イマス。	〈意見説明〉
		26 相：あー、そうですか。	V-2b- 2 アー V-2d- 5 ソウデスカ	〈承認＋確認の注目表示〉
		27 回：何か娘さんが安心できる環境を作ることが第一です。	Ⅳ-3- 1 N1ガN2デス。	〈感情表出〉
		28-1 相：わかりました。	Ⅳ-2- 11 Vマシタ。	〈意見説明〉
		28-2 相：あー、そうですか。	V-2b- 2 アー V-2d- 5 ソウデスカ	〈承認＋確認の注目表示〉
		pattern1		
		pattern2		
		pattern4		
		pattern3		

話段・小話段	文番号	例	文型	発話機能
D. 相談終了の話段	pattern1 ↓	相：ありがとうございます。 司：ご参考にどうぞ。	V-1- 7 アリガトウゴザイマス。 V-1- 24 参考ニドウソ	〈関係作り・儀礼〉 〈関係作り・儀礼〉
C 相談うけの話段	pattern2	相：じゃあ、このままの状態でもよろしいんですね？ 回：はい、少し娘さんの決断にゆだねてみてはいかがでしょうか。 ⇒ 28-1か、28-2へ	Ⅲ-1- 14 N1ハN2デイインデスネ？ Ⅲ-5- 4 NニVテハイカガデシヨウカ。	〈確認要求〉 〈応答〉＋〈単独行為要求〉
B 相談かけの話段	pattern4	回：それから、体の調子はいいいですね？ 相：そうですね、元気です。 ⇒ C-1.回答提供の小話段へ	Ⅲ-1- 4 N1ハA i デスネ？ Ⅳ-2- 2 Nハ、Anデス。	〈B1話を重ねる〉＋〈判定要求〉 〈応答〉＋〈意見説明〉
C 相談うけの話段	pattern3	相：うーん。 相：でもー、来年度なんですね？ 相：今、家では音楽ばかり聴いてるわけなんですね？	V-2C- 3 ウーン Ⅳ-2- 3 N1ハ、N2ンデスネ？ Ⅳ-2- 19 Nハ、Vルウケンナンデスネ？	〈否認の注目表示〉 〈B5話を戻す〉＋〈意見説明〉 〈意見説明〉
C 相談うけの話段		回：ですからね、娘さんは、今、とても疲れていると思うんですよ。 回：少し見守ってみてください。 回：元気になったら、きっと娘さんがお母さんに何か話してくれるはずだと思います。	Ⅳ-2- 8 Nハ、Vト思ウンデスヨ。 Ⅲ-5- 2 NヲVテミテクダサイ。 Ⅳ-2- 24 Nハ、V 1タラ Ⅳ-2- 26 Nハ、Vルハスタト思イマス。	〈B5話を戻す〉＋〈意見説明〉 〈単独行為要求〉 〈意見説明〉＋〈意見説明〉

「A. 相談開始の話段」は、まず、司会者と相談者によるあいさつから始まる。司会者の〈説明要求〉により、「B. 相談かけの話段」の「B-1. 相談提示の小話段」が開始する。

相談者は、IV-2〈意見説明〉の「NガVンデス。」「どうしようと思イマシテ。」で相談内容を提示し、司会者は、「【ワカリ】マシタ。」という〈意見説明〉のあと、回答者に呼びかけ、「よろしくお願いします。」と発話権を譲り、「B-1. 相談提示の小話段」が終了する。

「B-2. 相談内容確認の小話段」は、Ⅲ-1〈確認要求〉、Ⅲ-2〈判定要求〉、Ⅲ-3〈選択要求〉、Ⅲ-4〈説明要求〉が順不同で反復され、相談者の提供の発話がそれぞれ付随する。4種の要求の機能の発話が順不同で反復するのは、医療相談と共通の特徴である。

「C. 相談うけの話段」の「C-1. 回答提供の小話段」は、Ⅲ-1〈確認要求〉「NハVンデスヨネ?」という回答者の発話、「NハVタイトイウコトデハナイデショウカ。」「NヲVテイテイイト思イマス。」という〈意見説明〉のあと、婉曲的なⅢ-5〈単独行為要求〉の「NヲVテミテハイカガデショウカ。」で回答が締めくくられる。心理相談も、医療相談と同じく、それに対する相談者の反応によって、3パターンの展開に分かれる。

まず、心理相談でも、相談者の「わかりました。」等、回答を受諾したことを示す〈意見説明〉が見られると、「D. 相談終了の話段」に移り、司会者も交えて挨拶を交わし、電話相談が終了する。

「C-1. 回答提供の小話段」において、相談者の「あー、そうですかー。」に代表される〈承認＋確認の注目表示〉が示されたあと、相談者が得られた回答をさらに確認することを示す〈確認要求〉が見られると、「C-2. 回答確認の小話段」が現れる。

回答者の婉曲的な〈単独行為要求〉のあと、回答者が前に相談者に聞いていなかったことを得たい場合は、回答者による要求の発話が出現し、「B-2. 相談内容確認の小話段」へ移る。

「C-2. 回答確認の小話段」のあとは、「B-2. 相談内容確認の小話段」のあとは、再び、回答者が新たな情報を付加しながら「C-1. 回答提供の話段」へ移行し、相談者による回答の受諾を示す「わかりました。」といったIV-2〈意見説明〉により、「D. 相談終了の話段」に移行し、電話相談が終了する。

心理相談は、相談内容が個別であることから、回答者にはより丁寧で慎重な対応が求められると考えられる。Ⅲ-5〈単独行為要求〉やⅢ-1〈確認要求〉の文型が医療相談より多かったのは、相談者と現状を確認しながら解決していこうという回答者の回答の手法、相

談者への配慮をしつつ婉曲的に行為を要求するという助言の手法が現れているといえよう。

ラジオの番組における医療相談と心理相談は、番組編成上、あらかじめ相談者の相談内容が電話受付の時点で話されており、「相談提示の小話段」は、放送前に見られることから、実際にどのように相談者が相談を「かけ」るのが把握できない。

しかしながら、医療相談、心理相談ともに、「A. 相談開始の話段」「B. 相談かけの話段」「C. 相談うけの話段」「D. 相談終了の話段」が見られたこと、「B. 相談かけの話段」「C. 相談うけの話段」における各小話段が認定され、発話機能の分布、要求と提供の文型の出現傾向が各話段、各小話段の成立を特徴づけるものになっていることが観察された。

次章では、自然談話の例として、レファレンスにおける司書と学生の相談の談話を分析・考察し、相談の談話の構造、発話機能の分布、「要求」系と「提供」系の文型の出現傾向の相違点を探る。

第6章 図書館レファレンスにおける相談の談話の構造

6.1 図書館レファレンスにおける「談話」の規定

本章では、日本語教科書における相談場面の談話、ラジオの医療相談、心理相談の「電話相談の談話」との構造上の相違、回答者と相談者による発話機能の相違を考察するために、自然談話の例として、図書館レファレンスにおける図書館員と相談者の相談の談話【資料7】【資料8】【資料9】の3資料を分析・考察する。

3資料の発話数、所要時間等は、以下の通りである。

【表6-1】図書館レファレンスにおける相談の談話の発話数と所要時間

資料	相談者と発話数	回答者と発話数	沈黙	発話総数	時間
【資料7】	日本人母語話者 220 発話	女性 210 発話	15 発話	4 4 5 発話	15 分 21 秒
【資料8】	日本人母語話者 145 発話	男性 195 発話	5 発話	3 4 0 発話	14 分 16 秒
【資料9】	外国人留学生 105 発話	女性 108 発話	4 発話	2 1 7 発話	8 分 21 秒

相談者の年齢、その他については、以下の通りである。

【資料7】50代女性，日本人母語話者 大学院修士課程修了

【資料8】20代女性，日本人母語話者 大学院修士課程在学中

【資料9】30代女性，韓国人母語話者 大学院修士課程在学中，日本語レベル超上級

談話資料の収集に際しては、事前に早稲田大学中央図書館に調査の主旨を説明し、ご協力いただいた。

相談者は、図書館レファレンスに純粹に相談があることを条件に募った。

各相談の談話が開始し、展開し、終了する完結した談話の収集を目的としたため、相談者にも、回答者にも、細かい指示は与えず、相談者に随時カウンターに来てもらい、相談を始めてもらった。

図書館レファレンスの3資料は、それぞれが一つの完結した「談話」であり、各資料の「談話」は、ラジオの相談番組における各「電話相談の談話」にあたる。

6. 2 図書館レファレンスにおける相談の談話の構造

図書館の図書館レファレンスカウンターの談話は、A～Dの4種の話段が認定され、「B. 相談かけの話段」「C. 相談うけの話段」には、4種の小話段が認定される。これは、ラジオの相談番組における「電話相談の談話」の構造と同様に認定される話段、小話段である。

A. 相談開始の話段

相談展開の大話段

B. 相談かけの話段

B-1. 相談提示の小話段

B-2. 相談内容確認の小話段

C. 相談うけの話段

C-1. 回答提供の小話段

C-2. 回答確認の小話段

D. 相談終了の話段

【表6-2】に【資料7】、【資料8】、【資料9】の話段、小話段の展開と発話総数に対する各話段、各小話段の割合を示した。

【表6-2】によると、最も発話総数の多い【資料7】が最も展開が少なく、発話総数が【資料7】の半分弱である【資料9】が最も多い展開になっている。

3資料とも「相談展開の大話段」である「B. 相談かけの話段」と「C. 相談うけの話段」の4小話段「B-1. 相談提示の小話段」「B-2. 相談内容確認の小話段」「C-1. 回答提供の小話段」「C-2. 回答確認の小話段」が反復している。

ラジオの電話相談では、「B-1. 相談提示の小話段」は1度のみで、その後、提示された相談内容に対して、「B-2. 相談内容確認の小話段」「C-1. 回答提供の小話段」「C-2. 回答確認の小話段」が反復されていた。図書館レファレンスの相談の談話は、「B-1. 相談提示の小話段」が【資料7】に2回、【資料8】に3回、【資料9】に5回現れ、その都度、「B-2.

【表6-2】図書館レファレンスの相談の談話における「話段」と「小話段」の展開

展開		資料7		資料8		資料9	
話段	小話段	発話番号、参加者	発話数、割合	話段	小話段	発話番号、参加者	発話数、割合
A相談開始の話段		1回～5相	5 1.1%	A相談開始の話段		1回～3相	3 0.9%
B相談かけの話段①	B-1-1相談提示の小話段	6相～29相	24 5.4%	B相談かけの話段①	B-1-1相談提示の小話段	4相～12相	9 2.7%
	B-2-1相談内容確認の小話段	30回～41回	12 2.7%	C相談うけの話段①		13回～14相	2 0.6%
C相談うけの話段①	C-1-1回答提供の小話段	42回～116相	75 16.9%	C相談うけの話段②	C-1-1回答提供の小話段	13回～14相	2 0.6%
	B-2-2相談内容確認の小話段	117回～171相	55 12.4%		C-2-1回答確認の小話段	17回～25相	9 2.7%
C相談うけの話段②	B-1-2相談提示の小話段	172相～186相	15 3.4%	B相談かけの話段②	B-1-2相談提示の小話段	26相～32相	7 2.1%
	C-1-2回答提供の小話段	187回～196回	10 2.2%	C相談うけの話段②		33回～57相	15 4.5%
B相談かけの話段③	B-2-3相談内容確認の小話段	197回～217相	21 4.7%	B相談かけの話段③	B-2-1相談内容確認の小話段	58回～63相	6 1.5%
C相談うけの話段③	C-1-3回答提供の小話段	218～305相	88 19.8%	C相談うけの話段③	C-1-4回答提供の小話段	64回～260相	197 59.7%
B相談かけの話段④	B-2-4相談内容確認の小話段	306回～316相	11 2.5%	B相談かけの話段④	B-1-4相談提示の小話段	261相～278相	18 5.5%
C相談うけの話段④	C-1-4回答提供の小話段	317相～435相	119 26.7%	C相談うけの話段④	C-1-5回答提供の小話段	279回～308回	30 9.1%
D相談終了の話段		436相～445相	10 2.2%	D相談終了の話段	C-2-2回答確認の小話段	309相～324相	16 4.8%
	発話総数	445	100.0%		C-1-6回答提供の小話段	325回～334相	10 3.0%
		発話総数に対する割合	100.0%			335回～340回	6 1.8%
						発話総数	330
						発話総数に対する割合	100.0%
						D相談終了の話段	
							6
						発話総数	216
						発話総数に対する割合	100.0%

(注1) レファレンスの3資料の談話の「B. 相談かけの話段」「C. 相談うけの話段」および、4小話段(「B-1. 相談提示の小話段」「B-2. 相談内容確認の小話段」「C-1. 回答提供の小話段」「C-2. 回答確認の小話段」)は、それぞれ複数回現れることがあるため、各話段の出現順に丸番号を、各小話段の出現順に、枝番号(B-1-1 B-1-2...)を付した。

(注2)各資料の「発話数、割合」の欄には、各話段、小話段の発話数を示し、下段に発話総数に対する割合を示した。

相談内容確認の小話段」「C-1. 回答提供の小話段」「C-2. 回答確認の小話段」が現れる。複数の相談を一つ一つ解決していく展開になっている。

以下、各話段、小話段の例を挙げる。

まず、「A. 相談開始の話段」は、相談者と回答者の挨拶の話段であり、3発話程度の非常に短いものである。回答者と相談者の〈関係作り・儀礼〉の発話が見られる。

(例6-1)

1回 どうぞ。

2相 おはようございます。

3相 お願いします。 【資料7】

「B. 相談かけの話段」の「B-1. 相談提示の小話段」は、相談者の相談内容が明確であり、5発話程度で行われている。本研究の分析対象である図書館レファレンスの談話は、相談者が文献収集に関する相談をしている。相談者は、自分がどこまで文献検索を行ったかを述べ、(WINEで検索したら早稲田にはなかった。／中央図書館にはなく、本庄、戸山にあると書かれていた) 文献を入手する方法を聞く。(例6-2)のように、「N1はVんですけどー、N2がVないんですがー。」というIV-2〈意見説明〉により、間接的に回答者に入手の方法について教えてほしいという相談内容を提示している。

(例6-2)

4相 えっとですねー、

5回 はい。

6相 あの一、論文探すときにー、

7回 はい。

8相 日本語の論文は、探せるんですけどー、

9回 はい。

10相 英語の論文ががですねー、

11回 はい。

12相 あの一、国会図書館のほうでも、探せないんですがー。 【資料8】

次の（例6－3）は、3～7相で、相談者自身がWINEで検索したところ、得られた結果を〈意見説明〉の「Vてあるんですねー。」で述べ、10相で、中央図書館に「置いてないってことなんですか？」というⅢ-1〈確認要求〉で、自分が検索した結果を専門家である司書に確かめている。

（例6－3）

- 3相 あのですね、この一、えっと、文献なんですけれども一、
4回 はい。
5相 WINEで検索しましたら一、
6回 はい。
7相 戸山、には「雑誌」っていうふうに、書い、きこまれてあるんですね//一。
8回 戸山の//雑誌。
9相 はい。
10相 で、中央一、ここには置いてないってことなんですか？ 【資料9】

つづく「B-2.相談内容確認の小話段」で、回答者は、相談者が提示した文献をパソコンで検索し、本当に早稲田にないかを確認する。（例6－4）の30相「～ていらっしゃるということで。」というⅢ-1〈確認要求〉で相談者に確認したあと、実際に回答者がパソコンに向かって検索する。

（例6－4）

- 30回 えっと、WINEでも、所蔵は確認されていらっしゃるということ。
31相 そうなんです、//こういう、
32回 はい。
33回 すみません、申し訳ないですが、
34回 もう一度確認させていただきますね？。
35相 はい、お願いします。
36回 『大学教育』、
37相 『学会誌』ですね。
38回 はい。

39ー {回パソコンを打ち、検索する}

40 回 そうですね、ないですね。

41 相 はい。

【資料7】

「C. 相談うけの話段」の「C-1.回答提供の小話段」では、回答者が文献を入手する方法を（コピーを取り寄せる／戸山に行って自分でコピーするなど）提示する。

また、今後、相談者が自分で検索ができるよう、パソコンを操作しながら説明する。

下記の（例6－5）は、早稲田にない文献の検索の仕方を回答者が説明しているが、44の回答者のIV-1〈事実報告〉で画面を相談者に見せながら、存在文を用いて相談者の知りたい情報へ辿り着く方法を提示している。さらに、今後、相談者が自分で検索ができるよう、47回Ⅲ-5〈単独行為要求〉「～ていただいて。」、53回「雑誌を探すということで、」55回「こちらを（クリックしていただいて）。」という発話が見られる。実際にパソコンを操作しているのは、回答者であり、あくまで、相談者が今後役立つよう操作の仕方を提示している。

（例6－5）

42 回 そうしますとー、えー、早稲田にないものをお探しの//場合はですね、

43 相 はい。

44 回 えっと、ここに、「情報検索」というのが、//あります。

45 相 あります。

46 相 はい。

47 回 で、ここをクリックしていただいて、

48 相 はい。

49 回 「雑誌を探す」、

50 相 はい。

51 回 あの、「図書を探す」というところでも、同じところに登録がされているんですが、

52 相 はい。

53 回 「雑誌を探す」ということで、

54 相 はい。

55 回 こちらを。

56 回 そうしますと、「雑誌の所在を探す」というところの一、

57 回 えー、あつ、そうですね。

58 相 はい。

59 回 下から 3 番目、「NACSIS、

60 相 はい。

61 回 総合目録データベース」という、//国立情報学研究所が作っているデータベー
スが、あります。

62 相 はい。

63 相 はい。

以下（例 6－6）における「C-2.回答確認の小話段」は、122 相までの「C-1. 回答提供
の小話段」のあとに見られる。123 相の〈b3 話を進める機能〉と「NハVルコトガデキル
ッテイウコトデスカ？」というⅢ-1〈確認要求〉により、雑誌のコピーを中央図書館で受
け取ることが可能かを確認している。

（例 6－6）

117 回 それから、コピーだけの取り寄せ、

118 回 雑誌は、取//り寄せることができないんですよ。

119 相 あつ。

120 相 あつ、そうなんですか？

121 回 はい。

122 相 へー。

123 相 じゃ、それで、ここで受け取ることができるっていう//ことですか？

124 回 そうですね。

125 回 申し込んだ所で受け取ることが//できるんです。

126 相 あー。

127 相 あー、そうですか。

128 回 はい。

【資料 9】

「D. 相談終了の話段」は、相談者が図書館に文献のコピーを頼んでいる【資料9】のような場合は、211 相「お願いします。」212 回「はい、(書類を)お預かりいたします。」が見られる。医療相談や心理相談などには、見られない表現であり、相談の質の違いにより、見られる表現が〈関係作り・儀礼〉にも現れていることがわかる。

6. 3 図書館レファレンスにおける相談の談話の発話機能

6. 4 図書館レファレンスにおける要求と提供の機能文型の種類と出現傾向

「要求」系のⅢ-1〈確認要求〉は7種、Ⅲ-2〈判定要求〉は5種、Ⅲ-3〈選択要求〉1種、Ⅲ-4〈説明要求〉は9種、Ⅲ-5〈単独行為要求〉は4種である。Ⅲ-5〈単独行為要求〉は、

【表6-4】図書館レファレンスの相談の談話における「要求」系と「提供」系の機能文型

発話機能	文型No.	文型	文例	相談開始		相談かけの経路		相談うけの経路		相談終了	機能別合計に対する割合
				相談表示	相談提示	相談内導型	回答提供	回答確認	文型別合計に対する割合		
Ⅲ-1 (情報要求)	Ⅲ-1-1	N1/V (ル/タ) (トイウ) ワケデスネ?	早稲田のほうで【検索する】わけですか? [Ⅲ8 相談うけ 回答提供 149 相]	0	2	0	6	0	8	20.5%	
	Ⅲ-1-2	N2/V (ル/タ) (トイウ) ワケデスネ?	文型別合計に対する割合	0.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
	Ⅲ-1-3	N1/V (ル/タ) (トイウ) ワケデスネ?	じゃ、それで、ここで【検索する】わけですか? [Ⅲ8 相談うけ 回答提供 123 相]	0	2	1	4	2	10	25.6%	
	Ⅲ-1-4	N1/V (ル/タ) (トイウ) ワケデスネ?	文型別合計に対する割合	0.0%	20.0%	10.0%	40.0%	20.0%	100.0%	0.0%	
	Ⅲ-1-5	N1/V (ル/タ) (トイウ) ワケデスネ?	【検索する】は【25年】なんですな? [Ⅲ7 相談うけ 回答提供 237 相]	0	0	0	3	1	4	10.3%	
	Ⅲ-1-6	N1/V (ル/タ) (トイウ) ワケデスネ?	文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	100.0%	0.0%	
	Ⅲ-1-7	N1/V (ル/タ) (トイウ) ワケデスネ?	さっきと【同じ】ですか? [Ⅲ7 相談うけ 回答提供 256 相]	0	0	0	1	0	1	2.6%	
	Ⅲ-1-8	N1/V (ル/タ) (トイウ) ワケデスネ?	文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
	Ⅲ-1-9	N1/V (ル/タ) (トイウ) ワケデスネ?	で、えーっと、「論文記事を探す」のところに、【外国の】が【あり】ますよね? [Ⅲ8 相談うけ 回答提供 48 相]	0	0	1	2	1	4	10.5%	
	Ⅲ-1-10	N1/V (ル/タ) (トイウ) ワケデスネ?	文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	25.0%	100.0%	0.0%	
	Ⅲ-1-11	N1/V (ル/タ) (トイウ) ワケデスネ?	【2時間ぐらい】ですか。 [Ⅲ9 相談うけ 回答提供 205 相]	0	0	1	0	3	4	10.3%	
	Ⅲ-1-12	N1/V (ル/タ) (トイウ) ワケデスネ?	文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	75.0%	100.0%	0.0%	
	Ⅲ-1-13	N1/V (ル/タ) (トイウ) ワケデスネ?	文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	Ⅲ-1-14	N1/V (ル/タ) (トイウ) ワケデスネ?	文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	Ⅲ-1-15	N1/V (ル/タ) (トイウ) ワケデスネ?	文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	Ⅲ-1-16	N1/V (ル/タ) (トイウ) ワケデスネ?	文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
Ⅲ-2 (特定要求)	Ⅲ-2-1	N1/V (ル/タ) (トイウ) ワケデスネ?	【いい】です/か?、それで、 [Ⅲ7 相談うけ 回答提供 375 相]	0	2	3	1	2	8	20.5%	
	Ⅲ-2-2	N1/V (ル/タ) (トイウ) ワケデスネ?	文型別合計に対する割合	0.0%	25.0%	37.5%	12.5%	25.0%	100.0%	0.0%	
	Ⅲ-2-3	N1/V (ル/タ) (トイウ) ワケデスネ?	機能別合計に対する割合	0.0%	15.4%	15.4%	43.6%	23.1%	100.0%	0.0%	
	Ⅲ-2-4	N1/V (ル/タ) (トイウ) ワケデスネ?	【地下鉄の乗降駅】は【わかり】ますか? [Ⅲ9 相談うけ 回答提供 68 相]	0	0	7	9	1	17	30.4%	
	Ⅲ-2-5	N1/V (ル/タ) (トイウ) ワケデスネ?	文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	41.2%	52.9%	5.9%	100.0%	0.0%	
	Ⅲ-2-6	N1/V (ル/タ) (トイウ) ワケデスネ?	【名刺】というの。は、【その職員の番号。】//ですか? [Ⅲ8 相談うけ 回答提供 29 相]	0	1	4	6	7	19	33.9%	
	Ⅲ-2-7	N1/V (ル/タ) (トイウ) ワケデスネ?	文型別合計に対する割合	0.0%	5.3%	21.1%	31.6%	36.8%	100.0%	0.0%	
	Ⅲ-2-8	N1/V (ル/タ) (トイウ) ワケデスネ?	文系のほうの、【資料が出てくるようなサイトとか【ある】んでしょ?】か。 [Ⅲ8 相談うけ 回答提供 278 相]	0	4	2	6	3	15	26.8%	
	Ⅲ-2-9	N1/V (ル/タ) (トイウ) ワケデスネ?	文型別合計に対する割合	0.0%	26.7%	13.3%	40.0%	20.0%	100.0%	0.0%	
	Ⅲ-2-10	N1/V (ル/タ) (トイウ) ワケデスネ?	文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	Ⅲ-2-11	N1/V (ル/タ) (トイウ) ワケデスネ?	文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	Ⅲ-2-12	N1/V (ル/タ) (トイウ) ワケデスネ?	文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	Ⅲ-2-13	N1/V (ル/タ) (トイウ) ワケデスネ?	文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	Ⅲ-2-14	N1/V (ル/タ) (トイウ) ワケデスネ?	文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	Ⅲ-2-15	N1/V (ル/タ) (トイウ) ワケデスネ?	文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%

発注機能	文型No.	文型	文例	相談開始	相談かけの経路		相談うけの経路		相談終了	文型別合計	機能別合計に対する割合
					相談提示	相談の準備	回答提供	回答確認			
発注機能	Ⅲ-5-5	NラVチャイタタ、ハチャイタタクト、ハチャイタタケルトカ。	それでは、コピーのところに「チェック」を「し」ていただい/て、【第9 相談うけ 回答提供 171 回】	0	0	0	1	0	0	1	3.6%
	Ⅲ-5-6	NラVチャイタタケレハ/チャイタタキサイト（6ノト離つ、黒イマスクド）	文型別合計に対する割合 あの、【「Gymnast System」、一般読者の原稿】を【黒ん】でいただければ、【第8 相談うけ 回答提供 253 回】	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	3.6%
	Ⅲ-5-7	2黒イシステム。	文型別合計に対する割合 それじゃあ、お願い、【第7 相談うけ 回答提供 299 回】	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	7.1%
	Ⅲ-5-8	NラVチャイタタタ/モラエマスカ？（ネ）	文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	—
	Ⅲ-5-9	NラVチャイタタ、（ワタサイ）		—	—	—	—	—	—	—	—
	Ⅲ-5-10	NラVチャ、/。		—	—	—	—	—	—	—	—
	Ⅲ-5-11	NラVチャイタイン/ノカサ、ノジャチャイタショウカ、ノジャチャイタスカ？		—	—	—	—	—	—	—	—
	Ⅲ-5-12	NラVチャミマショウカ。		—	—	—	—	—	—	—	—
	Ⅲ-5-13	NラVチャミマショウネー。		—	—	—	—	—	—	—	—
	Ⅲ-5-14	NラVルコト。		—	—	—	—	—	—	—	—
	Ⅲ-5-15	N（6/ニ/ハ）ドウシ。		—	—	—	—	—	—	—	—
	6文型		合計	0	1	3	17	5	2	28	100.0%
			機能別合計に対する割合	0.0%	3.6%	10.7%	60.7%	17.9%	7.1%	100.0%	—
発注機能	*Ⅲ-6-1	Nニマショウ。		—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-7-1	モウ一様オネガイシステム。		—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-7-2	ハツ？		—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-7-3	エツ？		—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-7-4	アツ？		—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-7-5	ハイツ？		—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-7-6	稼エチモラエマス？		—	—	—	—	—	—	—	—
	Ⅲ-7-7	相手の病脈の動き取れた部分まで反復	左側中、【第9 相談うけ 回答提供 202 回】	0	0	0	0	1	0	1	100.0%
	1 文型		合計	0	0	0	0	1	0	1	100.0%
			機能別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	—
発注機能	Ⅳ-1-1	Nハ（ハ）、Vマス/Vマセン、Vチ、Vシ、ハチャイタス。	「Peace Research Abstracts」；の、39巻、ナンバ-3で、え、このページで、え、ね？、に出てますと、いうことが【わかり】ます、【第8 相談うけ 回答提供 142 回】	0	0	0	12	0	0	12	46.2%
	Ⅳ-1-2	Nガリアマス、ノアリマセン。	文型別合計に対する割合 えっと、ここに、【「情報検索」というのが、//あります、【第7 相談うけ 回答提供 44 回】	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	19.2%
	Ⅳ-1-3	Nハノヲ、Vチャイマス。	文型別合計に対する割合 あの、//一つは、うーん、えーっと、重なる部分で【持っ】ています、【第7 相談うけ 回答提供 121 回】	0.0%	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	100.0%	19.2%
	Ⅳ-1-4	Nハ（Vヨウ、Vコト、Nニ/ト、AK、An）ニチャリマス、ノチャリマシラ。	文型別合計に対する割合 で、ファックスで【取り寄せ】になります、【第9 相談うけ 回答提供 180 回】	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%	3.6%
	*Ⅳ-1-5	Nハ、Vタコトガ/モアリマス、ノアリマセン、ノアルマセン？	文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	—
	Ⅳ-1-6	Nハ、Vルコトガチキマス、ノチキマセン、ノアラレマス、ノアラレマセツ、ノ動向の可能性	WINEでも、それから、NACSIS Web Cat、NACSIS Web //Cat、どちらでも所蔵を【確認する】ことができますので、【第7 相談うけ 回答提供 79 回】	0	0	0	3	0	0	3	11.5%
	*Ⅳ-1-7	NガVチキマス、ノVチキマスヨネ？	文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	—
	5 文型		合計	0	3	2	21	0	0	26	100.0%
			機能別合計に対する割合	0.0%	11.5%	7.7%	80.8%	0.0%	0.0%	100.0%	—

発注機能	文型No.	文型	文例	相診開始	相診かけの経段		相診うけの経段		相診終了	文型別合計に対する割合	機能別合計に対する割合
					相診提示	相診の準備	回答提供	回答確認			
						割合					
IV-2《基幹説明》	1	N1/A、N2/デス。									
	IV-2-		うーんとですね。【戸山キヤンパ、戸山御禮殿、3/8巻第の1】ですね。【真9 相懸うけ 回書巻第 50 回】	0	1	2	23	2	0	28	12.4%
	2	N/A、{A1/A/n/V/ナイ} {デス/デスネー、デシタネー、/デス ヨネー、}	文型別合計に対する割合	0.0%	3.6%	7.1%	82.1%	7.1%	0.0%	100.0%	
	3	N/A、{V/L/V/タ/A1/A/n/N1} {マス/デス} し、/ネ、/	【だいじょ】ですね。【真7 相懸うけ 回書巻第 39 回】	0	0	0	3	1	0	4	1.8%
	IV-2-		文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%	100.0%	
	4	N/A、{V/L/V/タ/A1/A/n/N1} {マス/デス} し、/ネ、/	【これ】は、やはり【持っている】んですな、早稲田で。【真7 相懸うけ 回書巻第 223 回】	0	10	7	35	2	0	54	23.9%
	IV-2-		文型別合計に対する割合	0.0%	18.5%	13.0%	64.5%	3.7%	0.0%	100.0%	
	5	N/A、{V/A1/A/n/N1} カモシレマゼン し、/ネー、}	あれ、【にーれ】はですね、何か、今日はちょっと【不真似な】ようです。【真7 相懸うけ 回書巻第 255 回】	0	0	0	3	0	0	3	1.3%
	IV-2-		文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	6	N/A、{V/A1/A/n/N1} トウコト【デショウ(ホ)】/デス	密太、あつ、密太止めほろが【いれ】かもしれない、【真7 相懸うけ 回書巻 255 回】	0	0	0	2	0	0	2	0.9%
	IV-2-		文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	7	N1/A、{N2/A/n} シャナイ【デショウカ(ネー)、/デスカ?/ カダラ、}	あつ、そして、えっと、【これ】は、じゅあ、また、【勝がが勝った?/たろ で、】と聞かれます。【真7 相懸うけ 巻第 311 回】	0	2	0	0	0	0	2	0.9%
	IV-2-		文型別合計に対する割合	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	8	N/A、{V/A1/A/n/N/タ} ト馬【イマス、/ワンデス、/チルン デスヨー、/ツチ、}	これら巻載、【ゆいてる】んじゃないでしょうか。【真8 相懸うけ 回書巻第 328 回】	0	0	0	1	0	0	1	0.4%
	IV-2-		文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	9	N/A、{V/A1/A/n/N/タ} ト馬【イマス、/ワンデス、/チルン デスヨー、/ツチ、}	で、【園内預けのもの】は、運送のものか、裏附つきでは、裏附としては【落はない //と聞かれます。【真8 相懸うけ 回書巻第 297 回】	0	0	2	24	6	0	32	14.2%
	IV-2-		文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	6.9%	75.0%	18.8%	0.0%	100.0%	
	10	N/A、{V/A1/A/n/N/タ} ト馬【イマス、/ワンデス、/チルン デスヨー、/ツチ、}	あつ、【勝がが、あつ、左石前後して【し】ちゃんですけれども、【真8 相懸うけ 回書巻第 196 回】	0	0	0	1	0	0	1	0.4%
	IV-2-		文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	11	V【マシタ、/マゼン、/マスネ、}	あつ、【助かり】です。【真7 相懸うけ 回書巻第 323 回】	0	1	1	14	1	0	17	7.5%
	IV-2-		文型別合計に対する割合	0.0%	5.9%	5.9%	82.4%	5.9%	0.0%	100.0%	
	12	N/A、V1【タリ/トカ/ノシ、V2【タリ/トカ/ノシ】【シチ、/シ マス/スルノネ?】		—	—	—	—	—	—	—	—
	IV-2-		文型別合計に対する割合	0	2	8	29	2	0	41	18.1%
	13	N/A、V1【カラ、タメニ、ノヂ】(V2)。	で、あつと、巻第/巻、の/かた、タイトル/が【わかっ/てます】ので、これだけで、 もう、取り替えることもできます。【真7 相懸うけ 巻第 138 回】	0	2	8	29	2	0	41	18.1%
	IV-2-		文型別合計に対する割合	0.0%	4.9%	19.6%	70.7%	4.9%	0.0%	100.0%	
	14	N/A、V1【(ウ)ケド/ガ/ノニ、】(V2)。	ここに、所載の、ちょっと【わかりにくい】んですけれども、【真7 相懸うけ 回書巻第 228 回】	0	4	10	2	0	0	16	7.1%
	IV-2-		文型別合計に対する割合	0.0%	25.0%	62.5%	12.5%	0.0%	0.0%	100.0%	
	15	N/A、V【ケダ/ハ/ナケレバ/ナクチャ】ナリマゼン。		—	—	—	—	—	—	—	—
	IV-2-		文型別合計に対する割合	—	—	—	—	—	—	—	—
	16	N1/A、N2/N3【バ/ハ】アリマス。		—	—	—	—	—	—	—	—
	IV-2-		文型別合計に対する割合	—	—	—	—	—	—	—	—
	17	N/A、V【タインデス(ヨネ)、/ネ、		—	—	—	—	—	—	—	—
	IV-2-		文型別合計に対する割合	—	—	—	—	—	—	—	—
	18	N/A、V【タイタンデショウ、		—	—	—	—	—	—	—	—
	IV-2-		文型別合計に対する割合	—	—	—	—	—	—	—	—
	19	N/A、{V/L/V/タ/A1/A/n/N1} ワカ【デス、/ナンデス、}		—	—	—	—	—	—	—	—
	IV-2-		文型別合計に対する割合	—	—	—	—	—	—	—	—
	20	N1/A、{V1/A1/A/n/N1} {ヨダ/アワニ} N2【ガ/モ】V2マ		—	—	—	—	—	—	—	—
	IV-2-		文型別合計に対する割合	—	—	—	—	—	—	—	—
	21	N/A、V【コトハアリマゼン(ヨ)。		—	—	—	—	—	—	—	—
	IV-2-		文型別合計に対する割合	—	—	—	—	—	—	—	—
	22	N/A、V【タイマス、/マス、}		—	—	—	—	—	—	—	—
	IV-2-		文型別合計に対する割合	—	—	—	—	—	—	—	—
	23	N/A、V【(モ)【タラ/ト/ハ/N2/モ】イ【ト馬イマス/カモ カリマゼン、/ツチヤイデショウ(カ)】		—	—	—	—	—	—	—	—
	IV-2-		文型別合計に対する割合	0	2	2	21	0	0	25	11.1%
	24	N/A、V1【ル/グイ、】(ト/ハ/ワタ)【A1/タ/N2/A/nニ】V 2マ。	【(モ)】、【勝ましてみろ】と、えーっと、全部で【27件】ですね。【真8 相懸 うけ 回書巻第 129 回】	0	2	2	21	0	0	25	11.1%
	IV-2-		文型別合計に対する割合	0.0%	8.0%	8.0%	84.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	25	N/A、V【ル【ベキダ/ハズタ】ト馬イマス、		—	—	—	—	—	—	—	—
	IV-2-		文型別合計に対する割合	—	—	—	—	—	—	—	—
	26	N/A、V【チイルノデショウカ、		—	—	—	—	—	—	—	—
	IV-2-		文型別合計に対する割合	—	—	—	—	—	—	—	—
	27	NEA【クナリマスネー、		—	—	—	—	—	—	—	—
	IV-2-		文型別合計に対する割合	—	—	—	—	—	—	—	—
	13文型		合計	0	22	32	158	14	0	226	100.0%
			機能別合計に対する割合	0.0%	9.7%	14.2%	69.5%	6.2%	0.0%	100.0%	

医療相談や心理相談に比べ、Ⅲ-5-1「NヲVテクダサイ（ネ）。」、Ⅲ-5-2「NヲVテミテクダサイ。」、Ⅲ-5-3「NヲVテミテクレマスカ？／Vテミテイタダケマスカ？」といった機能文型が見られ、さほど婉曲的な表現ではないように思われる。これは、相談の談話の内容の違いによるものである。

「Ⅳ．提供」は、Ⅳ-1〈事実報告〉が5種、Ⅳ-2〈意見説明〉が13種、Ⅳ-3〈感情表出〉は1種のみであり、Ⅳ-4〈意志表示〉は4種である。〈意見説明〉は、心理相談に見られたような「～という可能性があります。」「～困っています。」等、感情を説明するような例は見当たらなかった。

図書館レファレンスの談話は、本研究では、3資料のみであり、すべて、文献検索の方法を相談するものであったが、今後さらに多くの資料を収集し、文型の考察をさらに深める必要がある。

第7章 機能文型による相談の自然談話の談話型

7. 1 日本語の相談の談話の構造分析

第4章のラジオの医療相談番組、第5章の心理相談番組の各1回分の「談話」には、異なる相談者による「Ⅱ-1. 電話相談の談話」が認定された。医療相談には15件、心理相談には9件の「電話相談の談話」が見られた。

ラジオの医療相談と心理相談の電話相談の談話、図書館レファレンスの談話には、「A. 相談開始の話段」「B. 相談かけの話段」「C. 相談うけの話段」「D. 相談終了の話段」の4種の話段が認められた。

このうち、相談者が相談をかける「B. 相談かけの話段」、それに対して、回答者が相談をうける「C. 相談うけの話段」は、相談の談話における重要かつ基本的な2話段である。

「B. 相談かけの話段」と「C. 相談うけの話段」は、「A. 相談開始の話段」、「D. 相談終了の話段」に対して、「相談展開の大話段」という一段階上の大話段として括る可能性があることから、相談の談話にも多重構造が認められることが観察された。

ラジオの医療相談および心理相談の電話相談の談話、図書館レファレンスの談話における「B. 相談かけの話段」と「C. 相談うけの話段」は、相談者と回答者の目的の違いや発話機能により、各2小話段が認められた。「B. 相談かけの話段」は、「B-1. 相談提示の小話段」と「B-2. 相談内容確認の小話段」に、「C. 相談うけの話段」は、「C-1. 回答提供の小話段」と「C-2. 回答確認の小話段」にそれぞれ分けられる。

医療相談の談話資料全15件の「電話相談の談話」の全てに見られる話段、小話段は、以下の4話段と3小話段である。

A. 相談開始の話段

B. 相談かけの話段

B-1. 相談提示の小話段

B-2. 相談内容確認の小話段

C. 相談うけの話段

C-1. 回答提供の小話段

D. 終了の挨拶の話段

「C. 相談うけの話段」の「C-2. 回答確認の小話段」は、医療相談の談話資料全15件

中、【資料1－3】、【資料1－4】、【資料2－1】、【資料2－6】の4件には見られなかった。これらの相談の談話の相談者は、回答が得られた時点でその内容を納得し、「C-1. 回答提供の小話段」の後に、直ちに「D. 相談終了の話段」へと展開し、電話相談を終えることによるものであった。

最も複雑な構造の電話相談は、医療相談の【資料2－4】である。「C. 相談うけの話段」に「C-1. 回答提供の小話段」が7回、「C-2. 回答確認の小話段」が6回反復されていた。「C-1. 回答提供の小話段」で、一度回答をうけた相談者が、次の「C-2. 回答確認の小話段」で回答の内容を確認し、それに対して、再度、回答者が「C-1. 回答提供の小話段」で回答するものである。

心理相談全9件の「Ⅱ-1. 電話相談の大話段」のうち、全てに見られた話段と小話段は、医療相談同様、以下の4話段と3小話段である。

- A. 相談開始の話段
- B. 相談かけの話段
 - B-1. 相談提示の話段
 - B-2. 相談内容確認の小話段
- C. 相談うけの話段
 - C-1. 回答提供の小話段
- D. 終了の挨拶の話段

「C. 相談うけの話段」の「C-2. 回答確認の小話段」は9件中8件の電話相談の談話には見られたが、【資料4－1】のみ見られなかった。これは、相談者が回答を得た時点でそれを納得し、直ちに「D. 相談終了の話段」で挨拶を交わし、電話相談を終えることによるものであった。

図書館レファレンスの談話の3種の談話も、ラジオ番組の医療相談や心理相談の談話と同様、「A. 相談開始の話段」、「B. 相談かけの話段」の「B-1. 相談提示の話段」、「B-2. 相談内容確認の小話段」、「C. 相談うけの話段」の「C-1. 回答提供の小話段」、そして「D. 相談終了の話段」が認められる。「C. 相談うけの話段」の「C-2. 回答確認の小話段」は、【資料7】には見られなかった。

図書館レファレンスの談話には、「B. 相談かけの話段」の「B-1. 相談提示の小話段」が反復するという特徴がある。これは、相談者が図書館の司書である回答者に、複数の相談をし、それらを個々に解決していくという談話展開によるものである。

「B-1. 相談提示の小話段」は、【資料7】に2回、【資料8】に3回、【資料9】に5回反復している。いずれも「B-1. 相談提示の話段」の後には「B-2. 相談内容確認の小話段」、
「C. 相談うけの話段」の「C-1. 回答提供の小話段」が続き、さらにその後「C-2. 回答確認の小話段」が続くこともある。

7. 2 日本語の相談の談話における「要求」系と「提供」系の機能文型

第4章【表4-7】で医療相談の談話、第5章【表5-7】で心理相談の談話、第6章【表6-4】で図書館レファレンスの談話の「要求」系、「提供」系の機能文型を挙げた。

本節では、上記の相談の談話における「要求」系と「提供」系を中心とした機能文型を、以下の2点を中心に考察する。

1. 相談の談話の「要求」系と「提供」系の機能文型の種類
2. 相談の談話の話段と小話段における「要求」系と「提供」系の機能文型

1の相談の談話の「要求」系と「提供」系の機能文型の種類を分析することにより、医療相談や心理相談とは質を異にする図書館レファレンスの談話との相違点を探ることにより、多種の相談の談話に耐えうる相談の談話型の提示ができるのではないかと考えられる。

2の相談の談話の話段と小話段における「要求」系と「提供」系の機能文型の相違点は、本研究で認められた「A. 相談開始の話段」、「B. 相談かけの話段」の中の「B-1. 相談提供の小話段」、「B-2. 相談内容確認の小話段」、「C. 相談うけの話段」の中の「C-1. 回答提供の小話段」、「C-2. 回答確認の小話段」、「D. 相談終了の話段」という4類6種の話段と小話段において、「要求」系と「提供」系の機能文型の相違点を相談の談話間で比較するものである。相談の談話型を機能文型に基づいて解明し、日本語の会話および聴解教育に応用する。

7. 2. 1 相談の談話の「要求」系と「提供」系の機能文型の種類

【表7-1】は、「本研究の相談の談話における「要求」系と「提供」系の機能文型」の表である。

【表 7-1】本研究の相談の談話における「要求」系と「提供」系の機能文型

要求系	文型No.		機能文型	a. 医療 相談	b. 心理 相談	c. 図書館 レファレン ス	該当 話数
	Ⅲ-1-	1					
Ⅲ-1 〈確認要求〉	Ⅲ-1-	1	NハV{ル/タ} (トイウ) ワケデスネ?	●	●	●	3
	Ⅲ-1-	2	Nガ {V/A i i/A n} トイコトデスカ {。/?/ネ?}	●	●	●	3
	Ⅲ-1-	3	N1ハV {0ル/タ} /Ai/An/N2} ンデス {ネ?/ヨネ?}	●	●	●	3
	Ⅲ-1-	4	N1 {ガ/ハ} {Anナ/A i /N2} デス {ネ?ヨネ?}	●	●	●	3
	Ⅲ-1-	5	Nハ {V/A i /An/} タコトモナイ。 (デスネ?)	●	●	—	2
	Ⅲ-1-	6	N {ハ/ガ} V {マス/マシタ} ネ?/ヨネ?	●	●	●	3
	Ⅲ-1-	7	(φハ) デスヨネー。/ネエ。/ネ?/ソウデスネ?	●	●	—	2
	Ⅲ-1-	8	N1ハ {V/An/Ai/N2} ンジャナイデスカ?	—	●	—	1
	Ⅲ-1-	9	(N1ハ) N2デス {カ/ネ}。	●	●	●	3
	Ⅲ-1-	10	NハV {ル/タ} デショウ?	●	●	—	2
	Ⅲ-1-	11	NハVマスデショウカ。	—	●	—	1
	Ⅲ-1-	12	NハVデスカネ。	—	●	—	1
	Ⅲ-1-	13	NハVルミタイヨネ?	—	●	—	1
	Ⅲ-1-	14	NヲV {タラ/デモ/タホウガ} イイン {デスネ?/デショ?}・N1ハ N2デタイデショウカ。	●	●	—	2
	Ⅲ-1-	15	NハV {ル/タ} ンデショウカ。	●	●	—	2

	文型No.		機能文型	a. 医療 相談	b. 心理 相談	c. 図書 レファレン ス	該当 話数
	Ⅲ-1-	16					
Ⅲ-2〈判定要求〉	16種		N/A i デスカ?	●	—	●	2
	16種		合計文型数	12	15	7	—
	Ⅲ-2-	1	N/V {マ/マシタ} カ?	●	●	●	3
	Ⅲ-2-	2	N1/A {N2/A i /A n} デスカ。	●	●	●	3
	Ⅲ-2-	3	N/V デスカ。・N1/A {A n /N2} ナノデショウカ。	●	●	●	3
	Ⅲ-2-	4	N/A アリマス {カ/ネ} ?	●	●	—	2
	Ⅲ-2-	5	N/V {ル/タ} ワケデスカ。	●	●	—	2
	Ⅲ-2-	6	N/V デスカ?	●	—	—	1
	Ⅲ-2-	7	N/V タコト (ガ) アリマスカ?	●	—	●	2
	Ⅲ-2-	8	N/V ルヨウデスカ。	—	●	—	1
	Ⅲ-2-	9	(φ/A) V テ (モ) イイデスカ?	●	—	—	1
	9種		合計文型数	8	6	4	—
Ⅲ-3〈選択要求〉	Ⅲ-3-	1	N1/A {V/A i /A n /N2} デスカ? (ソレトモ/アルイハ/φ) N3 デスカ?	●	●	●	3
	1種		合計文型数	1	1	1	—
Ⅲ-4〈説明要求〉	Ⅲ-4-	1	何か (Vタコト/A) アリマスカ? /アリマセンカ?	●	●	—	2

文型No.		機能文型	a. 医療 相談	b. 心理 相談	c. 図書 レファレン ス	該当 話数
Ⅲ-4-	2	Nハ {ナンカ/何ニ/イクツカラ/イツ/ドウ/ドンナN2ヲ} V {マス カ?/マシタカ?/テマスカ?/テマシタカ?}	●	●	●	3
Ⅲ-4-	3	N {ハ/トイウノハ}, {ドウ/イツ/ナン/ドツチ/イクツ/ドコ/ドウ イウコト/ドンナコト/ドンクライ/何年生/何本/何時ゴロ/何号} {デスカ?/デス?/デシタカ?/ナンデシヨウ}。	●	●	●	3
Ⅲ-4-	4	{ドウ/イカガ} デシヨウ {カ/カネ。}	●	●	—	2
Ⅲ-4-	5	Nハ, {ドウ/ドンナフウニ/何回/何種類/ドノ程度} Vテマスカ?	●	●	—	2
Ⅲ-4-	6	何ヲVテホシインデスカ?	—	●	—	1
Ⅲ-4-	7	ドンナ (ドノヨウナ, ドウイウ) Nデスカ?/Nデシタカ?/Nデシヨ ウカ。	—	●	—	2
Ⅲ-4-	8	ドンナNガV{デスカ?/Vノデシヨウカ?/Vテマスカ?}	●	●	—	2
Ⅲ-4-	9	ドノアタリガVマスカ?	●	—	—	1
Ⅲ-4-	10	ドナタノNデシヨウカ。	—	●	—	1
Ⅲ-4-	11	{ドウ/ドンクライデ/何科ニ/} V {ルンデスカ?/タンデスカ?/タ インデスカ?}	—	●	—	1
Ⅲ-4-	12	ドウ (イウフウニ/ヤツテ) V {タラ/バ} (イイデシヨウカ。 。	—	●	●	2
Ⅲ-4-	13	N1ガVルノハ, ドウシデスカ?	—	●	—	1
13種		合計文型数	7	12	3	—

文型No.		機能文型	a. 医療 相談	b. 心理 相談	c. 図書 レファレン ス	該当 話数
Ⅲ-5<単独行為要 求>	Ⅲ-5-1	Nヲ {Vテ/V} クダサイ (ネ)。	●	●	●	3
	Ⅲ-5-2	NヲVテミテクダサイ。	●	●	●	3
	Ⅲ-5-3	NヲVテミテクシマスカ?/Vテミタイタダケマスカ?	●	●	●	3
	Ⅲ-5-4	NヲV {テハ/タラ/テミタラ} {ドウ/イカガ} テショウカ (ネ)。	●	●	—	2
	Ⅲ-5-5	NヲVタイタダイテ。/Vタイタダクト。/Vタイタダケルトカ。	●	●	●	3
	Ⅲ-5-6	NヲVタイタダケレハ/Vタイタダキタイト (Φ/ト罷ウ、罷イマスケド)	●	●	●	3
	Ⅲ-5-7	才願イシマス。	●	●	●	3
	Ⅲ-5-8	NヲVタイタダケ/モラエマスカ? (ネ)	—	●	—	1
	Ⅲ-5-9	NヲVテアゲテ。 (クダサイ)	—	●	—	1
	Ⅲ-5-10	NヲVテ, /。	—	●	—	1
	Ⅲ-5-11	NヲVタライイン/ノカナト。/ジャナイテショウカ。/ジャナイデスカ?	—	●	—	1
	Ⅲ-5-12	NヲVテミマショウカ。	—	●	—	1
	Ⅲ-5-13	NヲVテミマショウネー。	—	●	—	1
	Ⅲ-5-14	NヲVルコト。	—	●	—	1

	文型No.		機能文型	a. 医療 相談	b. 心理 相談	c. 図書 レファレン ス	該当 話数
	Ⅲ-5-	15					
Ⅲ-6 〈共同行為要 求〉	15種			—	—	—	0
			合計文型数	7	14	6	—
	Ⅲ-6-	1	NニVマシヨウ。	●	●	—	2
	1種		合計文型数	1	1		—
	Ⅲ-7-	1	モウ一度オネガイシマス。	●	—	—	1
	Ⅲ-7-	2	ハッ?	●	●	—	2
	Ⅲ-7-	3	エッ?	●	—	—	1
	Ⅲ-7-	4	アッ?	●	—	—	1
	Ⅲ-7-	5	ハイッ?	●	—	—	1
	Ⅲ-7-	6	教エテモラエマス?	●	—	—	1
Ⅲ-7 〈言い直し要求〉	Ⅲ-7-	7	相手の発話の聞き取れた部分まで反復	●	●	●	3
	7種		合計文型数	7	2	1	—
Ⅳ-1 〈事実報告〉	Ⅳ-1-	1	Nハ (ノハ), Vマス/Vマセン。Vテ, Vシ, ノVナイデス。	●	●	●	3
	Ⅳ-1-	2	Nガアリマス。ノアリマセン。	●	●	●	3
	Ⅳ-1-	3	Nハノヲ, Vテイマス。	●	●	●	3
提 供 系							

文型No.		機能文型	a. 医療 相談	b. 心理 相談	c. 図書 レファレン ス	該当 話数
IV-2	IV-1-	4	N/A (Vヨウ, Vコト, Nニ/ト, Ai<, An) ニナリマス。/ナリマシ タ。	●	●	3
	IV-1-	5	N/A, Vタコトガ/モアリマス。/アリマセン。/アルノネ?	●	—	2
	IV-1-	6	N/A, ヴルコトガデキマス。/デキマセン。/Vラレマス。/Vラレマ セン。/動詞の可能形	●	●	3
	IV-1-	7	Nガ/デキマス。/Vデキマスヨネ?	●	—	2
	7種		合計文型数	7	5	—
	IV-2-	1	N1/A, N2デス。	●	●	3
	IV-2-	2	N/A, {A i / An / V ナイ} {デス/デスネー。デシタネー。/デス ヨネー。}	●	●	3
	IV-2-	3	N/A, {V/L/Vタ/A i / An/N} ン {マス/デス} {。/ネ。/デ スネ。}	●	●	3
	IV-2-	4	N/A, {V/A i / An / Nノ} {ヨウ/ラシイ/ミタイ/ソウ} デ ス。	●	●	3
	IV-2-	5	N/A, {V/A i / An / N} カモシレマセン {。/ネー。}	●	●	3
IV-2	IV-2-	6	N/A, {V/A i / An / N} トイウコト {デショウ (ネ) /デス ネ。}	●	●	3
	IV-2-	7	N1/A, {N2 / An} シャナイ {デショウカ (ネー)。/デスカ? /カ シラ。}	—	●	2
	IV-2-	8	N/A, {V/A i / An / Nダ} ト思 {イマス。/ウンデス。/テルン デスヨー。/ッテ。}	●	●	3
	IV-2-	9	N/A, Vタボウガイイ {ト思イマス。/デショウ。/ンジャナイデショ ウカ。/ンジャナイカト思イマス。}	●	—	2
	IV-2-	10	N/A, Vデ {シマイマス。/シマウンデス。/キチャイマス。デキチャウ (ンデス)。}	●	●	3

IV-2 <意見説明>

文型No.		機能文型	a. 医療 相談	b. 心理 相談	c. 図書 レファレン ス	該当 話数
IV-2-	11	V {マシタ。/マセン。/マスネ。}	●	●	●	3
IV-2-	12	N/A, V1タリ, V2タリ {シテ, /シマス/スル/ネ?}	●	●	—	2
IV-2-	13	N/A, V1 {カラ, タメニ, ノデ} (V2)。	●	●	●	3
IV-2-	14	N/A, V1 { (ン) ケド/ガ/ノニ, } (V2)。	●	●	●	3
IV-2-	15	N/A, V{サクテハ/ナケレバ/ナクチャ} ナリマセン。	●	—	—	1
IV-2-	16	N1/A, N2/N3 {ガ/ハ} アリマス。	●	●	—	2
IV-2-	17	N/A, Vタインデス (ヨネ)。/ネ。	—	●	—	1
IV-2-	18	N/A, Vテイタンデショウ。	—	●	—	1
IV-2-	19	N/A, {Vル/Vタ/A i/A n} ワケ {デス。/ナンデス。}	●	●	—	2
IV-2-	20	N1/A, {V1/A i/A n} (ヨウナ/フウニ) N2 {ガ/モ} V2マ ス。	●	●	—	2
IV-2-	21	Vルコトハアリマセン (ヨ)。	—	●	—	1
IV-2-	22	N/A, V {テイマス。/マス。}	—	●	—	1
IV-2-	23	N/A, V {テ (モ) /タラ/ト/バ/N2デモ} イイ {ト思イマス/カ モワカリマセン。/ンジャナイデショウカ。}	●	●	—	2
IV-2-	24	N/A, V1 {ル/ナイ} {ト/バ/タラ} {A i/ク/Nニ/A nニ} V2 マス。	●	—	●	2
IV-2-	25	N/A, Vル {ベキダ/ハズダ} ト思イマス。	●	●	—	2

	文型No.		機能文型	a. 医療 相談	b. 心理 相談	c. 図書 レファレン ス	該当 話数
IV-3 <感情表 出>	IV-2-	26	Nハ、Vテイルノデショウカ。	●	●	－	2
	IV-2-	27	Nモアイクナリマスネー。	－	●	－	1
	27種		合計文型数	21	25	13	－
	IV-3-	1	N {ガ/デ/モ} Ai / Anデス。N1ガN2デス。	●	●	●	3
	IV-3-	2	Nハ、Vル必要 {ガ/ハ} アリマ {ス。/セン。}	●	●	－	2
	IV-3-	3	Nハ、Vナイトイケナイ {ンデス。/ワケデス。}	●	－	－	1
	IV-3-	4	Nハ、Vデモショウガナインデス (ネ)。	●	－	－	1
	4種		合計文型数	4	2	1	－
	IV-4-	1	NハVマス。	－	●	●	2
	IV-4-	2	N1ハ、N2ヲVヨウニシテイマス。	●	－	－	1
IV-4 <意志表明>	IV-4-	3	NハVタワケデスガ。	●	－	－	1
	IV-4-	4	NハVマスゲドネ?	●	－	－	1
	IV-4-	5	NヲVタイト思イマシテ。/思ウノデスガ。	●	●	－	2
	IV-4-	6	N1ハ、N2ヲVテ {ミマス。/ミタイト思イマス。}	－	●	●	2
	IV-4-	7	N1ハ、N2ヲVル氣ハアリマセン。	－	●	－	1
	IV-4-	8	Vタイト {。トコロナンデスガ。}	－	●	●	2

		文型No.	機能文型	a. 医療 相談	b. 心理 相談	c. 図書 レファレン ス	該当談 話数
		IV-4-	9	Vタイプデスクレドモ。	●	●	2
		9種			4	6	4
			109種	合計文型数	79	92	45
「要求系」と「提供系」の 総文型数				総計			

注 発話機能の要求系のうち、Ⅲ-1〈確認要求〉16文型、Ⅲ-2〈判定要求〉9文型、Ⅲ-3〈選択要求〉1文型、Ⅲ-4〈説明要求〉13文型、Ⅲ-5〈単独行為要求〉15文型、Ⅲ-6〈言い直し要求〉7文型の5種、提供系のⅣ-1〈事実報告〉7文型、Ⅳ-2〈意見説明〉27文型、Ⅳ-3〈感情表出〉4文型、Ⅳ-4〈意志表明〉9文型の4種、総計109文型について、3種の談話に見られる文型を●で示した。3種の談話における各機能の合計文型は、「合計文型数」に、表下段の「総計文型数」は、3種の談話において見られた文型数の合計を示した。表右欄の「該当談話数」は、各文型が見られた談話の合計を示したものである。

【表 7-1】によると、相談の談話の「要求」系のⅢ-1〈確認要求〉、Ⅲ-2〈判定要求〉、Ⅲ-3〈選択要求〉、Ⅲ-4〈説明要求〉、Ⅲ-5〈単独行為要求〉、Ⅲ-6〈共同行為要求〉、Ⅲ-7〈言い直し要求〉という 7 種に見られた文型は全 62 種、「提供」系のⅢ-1〈事実報告〉、Ⅲ-2〈意見説明〉、Ⅲ-3〈感情表出〉、Ⅲ-4〈意志表明〉に見られた文型は全 47 種で、全体として 109 種の機能文型が見られた。

109 種の機能文型のうち、医療相談の談話には 79 種、心理相談の談話には 92 種、図書館レファレンスの談話には 45 種の機能文型が見られた。

図書館レファレンスの談話は、発話数も少ないこと、文献の検索方法や入手方法を相談するという相談の質の違いから、医療相談や心理相談よりも文型数が少ないといえる。

本研究の医療相談、心理相談、図書館レファレンスの相談の談話全てに共通して見られた「要求」系と「提供」系の文型をそれぞれ例を挙げて述べる。

(1) 相談の自然談話全てに共通する「要求」系と「提供」系の機能文型

(文型数／発話機能別総文型数)

A. 「要求」系の機能文型 (19 文型／全 62 文型)

Ⅲ-1 〈確認要求〉 6 文型／16 文型

Ⅲ-1 〈確認要求〉の 16 種の機能文型のうち、3 種の談話に共通して見られたのは、以下の 6 文型である。

1. Ⅲ-1-1 NハV{ル／タ}(トイウ)ワケデスネ?／カ?

(例 7-1) あの一、慢性間質性肺炎であると、あの一【言われた】わけですねー? [資 2-2 相談かけ 相確 611 回]²³⁾

(例 7-2) 【お宅】では、ずっと家には【いらっしゃる】わけですね?お嬢さんは。[資 6-2 相談 紹介 1064 司]

(例 7-3) 早稲田のほうで【検索する】わけですか? [資 8 相談うけ 回答提供 149 相]

「Ⅲ-1-1 NハV{ル／タ}(トイウ)ワケデスネ?／カ?」は、(例 7-1)、(例 7-2)の医療相談や心理相談の談話のように、ラジオ番組の司会者や回答者が相談者の相談内容に対して確認をする場合と、(例 7-3)のように、相談者が回答者の回答に対してすぐに確認する場合がある。終助詞が「ネ?」でも「カ?」でも、「ワケ」が付随していることにより、相手に「確認する」という機能を持つ。

2. Ⅲ-1-2 Nガ{V／A i イ／A n} トイウコトデスカ {。／?／ネ?}

(例7-4) 【それ】が、【重要だ】ということですか。[資1-2 相談うけ 回確 572 相]

(例7-5) そうすと、大体日は、おばあちゃんと一緒に過ごされているということですかね？ [資4-1 相談 紹介 461 司]

(例7-6) じゃ、それで、ここで【受け取ること】が【できる】っていう//ことですか？
[資9 相談うけ 回答確認 123 相]

「Ⅲ-1-2 Nガ {V/A i イ/A n} トイウコトデスカ {。/?/ネ?}」は、相談者、ラジオ番組の司会者、回答者が用いているが、自分が理解した内容を「ということ」で引用している。「カ?/。」「ネ?」の終助詞を伴う。

3. Ⅲ-1-3 N1ハV {(ル/タ) /A i /A n/N2} ンデス {ネ?/ヨネ?}

(例7-7) 2年一半前から、えー非常にこう、今のような症状が【出てきた】んですよね？[資1-1 相談かけ 相確 45 回]

(例7-8) だけど、実際には、【難しい】んですよね？[資5-2 相談うけ 相確 1567 回]

(例7-9) 【必要なの】は【2号な】んですよね？ [資7 相談うけ 回答提供 237 回]

「Ⅲ-1-3 N1ハV {(ル/タ) /A i /A n/N2} ンデス {ネ?/ヨネ?}」も「Ⅲ-1-2 Nガ {V/A i イ/A n} トイウコトデスカ {。/?/ネ?}」と同様、自分なりに理解したことを相手に確認する文型である。

4. Ⅲ-1-4 N1 {ガ/ハ} {A nナ/A i /N2} デス {ネ?ヨネ?}

(例7-10) あの一、勿論、【タバコ】は吸っていらっしゃら//ないですねー？ [資2-4 相談かけ 相確 1189 回]

(例7-11) 学校で、授業をボイコットしてるっていう話ですよね？ [資5-1 相談うけ 回答提供 665 回]

(例7-12) さっきと【同じ】ですね？ [資7 相談うけ 回答提供 256 相]

Ⅲ-1-4 N1 {ガ/ハ} {A nナ/A i /N2} デス {ネ?ヨネ?} は、上昇イントネーションを伴った終助詞「ネ」、「ヨネ」が付随する。

5. Ⅲ-1-6 N {ハ/ガ} V {マス/マシタ} ネ?/ヨネ?

(例7-13) つまりー、今1リッター、1分間に吸ってい//らっしゃると【おっしゃいました】よねー。 [資2-3 相談うけ 回答提供 1052 回]

(例7-14) 【親子関係】が【こじれます】よね？ [資5-1 相談うけ 相確 630 回]

(例7-15) で、えーっと、「論文記事を探す」のところに、【外国の】が【あり】ますよね？ [資8 相談うけ 回答提供 48 回]

「Ⅲ-1-6 N {ハ／ガ} V {マス／マシタ} ネ？／ヨネ？」も「Ⅲ-1-4 N1 {ガ／ハ} {A nナ/A i／N2} デス {ネ？ヨネ？}」と同様、「ネ」「ヨネ」が上昇イントネーションを伴って現れている。回答者が相談者に確認しながら相談の談話を進めるときに用いられる。

6. Ⅲ-1-9 (N1ハ) N2デス {カ／ネ}。

(例7-16) 【クラリシスト錠】ですか？ [資2-1 相談受け 回答提供 479 相]

(例7-17) あっ、【わたくしが】ですか。 [資5-2 相談うけ 回答提供 1732 相]

(例7-18) 【2時間ぐらい】ですか。 [資9 相談うけ 回答確認 205 相]

「Ⅲ-1-9 (N1ハ) N2デス {カ／ネ}。」のうち、例に挙げたように、終助詞が「カ？」で終わる場合、Ⅲ-1〈判定要求〉のⅢ-2-2「N1ハ {N2／A i／A n} デスカ。」との見分けかたとしては、前の他の参加者の発話に対する確認であると認められる場合は〈確認要求〉になるということである。

(例7-19)

1731 回 あの、少しご自分のことを、何か始められるといいかもしれませんね、お母さんが。

1732 相 あっ、わたくしがですか。

1733 回 そう。

(例7-17)で挙げた「あっ、わたくしがですか。」は、(例7-19)の1731回の発話に対して、相談者が1732で気づきの〈自己注目表示〉の「あっ、」とともに、「わたしが(何か自分のことを始めるんですか？)」と回答者に確認しているものであるため、〈確認要求〉の発話になる。

次に挙げる「Ⅲ-1-16 NハA i デスカ？」も、Ⅲ-2〈判定要求〉のⅢ-2-2「N1ハ {N2／A i／A n} デスカ。」と文型としては同じ形式であるが、他の参加者の発話に対して確認する場合は、〈確認要求〉の機能文型に分類される。

(例7-20) 【低かった】ですか。 [資3-5 相談かけ 相確 2014 回]

(例7-21) 【いい】です//か？、それで。 [資7 相談うけ 回答確認 375 回]

Ⅲ-2〈判定要求〉3文型／9文型

Ⅲ-2〈判定要求〉の9種の機能文型のうち、3種の談話に共通して見られたのは、以下の3文型である。

7. Ⅲ-2-1 NハV {マス／マシタ} カ？

(例 7-22) 寝る前には、【お茶や何か】、かなり【召し上がり】ますか? [資 1-3 相談かけ 相確 663 回]

(例 7-23) それで、あと、あの、学校の【保健室なんか】は、【使い】ましたか? [資 4-1 相談かけ 相確 565 回]

(例 7-24) 【地下鉄の早稲田駅】は【わかり】//ますか? [資 9 相談うけ 回答提供 68 回]

8. Ⅲ-2-2 N1ハ {N2/Ai/An} デスカ。

(例 7-25) で、【鼻】は【悪い】ですか? [資 2-6 相談かけ 相確 1644 回]

(例 7-26) それって、ほんとの意味でわかってくれるようになるのに、少しまだ時間が必要? [資 5-3 相談かけ 相確 1948 回]

(例 7-27) 【名前というの】は，【その論文の著者，】ですか? [資 8 相談かけ 相談提示 29 回]

「Ⅲ-2-2 N1ハ {N2/Ai/An} デスカ。」は、ほとんどが回答者が相談者に対して用いている。

9. Ⅲ-2-3 NハVンデスカ。・N1ハ {An/N2} ナノデショウカ。

(例 7-28) 【お姉さん】は、体格なんかは【よろしい】んですか? [資 3-3 相談かけ 相確 1276 回]

(例 7-29) 【携帯】は、実際は【使ってる】んですか? [資 5-1 相談うけ 回答提供 699 回]

(例 7-30) 文系のほうの、要約が出てくるようなサイトとか【ある】んでしょうか? [資 8 相談かけ 相談提示 278 回]

「Ⅲ-2-3 NハVンデスカ。・N1ハ {An/N2} ナノデショウカ。」は、回答者も相談者も用いている。Ⅲ-1〈確認要求〉の「Ⅲ-1-3 N1ハV {(ル/タ)/Ai/An/N2} ンデス {ネ?/ヨネ?}」との違いは、終助詞に「カ?」を伴うと〈判定要求〉、「ネ?，ヨネ?」を伴うと〈確認要求〉になるというものである。

Ⅲ-3〈選択要求〉1文型/1文型

Ⅲ-3〈選択要求〉の機能文型は1文型のみである。すべての自然談話に用いられている。

10. Ⅲ-3-1 N1ハ {V/Ai/An/N2} デスカ? (ソレトモ/アルイハ/φ) N3 デスカ?

(例 7-31) 濃い物【好き】ですか？【そうでもない】ですか。[資 1-3 相談かけ 相確 665 回]

(例 7-32) お子さんが何かを【こぼしたから】ですか？それとも、お母さんが見てて、【感じたん】ですか？[資 6-1 相談かけ 相確 490 回]

(例 7-33) 【日本の論文対象のサイト】ですか、それとも【外国の論文】ですか？[資 8 相談かけ 相談提示 272 回]

Ⅲ-4 〈説明要求〉 2 文型／13 文型

Ⅲ-4 〈説明要求〉の 13 種の機能文型うち、3 種の談話に共通して見られたのは、以下の 2 文型である。Ⅲ-4 〈説明要求〉は、「B-1. 相談内容確認の小話段」において、回答者が用いるのがほとんどである。

11. Ⅲ-4-2 Nハ {ナンカ／何ニ／イツカラ／イツ／ドウ／ドンナN2ヲ} V {マスカ？／マシタカ？／テマスカ？／テマシタカ？}

(例 7-34) それで、その間、お茶や、あの一、何か。[資 1-3 相談かけ 相確 654 回]

(例 7-35) 友達とか、先生とか、何か【言っ】てましたか？[資 4-1 相談かけ 相確 511 回]

(例 7-36) 【お探しになっているの】は、分野的には、分野としては、何に【なり】ますか？ [資 8 相談かけ 相確 58 回]

12. Ⅲ-4-3 N {ハ／トイウノハ}, {ドウ／イツ／ナン／ドッチ／イツ／ドコ／ドウイウコト／ドンナコト／ドノクライ／何年生／何本／何時ゴロ／何号} {デスカ？／デス？／デシタカ？／ナンデショウ}。

(例 7-37) それで、【痰の色】はどうですか？[資 2-6 相談かけ 相確 1638 回]

(例 7-38) あとは一、あの、【お友達関係なんか】はどうです？[資 4-3 相談かけ 相確 1386 回]

(例 7-39) それで、その一、【これ】は何号でしょうか。 [資 7 相談かけ 相確 206 回]

Ⅲ-5 〈単独行為要求〉 6 文型／15 文型

Ⅲ-5 〈単独行為要求〉の 15 種の機能文型うち、3 種の談話に共通して見られたのは、以下の 6 文型である。Ⅲ-5 〈単独行為要求〉は、「C. 相談うけの話段」において、回答者が用いるのがほとんどである。相談者と回答者が初めて話す関係であるため、「～テイタダク」という形式を伴うほか、「Ⅲ-5-5 NヲVテイタダイテ。／Vテイタダクト。／Vテイタダケルトカ。」「Ⅲ-5-6 NヲVテイタダケレバ／テイタダキタイト(φ／ト思

ウ、思イマスケド)」などのように、不完全な文で終わるものも見られる。

13. Ⅲ-5-1 Nヲ{Vテ／V}クダサイ(ネ)。

(例7-40) 是非そういうふうには、【心がけ】てください。[資1-4 相談うけ 回答提供 1500回]

(例7-41) 教育委員会へ【電話】を【かけ】てください。[資4-2 相談うけ 回答提供 1022回]

(例7-42) 検索を終了するときは、この、「Exit」という、この、【ボタン】を【押して、終了し】てください。[資8 相談うけ 回答提供 185回]

14. Ⅲ-5-2 NヲVテミテクダサイ。

(例7-43) なるべく早く先生に【相談し】てみてください。[資1-3 相談うけ 回答提供 851回]

(例7-44) 【いろーんな情報】【探し】てみてください。[資6-2 相談うけ 回答提供 1543回]

(例7-45) この説明は、まあ、すいません、時間があるときに【読ん】でみてください。
[資8 相談うけ 回答提供 99回]

15. Ⅲ-5-3 NヲVテミテクレマスカ?／Vテミテイタダケマスカ?

(例7-46) 主治医の先生に、ちょっと【相談し】てみてくれますか?[資2-6 相談うけ 回答提供 1819回]

(例7-47) 是非、【そんなふうなこと】を【やっ】てみて頂けますか?[資4-1 相談うけ 回答提供 627回]

(例7-48) まず、ここの部分だけ【書い】ていただけますか?[資7 相談うけ 相確 163回]

16. Ⅲ-5-5 NヲVテイタダイテ。／Vテイタダクト。／Vテイタダケルトカ。

(例7-49) 主治医の先生に【聞い】て頂いて、[資2-3 相談うけ 回答提供 1006回]
【普段話して頂く//というおうちの努力】//を【し】て頂くと。[資4-2 相談うけ 回答提供 1014回]

(例7-50) それで、コピーのところに【チェック】を【し】ていただい//て、[資9 相談うけ 回答提供 171回]

17. Ⅲ-5-6 NヲVテイタダケレバ／テイタダキタイト(φ／ト思ウ、思イマスケド)

(例 7-51) じゃ、その、【そういうこと】を【心がけ】て頂ければ、[資 1-4 相談うけ 回答提供 1450 回]

(例 7-52) 【自信】を持って頂ければ、いいですね、あばあちゃまは。[資 4-4 相談うけ 回答提供 1499 回]

(例 7-53) あの、【「General Search」，一般検索のほう】を【選ん】でいただければ。
[資 8 相談うけ 回答提供 253 回]

18. Ⅲ-5-7 オ願イシマス。

(例 7-54) 【お願いし】ます。[資 5 相談かけ 相談提示 1905 司]

(例 7-55) それじゃあ、お願い一、[資 7 相談うけ 回答提供 299 相]

Ⅲ-7 〈言い直し要求〉 1 文型／7 文型

Ⅲ-7 〈言い直し要求〉の 7 種の機能文型うち、3 種の談話に共通して見られたのは、以下の 1 文型である。

19. Ⅲ-7-7 相手の発話の聞き取れた部分まで反復

(例 7-56) はあ、とうき、しーしー//ぎゃくか。[資 3-1 相談うけ 回答提供 462 相]

(例 7-57) しよ、将棋ですか。[資 4-2 相談 紹介 805 司]

(例 7-58) 午前中、[資 9 相談うけ 回答確認 202 回]

Ⅲ-7-7 「相手の発話の聞き取れた部分まで反復」は、文型にはなりえず、前の相手の発話を途中まで反復して、あとを相手に補ってもらおうとするもの(例 7-56, 7-58)や、(例 7-57)のように、「将棋ですか。」と聞き返すものがある。(例 7-57)の「しよ、将棋ですか。」は、Ⅲ-2 〈判定要求〉のⅢ-2-2 「N1ハ {N2/A i/A n} デスカ。」と同じ文型ともとれるが、相手の言った言葉が聞き取れず、言い直しを求めるものと認められる場合は、Ⅲ-7 〈言い直し要求〉となる。(例 7-57)の 805 司が「将棋ですか？」がⅢ-7 〈言い直し要求〉、806 回がⅣ-6 〈言い直し〉になる。

(例 7-59)

795 相 あのと、将棋に、

796 司 ええ。

797 相 将棋に、夢中といたらいいんでしょうか。

798 相 す、まあ、時々、本買って、一人で、

799 相 そして、もう、父親も、相手にならないんですねえ。

800 司 ええ。

801 相 ええ。
802 相 というのですけれども、
803 相 その、(?)、//あの、教室みたいなところねー、
804 司 しよ、
805 司 将棋ですか？
806 相 将棋です。

B. 「提供」系の機能文型（17 文型／47 文型）

IV-1 〈事実報告〉 5 文型／7 文型

IV-1 〈事実報告〉の 7 種の機能文型のうち、3 種の談話に共通して見られたのは、以下の 5 文型である。

20. IV-1-1 Nハ、Vマス／V {マセン。／ナイデス。／Vテ／Vシ}

（例 7-60）2 年半前から、下痢が【止まり】ません。[資 1-1 相談かけ 相談提示 16 司]

（例 7-61）それーと、まあ、【普段の勉強】って、全然【し】ないです。[資 5-1 相談うけ 回確 811 相]

（例 7-62）「Peace Research Abstracts」，の，39 巻，ナンバー 3 で，えー，【このページですね？，に出てますと，いうこと】が【わかり】ます。[資 8 相談うけ 回答提供 142 回]

21. IV-1-2 Nガアリマス。／アリマセン。

（例 7-63）【腹痛】は、ありません。[資 1-1 相談かけ 相談提示 22 司]

（例 7-64）それであの一、普段の日は一、【朝練】があります、毎日。[資 6-1 相談かけ 相確 471 相]

（例 7-65）えっと、ここに、【「情報検索」というの】が、//あります。[資 7 相談うけ 回答提供 44 回]

22. IV-1-3 Nハ/ヲ，Vテイマス。

（例 7-66）で、現在、【在宅の酸素療法】を【行っ】ています。[資 2-3 相談かけ 相談提示 822 司]

（例 7-67）うーん、1 2 時半ぐらいまでは一、【起き】てます。[資 6-1 相談かけ 相確 527 相]

(例 7-68) あの一、//一つは一、うーん、えーっと、慶応の日吉で【持つ】ています。[資 7 相談かけ 相確 121 回]

23. IV-1-4 Nハ (Vヨウ, Vコト, Nニ／ト, Ai ク, An) ニナリマス。／ナリマシタ。

(例 7-69) 7 5 歳の頃から、右の肺の働きが【不良】となりました。[資 2-3 相談かけ 相談提示 813 司]

(例 7-70) 【頑固というの】は、あとで【役立つ】ことになります。[資 4-2 相談うけ 回答提供 1105 回]

(例 7-71) で、ファックスで【取り寄せ】になります。[資 9 相談うけ 回答提供 180 回]

24. IV-1-6 Nハ, Vルコトガデキマス。／デキマセン。／V ラレマス。／Vラレマセン。／動詞の可能形

(例 7-72) そうすると、自分の今度は、えー、蠕動運動という、腸の動きによって、【押し出す】ことができる。[資 1-3 相談うけ 回答提供 820 回]

(例 7-73) あ、一人では【寝】られません。[資 6-2 相談かけ 相確 1253 相]

(例 7-74) W I N Eでも、それから、NACSIS Web Cat、NACSIS Web //Cat、どちらでも所蔵を【確認する】ことができますので。[資 7 相談うけ 回答提供 79 回]

IV-2 〈意見説明〉 11 文型／27 文型

IV-2 〈意見説明〉の 27 種の機能文型のうち、3 種の談話に共通して見られたのは、以下の 11 文型である。

25. IV-2-1 N 1 ハ, N 2 デス。

(例 7-75) 山口県にお住まいの勝本さん、6 3 歳の方、【ご本人からの相談】です。[資 1-2 相談かけ 相談提示 315 司]

(例 7-76) 全然【空回り】です。[資 5-1 相談かけ 相確 624 相]

(例 7-77) うーんとですね、【戸山キャンパ、戸山図書館、3//8 号館の 1】ですね。[資 9 相談うけ 回答確認 90 回]

26. IV-2-2 Nハ, {Ai／An／Vナイ} {デス／デスネー。／デシタネー。／デスヨネー。}

(例 7-78) あっ、【妹】は【細い】です。[資 3-3 相談かけ 相確 1283 相]

(例 7-79) 普段は、【元気】です。[]

(例 7-80) 【だいじょぶ】ですね。[資 7 相談うけ 回答確認 39 相]

27. IV-2-3 Nハ, {Vル/Vタ/A i/A n/N} シン {マス/デス} {。/ネ。/デスネ。}

(例7-81) で一、【こういう薬】ははですねー、あの、比較的高齢の方でも、安心して飲んでもらえる【漢方薬な】んです。[資3-3 相談うけ 回答提供 1458 回]

(例7-82) 【食欲】はとても【旺盛な】んです。[資4-1 相談かけ 相確 501 相]

(例7-83) 【これ】は、やはり【持っていない】んですね、早稲田で。[資7 相談うけ 回答提供 223 回]

28. IV-2-4 Nハ, {V/A i/A n/Nノ} {ヨウ/ラシイ/ミタイ/ソウ} デス。

(例7-84) ガスもなんか【溜まりやすい】みたい。[資1-3 相談かけ 相確 743 相]

(例7-85) あと、時々、弟たちと【野球一、をしてる】ようです。[資4-2 相談 紹介 835 相]

(例7-86) あれ、【こーれ】はですね、何か、今日はちょっと【不具合な】ようです。

[資7 相談うけ 回答提供 235 回]

29. IV-2-5 Nハ, {V/A i/A n/N} カモシレマセン {。/ネー。}

(例7-87) そうしますと、今のお薬が、少し【強すぎる】のかもしれないねー。[資1-3 相談うけ 回答提供 780 回]

(例7-88) 【お子さん】は、プレッシャーを【感じる】のかもしれないけどー、[資6 相談うけ 回答提供 935 回]

(例7-89) 明大、あつ、明大止めたほうが【いい】かもしれない。[資7 相談うけ 回答提供 265 回]

30. IV-2-6 Nハ, {V/A i/A n/N} トイウコト {デショウ(ネ)/デスネ。}

(例7-90) 今の状態をとりあえず、完全に【治してしまう】ということでしょうねー。[資2-1 相談かけ 相確 460 回]

(例7-91) ええ、【それ】はもう、必ずみんなで【努力する】ということだね？[資4-4 相談うけ 回答提供 1946 回]

(例7-92) あつ、そしたら、えっと、【これ】は、じゃあ、また、【調べが終わったところ、】っていうことで。[資7 相談かけ 相確 311 回]

「IV-2-5 Nハ, {V/A i/A n/N} カモシレマセン {。/ネー。}」, 「IV-2-6 Nハ, {V/A i/A n/N} トイウコト {デショウ(ネ)/デスネ。}」, 「IV-2-8 Nハ, {V/A i/A n/Nダ} ト思 {イマス。/ウンデス。/テルンデスヨー。/ッテ。}」は、

回答者が「C-1. 回答提供の小話段」で用いるものがほとんどである。回答者が相談者の状況に対して、自分なりの見解を下すときに用いている。

31. IV-2-8 Nハ, {V/A i/A n/Nダ} ト思 {イマス。/ウンデス。/テルンデスヨー。/ツテ。}

(例7-93) あー、【それ】はちょっと量が【少ない】と思いますね。[資2-6 相談うけ 回答提供 1800 回]

(例7-94) 必ず、【ある】と思います、【見つかってくるもの】が。[資6-2 相談うけ 回答提供 1545 回]

(例7-95) で、【国内刊行のもの】は、理系のものしか、要約つきでは、原則としては【探せない】と思います。[資8 相談うけ 回答提供 297 回]

32. IV-2-10 Nハ, Vテ {シマイマス。/シマウンデス。/キチャイマス。テキチャウ(ンデス)。}

(例7-96) 鼻を【飲み込ん】でしまうんです。[資3-2 相談うけ 回答提供 861 回]

(例7-97) すごい【しんどくなっ】てしまったんですよ。[資5-3 相談 紹介 1873 相]

(例7-98) あの一、順序が、あの一、左右前後して、【し】ちゃうんですけれども、[資料8 相談うけ 回答提供 196 回]

33. IV-2-11 V {マス。/マシタ。/マセン。}

(例7-99) はい、わかりまし//た。[資2-6 相談終了 相終 1850 相]

(例7-100) あっ、【助かり】ます。[資7 相談うけ 回答提供 323 相]

「IV-2-11 V {マス。/マシタ。/マセン。}」は、相談者によるものがほとんどである。

「D. 相談終了の話段」の「わかりました。」や、回答を受けたあとの「助かります。」など、相手から何らかの回答を得たあとで発する自分の意見を言うものであり、IV-1〈事実報告〉のIV-1-1「Nハ(ノハ), Vマス/Vマセン。」には入り得ない文型である。

以下に挙げる「IV-2-13 Nハ, V1 {カラ/タメニ/ノデ} (V2)。」, 「IV-2-14 Nハ, V1 {(ン) ケド/ガ/ノニ} (V2)。」のような順接型、逆接型の接続助詞を伴う複文型も3種の談話に共通して見られ、相談者、回答者ともに用いているものである。

34. IV-2-13 Nハ, V1 {カラ/タメニ/ノデ} (V2)。

(例7-101) えー、【おならー、あるいは、げっぷの70パーセント】は【口から飲んだ空気です】からー、[資1-4 相談うけ 回答提供 1306 回]

(例 7-102) 夜、こう、【友達 {笑い} から引き離しに行くの】は、【父親です】ので。
[資 6-1 相談 紹介 398 相]

(例 7-103) で、えっと、著者め、の方と、【タイトル】が【わかってます】ので、これ
だけで、もう、取り寄せることもできます。[資料 7 相談かけ 相確 138 回]

35. IV-2-14 Nハ, V 1 {(ン) ケド／ガ／ノニ} (V 2)。

(例 7-104) だから、いかにも、次、なんにも出ないからってというような、【不安にから
れる】んですけれども、[資 1-1 相談うけ 回答提供 269 回]

(例 7-105) あの一、今までは、そういうこと【なかった】のに、なんか、夏休みを境、
//に、なんか。[資 4-3 相談 紹介 1348 相]

(例 7-106) ここに、所蔵の、ちょっと【わかりにくい】んですけれども、[資 7 相談
うけ 回答提供 228 回]

IV-3 〈感情表出〉 1 文型／4 文型

IV-3 〈感情表出〉の 4 種の機能文型のうち、3 種の談話に共通して見られたのは、1 文
型のみである。

36. IV-3-1 N {ガ／デ／モ} A i／A n デス。N 1 ガ N 2 デス。

「IV-3-1 N {ガ／デ／モ} A i／A n デス。N 1 ガ N 2 デス。」は、ほとんどが回答者
によるものである。この機能文型の「い形容詞」，「な形容詞」，「名詞 (N 2)」には、「い
い」「大事だ」「一番だ」のようなある種の評価を表すものが入る。

(例 7-107) 学校は、自分を、あー、見捨ててないとか、期待してるなっていう感じを、
うんと思ってもらうのが、一番かな？という【感じ】が一番ですね？[資 4-2 相談うけ 回
答提供 948 回]

(例 7-108) それから、散歩もとっても大事ですがー、何かやっぱり【気を紛らわすこと】
も、とても大事だと思いますよ？ [資 1-4 相談うけ 回答提供 1412 回]

(例 7-109) この 1 枚は、【ペン】が【いい】んですけれども。[資 7 相談かけ 相確 165
回]

特に、IV-2 〈意見説明〉の 27 種の文型のうち、5 種の相談の談話に見られた 7 種は、名
詞文，形容詞文，のだ文，推量，様態，順接，逆接を表す文型であり，日本語の初級の学
習文型であることが認められる。

III-5 〈単独行為要求〉15 種の文型のうち、5 種の相談の談話に見られた文型は、「～テ
クダサイ。」という直接的な行為要求である。ラジオの心理相談のような相談内容が複雑な

ものにも見られたことから、回答者が相談者に指示する場合は、特に違和感のある文型ではないのではないかと考えられる。

医療相談、心理相談、図書館レファレンスの3種の談話に見られた「要求」系、「提供」系の109種の機能文型のうち、医療相談のみに見られた文型は14種、心理相談のみに見られた文型は23種あった。図書館レファレンスの談話のみに見られる文型はなかった。図書館レファレンスの談話に見られた「要求」系と「提供」系の文型は、医療相談の談話（79種）、心理相談の談話（92種）と比べて、全45種で少ないことから、医療相談と心理相談の談話に見られる機能文型が網羅しているといえる。また、図書館レファレンスの談話の特質を表すような文型は特にないということになる。

医療相談の談話のみに見られた文型は、以下の14種である。

（2）医療相談の談話のみに見られた「要求」系と「提供」系の機能文型

（文型数／発話機能別総文型数）

A. 「要求」系の機能文型（8文型／全62文型）

Ⅲ-2 〈判定要求〉2文型／9文型

37. Ⅲ-2-6 NハVテマスカ？

（例7-110）噛む、うまく噛ん、【噛（める）ようになっ】てま//すか。 [資1-4 相談かけ 相確11272回]

38. Ⅲ-2-9 （φハ）Vテ（モ）イイデスカ？

（例7-111）えーっと、ちょっと【伺っ】てよろしいですかー。 [資1-1 相談かけ 相確42回]

Ⅲ-4 〈説明要求〉1文型／13文型

39. Ⅲ-4-9 ドノアタリガVマスカ？

（例7-112）どのばた、どの辺りが【一番冷え】ますか。 [資3-1 相談かけ 相確336回]

Ⅲ-7 〈言い直し要求〉5文型／7文型

Ⅲ-7 〈言い直し要求〉5種は、相談者が回答者の回答の中で聞き取れなかった薬品名を再度聞く際に用いられたものである。

40. Ⅲ-7-1 モウ一度オネガイシマス。

（例7-113）もう一度お願いします。 [資3-5 相談うけ 回答提供1979相]

41. Ⅲ-7-3 エッ？

42. Ⅲ-7-4 アッ？

43. Ⅲ-7-5 ハイッ？

44. Ⅲ-7-6 教エテモラエマス？

B. 「提供」系の機能文型（6文型／全47文型）

Ⅳ-2 〈意見説明〉 1文型／27文型

45. Ⅳ-2-15 Nハ, V {ナクテハ／ナケレバ／ナクチャ} ナリマセン。

（例7-114）薬で押し出すことは【やめ】なくてはなりません。[資1 相談うけ 回答提供 回]

Ⅳ-3 〈感情表出〉 2文型／4文型

以下のⅣ-3 〈感情表出〉の機能文型は、回答者が回答する際に用いている。図書館レファレンスの談話のように、文献の検索や入手方法に対して回答する際には、下記の2種のような感情的な回答は必要ないと考えられる。

46. Ⅳ-3-3 Nハ, V ナイトイケナイ {ンデス。／ワケデス。}

（例7-115）これを【励行し】なさやいけないんです。[資3-2 相談うけ 回答提供 914 回]

47. Ⅳ-3-4 Nハ, V テモショウガナインデス（ネ）。

（例7-116）床を【きれいにばっかして】て//も、しょうがないんですね。[資3-2 相談うけ 回答提供 723 回]

Ⅳ-4 〈意志表明〉 3文型／27文型

Ⅳ-4 〈意志表明〉の3種に関しては、「Ⅳ-4-2 N1ハ, N2ヲVヨウニシテイマス。」と「Ⅳ-4-3 NハVタワケデスガ。」が相談者の発話に見られ、「Ⅳ-4-4 NハVマスケドネ？」が、回答者が相談者へ質問を始める際に用いられている。「～タイ」「～テミタイ」を含む文型は、Ⅳ-4-5 に「NヲVタイト思イマシテ。／思ウノデスガ。」があるが、医療相談には1例見られるのみであり、医療相談の相談者の相談内容は、心理相談と異なり、願望を表明するものではないと考えられる。

48. Ⅳ-4-2 N1ハ, N2ヲVヨウニシテイマス。

（例7-117）【薬】はもうできるだけ【飲まない】ようにしてる//んですけど。[資1-1 相談かけ 相確 179 相]

49. Ⅳ-4-3 NハVタワケデスガ。

(例 7-118) ま、あの一ちょっと【ご相談した】訳//ですが。[資 1-2 相談かけ 相確 386 相]

50. IV-4-4 NハVマスクドネ?

(例 7-119) あの、ちょっと【お尋ねし】ますけどね?[資 3-3 相談かけ 相確 1273 回]

心理相談の談話のみに見られた文型は、以下の 23 種である。

(3) 心理相談の談話のみに見られた「要求」系と「提供」系の機能文型

(文型数/発話機能別総文型数)

A. 「要求」系の機能文型 (17 文型/全 62 文型)

「要求」系のうち、Ⅲ-2〈判定要求〉の「Ⅲ-2-8 NハVルヨウデスカ。」は、回答者が、子供や孫の状況について相談している相談者に様子を質問するものである。Ⅲ-4〈説明要求〉の「Ⅲ-4-6 何ヲVテホシインデスカ?」は、相談者とその子供や孫との関係の改善を探るために質問しているものである。

Ⅲ-1〈確認要求〉4 文型/16 文型

51. Ⅲ-1-8 N1ハ {V/A n/A i/N 2} ンジャナイデスカ?

(例 7-120) 肉体的にも、【疲労困憊な】んじゃないですか?[資 5-1 相談うけ 回答提供 966 回]

52. Ⅲ-1-11 NハVマスデショウカ。

(例 7-121) そういう、そういう自分だけじゃないっていうことを【思ってます】でしょうか。[資 6-1 相談うけ 回答提供 872 相]

53. Ⅲ-1-12 NハVデスカネ。

(例 7-122) 孤独を好んだり、そういうところは、少し【ある】んですかね、//小さい時(から)。[資 4-2 相談かけ 相確 884 回]

54. Ⅲ-1-13 NハVルミタイヨネ?

(例 7-123) もう一人の自分と、自分の心の中で、いつもこう、行きつ戻りつ【揺れてる】みたいよね?[資 5-3 相談うけ 回答提供 2007 回]

Ⅲ-2〈判定要求〉1 文型/9 文型

55. Ⅲ-2-8 NハVルヨウデスカ。

(例 7-124) みんなとうまく【やっている】ようですか。[資 4-3 相談かけ 相確 1392 回]

Ⅲ-4 〈説明要求〉 5 文型／13 文型

56. Ⅲ-4-6 何ヲVテホシインデスカ？

(例 7-125) 何を言ってて、何を【わかっ】てほしいんですか？[資 6-1 相談かけ 相確 617 回]

57. Ⅲ-4-7 ドンナ (ドノヨウナ, ドウイウ) Nデスカ？/Nデシタカ？/Nデショウカ。

(例 7-126) どのような【ご相談】//ですか？[資 4-1 相談 紹介 380 司]

58. Ⅲ-4-10 ドナタノNデショウカ。

(例 7-127) どなたの【相談】でしょうか。[資 4-3 相談 紹介 1133 司]

59. Ⅲ-4-11 {ドウ/ドノクライデ/何科ニ/} V {ルンデスカ？/タンデスカ？/タインデスカ？}

(例 7-128) その辺は【どうなってる】んですか？[資 6-1 相談かけ 相確 586 回]

60. Ⅲ-4-13 N1ガVルノハ, ドウシテデスカ？

(例 7-129) そ、【「そうみたいです。」っておっしゃ】るのは、//どうしてですか？[資 6-1 相談かけ 相確 653 回]

Ⅲ-5 〈単独行為要求〉 7 文型／15 文型

Ⅲ-5 〈単独行為要求〉の 15 種の文型のうち、心理相談には 14 種、医療相談には 7 種、図書館レファレンスには 7 種の文型が見られる。心理相談のみに見られる以下の 7 種の文型には、「Vテイタダケマスカ？」、「～タライインジャナイデショウカ。」などの婉曲的な行為指示の文型が見られる。

61. Ⅲ-5-8 NヲVテイタダケ/モラエマスカ？ (ネ)

(例 7-130) 【ご家族】を【教え】ていただけますか？[資 5-2 相談 紹介 1062 司]

62. Ⅲ-5-9 NヲVテアゲテ。(クダサイ)

(例 7-131) ですから、それを役立てる//ように、少し//【見守っ】てあげて？[資 4-2 相談うけ 回答提供 1109 回]

63. Ⅲ-5-10 NヲVテ。

(例 7-132) 【自分】を【大事にし】て。[資 5-3 相談うけ 回答提供 2119 回]

64. Ⅲ-5-11 NヲVタライイン/ノ {カナト。/ジャナイデショウカ。/ジャナイデスカ？}

(例 7-133) もうちょっと、【コミュニケーション】を【変え】たらいいいんじゃないでしょうか。[資 5-1 相談うけ 回答提供 733 回]

下記の「Ⅲ-5-12 NヲVテミマショウカ。」「Ⅲ-5-13 NヲVテミマショウネー。」は、もし「今度一緒に、」といった表現が入るのであればⅢ-6〈共同行為要求〉の機能文型になる。「NニVマショウ。」に、「Vテミル」と終助詞の「ネー。」が加わったものであるが、回答者が相談者に回答の最後で婉曲的に説得する際に用いられる。

65. Ⅲ-5-12 NヲVテミマショウカ。

(例 7-134) ええ、もう、その、【それ】を【繰り返してやっ】てみましょうか。[資 4-4 相談うけ 回答提供 1921 回]

66. Ⅲ-5-13 NヲVテミマショウネー。

(例 7-135) みんなで【努力し】てみましょうね。[資 4-4 相談うけ 回答提供 1961 回]

67. Ⅲ-5-14 NヲVルコト。

(例 7-136) だから、一番大事なのは、あなたは、あなたが【自分】を【大事にする】こと。[資 5-3 相談うけ 回答提供 2056 回]

B. 「提供」系の機能文型（6 文型／全 54 文型）

Ⅳ-2〈意見説明〉5 文型／27 文型

以下の心理相談の談話のみに見られたⅣ-2〈意見説明〉の5種の機能文型を見ると、NやVに入るものが「頑張る」「困る」「がっかりする」など、感情を示すものが入る。

68. Ⅳ-2-17 Nハ、Vタインデス（ヨネ）。／ネ。

(例 7-137) 普通の高校生として、【行き】たいんですよ。[資 5-2 相談かけ 相確 1418 相]

69. Ⅳ-2-18 Nハ、Vテイタンデショウ。

(例 7-138) 【彼】は【頑張っ】ていたんでしょう。[資 6-1 相談うけ 回答提供 757 回]

70. Ⅳ-2-21 Vルコトハアリマセン（ヨ）。

(例 7-139) あの一、【がっかりす】ることはありませんよ？[資 4 相談うけ 回答提供 1577 回]

71. Ⅳ-2-22 Nハ、V {テイマス。／マス。}

(例 7-140) 戻ってき、くるようなことが困るので一。[資 4-4 相談うけ 相確 1983 相]

72. Ⅳ-2-27 NモA i クナリマスネー。

(例 7-141)あの、様子もわからないということでねー、心配ももっと大きくなりますねー。
[資 4-4 相談うけ 回答提供 1745 回]

IV-4 〈意志表明〉 1 文型／27 文型

73. IV-4-7 N 1 ハ, N 2 ヲ ヴ ル 気 ハ ア リ マ セ ン。

(例 7-142) 【私】は、もう、だから、あそこには二度と【行く】気はない。[資 5-2 相談かけ 相確 1524 相]

心理相談では、相談者が自分の子供や孫についての相談をしているため、回答者は、相談者の子供や孫についての状況を相談者に聞いたり、相談者とその子供や孫との関係の改善を探るために質問したりしている。

上記のように、相談者が子供や孫にどう接するべきか、子供や孫の問題に、どう対処すべきかを婉曲的に提案している。

IV-2 〈意見説明〉 5 種のうち、「IV-2-17 N ハ, V タイ ン デ ス (ヨ ネ)。／ネ。」「IV-2-18 N ハ, V テ イ タ ン デ シ ョ ウ。」, 「IV-2-21 ヴ ル コ ト ハ ア リ マ セ ン (ヨ)。」, 「IV-2-27 N モ A i ク ナ リ マ ス ネー。」の 4 種は、回答者の発話に見られたものである。

「要求」系の文型と同様、「IV-2-17 N ハ, V タイ ン デ ス (ヨ ネ)。／ネ。」「IV-2-18 N ハ, V テ イ タ ン デ シ ョ ウ。」は、相談者の子供や孫に対する見解を述べるときに見られるものである。

心理相談のみに用いられる、Ⅲ-5 〈単独行為要求〉 7 種, IV-2 〈意見説明〉 5 種機能文型を見ると、回答者は、相談者を気遣いながら、回答を進めたり、終えようとしたりしており、精神的な悩みを抱える相談者とともに、よりよい対処法を考えようとしていると考えられる。

7. 2. 2 本研究の相談の談話構造における「要求」系と「提供」系の機能文型の相違点

相談の全体的構造とそれを支える機能文型を認定し、相談の談話型を解明するために、医療相談、心理相談、図書館レファレンスの相談の談話における各話段、小話段に見られる機能文型を【表 7-2】と【表 7-3】に示した。

【表 7-2】ラジオの医療相談と心理相談の談話, 【表 7-3】図書館レファレンスの談話の各話段と小話段における「要求」系と「提供」系の機能文型を示したものである。

医療相談				心理相談			
機能別文型		機能別文型		機能別文型		機能別文型	
出現数	出現数	出現数	出現数	出現数	出現数	出現数	出現数
IV-1 〈事実報告〉	IV-1-1	1	N/A (ノハ) , Vマス/Vマセン。Vテ, Vシ, ノVナイデス。	IV-1-1	1	N/A (ノハ) , Vマス/Vマセン。Vテ, Vシ, ノVナイデス。	55
	IV-1-2		Nガアリマス。ノアリマセン。	IV-1-2	2	Nガアリマス。ノアリマセン。	21
	IV-1-3		Nハ/ヲ, Vテイマス。	IV-1-3	3	Nハ/ヲ, Vテイマス。	30
				IV-1-4	4	N/A (Vヨウ, Vコト, Nニ/ト, Aク, An) ニナリマス。ノナリマシタ。	2
	IV-1-5		Nハ, Vタコトガ/モアリマス。ノアリマセン。ノアルノネ?	IV-1-5	5	Nハ, Vタコトガ/モアリマス。ノアリマセン。ノアルノネ?	1
	IV-1-7		NガVテキマス。ノVテキマスヨネ?				
	IV-2-1	1	N1ハ, N2デス。	IV-2-1	1	N1ハ, N2デス。	85
	IV-2-2	5	Nハ, {A1/An/Vナイ} {デス。/デスネー。/デシタネー。/デスヨネー。}	IV-2-2	2	Nハ, {A1/An/Vナイ} {デス。/デスネー。/デシタネー。/デスヨネー。}	18
	IV-2-3	14	Nハ, {Vル/Vタ/A1/An/N1} {デス/マス} {。/ネ。/デスネ。}	IV-2-3	3	Nハ, {Vル/Vタ/A1/An/N1} {マス/デス} {。/ネ。/デスネ。}	296
	IV-2-4	13	Nハ, {V/A1/An/N1} {ヨウ/ラシイ/ミタイ/ソウ} デス。	IV-2-4	4	Nハ, {V/A1/An/N1} {ヨウ/ラシイ/ミタイ/ソウ} デス。	16
IV-2 〈意見説明〉				IV-2-8	8	Nハ, {V/A1/An/N1} ト愚 {イマス。/ウンデス。/テルンデスヨー。/ツテ。}	25
				IV-2-10	10	Nハ, Vテ {シマイマス。/シマウンデス。/キチャイマス。/テキチャウ(ンデス。)}	11
				IV-2-11	11	V {マシタ。/マセン。/マスネ。}	12
				IV-2-12	12	Nハ, V1タリ, V2タリ {シテ。/シマス/スルノネ?}	5
				IV-2-13	13	Nハ, V1 {カウ, タメニ, ノテ} (V2)。	26
				IV-2-14	14	Nハ, V1 { (ノ) ケド/ガ/ノニ, } (V2)。	4
				IV-2-19	19	Nハ, {Vル/Vタ/A1/An} ウケ {デス。/ナンデス。}	37
	IV-2-20	2	N1ハ, {V1/A1/An} {ヨウナ/フウニ} N2 {ガ/モ} V2マス。	IV-2-20	20	N1ハ, {V1/A1/An} {ヨウナ/フウニ} N2 {ガ/モ} V2マス。	2
				IV-2-23	23	Nハ, V {テ (モ) /タラ/ト/V/N2デモ} イイ {ト愚イマス/カモワカリマセン。/ソジャナイデショウカ。}	1
	IV-2-26	1	Nハ, Vテイルノデショウカ。	IV-2-26	26	Nハ, Vテイルノデショウカ。	1
IV-4 〈意志表明〉				IV-4-5	5	NヲVタイト愚イマシテ。ノ愚ウノデスガ。	3
				IV-4-7	7	N1ハ, N2ヲVル氣ハアリマセン。	1
				IV-4-8	8	Vタイトコロンデスガ。	7
				IV-4-9	9	Vタイノデスクレドモ。	13
	III-1-1	4	NハVル/ヲ {トイウ} ウケデスネ?	III-1-1	1	NハVル/ヲ {トイウ} ウケデスネ?	4
III-1 〈確認要求〉	III-1-2	16	Nガ {V/A1/An} トイウコトデスカ {。/?/ネ?}	III-1-2	2	Nガ {V/A1/An} トイウコトデスカ {。/?/ネ?}	8
	III-1-3	13	N1ハV {ル/ヲ} /A1/An/N2} ンデス {ネ?/ヨネ?}	III-1-3	3	N1ハV {ル/ヲ} /A1/An/N2} ンデス {ネ?/ヨネ?}	8
	III-1-4	16	N1 {ガ/ハ} {Anナ/A1/N2} デス {ネ?ヨネ?}	III-1-4	4	N1 {ガ/ハ} {Anナ/A1/N2} デス {ネ?ヨネ?}	9

医療相談				心理相談					
機能別文型				機能別文型					
出現数				出現数					
Ⅲ-7 〈言い直し要求〉						Ⅲ-5-			
						Ⅲ-7-	2	ハッ?	1
	Ⅲ-7-	3	エッ?	2					
Ⅲ-7	5	ハイッ?	1						
Ⅳ-1 〈事実報告〉	Ⅳ-1-	1	N/A (ノハ), Vマス/Vマゼン。Vテ, Vシ, ノVナイデス。	69		Ⅳ-1-	1	N/A (ノハ), Vマス/Vマゼン。Vテ, Vシ, ノVナイデス。	49
	Ⅳ-1-	2	Nガアリマス。ノアリマゼン。	21		Ⅳ-1-	2	Nガアリマス。ノアリマゼン。	23
	Ⅳ-1-	3	N/Aノヲ, Vタイマス。	30		Ⅳ-1-	3	N/Aノヲ, Vタイマス。	5
	Ⅳ-1-	4	N/A (Vヨウ, Vコト, Nニ/ト, Aク, An) ニナリマス。ノナリマシタ。	2					
	Ⅳ-1-	5	N/A, Vタコトガ/モアリマス。ノアリマゼン。ノアルノネ?	9					
						Ⅳ-1-	6	N/A, Vルコトガデキマス。ノデキマゼン。ノラレマス。ノVラレマゼン。ノ動詞の可能性	3
	Ⅳ-2-	1	N1/A, N2デス。	37	Ⅳ-2 〈意見説明〉	Ⅳ-2-	1	N1/A, N2デス。	33
	Ⅳ-2-	2	N/A, {A1/An/Vナイ} {デス。ノデスネー。ノデシタネー。ノデスヨネー。}	5		Ⅳ-2-	2	N/A, {A1/An/Vナイ} {デス。ノデスネー。ノデシタネー。ノデスヨネー。}	8
	Ⅳ-2-	3	N/A, {Vル/Vタ/A1/An/N1} ン {マス/デス} Ⅰ。ノネ。ノデスネ。	141		Ⅳ-2-	3	N/A, {Vル/Vタ/A1/An/N1} ン {マス/デス} Ⅰ。ノネ。ノデスネ。	159
	Ⅳ-2-	4	N/A, {V/A1/An/N1} {ヨウ/ラシイ/ミタイ/ソウ} デス。	1		Ⅳ-2-	4	N/A, {V/A1/An/N1} {ヨウ/ラシイ/ミタイ/ソウ} デス。	29
Ⅳ-2-	6	N/A, {V/A1/An/N1} トイウコト {デショウ (ネ) /デスネ。}	4						
Ⅳ-2-	8	N/A, {V/A1/An/N1} ト愚 {イマス。ノウンデス。ノテルンデスヨネー。ノツテ。}	8		Ⅳ-2-	7	N1/A, {N2/An} ジャナイ {デショウカ (ネー)。ノデスカ?ノカシラ。}	2	
Ⅳ-2-	10	N/A, Vテ {シマイマス。ノシマウンデス。ノキチャイマス。デキチャウ (シデス)。}	1		Ⅳ-2-	8	N/A, {V/A1/An/N1} ト愚 {イマス。ノウンデス。ノテルンデスヨネー。ノツテ。}	40	
Ⅳ-2-	11	V {マシタ。ノマゼン。ノマスネ。}	4						
Ⅳ-2-						Ⅳ-2-	11	V {マシタ。ノマゼン。ノマスネ。}	4
Ⅳ-2-						Ⅳ-2-	12	N/A, V1タリ, V2タリ {シテ, ノシマス/スルノネ?}	1
Ⅳ-2-	13	N/A, V1 {カラ, タメニ, ノテ} (V2)。	2		Ⅳ-2-	13	N/A, V1 {カラ, タメニ, ノテ} (V2)。	7	
Ⅳ-2-						Ⅳ-2-	17	N/A, Vタインデス {ヨネ}。ノネ。	2
						Ⅳ-2-	19	N/A, {Vル/Vタ/A1/An} ウケ {デス。ノナンデス。}	10
						Ⅳ-2-	20	N1/A, {V1/A1/An} {ヨウナ/フウニ} N2 {ガ/モ} V2マエ。	9
						Ⅳ-2-	22	N/A, V {タイマス。ノマス。}	7
						Ⅳ-2-	23	N/A, V {テ (モ)ノタラ/ト/ハ/N2デモ} イイ {ト愚イマス/カモウカリマゼン。ノンジャナイデショウカ。}	1

医療相談				心理相談			
機能別文型		出現数		機能別文型		出現数	
Ⅳ-3 〈感情表出〉	Ⅳ-2- 24	N/A V1 {ル/ナイ} {ト/ハ/タラ} {A1ウ/Nニ/A nニ} V2マ	5	Ⅳ-3 〈感情表出〉			
	Ⅳ-3- 1	N {ガ/テ/モ} A1/A nデス。 N1ガN2デス。	4				
	Ⅳ-3- 3	N/A Vナイトイクナインデス。ノクナイウケデス。	1				
	Ⅳ-4- 2	N1/A N2ヲVヨウニシテイマス。	1	Ⅳ-4 〈意志表明〉			
Ⅳ-4 〈意志表明〉	Ⅳ-4- 3	N/A Vタウケデスガ。	1				
	Ⅳ-4- 4	N/A Vマスケトネ?	1				
	Ⅳ-4- 5	NヲVタイト思イマシテ。ノ思ウノデスガ。	1				
Ⅲ-1 〈確認要求〉	Ⅲ-1- 1	N/A Vル/タ} {トイウ} ウケデスネ?	1	Ⅲ-1 〈確認要求〉	Ⅳ-4- 9	Vタイノデスケレドモ。	1
	Ⅲ-1- 2	Nガ {V/A1/A n} トイウコトデスカ。ノ/?/ネ?	9		Ⅲ-1- 1	N/A Vル/タ} {トイウ} ウケデスネ?	5
	Ⅲ-1- 3	N1/A V {ル/タ} /A1/A n/N2} ンデス {ネ?/ヨネ?}	8		Ⅲ-1- 2	Nガ {V/A1/A n} トイウコトデスカ。ノ/?/ネ?	1
	Ⅲ-1- 4	N1 {ガ/ハ} {A nナ/A1/A n2} デス {ネ?ヨネ?}	5		Ⅲ-1- 3	N1/A V {ル/タ} /A1/A n/N2} ンデス {ネ?/ヨネ?}	11
	Ⅲ-1- 6	N {ハ/ガ} V {マス/マシタ} ヨネ? (-。)	7		Ⅲ-1- 4	N1 {ガ/ハ} {A nナ/A1/A n2} デス {ネ?ヨネ?}	29
	Ⅲ-1- 7	(φハ) デスヨネー。ノネエ。ノネ?ノソウデスネ?	1		Ⅲ-1- 6	N {ハ/ガ} V {マス/マシタ} ヨネ? (-。)	15
					Ⅲ-1- 7	(φハ) デスヨネー。ノネエ。ノネ?ノソウデスネ?	9
					Ⅲ-1- 8	N1/A {V/A n/A1/A n2} ンジャナイデスカ?	6
	Ⅲ-1- 9	(N1/A) N2デス {カ/ネ}。	11		Ⅲ-1- 9	(N1/A) N2デス {カ/ネ}。	1
	Ⅲ-1- 10	N/A V {ル/タ} ンデシヨウ?	1		Ⅲ-1- 10	N/A V {ル/タ} ンデシヨウ?	1
Ⅲ-2 〈判定要求〉				Ⅲ-2 〈判定要求〉	Ⅲ-1- 11	N/A Vマスデシヨウカ。	1
					Ⅲ-1- 13	N/A Vルミタイヨネ?	1
	Ⅲ-1- 14	NヲV {タラ/デモ/タホウガ} イイン {デスネ?/デシヨ?} ・N1/A N2タイデシヨウカ。	4		Ⅲ-1- 14	NヲV {タラ/デモ/タホウガ} イイン {デスネ?/デシヨ?} ・N1/A N2タイデシヨウカ。	4
	Ⅲ-2- 1	N/A V {マス/マシタ} カ?	1		Ⅲ-2- 1	N/A V {マス/マシタ} カ?	2
	Ⅲ-2- 2	N1/A {N2/A1/A n} デスカ。	1		Ⅲ-2- 2	N1/A {N2/A1/A n} デスカ。	2
					Ⅲ-2- 3	N/A V ンデスカ。・N1/A {A n/N2} ナノデシヨウカ。	1
					Ⅲ-2- 4	N/A V リマス {カ/ネ} ?	2
	Ⅲ-2- 5	N/A V {ル/タ} ウケデスカ。	1				
	Ⅲ-2- 6	N/A V デマスカ?	3				
	Ⅲ-3- 1	N1/A {V/A1/A n/A n/N2} デスカ? (シレトモ/アルイハ/φ) N3デスカ?	2	Ⅲ-3 〈選択要求〉			
	Ⅲ-4- 3	N {ハ/トイウノハ}。{ドウ/イツ/ナン/ドツチ/イクツ/ドコ/ドウイウコト/ドンナコト/ドンクライ/同年生/同年/同席/ゴロ/毎} {デスカ?/デス?/デシタカ?/ナンデシヨウ}。	1				

医療相談				心理相談			
機能別文型		出現数	話 段	小話 段	機能別文型		出現数
Ⅲ-5(単独行為要求)	Ⅲ-4-	4	{ドウ/イカガ} デショウ {カ/カネ。}		Ⅲ-4-	4	{ドウ/イカガ} デショウ {カ/カネ。}
					Ⅲ-4-	5	Nハ、{ドウ/ドンナフウニ/何回/何種類/ドノ程度} ヲテ {マスカ?/ルンデショウカ。}
					Ⅲ-4-	7	ドンナ {ドノヨウナ、ドウイウ} Nデスカ?/Nデシタカ?/Nデショウカ。
					Ⅲ-4-	8	ドンナNガV {デスカ} ?/V {ンデスカ} ?/Vデマスカ?
					Ⅲ-4-	12	ドウ {イウフウニ} ヲタライイデショウカ。
	Ⅲ-5-	1	NヲVテクダサイ {ネ}。		Ⅲ-5-	1	NヲVテクダサイ {ネ}。
	Ⅲ-5-	2	NヲVテミテクダサイ。		Ⅲ-5-	2	NヲVテミテクダサイ。
	Ⅲ-5-	3	NヲVテミテクレマスカ?/Vテミテイタダケマスカ?		Ⅲ-5-	3	NヲVテミテクレマスカ?/Vテミテイタダケマスカ?
	Ⅲ-5-	4	NヲV {テハ/タラ/テミタラ} {ドウ/イカガ} デショウカ {ネ}。		Ⅲ-5-	4	NヲV {テハ/タラ/テミタラ} {ドウ/イカガ} デショウカ {ネ}。
	Ⅲ-5-	5	NヲVテイタダイト。/Vテイタダクト。/Vテイタダケルトカ。		Ⅲ-5-	5	NヲVテイタダイト。/Vテイタダクト。/Vテイタダケルトカ
Ⅲ-7(言い直し要求)	Ⅲ-5-	6	NヲVテイタダケレバ/Vテイタダキタイト {お/ト} 思ウ、思イマスケド		Ⅲ-5-	6	NヲVテイタダケレバ/Vテイタダキタイト {お/ト} 思ウ、思イマスケド
					Ⅲ-5-	7	オ断イシマス。
					Ⅲ-5-	8	NヲVテイタダケ/モラエマスカ? {ネ}
					Ⅲ-5-	9	NヲVテアガテ。{クダサイ}
					Ⅲ-5-	10	NヲVテ。/。
					Ⅲ-5-	11	NヲVタライイン/ノカナト。/ジャナイデショウカ。/ジャナイデスカ?
					Ⅲ-5-	12	NヲVテミマショウカ。
					Ⅲ-5-	13	NヲVテミマショウネー。
					Ⅲ-5-	14	NヲVルコト。
	Ⅲ-7-	1	モウ一度オネガイシマス。		Ⅲ-7	Ⅲ-7(言い直し要求)	
Ⅳ-1(事実報告)	Ⅲ-7-	2	ハッ?				
	Ⅲ-7-	3	エッ?				
	Ⅲ-7-	4	アッ?				
	Ⅲ-7-	6	教エテモラエマス?				
	Ⅲ-7-	7	相手の発話の聞き取れた部分まで反復				
	Ⅲ-7-	11					
	Ⅳ-1-	1	Nハ {ノ/ハ}、Vマス/Vマセン。Vテ、Vシ、/Vナイデス。		Ⅳ-1-	1	Nハ {ノ/ハ}、Vマス/Vマセン。Vテ、Vシ、/Vナイデス。
	Ⅳ-1-	2	Nガアリマス。/アリマセン。		Ⅳ-1-	2	Nガアリマス。/アリマセン。
	Ⅳ-1-	3	Nハ/ヲ、Vタイマス。		Ⅳ-1-	3	Nハ/ヲ、Vタイマス。
	Ⅳ-1-	23					

医療相談					心理相談				
機能別文型					機能別文型				
出現数	出現数	出現数	出現数	出現数	出現数	出現数	出現数	出現数	出現数
IV-1-	4	N/A (Vヨウ, Vコト, Nニ/ト, A/K, An) ニナリマス。/ナリマシタ。	12	IV-1-	4	N/A (Vヨウ, Vコト, Nニ/ト, A/K, An) ニナリマス。/ナリマシタ。	13		
IV-1-	5	N/A Vタコトカ/モアリマス。/アリマセン。/アルノネ?	89						
IV-1-	6	N/A Vルコトガデキマス。/デキマセン。/アラシマス。/アラシマセン。/動向の可能性	5						
IV-1-	7	Nガデキマス。/デキマセン。/Vデキマスヨネ?	7						
IV-2- <意見説明>				IV-2- <意見説明>					
IV-2-	1	N1/A, N2デス。	112	IV-2-	1	N1/A, N2デス。	36		
IV-2-	2	N/A {A1/A0/Vナ1} {デス。/デスネー。/デシタネー。/デスヨネー。}	1	IV-2-	2	N/A {A1/A0/Vナ1} {デス。/デスネー。/デシタネー。/デスヨネー。}	18		
IV-2-	3	N/A {Vル/Vタ/A1/A0/N1} {マス/デス} {。/ネ。/デスネ。}	240	IV-2-	3	N/A {Vル/Vタ/A1/A0/N1} {マス/デス} {。/ネ。/デスネ。}	132		
IV-2-	4	N/A {V/A1/A0/N1} {ヨウ/ラジイ/ミタイ/ソウ} デス。	3	IV-2-	4	N/A {V/A1/A0/N1} {ヨウ/ラジイ/ミタイ/ソウ} デス。	17		
IV-2-	5	N/A {V/A1/A0/N1} カモシマセン {。/ネー。}	8	IV-2-	5	N/A {V/A1/A0/N1} カモシマセン {。/ネー。}	45		
IV-2-	6	N/A {V/A1/A0/N1} トイウコト {デシヨウ (ネ) /デスネ。}	10	IV-2-	6	N/A {V/A1/A0/N1} トイウコト {デシヨウ (ネ) /デスネ。}	40		
				IV-2-	7	N1/A, {N2/A0} ジャナイ {デシヨウカ (ネー)。/デスカ?/カシラ。}	11		
IV-2-	8	N/A {V/A1/A0/N1} ト愚 {イマス。/ウンデス。/タルンデスヨー。/ツテ。}	115	IV-2-	8	N/A {V/A1/A0/N1} ト愚 {イマス。/ウンデス。/タルンデスヨー。/ツテ。}	123		
IV-2-	9	N/A Vタホウガイイ {ト愚イマス。/デシヨウ。/ンジャナイデシヨウカ。/ンジャナイカト愚イマス。}	57	IV-2-	9	N/A Vタホウガイイ {ト愚イマス。/デシヨウ。/ンジャナイデシヨウカ。/ンジャナイカト愚イマス。}	3		
IV-2-	10	N/A Vテ {シマイマス。/シマウンデス。/キチャイマス。デキチャウ (ンデス。)}	13	IV-2-	10	N/A Vテ {シマイマス。/シマウンデス。/キチャイマス。デキチャウ (ンデス。)}	6		
IV-2-	11	V {マシタ。/マセン。/マスネ。}	9	IV-2-	11	V {マシタ。/マセン。/マスネ。}	16		
IV-2-	12	N/A V1タリ, V2タリ {シテ。/シマス/スルノネ?}	2	IV-2-	12	N/A V1タリ, V2タリ {シテ。/シマス/スルノネ?}	8		
IV-2-	13	N/A V1 {カラ, タメニ, ノテ} (V2)。	4	IV-2-	13	N/A V1 {カラ, タメニ, ノテ} (V2)。	17		
IV-2-	14	N/A V1 (ン) ケド/ガ/のニ, V2	3						
IV-2-	15	N/A V{サウテハ/ナケレハ/ナクチャ} ナリマセン。	3						
IV-2-	16	N1/A, N2/N3 {ガ/ハ} アリマス。	7	IV-2-	16	N1/A, N2/N3 {ガ/ハ} アリマス。	4		
				IV-2-	18	N/A Vテイタンデシヨウ。	5		
IV-2-	19	N/A {Vル/Vタ/A1/A0/N1} ウケ {デス。/ナンデス。}	100	IV-2-	19	N/A {Vル/Vタ/A1/A0/N1} ウケ {デス。/ナンデス。}	12		
IV-2-	20	N1/A, {V1/A1/A0} {ヨウナ/フウニ} N2 {ガ/モ} V2マ	12	IV-2-	20	N1/A, {V1/A1/A0} {ヨウナ/フウニ} N2 {ガ/モ} V2マ	30		
				IV-2-	21	Vルコトハアリマセン (ヨ)。	7		
IV-2-	23	N/A V {テ (モ) /タラ/ト/ハ/N2デモ} イイ {ト愚イマス/カモワカリマセン。/ンジャナイデシヨウカ。}	25	IV-2-	23	N/A V {テ (モ) /タラ/ト/ハ/N2デモ} イイ {ト愚イマス/カモワカリマセン。/ンジャナイデシヨウカ。}	49		
IV-2-	24	N/A V1 {ル/ナ1} {ト/ハ/タラ} {A1/K/Nニ/A0/N1} V2マ	8						
IV-2-	25	N/A, Vル {ベキダ/ハズダ} ト愚イマス。	1	IV-2-	26	N/A, Vル {ベキダ/ハズダ} ト愚イマス。	15		

医療相談				心理相談			
機能別文型		出現数	話 段	小 説 段	機能別文型		出現数
Ⅳ-3 〈感情表出〉	Ⅳ-3-1	N {ガ/デ/モ} A i / A n デス。 N 1 ガ N 2 デス。			Ⅳ-2-	27	N モ A i ク ナ リ マ ス ネー。
	Ⅳ-3-2	N ハ、 V ル 必 要 {ガ/ハ} ア リ マ {ス。 / セ ン。 }			Ⅳ-3-	1	N {ガ/デ/モ} A i / A n デス。 N 1 ガ N 2 デス。
	Ⅳ-3-3	N ハ、 V ナ イ ト イ ケ ナ イ {ン デ ス。 / ワ ケ デ ス。 }			Ⅳ-3-	2	N ハ、 V ル 必 要 {ガ/ハ} ア リ マ {ス。 / セ ン。 }
	Ⅳ-3-4	N ハ、 V テ モ シ ョ ウ ガ ナ イ ン デ ス (ネ)。					
					Ⅳ-4-	1	N ハ V マ ス。
Ⅳ-4 〈意志表明〉					Ⅳ-4-	6	N 1 ハ、 N 2 ヲ V テ {ミ マ ス。 / ミ タ イ ト 患 イ マ ス。 }
							15
Ⅲ-1 〈確認要求〉	Ⅲ-1-1	N ハ V ル / タ {ト イ ウ} ワ ケ デ ス ネ ?					2
	Ⅲ-1-2	N ガ {V / A i / A n} ト イ ウ コ ト デ ス カ し。 / ? / ネ ?					
	Ⅲ-1-3	N 1 ハ V {ル / タ} / A / A n / N 2 {ネ ? / ヨ ネ ?}					
	Ⅲ-1-4	N 1 {ガ/ハ} {A n ナ / A i / N 2} デ ス {ネ ? ヨ ネ ?}			Ⅲ-1-	4	N 1 {ガ/ハ} {A n ナ / A i / N 2} デ ス {ネ ? ヨ ネ ?}
	Ⅲ-1-6	N {ハ/ガ} V {マ ス / マ シ タ} ヨ ネ ? (ー)。					
	Ⅲ-1-14	N ヲ V {タ ラ / テ モ / タ ホ ウ ガ} イ ン {デ ス ネ ? / デ シ ョ ?} ・ N 1 ハ N 2 デ イ デ シ ョ ウ カ。			Ⅲ-1-	14	N ヲ V {タ ラ / テ モ / タ ホ ウ ガ} イ ン {デ ス ネ ? / デ シ ョ ?} ・ N 1 ハ N 2 デ イ デ シ ョ ウ カ。
	Ⅲ-1-15	N ハ V {ル / タ} ン デ シ ョ ウ カ。			Ⅲ-1-	15	N ハ V {ル / タ} ン デ シ ョ ウ カ。
					Ⅲ-2-	2	N 1 ハ {N 2 / A i / A n} デ ス カ。
Ⅲ-2 〈判定要求〉	Ⅲ-2-3	N ハ V ン デ ス カ。 ・ N 1 ハ {A n / N 2} ナ ノ デ シ ョ ウ カ。					
	Ⅲ-2-4	N ハ ア リ マ ス {カ / ネ} ?					
					Ⅲ-4-	1	何 カ {V タ コ ト ハ} ア リ マ ス カ ? / ア リ マ セ ン カ ?
							1
Ⅲ-4 〈説明要求〉	Ⅲ-4-3	N {ハ / ト イ ウ / ハ} ・ {ド ウ / イ ッ / ナ ン / ド ッ チ / イ ク ツ / ド コ / ド ウ / イ ウ コ ト / ト シ ナ コ ト / ト シ ク ラ イ / 何 年 生 / 何 本 / 何 時 コ ロ / 何 等} {デ ス カ ? / デ ス ? / デ シ タ カ ? / ナ ン デ シ ョ ウ}。			Ⅲ-4-	8	ド ナ N ガ V {デ ス カ ? / ノ デ シ ョ ウ カ ? / テ マ ス カ ?}
					Ⅲ-4-	12	ド ウ {イ ウ フ ウ ニ} V タ ラ イ デ シ ョ ウ カ。
							4
Ⅲ-7 〈言い直し要求〉	Ⅲ-7-3	エッ ?					
	Ⅲ-7-5	ハイッ ?					
	Ⅲ-7-7	相手の発話の聞き取れた部分まで反復					
Ⅳ-1 〈事実報告〉	Ⅳ-1-1	N ハ { / ハ }、 V マ ス / V マ セ ン。 V テ、 V シ、 / V ナ イ デ ス。			Ⅳ-1-	1	N ハ { / ハ }、 V マ ス / V マ セ ン。 V テ、 V シ、 / V ナ イ デ ス。
					Ⅳ-1-	2	N ガ ア リ マ ス。 / ア リ マ セ ン。
					Ⅳ-1-	6	N ハ、 V ル コ ト ガ デ キ マ ス。 / デ キ マ セ ン。 / ヲ ラ シ マ ス。 / ヲ ラ シ マ セ ン。 / 動 向 の 可 能 形
Ⅳ-2 〈意見説明〉	Ⅳ-2-1	N 1 ハ、 N 2 デ ス。	10		Ⅳ-2-	1	N 1 ハ、 N 2 デ ス。

医療相談					心理相談				
機能別文型					機能別文型				
IV-2-		2	N/A, {A I / A n / V ナイ} {デス / デスネー。 / デスヨ ネー。}	1	IV-2-		2	N/A, {A I / A n / V ナイ} {デス / デスネー。 / デスヨ ネー。}	出現数
IV-2-		3	N/A, {V ル / V タ / A I / A n / N } {マス / デス} {。 / ネ。 / デ スネー。}	33	IV-2-		3	N/A, {V ル / V タ / A I / A n / N } {マス / デス} {。 / ネ。 / デ スネー。}	8
IV-2-		8	N/A, {V / A I / A n / N タ} ト題 {イマス。 / ウンデス。 / テルンデ スヨー。 / ッテ。}	3	IV-2-		8	N/A, {V / A I / A n / N タ} ト題 {イマス。 / ウンデス。 / テルン デスヨー。 / ッテ。}	2
IV-2-		9	N/A, V タホウガイイ {ト題イマス。 / デショウ。 / ンジャナイデショ ウ。 / ンジャナイカト題イマス。}	3	IV-2-		9	N/A, V タホウガイイ {ト題イマス。 / デショウ。 / ンジャナイデシ ョウ。 / ンジャナイカト題イマス。}	1
IV-2-		11	V {マシタ。 / マセン。 / マスネ。}	2					
IV-2-		19	N/A, {V ル / V タ / A I / A n } ウケ {デス。 / ナンデス。}	1					

【表7-3】図書館レファレンスの相談の談話の「話段」と「小話段」における「要求」系と「提供」系の機能文型

話段	小話段	図書館レファレンス				
		機能文型				出現数
A相談開始の話段						
B相談かけの話段	B1相談提示の小話段	Ⅲ-1〈確認要求〉	Ⅲ-1-	1	NハV{ル/タ} (トイウ) ワケデスネ?	2
			Ⅲ-1-	2	Nガ {V/A i/An} トイウコトデスカ {。/?/ネ?}	2
			Ⅲ-1-	16	NハA iデスカ?	2
		Ⅲ-2〈判定要求〉	Ⅲ-2-	2	N1ハ {N2/A i/An} デスカ。	1
			Ⅲ-2-	3	NハVンデスカ。・N1ハ {An/N2} ナノデショウカ。	4
			Ⅲ-2-	9	(φハ) Vテ (モ) イイデスカ?	2
		Ⅲ-4〈説明要求〉	Ⅲ-4-	3	N {ハ/トイウノハ}, {ドウ/イツ/ナン/ドッチ/イクツ/ドコ/ドウイウコト/ドンナコト/ドンクライ/何年生/何本/何時ゴロ/何号} {デスカ?/デス?/デシタカ?/ナンデショウ}。	1
			Ⅲ-4-	12	ドウ (イウフウニ/ヤッテ) V {タラ/バ} (イイデショウカ。	1
		Ⅳ-1〈事実報告〉	Ⅳ-1-	3	Nハ/ヲ, Vテイマス。	3
		Ⅳ-2〈意見説明〉	Ⅳ-2-	1	N1ハ, N2デス。	1
			Ⅳ-2-	3	Nハ, {Vル/Vタ/A i/An/N} ン {マス/デス} {。/ネ。/デスネ。}	10
			Ⅳ-2-	6	Nハ, {V/A i/An/N} トイウコト {デショウ (ネ) /デスネ。}	2
			Ⅳ-2-	11	V {マシタ。/マセン。/マスネ。}	1
			Ⅳ-2-	13	Nハ, V1 {カラ, タメニ, ノデ} (V2)。	2
			Ⅳ-2-	14	Nハ, V1 { (ン) ケド/ガ/ノニ, } (V2)。	4
			Ⅳ-2-	24	Nハ, V1 {ル/ナイ} {ト/バ/タラ} {A iク/Nニ/Anニ} V2マス。	2
		Ⅳ-4〈意志表明〉	Ⅳ-4-	1	NハVマス。	2
			Ⅳ-4-	8	Vタイト {。トコロナンデスカ。}	2
			Ⅳ-4-	9	Vタイノデスケレドモ。	8
	B2相談内容確認の小話段	Ⅲ-1〈確認要求〉	Ⅲ-1-	2	Nガ {V/A i/An} トイウコトデスカ {。/?/ネ?}	1
			Ⅲ-1-	6	N {ハ/ガ} V {マス/マシタ} {ネ/ヨネ?}	1
			Ⅲ-1-	9	(N1ハ) N2デス {カ/ネ}。	1

話段	小話段	図書館レファレンス				
		機能文型				出現数
	話段		Ⅲ-1-	16	N/A i デスカ?	3
		Ⅲ-2〈判定要求〉	Ⅲ-2-	1	N/V {マス/マシタ} カ?	7
				2	N1/A {N2/A i /An} デスカ。	4
			Ⅲ-2-	3	N/Vンデスカ。・N1/A {An/N2} ナノデショウカ。	2
		Ⅲ-3〈選択要求〉	Ⅲ-3-	1	N1/A {V/A i /An/N2} デスカ? (ソレトモ/アルイハ/φ) N3デスカ?	1
		Ⅲ-4〈説明要求〉	Ⅲ-4-	2	N/A {ナンカ/何ニ/イクツカラ/イツ/ドウ/ドンナN2ヲ} V {マスカ?/マシタカ?/デマスカ?/デマシタカ?}	2
				3	N {ハ/トイウノハ}, {ドウ/イツ/ナン/ドッチ/イクツ/ドコ/ドウイウコト/ドンナコト/ドンクライ/何年生/何本/何時ゴロ/何号} {デスカ?/デス?/デシタカ?/ナンデショウ}。	1
		Ⅲ-5〈単独行為要求〉	Ⅲ-5-	1	NヲVテクダサイ (ネ)。	1
				3	NヲVテミテクレマスカ?/Vテミテイタダメマスカ?	2
		Ⅳ-1〈事実報告〉	Ⅳ-1-	2	Nガアリマス。/アリマセン。	1
				3	N/A/ヲ, Vテイマス。	1
		Ⅳ-2〈意見説明〉	Ⅳ-2-	1	N1/A, N2デス。	2
				3	N/A, {V/L/Vタ/A i /An/N} ン {マス/デス} {。/ネ。/デスネ。}	7
			Ⅳ-2-	8	N/A, {V/A i /An/Nダ} ト思 {イマス。/ウンデス。/テルンデスヨー。/ッテ。}	2
				10	N/A, Vテ {シマイマス。/シマウンデス。/キチャイマス。テキチャウ (ンデス)。}	1
			Ⅳ-2-	11	V {マシタ。/マセン。/マスネ。}	1
			Ⅳ-2-	13	N/A, V1 {カラ, タメニ, ノデ} (V2)。	8
				14	N/A, V1 { (ン) ケド/ガ/ノニ, } (V2)。	10
			Ⅳ-2-	24	N/A, V1 {ル/ナイ} {ト/バ/タラ} {A i ク/Nニ/Anニ} V2マス。	2
		Ⅳ-3〈感情表出〉	Ⅳ-3-	1	N {ガ/デ/モ} A i /Anデス。N1ガN2デス。	2
		Ⅳ-4〈意志表明〉	Ⅳ-4-	6	N1/A, N2ヲVテ {ミマス。/ミタイト思イマス。}	1
				9	Vタイノデスケレドモ。	1
C 相談 つけ の話 段	C 1 回 答 提 供 の 小 話 段	Ⅲ-1〈確認要求〉	Ⅲ-1-	1	N/V{ル/タ} (トイウ) ワケデスネ?	6
				2	Nガ {V/A i /An} トイウコトデスカ {。/?/ネ?}	4
			Ⅲ-1-	3	N1/V { (ル/タ) /Ai/An/N2} ンデス {ネ?/ヨネ?}	3

話段	小話段	図書館レファレンス				
		機能文型				出現数
			Ⅲ-1-	4	N1 {ガ/ハ} {Anナ/Ai/N2} デス {ネ?ヨネ?}	1
			Ⅲ-1-	6	N {ハ/ガ} V {マス/マシタ} {ネ/ヨネ?}	2
			Ⅲ-1-	16	N/Aiデスカ?	1
		Ⅲ-2〈判定要求〉	Ⅲ-2-	1	N/V {マス/マシタ} カ?	9
			Ⅲ-2-	2	N1/A {N2/Ai/An} デスカ。	6
			Ⅲ-2-	3	N/Vンデスカ。・N1/A {An/N2} ナノデショウカ。	6
			Ⅲ-2-	7	N/Vタコト (ガ) アリマスカ?	1
			Ⅲ-2-	9	(φハ) Vテ (モ) イイデスカ?	2
		Ⅲ-4〈説明要求〉	Ⅲ-4-	2	N/A {ナンカ/何ニ/イクツカラ/イツ/ドウ/ドンナN2ヲ} V {マスカ?/マシタカ?/デマスカ?/デマシタカ?}	2
			Ⅲ-4-	3	N {ハ/トイウ/ハ}, {ドウ/イツ/ナン/ドッチ/イクツ/ドコ/ドウイウコト/ドンナコト/ドノクライ/何年生/何本/何時ゴロ/何号} {デスカ?/デス?/デシタカ?/ナンデショウ}。	4
			Ⅲ-4-	12	ドウ (イウフウニ/ヤッテ) V {タラ/バ} (イイデショウカ。	1
		Ⅲ-5〈単独行為要求〉	Ⅲ-5-	1	NヲVテクダサイ (ネ)。	13
			Ⅲ-5-	2	NヲVテミテクダサイ。	2
			Ⅲ-5-	5	NヲVテイタダイテ。/Vテイタダクト。/Vテイタダケルトカ。	1
			Ⅲ-5-	6	NヲVテイタダケレバ/テイタダキタイト (φ/ト思ウ, 思イマスケド)	1
		Ⅳ-1〈事実報告〉	Ⅳ-1-	1	N/A (ノハ), Vマス/Vマセン。Vテ, Vシ, /Vナイデス。	12
			Ⅳ-1-	2	Nガアリマス。/アリマセン。	4
			Ⅳ-1-	3	N/A/ヲ, Vテイマス。	1
			Ⅳ-1-	4	N/A (Vヨウ, Vコト, Niノト, Aiノ, An) ニナリマス。/ナリマシタ。	1
			Ⅳ-1-	6	N/A, Vルコトガデキマス。/デキマセン。/Vラレマス。/Vラレマセン。/動詞の可能形	3
		Ⅳ-2〈意見説明〉	Ⅳ-2-	1	N1/A, N2デス。	23
			Ⅳ-2-	2	N/A, {Ai/An/Vナイ} {デス/デスネー。デシタネー。/デスヨネー。}	3
			Ⅳ-2-	3	N/A, {Vル/Vタ/Ai/An/N} N {マス/デス} {。/ネ。/デスネ。}	35
			Ⅳ-2-	4	N/A, {V/Ai/An/Nノ} {ヨウ/ラジイ/ミタイ/ソウ} デス。	3
			Ⅳ-2-	5	N/A, {V/Ai/An/N} カモシレマセン {。/ネー。}	2

話段	小話段	図書館レファレンス				
		機能文型				出現数
			Ⅳ-2-	7	N1ハ、 {N2/An} ジャナイ {デショウカ (ネー)。/デスカ?/カシラ。}	1
			Ⅳ-2-	8	Nハ、 {V/Ai/An/Nダ} ト思 {イマス。/ウンデス。/テルンデスヨー。/ッテ。}	24
			Ⅳ-2-	9	Nハ、 Vタボウガイイ {ト思イマス。/デショウ。/ンジャナイデショウカ。/ンジャナイカト思イマス。}	57
			Ⅳ-2-	10	Nハ、 Vテ {シマイマス。/シマウンデス。/キチャイマス。テキチャウ (ンデス)。}	13
			Ⅳ-2-	11	V {マシタ。/マセン。/マスネ。}	14
			Ⅳ-2-	13	Nハ、 V1 {カラ、 タメニ、 ノデ} (V2)。	29
			Ⅳ-2-	14	Nハ、 V1 (ン) ケド/ガ/ノニ、 V2	2
			Ⅳ-2-	24	Nハ、 V1 {ル/ナイ} {ト/バ/タラ} {Aiク/Nニ/Anニ} V2マス。	21
		Ⅳ-4 〈意志表明〉	Ⅳ-4-	1	NハVマス。	1
	C 2 回答確認の小話段	Ⅲ-1 〈確認要求〉	Ⅲ-1-	2	Nガ {V/Aiイ/An} トイウコトデスカ {。/?/ネ?}	2
			Ⅲ-1-	3	N1ハV {ル/タ} /Ai/An/N2} ンデス {ネ?/ヨネ?}	1
			Ⅲ-1-	6	N {ハ/ガ} V {マス/マシタ} {ネ/ヨネ?}	1
			Ⅲ-1-	9	(N1ハ) N2デス {カ/ネ}。	3
			Ⅲ-1-	16	NハAiデスカ?	2
		Ⅲ-2 〈判定要求〉	Ⅲ-2-	1	NハV {マス/マシタ} カ?	1
				2	N1ハ {N2/Ai/An} デスカ。	7
		Ⅲ-2-		3	NハVンデスカ。・N1ハ {An/N2} ナノデショウカ。	3
		Ⅲ-4 〈説明要求〉	Ⅲ-4-	2	Nハ {ナンカ/何ニ/イクツカラ/イツ/ドウ/ドンナN2ヲ} V {マスカ?/マシタカ?/デマスカ?/デマシタカ?}	1
		Ⅲ-5 〈単独行為要求〉	Ⅲ-5-	1	NヲVテクダサイ (ネ)。	5
		Ⅲ-7 〈言い直し要求〉	Ⅲ-7-	7	相手の発話の聞き取れた部分まで反復	1
		Ⅳ-2 〈意見説明〉	Ⅳ-2-	1	N1ハ、 N2デス。	2
				2	Nハ、 {Ai/An/Vナイ} {デス/デスネー。デシタネー。/デスヨネー。}	1
				3	Nハ、 {Vル/Vタ/Ai/An/N} ン {マス/デス} {。/ネ。/デスネ。}	2
				8	Nハ、 {V/Ai/An/Nダ} ト思 {イマス。/ウンデス。/テルンデスヨー。/ッテ。}	24
				10	Nハ、 Vテ {シマイマス。/シマウンデス。/キチャイマス。テキチャウ (ンデス)。}	1

話段	小話段	図書館レファレンス				
		機能文型				出現数
			Ⅳ-2-	11	V {マシタ。／マセン。／マスネ。}	1
			Ⅳ-2-	13	N／＼, V1 {カラ, タメニ, ノデ} (V2)。	2
		Ⅳ-4 〈意志表明〉	Ⅳ-4-	6	N1／＼, N2ヲVテ {ミマス。／ミタイト思イマス。}	3
D相談終了の話段		Ⅲ-1 〈確認要求〉	Ⅲ-1-	16	N／＼A i デスカ?	1
		Ⅲ-2 〈判定要求〉	Ⅲ-2-	2	N1／＼ {N2／A i／An} デスカ。	1
		Ⅲ-5 〈単独行為要求〉	Ⅲ-5-	7	オ願イシマス。	2

医療相談、心理相談、図書館レファレンスの3種の相談の談話の話段と小話段に共通して見られた文型は、「B. 相談かけの話段」の「B-1. 相談提示の小話段」に4種、「B-2. 相談内容確認の小話段」に16種、「C. 相談うけの話段」の「C-1. 回答提供の小話段」に26種、計46種の文型であった。

また、「A. 相談開始の話段」、「D. 相談終了の話段」の2話段、「C. 相談うけの話段」の「C-2. 回答確認の小話段」に共通して見られた文型は認められなかった。

(1) ラジオの医療相談、ラジオの心理相談、図書館レファレンスの3種の相談の談話の「話段」と「小話段」に共通する「要求」系と「提供」系の文型

B. 相談かけの話段

B-1. 相談提示の小話段

「B. 相談かけの話段」の「B-1. 相談提示の小話段」は、相談者が相談内容を提示しており、IV-1〈事実報告〉IV-2〈意見説明〉は、相談者によるものである。

III-2〈判定要求〉1種

74. III-2-3 NハVンデスカ。・N1ハ{A_n/N2} ナノデショウカ。

IV-1〈事実報告〉1種

75. IV-1-3 Nハ/ヲ, Vテイマス。

IV-2〈意見説明〉2種

76. IV-2-1 N1ハ, N2デス。

77. IV-2-3 Nハ, {Vル/Vタ/A_i/A_n/N} N {マス/デス} {。/ネ。
/デスネ。}

以下の(例7-143)は、図書館レファレンスの談話【資料8】の「B-1. 相談提示の小話段」である。8相、10相、12相の下線部は、IV-2-3〈意見説明〉「～ハ～ンデス。」の文型である。

(例7-143) 図書館レファレンスの談話【資料8】の「B-1. 相談提示の小話段」

4相 えっとですねー、

5回 はい。

6相 あのー、論文探すときにー、

- 7 回 はい。
- 8 相 日本語の論文は、探せるんですけどー， IV-2-3 〈意見説明〉
- 9 回 はい。
- 10 相 英語の論文がですねー，
- 11 回 はい。
- 12 相 あの一，国会図書館のほうでも，探せないんですがー。 IV-2-3 〈意見説明〉

B-2. 相談内容確認の小話段

「B-2. 相談内容確認の小話段」は、回答者が相談者に質問し、相談者が答える小話段であり、3種の相談の談話に共通して見られたⅢ-1〈確認要求〉Ⅲ-1-6 N {ハ／ガ} V {マス／マシタ} ネ？／ヨネ？，Ⅲ-2〈判定要求〉Ⅲ-2-1 「NハV {マス／マシタ} カ？」，Ⅲ-4〈説明要求〉Ⅲ-4-3 「N {ハ／トイウノハ}，{ドウ／イツ／ナン／ドッチ／イクツ／ドコ／ドウイウコト／ドンナコト／ドノクライ／何年生／何本／何時ゴロ／何号}{デスカ？／デス？／デシタカ？／ナンデショウ}。」という要求の文型は、すべて回答者によるものである。

Ⅲ－1〈確認要求〉2種

78. Ⅲ-1-2 Nガ {V／A i イ／A n} トイウコトデスカ {。／？／ネ？}
79. Ⅲ-1-6 N {ハ／ガ} V {マス／マシタ} ネ？／ヨネ？

Ⅲ－2〈判定要求〉3種

80. Ⅲ-2-1 NハV {マス／マシタ} カ？
81. Ⅲ-2-2 N1ハ {N2／A i／A n} デスカ。
82. Ⅲ-2-3 NハVンデスカ。・N1ハ {A n／N2} ナノデショウカ。

Ⅲ－3〈選択要求〉1種

83. Ⅲ-3-1 N1ハ {V／A i／A n／N2} デスカ？（ソレトモ／アルイハ／
φ）N3デスカ？

Ⅲ－4〈説明要求〉2種

84. Ⅲ-4-2 Nハ {ナンカ／何ニ／イクツカラ／イツ／ドウ／ドンナN2ヲ} V
{マスカ？／マシタカ？／テマスカ？／テマシタカ？}
85. Ⅲ-4-3 N {ハ／トイウノハ}，{ドウ／イツ／ナン／ドッチ／イクツ／ドコ
／ドウイウコト／ドンナコト／ドノクライ／何年生／何本／何時

ゴロ／何号} {デスカ？／デス？／デシタカ？／ナンデショウ}。

IV-1〈事実報告〉2種

86. IV-1-2 Nガアリマス。／アリマセン。

87. IV-1-3 Nハ／ヲ, Vテイマス。

IV-2〈意見説明〉6種

88. IV-2-1 N1ハ, N2デス。

89. IV-2-3 Nハ, {Vル/Vタ/Ai/A n/N}ン {マス/デス} {。／ネ。／デスネ。}

90. IV-2-8 Nハ, {V/Ai/A n/Nダ}ト思 {イマス。／ウンデス。／テルンデスヨー。／ツテ。}

91. IV-2-10 Nハ, Vテ {シマイマス。/シマウンデス。／キチャイマス。テキチャウ (ンデス)。}

92. IV-2-11 V {マシタ。／マセン。／マスネ。}

93. IV-2-13 Nハ, V1 {カラ, タメニ, ノデ} (V2)。

以下の(例7-144)では、1638回のⅢ-4〈説明要求〉、1640回、1642回のⅢ-1〈確認要求〉1644回のⅢ-2〈判定要求〉がある。「B-2. 相談内容確認の小話段」においては、回答者の「要求」系のうち、Ⅲ-1〈確認要求〉、Ⅲ-2〈判定要求〉、Ⅲ-3〈選択要求〉、Ⅲ-4〈説明要求〉が順不同で繰り返される。

(例7-144) ラジオの医療相談の談話【資料2-5】の「B-2. 相談内容確認の小話段」

1638 回	それで、痰の色は <u>どうですか</u> ？	Ⅲ-4〈説明要求〉Ⅲ-4-3
1639 相	あの、きれいな <u>ん</u> です。	IV-2〈意見説明〉IV-2-3
1640 回	あー、透明であると <u>と</u> 。	Ⅲ-1〈確認要求〉Ⅲ-1-2
1641 相	はい。	Ⅲ-7-1〈応答〉
1642 回	しかし、切れにくい <u>と</u> 。	Ⅲ-1〈確認要求〉Ⅲ-1-2
1643 相	はい。	Ⅲ-7-1〈応答〉
1644 回	で、鼻は悪い <u>ですか</u> ？	Ⅲ-2〈判定要求〉Ⅲ-2-2
1645 相	ええ、あの、鼻水も <u>出ます</u> 。	IV-1〈事実報告〉IV-1-1

【図４－３】「B-2. 相談内容確認の小話段」における回答者の「要求」系の発話機能と相談者の「提供」系の発話機能の関係は、回答者の「要求」系と相談者の「提供」系の組み合わせを示したものである。「B-2. 相談内容確認の小話段」を形成するのは、回答者の「要求」と相談者の「提供」の「機能文型」とであるといえる。

【図４－３】「B-2. 相談内容確認の小話段」における回答者の「要求」系の発話機能と相談者の「提供」系の発話機能の関係

回答者の要求	⇒	相談者の提供
〈判定要求〉, 〈確認要求〉	⇒	〈応答〉, 〈事実報告〉, 〈意見説明〉 〈応答〉 + 〈事実報告〉, 〈応答〉 + 〈意見説明〉
〈説明要求〉	⇒	〈事実報告〉, 〈意見説明〉
〈選択要求〉	⇒	〈選択情報提供〉

C. 相談うけの話段

「C. 相談うけの話段」の「C-1. 回答提供の小話段」は、回答者が回答する小話段である。相談者に指示をするⅢ-5〈単独行為要求〉「Ⅲ-5-1 NヲVテクダサイ（ネ）。」, 相談者の現在の状況を説明する, IV-2〈意見説明〉「IV-2-1 N1ハ, N2デス。」「IV-2-8 Nハ, {V/Ai/An/Nダ} ト思 {イマス。／ウンデス。／テルンデスヨー。／ッテ。}」, 「IV-2-13 Nハ, V1 {カラ, タメニ, ノデ} (V2)。」, 相談者に助言をする「IV-2-9 Nハ, Vタハウガイイ {ト思イマス。／デショウ。／ンジャナイデショウカ。／ンジャナイカト思イマス。}」など、回答者が「B. 相談かけの話段」を踏まえて得られた相談者の状況について見解を加えて説明し、相談者への助言、今後の対処法の指示を行う文型が共通して認められた。

C-1. 回答提供の小話段

Ⅲ－１〈確認要求〉５種

94. Ⅲ－１－１ NハV {ル／タ} (トイウ) ワケデスネ？
95. Ⅲ－１－２ Nガ {V/Ai/An} トイウコトデスカ {。／？／ネ？}
96. Ⅲ－１－３ N1ハV {(ル／タ) /Ai/An/N2} ンデス {ネ？／ヨネ？}
97. Ⅲ－１－４ N1 {ガ／ハ} {Anナ/Ai/N2} デス {ネ？ヨネ？}

98. Ⅲ-1-6 N {ハ／ガ} V {マス／マシタ} {ネ／ヨネ?}

Ⅲ-2 〈判定要求〉2種

99. Ⅲ-2-1 NハV {マス／マシタ} カ?

100. Ⅲ-2-2 N1ハ {N2／A i／A n} デスカ。

Ⅲ-5 〈単独行為要求〉4種

101. Ⅲ-5-1 NヲVテクダサイ (ネ)。

102. Ⅲ-5-2 NヲVテミテクダサイ。

103. Ⅲ-5-5 NヲVテイタダイテ。／Vテイタダクト。／Vテイタダケルトカ。

104. Ⅲ-5-6 NヲVテイタダケレバ／テイタダキタイト (φ／ト思ウ, 思イマスケド)

Ⅳ-1 〈事実報告〉5種

105. Ⅳ-1-1 Nハ (／ハ), Vマス／Vマセン。Vテ, Vシ, ／Vナイデス。

106. Ⅳ-1-2 Nガアリマス。／アリマセン。

107. Ⅳ-1-3 Nハ/ヲ, Vテイマス。

108. Ⅳ-1-4 Nハ (Vヨウ, Vコト, Nニ／ト, A i く, A n) ニナリマス。／ナリマシタ。

109. Ⅳ-1-6 Nハ, Vルコトガデキマス。／デキマセン。／Vラレマス。／Vラレマセン。／動詞の可能形

Ⅳ-2 〈意見説明〉11種

110. Ⅳ-2-1 N1ハ, N2 デス。

111. Ⅳ-2-2 Nハ, {A i／A n／Vナイ} {デス／デスネー。デシタネー。／デスヨネー。}

112. Ⅳ-2-3 Nハ, {Vル／Vタ／A i／A n／N} シン {マス／デス} {。／ネ。／デスネ。}

113. Ⅳ-2-4 Nハ, {V／A i／A n／Nノ} {ヨウ／ラシイ／ミタイ／ソウ} デス。

114. Ⅳ-2-5 Nハ, {V／A i／A n／N} カモシレマセン {。／ネー。}

115. Ⅳ-2-7 N1ハ, {N2／A n} ジャナイ {デショウカ (ネー)。／デスカ?／カシラ。}

116. Ⅳ-2-8 Nハ, {V／A i／A n／Nダ} ト思 {イマス。／ウンデス。／テ

ルンデスヨー。／ツテ。}

117. IV-2-9 Nハ, Vタホウガイイ {ト思イマス。／デショウ。／ンジャナイデショウカ。／ンジャナイカト思イマス。}

118. IV-2-10 Nハ, Vテ {シマイマス。／シマウンデス。／キチャイマス。テキチャウ (ンデス)。}

119. IV-2-11 V {マシタ。／マセン。／マスネ。}

120. IV-2-13 Nハ, V1 {カラ, タメニ, ノデ} (V2)。

(例7-145) ラジオの医療相談の談話【資料2-3】の「C-1. 回答提供の小話段」

841 回 えー、腸の検査を受けたこ、受けたほうがいいと思いますしー、IV-2〈意見説明〉

842 相 あーそうですか。

843 回 あの、そして、薬をちょっと、変えてみたほうが、 IV-2〈意見説明〉 IV-2-9

844 相 はい。

845 回 いいと、私は思いますねー。 IV-2〈意見説明〉 IV-2-9

846 相 あーそうですか。

847 回 はい。

848 相 // はい。

849 回 今一の状態、ちょっと、つ、辛そうでかわいそうだし、 IV-2〈意見説明〉 IV-2-2

850 相 はい。

851 回 なるべく早く先生に相談してみてください。 III-5〈単独行為要求〉 III-5-2

852 相 はい、わかりました。

853 回 はい。

(例7-145) は、「C-2. 回答提供の小話段」の終了部である。IV-2〈意見説明〉のIV-2-9「Nハ, Vタホウガイイ {ト思イマス。／デショウ。／ンジャナイデショウカ。／ンジャナイカト思イマス。}」で回答者が対処法を述べるが、まだ直接的な指示までは行っていない。843 回, 845 回「そして、薬をちょっと、変えてみたほうが、いいと、私は思いますねー。」の「Vてみる」や、「私は～思います。」が回答者自身の見解であることを示していると考えられる。

III-5〈単独行為要求〉の機能文型は、「C-1. 回答提供の小話段」に必ず現れるが、III-5

〈単独行為要求〉が突然現れるのではなく、Ⅲ-1〈事実説明〉Ⅲ-2〈意見説明〉で現在の病状、症状や、それに対する回答者の見解を述べ、その後用いられる。

852 相「わかりました。」は、相談者の回答に対する納得を表すサインであると考えられる。Ⅳ-2-11 V {マシタ。} という機能文型は、「C-1. 回答提供の小話段」で回答者の回答を、相談者がどう受け入れたかを示す重要な機能文型であると考えられる。

7. 3 日本語の相談の談話型

7. 2. 1と7. 2. 2で、本研究における「要求」系と「提供」系の機能文型について述べた。日本語の相談の「談話型」については、第4章【図4-5】の医療相談、第5章【図5-5】の心理相談、第6章【図6-5】の図書館レファレンスの談話で、それぞれ挙げた。本節では、【表7-2】で【表7-3】で示した、医療相談と心理相談の話段と小話段に共通して見られた「要求」系と「提供」系の機能文型をもとに、日本語の相談の談話型について考察する。

「談話型」とは、相談の談話の全体構造を形成するものであり、話段と小話段の成立を決定付ける機能文型を伴うものである。医療相談と心理相談の「談話型」で示したものと同じく、「C. 相談うけの話段」の「C-1. 回答提供の小話段」の終了部から4種の展開パターンになる。相談の談話における話段、小話段の展開を示すと、以下の【図7-1】のようになる。

【図7-1】日本語の相談の談話における「話段」と「小話段」の展開パターン

パターン1				パターン2				パターン3				パターン4			
1	A. 相談開始の話段			1	A. 相談開始の話段			1	A. 相談開始の話段			1	A. 相談開始の話段		
2	B. 相談かけの話段	2-1	B-1. 相談提示の小話段	2	B. 相談かけの話段	2-1	B-1. 相談提示の小話段	2	B. 相談かけの話段	2-1	B-1. 相談提示の小話段	2	B. 相談かけの話段	2-1	B-1. 相談提示の小話段
		2-2	B-2. 相談内容確認の小話段			2-2	B-2. 相談内容確認の小話段			2-2	B-2. 相談内容確認の小話段			2-2	B-2. 相談内容確認の小話段
3	C. 相談うけの話段	3-1	C-1. 回答提供の小話段	3	C. 相談うけの話段	3-1	C-1. 回答提供の小話段	3	C. 相談うけの話段	3-1	C-1. 回答提供の小話段	3	C. 相談うけの話段	3-1	C-1. 回答提供の小話段
4	D. 相談終了の話段			3-2		C-2. 回答確認の小話段				3-2	C-2. 回答確認の小話段	4	B. 相談かけの話段	4-1	B-2. 相談内容確認の小話段
		4	D. 相談終了の話段					3-3		C-1. 回答提供の小話段	5	C. 相談うけの話段	5-1	C-1. 回答提供の小話段	
								4	D. 相談終了の話段			6	D. 相談終了の話段		
医療1件 心理0件				医療9件 心理5件				医療0件 心理1件				医療5件 心理3件			

注 日本語の相談の談話の「話段」、「小話段」の展開の4パターンを示したものである。
各話段の右に話段の順序を、各小話段の右に小話段の順序を枝番号で示す。
表の最下段に、各パターンのデータ数を示した。

【図 7－1】を見ると、話段の左上に付した話段の展開の順序を示した番号が最も少ないパターン 1 は、4 パターンの中で、最も単純な展開である。「C-1. 回答提供の小話段」で、相談者が「わかりました。」等で、回答に納得したことを示し、「D. 相談終了の話段」へと展開するものである。

パターン 2 からパターン 4 は、「C. 相談うけの話段」の「C-1. 回答提供の小話段」の後で、展開のしかたが異なる。

パターン 2 は、「C. 相談うけの話段」の「C-1. 回答提供の小話段」の後、「C-2. 回答確認の小話段」へと進むもので、相談者が回答を確認し、納得して終了するものである。

以下の例は、540 相から「C-2. 回答確認の小話段」が始まる。

(例 7－146) 「C-1. 回答提供の小話段」から「C-2. 回答確認の小話段」へ

533 回 その、うー、つ、えー、体に、入れ方という、補給の仕方は、

534 回 いろいろ、おー、その方の生活のパターンや、先生の考え方でいろいろあると思いますが、

535 相 はい。

536 回 あー、是非続けて頂きたいと思いま//すね。

537 相 あーそうですか。

538 回 はい。

539 相 はい。

→540 相 じゃあ、そうすると、日常の生活とかですね、

541 回 はい。

542 相 その環境、あの一自分の動かす、あの一体の具合とかですね、

543 回 はい。

544 相 それによって、その値を一見極めてですね？

545 回 //はい、そうですね？

546 相 先生と相談しながら、

547 回 はい。

548 相 それが、ワンクール一月 10 本のワンクールなのか、

549 相 週に 1 回にするとかです//ね？

550 回 はい。

551 相 それを自分で掴めばいい訳ですね？//これから。

552 回 そうなんです。

553 回 はい。

554 相 は一、は一。 (【資料4-2】)

540 相の〈b10 話をまとめる機能〉の「じゃあ、」、〈b3 話を進める機能〉の「そうすると、」という〈談話表示〉、Ⅲ-1 〈確認要求〉「Ⅲ-1-1 NハV{ル/タ/バイイ} (トイウ) ワケデスネ？」の発話により、相談者が自分の理解を回答者に確かめている。552 回「そうなんです。」、553 回「はい。」という〈応答〉の発話によって自分の理解が合っているという返答をうけ、納得して相談を終えるものである。

パターン3は、「C. 相談うけの話段」の「C-1. 回答提供の小話段」の後、「C-2. 回答確認の小話段」へと進むものである。相談者は、「C-1. 回答提供の小話段」で回答に納得せず、さらに別の回答を求める。(例7-17)は、1963 相「でも、」から「C-2. 回答確認の小話段」が開始する。

(例7-147)「C-1. 回答提供の小話段」から「C-2. 回答確認の小話段」へ

1950 回 その、そういうお付き合いの中で、ご自分の問題と、

1951 相 はい。

1952 回 それから、さまざまな責任と？

1953 相 はい。

1954 回 それから、将来？

1955 相 はい。

1956 回 それに伴って、

1957 相 //はい。

1958 回 なんかいろんなマイナスの面が出てくるっていうことが、あの一、
//必ず、その、考えて頂けるはずですから、

1959 相 うーん。

1960 相 そうです//か？

1961 回 みんなで努力してみましようね。

1962 相 そうですか？

→1963 相 でも、

1964 回 ええ。

1965 相 その子がね？

1966 回 はい。

1967 相 大きくなった時に//ね？

1968 回 はい。

1969 相 自分が母親になった時に？

1970 回 は//い。

1971 司 うーん。

1972 相 弟に対して、

1973 回 はい。

1974 相 やったこととか、

1975 相 自分にやられたことが、

1976 回 //はい。

(略)

1983 相 戻ってき、くるようなことが困るのでー。

1984 回 ええ。

1985 相 私は、今、自分ー//で、

1986 司 あーー。

1987 相 孫娘に、

1988 回 はい。

1989 相 どう対処していいかなー。

(【資料4－3】)

(例7－147)は、孫の態度に悩む祖母が相談している。1961 回「みんなで努力してみましようね。」というⅢ-5〈単独行為要求〉の発話の前後で、相談者が〈否認の注目表示〉の「そうですか？」によって、現時点での回答に納得がいけないという様子を示している。1963 相～1989 相の「C-2. 回答確認の小話段」の「でも、」という〈B6 話をさえぎる機能〉の〈談話表示〉により、1985 相、1987 相、1989 相で、孫娘への対処の方法を聞いている。

パターン4は、「C. 相談うけの話段」の「C-1. 回答提供の小話段」の後、「B-2. 相談

内容確認の小話段」へと進むものである。回答者が的確に回答するために、前の「B-2. 相談内容確認の小話段」で聞き出せなかったことや、確認したいことを聞く。以下の（例7-18）は、911回から「B-2. 相談内容確認の小話段」が始まる。

（例7-148）「C-1. 回答提供の小話段」から「B-2. 相談内容確認の小話段」へ

894回 あの一、要するに、いー、肋骨の回りのですね、

895相 はい。

896回 広げて、

897回 呼吸を、おー、助ける筋肉を、大きく除いてあるわけですねー。

898相 はい。

899回 かつ、そこに放射線をかけたわけですよ。

900相 はい。

901回 そうすると、まあ、あの一、癒着も起こりますし、

902回 肺に、いー、肺の中にも障害が少し出るし、

903回 それから、肺の外側ですよー。

904相 はい。

905回 つまり、いー、胸のほうにも、おー、肺を動かすための筋肉の力が、非常に、
いー、落ちてしまったと//ということなんですね。

906相 はい。

907相 はい。

908回 それで、おそらく、あの一、右の肺の、動きが、あー、悪いというふうに、

909回 お話されたんだと思うんですね。

910相 はい。

→911回 で、あの一、左から、【左のほう】は、なんともないというふうに、

912回 // 【説明されてる】わけでしょ？

913相 いや、なんともない、

914相 実は、「ま//だ動いてる。」っておっしゃってるんです？

915回 ええ。

916回 あー、そうですか。

917相 はい。

（【資料5-4】）

回答者は、「C-1. 回答提供の小話段」でなぜ右肺の動きが悪くなったのかを相談者に順序立てて説明している。911 相「で、」という〈b1 話を重ねる機能〉の〈談話表示〉とともに、左肺について「で、あの一、左から、【左のほう】は、なんともないというふうに、【説明されてる】わけでしょ？」というⅢ-1〈確認要求〉「Ⅲ-1-1 NハV{ル／タ} (トイウ) ワケデスネ？」によって、相談者に確認している。

パターン3と4は、「B-2. 相談内容確認の小話段」、「C-2. 回答確認の小話段」の後に、「C-1. 回答提供の小話段」へと進む。パターン4で、相談者が回答に納得できなければ、「C-1. 回答提供の小話段」と「C-2. 回答確認の小話段」が反復することもある。

【表7-2】、【表7-3】の医療相談と心理相談の話段と小話段に共通して見られた機能文型とともに、日本語の相談の話段の展開を【図7-2】に示した。話段と小話段を形成する「要求」系と「提供」系の文型を「日本語の相談の談話型-「話段」と「小話段」を形成する「要求」系と「提供」系の文型」に示した。各話段、小話段の*と番号にそれぞれの文型が見られるように示してある。

相談の談話は、相談者と回答者の発話のやりとりによって展開するため、話段と小話段に不可欠だと思われる文型も、「要求」系と「提供」系、あるいは、「提供」系と「受容」、「関係作り・儀礼の挨拶」と「関係作り・儀礼の挨拶」を対にして提示した。

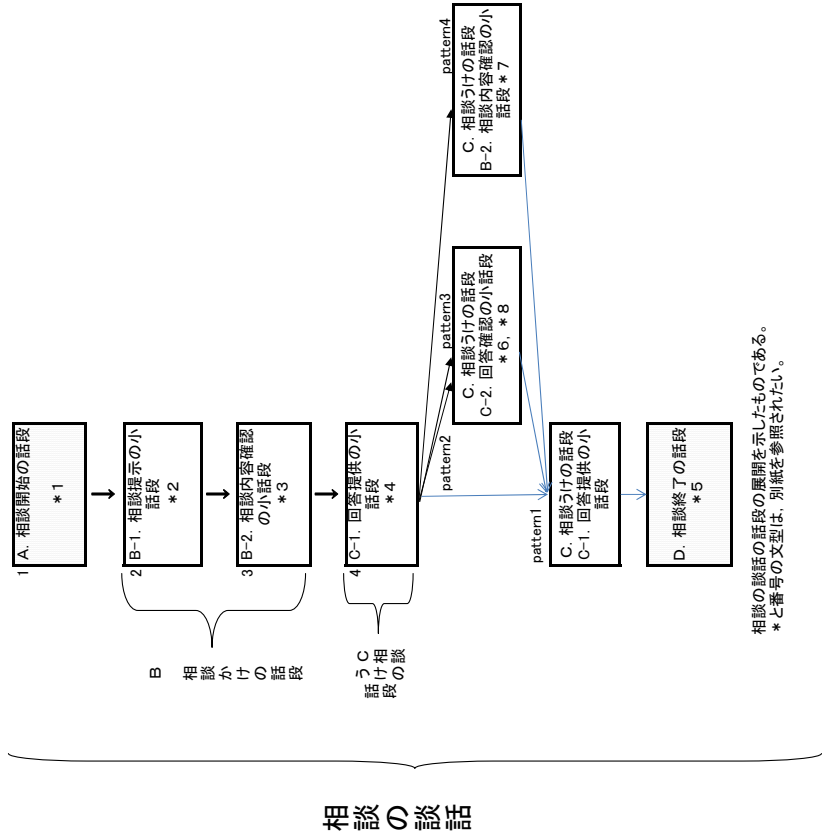
前述のように、「C-1. 回答提供の小話段」(【図7-2】の*4)の最後の発話が、相談者による「IV-2-11 Vマシタ。」(「わかりました。）」という回答に対する理解を示す発話なのか、単なる受容の「V-2b-2 アー」+「V-2d-5 ソウデスカ」(「あー、そうですか。」という〈承認+確認の注目表示〉)なのかによって、パターン2から4までが決まると考えられる。

本研究では、相談の談話を構成する「要求」系と「提供」系の機能文型を分類したが、「要求」系と「提供」系の文型とその他の機能が共起することによって、より自然な談話型が提示できる。

発話機能では、I-1〈注目要求〉、II.〈談話表示〉に含まれる接続表現、V-2〈自己注目表示〉は、要求系、提供系の発話に付随する。また、IV-7の〈応答〉は、要求系のⅢ-1〈確認要求〉、Ⅲ-2〈判定要求〉に対する答えとして、提供系に付随する応答詞である。V.〈注目表示〉に含まれるV-1〈関係作り・儀礼〉は、相談の談話の開始部の「A. 相談開始の話段」、終了部の「D. 相談終了の話段」に現れる。V-3〈相手注目表示〉の〈a 継続〉、〈b 承認〉、〈d 確認〉は、提供系の発話に対するあいづちとして、発せられる。

しかし、相談の談話における「要求」系と「提供」系は、相談者と回答者の情報のやりとりを示す上で最も重要な発話であるといえる。日本語の会話教育、聴解教育において、談話型を機能文型とともに示すことで、文型の積み上げ練習ではなく、談話を始め、続け、終えるための文型の教授ができるのではないかと考えられる。

【図7-2】日本語の相談の談話型



日本語の相談の談話型－「語段」と「小話段」を形成する「要求」系と「提供」系の文型

	文型	発話機能
*1	回答者 Ⅲ-5- 相談者 V-1-	15 N {ø/ニ/ハ} ドウゾ。 4 ヨロシクお願いします。
*2	回答者 Ⅲ-4- 相談者 Ⅳ-2- 相談者 Ⅳ-4- 回答者 Ⅳ-2-	7 ドソウナンデスカ？ 3 Nガ、Vンデス。 9 Vタイノデスカレドモ。 11 Vマシタ。
*3	回答者 Ⅲ-2- 相談者 Ⅳ-1- 回答者 Ⅲ-1- 相談者 Ⅳ-7- 回答者 Ⅲ-4- 相談者 Ⅳ-1- 回答者 Ⅲ-3- 相談者 Ⅳ-2-	1 N/H/Vマスカ？ 1 ハイ、N/H/Vマス。 3 N1/H/Vナインデスネ？ 1 ハイ。 5 N/H、ドウデマスカ？ 3 N/H/Vタイムス。 1 N1/H/Vデジョウカ。ソレトモVンデジョウカ。 4 N/H、Vヨウデス。
*4	回答者 V-2b- 相談者 V-2h- 回答者 Ⅳ-2- 相談者 V-2b- 回答者 Ⅳ-2- 相談者 V-2b- 回答者 Ⅳ-2- 相談者 Ⅳ-2- 相談者 V-2b-	2 アー V-2d- 5 ソウデスカ 6 ハイ。 7 N1/H、N2ジャナイデジョウカ。 2 アー。 23 N/H、Vタイムス。 2 アー V-2d- 5 ソウデスカ 1 N1ガN2デス。 11 Vマシタ。
*5	回答者 V-1- 相談者 V-1-	2 アー V-2d- 5 ソウデスカ 7 アリガトウゴザイマス。 24 参考ニドウゾ
*6	Ⅲ-1- Ⅲ-5-	14 N1/H/N2デインデスネ？ 4 NニVデハイカガデジョウカ。
*7	Ⅲ-1- Ⅳ-2-	4 N1/H/A iデスネ？ 2 N/H、Anデス。
*8	V-2C- Ⅳ-2-	3 ウーン。 3 N1/H、N2ンデスネ？

第8章 機能文型による日本語の会話教育の可能性

8. 1 日本語初級と中級教材における相談の談話の構造と機能文型

8. 1. 1 日本語の会話教材における「相談場面」——機能文型に基づく談話型の観点から

本章では、日本語初級、中級教材において、「相談場面」の会話例を分析する際に、以下の検討事項を設けた。

1. 学習目標および学習項目の文型から「相談場面」であるかどうかを判断する。

回答者が「～たほうがいい」、「～てください」という助言をしたり、相談者が「～んです。」と現在の症状を説明する。

学習目標として、「病気の症状や処方箋の指示を聞く。」「病気やけがをした時、病院で自分の症状が説明でき、医師や看護婦の簡単な説明が理解できる。」等が掲げられている会話教材を「相談場面」と見なす。

2. 会話教材の参加者の相互関係が、医師と患者、不動産屋と客、図書館員と学生などの専門的知識を持つ回答者と、知識を請う相談者として設定されている会話を「相談場面」とみなす。

上記の条件を満たす日本語初級、中級教材の「相談場面」の会話例を、「相談の談話」と見なすことにする。

以下、次の3点から、日本語の会話教材の「相談の談話」を分析・考察をする。

1. 日本語の初級と中級教材では、専門的知識を持つ回答者に相談を持ちかけ、有益な回答を受ける「相談の談話」が、どのように取り扱われているか。
2. 日本語の初級と中級教材における相談の談話の「談話型」は、どのようなものか。
3. 日本語の初級と中級教材における相談の談話には、どのような発話機能文型があるのか。

本章で扱う初級レベルの日本語の会話教材は、ラジオの相談の談話および図書館レファレンスの相談の談話と発話機能を比較するために、すべて「文」と「発話」に区切って分析する。

8. 1. 2 日本語初級教材における相談の談話の構造と発話機能の傾向

本章の分析対象とする日本語初級教材は、5種類の6場面で発話総数284発話からなる相談の談話である。

【表8-1】に、本章で取り上げる日本語の初級教材を示した。各相談の談話の発話総数は、教科書と教材を分析対象としたため、会話文全体が14発話（『みんなの日本語初級I第17課』）から、84発話（『楽しく聞こう第34課』）と、長さもまちまちである（平均発話数47.3発話）。

相談内容は、病院での医師と患者の談話（4例）、図書館での職員と学生の談話（1例）、身の上相談の談話（1例）の3種である。

【表8-1】 日本語初級教材における相談場面の談話

	教科書	編者名	出版年	出版社	課	タイトル	学習項目	会話の参加者の関係	総発話数
1	新日本語の基礎Ⅱ（本冊 漢字かなまじり版）	（財）海外技術者研修協会	1993	スリーエーネットワーク	第32課	病院で	1. すぐ 病院へ 行った ほうが いいです。 2. あしたは たぶん いい 天気でしょう。 3. 午後から 雪が 降るかも しれません。	医師／患者	18
2	楽しく聞こう 文化初級日本語聴解教材	文化外国語専門学校日本語課程	1992	凡人社	第16課	病院	～んです。	医師／患者	65
3	楽しく聞こう 文化初級日本語聴解教材	文化外国語専門学校日本語課程	1992	凡人社	第34課	身の上相談	使役形	司会者／回答者／相談者	84
4	日本語映像教材 初級編 日本語でいじょうぶ	国立国語研究所	1996	インターコミュニケーション	Seg.23	これはどうですかー相談するー	—	図書館職員／学生	39
5	新文化初級日本語Ⅰ	文化外国語専門学校日本語課程	2000	凡人社	第16課	病院	1. ひざを打った <u>ん</u> です。 2. A：まだ痛いですか。 B：いいえ、もう痛くありません。 3. もう少しかかる <u>かもしれませ</u> ん。 4. おふろに入ら <u>ない</u> でください。 5. 治る <u>まで</u> おふろに入らないでください。 6. （1）寝る <u>直に</u> 、はりかえてください。 （2）ごはんを食べた <u>後（で）</u> 、飲んでください。	医師／看護婦／患者	64
6	みんなの日本語	スリーエーネットワーク	1998	スリーエーネットワーク	第17課	どうしましたか	1. ここで 写真を 撮らないで ください。 2. パスポートを 見せなければ なりません。（見せないといけません） 3. レポートは 出さなくても いいです。	医師／患者	14
発話数合計									284
平均発話数									47.3

教科書2.『楽しく聞こう』の第16課は、病院で3人の患者の診察の様子を、3種類聴解させるもので、それぞれ約20発話の診察場面の談話である。

また、3.『楽しく聞こう』第34課は、「身の上相談の手紙とお礼の手紙をもとにアドバイスを聞く」という学習目標であり、手紙の相談内容が提示されている。回答者は、相談内容を相談者の手紙から把握し、テレビのワイドショーの番組中で回答するという設定になっている。手紙とテレビという伝達媒体は異なるが、「悩み相談の手紙」の部分を「B.

相談かけの話段」の「B-1. 相談提示の小話段」と見なし、番組の開始部分から「A. 相談開始の話段」として認定した。

(例 8－1) 『楽しく聞こう』第 34 課「B-1. 相談提示の小話段」, 「A. 相談開始の話段」

		悩み相談の手紙	
B 相談 かけ の 話 段	B1 相談 提示 の 小 話 段	1	高校生の娘を持つ母親です。
		2	娘はひとりっ子で高校2年になりますが、
		3	最近、学校へ行かなくなってしまって、
		4	どうしたらいいか悩んでいます。
		5	1年の時は元気に学校に通っていたのですが、
		6	急に学校が嫌いになったようです。
		7	ときどき、「どうして英語や数学を勉強しなくちゃいけないの?」と言って
		8	母親の私を困らせます。
		9	最近は学校にも行かないで
		10	渋谷や新宿に出かけて、
		11	夜、遅くうちに帰ってきます。
		12	私が学校でのことを心配して注意しても
		13	「もう学校をやめるからいいの。」と言って
		14	私の言うことを聞きません。
		15	どうしたらいいのでしょうか。
A 相談 開始 の 話 段		16	司会 ええ、お昼のワイドショー身の上相談の時間です。
		17	司会 皆様、ご機嫌いかがですか。
		18	司会 ええ、今日はこういうお手紙をいただきました。
		19	司会 高校生のお子さんの問題でお悩みのa子さんのケースですが、
		20	司会 ええ、今日は実はa子さんにこのスタジオに来ていただいていますの
		21	司会 実際にお話をうかがいながら
		22	司会 皆様のご意見をお話いただきたいと思います。
		23	司会 ゲストの方々は、東東大学教授の石井先生(石井:よろしく。),
		24	司会 作家の鈴木先生(鈴木:どうぞよろしく。),
		25	司会 そして、教育評論家の田中先生です(田中:よろしくお願いします。)
		26	司会 先生方、よろしくお願い致します。
		27	司会 それではさっそくですが、このa子さんの悩みについて、どのように
		28	司会 お話をうかがいたいと思います。

日本語初級教材 6 種における相談の談話の構造を、【表 8－2－1】～【表 8－2－3】に示した。「B. 相談かけの話段」「C. 相談うけの話段」は全ての談話に共通して見られるが、「A. 相談開始の話段」は『みんなの日本語』第 17 課、『新日本語の基礎Ⅱ』第 32 課の診察場面の談話には見られない。

『みんなの日本語』第 17 課、『新日本語の基礎Ⅱ』第 32 課の診察場面の談話は、医師の「どうしましたか?」という〈説明要求〉から談話が開始し、患者の「きのうからのどが痛くて、熱も少しあります。」等の症状を説明する発話が続いており、「B. 相談かけの話段」の「B-1. 相談提示の小話段」から開始していると考えられる。

【表8-2-1】日本語初級教科書・教材の相談の談話の構造

1.『新日本語の基礎Ⅱ』 第32課	
話段	小話段
B 相談かけの話段	B1 相談提示
C 相談うけの話段	C1 回答提供
B 相談かけの話段	B2 相談内容確認
C 相談うけの話段	C2 回答確認
D 相談終了の話段	

2.『楽しく聞こう』 第16課	
話段	小話段
A 相談開始の話段	
B 相談かけの話段	B1 相談提示
C 相談うけの話段	C1 回答提供
D 相談終了の話段	
A 相談開始の話段	
B 相談かけの話段	B1 相談提示
	B2 相談内容確認
	B1 相談提示
C 相談うけの話段	C1 回答提供
D 相談終了の話段	
A 相談開始の話段	
B 相談かけの話段	B1 相談提示
	B2 相談内容確認
C 相談うけの話段	C1 回答提供
D 相談終了の話段	

【表8-2-2】日本語初級教科書・教材の相談の談話の構造

3.『楽しく聞こう』 第34課		4.『日本語映像教材 初級編 日本語でだい じょうぶだいじょうぶ』 Seg.23	
話段	小話段	話段	小話段
B相談かけの話段	B1 相談提示	A相談開始の話段	
A相談開始の話段		B相談かけの話段	B1相談提示
C相談うけの話段	C1 回答提供		B2相談内容確認
B相談かけの話段	B2 相談内容確認	C相談うけの話段	C1回答提供
C相談うけの話段	C1 回答提供	D相談終了の話段	
B相談かけの話段	B2 相談内容確認		
C相談うけの話段	C1 回答提供		
B相談かけの話段	B2 相談内容確認		
C相談うけの話段	C1回答提供		
	C1回答提供		
	C1回答提供		
D相談終了の話段			

【表8-2-3】日本語初級教科書・教材の相談の談話の構造

5.『新文化初級日本語 I』第16課		6.『みんなの日本語』第17課	
話段	小話段	話段	小話段
A 相談開始の話段		B 相談かけの話段	B1 相談提示
B 相談かけの話段	B1 相談提示	C 相談うけの話段	C1 回答提供
	B2 相談内容確認		C2 回答確認
C 相談うけの話段	C1 回答提供		C1 回答提供
	C2 回答確認	D 相談終了の話段	
	C1 回答提供		
	C2 回答確認		
D 相談終了の話段			

「B-2. 相談内容確認の小話段」「C-1. 回答提供の小話段」「C-2. 回答確認の小話段」は、何度も反復されることはなく、談話の構造として単純なものとなっている。

日本語初級教材における相談の談話の構造

- A. 相談開始の話段
- B. 相談かけの話段
 - B-1. 相談提示の小話段
 - B-2. 相談内容確認の小話段
- C. 相談うけの話段
 - C-1. 回答提供の小話段
 - C-2. 回答確認の小話段
- D. 相談終了の話段

以下に示す談話は、日本語教育の映像教材のシナリオの初級編であり、第6章のレファレンスの自然談話と同じく、図書館の職員と学生による談話例である。

学生の「C-2. 回答確認の小話段」は見られず、図書館員が回答をしたあと、本を貸し出す手続きへと場面が移る。

「A. 相談開始の話段」は、1 学生の「すいません。」という〈注目要求〉に対する2 職員の「はい。」〈承認の注目表示〉の2 発話からなる。

「B. 相談かけの話段」の「B-1. 相談提示の小話段」では、3 学生「日本がアジアから輸入している物のことをしらべているんですが。」という〈意見説明〉による前置き、5 の「何かわかりやすい本はないでしょうか。」という〈説明要求〉の発話により、相談が提示される。

(例 8 - 2)

日本語映像教材 初級編 日本語でだいじょうぶ
(1996) 国立国語研究所

セグメント 23 これはどうですか ――相談する――
(ストーリー I 「勉強」(f))

張 玉萍(中国人、日本語学校学生) 図書館職員(学校の近くの
登場人物 図書館の職員)

話段 小話段		場面(1)図書館のカウンター。	
A相談開始 の話段		1 張	すいません、……。
		2 職員	はい。
B 相談 かけの話段	B-1相談 提示	3 張	あのう、日本がアジアから輸入している物のことをしらべているんですが。
		4 職員	あ、ぼうえきですか。
		5 張	はい、何かわかりやすい本はないでしょうか。
	B-2相談 内容確認	6 職員	アジアからの輸入についてわかりやすく書いた本。……
		7 職員	うーん、輸入というと、どんな物を輸入しているかとか、
		8 職員	どうやって運ぶかとか、
		9 職員	いろいろな問題がありますよねえ。
		10 張	ええ、とくに、東南アジアからの輸入品のしゅるいのことを。
		11 職員	……そうですね。
		12 職員	日本語でいいんですね。
		13 張	はい。
		14 張	できるだけ新しいのを。
C 相談 うけの話段	C-1回答 提供	15 職員	こんなのはどうですか。
		16 張	ええと、「アジアの経済と日本」、現代経済研究所編。
		17 職員	それから、これもいいかもしれません。
		18 職員	工業せいひんについては、これがいちばんくわしいと思いますよ。
		19 職員	え、3年前だから、
		20 職員	ちょっと古くなっているかもしれませんが。
		21 張	あ、でも、いちおう見てみます。
		22 職員	ええと、「アジアの経済と日本」、現代経済研究所編。
		23 職員	ここで見ますか。
		24 職員	それとも、借りてゆきますか。
		25 張	ええと、ちょっと時間がないので。
		26 職員	じゃ、こちらへどうぞ。
		27 張	はい、ありがとうございます。
		28 職員	あと、その本の参考文献のリストを見ると、
		29 職員	もっといろんな本が出ていでしょう。
D 相談 終了の話段			場面(2)貸し出しカウンター。
		30 職員	それじゃ、ちょっと貸してください。
		31 張	はい。
		32 職員	貸し出しカードはありますね。
		33 張	はい。
		34 職員	はい、どうぞ。
		35 張	どうも。
		36 職員	貸し出しは2週間ですから、
		37 職員	3月ついたちまでに返してください。
		38 張	はい。
		39 張	どうもありがとうございました。

B. 相談かけの話段

6 職員から 14 学生の「B-2. 相談内容確認の小話段」で、7～9 職員、12 職員の〈確認要求〉により、学生の探している本に対する情報を確認する。

C. 相談うけの話段

15 職員～29 職員の「C-1. 回答提供の小話段」では、15 職員「こんなのはどうですか。」〈説明要求〉、17 職員「これもいいかもしれません。」という〈意見説明〉により、学生の相談内容に見合う本を提示し、23～24 職員「ここで見ますか。それとも借りてゆきますか。」〈選択要求〉で、学生に答えを選択させ、25 学生は、「ええと、ちょっと時間がないので。（借りていく）」と〈選択情報提供〉で答える。さらに、28～29 職員の〈意見説明〉で、今後学生が自分で本を探す方法を提示している。

30 職員～39 学生の「D. 相談終了の話段」は、相談が終了した後の本の貸し出しカウンターの場面でのやりとりである。30 職員、37 職員の「～てください。」という〈単独行為要求〉の発話で貸し出し手続きを迫え、39 学生の「ありがとうございました。」という〈関係作り・儀礼〉の発話で談話が終了する。

日本語教育映像教材のシナリオの談話は、「あのう」「ええと」等の〈間投表現〉や、終助詞「ね。」等の表現や、4 職員「あ、」、7 職員「うーん、」、11 職員「…そうですね。」等の〈自己注目表示〉も多用されているが、実質的な発話のやりとりが大半を占め、相手に対するあいづちがほとんど用いられないため、不自然さは否めない。

【表 8－3】は、初級の日本語教材における 6 場面の相談の談話の発話機能による分析結果である。表の最下段の「発話機能別の発話数」を見ると、V. 受容の「相手注目表示」の〈継続の注目表示〉はなく、他の「相手注目表示」に分類される発話も発話機能別発話総数 334 発話中 35 発話（10.5%）で、約 1 割しかないことから、初級の日本語教材の談話は、実質的な発話のやりとりに終始した談話であることがわかる。

また、II. 談話表示「接続表現」は、b3〈話を進める機能〉が 10 発話、b1〈話を重ねる機能〉7 発話、b10〈話をまとめる機能〉3 発話、b2〈話を深める機能〉3 発話が見られるのみである。

III. 要求の〈言い直し〉、IV. 提供の〈言い直し要求〉の発話がないことも、単純な発話のやりとりで終了する初級の談話に見られる特徴である。

【表 8－4】は、初級の日本語教材、6 場面の相談の談話の発話機能別の典型的な例を挙げたものである。

【表 8－3】日本語初級教材における相談の談話の発話機能

発話機能		注目要求		I 間投詞的表現		II 談話表示										III 要求				IV 提供				V 受容							参加者別発話数合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
						A 話題開始機能	a1 話を始める機能	a2 話を再び始める機能	B 話題継続機能	b1 話を重ねる機能	b2 話を深める機能	b3 話を進める機能	b4 話をうながす機能	b5 話を展す機能	b6 話をそらす機能	b7 話をそらす機能	b8 話をさへさえる機能	b9 話を交える機能	b10 話をまとめる機能	C 話題終了機能	c1 話を終える機能	c2 話を一応終える機能	1 確認要求	2 判定要求	3 選択要求	4 説明要求	5 禁止行為要求	6 共同行為要求	7 意見直し要求	1 事実報告		2 意見説明	3 感情表出	4 意志表明	5 選択情報提供	6 意見直し	7 応答	1 関係作り・確立	2 自己注目表示	3 相手への注目表示	a 継続	b 承認	c 否認	d 確認	e 興味	f 共感	g 終了	h 同意																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
1 新日本語の基礎Ⅱ	第32課 病院で	相談者	0	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		

【表8-4】日本語初級教材における各発話機能の例

発話機能		例文	出典
I	1 注目要求		
	2 間投詞的表現	あのう、会社へ 行っても いいですか。	新基礎Ⅱ
	A 話題開始機能		
	a1 話を始める機能	それでは、A子さんにご質問しますが、 Aさんは今お仕事をしていたらいいですか。	楽しく34課
	a2 話を再び始める機能		
	B 話題継続機能		
	b1 話を重ねる機能	それから、これもいいかもしれません。	大丈夫seg23
	b2 話を深める機能	ええ、とくに、東南アジアからの輸入品の しゅるいのことを。	大丈夫seg23
	b3 話を進める機能	じゃあ、今Aさんにとって、いちばん関心 のあることはなんですか。	楽しく34課
	b4 話をうながす機能		
II	b5 話を戻す機能		
	b6 話をはさむ機能		
	b7 話をそらす機能		
	b8 話をささげる機能		
	b9 話を交える機能		
	b10 話をまとめる機能	では、そちらの待合室でお待ちください。	新文化初級日本語16課
	C 話題終了機能		
	c1 話を終える機能	じゃ、お大事に。	みんな17課
	c2 話を一応終える機能		
III	1 確認要求	保険証はいらないんですか？	新文化初級日本語16課
	2 判定要求	アレルギーは ありませんか。	新基礎Ⅱ
	3 選択要求	ここで見ますか。 それとも、借りてゆきますか。	大丈夫seg23
	4 説明要求	どう しましたか。	新基礎Ⅱ
	5 単独行為要求	じゃ、シャツを 脱いで、そこに 横に なっ て ください。	新基礎Ⅱ
	6 共同行為要求		
	7 言い直し要求		
IV	1 事実報告	熱も少しあります。	みんな32課
	2 意見説明	でも、親の生き方が子供に影響を与えると 思っています。 勉強はしたい時にすればいいですよ。 無理をしないほうがいいですよ。	楽しく34課 楽しく34課 みんな32課
	3 感情表出	もちろん、たばこをすってはいけませんよ。	楽しく16課
	4 意志表示	それでは、A子さんにご質問しますが、	楽しく34課
	5 選択情報提供	ええと、ちょっと時間がないので。	大丈夫seg23
	6 言い直し		
	7 応答	いいえ、結婚してから仕事はしていません。	楽しく34課
V	1 関係作り・儀礼	お大事に。 どうもありがとうございました。	新基礎Ⅱ 大丈夫seg13
	2 自己注目表示	とくに、東南アジアからの輸入品のしゅるいの ことを。 ……そうですね。	大丈夫seg23
	3 相手注目表示		
	a 継続		
	b 承認	ううん、大丈夫だと思ってもねえ……	楽しく34課
	c 否認	家賃は 8万円です。 うーん……。	楽しく15課
	d 確認	ちょっと 駅から 遠いですね。	
	e 興味	はい、ありがとうございました。	楽しく16課
	f 共感	娘の問題を考えると、 夜も寝られないんです。 そうですね。	楽しく34課
	g 終了	はい、お大事に。	楽しく16課
	h 同意	あのう、それからくしゃみがとまらないんです。 くしゃみ。 はい。	楽しく16課

I～Vまでの5種は、I→相手に対する呼びかけや、自身の発話に含まれる間投詞的表現、
II→談話表示、III→要求、IV→提供、V→受容を表す。

「II. 談話表示」の3類14種は、佐久間(2002)の「接続表現の文脈展開機能」による。

「III. 要求」の下位項目7種のうち、1～4は、国立国語研究所(1960)による。

その他3項目(単独行為要求)(共同行為要求)(言い直し要求)は、ザトラウスキー(1993)による。

各機能のうち、Ⅱ．談話表示「接続表現」の a2〈話を再び始める機能〉b4〈話をうながす機能〉、b5〈話を戻す機能〉、b6〈話をはさむ機能〉、b7〈話をそらす機能〉、b8〈話をさえぎる機能〉、b9〈話を変える機能〉、c2〈話を一応終える機能〉、Ⅲ．要求〈言い直し要求〉、Ⅳ．提供〈言い直し〉、Ⅴ．受容「相手注目表示」の〈継続の注目表示〉、〈興味の注目表示〉は、本章の初級の日本語教材の相談の談話には見られなかった。

Ⅳ．提供の〈意見説明〉には、「～んです。」の文が多く含まれている。初級教科書の学習目標に掲げられている「んです。」文を用いて、相談者が症状を説明する表現が用いられるためである。また、Ⅳ．提供の〈意見説明〉には、回答者の「Vばいいんですよ。」「Vたほうがいいですよ。」という文型が見られるが、本研究のラジオの相談番組には、より婉曲的な表現も見られる。

Ⅳ．要求の〈単独行為要求〉は、「Vてください。」の文型がほとんどで、これは回答者が用いる発話であるが、本研究のラジオの相談番組には、さらに多くの表現が含まれる。

【表 8－5】は、初級の日本語教材における 6 場面の相談の談話のⅢ．要求とⅣ．提供のうち、分析対象に見られたⅢ．要求の〈確認要求〉〈判定要求〉〈選択要求〉〈説明要求〉〈単独行為要求〉の 5 機能、Ⅳ．提供の〈事実報告〉〈意見説明〉〈感情表出〉〈意志表示〉の 4 機能の文型と発話の例を挙げたものである。

Ⅲ．要求の〈確認要求〉には 2 文型、〈判定要求〉には 3 文型、〈選択要求〉には 1 文型、〈説明要求〉には 5 文型、〈単独行為要求〉には、2 文型認められた。また、Ⅳ．提供の〈事実報告〉には 2 文型、〈意見説明〉には 8 文型、〈感情表出〉には 2 文型、〈意志表示〉には 1 文型認められた。

〈確認要求〉の「NはVよね。」、〈単独行為要求〉「NをVてくださいね。」や、〈意見説明〉の「NはVたほうがいいですね。／いいですよ。」、〈感情表出〉の「NをVてはいけませんよ。」等の、終助詞「ね」「よ」を含む発話により、談話を展開させていく上での参加者相互の自然さも考えられているようである。が、終助詞が含まれていても、〈単独行為要求〉や〈感情表出〉等の、特に回答者が用いる発話は、ラジオの相談番組などの談話にはより多くの文型が含まれる。

以上、本項で取り上げた初級の教材の相談場面の談話は、「B．相談かけの話段」「C．相談うけの話段」がすべての談話例に見られた。しかし、実質的な発話のやりとりが大半を占めていることから、あいづちの多用などは、聴解教材においても、あまり観察されず、自然さに欠けるものであった。

【表8-5】 日本語初級教材の相談の談話における「要求」系と「提供」系の機能文型

発話機能	文型No.	文型	文例	相談開始		相談かけの経段		相談うけの経段		相談終了	文型別合計	機能別合計に対する割合
				相談提示	相談内容確認	相談内容確認	回答提供	回答確認				
Ⅲ-1 (補綴要求)	*Ⅲ-1-1	N/A/V{IL/タ} (トイウ) ウケデスネ?		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-1-2	2 Nガ {V/A I/イ/A n} トイコトデスカ {ネ?/ネ?}		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	Ⅲ-1-3	N1A/V {0L/タ} /A/A n/N2} ンデス {ネ?/ヨネ?}	日本語で [いい] なんです。[だいじょうぶ 相談かけ 相談内容確認 12 回]	0	1	2	0	1	0	4	44.4%	—
		文型別合計に対する割合	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	100.0%	—	—	—
	*Ⅲ-1-4	N1 {ガ/ハ} {A nガ/A I/N2} デス {ネ?ヨネ?}		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-1-5	Nハ {V/A I/A n/イ} タコトモナイ。 {デスネ?}		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	Ⅲ-1-6	N {ハ/ガ} V {マス/マシタ} ネ?/ヨネ?	うーん、輸入というと、どんな物を入っているのかと、どうやって運ぶのか、いろいろな [情報] が [あります] よねえ。[だいじょうぶ 相談かけ 相談内容確認 7 回]	0	0	4	0	1	0	5	55.6%	—
		文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%	20.0%	0.0%	100.0%	—	—	—
	*Ⅲ-1-7	{めハ} デスヨネー。/ネエ。/ネ?/ソウデスネ?		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-1-8	N1ハ {V/A n/AI/N2} ンジャナイデスカ?		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-1-9	{N1ハ} N2デス {カ/ネ}。		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-1-10	N/A/V {IL/タ} デショウ?		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-1-11	N/A/Vマスデショウカ。		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-1-12	N/A/Vデスカネ。		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-1-13	Nハバルミタイヨネ?		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-1-14	NヲV {タラ/デモ/タホウカ} イイン {デスネ?/デショ?}・N1ハN2 タイデショウカ。		—	—	—	—	—	—	—	—	—
*Ⅲ-1-15	N/A/V {IL/タ} ンデショウカ。		—	—	—	—	—	—	—	—	—	
*Ⅲ-1-16	N/A/A I デスカ?		—	—	—	—	—	—	—	—	—	
Ⅲ-2 (判定要求)	2文型			合計	0	1	6	0	2	0	9	100.0%
			機能別合計に対する割合	0.0%	11.1%	66.7%	0.0%	22.2%	0.0%	100.0%	—	—
	Ⅲ-2-1	N/A/V {マス/マシタ} カ?	何か重いものを【食べ】ましたか。[減しく16 相談かけ 相談内容確認 30 回]	0	0	1	0	0	0	1	14.3%	—
			文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	—	—
	Ⅲ-2-2	N1ハ {N2/A I/A n} デスカ。	あ、【ほうえき】ですか。[だいじょうぶ 相談かけ 相談提示 4 回]	0	1	0	1	0	0	2	28.6%	—
			文型別合計に対する割合	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	100.0%	—	—
	*Ⅲ-2-3	N/A/V nデスカ。・N1ハ {A n/N2} ナノデショウカ。		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	Ⅲ-2-4	N/A/Aリマス {カ/ネ} ?	【食欲】はありますか。[減しく16 相談うけ 回答提供 15 回]	0	0	1	0	1	0	2	28.6%	—
			文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%	—	—
	*Ⅲ-2-5	N/A/V {IL/タ} ウケデスカ。		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-2-6	N/A/Vデマスカ?		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-2-7	N/A/Vタコト {カ} アリマスカ?		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-2-8	Nハバルヨウデスカ。		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	Ⅲ-2-9	{めハ} Vテ {モ} イイデスカ?	あのう、会社へ【行っ】てもいいですか。[新日本語の基礎 相談うけ 回答確認 12 回]	0	0	1	0	1	0	2	28.6%	—
			文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%	—	—
	4文型			合計	0	1	3	1	2	0	7	100.0%
		機能別合計に対する割合	0.0%	14.3%	42.9%	14.3%	28.6%	0.0%	100.0%	—	—	

発話機能	文型No.	文型	文例	相談開始	相談かけの経段		相談うけの経段		相談終了	文型別合計	機能別合計 に対する割合
					相談指示	相談内容確認	回答提供	回答確認			
Ⅲ-3 (選択要求)	Ⅲ-3-1	N1A (V/A1/An/N2) デスカ? (レトモ/アルハ/φ) N3 デスカ?	ええと、「アジアの経済と日本」、現代経済研究所編。ここで【買ます】か。それとも、 【贈りてゆきます】か。【だいいじょうぶ 相談うけ 回答提供 22 回】 文型別合計に対する割合	0	0	2	0	0	0	2	100.0%
				0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	1 文型		合計	0	0	2	0	0	0	2	100.0%
			機能別合計に対する割合	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
Ⅲ-4 (説明要求)	*Ⅲ-4-1	1 何カ (Vタコトハ) アリマスカ? /アリマセンカ?		—	—	—	—	—	—	—	—
	Ⅲ-4-2	N1A (ナツカ/何ニイックラ/イツ/ドウ/ドンナN2ヲ) V (マヌ カ? /マヌカ? /デマスカ? /デマシタカ?)	はい、何かわかりやすい本は【ない】でしようか。【だいいじょうぶ 相談かけ 相談提示 5 回】 文型別合計に対する割合	0	1	0	0	0	0	1	33.3%
			0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%		
	Ⅲ-4-3	N (ハ/トウソノハ) 、【ドウイッ/ナン/ドツチ/イクツ/ドコ/ドウイ ウコト/ドンゴコ/ドノウライ/何年生/何本/何冊/コロ/何巻】 (デス カ? /デスカ? /デシタカ? /デシタシヨウ?) 。	【真】はどうですか。【楽しく 16 相談かけ 相談内容確認 55 回】 文型別合計に対する割合	0	0	1	1	1	0	3	42.9%
			文型別合計に対する割合	0.0%	14.3%	42.9%	14.3%	28.6%	0.0%	100.0%	
	*Ⅲ-4-4	4 (ドウ/イカガ) デシヨウ (カ/カネ、)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-4-5	5 N1A、 (ドウ/ドンナフウニ/何回/何種類/ドノ程度) Vデマスカ?	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-4-6	6 何ヲVテホシインデスカ?	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-4-7	7 ドンナ (ドノヨウサ、ドウイウ) Nデスカ? /Nデシタカ? /Nデシヨウカ、	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-4-8	8 ドンナNガV(デスカ? /Vノデシヨウカ? /Nデシマスカ?)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-4-9	9 ドノアタリガVマスカ?	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-4-10	10 ドナタNデシヨウカ、	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Ⅲ-4-11	ドウV (タインデスカ? /タンデスカ?)	どう【じ】だんですか。【楽しく 16 相談かけ 相談提示 26 回】 文型別合計に対する割合	0	3	0	0	0	0	3	—	
			0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	100.0%	—	
*Ⅲ-4-12	12 どう (イウフウニ/ヤツチ) V (タラ/ハ) (イイデシヨウカ、	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
*Ⅲ-4-13	13 N1ガVルノハ、ドウシデシタスカ?	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3 文型		合計	0	4	1	1	1	0	7	100.0%	
		機能別合計に対する割合	0.0%	57.1%	14.3%	14.3%	14.3%	0.0%	100.0%	—	
Ⅲ-5 (導行要求)	Ⅲ-5-1	N1ヲVテダクサイ (ネ) 。	後で【真】を【もらっ】てください。【楽しく 16 相談うけ 回答提供 20 回】 文型別合計に対する割合	0	1	1	13	5	0	20	80.0%
			0.0%	5.0%	5.0%	65.0%	25.0%	0.0%	100.0%		
	*Ⅲ-5-2	N1ヲVテミデクダサイ、	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-5-3	N1ヲVテミデクレマスカ? /Nテミタイダケマスカ?	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-5-4	N1ヲV (チハ/Vタラ/テミタラ) (ドウ/イカガ) デシヨウカ (ネ) 。	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-5-5	N1ヲVテイダシ、 /Nテイダグト、 /Nテイダケルトカ、	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-5-6	N1ヲVテイダケレ/Vテイダゲキタイト (φノト思ウ、思イマスケト)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-5-7	才罷イマヌ、	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-5-8	N1ヲVテイダゲ/モウエマスカ? (ネ)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-5-9	N1ヲVテアガサ、 (ウダサイ)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-5-10	N1ヲVチ、 /。	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-5-11	N1ヲVタライイン/ノカタ、 /シヤナイデシヨウカ、 /シヤナイデスカ?	—	—	—	—	—	—	—	—	—
*Ⅲ-5-12	N1ヲVテミシヨウカ、	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

発話機能	文型No.	文型	文例	相談開始		相談かけの経緯		相談うけの経緯		相談終了	文型別合計	機能別合計に対する割合
				相談提示	相談内容確認	相談提示	相談内容確認	回答提供	回答確認			
Ⅲ-6 (対同行者等)	*Ⅲ-5-13	NヲVテミマシヨウネー。		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-5-14	NヲVルコト。		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	Ⅲ-5-15	N (6/N/A) ドウ。	じゃ、[こちら] へどうぞ、[だいじょうぶ 相談うけ 回答提示 25 回]	4	0	0	0	1	0	0	5	20.0%
				80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
		2文型		合計	4	1	1	14	5	0	25	100.0%
			機能別合計に対する割合	16.0%	4.0%	4.0%	20.0%	56.0%	20.0%	0.0%	100.0%	
	Ⅲ-6-1	NニVマシヨウ。	ちょっと [濁って] ましよ。 [楽しく16 相談かけ 相談提示 51 回]	0	1	0	0	0	0	0	1	100.0%
			機能別合計に対する割合	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
		1文型		合計	0	1	0	0	0	0	1	100.0%
			機能別合計に対する割合	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
Ⅲ-7 (言い直し要求)	*Ⅲ-7-1	モウ一度オネガイシマス。		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-7-2	ハッ?		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-7-3	エッ?		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-7-4	アッ?		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-7-5	ハイッ?		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-7-6	教えてモラエマス?		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-7-7	相手の発話の聞き取れた部分まで反復		—	—	—	—	—	—	—	—	—
		文型なし		合計	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
			機能別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	Ⅲ-7-1	N/A (ノ/A) 、 Vマス/Vマセ。 Vテ、 Vシ、 /Vナイデス。	ええ、今日はこういうお手紙を [いただき] ました。 [楽しく34 相談開始 18 回]	0	8	2	1	0	0	0	10	71.4%
Ⅳ-1 (意見報告)			文型別合計に対する割合	0.0%	80.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	Ⅳ-1-2	Nガリマス、 /アリマセ。	あまりありません。 [楽しく16 相談うけ 回答提示 16 回]	0	1	1	1	0	0	0	3	21.4%
			文型別合計に対する割合	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	*Ⅳ-1-3	N/Aヲ、 Vタイムス。		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅳ-1-4	N/A (Vヨ。 Vコト、 Nニ/ト、 Aク、 An) ニナリマス、 /ナリマシタ。		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅳ-1-5	N/A、 Vタコトガ/モアリマス、 /アリマセン、 /アルノネ?		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅳ-1-6	N/A、 Vルコトガチキマス、 /チキマセン、 /アラシマス、 /アラシマセシ、 /動詞の可能形		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	Ⅳ-1-7	NヲVチキマス、 /Vチキマスヨネ?	渋谷や新宿に出かけて、夜、遅くうちに [帰っ] てきます。 [楽しく34 相談かけ 相談提示 10 回]	0	1	0	0	0	0	0	1	7.1%
			機能別合計に対する割合	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
		3文型		合計	0	10	3	2	0	0	14	100.0%
Ⅳ-2 (意見説明)			機能別合計に対する割合	0.0%	71.4%	21.4%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	Ⅳ-2-1	N1/A、 N2デス。	ううん、 [これ] は完全に【愚弄】ですね。 [楽しく16 相談うけ 回答提示 58 回]	0	1	0	0	5	0	0	6	10.7%
			文型別合計に対する割合	0.0%	16.7%	0.0%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	Ⅳ-2-2	N/A、 {A1/An/Vナイ} (デス/デスネー、 デシタネー、 /デスヨネー、 }	雨が【強い】ですね。 [楽しく16 相談かけ 相談提示 11 回]	0	1	0	0	0	0	0	1	1.8%
			文型別合計に対する割合	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	Ⅳ-2-3	N/A、 {Vル/Vタ/A1/An/N1} (デス/デス) し、 /ネ、 /デスネ、 }	先生、 雨が【強い】んです。 [楽しく16 相談かけ 相談提示 48 回]	0	13	0	1	0	0	0	14	25.0%
			文型別合計に対する割合	0.0%	92.9%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

発話機能	文型No.	文型	文例	相談開始	相談かけの経段		相談うけの経段		相談終了	文型別合計	機能別合計に対する割合	
				相談開始	相談提示	相談内容確認	回答提供	回答確認				
	IV-2-4	N/A、{V/A1/A/n/N/} {ヨウ/ラシイ/ミタイ/ソウ} デス。	あの、【(鼻) は…【つまってる】みたいです。【楽しく16 相談かけ 相談内容確認 56 回】	0	0	3	0	0	0	3	5.4%	
	IV-2-5	N/A、{V/A1/A/n/N/} カモシレマセン。【、/ネー。】	文型別合計に対する割合 ちょっと驚が【ある】かもしれませんね。【楽しく16 相談うけ 回答提供 12 回】	0	0	0	4	0	0	4	7.1%	
	*IV-2-6	N/A、{V/A1/A/n/N/} トイコト【デショウ(ネ)/デスネ。】		—	—	—	—	—	—	—	—	
	*IV-2-7	N1/A、{N2/A/n/} ジャナイ【デショウカ(ネー)/デスカ?/カシラ】		—	—	—	—	—	—	—	—	
	IV-2-8	N/A、{V/A1/A/n/N/ガ} ト愚【イマス、/ウンデス、/テルンデスヨー。/ツサ。】	【学校をやめるといふのは、【少し問題がある】と思いますね。【楽しく34 相談うけ 回答提供 42 回】	0	3	0	6	0	0	9	16.1%	
	IV-2-9	N/A、Vタホウガイイ【ト愚イマス、/デショウ、/ンジャナイデショウカ、/ンジャナイカト愚イマス。】	文型別合計に対する割合 そして、音楽や絵を【習わせ】たほうがいいですよ。【楽しく34 相談うけ 回答提供 74 回】	0	0	0	8	0	0	8	14.3%	
	*IV-2-10	N/A、Vデ【シマイマス、/シマウンデス、/モチャイマス、デモチャウ(コエス)】	文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	—	
	*IV-2-11	V【マシタ、/マセン、/マスネ。】		—	—	—	—	—	—	—	—	
	IV-2-12	N/A、V1【タリ/トカ/シ】、V2【タリ/トカ/シ】{シテ、/シマス/スル/ネ?}	まあ、無理に学校へ行くだけだりやりたくない英語や数学をやらせるより、子供の好きなこと、たとえば、料理が好きな料理を【作らせ】たり、絵が好きな絵を【かかせ】たりしたほうがいいと思いますね。【楽しく34 相談うけ 回答提供 32 回】	0	0	0	5	0	0	5	8.9%	
	IV-2-13	N/A、V1【カラ、タメニ、/デ】{V2}、	最近の高校の問題は【難しいです】からね。【楽しく34 相談うけ 回答提供 50 回】	0	0	0	4	0	0	4	7.1%	
	IV-2-14	N/A、V1【(ウ) ケド/ガ/ノニ、】{V2}、	文型別合計に対する割合 ううん、大丈夫だと【思っ】てもねえ……【楽しく34 相談うけ 回答提供 56 回】	0	0	0	1	0	0	1	1.8%	
	*IV-2-15	N/A、V【ナクテハ/ナクレハ/ナクチャ】ナリマセン。	文型別合計に対する割合	—	—	—	—	—	—	—	—	
	*IV-2-16	N1/A、N2/N3【ガ/ハ】アリマス。		—	—	—	—	—	—	—	—	
	*IV-2-17	N/A、Vタインデス【ヨネ】、/ネ。		—	—	—	—	—	—	—	—	
	*IV-2-18	N/A、Vチイタンデショウ。		—	—	—	—	—	—	—	—	
	*IV-2-19	N/A、{Vル/Vタ/A1/A/n/} ワケ【デス、/ナンデス。】		—	—	—	—	—	—	—	—	
	*IV-2-20	N/A、{V1/A1/A/n/} {ヨウナ/アウニ} N2【ガ/モ】V2マ		—	—	—	—	—	—	—	—	
	*IV-2-21	Vルコトハアリマセン【ヨ】、		—	—	—	—	—	—	—	—	
	*IV-2-22	N/A、V【タイマス、/マス。】		—	—	—	—	—	—	—	—	
	IV-2-23	N/A、V【デ【モ】/タラ/ト/V/N2デモ】イイ【ト愚イマス/カモワリマセン、/ンジャナイデショウカ、】	学校は【やめ】てもいいんじゃないですか。【楽しく34 相談うけ 回答提供 37 回】	0	0	0	1	0	0	1	1.8%	
	*IV-2-24	N/A、V1【ル/ナイ】{ト/V/タラ}【A1/ク/Nニ/A/n/】V2マス。	文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	—	
	*IV-2-25	N/A、Vル【ハキダ/ハズタ】ト愚イマス。		—	—	—	—	—	—	—	—	
	*IV-2-26	N/A、Vチイル/デショウカ。		—	—	—	—	—	—	—	—	
	*IV-2-27	N/A、クナリマスネー。		—	—	—	—	—	—	—	—	
	11文型				合計	0	18	3	35	0	56	100.0%
					機能別合計に対する割合	0.0%	32.1%	5.4%	62.5%	0.0%	100.0%	

発話機能	文型No.	文型	文例	相談開始		相談かけの話段 相談提示 相談内容確認	相談うけの話段 回答提供 回答確認		相談終了	文型別合計	機能別合計 に対する割合
Ⅳ-3〈感情表出〉	*Ⅳ-3-1	N [ガ/デ/モ] A1/Aonデス。N1ガN2デス。		—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅳ-3-2	Nハ、Vル必要 [ガ/ハ] アリマ [ス、/セン。]		—	—	—	—	—	—	—	
	*Ⅳ-3-3	Nハ、Vナイトイクナイ [ンデス、/ウケデス。]		—	—	—	—	—	—	—	
	*Ⅳ-3-4	Nハ、Vテモショウガサインデス (ネ)。		—	—	—	—	—	—	—	
	合計			0	0	0	0	0	0	0.0%	
Ⅳ-4〈意見表明〉	Ⅳ-4-1	NハVマス。	それでは、a 子さんに【ご質問し】ますが、[楽しく34 相談かけ 相談内容確認 62 回] 文型別合計に対する割合	0	0	1	1	0	0	2	66.7%
				機能別合計に対する割合							
	*Ⅳ-4-2	N1ハ、N2ヲVヨウニシテイマス。	—	—	—	—	—	—	—	—	
	*Ⅳ-4-3	NハVタワケデスガ。	—	—	—	—	—	—	—	—	
	*Ⅳ-4-4	NハVマスゲトネ？	—	—	—	—	—	—	—	—	
	*Ⅳ-4-5	NヲVタイト思イマシテ、/思ウノデスガ。	—	—	—	—	—	—	—	—	
	Ⅳ-4-6	N1ハ、N2ヲVテ [ミマス、/ミタイト思イマス。]	また、うちへ帰って [考え] てみたいと願います。[楽しく34 相談終了 98 回] 文型別合計に対する割合	0	0	0	0	1	0	1	33.3%
				0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	—
	*Ⅳ-4-7	N1ハ、N2ヲVル気ハアリマセン。	—	—	—	—	—	—	—	—	
	*Ⅳ-4-8	Vタイト [、トコロナンデスガ。]	—	—	—	—	—	—	—	—	
	*Ⅳ-4-9	Vタイノデスケレトモ。	—	—	—	—	—	—	—	—	
	合計		0	0	1	1	1	1	0	3	100.0%
機能別合計に対する割合				0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	100.0%	—	

【注】 表の右欄に発話機能の「要求系」(Ⅲ-1〈確認要求〉、Ⅲ-2〈判定要求〉、Ⅲ-3〈選好要求〉、Ⅲ-4〈説明要求〉、Ⅲ-5〈単独行為要求〉、Ⅲ-6〈共同行為要求〉、Ⅲ-7〈言い直し要求〉)の62種、「提供系」(Ⅲ-1〈事実報告〉、Ⅲ-2〈意見説明〉、Ⅲ-3〈感情表出〉、Ⅲ-4〈意志表明〉)に見られた47種、計109種の文型を示す。

各発話機能の番号の*は、日本語初級教材に見られなかった文型であることを示す。

文型欄の書き方は、『日本語文法』(早稲田大学日本語研究教育センター編 2006)の凡例にしたがう。

表の「文例」欄には、日本語初級教材の例を挙げた。〔 〕内は、[教科書、課、話段、発話番号、参加者]をそれぞれあらわす。(楽しく→「楽しく聞こう」) だいじょうぶ→「日本語でだいじょうぶ!」

表右欄には、相談の各「話段」「小話段」の出現数を示した。各計に対する割合は、下段の「文型別合計に対する割合」に示す。「合計」「機能別合計に対する割合」は、各話段、小話段別の出現数の合計と機能別合計に対する割合をそれぞれ示す。

8. 1. 3 日本語中級教材における相談の談話の構造と発話機能の傾向

日本語の中級の会話教材は、【表 8－6】に示す全 5 種類の教科書からの 5 場面の相談の会話、発話総数 334 発話である。

【表 8－6】 日本語中級教科書、教材における相談場面の談話

	教科書	編者名	出版年	出版社	課	タイトル	学習項目	会話の参加者の関係	総発話数
1	『日本語教育映像教材 中級編 関連教材 伝え合うことば』	国立国語研究所	1994	大蔵省印刷局	Seg.23 場面④	会場の準備をする タスク: 診察を受ける	—	医師／患者	39
2	現代日本語コース中級 I《聴解ワークシート》解答・スクリプト編	名古屋大学言語文化学部日本語学科	1992	名古屋大学出版会	第8課 聞く練習B	助言する 医療費補助の申請をする	I. 「なる」と「する」 II. 比較文: より、ほど III. 副詞(時、述語の働き、程度、話者の感情) IV. ～てみる／みます	学生係／学生	59
3	現代日本語コース中級 II《聴解ワークシート》解答・スクリプト編	名古屋大学言語文化学部日本語学科	1992	名古屋大学出版会	第15課 聞く練習A	別れを告げる 電話教育相談	I. 「目的」表現(ために、ように、に) II. 伝達の表現「～そうだ」「～と言っていた」「～って」	回答者／相談者	149
4	『現代日本語コース中級 I』	名古屋大学日本語教育研究グループ	1988	名古屋大学出版会	第8課 会話1	助言する 会話1 研究室で	I. 「なる」と「する」 II. 比較文: より、ほど III. 副詞(時、述語の働き、程度、話者の感情) IV. ～てみる／みます	先生／学生	28
5	日本語中級 I	国際交流基金日本語国際センター	1990	凡人社	第9課	子どもの病気	(1)～してみたら～も (2)～といかないから、～しておく (3)～(の)ようでしたら、～ (4)～してもいいか	医師／患者	59
発話数合計									334
平均発話数									66.8

各相談の談話の発話総数は、会話教材を分析対象としたため、全 39 発話(『日本語教育映像教材中級編 伝え合うことば Seg. 24②』から～149 発話(『現代日本語コース中級 I《聴解ワークシート》第 15 課 A』)と、初級教材と同じく、長さはまちまちである。しかし、中級教材の平均発話数は、66.8 発話であり、初級教材の平均発話数 47.3 発話より長い。

相談内容も、初級教材と同様、病院での医師と患者の談話(2 例)、電話教育相談(1 例)等である。

【表 8－7】は、日本語中級教材における 5 場面の相談の談話の構造を示したものである。下記の A～D の 4 類の話段がすべての談話に含まれている。また、「B. 相談かけの話段」「C. 相談うけの話段」における 4 種の小話段のうち、「C-2. 回答確認の小話段」だけは、談話の内容によってないものもある。

日本語中級教材における相談の談話の構造

- A. 相談開始の話段
- B. 相談かけの話段
 - B-1. 相談提示の小話段
 - B-2. 相談内容確認の小話段
- C. 相談うけの話段
 - C-1. 回答提供の小話段
 - C-2. 回答確認の小話段
- D. 相談終了の話段

【表 8－7】日本語中級教科書・教材の相談の談話の構造

1. 『日本語教育映像教材 中級編 関連教材 伝え合うことば』Seg.23④		2. 『現代日本語コース中級Ⅰ』 《聴解ワークシート》解答・スクリプト編8B	
話段	小話段	話段	小話段
A 相談開始		A 相談開始の話談	
B 相談かけの話段	B1 相談提示	B 相談かけの話段	B1 相談提示
	B2 相談内容確認		B2 相談内容確認
C 相談うけの話段	C1 回答提供	C 相談うけの話段	C1 回答提供
	C2 回答確認		C2 回答確認
	C1 回答提供		C1 回答提供
D 相談終了			C2 回答確認
			C1 回答提供
		D 相談終了の話談	

3. 現代日本語コース中級Ⅱ 《聴解ワークシート》解答・スクリプト編15A		5. 『日本語中級Ⅰ』第9課	
話段	小話段	話段	小話段
A 相談開始の話段		A 相談開始の話段	
B 相談かけの話段	B1 相談提示	B 相談かけの話段	B1 相談提示
C 相談うけの話段	C1 回答提供		B2 相談内容確認
D 相談終了の話段			B1 相談提示
			B1 相談提示
			B2 相談内容確認
			C1 回答提供
4. 『現代日本語コース中級Ⅰ』 会話1第8課		A 相談開始の話段	
話段	小話段	B 相談かけの話段	
A 相談開始の話段		B 相談かけの話段	B1 相談提示
B 相談かけの話段	B1 相談提示		B2 相談内容確認
C 相談うけの話段	C1 回答提供	C 相談うけの話段	C1 回答提供
D 相談終了の話段		D 相談終了の話段	

以下に示すのは、国際交流基金日本語国際センター編(1990：73～83)『日本語中級Ⅰ』9課「子供の病気」である。「会話文」は全49文からなるが、学習項目としては、「電話口で」と「病院で」の場面が二つ設定されている。「各課の主な学習項目」は、「文型・文法」と「表現」の「二つの領域」に分けられている。(9課の「文型・文法」に挙げられている例は波線、「表現」に挙げられている例は実線の下線を鈴木が付した。また、文番号も鈴木が付した。)

(例8－3)『日本語中級Ⅰ』9課「子供の病気」

登場人物：マリー

看護婦

医師

場面：子供の具合が悪くなり、医師の診察を受ける

1. 電話口で

2. 病院で

(電話口で)

1 マリー もしもし。

2 看護婦 はい、山本医院です。

3 マリー リーと申しますが、夜分申しわけございません。

4 マリー 子供が急に熱を出しまして……。

5 看護婦 どんな具合ですか。

6 マリー 夕方から元気がなくなって、さきほど熱を計つてみましたら、38度もあ
るのです。

7 看護婦 お子さんはおいくつですか。

8 マリー 三つの男の子です。

9 看護婦 せきが出ますか。

10 マリー はい、こんこんと、ときどきたんのつまったようなせきをします。

11 看護婦 吐き気はありませんか。

12 マリー 吐き気はないようですが、冷たい飲み物をほしがります。

13 看護婦 そうですか。

- 14 マリー 今からお伺いしてもよろしいでしょうか。
- 15 看護婦 ちょっとお待ちください。
- 16 マリー はい。
- 17 看護婦 お待たせしました。
- 18 看護婦 先生にお話ししておきましたから、どうぞおいでください。
- 19 マリー どうもありがとうございます。
- (医院で)
- 20 看護婦 マリーさん、どうぞ診察室にお入りください。
- 21 マリー はい。
- 22 医師 どうしましたか。
- 23 マリー この子が急に熱を出して、元気がないのです。
- 24 医師 熱を計ってみましょう。
- 25 医師 体温計をわきの下にはさんでください。
- 26 医師 はい、そうです。
- 27 医師 38 度 5 分ありますね。
- 28 医師 口をあけて。
- 29 医師 はい、あーんをして。
- 30 医師 のどが赤いですね。
- 31 医師 食欲はありますか。
- 32 マリー 食べ物はあまりほしがりません。
- 33 医師 げりは。
- 34 マリー げりはしていません。
- 35 医師 ちょっと服を脱がせてください。
- 36 マリー はい。
- 37 医師 おなかをみせてください。
- 38 医師 はい、じゃ、後ろを向いて。
- 39 医師 はっしんは出ていませんね。
- 40 マリー いかがでしょうか。
- 41 医師 そうですね。
- 42 医師 肺炎をおこすといけませんから、注射を打っておきましょう。

- 43 医師 解熱剤をあげますから、二、三日様子をみてください。
- 44 医師 あたたかくして静かに寝かせてあげてください。
- 45 マリー はい。
- 46 医師 心配はいらないと思いますが、熱が下がらないようでしたらもう一度おいでください。
- 47 マリー 夜分とつぜんで申しわけございませんでした。
- 48 医師 どうぞお大事に。
- 49 マリー どうもありがとうございました。

(国際交流基金日本語国際センター(1990)『日本語中級 I』9 課「子供の病気」pp. 73～83)

『日本語中級 I』9 課「子供の病気」の学習目標に挙げられている「文型・文法」および「表現」は、以下の通りである²⁴⁾。(以下の*は鈴木付す。)

〔文型・文法〕

- (1) ～してみたら～も 熱を計つてみましたら、38 度もあるのです。
- (2) ～といけないから、 肺炎を起こすといけませんから、注射を打つて
～しておく おきましょう。
- (3) ～(の)ようでしたら、～ 熱が下がらないようでしたら、もう一度おでかけください。
- * (4) ～してもいいか 今からお伺いしてもよろしいでしょうか。

〔表現〕

電話での応答

- (1) 「もしもし、リーですが／と申しますが、山田さんのお宅ですか。」
(電話での名乗りと相手の確認)
- 「はい、山田です。／はい、そうです。」 (電話での応答)
- (2) 「もしもし、山本医院ですか。」
- 「いいえ、違います。何番におかけですか。」
- 「2 6 5 の 7 7 2 8 番です。」 (電話のまちがいを指摘する。)
- 「どうも失礼しました。」 (談話の終結)

(3) 「もしもし、夜分申しわけございません。」 (不時の場合の電話での言い方)

状態をたずねたり、行動を指示する言い方

(1) どうしましたか。 (状態を問う)

(2) この子が急に熱を出して元気がないのです。 (状態を説明する)

(3) ちょっと服を脱がせてください。 じゃ、後ろを向いて。 (行動を指示する)

(4) お伺いしてもいいですか。／お伺いしてもよろしいでしょうか。

(許可を求める)

(p. 194)

上記の9課の「文型・文法」と「表現」に共通するのは、*を付した「お伺いしてもよろしいでしょうか。」のみである²⁵⁾。「表現」の「状態をたずねたり、行動を指示する言い方」の「機能説明」にある、「(1) 状態を問う」，(2)「状態を説明する」，(3)「行動を指示する」，(4)「許可を求める」の各「機能」には、誰が、いつ、状態を問い、説明するのかという説明がないため、談話全体のどこで用いられるのかが見えてこない。

談話の全体的構造としては、「電話口で」と「病院で」の2つが独立しており、構造としては、【表8-7】に示したように、「A. 相談開始の話段」が2場面にそれぞれ現れているが、実際に教育する上での扱い方としては、まず、医師と患者の「病院で」の場面に絞って教えることを優先して、「表現」と「機能説明」を教えたほうが学習者にはわかりやすいのではないかと考えられる。

心理相談の例としては、『現代日本語コース中級Ⅰ《聴解ワークシート》』の「電話教育相談」が挙げられる。「C-1. 回答提供の小話段」の後、「C-2. 回答確認の小話段」は見られず、相談者が回答に納得し、「D. 相談終了の話段」に移る例である。以下、「電話教育相談」の談話例を例にとり、各話段、小話段を説明する。

1相～4回の「A. 相談開始の話段」は、1相談者の「もしもし。」という〈注目要求〉から開始し、回答者と相談者が挨拶を交わす〈関係作り・儀礼〉による話段である。

(例 8 - 4) 『現代日本語コース中級 I《聴解ワークシート》解答・スクリプト編』

(1992) 名古屋大学言語文学部日本語学科

15A pp.74-75

電話教育相談

話段	小話段		
A. 相談開始 の話段		1 相談者	もしもし。
		2 回答者	はい、どうぞ。
		3 相談者	あ、よろしくお願いいたします。
		4 回答者	はい。
B ・ 相 談 か け の 話 段	B 1 ・ 相 談 提 示 の 小 話 段	5 相談者	あのう、2年くらい前の、中学3年生の頃から
		6 回答者	はい。
		7 相談者	あのう、あれがきたないとか、
		8 相談者	これがきたないとか言い出しまして、
		9 回答者	はあはあ。
		10 相談者	日に何度も全部着かえたりなんかしてたんですけど、
		11 回答者	はあ。
		12 相談者	高校生になりまして、
		13 相談者	ま、はじめはあのう学校へ、まあ、なんとか行ってたんですけど、
		14 回答者	ええ。
		15 相談者	ま、あの、対象が、いろいろ変わるわけなんですね。
		16 回答者	はいはい。
		17 相談者	で、お友達にかばんをさわられたとか、
		18 回答者	ええ。
		19 相談者	服をよごされたとか、
		20 相談者	友達のすることがいろいろ気になりだして、
		21 相談者	2年生になってからは、いつも学校へ行く時乗るバスまでがずいぶん気になってき て、
		22 回答者	はあ。
		23 相談者	とうとうこわくなって
		24 相談者	学校へ行けなくなってしまったんです。
		25 回答者	はあ。
		35 相談者	このまま家でぶらぶらしていると、
		36 相談者	ま、不規則な生活にもなりますし、
		37 回答者	はい。
		38 相談者	それから、兄弟もおりませんので
		39 回答者	はい。
		40 相談者	あの一人っ子なもんですから、
		41 回答者	はあ。
		42 相談者	話し相手もないし

	43	回答者	ええ。
	44	相談者	寂しくもあるし。
	45	回答者	ええそうですね。
	46	相談者	あのう、なんか、来年4月まで、
	47	回答者	ええ。
	48	相談者	どこかの施設とか
	49	回答者	はい。
	50	相談者	ま、そういうような病院でもいいんですけど、
	51	相談者	入れたいと思うんです。
	52	回答者	はい。
	53	相談者	それで、あのう、教えていただきたいと思ひまして。
	54	回答者	あ、はい。
	55	相談者	よろしく願いいたします。
	56	回答者	はい。
B 2 ・ 相 談 内 容 確 認 の 小 話 段	57	回答者	あのう、以前からそういう病院とか、施設とかということを希望していच्छやいましたか。
	58	相談者	え、まあ。
	59	相談者	でも、あのう、高校1年までは休みながらも、
	60	回答者	ええ。
	61	相談者	まあ、なんとか行ってられましたので
	62	回答者	ええ。
	63	相談者	あのう、学校へね。
	64	回答者	はい。
	67	相談者	あの来年からも学校に行ける間は、
	68	回答者	え。
	69	相談者	あの本人も行くって行ってますから、
	70	回答者	はい。
	71	相談者	なんとか、あの学校へ行かせて、
	72	回答者	ええ。
	73	相談者	で、ま、無事高校だけは卒業して
	74	回答者	はい。
	75	相談者	そのあとで、大学も好きなのところに行かせるから、
	76	回答者	はい。
	77	相談者	ってことにしていたんです。
	78	回答者	はいはい。
	79	回答者	はい、あのう、そういった、ま、不潔に対する恐怖っていうんでしょうか、
	80	相談者	ええ。
	81	回答者	あのう、それは今のうちに、まあ、学校をお休みするようになってからも程度としては同じ程度で
	82	相談者	いえ。

		83	回答者	くりかえしますか。
		84	相談者	いえ、あの、家にいる間は、
		85	回答者	はい。
		86	相談者	多少、あのう、気分のいらいらが少ないようなんですけど
		87	回答者	ああ、はいはい。
		88	相談者	その対象がお友達ですのでね、
		89	回答者	ええ、ええ。
		90	相談者	ま、全部、学校中が全部汚れてるって感じ
		91	回答者	ああ、はい。
		92	相談者	なんです。
		93	回答者	あのう、お母さんとしても、やはり家においておくよりも、どこかで
		94	相談者	はい。
		95	回答者	治療したほうがいいというふう
		96	相談者	はい。
		97	回答者	に感じてらっしゃいますか。
		98	相談者	はい。
		99	相談者	あの主人もそうなんですけど。
		100	回答者	ああ、はあ、はあ、はあ。
C ・ 相談 受け の 話 段	C 1 ・ 回 答 提 供 の 小 話 段	101	回答者	あのう、非常に極端な結論を申し上げることになるかと思いますが、
		102	相談者	はい。
		103	回答者	あのう、お子さんにとって最大の治療者はお母さんやお父さんなんですね。
		104	相談者	あ、そ うですか。
		105	回答者	はい。
		106	回答者	あのう、まあ、他人にたいしての、こう、不潔というんでしょうか、
		107	相談者	はい。
		108	回答者	不安というのかな、
		109	回答者	そういうものを今訴えていらっしゃるようだけれども、
		110	相談者	ええ。
		111	回答者	そういうのは実は単なる現象にすぎないんですね。
		112	相談者	はあ。
		113	回答者	ですから、それはもう気のすむようにやらせるしかないんです、
		114	回答者	その不潔恐怖症の現象そのものはですね。
		115	相談者	ああ、そうですか。
		116	回答者	ええ。
		117	相談者	はあ。
		118	回答者	で、結局、問題はお嬢さん自身が自分の値打ちが見つからないというところにある んだと思うんですね。
		119	相談者	はあ。

	120	回答者	あのう、今まであなたがいないとさびしいという関係、つまりお嬢さんが自分の値打ちを認められているという関係がどれだけあったかということなんですね。
	121	相談者	はあ。
	122	回答者	まあ、今、お嬢さんがそれを警告しているんじゃないかなあっていう気がするんですけども。
	123	相談者	ああ。
	124	回答者	あのう、そういった意味でね、あのう、学校へ行くことがなによりだとか、
	125	相談者	はい。
	126	回答者	それからそのう、不潔はとりこし苦労なんだとか、
	127	回答者	強くお嬢さんにおっしゃるのは、かえってお嬢さんを追いつめてしまってるんじゃないかと。
	131	回答者	お父さんやお母さんが、もっと根本のところでつきあってあげること、
	132	回答者	お父さんやお母さんの手元にて、
	133	回答者	安心して暮らして行けることが、お嬢さんには大切なんだと思うんです。
	134	相談者	うん。
	135	回答者	とにかく不潔恐怖をとること、
	136	回答者	学校や病院に行かせることに専念しすぎないでね、
	137	相談者	はい。
	138	回答者	こう、お父さんやお母さんといっしょに何かやれるということがいいと思うんですが。
	139	相談者	ああ、そうですか。
	140	回答者	ええ。
	141	回答者	ですから、ま、そういう思春期の、あのう問題によくなれた病院に行かれて、
	142	回答者	あのう、しっかりとした指導を受けながらですね、
	143	相談者	はい。
	144	回答者	あのう、入れてしまうということじゃなくって、
	145	回答者	日常生活のあるところで乗り越えられる道を探されるというのが一番、あのう、いいんじゃないかというふうに思います。
	146	相談者	ああ、そうですね。
	147	回答者	はい。
D. 相談終了 の話段	148	相談者	どうもありがとうございました。
	149	回答者	いいえ。

「B. 相談かけの話段」(5相～100回)

「B-1. 相談提示の小話段」(5相～56回)

5相～56回の「B-1. 相談提示の小話段」には、回答者の「どうしましたか。」等の問いかけはなく、相談者が〈事実報告〉と〈意見説明〉で相談内容を話し始める。相談者5, 7, 8の〈事実報告〉「5あのう, 2年くらい前の, 中学3年生の頃から, 7あのう, あれがきたないとか, 8これがきたないとか言い出しまして,」, 相談者23, 24の〈意見説明〉「23とうとうこわくなって, 24学校へ行けなくなっちゃったんです。」等の「ノダ」文で、現在の子どもの状況が話され、相談者46, 47, 48, 50, 51の「46あのう, なんか, 来年4月まで, 48どこかの施設とか, 50ま, そういうような病院でもいいんですけど, 51入れたいと思うんです。」, 相談者53の「それで, あのう, 教えていただきたいと思って。」等の「～たいと思う」という〈意志表示〉で相談内容が示される。

また、55相談者の「よろしく願いいたします。」〈関係作り・儀礼〉, 56回答者の「はい。」〈承認の注目表示〉によって、「B-1. 相談提示の小話段」が終了する。

「B-2. 相談内容確認の小話段」(57回～100回)

続く57回～100回の「B-2. 相談内容確認の小話段」では、回答者の要求系と相談者の提供系の発話が繰り返される。57回の〈判定要求〉「あのう, 以前からそういう病院とか, 施設とかということ希望していらっしゃいましたか。」, 81, 83回答者「81あのう, それは今のうちに, まあ, 学校をお休みするようになってからも程度としては同じ程度で83くりかえしますか。」〈判定要求〉や、回答者93, 95, 97「93あのう, お母さんとしても, やはり家においておくよりも, どこかで95治療したほうが良いというふう97に感じらっしゃいますか。」〈判定要求〉に対して、相談者が〈応答〉と〈事実報告〉の発話で答え、100回答者の〈承認の注目表示〉「ああ, はあ, はあ, はあ。」で「B-2. 相談内容確認の小話段」が終了する。

「C. 相談受けの話段」(101回～147回)

「C-1. 回答提供の小話段」(101回～147回)

「C-1. 回答提供の小話段」では、回答者の回答を相談者があいづちを打って聞いている。回答者の〈事実報告〉, 〈意見説明〉, 〈感情表出〉の発話が見られる。

101回答者の「あのう, 非常に極端な結論を申し上げることになるかと思いますがれども。」という〈意見説明〉で前置きをした後、103回答者「あのう, お子さんにとって最大の治療者はお母さんやお父さんなんですね。」, 111回答者「そういうのは実は単なる現象

にすぎないんですね。」等、相談者へ理解を促す「～んですね。」という〈意見説明〉で回答を施している。

118 回答者の〈意見説明〉「で、結局、問題はお嬢さん自身が自分の値打ちが見つからないというところにあるんだと思うんですね。」で、娘の「不潔恐怖症」の原因に対する見解を述べ、最後に、145 の「日常生活のあるところで乗り越えられる道を探されるというのが一番、あのう、いいんじゃないかというふうに思います。」〈感情表出〉で今後の対策を述べ、回答を締めくくる。

相談者は、146 「ああ、そうですね。」という〈承認＋確認の注目表示〉で、回答に納得し、147 回答者の〈同意の注目表示〉「はい。」で「C-2. 回答提供の小話段」が終了し、最後の〈関係作り・儀礼〉の2 発話の「D. 相談終了の話段」で電話相談が終了する。

例に挙げた談話例は、電話相談の例であることから、あいづちも多用されている。また、「B. 相談かけの話段」における「B-1. 相談提示の小話段」においては、〈事実報告〉〈意見説明〉で子供の状況が話され、〈意志表示〉で相談したいことを提示しているなど、手順を追って相談内容を提示している展開になっており、初級教材の会話より自然な談話に近いものとなっている。

しかし、相談者が突然、相談内容を話し始める「B-1. 相談提示の小話段」の開始の仕方や、「C-2. 回答提示の小話段」の後、急に「D. 相談終了の話段」へと移行する部分に、談話の展開の不自然さを感じる。

【表 8－8】は、日本語の中級教材における5 場面の相談の談話を、本研究の発話機能全5 類40 種に分類した結果である。中級教材には、初級教材には見られなかったV. 受容の「相手注目表示」の〈継続の注目表示〉が全442 発話中37 発話見られる。他の「相手注目表示」の発話機能も全て見られることから、あいづちも含まれる談話になっている。

Ⅱ. 談話表示の接続表現は、初級と同様、あまり多数の機能は見られなかった。b1 〈話を重ねる機能〉12 発話、b2 〈話を深める機能〉4 発話、b3 〈話を進める機能〉13 発話、b10 〈話をまとめる機能〉2 発話が見られるのみである。

【表 8－9】には、日本語の中級教材における5 場面の相談の談話における発話機能の例を挙げた。聴解教材の例が多いことから、V. 受容の「相手注目表示」各機能の発話も、自然なものとなっていることがうかがえる。

また、初級教材には見られなかったⅢ. 要求の〈言い直し要求〉と、それに対するⅣ. 〈言い直し〉もわずかながら見られ、談話における自然さが観察できる。

【表8-8】日本語中級教材における相談の談話の発話機能

発話機能				I 目的表示										II 依頼表示										III 要求										IV 提供										V 受容										参加者別発話回数合計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
				A 話題開始機能		B 話題継続機能		C 話題終了機能		c1 話を終える機能		c2 話を一応終える機能		1 確認要求		2 判定要求		3 選択要求		4 説明要求		5 単独行為要求		6 共同行為要求		7 言い直し要求		1 事実報告		2 意見説明		3 感情表明		4 意思表明		5 選択情報提供		6 言い直し		7 応答		1 関係作り・儀礼		2 自己注目表示		3 相手への注目表示		a 継続		b 承認		c 否認			d 無視		e 興味		f 共感		g 終了		h 同意																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
No.	教科書	課	課のタイトル	発話総数	参加者																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
1	『日本語教育映像教材 中級編 医療教育「ここは」うこば』	第24課	タスク「診療を受ける」	39	患者	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

【表8－9】日本語中級教材における各発話機能の例

発話機能		例文	出典
I	1 注目要求	もしもし。	現代日本語聴解15A
	2 間投詞的表現	あのう、以前からそういう病院とか、施設とかということを希望していらっしゃいましたか。	現代日本語聴解15A
II	A 話題開始機能		
	a1 話を始める機能		
	a2 話を再び始める機能		
	B 話題継続機能		
	b1 話を重ねる機能	で、お友達にかばんをさわられたとか、	現代日本語聴解15A
	b2 話を深める機能	で、たとえば、お家の中のお仕事にしても、お母さんたいへんだから	現代日本語聴解15A
	b3 話を進める機能	じゃ、ちょっと胸を出してください。	伝え合うことばseg.24②
	b4 話をうながす機能		
	b5 話を戻す機能		
	b6 話をはさむ機能		
III	b7 話をそらす機能		
	b8 話をささげる機能		
	b9 話を交える機能		
	b10 話をまとめる機能	ですから、ま、そういう思春期の、あのう問題によくなった病院に行かれて、	現代日本語聴解15A
	C 話題終了機能		
	c1 話を終える機能		
	c2 話を一応終える機能		
IV	1 確認要求	あ、国保には入ってますよね。	現代日本語聴解8B
	2 判定要求	あのう、以前からそういう病院とか、施設とかということを希望していらっしゃいましたか。	現代日本語聴解15A
	3 選択要求		
	4 説明要求	ええと、何科にかかったんですか。	現代日本語聴解8B
	5 単独行為要求	明日いっぱい静かに寝ていてください。	伝え合うことばseg.24②
	6 共同行為要求		
	7 言い直し要求	えっ、こくほ……。	現代日本語聴解8B
V	1 事実報告	げりはしていません。	日本語中級 I 第9課
	2 意見説明	多少、あのう、気分のいらいらが少ないようなんですけど	現代日本語聴解15A
	3 感情表出	こう、お父さんやお母さんといっしょに何かやれるということがいいと思うんですが。	現代日本語聴解15A
	4 意志表明	それで、あのう、教えていただきたいと思います。	現代日本語聴解15A
	5 選択情報提供		
	6 言い直し	ええ、国民健康保険。	現代日本語聴解8B
	7 応答	はい。	現代日本語聴解15A
V	1 関係作り・儀礼	よろしくお願いします。	現代日本語聴解15A
	2 自己注目表示	あ、ここね。	現代日本語聴解8B
	3 相手注目表示		
	a 継続	あのう、2年くらい前の、中学3年生の頃から、 はい。	現代日本語聴解15A
	b 承認	学校へ行けなくなっちゃったんです。 はあ。	現代日本語聴解15A
	c 否認	どうもありがとうございました。 いいえ。	現代日本語聴解15A
	d 確認	あのう、お子さんにとって最大の治療者はお母さんやお父さんなんですね。 あ、そうですか。	現代日本語聴解15A
	e 興味	わあ、私の場合はいくらくらいになるかなあ。	現代日本語聴解8B
	f 共感	寂しくもあるし。	現代日本語聴解15A
	g 終了	あとはいいんじゃないですか。 ええ、そうですね。	現代日本語中級 II 8課
	h 同意	あのう、お子さんにとって最大の治療者はお母さんやお父さんなんですね。 あ、そうですか。 はい。	現代日本語聴解15A

I～Vまでの5種は、I→相手に対する呼びかけや、自身の発話に含まれる間投詞的表現、II→談話表示、III→要求、IV→提供、V→受容を表す。

「II. 談話表示」の3類14種は、佐久間(2002)の「接続表現の文脈展開機能」による。

「III. 要求」の下位項目7種のうち、1～4は、国立国語研究所(1960)による。

その他3項目(単独行為要求)(共同行為要求)(言い直し要求)は、ザトラウスキー(1993)による。

Ⅲ. 要求の〈単独行為要求〉は、初級と同様、直接的な指示「～てください。」の発話が主であるが、ラジオの相談番組では、より多くの表現が用いられている。

8. 1. 4 日本語中級教材における機能文型の種類と出現傾向

【表8－10】の太線で示した文型は、本章で取り上げた中級教材の5場面の相談の談話に見られた機能文型である。

Ⅳ. 提供の〈意見説明〉の「～NはVわけです。」「NはVてしまっているんじゃないかと。」「NがVているんじゃないかなって気がします」、〈感情表出〉の「NをVなくてはいけません。」、〈意志表示〉の「NはVてみます。」は、中級教材の相談の談話に新たに観察された文型である。

〈意見説明〉の「NはVてしまっているんじゃないかと。」は、以下の例に見られる。

(例8－5)

- 124 回答者 あもう、そういった意味でね、あもう、学校へ行くことがなによりだとか、
125 相談者 はい。
126 回答者 それからそのう、不潔はとりこし苦労なんだとか、
127 回答者 強くお嬢さんにおっしゃるのは、かえってお嬢さんを追いつめてしまってるんじゃないかと。
(現代日本語コース中級Ⅰ 15A)

文末は、太字の部分の「追いつめてしまってるんじゃないかと (思うんです。)」が省略されていると考えられる。中級の聴解教材においては、自然さを出す上で、主文の動詞が省略されている表現も見られる。

本章の初級および中級の日本語教科書・教材計11場面の相談の談話には、「B. 相談かけの話段」「C. 相談うけの話段」「D. 相談終了の話段」が共通して見られた。「A. 相談開始の話段」は、初級の教科書・教材には見られないものもあった。「B. 相談かけの話段」「C. 相談うけの話段」の各小話段は、反復されることはほとんどなく、談話全体の構造と展開は、単純なものであることがわかった。

次節では、中級学習者が医療相談や心理相談ができるようになり、回答者の回答が理解できるようにするために、相談の「談話型」を導入して教育する方法を提示する。

【表8－10】日本語中級教材の相談の談話における「要求」系と「提供」系の機能文型

	文型No.	文型	文例	相談開始				相談かけの経路				相談終了	文型別合計に対する割合	機能別合計に対する割合
				相談提示	相談内容確認	回答提供	回答確認	相談提示	相談内容確認	回答提供	回答確認			
Ⅲ-1〈確認要求〉	*Ⅲ-1-1	N/A/V (ル/タ) (トイウ) ウケデスネ?		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	Ⅲ-1-2	Nガ (V/A/Iイ/An) トイウコトデスカ。い。/?/ネ?	先週、病院に行っただんですけど、あのう、前にたしか医療費の補助が（受けられる）と な。[現代日本語8B 相談かけ 相談提示 3 相]	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	66.7%
			文型別合計に対する割合	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	*Ⅲ-1-3	N1A/V (ル/タ) /A1/An/N2 ンデス (ネ?/ヨネ?)		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-1-4	N1 (ガ/ハ) (An) ア1/A1/N2 ンデス (ネ?ヨネ?)		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-1-5	N/A (V/A1/A1/A1/A1/N2) タコトモナイ。(デスネ?)		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	Ⅲ-1-6	N (ハ/ガ) V (マス/マシタ) ネ?/ヨネ?	あ、醫保には【入って】ますよね。[現代日本語8B 相談かけ 相談内容確認 13 回]	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	33.3%
			文型別合計に対する割合	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	*Ⅲ-1-7	(カ) デスヨネ。/ネエ。/?/ノウデスネ?		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-1-8	N1A (V/A1/A1/N2) シヤナイデスカ?		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-1-9	(N1A) N2デス (カ/ネ)。		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-1-10	N/A/V (ル/タ) デショウ?		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-1-11	N/A/V マスデショウカ。		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-1-12	N/A/V デスカネ。		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-1-13	N/A/V ルミタイヨネ?		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
Ⅲ-2〈肯定要求〉	*Ⅲ-1-14	N3V (タラ/チモ/タホウガ) イイン (デスネ?/デショ?)・N1A N2タイデショウカ。		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-1-15	N/A/V (ル/タ) ンデショウカ。		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-1-16	N/A/A1 デスカ?		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		2文型		合計	0	2	1	0	0	0	0	0	3	100.0%
			機能別合計に対する割合	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	Ⅲ-2-1	N/A/V (マス/マシタ) カ?	せきが【出】ますか。[日本語中級 相談かけ 相談内容確認 11 回]	0	1	5	0	0	0	0	0	0	6	46.2%
			文型別合計に対する割合	0.0%	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	Ⅲ-2-2	N1A (N2/A1/A1/A1) デスカ。	ええと、37度かな、ええ、【37でんなな度】ですわ。[広えろ 相談かけ 相談提示 67 相]	0	2	1	0	0	0	0	0	0	3	23.1%
			文型別合計に対する割合	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	*Ⅲ-2-3	N/A/V ンデスカ。・N1A (An/N2) ナノデショウカ。		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	Ⅲ-2-4	N/A/A1 マス (カ/ネ) ?	【仕事】はありませぬか。[日本語中級 相談かけ 相談内容確認 13 回]	0	1	3	0	0	0	0	0	0	4	30.8%
			文型別合計に対する割合	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
	*Ⅲ-2-5	N/A/V (ル/タ) ウケデスカ。		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-2-6	N/A/V デスカ?		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-2-7	N/A/V タコト (カ) アリマスカ?		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-2-8	N/A/V ルヨウデスカ。		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-2-9	(カ) V テ (モ) イイデスカ?		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		3文型		合計	0	4	9	0	0	0	0	0	13	100.0%
			機能別合計に対する割合	0.0%	30.8%	69.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

	文型No.	文型	文例	相談開始		相談かけの経段		相談うけの経段		相談終了	文型別合計	機能別合計に対する割合
				相談提示	相談内容確認	回答提供	回答確認					
Ⅲ-6〈共同行爲要求〉	*Ⅲ-5-12	NヲVテミマショウカ。	Ⅲ-5-14 NヲVルコト。 お父さんや母さんが、もっと根本のところで「つきあってあげる」こと。[現代日本語15A 相談うけ 回答提供 131 回]	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*Ⅲ-5-13	NヲVテミマショウネ。		—	—	—	—	—	—	—	—	
	Ⅲ-5-15	N {♂/ニ/ハ} ドウゾ。		0	0	5	0	0	0	5	16.1%	
	Ⅲ-5-			0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	6.5%	
	Ⅲ-5-			2	0	0	0	0	0	2	100.0%	
Ⅲ-6	Ⅲ-6-1	NニVマショウ。	Ⅲ-6-1 NニVマショウ。 熊を【計ってみ】ましよう。[日本語中級 相談かけ 相談提示 29 回]	0	2	0	0	0	0	2	100.0%	
	Ⅲ-6-			0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	
	Ⅲ-6-			0	2	0	0	0	0	2	100.0%	
	Ⅲ-6-			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	
	Ⅲ-6-			10	0	0	21	0	0	31	100.0%	
Ⅲ-7〈言い直し要求〉	*Ⅲ-7-1	もう一度オネガイシマス。	Ⅲ-7-1 相手の発語の聞き取れた部分まで反復 えっ、こくほ……。[現代日本語8B 相談かけ 相談内容確認 14 相]	—	—	—	—	—	—	—	—	
	*Ⅲ-7-2	ハッ？		—	—	—	—	—	—	—	—	
	*Ⅲ-7-3	エッ？		—	—	—	—	—	—	—	—	
	*Ⅲ-7-4	アッ？		—	—	—	—	—	—	—	—	
	*Ⅲ-7-5	ハイッ？		—	—	—	—	—	—	—	—	
Ⅲ-7	*Ⅲ-7-6	教エテモウエマス？	Ⅲ-7-7 相手の発語の聞き取れた部分まで反復 えっ、こくほ……。[現代日本語8B 相談かけ 相談内容確認 14 相]	—	—	—	—	—	—	—	—	
	Ⅲ-7-			0	0	2	0	0	0	2	100.0%	
	Ⅲ-7-			0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	
	Ⅲ-7-			0	2	0	0	0	0	2	100.0%	
	Ⅲ-7-			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	
Ⅳ-1〈事実報告〉	Ⅳ-1-1	Nハ／ハ、Vマス／Vマセン。Vテ、Vシ、／ナナイデス。	Ⅳ-1-1 Nハ／ハ、Vマス／Vマセン。Vテ、Vシ、／ナナイデス。 はい、こんこんと、どきどきさんのつまつたようなせきを【じ】ます。[日本語中級 相談かけ 相談内容確認 12 相]	0	7	1	3	0	0	11	68.8%	
	Ⅳ-1-			0.0%	63.6%	9.1%	27.3%	0.0%	0.0%	100.0%	12.5%	
	Ⅳ-1-			0	2	0	0	0	0	2	100.0%	
	Ⅳ-1-			0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	6.3%	
	Ⅳ-1-			0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	12.5%	
Ⅳ-1	*Ⅳ-1-5	Nハ、Vタコトガ／モアリマス。／アリマセン。／アル／ネ？	Ⅳ-1-6 Nハ（Vヨウ、Vコト、Nニ／ト、Aク、An）ニナリマス。／ナリマシタ。 2年生になってからは、いつか学校へ行く準備のバリエーションがいろいろあるようになってきて、[現代日本語15A 相談かけ 相談提示 21 相]	0	2	0	0	0	0	2	12.5%	
	*Ⅳ-1-6	Nハ、Vルコトガチキマス。／チキマセン。／ハラシマス。／ハラシマセン。／動詞の可能形		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	
	*Ⅳ-1-7	NヲVチキマス。／Vチキマスヨネ？		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	
	Ⅳ-1-			—	—	—	—	—	—	—	—	
	Ⅳ-1-			—	—	—	—	—	—	—	—	
Ⅳ-1	*Ⅳ-1-16	Nハ、Vタコトガ／モアリマス。／アリマセン。／アル／ネ？	Ⅳ-1-16 Nハ（Vヨウ、Vコト、Nニ／ト、Aク、An）ニナリマス。／ナリマシタ。 2年生になってからは、いつか学校へ行く準備のバリエーションがいろいろあるようになってきて、[現代日本語15A 相談かけ 相談提示 21 相]	0	2	0	0	0	0	2	12.5%	
	Ⅳ-1-17	Nハ、Vルコトガチキマス。／チキマセン。／ハラシマス。／ハラシマセン。／動詞の可能形		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	
	Ⅳ-1-18	Nハ（Vヨウ、Vコト、Nニ／ト、Aク、An）ニナリマス。／ナリマシタ。		0	2	0	0	0	0	2	12.5%	
	Ⅳ-1-19	Nハ（Vヨウ、Vコト、Nニ／ト、Aク、An）ニナリマス。／ナリマシタ。		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	
	Ⅳ-1-20	Nハ（Vヨウ、Vコト、Nニ／ト、Aク、An）ニナリマス。／ナリマシタ。		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	

	文型No.	文型	文例	相談開始		相談かけの語段		相談うけの語段		相談終了	文型別合計 に対する割合	機能別合計 に対する割合
				相談提示	相談内容確認	相談提示	相談内容確認	回答提供	回答確認			
	*IV-2-20	N1/A、(V1/A1/A _n) (ヨウナ/フウニ) N2 (ガ/モ) V2マ ス。	文例	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*IV-2-21	V1コトハアリマセン (ヨ)。		—	—	—	—	—	—	—	—	
	*IV-2-22	N/A、V (チイマス、ノマス、)		—	—	—	—	—	—	—	—	
	*IV-2-23	N/A、V (チ/モ) /タラ/ト/バ/V2デモ イイ (ト愚イマス/カ モワリマセン、ノンジナイデシヨウカ、)		—	—	—	—	—	—	—	—	
	*IV-2-24	N/A、V1 (ムル/ナイ) (ト/ノ/バ/タラ) (A1/ク/Nニ/A _n ニ) V2 マス。		—	—	—	—	—	—	—	—	
	*IV-2-25	N/A、Vル (キキダ/ハズダ) ト愚イマス。		—	—	—	—	—	—	—	—	
	*IV-2-26	N/A、Vテイルノデシヨウカ。		—	—	—	—	—	—	—	—	
	*IV-2-27	NEA1クナリマスネー。		—	—	—	—	—	—	—	—	
	16文型			合計	0 18 18 42 3 0 81	22.2% 22.2% 51.9% 3.7%	0 3 0 3 0 3 0 81	0.0% 0.0% 100.0%	100.0%			
	IV-3-1	N (ガ/チ/モ) A1/A _n デス、N1ガN2デス、		機能別合計に対する割合	0.0%	22.2%	51.9%	3.7%	0 3 0 3 0 3 0 81	0.0% 0.0% 100.0%	100.0%	
				【安心して暮らして頂けること】が、お嬢さんには【大切な】んだと語うんです。【現代日本語15A 相談うけ 回答提供 133 回】								
				文型別合計に対する割合								
	*IV-3-2	N/A、Vル必要 (ガ/ハ) アリマ (ス、ノセン、)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*IV-3-3	N/A、Vナイトイケナイ (ンデス、ノワケデス、)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*IV-3-4	N/A、Vチモシヨウガナインデス (ホ)。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1文型			合計	0 0 0 0 0 3 0 3	0.0% 0.0% 100.0%	0.0% 0.0% 100.0%	0 3 0 3 0 3 0 81	0.0% 0.0% 100.0%	100.0%		
				機能別合計に対する割合								
	*IV-4-1	N/A/Vマス。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*IV-4-2	N1/A、N2ヲVヨウニシテイマス。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*IV-4-3	N/A/Vタワケデスガ。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*IV-4-4	N/A/Vマスゲトネ？	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	IV-4-5	NヲVタイト愚イマシテ、ノ愚ウノデスガ。	それ、あのう、【教えていただき】たいと語いまして、【現代日本語15A 相談かけ 相談提示 53 回】	0 1 0 0 0 0 0 1	0.0% 100.0%	0.0% 0.0%	0.0% 0.0%	0 0 0 2 0 2 0 2	0.0% 0.0% 100.0%	0.0% 0.0% 100.0%	33.3%	
				文型別合計に対する割合								
	IV-4-6	N1/A、N2ヲVチ (ミマス、ノミタイト愚イマス、)	じゃ、ちょっと【聞きなおし】てみます。【現代日本語 相談うけ 回答提供 24 回】	0 0 0 0 0 2 0 2	0.0% 0.0%	0.0% 0.0%	0.0% 0.0%	0.0% 0.0% 100.0%	0.0% 0.0% 100.0%	66.7%		
				文型別合計に対する割合								
	*IV-4-7	N1/A、N2ヲVル気ハアリマセン。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*IV-4-8	Vタイト (。トコロナンデスガ、)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	*IV-4-9	Vタイトノデスアレドモ。	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2文型			合計	0 1 0 0 0 2 0 3	0.0% 33.3%	0.0% 0.0%	0.0% 0.0%	0.0% 0.0% 66.7%	0.0% 0.0% 100.0%	100.0%	
				機能別合計に対する割合								

【注】 表の左側に発話機能の「要求系」(Ⅱ-1(確認要求)、Ⅲ-2(肯定要求)、Ⅲ-3(選択要求)、Ⅲ-4(説明要求)、Ⅲ-5(単独行為要求)、Ⅲ-6(共同行為要求)、Ⅲ-7(言い直し要求))の62種、「提供系」(Ⅱ-1(事実報告)Ⅲ-2(意見説明)Ⅲ-3(感情表出)Ⅲ-4(意志表出))に分類された47種、計109種の文型を示す。

各発話機能の番号の*は、日本語中級教材に見られなかった文型であることを示す。

文型欄の書き方は、『日本語文法』(早稲田大学日本語研究教育センター編 2000)の只例にしたがう。

表の「文例」欄には、日本語中級教材の例を挙げた。下線は、文型を【 】内は、品詞を指す。【 】内は、【教科書、課、語段、小語段、発話番号、参加者】をそれぞれあらわす。(括弧含む「括弧含むことば」)

表右側には、相話の各「語段」「小語段」の出現数を示した。合計に対する割合は、下段の「文型別合計に対する割合」に示す。日本語中級教材における「要求系」と「提供系」の各機能に見られた文型数は、各機能の最下段に示す。「合計」「機能別合計」に対する割合は、各語段、小語段別の出現数の合計と機能別合計に対する割合をそれぞれ示す。

8. 2 相談の談話型の会話教育と聴解教育への応用

8. 2. 1 相談の談話型の教育

本項では、中級学習者に向けた相談の談話の会話および聴解教育への応用方法を提案する。中級学習者は、初級の基本文型の学習を終え、さらに長い談話の運用を目指すレベルであるからである。特定の学習文型を導入するために会話教材を提示するよりも、談話型とともに指導することによって、談話の表現と理解が深まるのではないかと考えられる。

8. 1 で分析した日本語初級、中級教材の相談の談話の構造としては、本研究の「A. 相談開始の話段」「B. 相談かけの話段」「C. 相談うけの話段」「D. 相談終了の話段」の4話段、および「B-1. 相談提示の小話段」「B-2. 相談内容確認の小話段」「C-1. 回答提供の小話段」「C-2. 回答確認の小話段」の4小話段が認められ、その外の話段、小話段は見られなかったことから、日本語教材における相談の談話の構造も、自然談話の相談の談話の構造と同じ話段、小話段によって成り立っていることが観察された。しかし、相談者の現在の状態を説明する「～んです。」、助言をする「～たほうがいいです。」、命令や指示をする「～てください。」といった文型を導入する目的で、相談の談話を用いるとしても、これらの文型が、相談の談話のどこに、どのように位置しているのかまでは見えてこない。

本項では、2種の相談の指導方法を考察する。1種目は、医療相談のような医師からの専門的知識の提供によって回答が施される「客観的な相談」と、相談内容の個別さから、回答の内容も回答の仕方も変わる「主観的な相談」の2種である。2種の相談の談話は、どちらも中級教材に取り上げられていることから、実際に相談の談話を運用するために、相談の談話の展開パターン、個々の話段を支える機能文型の種類の違いを中級学習者に教えることが必要であると考えられるからである。

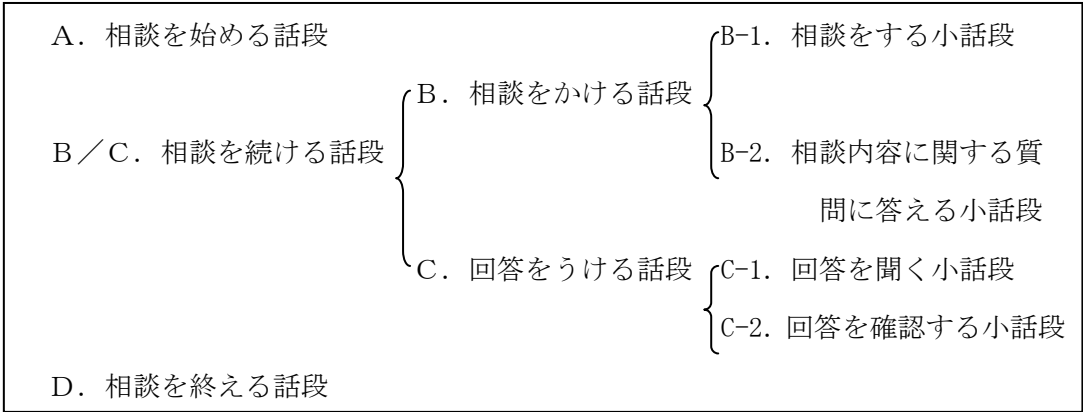
相談の談話型の教育として、学習者が相談し、回答を理解するという学習者の立場で相談の談話型として、相談を「始め」、「続け」、「終える」という談話構造に即したA～Dの4類6種の話段、小話段を導入する。

相談の談話の中心は、相談をし、回答をうける「B／C. 相談を続ける」という大話段であり、「B. 相談かけの話段」、「C. 回答うけの話段」という2話段、さらにそれぞれ2種の下位の小話段が存在する。「相談をかける話段」には、相談者が「B-1. 相談する小話段」、相談者が、回答者からの質問に答える「B-2. 相談内容の質問に答える小話段」がある。

「C. 回答をうける話段」は、相談者が回答者の「C-1. 回答を聞く小話段」、相談者が回

答者の「B-2. 回答を確かめる小話段」がある。

相談の談話型



【図8-1】相談の談話型のパターン

パターン1				パターン2				パターン3				パターン4			
1	A. 相談を始める話段			1	A. 相談を始める話段			1	A. 相談を始める話段			1	A. 相談を始める話段		
2	B. 相談をかける話段	2-1	B-1. 相談をする小話段	2	B. 相談をかける話段	2-1	B-1. 相談をする小話段	2	B. 相談をかける話段	2-1	B-1. 相談をする小話段	2	B. 相談をかける話段	2-1	B-1. 相談をする小話段
		2-2	B-2. 相談内容の質問に答える小話段			2-2	B-2. 相談内容の質問に答える小話段			2-2	B-2. 相談内容の質問に答える小話段			2-2	B-2. 相談内容の質問に答える小話段
3	C. 相談をうける話段	3-1	C-1. 回答を聞く小話段	3	C. 相談をうける話段	3-1	C-1. 回答を聞く小話段	3	C. 相談をうける話段	3-1	C-1. 回答を聞く小話段	3	C. 相談をうける話段	3-1	C-1. 回答を聞く小話段
4	D. 相談終了の話段					3-2	C-2. 回答を確かめる小話段			3-2	C-2. 回答を確かめる小話段	4		4-1	B-2. 相談内容の質問に答える小話段
				4	D. 相談終了の話段					3-3	C-1. 回答を聞く小話段	5	C. 相談をうける話段	5-1	C-1. 回答を聞く小話段
								4	D. 相談終了の話段			6	D. 相談終了の話段		

注 日本語の相談の談話の「話段」、「小話段」の展開の4パターンを示したものである。
各話段の右に話段の順序を、各小話段の右に小話段の順序を枝番号で示す。

【図8-1】「相談の談話型のパターン」に示した4パターンのうち、初級学習者には、基本として、[パターン1]のような、回答者の「C-1. 回答を聞く小話段」のあと、相談者が納得し、「D. 相談を終える話段」で談話を終了するものを教授するのが適切であると考えられる。中級学習者には、医療相談のような客観的な相談と、心理相談のような主観的な相談の談話における[パターン1]の復習後、「C-1. 回答を聞く小話段」のあと、「C-2.

回答を確かめる小話段」が来る〔パターン2〕, さらに, 相談者が回答に納得できず, 再度回答を求める〔パターン3〕を教え, 回答の確かめ方の違いを教える。

上級学習者は, 〔パターン4〕を教えるのが適切ではないだろうか。〔パターン4〕は, 「C-1. 回答を聞く小話段」のあと, 「B-2. 相談内容の質問に答える小話段」が来る。回答者が慎重に回答するために, 再度相談者から必要な情報を引き出すものであり, 本研究の心理相談のうち, 1件ある。回答の後, さらに回答者からの質問が複数回行われる際の対応の習得には, 〔パターン1～3〕を学習した上級学習者が適しているのではないかと考えられる。

8. 2. 2 中級学習者への指導方法

中級学習者には, 相談の談話の中で, 「C. 回答を聞く話段」のあと, 相談者が回答に納得し, 「D. 相談を終える話段」で談話を終える〔パターン1〕を復習し, 〔パターン2〕, 〔パターン3〕を指導する。

医療相談のような客観的な相談と, 心理相談のような主観的な相談の2種において, 以下のような談話をもとに談話型を指導する。²⁶⁾

1. 医療相談の談話

- 1 回答者 こちらへどうぞ。
- 2 相談者 よろしくお願いします。
- 3 回答者 はい。
- 4 回答者 どうしたんですか。
- 5 相談者 熱が出て食欲がないんです。
- 6 回答者 あ, そうですか。
- 7 回答者 わかりました。
- 8 回答者 咳は出ますか。
- 9 相談者 はい, 出ます。
- 10 回答者 熱があるんですね?
- 11 相談者 はい。
- 12 回答者 熱が出たのはいつですか?
- 13 相談者 昨日の夜です。

2. 心理相談の談話

1 回答者 どうぞ座ってください。

2 相談者 よろしくお願いします。

3 回答者 はい。

4 回答者 どのようなご相談ですか。

5 相談者 勉強をする気が起きなくなりました。

6 相談者 学校にも行けなくなっていました。

7 回答者 ああ、そうですか。

8 相談者 それでは、これからどうしたらいいか、ご相談したいと思ひまして、

9 回答者 そうですか。

10 回答者 わかりました。

11 回答者 何年生ですか？

12 相談者 大学2年です。

13 回答者 いつごろからですか。

14 相談者 今年の夏ごろからです。

15 回答者 体調はいかがですか？

16 相談者 夜はあまりよく眠れません。

17 回答者 そうですか。

18 相談者 はい。

19 回答者 家ではどんなふうに過ごしていますか？

20 相談者 音楽を聞いたり、本を読んだりしています。

21 回答者 これから、どうしたいですか？

22 相談者 そうですね、やっぱり大学に行きたいです。

23 回答者 ご家族には相談しましたか？

24 相談者 いいえ、まだしていません。

25 回答者 あー，そうですか。 (あー，なるほど。)

26 相談者 はい。

27 回答者 あなたは大学に行きたいんですよね？

28 相談者 はい。

29 回答者 本当に疲れがたまっているのかもしれませんがねー。

- 30 相談者 そうですか。
- 31 回答者 今はゆっくり休んでいいと思います。
- 32 相談者 あー，そうですか。
- 33 回答者 休養が一番です。
- 34 回答者 くれぐれも無理をしないでください。
- 35-1 相談者 わかりました。 ([パターン1] の例。36-1 に続く。)
- 35-2 相談者 あー，はい。 ([パターン2] の例。34 から続き，40-2 まで行ってから 36-1 に続く。)
- 35-3 相談者 うーん。 ([パターン3] の例。34 から続き，36-3～37-1 に行く。)
- 36-2 相談者 先生，それでは，今は無理に学校に行こうと思わないほうがいいんですね？
- 37-2 回答者 そうですねー。
- 38-2 回答者 あんまり学校に行かなくちゃと思うと，ますます体の調子がおかしくなってしまうですよ。
- 39-2 相談者 あー，そうですね。
- 40-2 相談者 わかりました。
- 36-3 相談者 でもー，学校に行かないと，授業の単位が取れなくなってしまうので，心配なんですがー。
- 37-3 回答者 今は休養することが一番です。
- 38-3 回答者 少し違うことをしてみたらどうでしょうかね。
- 39-3 回答者 気分が変わるかもしれません。
- 40-3 回答者 是非試してみただけですか？
- 41-3 相談者 わかりました。
- 36-1 相談者 ありがとうございます。
- 37-1 回答者 どうぞ参考になさってください。

相談の談話型を教えるためには，以下の手順で授業を行う。

1. 談話全体を聴かせ，語句の確認を行う。

8. 2. 1 に挙げた，『現代日本語コース中級 I 《聴解ワークシート》解答・スクリプト編』「15A 電話教育相談」のような長文の聴解用の談話は，話段に分けながら語句の確認

を行う。

2. [パターン1] の談話を聴かせ、AからDのステップ（話段）を意識させる。

学習者には、上記のような談話をすべて聞かせた後、以下のようなワークシートを配布する。

談話全体を聴かせたあと、談話全体を4つの話段（ステップ）に区切るように言い、もう一度談話を聴かせる。

各話段で「誰（が／と）誰が」、「何をするか」について空欄を埋めさせ、各話段で「誰が」どんな表現を使っているかについて、気づいた表現を書いてもらう。その後、グループで各自ワークシートをグループ内で見せ合い、特に「B. 相談をかける」「C. 回答をうける」2話段について、聴きとれた範囲で、なるべく多くの表現を挙げてもらう。

相談の談話型ワークシート（記入例）

	話段	小話段	誰（が／と）誰が	何をするか	誰がどんな表現を使っているか	
相談を続ける	A. 相談を始める		① 相談者 と	③ あいさつ	回答者	こちらへどうぞ。
			② 回答者 が	をする	相談者	よろしくお願いします。
	B. 相談をかける	B1. 相談をする	⑤ 相談者 が	⑦ 相談	回答者	どうしたんですか。
			⑥ 回答者 に	をする	相談者	食欲がないんです。
		B2. 相談内容に関する質問に答える	⑧ 回答者 が	⑩ 質問	回答者	咳は出ますか。
			⑨ 相談者 に	をする	相談者	はい、出ます。
			⑪ 回答者 が	⑬ 回答	回答者	そうですね、風邪ですね。／またいらしてください。
			⑫ 相談者 に	をする	相談者	わかりました。
	C. 回答をうける	C1. 回答を聞く	⑭ 相談者 が		相談者	あの一、お風呂は入らないほうがいいですよ。
			⑮ 回答者 に		回答者	やめたほうがいいと思います。
		C2. 回答を確かめる	① 相談者 と	③ あいさつ	相談者	ありがとうございました。
			② 回答者 が	をする	回答者	お大事に。

3. 談話を話段ごとに区切って聴かせ、「誰が」「誰と／に」「何をどのような文型で表現している」部分なのかを整理する。

3-1. 「A. 相談を始める話段」

「A. 相談を始める話段」の回答者と相談者があいさつをする部分でテープを止め、ワークシートの①から④および、あいさつの表現を答えさせる。

以下のように機能文型に下線を引いて黒板に提示する。

医療相談

	A. 相談を始める話段		
1	回答者	<u>どうぞ座ってください。</u>	
2	相談者	<u>よろしくお願いします。</u>	
3	回答者	はい。	

心理相談

	A. 相談を始める話段		
1	回答者	<u>こちらへどうぞ。</u>	
2	相談者	<u>よろしくお願いします。</u>	
3	回答者	はい。	

3-2. 「B. 相談をかける話段」

「B. 相談をかける話段」は、「B-1. 相談をする小話段」、「B-2. 相談内容に関する質問に答える小話段」の2小話段に区切って聴かせる。

3-2-1 「B-1. 相談をする小話段」

相談者が相談をする際、医療相談と心理相談では、以下のように相談の手続きが異なるため、その手続きに沿って機能文型を提示する。

医療相談

- 1) 回答者が問いかける。(4回答者)
- 2) 相談者が体の症状を説明する。(5相談者)
- 3) 回答者が受け入れる。(6～7回答者)

心理相談

- 1) 回答者が問いかける。(4回答者)
- 2) 相談者が体の症状や現在の状況の説明をする。(5相談者～7回答者)
- 3) 相談者がこれからどうしたらよいかと問う。(8相談者)
- 4) 回答者が受け入れる。(9～10回答者)

上記の手続きに沿って機能文型を提示する。

ワークシート内の「⑤相談者が」「⑥回答者に」「⑦相談をする」を答えさせ、聴きとれた表現について聞く。以下のように機能文型に下線を引いて提示する。

医療相談

	B. 相談をかける話段		
	B-1. 相談をする小話段		
4	回答者	<u>どうしたんですか。</u>	
5	相談者	<u>熱が出て食欲がないんです。</u>	
6	回答者	あ、そうですか。	
7	回答者	わかりました。	

心理相談

	B. 相談をかける話段		
	B-1. 相談をする小話段		
4	回答者	<u>どのようなご相談ですか。</u>	
5	相談者	<u>勉強をする気が起きなくなってしまったんです。</u>	
6	相談者	<u>学校にも行けなくなってしまいました。</u>	
7	回答者	ああ、そうですか。	
8	相談者	<u>それで、これからどうしたらいいか、ご相談したいと思ひまして。</u>	
9	回答者	そうですか。	
10	回答者	わかりました。	

「B-1. 相談をする小話段」の開始部の回答者のⅢ-4〈説明要求〉、相談者が自分の状況を説明する際のⅣ-2〈意見説明〉「Ⅳ-2-3 Nガ, Vンデス。」、終了部のサインとなる回答者のⅣ-2〈意見説明〉「Ⅳ-2-11Vマシタ。」(「わかりました。」)は医療相談、心理相談ともに教授する。

さらに、心理相談においては、Ⅳ-2〈意見説明〉「Ⅳ-2-10Nハ, Vテシマイマシタ。」(「学校にも行けなくなってしまいました。」)を自分の精神的な悩みを説明する表現として導入する。心理相談では、現状の説明のあとのⅣ-4〈意志表明〉Ⅳ-4-5「NヲVタイト思イマシテ。ノ思ウノデスガ。」(「これからどうしたらいいか、ご相談したいと思ひまして。」)までが相談者の相談内容であることを示す。

3-2-2 「B-2. 相談内容に関する質問に答える小話段」

学習者に聞きとれた表現を聞くとともに、回答者が何回位、相談者に質問していたかを聞く。

ワークシート内の「⑧回答者が」「⑨相談者に」「⑩質問をする」を答えさせる。

この小話段には、回答者の質問が2問以上行われることを説明する。また、質問に対する答え方として、質問文が、「はい」か「いいえ」を答える質問（Ⅲ－1〈確認要求〉、Ⅲ－2〈判定要求〉）、「いつ／なに／どこ」（Ⅲ－4〈説明要求〉）などに答える質問、AかBかを選んで答える質問（Ⅲ－3〈選択要求〉）とが来る場合があることを例文を挙げて教える。さらに、質問の順序は決まっていないこともあわせて指導し、回答者による複数の様々な質問に的確に答える小話段であることに気付かせる。

医療相談

	B-2. 相談内容に関する質問に答える小話段		
8	回答者	咳は出ますか。	
9	相談者	① はい、出ます。	
9		② いいえ、咳は出ません。	
10	回答者	熱があるんですね？	
11	相談者	はい。	
12	回答者	熱が出たのはいつですか？	
13	相談者	昨日の夜です。	
14	回答者	咳が出るのは朝ですか？夜ですか？	
15	相談者	夜です。	
16	回答者	他に何か症状はありますか？	
17	相談者	① おなかが痛いです。	
17		② 他はありません。	
18	回答者	ああ、そうですか。	
19	回答者	わかりました。	
20	相談者	はい。	

医療相談の談話例では、8回答者がⅢ－2〈判定要求〉、10回答者がⅢ－1〈確認要求〉、12回答者がⅢ－4〈説明要求〉、14回答者がⅢ－3〈選択要求〉である。回答者の質問が2度以上行われること、順序は定まっていないことを説明する。さらに、16回答者の「他に何か症状はありますか？」のような質問が来る場合もあることを示しておく、この小話段が、回答者が回答をするために、相談者に対して現在の症状について情報を引き出す小話段であることを学習者に理解させることができるのではないと思われる。

以下は、心理相談における「B-2. 相談内容に関する質問に答える小話段」の例である。

心理相談

	B-2. 相談内容に関する質問に答える小話段		
11	回答者	<u>何年生ですか？</u>	
12	相談者	大学2年です。	
13	回答者	<u>いつごろからですか。</u>	
14	相談者	今年の夏ごろからです。	
15	回答者	<u>体調はいかがですか？</u>	
16	相談者	夜はあまりよく眠れ <u>ません。</u>	
17	回答者	そうですか。	
18	相談者	はい。	
19	回答者	<u>家ではどんなふうに過ごしていますか？</u>	
20	相談者	<u>音楽を聞いたり、本を読んだりしています。</u>	
21	回答者	これから、どうしたいですか？	
22	相談者	そうですね、やっぱり大学に行きたいです。	
23	回答者	<u>ご家族には相談しましたか？</u>	
24	相談者	① <u>はい、しました。</u>	
24		② <u>いいえ、まだしていません。</u>	
25	回答者	あー，そうですか。	(あー，なるほど。)
26	相談者	はい。	

相談者の個別の相談内容を知るためには、「はい／いいえ」で答えられる質問文ではなく、Ⅲ－4〈説明要求〉の「いつ／どんな／なにを」といった質問が多く出ることを示す。

「B-2. 相談内容に関する質問に答える小話段」は、医療相談も心理相談も回答者の質問と相談者の答えが形を変えながら繰り返されたあと、「ああ，そうですか。」「わかりました。」「ああ，なるほどね。」「わかりました。」といった表現が、回答者がある程度の情報を得たサインであると教えると、この小話段のゴールが学習者に理解されるのではないかと考えられる。

3－3. 「C. 回答をうける小話段」

「C. 回答をうける小話段」には「C-1. 回答を聞く小話段」と「C-2. 回答の確認をする小話段」があるが、まず、「C-1. 回答を聞く小話段」のあと、相談者が納得して、「D. 相談を終える話段」に展開する〔パターン1〕を教える。

学習者にワークシート内の「⑪回答者が」「⑫相談者に」「⑬回答をする」を答えさせる。

この小話段は、回答者の回答の仕方、回答の聞き方を学習する小話段であることを説明する。さらに、回答者の回答には、順序があることを示す。

医療相談の回答の順序

- 1) 現在の症状について見解を示す。(21 回答者)
- 2) これから起こる症状の可能性を示す。(23 回答者)
- 3) 今後の対処法を指示する。(24 回答者)

心理相談の回答の順序

- 1) 相談者にもう一度現在の状況を確認する。(27 回答者)
- 2) 現在の症状について見解を示す。(29 回答者)
- 3) 今後の対処法を提示する。(34 回答者)

医療相談

	C. 回答をうける話段		
	C-1. 回答を聞く小話段		
21	回答者	そうですね、風邪 <u>ですね</u> 。	
22	相談者	あー、そうですか。	
23	回答者	ただ、これから熱が高くなる <u>可能性がありますので</u> 、明日まで安静にした <u>ほうがいい</u> と思います。	
<hr style="border-top: 1px dashed blue;"/>			
24	回答者	それで様子を見て、まだ治らないようでしたら、またいらして <u>ください</u> 。	
25-1	相談者	<u>わかりました</u> 。	

心理相談

	C. 回答をうける話段		
	C-1. 回答を聞く小話段		
27	回答者	あなたは大学に行きたい <u>んですよね？</u>	
28	相談者	はい。	
29	回答者	本当に疲れがたまっているの <u>かもしれませんねー</u> 。	
30	相談者	そうですか。	
31	回答者	今は <u>ゆっくり休んでいい</u> と思います。	
32	相談者	あー、そうですか。	
33	回答者	休養が一番です。	
34	回答者	くれぐれも無理をしない <u>てください</u> 。	
35-1	相談者	<u>わかりました</u> 。	

医療相談、心理相談ともに、回答者の指示（「Ⅲ-5-1 NㄗVテクダサイ。」）は、最後に来ることを指導する。心理相談の場合は、回答者が相談者にもう一度現在の気持ちを確認

した上で(「Ⅲ-1-3 N1ハVンデスヨネ?」)回答を始める可能性があることを説明する。

相談者の聞き方としては、「あー、そうですか。」を代表的なあいづちの打ち方として示す。さらに、回答者の指示で回答が終わり、回答が理解できたら、回答を理解したサインとして、「わかりました。」を言うことを指導する。

3-4. 「D. 相談を終える話段」

学習者にあいさつの表現を答えさせる。前の「C-1. 回答を聞く小話段」の最後に、「わかりました。」を言う[パターン1]の場合は、相談者は、もう相談を終えていいということを示すため、「D. 相談を終える話段」で「ありがとうございました。」が続いていることを意識させる。

「A. 相談を始める話段」と同じく、扱う相談によって、回答者のあいさつが異なる。もし、医療相談であれば、回答者は、「お大事に（なさってください）。」、心理相談であれば、回答者の「(私の回答を) どうぞ参考にしてください。」のような表現も提示すると、回答者の挨拶の仕方の種類も相談内容によって異なる場合があることを学習者が把握できるのではないかと考えられる。

医療相談

	D. 相談を終える話段	
26-1	相談者	<u>ありがとうございました。</u>
27-1	回答者	<u>お大事に。</u>

心理相談

	D. 相談を終える話段	
36-1	相談者	<u>ありがとうございました。</u>
37-1	回答者	<u>どうぞ参考になさってください。</u>

3-5. その他の留意点

回答者の質問や回答が聞き取れなかったときの機能文型

「B-2. 相談内容に関する質問に答える小話段」や「C-1. 回答を聞く小話段」で回答者の聞き取れなかった語句があった場合は、「回答を聞く」小話段内で、Ⅲ-7〈言い直し要求〉

の「もう一度お願いします。」や、聞き取れた部分のみ反復し、もう一度回答者に言ってもらうことを習得させると、回答がより確実に受け取れるだろう。

3-6. [パターン2]「C-2. 回答を確かめる小話段」の指導方法

「C-1. 回答を聞く小話段」の回答者の回答の仕方、回答の聞き方を練習し、[パターン1]の談話型が理解できたところで、[パターン2]を導入する。

「C-1. 回答を聞く小話段」の後、「C-2. 回答を確かめる小話段」、「D. 相談を終える話段」までを聴かせ、回答者の回答を聞いて、談話が終了したパターンと、どこが違っていたかを答えさせる。

医療相談

	C. 回答をうける話段		
	C-1. 回答を聞く小話段		
21	回答者	そうですね、風邪 <u>ですね</u> 。	
22	相談者	あー、そうですか。	
23	回答者	ただ、これから熱が <u>高くなる可能性があります</u> ので、明日まで安静にしたほうが <u>いい</u> と思います。	
24	回答者	それで様子を見て、まだ治らないようでしたら、またいらして <u>ください</u> 。	
25-2	相談者	あー、はい。	
	C-2. 回答を確かめる小話段		
26-2	相談者	あー、熱が下がるまでお風呂は <u>入らないほうがいい</u> ですね？	
27-2	回答者	そうですね、やめたほうが <u>いい</u> と思います。	
28-2	相談者	わかりました。	
	D. 相談を終える話段		
26-1	相談者	<u>ありがとうございました</u> 。	
27-1	回答者	<u>お大事に</u> 。	

医療相談の場合は、25-2 相談者の「あー、はい。」という〈承認＋確認の注目表示〉のあいづちがパターン1の25-1 相談者「わかりました。」とは異なっている。

心理相談

	C. 回答をうける話段	
	C-1. 回答を聞く小話段	
27	回答者	<u>あなたは大学に行きたいんですよね？</u>
28	相談者	はい。
29	回答者	<u>本当に疲れがたまっているのかもしれないねー。</u>
30	相談者	そうですか。
31	回答者	<u>今はゆっくり休んでいいと思います。</u>
32	相談者	あー，そうですか。
33	回答者	<u>休養が一番です。</u>
34	回答者	<u>くれぐれも無理をしないでください。</u>

35-2	相談者	あー，はい。
------	-----	--------

	C-2. 回答を確かめる小話段	
36-2	相談者	先生，それでは，今は無理に学校に行こうと思わない <u>ほうがいいんですね？</u>
37-2	回答者	そうですねー。
38-2	回答者	あんまり学校に行かなくちゃと思うと，ますます体の調子がおかしくなってしまうよ。
39-2	相談者	あー，そうですね。
40-2	相談者	わかりました。

	D. 相談を終える話段	
36-1	相談者	<u>ありがとうございました。</u>
37-1	回答者	<u>どうぞ参考になさってください。</u>

心理相談の場合も，35－2 相談者の「あー，はい。」〈承認＋確認の注目表示〉が〔パターン1〕の「わかりました。」と異なる点であることを理解させる。

回答の確かめ方としては，Ⅰ-1. 〈注目要求〉「あの一，」や，「先生，」などの呼びかけや，Ⅴ-1 〈関係作り・儀礼〉の「すみません。」から始め，Ⅲ－1 〈確認要求〉の「Ⅲ-1-14 NヲVタハウガイインデスネ？」で，回答を確かめる。回答者の「そうですね。」等の回答答えに納得したら〔パターン1〕と同じく，「わかりました。」と言い，「D. 相談を終える話段」で礼を言い，回答者とあいさつを交わす。

回答を確かめる〔パターン2〕は，〔パターン1〕とは回答を得たあと，「わかりました。」を言うか，言わないかの違いであることを明示すると，談話展開の習得を困難に思うことはないのではないかと考えられる。

3-7. [パターン3]「C-2. 回答を確かめる小話段」の指導方法

[パターン3]は、「C-1. 回答を聞く小話段」の回答に納得がいかなかった場合、再度回答を求めるパターンである。本研究第4章の医療の「電話相談の談話」の15件中、パターン3は0件、第5章の心理の「電話相談の談話」9件中1件のみに見られたパターンである。納得できない回答者の回答に対する反応には、心理相談の談話例を用いる。

パターン3の導入にも、「C-1. 回答を聞く小話段」から談話例を聴かせ、[パターン2]と内容的に、または現れた表現として何が異なっていたかを考えさせる。

心理相談

	C. 回答をうける話段	
	C-1. 回答を聞く小話段	
27	回答者	<u>あなたは大学に行きたいんですよね？</u>
28	相談者	はい。
29	回答者	<u>本当に疲れがたまっているのかもしれないねー。</u>
30	相談者	そうですか。
31	回答者	<u>今はゆっくり休んでいいと思います。</u>
32	相談者	あー、そうですか。
33	回答者	<u>休養が一番です。</u>
34	回答者	<u>くれぐれも無理をしないでください。</u>
35-3	相談者	うーん。
	C-2. 回答を確かめる小話段	
36-3	相談者	<u>でもー、学校に行かないと、授業の単位が取れなくなってしまおうので、心配なんですがー。</u>
37-3	回答者	<u>今は休養することが一番です。</u>
38-3	回答者	<u>少し違うことをしてみたらどうでしょうかね。</u>
39-3	回答者	<u>気分が変わるかもしれません。</u>
40-3	回答者	<u>是非試してみただけですか？</u>
41-3	相談者	わかりました。
	D. 相談を終える話段	
36-1	相談者	<u>ありがとうございました。</u>
37-1	回答者	<u>どうぞ参考になさってください。</u>

35-3 相談者の「うーん。」という〈否認の注目表示〉、および、36-3 相談者の「でもー」という「b3 話を進める機能」の接続表現、「心配なんですがー。」という言いさし表現に注目させる。「心配なんですがー。」のあとに続く表現として、何が考えられるかを聞き、「どうしたらいいんでしょうか。」等が来ることを示す。36-3は、単なる不満の表明では

なく、省略されている「どうしたらいいんでしょうか。」を復元させることで、相談者が回答者から再び回答を聞きたいと思っていることに気付かせる。

回答者の答えとして、どのような表現が見られたかを答えさせる。38-3 回答者「少し違うことをしてみたらどうでしょうかね。」，39-3 回答者「気分が変わるかもしれません。」

40-3 回答者「是非試してみていただけますか？」を練習させる。特にⅢ－5〈単独行為要求〉のⅢ-5-3「NヲVテミテクレマスカ？／Vテミテイタダケマスカ？」は、Ⅲ-5-15「(ドウゾ) Vテクダサイ。」よりも婉曲的な表現であるが、意味としては、「Vテクダサイ。」と同じ意味を表すことに気付かせる。

中級学習者にパターン1～3を習得させるために、医療相談と心理相談の談話例を作成し、各話段、小話段を形成する機能文型に絞って指導方法を考察した。より長い談話を運用し、聴解できるようになるためには、さらに教材研究、機能文型の分析を深めていかなくてはならない。

医療相談の談話例、心理相談の談話例の「談話型」

例文

機能文型

医療相談の談話型

A. 相談を始める話段

- 1 回答者 こちらへどうぞ。
- 2 相談者 よろしくお願ひします。
- 3 回答者 はい。

B. 相談をかける話段

B-1. 相談をする小話段

- 4 回答者 どうしたんですか。
- 5 相談者 熱が出て食欲がないんです。
- 6 回答者 あ、そうですか。
- 7 回答者 わかりました。

B-2. 相談内容に関する質問に答える小話段

- Ⅲ-5- 15 N {φ／ニ／へ} ドウゾ。
- V-1- 4 ヨロシクオ願ひシマス。
- V-2h- 6 ハイ。
- Ⅲ-4- 11 ドウ V {タインデスカ?／タンデスカ?}
- IV-2- 3 Nガ, V ンデス。
- V-2b- 2 アー V-2d- 5 ソウデスカ
- IV-2- 11 V マシタ。

C. 回答をうける話段

C-1. 回答を聞く小話段

- 8 回答者 咳は出ますか。
- 9 相談者 ① はい、出ます。
- 10 回答者 ② いいえ、咳は出ません。
- 11 相談者 熱があるんですね?
- 12 回答者 はい。
- 13 相談者 熱が出たのはいつですか?
- 14 回答者 昨日の夜です。
- 15 相談者 咳が出るのは朝ですか?夜ですか?
- 16 回答者 夜です。
- 17 相談者 他に何か症状はありますか?
- 17 ① おなかが痛いです。
- 18 ② 他はありません。
- 19 回答者 ああ、そうですか。
- 20 回答者 わかりました。
- 20 相談者 はい。

- Ⅲ-2- 1 Nハ V マスカ?
- IV-7- 1 ハイ IV-1- 1 Nハ V マス。
- IV-7- 2 イイエ IV-1- 1 Nハ V マセン。
- Ⅲ-1- 3 N1ハ V ンデスネ?
- IV-7- 1 ハイ。
- Ⅲ-4- 3 Nハイ ツデスカ?
- IV-2- 1 N1ハ, N2 デス。
- Ⅲ-3- 1 N1ハ N2 デスカ? N3 デスカ?
- IV-2- 1 N1ハ, N2 デス。
- Ⅲ-4- 1 何カ アリマセンカ?
- IV-2- 2 Nハ, A i デス。
- IV-1- 2 アリマセン。 V-2d- 5 ソウデスカ
- V-2b- 2 ア
- IV-2- 11 V マシタ。
- V-2h- 6 ハイ。

C. 回答をうける話段

C-1. 回答を聞く小話段

- 21 回答者 そうですね、風邪ですね。
- 22 相談者 あー、そうですか。
- 23 回答者 ただ、これから熱が高くなる可能性がありますので、明日まで安静にしたほうがいいと思います。

- IV-2- 2 N1ハ, N2 デスネ。
- V-2b- 2 アー V-2d- 5 ソウデスカ
- V-2b- 6 ウーン V-2d- 6 ソウデスネ
- IV-2- 16 N1ハ, N2 ノ N3 ガアリマス。
- IV-2- 9 Nハ, V タホウガイイイト思イマス。

24	回答者	それで様子を見て、まだ治らないようでしたら、またいらしてください。	IV-1- 1 NハVテ、 IV-2- 24 Nハ、 V1タラ、 III-5- 1 NヲVテクダサイ。 IV-2- 11 Vマシタ。 V-2b- 2 アー
25-1	相談者	わかりました。	
25-2	相談者 C-2. 回答を確かめる小話段	あー、はい。	
26-2	相談者	あの一、熱が下がるまでお風呂は入らないほうがいいですね？	III-1- 14 NヲVホウガイイデスネ？
27-2	回答者	そうですね、やめたほうがいいと思います。	IV-2- 9 Nハ、 Vタホウガイイト思イマス。
28-2	相談者	わかりました。	IV-2- 11 Vマシタ。
26-1	相談者 D. 相談を終える話段	ありがとうございます。	V-1- 7 アリガトウゴザイマシタ。
27-1	回答者	お大事に。	V-1- 24 オ大事ニ。

心理相談の談話型

1	回答者	A. 相談を始める話段	III-5- 15 (ドウゾ) Vテクダサイ。
2	相談者	どうぞ座ってください。	V-1- 4 ヨロシクオ願イシマス。
3	回答者	よろしくお願ひします。	V-2h- 6 ハイ。
4	回答者	B. 相談をかける話段	
5	相談者	B-1. 相談をする小話段	III-4- 7 ドノヨウナNデスカ？
6	相談者	どのようなご相談ですか。	IV-2- 3 Nガ、 Vンデス。
7	相談者	勉強をする気が起きなくなってしまうんで	IV-2- 10 Nハ、 Vテシマイマシタ。
8	相談者	学校にも行けなくなっていました。	V-2b- 2 アー V-2b- 9 ソウデスカ
9	回答者	ああ、そうですね。	IV-4- 5 NヲVタイト思イマシテ。ノ思ウノデスガ。
10	回答者	それで、これからどうしたらいいか、ご相談したいと思っています。	V-2b- 9 ソウデスカ
11	回答者	そうですね。	IV-2- 11 Vマシタ。
12	回答者	わかりました。	III-4- 3 NハN2デスカ？
13	回答者	B-2. 相談内容に関する質問に答える小話	
14	回答者	何年生ですか？	

12	相談者	大学2年です。	IV-2-	1 N 1 ハ, N 2 デス。
13	回答者	いつごろから <u>ですか。</u>	Ⅲ-4-	3 N ハイツナンデスカ。
14	相談者	今年の夏ごろからです。	IV-2-	1 N 1 ハ, N 2 デス。
15	回答者	体調はいかがですか？	Ⅲ-4-	3 N ハドウデスカ？
16	相談者	夜はあまりよく眠れ <u>ません。</u>	IV-1-	1 N ハ, V マセン。
17	回答者	そうですね。	V-2d-	5 ソウデスカ
18	相談者	はい。	V-2h-	6 ハイ。
19	回答者	家では <u>どんなふう</u> に過ごしていますか？	Ⅲ-4-	5 N ハ, ドンナフウニV テマスカ？
20	相談者	音楽を聞いたり, 本を <u>読んで</u> いたりしています。	IV-2-	12 N ハ, V 1 タリ, V 2 タリシテイマス。
21	回答者	これから, どうしたいですか？	Ⅲ-4-	11 ドウV タインデスカ？
22	相談者	そうですね, やっぱり大学に行きたいです。	IV-4-	5 N ハV タイト思イマス。
23	回答者	ご家族には相談しましたか？	Ⅲ-2-	1 N ハV {マス／マシタ} カ？
24	相談者	① <u>はい, しました。</u>	IV-1-	1 N ハV マス。
24		② <u>いいえ, まだしていません。</u>	IV-1-	1 N ハV マセン。
25	回答者	あー, そうですね。	V-2b-	2 アー
26	相談者	はい。	V-2h-	6 ハイ。
C. 回答をうける話段				
C-1. 回答を聞く小話段				
27	回答者	あなたは <u>大学</u> に行きたいんですよね？	Ⅲ-1-	3 N 1 ハV ンデスヨネ？
28	相談者	はい。	IV-7-	1 ハイ
29	回答者	本当に疲れがたまっているのかもしれない <u>ね。</u>	IV-2-	5 N ハ, V カモシレマセンネー。
30	相談者	そうですね。	V-2b-	9 ソウデスカ
31	回答者	今は <u>ゆっくり</u> 休んでいいと思います。	IV-2-	23 N ハ, V テイイト思イマス。
32	相談者	あー, そうですね。	V-2b-	2 アー
33	回答者	休養が <u>一番</u> です。	IV-3-	1 N 1 ガN 2 デス。
34	回答者	くれぐれも無理をしないで <u>ください。</u>	Ⅲ-5-	1 N ヲV テクダサイ。
35-1	相談者	<u>わかりました。</u>	IV-2-	11 V マシタ。

pattern2
pattern3

35-2 相談者 あー、はい。
35-3 相談者 うーん。

C-2. 回答を確かめる小話段

36-2 相談者 先生、それでは、今は無理に学校に行こうと思
われないほうがいいんですかね？

37-2 回答者 そうですねー。

38-2 回答者 あんまり学校に行かなくちゃと思うと、ますま
す体の調子がおかしくなってしまうすよ。

39-2 相談者 あー、そうですね。
40-2 相談者 わかりました。

C-2. 回答を確かめる小話段

36-3 相談者 でもー、学校に行かないと、授業の単位が取れなく
なってしまうので、心配なんですがー。

37-3 回答者 今は休養することが一番です。

38-3 回答者 少し違うことをしてみたらどうでしょうかね。

39-3 回答者 気分が変わるかもしれません。

40-3 回答者 是非試してみたいだけですか？

41-3 相談者 わかりました。

D. 相談を終える話段

36-1 相談者 ありがとうございました。

37-1 回答者 どうぞ参考になさってください。

V-2b- 2 アー
V-2c- 3 ウーん

III-1- 14 NヲVタホウガイインデスネ？

IV-2- 24 Nハ、V1ルトAiクV2マス。

IV-2- 11 Vマシタ。

II-b3- 32 デモ Nハ、V1ルトAiクV
2マス。 IV-2- 24

II-b3- 27 デスカラ IV-3- 1 N1ガN2デス。

III-5- 4 NヲVテミタラドウデシヨウカ(ネ)。

IV-2- 5 N1ハ、Vルカモシレマセン。

III-5- 3 NヲVテミテクレマスカ？/Vテミテイタダメマス
カ？

IV-2- 11 Vマシタ。

V-1- 7 アリガトウゴザイマシタ。

III-5- 15 (ドウゾ) Vテクダサイ。

第9章 結論と今後の課題

本研究は、日本語の会話・聴解教育に応用するために相談者が専門的知識を提供する回答者に相談したのを受けて、回答者が相談者の状況を正確に把握し、解決策や要因などを回答する相談の談話の「機能文型」に基づく「談話型」を解明するものである。

「談話型」とは、相談の談話の全体的構造の典型のことである。参加者の目的と内容上の相対的な大小のまとまりから区分される談話の成分としての「話段」を構成する、相談者と回答者の発話の機能文型を認定するために、全発話をザトラウスキー(1993)の分類の一部を改訂した全5類40種の発話機能に分類し、「要求」系7種、および「提供」系4種の発話の「機能文型」を提示し、相談の「談話型」を解明する。

本研究では、以下の3類の相談の談話資料を分析対象として用いる。

I. ラジオの相談番組、全6資料

①医療相談【資料1】【資料2】【資料3】の3資料、総発話数5,649発話のうち、15件の「電話の医療相談の談話」4,080発話

②心理相談【資料4】【資料5】【資料6】の3資料、総発話数5,779発話のうち、9件の「電話の心理相談の談話」4,757発話

II. 図書館レファレンスの図書館員と学生の相談の談話、【資料7】【資料8】【資料9】の3資料、総発話数1,002発話

III. 日本語教材の相談の会話文、④初級レベルの5種6場面、発話総数284発話、⑤中級レベルの5種5場面、発話総数334発話

①、②に関しては、ラジオの放送1回分を「談話」として、談話の全体的構造を「大話段」、「話段」、「小話段」によって構造分析するが、相談の「談話型」の解明のために、主に相談者が参加する「電話相談の談話」を取り上げて考察する。

①～③の自然談話と比較して問題点を明らかにし、④と⑤の日本語の初級・中級教材により、会話教育と聴解教育の指導方法を検討する。

9. 1 本研究における各章の概要

第1章 本研究の目的と課題

第1章では以下の2点の研究課題を設定した。

1) 日本語の中級レベル以降の会話および聴解教育において、「談話練習」などで、「談話の流れ」や「談話型」を扱う教科書はあるが、実際の日常の相談の談話において、どのような言語形式の発話をどのような目的で参加者各自が用いるのかを学習者に明示することが、会話の運用能力や聴解能力を高めるために有用なのではないか。

2) 日本語教育の映像教材の中級編(1994:14)では、「発話の機能は言語形式のみによって担われているわけではない。」という前提に立ち、対応関係の整理はなされていない。しかし、発話機能と言語形式の対応による「機能文型」を提示することにより、談話の種類に応じた文型の提示ができるのではないか。

そして以下の4点の研究目的を挙げた。

1. 参加者の目的と発話機能による相談の談話の全体的構造の解明

拙稿(2002)(2003b)において、相談の談話を「発話機能」12類22種の分類した結果、ザトラウスキー(1993)の「発話機能」の③〈情報要求〉に約4割、⑥〈情報提供〉約1割の全体の約半数近くを占める発話が分類されたため、③〈情報要求〉、⑥〈情報提供〉を各7種に細分類した全5類40種の発話機能により、全発話を分類し、相談の談話の全体的構造を支える発話機能を明らかにする。

2. 「要求」系7種、「提供」系4種の「文型」の「機能文型」の提示

相談の談話においては、相談者と回答者の情報のやりとりが主要部分を占めるため、相談の談話の全体的構造を支える発話機能としては、「要求」系7種と「提供」系7種が挙げられる。

「提供」系の発話機能7種のうち、Ⅲ-1〈事実報告〉、Ⅲ-2〈意見説明〉、Ⅲ-3〈感情表出〉、Ⅲ-4〈感情表出〉の4種に多くの発話が含まれること、また、「要求」系と「提供」系の対応関係を全体的構造の中で捉えるためには、「要求」系7種と、「提供」系7種の発話機能のうち、Ⅳ-5〈選択情報提供〉、Ⅳ-6〈言い直し〉、Ⅳ-7〈応答〉の3種以外のⅢ-1〈事実報告〉、Ⅲ-2〈意見説明〉、Ⅲ-3〈感情表出〉、Ⅲ-4〈意志表明〉の4種について、「機能文型」を分析する。

佐久間(2006:2)は、「機能」を「言語の『意味』と『形式』が結びつくことで生じる言語的コミュニケーションを遂行する『働き』のことである」と定義づけ、「機能文型」を「コミュニケーションの実現を支えるための種々の役割を担う文を中心とした表現の類型(パターン)であり、文章・談話の構成要素となるもの」と定義づけている。

本研究における「機能」とは、発話機能の有する「機能」のことであるが、発話機能に

よる発話の分類から形式を分類し、佐久間(2006:2)の定義による『意味』と『形式』の結びつきにより生じるものである。

本研究の「機能」は発話機能の「機能」である。構成要素として、「談話」と「文」の間に「話段」、「小話段」という中間的要素を設けて、日本語の相談の談話型を提示する。

3. 日本語の相談の談話型の解明

相談の「談話型」は、相談者が回答をうけて、すぐに納得するものと、うけた回答を確認してから終わるものなど、複数の展開パターンがある。本研究における相談の談話型は、話段と小話段の展開パターンを成立させる文を機能文型に基づいて提示する。

【表 9－1】本研究の「要求」系と「提供」系の発話機能

Ⅲ . 要 求	
1 確 認 要 求	2 判 定 要 求
3 選 択 要 求	4 説 明 要 求
5 単 独 行 為 要 求	6 共 同 行 為 要 求
7 言 い 直 し 要 求	
Ⅳ . 提 供	
1 事 実 報 告	2 意 見 説 明
3 感 情 表 出	4 意 志 表 明
5 選 択 情 報 提 供	6 言 い 直 し
7 応 答	

4. 日本語の会話教育と聴解教育への応用方法の提示

本研究では、初級文型の学習を終え、よりまとまりのある談話の運用を習得すべき中級学習者の会話教育と聴解教育に談話型を応用する方法を提示したい。

第2章 日本語の相談の談話に関する先行研究

第2章では、参加者が目的に向かって談話を遂行する勧誘（ザトラウスキー(1993)）、依頼（カノックワン(1995)、高木(2003)）、提案（桑原(1998)）、相談の談話に関する先行研究と、本研究の相談の談話との関連や談話構造との相違を論じた。相談に関する先行研究では、村上(1994)(1995)、能田(1996)、拙稿(2002)、拙稿(2003b)の分析方法について検討した。能田(1996)および拙稿(2002)(2003b)では、相談の談話における「大話段」「話段」「小話段」という多重構造が認めつつも、その認定基準が曖昧なことが明らかになった。

また、「発話機能」の分類に関する先行研究を検討し、本研究における発話機能との相違点を挙げた。特に、国立国語研究所(1987b)以降、〈情報要求〉〈情報提供〉という機能が設定されているが、国立国語研究所(1960)の「表現意図」の分類では、「話しことばの文型」を提示するために、形式と意味による分類がなされている。本研究のⅢ－1.〈確認要求〉、

Ⅲ－２．〈判定要求〉Ⅲ－３．〈選択要求〉Ⅲ－４．〈説明要求〉の４機能は、国立国語研究所(1960)の「③要求表現」の「③・１・１・１ 確認要求の表現」,「③・１・１・２ 判定要求の表現」,「③・１・２・１ 選択要求の表現」,「③・１・２・２ 説明要求の表現」の分類に基づくものである。

文型に関する先行研究として、特に、佐久間(2006:2)の「機能文型」の定義と、本研究の「発話機能」を「文型」の言語形式とともに提示する「機能文型」との関連について論じた。本研究は、発話機能の「機能」を文型として定義し、談話の構成要素である「話段」と「小話段」の展開パターンとの関連を考察した上で、「談話型」を示すことによって、会話教育や聴解教育に応用できるのではないかと考えた。

日本語の「話段」と「談話型」に関する先行研究では、「話段」および「談話の単位」の先行研究として、南((国立国語研究所 1971) (1972) (1981) (1983) (1987))の「会話のまとまり」と「談話の要素」、佐久間(1987)の「話段」、また、「勧誘の話段」「勧誘応答の話段」を認定したザトラウスキー(1993)の「話段」の研究を概観した。ザトラウスキー(1993)の勧誘の談話と、本研究の相談の談話では、「各話段」の下位要素として「小話段」を設けることにより、談話構造をより正確に捉えることができるのではないかと述べた。

第３章「本研究の相談の談話における構造分析の方法」

「３．１ 本研究における「談話」の定義」で「談話」「大話段」「話段」「小話段」「発話」の定義を次のように述べた。

相談の「談話」－１人の相談者、１人の回答者（ラジオの場合は１人の司会者も加わる）が相談を始めて、続け、終える音声言語最大のまとまりである。

「大話段」－ラジオの放送１回分を「談話」とした場合の番組編成上の区分である。本研究のラジオの相談番組には、異なる参加者による「電話相談」があるが、本研究では、異なる相談者による相談を始め、続け、終えるまとまりがあることから、「電話相談の談話」とみなす。

「話段」－内容上のまとまりと参加者の目的、発話機能により区分される部分である。

「小話段」－「話段」の下位の要素である。話段の下位として、内容のまとまり、発話機能の違いによって区分される。

「発話」－実質的な発話は、佐久間編(1997)の「節」を基本にしたものである。

３．５「相談の談話の「機能文型」と「談話型」の定義と分析方法」では、本研究における発話機能「要求」系７種と「提供」系４種（Ⅳ－１．〈事実報告〉、Ⅳ－２．〈意見説明〉、

IV－3．〈感情表出〉，IV－4．〈意志表明〉）の文型の認定方法と文型の種類，および「談話型」の定義と認定方法を挙げた。

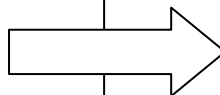
第4章「ラジオの医療相談番組における相談の談話の構造」

ラジオの医療相談番組3資料構造分析を行った。番組編成上，区分される大話段は，以下のⅠ～Ⅳの5類である。「Ⅱ-1. 電話相談の談話」は，相談者が異なること，始めて，続け，終えるというまとまりがあることから，「大話段」ではなく，「談話」とみなす。第5章「ラジオの心理相談番組における相談の談話の構造」における3資料においても，医療相談番組と同じく，5類の大話段が認められることが明らかになった。

医療相談番組には15件の「電話相談の談話」4,080発話，心理相談番組には9件の「電話相談の談話」4,757発話が認められた。「電話相談の談話」の構造は，以下の4類6種の話段，小話段が認められた。

ラジオの相談番組における「談話」と「大話段」

- Ⅰ．番組開始の大話段
 - Ⅰ-1. 番組案内の大話段
 - Ⅰ-2. 番組のテーマに関わる
一般的解説の大話段
- Ⅱ．番組展開の大話段
 - Ⅱ-1. 電話相談の談話**
 - Ⅱ-2. 電話相談の補足解説の
大話段
- Ⅲ．番組継続の大話段
- Ⅳ．番組終了の大話段
- Ⅴ．別番組の大話段



相談の談話の構造

- A. 相談開始の話段
- B. 相談かけの話段
 - B-1. 相談提示の小話段
 - B-2. 相談内容確認の小話段
- C. 相談うけの話段
 - C-1. 回答提供の小話段
 - C-1. 回答確認の小話段
- D. 終了の挨拶の話段

第6章「レファレンスにおける相談の談話の構造」

図書館レファレンスの談話の構造を分析したところ，図書館レファレンスの談話にも上記4類6種の話段，小話段が認められたが，図書館レファレンスの談話は，文献の検索方法，コピーの取り寄せ依頼を1回の談話で複数行うもので，「B. 相談かけの話段」の「B-1.

相談提示の小話段」が複数回見られることが明らかになった。

第7章「機能文型による相談の自然談話の談話型」

本研究の3種の自然談話（第4章の医療相談の「電話相談の談話」、第5章の心理相談の「電話相談の談話」、第6章の図書館レファレンスの談話）を総括した。7.1「日本語の相談の談話の構造」で、相談の自然談話には、4類6種の話段、小話段が認められた。が、「C. 相談うけの話段」の「C-2. 回答確認の小話段」は、資料によって見られない場合があった（医療の「電話相談の談話」15件のうち4件、心理の「電話相談の談話」9件のうち1件、図書館レファレンスの談話3件のうち1件）。これは、「C-1. 回答提供の小話段」で回答者による回答に相談者が納得し、「D. 相談終了の話段」で談話を終えるものである。

7.2「日本語の相談の談話における「要求」系と「提供」系の機能文型」では、相談の自然談話に見られた本研究の発話機能の要求系7種、提供系4種の「機能文型」を考察した。3種の相談の自然談話の「要求」系7種の機能文型は全62文型、「提供」系4種の機能文型は全47文型見られ、全体として109の「要求」系、「提供」系の「機能文型」が認められた。109機能文型のうち、医療相談の談話には79種、心理相談の談話には92種、図書館レファレンスの談話には45種の機能文型が認められた。

7.2.2「本研究の相談の談話構造における「要求」系と「提供」系の機能文型の相違点」では、相談の談話型の解明のために、相談の各話段、小話段の機能文型を考察したところ、特に相談の談話の中で主要な2話段「B. 相談かけの話段」、「C. 相談うけの話段」では、機能文型において特徴が認められた。

第8章「機能文型に基づく相談の談話型の日本語教育への応用」

8.1「日本語初級と中級教材における相談の談話の構造と機能文型」で、日本語初級・中級教材の相談場面の会話文を分析したところ、談話構造としては、自然談話と同じく、4類6種の話段、小話段が認められた。このことから、8.2「相談の談話型の会話および聴解教育への応用」で、談話型の導入方法として、学習者が日常生活で、相談をし、回答を受けることを目指して「相談者」側の視点から以下の構造を導入し、巨視的観点から談話を捉えることを意識させることを提案した。

9. 2 本研究の結論

本研究の結論としては、以下の3点ある。

結論 1. 相談の談話構造、構成要素に関する結論

相談の談話には、4類6種の話段、小話段が認められた。

特に「B. 相談かけの話段」、「C. 相談うけの話段」は、相談の談話の主要な話段である。2話段は、それぞれ2小話段に分けられる。「B. 相談かけの話段」の「B-1. 相談提示の小話段」、「B-2. 相談内容確認の小話段」、「C. 相談うけの話段」の「C-1. 回答提供の小話段」は、自然談話、図書館レファレンス、日本語教材にも見られた。「C-2. 回答確認の小話段」が後続するか否かが相談の談話型の種類を決めるものとなる。

結論 2. 機能文型と談話型に関する結論

7章で3種の相談の自然談話に共通して見られた「要求」系、「提供」系の機能文型と実例を【表9-2】に挙げた。7. 2. 2「本研究の相談の談話構造における「要求」系と「提供」系の機能文型の相違点」では、相談の談話型の解明のために、相談の各話段、小話段の機能文型を考察した。特に相談の談話の中で主要な2話段「B. 相談かけの話段」、「C. 相談うけの話段」では、機能文型において以下の特徴が認められた。

1. 「B. 相談かけの話段」の「B-1. 相談提示の小話段」ではIV-2〈意見説明〉IV-2-3「Nハ、{Vル/Vタ/Ai/An/N}ン{マス/デス}。」で相談者が相談を提示している。

(例9-1)【資料8】の「B-1. 相談提示の小話段」

6相 あの一、論文探すときに一、

7回 はい。

8相 日本語の論文は、探せるんですけど一、

9回 はい。

10相 英語の論文がですね一、

11回 はい。

12相 あの一、国会図書館のほうでも、探せないんですが一。【資料8】

2. 「B-2. 相談内容確認の小話段」では、回答者が相談者に質問し、相談者が答えるため、3種の相談の自然談話に共通して見られたⅢ-1〈確認要求〉2種、Ⅲ-2〈判定要求〉3種、Ⅲ-3〈選択要求〉1種、Ⅲ-4〈説明要求〉2種は全て回答者によるものである。

【表 9－2】相談の自然談話に共通して見られた「要求」系と「提供」系の機能文型

		文型No.	文型	相談の自然談話の例
要求系 62 文型	Ⅲ-1〈確認要求〉 16文型	Ⅲ-1-1	1 N/V{ル/タ} (トイウ) ワケデスネ?	あの一、慢性間質性肺炎であると、あの一【言われた】わけですねー?
		Ⅲ-1-1	2 Nガ {V/AIイ/An} トイウコトデスカ {。/?/ネ?}	【それ】が、【重要だ】ということですか。
		Ⅲ-1-1	3 N1/V {ル/タ} /A/An/N2} ンデス {ネ?/ヨネ?}	だけど、実際には、【難しい】んですよね?
		Ⅲ-1-1	4 N1 {ガ/ハ} {An/AI/N2} デス {ネ?/ヨネ?}	学校で、授業をボイコットしてっていう話ですよね?
		Ⅲ-1-1	6 N {ハ/ガ} V {マス/マシタ} ネ?/ヨネ?	【親子関係】が【こじれます】よね?
		Ⅲ-1-1	9 (N1/ハ) N2デス {カ/ネ}。	【2時間ぐらい】ですか。
	自然談話に共通して見られた文型		6文型	
	Ⅲ-2〈判定要求〉 9文型	Ⅲ-2-	1 N/V {マス/マシタ} カ?	【地下鉄の早稲田駅】は【わかり】ますか?
		Ⅲ-2-	2 N1/ハ {N2/AI/An} デスカ。	で、【鼻】は【悪い】ですか?
		Ⅲ-2-	3 N/Vンデスカ。・N1/ハ {An/N2} ナノデショウカ。	【携帯】は、実際は【使ってる】んですか?
	自然談話に共通して見られた文型		9文型	
	Ⅲ-3〈選択要求〉	Ⅲ-3-	1 N1/ハ {V/AI/An/N2} デスカ? (ソレトモ/アルイ/φ) N3デスカ?	濃い物【好き】ですか?【そうでもない】ですか。
		自然談話に共通して見られた文型		1文型
	Ⅲ-4〈説明要求〉 13文型	Ⅲ-4-	2 N/ハ {ナンカ/何ニ/イクツカラ/イツ/ドウ/ドンナ2ヲ} V {マスカ?/マシタカ?/テマスカ?/テマシタカ?}	友達とか、先生とか、何か【言っ】てましたか?
		Ⅲ-4-	3 N {ハ/トイウ/ハ}、{ドウ/イツ/ナン/ドッチ/イクツ/ドコ/ドワイウコト/ドンナコト/ドノクライ/何年生/何本/何時ごろ/何番} {デスカ?/デス?/デシタカ?/ナンデショウ}。	それで、その一、【これ】は何号でしょうか。
		自然談話に共通して見られた文型		2文型
	Ⅲ-5〈単独行為要求〉 15文型	Ⅲ-5-	1 Nヲ {Vテ/V} クダサイ {ネ}。	教育委員会へ【電話】を【かけ】てください。
		Ⅲ-5-	2 NヲVテミテクダサイ。	【いろーんな情報】【探し】てみてください。
		Ⅲ-5-	3 NヲVテミテクレマスカ?/Vテミテタダケマスカ?	是非、【そんなふうなこと】を【やっ】てみて頂けますか?
		Ⅲ-5-	5 NヲVテタダイテ。/Vテタダウト。/Vテタダケルトカ。	それで、コピーのところに【チェック】を【し】ていただい/て、
		Ⅲ-5-	6 NヲVテタダケレバ/テタダキタイト (φ/ノト思ウ、思イマスケド)	【「General Search」、一般検索のほう】を【選ん】でいただければ、
		Ⅲ-5-	7 オ願イシマス。	【お願い】します。
	自然談話に共通して見られた文型		6文型	
	Ⅲ-6〈共同行為要求〉1文型	自然談話に共通して見られた文型 なし		
	Ⅲ-7〈言い直し要求〉	Ⅲ-7-	7 相手の発話の聞き取れた部分まで反復	しよ、将棋ですか。
	自然談話に共通して見られた文型		1文型	
提供系 47 文型	Ⅳ-1〈事実報告〉 7文型	Ⅳ-1-	1 N/ハ {/ハ}、Vマス/Vマセン。Vテ、Vシ、/Vナイデス。	2年半前から、下痢が【止まり】ません。
		Ⅳ-1-	2 Nガアリマス。/アリマセン。	【腰痛】は、ありません
		Ⅳ-1-	3 N/Vヲ、Vテイマス。	うーん、12時半ぐらいまでは一、【起き】てます。
		Ⅳ-1-	4 N/ハ {Vヨウ、Vコト、Nニ/ト、AI<、An} ニナリマス。/ナリマシタ。	で、ファックスで【取り寄せ】になります。
		Ⅳ-1-	6 N/ハ、Vルコトガデキマス。/デキマセン。/Vラレマス。/Vラレマセン。/動調の可能形	あの、一人では【寝】られません。
	自然談話に共通して見られた文型		5文型	
	Ⅳ-2〈意見説明〉 27文型	Ⅳ-2-	1 N1/ハ、N2デス。	うーんとですね、【戸山キャンパ、戸山図書館、3//8号館の1】です。
		Ⅳ-2-	2 N/ハ、{AI/An/Vナイ} {デス/デスネー。デシタネー。/デスヨネー。}	あつ、【妹】は【細かい】です。
		Ⅳ-2-	3 N/ハ、{Vル/Vタ/AI/An/N} ン {マス/デス} {。/ネ。/デスネ。}	【食欲】はとても【旺盛な】んです。
		Ⅳ-2-	4 N/ハ、{V/AI/An/N} {ヨウ/ラシイ/ミタイ/ソウ} デス。	ガスもなんか【溜まりやすい】みたい。
		Ⅳ-2-	5 N/ハ、{V/AI/An/N} カモシレマセン {。/ネー。}	そうしますと、今のお薬が、少し【強すぎる】のかもかもしれません。
		Ⅳ-2-	6 N/ハ、{V/AI/An/N} トイウコト {デショウ(ネ)/デスネ。}	今の状態をとりあえず、完全に【治してしまふ】ということでしょう。
		Ⅳ-2-	8 N/ハ、{V/AI/An/N} ト思イマス。/ウンデス。/テルンデスヨー。/ツテ。}	あー、【それ】はちょっと量が【少ない】と思います。
		Ⅳ-2-	10 N/ハ、Vテ {シマイマス。/シマウンデス。/キチャイマス。テキチャウ(ンデス)。}	すごい【しんどくなっ】てしまったんですよ。
		Ⅳ-2-	11 V {マシタ。/マセン。/マスネ。}	はい、わかりました。
		Ⅳ-2-	13 N/ハ、V1 {カラ、タメニ、ノテ} (V2)。	夜、こう、【友達【笑い】から引き離しに行くの】は、【父親です】ので。
		Ⅳ-2-	14 N/ハ、V1 { (ン) ケド/ガ/ノニ、} (V2)。	あの一、今までは、そういうこと【なかった】のに、なんか、夏休みを境に、なんか。
	自然談話に共通して見られた文型		11文型	
	Ⅳ-3〈感情表出〉4文型	Ⅳ-3-	1 N {ガ/デ/モ} AI/Anデス。N1ガN2デス。	それから、散歩もとっても大事ですが一、何かやっぱり【気を紛らわすこと】も、とても大事だと思えますよ?
	自然談話に共通して見られた文型		1文型	
	Ⅳ-4〈意志表明〉9文型	自然談話に共通して見られた文型 なし		

「B-2. 相談内容確認の小話段」の「要求」系は、順不同で現れ、回答者は必ず複数の要求を相談者にしていた。これは、あとで的確な回答をするために、必要な情報を引き出す必要があるからである。回答者の「要求」系に対して、相談者は、「提供」系で答えている。

(例 9 - 2) 【資料 2 - 5】の「B-2. 相談内容確認の小話段」

1638 回 それで、痰の色はどうですか? Ⅲ-4〈説明要求〉Ⅲ-4-3
 1639 相 あの、きれいなんです。 IV-2〈意見説明〉Ⅳ-2-3
 1640 回 あー、透明であると。 Ⅲ-1〈確認要求〉Ⅲ-1-2
 1641 相 はい。 Ⅲ-7-1〈応答〉
 1642 回 しかし、切れにくいと。 Ⅲ-1〈確認要求〉Ⅲ-1-2
 1643 相 はい。 Ⅲ-7-1〈応答〉
 1644 回 で、鼻は悪いですか? Ⅲ-2〈判定要求〉Ⅲ-2-2
 1645 相 ええ、あの、鼻水も出ます。 IV-1〈事実報告〉Ⅳ-1-1

【図 4 - 3】「B-2. 相談内容確認の小話段」における回答者の「要求」系の発話機能と相談者の「提供」系の発話機能の関係

回答者の要求	⇒	相談者の提供
〈判定要求〉, 〈確認要求〉	⇒	〈応答〉, 〈事実報告〉, 〈意見説明〉 〈応答〉 + 〈事実報告〉, 〈応答〉 + 〈意見説明〉
〈説明要求〉	⇒	〈事実報告〉, 〈意見説明〉
〈選択要求〉	⇒	〈選択情報提供〉

3. 「C. 相談うけの話段」の「C-1. 回答提供の小話段」は、回答者が「提供」系で回答をしている。また、「要求」系のⅢ-5〈単独行為要求〉の機能文型が現れるのはこの小話段であり、回答者が相談者に回答の最後に今後の対処法の指示をする。

(例 9 - 3) 【資料 2 - 3】「C-1. 回答提供の小話段」

841 回 えー、腸の検査を受けたこ、受けたほうがいいと思いますしー、Ⅳ-2〈意見説明〉
 842 相 あーそうですか。
 843 回 あの、そして、薬をちょっと、変えてみたほうが、 Ⅳ-2〈意見説明〉Ⅳ-2-9
 844 相 はい。
 845 回 いいと、私は思いますねー。 Ⅳ-2〈意見説明〉Ⅳ-2-9

846 相 あーそうですか。

847 回 はい。

848 相 // はい。

849 回 今一の状態、ちょっと、つ、辛そうでかわいそうだし、 IV-2〈意見説明〉IV-2-2

850 相 はい。

851 回 なるべく早く先生に相談してみてください。 Ⅲ-5〈単独行為要求〉Ⅲ-5-2

852 相 はい、わかりました。

853 回 はい。

4. 「C-2. 回答確認の小話段」は「B-2. 相談内容確認の小話段」とは逆に、相談者が回答者に要求し、回答者が提供する。回答を確認するため、Ⅲ－1〈確認要求〉の機能文型が見られる。

(例9-4)【資料1-2】の「C-2. 回答確認の小話段」

546 相 先生と相談しながら、

547 回 はい。

548 相　それが、ワンクール一月10本のワンクールなのか、

549 相 週に1回にするとかです//ね？

550 回 はい。

551 相 それを自分で掴めばいいわけですね？//これから。 Ⅲ-1〈確認要求〉Ⅲ-1-1

552 回 そうなんです。

以上のように同じ機能文型を違う参加者が用いていたり、特定の小話段にしか出てこない機能文型が見られたりすることから、談話の全体的構造の中で文型を捉えると、誰がどのような目的で、どのような文型を用いているかということが見えてくる。

「7. 3 日本語の相談の談話型」では、本研究の相談の談話の展開パターンとして、以下の4パターンを挙げた。

【図 9－1】日本語の相談の談話における「話段」と「小話段」の展開パターン

パターン1				パターン2				パターン3				パターン4			
1	A. 相談開始の話段			1	A. 相談開始の話段			1	A. 相談開始の話段			1	A. 相談開始の話段		
2	B. 相談かけの話段	2-1	B-1. 相談提示の小話段	2	B. 相談かけの話段	2-1	B-1. 相談提示の小話段	2	B. 相談かけの話段	2-1	B-1. 相談提示の小話段	2	B. 相談かけの話段	2-1	B-1. 相談提示の小話段
		2-2	B-2. 相談内容確認の小話段			2-2	B-2. 相談内容確認の小話段			2-2	B-2. 相談内容確認の小話段			2-2	B-2. 相談内容確認の小話段
3	C. 相談うけの話段	3-1	C-1. 回答提供の小話段	3	C. 相談うけの話段	3-1	C-1. 回答提供の小話段	3	C. 相談うけの話段	3-1	C-1. 回答提供の小話段	3	C. 相談うけの話段	3-1	C-1. 回答提供の小話段
4	D. 相談終了の話段					3-2	C-2. 回答確認の小話段			3-2	C-2. 回答確認の小話段	4		B. 相談かけの話段	4-1
				4		D. 相談終了の話段					3-3	C-1. 回答提供の小話段	5		C. 相談うけの話段
	D. 相談終了の話段				D. 相談終了の話段					D. 相談終了の話段					
				6											

パターン1は、4パターンの中で、最も単純な展開である。「C-1. 回答提供の小話段」で、相談者が「わかりました。」等で、回答に納得したことを示し、「D. 相談終了の話段」へと展開するものである。パターン2は、「C. 相談うけの話段」の「C-1. 回答提供の小話段」の後、「C-2. 回答確認の小話段」へと進むもので、相談者が回答を確認し、納得して終了するものである。

パターン3は、パターン2と同じく、「C. 相談うけの話段」の「C-1. 回答提供の小話段」の後、「C-2. 回答確認の小話段」へと進むものであるが、相談者が「C-1. 回答提供の小話段」で回答に納得せず、さらに別の回答を求めるものである。

パターン4は、「C. 相談うけの話段」の「C-1. 回答提供の小話段」の後、「B-2. 相談内容確認の小話段」へと進むものである。回答者が的確に回答するために、前の「B-2. 相談内容確認の小話段」で聞き出せなかったことや、確認したいことを聞くものである。

これらのパターンの話段、小話段を支える機能文型を挙げたものが【図 9－2】である。

結論 3. 会話教育、聴解教育への応用方法に関する結論

「談話型」の導入には、談話の展開方法の明示が必要になる。【図 9－3】の「相談の談話における「話段」と「小話段」の展開パターン」に挙げた4パターンの中で、初級学習者には、回答を得て相談の談話を終えるパターン1と、回答を得たあと回答者に確認するパターン2、中級学習者には、パターン2と回答者の回答に納得できなかった場合、もう一度回答を求めるパターン3、上級学習者には、回答者が回答をする中で、もう一度相談内容に関する質問をするパターン4およびすべての展開パターンの相談の談話を運用、聴

本研究では、初級文型を習得し、まとまりのある会話を表現し、聴解することを習得する必要がある中級学習者に向けた機能文型に基づく談話型の導入方法を提案した。

【図9-3】相談の談話における「話段」と「小話段」の展開パターン

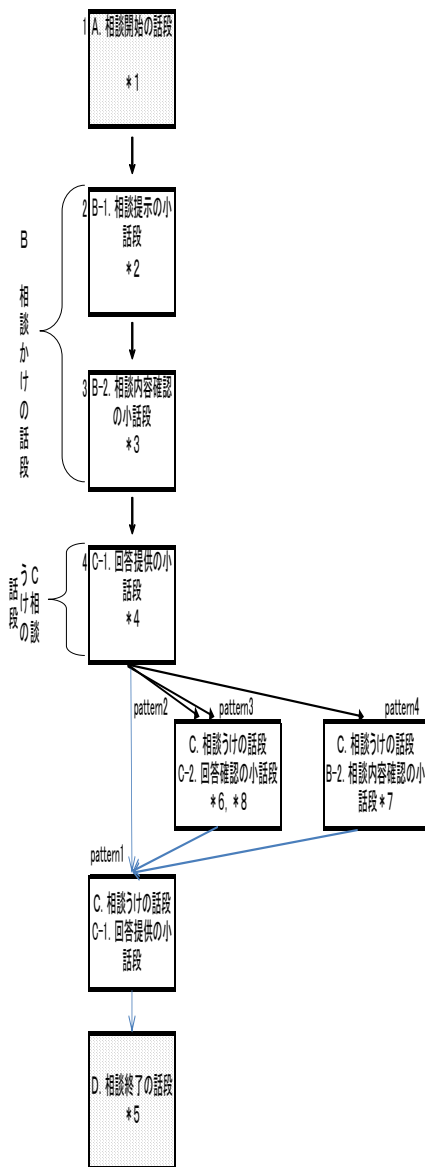
```
pattern1
pattern2
pattern3
```

330

【図9-2】日本語の相談の談話型

日本語の相談の談話型-「話段」と「小話段」を形成する「要求」系と「提供」系の文型

相談の談話



相談の談話の話段の展開を示したものである。
*と番号の文型は、別紙を参照されたい。

		文型	発話機能
*1	回答者 II-5- 相談者 V-1-	15 N I {6/ニ/ハ} ドウゾ。 4 ヨソクオマケイシマス。	《単独行為要求》 《関係作り・儀礼》
*2	回答者 II-4- 相談者 II-2- 相談者 II-4- 回答者 II-2-	7 ドノウナNデスカ? 3 Nガ、Vソデス。 9 Vタイノデスカレドモ。 11 Vマシタ。	《説明要求》 《意見説明》 《意見説明》 《意見説明》
*3	回答者 II-2- 相談者 II-1-	1 N/Vマスカ? 1 ハイ、N/Vマス。	《判定要求》 《応答》+《事実報告》
	回答者 II-1- 相談者 II-7-	3 N1/Vナインデスカ? 1 ハイ。	《確認要求》 《応答》+《事実報告》
	回答者 II-4- 相談者 II-1-	5 Nハ、ドウVデスカ? 3 N/Vテイマス。	《説明要求》 《事実報告》
	回答者 II-3- 相談者 II-2-	1 N1/Vデショウカ、ソレトモVソショウカ。 4 Nハ、Vヨウデス。	《選択情報要求》 《選択情報要求》
	回答者 V-2a- 相談者 V-2a-	2 アー V-2d- 5 ソウデスカ 6 ハイ。	《承認+確認の注目表示》 《同意の注目表示》
*4	回答者 相談者 II-2- 相談者 V-2a- 回答者 II-2- 相談者 V-2a- 回答者 II-3- 相談者 II-2- 相談者 V-2a-	ソウデスネ。 7 N1ハ、N2ジャナイデショウカ。 2 アー。 23 Nハ、Vテイイトモイマス。 2 アー V-2d- 5 ソウデスカ 1 N1ガN2デス。 11 Vマシタ。 2 アー V-2d- 5 ソウデスカ	《自己注目表示》 《意見説明》 《承認の注目表示》 《意見説明》 《感情表出》 《意見説明》 《承認+確認の注目表示》
*5	V-1- V-1-	7 アリガトウゴザイマス。 24 参考ニドウゾ	《関係作り・儀礼》 《関係作り・儀礼》
*6	II-1- II-5-	14 N1/N2デインデスカ? 4 NニVテハイカガデショウカ。	《確認要求》 《単独行為要求》
*7	II-1- II-2-	4 N1/Vアイデスカ? 2 Nハ、Anデス。	《判定要求》 《意見説明》
*8	V-2c- II-2-	3 ウーソ。 3 N1ハ、N2ソデスカ?	《否認の注目表示》 《意見説明》

9. 3 今後の課題と本研究の意義

本研究は、「発話機能」の「要求」系と「提供」系の文型を中心にした分析だったため、今後、接続表現（〈談話表示〉）、あいづち（〈注目表示〉）、呼びかけやフィラー（〈注目要求〉）との組み合わせによる機能文型を早急に検討する必要がある。

また、談話における「発話」と文型における「文」の関係性については、本研究の数量的分析の際にも生じる問題点であるため、今後深く考察するべきである。

「機能文型」の捉え方、本研究の「要求」系と「提供」系の機能文型との関連に関しても、今後検討していく問題である。

今後は、さらに相談の談話のデータを収集し、本研究で提案した相談の「談話型」を実際の教育現場で導入しながら検討していきたい。

本研究では、相談の談話のみを考察対象としたが、参加者がある目的に向かって談話を遂行する依頼、勧誘、提案の談話においても、本研究の分析方法に基づいた談話型の提示を示すことで、様々な種類の会話の教育、聴解の教育に役立つと考えられる。

今後相談の談話資料を収集し、機能文型に基づく談話型の他のパターンの可能性を探ることにより、他の種類の談話の談話型の研究、教育への応用方法の考察を深めたい。

【巻末注】

第1章

1) 『ニューアプローチ中上級日本語完成編』p. ivの「標準的な教科書の使い方」には、「会話文型・表現」は、必要に応じて利用する。(文型のみ取り上げて学習しても良い)」と書かれている。

2) 拙稿(2003a)の発話機能全6類40種を再検討したものである。

第2章

3) ザトラウスキー(1993:60)は、「南(1981)の定義にしたがい、電話の「会話」がいくつかの「談話」からなるものとする。」と述べている。

4) 村上(1994)では、3人の参加者をそれぞれ「アナウンサー」「アドバイザー」「相談者」と呼んでいる。

5) 仁田義雄(1991)『日本語のモダリティと人称』ひつじ書房 p. 255

6) 南(1983:94)は「単位認定の手がかり」は、「表現された形そのもの」「参加者」「話題」「使用言語」「コミュニケーションの機能」「媒体」「表現態度(フリ)」「全体的構造」を挙げている。

7) 拙稿(2002)の分析対象は、【資料1】2001年9月16日放送「消化器」、【資料2】同年10月16日放送「呼吸器」【資料3】同年10月30日放送「漢方」であり、本研究と同一の資料である。

8) 拙稿(2003c)では、C-1～C-3を「小話段」に認定した。

9) 拙稿(2003b)の分析対象は、【資料4】2001年9月20日放送、【資料5】同年10月18日放送、【資料6】同年11月2日放送であり、本研究と同一の資料である。

10) 国立国語研究所(1994)では、第2部(中道真木男氏執筆)に、「単位方略(タクティクス)」全8類74種の分析項目が立てられている。同(1994:185)では、「単位方略」を以下のように定義している。

単位方略(タクティクス): ストラテジーの各部分に相当する類型化された行動様式。(中略) ある種類の単位方略に相当する具体的なことばや行動は複数の種類にわたるのが普通で、それらのうちのどれを選択するかは、さまざまな条件を考慮したいいわゆる待遇行動の一部となる。学習過程の中では、それぞれの単位方略を実現するための最も基本的で明瞭な手段を習得することから始めて、しだいに変則的な手段を知り、最終的には自分なりの個性的な手段をそれぞれの単位方略について獲得していくことになるだろう。(p.185)

11) 「表現意図」の章は、宮地裕氏が執筆している。

12) 「発話機能の部」は、中道真木男氏が執筆している。

13) 「発話機能」については、熊谷智子氏が執筆している。

14) ザトラウスキー(1993:85)では、⑪〈関係作り・儀礼〉が「ほかの⑫〈注目表示〉と異なり、社会における人間関係を示すため、⑫〈注目表示〉として扱わない。」と述べている。この点では、ザトラウスキー(1991a,b)と異なっていることにも言及している。

15) 佐久間(1987:103)では、「特に区別する必要がある場合のみ「話段」という用語を」用いるとし、「一般には「文段」という語で一括して扱う」と述べている。佐久間(1992:42)では、「従来、「文段」と呼ばれてきた単位を「段」と改称」し、市川(1987)の「文段」と、佐久間(1987)の「話段」の観点との両方を含め、「文章を直接に構成する要素」とであると述べている。

16) ザトラウスキー(1993:85)は、「本書の「話段」は、1991年度提出の筑波大学大学院博士論文『日本語の談話の構造分析——勧誘ストラテジーの考察——』で、「「段階(Stage)」と呼んでいるもののことである。」と述べている。「段階」は、「参加者がある

目的に向かっていく過程のなかでの一段階」であるとしている。

17) ザトラウスキー(1993)では、「メタ言語的発話」は、杉戸(1983)、杉戸・塚田(1991)の「言語行動を説明する言語表現」と類似する発話であると述べている。杉戸・塚田(1991:133)は、「言語場面で話し手(書き手)自身がこれからどんな種類の言語行動をしようとしているか(あるいは、たったいま、どんな種類の言語行動をしたか)を具体的な言語表現の形で明示的に言ったり書いたりする」機能を持つ発話である。

18) 田中(2006:33)は、「機能文型」について、「今のところ、「機能文型」と「表現文型」は同一のもの、異母兄弟的なものとししか説明できない。」としている。さらに「機能文型」を「構造文型」と「表現文型」の中間に位置」と述べており、佐久間(2006:4)では、田中(2006)との解釈の異なる点にふれている。

19) 佐久間(2007)は、講義の談話の談話型として、6種の「文章型」の「頭括型」「尾括型」「中括型」「両括型(双括式)」「潜括型(隠括型)」を用いて分類している。

第3章

20) 本研究のラジオの相談番組の分析対象である6資料の文字化、分析に際し、2005年11月に使用許可を再度NHKラジオ第一放送に問い合わせたところ、2005年現在の午後班チーフプロデューサーである奥津憲仁氏より、回答者の氏名および、相談者の氏名、出身地を明記しないよう回答を頂いたため、該当部分は、アルファベットで記す。

21) 協力者は、メーリングリストで募集した。

22) 『談話資料集』は、1991年度提出の日本女子大学文学部国文学科卒業論文の分析資料として、日本語学ゼミ(佐久間まゆみ助教授(当時))の酒井陽子・須藤文恵・山田統子・脇坂昌枝・鈴木香子の5名で女子大学生の談話と対談番組計7資料を録画・録音し、文字化したものである。談話資料の収録の際は、佐久間・ザトラウスキー両氏にご指導いただいた。談話資料の文字化は、佐久間助教授(当時)にご指導いただき、発話区分の校閲も全て佐久間助教授にいただいた。

第7章

- 23) 用例のあとの[]には、資料番号、話段、小話段、発話番号、発話者をそれぞれ示した。たとえば、[資 2-2 相談かけ 相確 611 回]は、【資料 2－2】「B. 相談かけの話段」の「B-2. 相談内容確認の小話段」611 回答者の発話を文に直したものである。

第8章

- 24) 『日本語中級 I』の p.189 に、「[文型・文法] は、文の構造的特徴を表す基本的な型と機能語等の用法を中心に示した。[表現] では、その課で扱った主な言い方を、表現機能の面からまとめた。機能的役割を示す部分に下線を付し、その機能説明を（ ）の中に示した。」と説明されている。
- 25) 「文型・文法」で「(4)～てもいいか」, 「表現」で「(4)許可を求める」。
- 26) 会話文は、第4章、第5章の談話型の分析をもとに、筆者が作成したものである。

【参考文献】

- 安達太郎(1989)「日本語の問い返し疑問について」『日本語学』8-8 明治書院
- (1999)『日本語研究叢書 11 日本語疑問文における判断の諸相』くろしお出版
- 鮎澤孝子(1988)「話しことば」の特徴——聴解教育のために『日本語教育』64 日本語教育学会
- 市川孝(1978)『国語教育のための文章論概説』教育出版
- 奥津敬一郎(1989)「応答詞「はい」と「いいえ」の機能」『日本語学』8-8 明治書院
- 小沼喜好(2000)「医療相談に見られる決定疑問文での返答の言語ストラテジー」『RHODUS Zeitschrift für Germanistik』16 筑波大学ドイツ文学会
- 岡崎敏雄(1987)「談話の指導——初～中級を中心に——」『日本語教育』62 日本語教育学会
- 荻原稚佳子・堀歌子(1998)「OPIによる談話構成・話題展開分析に見られる学習者と教科書との関連」『講座 日本語教育』33 早稲田大学日本語研究教育センター
- 尾崎喜光(1996)「発話をもたらす対人効果の研究(2)——発話機能を軸とした分析——」国立国語研究所研究報告集 17
- 柏崎秀子(1993)「話しかけ行動の談話分析——依頼・要求表現の実際を中心に——」『日本語教育』79 日本語教育学会
- 柏崎雅世・足立さゆり・福岡理恵子(1997)「インフォーマルな「と」相談における提案の分析」『日本語教育』92 日本語教育学会
- カノックワン・ラオハブラナキット(1995)「日本語における「断り」——日本語教科書と実際の会話との比較——」『日本語教育』87 日本語教育学会
- 蒲谷宏(1997)「〈言語＝行為〉観に基づく日本語教育における「文型」の位置づけ」『講座 日本語教育』32 早稲田大学日本語研究教育センター
- (2003)「「待遇コミュニケーション教育」の構想」『講座 日本語教育』39 早稲田大学日本語研究教育センター
- 蒲谷宏・北條淳子・小出美河子・新居田純野・久光直子・深田嘉昭(1995)「「文型」をめぐる問題点」『講座 日本語教育』30 早稲田大学日本語研究教育センター
- 蒲谷宏・川口義一・坂本恵(1998)『敬語表現』大修館書店
- 川上恭子(1992)「話し合いの具体的分析—共感と反発—」『日本語学』12-4 明治書院

- 川口義一(1986)「中級教科書の語彙・文型」『講座 日本語教育』第22分冊 早稲田大学語学教育研究所
- (2003)「表現類型論から見た機能の概念——「働きかける表現」の提唱——」『講座 日本語教育』第39分冊 早稲田大学日本語研究教育センター
- 北條淳子(1979)「日本語中級教材における文型」『講座 日本語教育』第15分冊 早稲田大学語学教育研究所
- (1989)「Ⅰ. 複文文型」『日本語教育指導参考書 15 談話の研究と教育Ⅱ』国立国語研究所
- 木戸幸聖(1979)「精神障害と言語行動——分裂病を中心として——」南不二男編『講座 言語 第3巻 言語と行動』大修館書店
- 金 秀芝(1993)「日・韓両言語における「あいづち」の対照研究——電話の会話を中心に——」『大阪大学日本学報』12 大阪大学文学部日本学研究室
- 熊谷智子(1997)「はたらきかけのやりとりとしての会話 特徴の束という形でみた「発話機能」」『対話と知 談話の認知科学入門』新曜社
- (2000)「言語行動分析の観点—「行動の仕方を形づくる諸要素について—」『日本語科学』7 国立国語研究所
- 熊取谷哲夫(1992)「電話会話の開始と終結における「はい」と「もしもし」と「じゃ」の談話分析」『日本語学』11-9 明治書院
- 桑原和子(1995)「日本語の「提案」の談話の構造分析」『日本女子大学大学院文学研究科紀要』第2輯 日本女子大学
- (1998)「会議の提案の談話における「話段」の展開とストラテジー」『国文目白』37 日本女子大学国語国文学会
- 小泉 保(2000)『言語研究における機能主義——誌上討論会——』くろしお出版
- 国立国語研究所(1960)『話しことばの文型(1)——対話資料による研究——』国立国語研究所報告 18
- (1963)『話しことばの文型(2)——独話資料による研究——』国立国語研究所報告 23
- (1971)『待遇表現の実態——松江24時間調査資料から——』国立国語研究所報告 41 秀英出版
- (1984a)『日本語教育映画基礎編 教師用マニュアル』

- (1984b) 『日本語教育映画基礎編 シナリオ集』
- (1986) 『日本語教育映画基礎編 総合文型表』
- (1987) 『談話行動の諸相—座談資料の分析—』 三省堂
- (1991) 『日本語教育映像教材 中級編 関連教材 伝えあうことば 1
シナリオ集』
- (1994) 『日本語教育映像教材 中級編 関連教材 伝えあうことば 4
機能一覧表』
- (1996) 『日本語教育映像教材初級編 日本語でだいじょうぶ シナリオ
集』
- (2000) 『日本語教育映像教材初級編 日本語でだいじょうぶ 解説書』
- 斎藤里美(1989)「日本語教育における疑問文・質問文—コミュニケーション上の機能から
みた日本語教材の課題—」『日本語学』8—8 明治書院
- 坂本恵・川口義一・蒲谷宏(1994)「「行動展開表現」について——待遇表現教育のための基
礎的考察——」『日本語教育』82 日本語教育学会
- 佐久間まゆみ(1986)「『日本語表現文型』の諸問題」『日本語教育』59 日本語教育学会
- (1987)「文段認定の一基準（Ⅰ）——提題表現の統括——」『文藝言語研究
言語篇』11 筑波大学 文芸・言語学系
- (1990a)「ケース1 接続表現(1)」寺村秀夫外3名編『ケーススタディ 日
本語の文章・談話』おうふう
- (1990b)「文段認定の一基準（Ⅱ）——接続表現の統括——」『文藝言語研究
言語篇』17 筑波大学 文芸・言語学系
- (1992a)「接続表現の文脈展開機能」『日本女子大学文学部紀要』41 日本女
子大学
- (1992b)「文章と文——段の文脈の統括——」『日本語学』11—4 明治書院
- (1995)「中心文の「段」統括機能」『日本女子大学文学部紀要』44 日本女
子大学
- (2000)「文章・談話における『段』の構造と機能」『早稲田大学日本語教育セ
ンター紀要』13 早稲田大学日本語教育センター
- (2002)「3 接続詞・指示詞と文連鎖」野田尚史・益岡隆志・佐久間まゆみ・
田窪行則著『日本語の文法4 複文と談話』岩波書店

- (2003)「第5章 文章・談話における『段』の統括機能」北原保雄監修,
佐久間まゆみ編『朝倉日本語講座7 文章・談話』 朝倉書店
- (2007)「第1章 講義の談話の話段と談話型」『学際的アプローチによる大学
生の講義理解能力育成のためのカリキュラム開発』(平成16年度～平成18年度科学研究
費補助金(基盤研究(C))研究成果報告書)
- (1994)『要約文の表現類型 日本語教育と国語教育のために』 ひつじ書房
- (1997)『要約文の表現類型と評価方法——外国人留学生と日本人大学生の比
較』平成6～8年度科学研究費補助金 基盤研究(C)(2)研究成果報告書
- (2000)『文章・談話における「段」の構造と機能』平成9年度～平成11年度
科学研究費補助金(基盤研究(C)(2))研究成果報告書
- (2006)『「日本語機能文型」教材開発のための基礎的研究 早稲田大学日本
語研究教育センター 2005年度重点研究 研究成果報告書』 早稲田大学日本語研究
教育センター
- 佐久間まゆみ・杉戸清樹・半澤幹一編(1997)『文章・談話のしくみ』 おうふう
- 佐久間まゆみ・鈴木香子(1993)「女子学生の日常談話の接続表現」『国文目白』32 日本女
子大学国語国文学会
- 佐々木倫子(1992)「日本語教育と話し合い」『日本語学』12-4 明治書院
- 佐藤誠・高塚雄介・福山清蔵(1999)『電話相談の実際』 双文社
- 初級文法研究会(1990)「初級文型応用表現練習法(1)」『講座 日本語教育』第25分冊 早
稲田大学日本語研究教育センター
- 初級文法研究会(1991)「初級文型応用表現練習法(2)」『講座 日本語教育』第26分冊 早
稲田大学日本語研究教育センター
- 初級文法研究会(1992)「初級文型応用表現練習法(3)」『講座 日本語教育』第27分冊 早
稲田大学日本語研究教育センター
- 杉戸清樹(1983)「待遇表現としての言語行動——『注釈』という視点」『日本語学』2-7
明治書院
- (1987)「発話のうけつぎ」国立国語研究所編『国立国語研究所報告92 談話行動
の諸相 座談資料の分析』 三省堂
- 杉戸清樹・沢木幹栄(1979)「言語行動の記述——買い物行動における話しことばの諸側面
——」南不二男編『講座 言語 第3巻 言語と行動』 大修館書店

- 杉藤美代子(1993)「効果的な談話とあいづちの特徴及びそのタイミング」『日本語学』
12-4 明治書院
- 梶本総子(2000)「人間関係からみた課題解決の会話の連鎖構造」『世界の日本語教育』10
国際交流基金日本語国際センター
- 泉子・K・メイナード(1987)「日米会話におけるあいづち表現」『月刊言語』16-11 大修
館書店
- (1993)『日英語対照研究シリーズ2 会話分析』 くろしお出版
- 鈴木香子(1995)「内容区分調査による『話段』認定の試み」『国文目白』34 日本女子大学
国語国文学会
- (2002)「ラジオの医療相談の談話の構造分析」『早稲田大学日本語教育研究』1
早稲田大学大学院日本語教育研究科
- (2003a)『発話機能に基づく日本語の相談の談話の構造分析』 早稲田大学大学院
日本語教育研究科修士論文(未公刊)
- (2003b)「ラジオの心理相談の談話の構造分析」『早稲田大学日本語教育研究』3
早稲田大学大学院日本語教育研究科
- (2003c)「相談の談話における発話機能による話段の分析」『国語学会2003年度
秋季大会予稿集』
- 高木美嘉(2003)「依頼に対する「受諾」と「断り」の方法」『早稲田大学日本語教育研究』
2 早稲田大学大学院日本語教育研究科
- (2006)『行動を促す会話における待遇表現行為の研究：相互行為的会話教育の基
礎理論』 早稲田大学大学院日本語教育研究科博士論文
- 田中 寛(1998)「文型教材の構成と項目の選定—中国の日本語文型教材を例に—」『講座
日本語教育』第31分冊 早稲田大学日本語研究教育センター
- (2004)「文法研究と文型研究」『別科日本語教育論集』7 大東文化大学
- (2006)「1.3 日本語機能文型の分類と配列の方法」佐久間まゆみ『「日本語機能
文型」教材開発のための基礎的研究 早稲田大学日本語研究教育センター 2005年度
重点研究 研究成果報告書』 早稲田大学日本語研究教育センター
- 田中望(1983)「日本語教育と談話の研究」『日本語教育指導参考書11 談話の研究と教育
I』 国立国語研究所
- (1986)『日本語教育の方法—コース・デザインの実際—』 大修館書店

- 田中望・姉齒浩美・河東郁子(1986)「外国人の日本語行動——聴き取りのコミュニケーション・ストラテジー」『言語生活』418 筑摩書房
- 筒井佐代(1999)「卒業論文の相談の会話における社会的な関係と個人的な関係の調整」『日本語の地平線 吉田彌壽夫先生古希記念論集』くろしお出版
- 寺村秀夫(1987)「構造文型と表現文型」『講座日本語と日本語教育』13 明治書院
- 寺村秀夫外3名編(1990)『ケーススタディ 日本語の文章・談話』おうふう
- 中田智子(1990)「発話の特徴記述について—単位としての move と分析の観点—」『日本語学』9-11 明治書院
- (1991a)「発話にあらわれるくり返しの発話」『日本語学』10-10 明治書院
- (1991b)「発話分析の観点——多角的な特徴記述のために——」『国立国語研究所報告 103 研究報告集 12』秀英出版
- (1992)「会話の方策としてのくり返し」『国立国語研究所報告』104 研究報告集 13 秀英出版
- 永野賢(1996)『文章論総説』朝倉書店
- 仁田義雄(1987)「日本語疑問表現の諸相」『言語学の視界』大学書林
- (1989)「現代日本語文のモダリティの体系と構造」『日本語のモダリティ』くろしお出版
- 野田尚史・森口稔(2004)『日本語を話すトレーニング』ひつじ書房
- 編(2005)『コミュニケーションのための日本語教育文法』くろしお出版
- 能田陽子(1994)『テレビの相談番組における談話構造についての一考察』日本女子大学文学部国文学科卒業論文 (未公刊)
- 能田陽子(1996)「テレビの相談番組の談話構造」『国文目白』35 日本女子大学国語国文学会
- 野元菊雄(1983)『動詞に対する格の顕現』文部省昭和 56-57 年度科学研究費補助金による一般研究(B) 課題番号 56450054 話しことばの構文の記述に関する日本語教育学的研究 研究報告書
- 畠 弘巳(1982)「コミュニケーションのための日本語教育」『言語』11-13 大修館書店
- (1988)「外国人のための日本語会話ストラテジーとその教育」『月刊言語』11-13 大修館書店
- 林 四郎(1960)『基本文型の研究』明治図書

- 東山紘久(2000)『プロカウンセラーの聞く技術』 創元社
- 日向茂男(1980)「談話における「はい」と「ええ」の機能」『国立国語研究所報告 65 研究報告集 2』 国立国語研究所
- 藤川典子(1994)「女子学生の日常談話の応答表現——「ウン」の用法を中心に」『国文目白』 23 日本女子大学国語国文学会
- ポリリー・ザトラウスキー(1986)「談話の分析と教授法(Ⅰ)ー勧誘表現を中心にー」『日本語学』 5-11 明治書院
- (1986)「談話の分析と教授法(Ⅱ)ー勧誘表現を中心にー」『日本語学』 5-12 明治書院
- (1987)「談話の分析と教授法(Ⅲ)ー勧誘表現を中心にー」『日本語学』 6-1 明治書院
- (1991)「会話分析における「単位」についてー話段の提案」『日本語学』 10-10 明治書院
- (1993)『日本語の談話の構造分析——勧誘のストラテジーの考察』 くろしお出版
- (1994)「インターアクションの社会言語学」『日本語学』 13-9 明治書院
- (2000)「共同発話における参加者の立場と言語・非言語行動の関連について」『日本語科学』 7
- (2002)「アニメーションのストーリーを語る際の話段と中心発話について」『表現研究』 76 表現学会
- 堀口純子(1988)「コミュニケーションにおける聞き手の言語行動」『日本語教育』 64 日本語教育学会
- (1990)「上級日本語学習者の対話における聞き手としての言語行動」『日本語教育』 71 日本語教育学会
- (1997)『日本語教育と会話分析』 くろしお出版
- 松田陽子(1988)「対話の日本語教育学ーあいつらに関連してー」『日本語学』 12-7 明治書院
- 松本卓三編著(1996)『教師のためのコミュニケーション心理学』 ナカニシヤ出版
- 水谷信子(1980)「中・上級の話しことば教育」『日本語教育指導参考書 7 中・上級の教授

- 法』 国立国語研究所
- (1984)「日本語教育と話しことばの実態——あいづちの分析——」金田一春彦博士古希記念論文集編集委員会編『金田一春彦博士古希記念論文集 第2巻 言語学編』三省堂
- (1993)「「共話」から「対話」へ」『日本語学』12-4 明治書院
- 南不二男(1972)「日常会話の構造—とくにその単位について」『言語』1-2 大修館書店
- (1974)『現代日本語の構造』 大修館書店
- (1981)「日常会話の話題の推移 松江テキストを資料として」『藤原与一先生古希記念論文集 方言学論叢 I』 三省堂
- (1983)「談話の単位」『日本語教育指導参考書 談話の研究と教育 I』 国立国語研究所
- (1984)「理解のモデルについてのおぼえがき」『金田一春彦博士古希記念論文集 第2巻 言語学編』 三省堂
- (1985)「質問文の構造」『朝倉日本語新講座 4』 朝倉書店
- (1987)「談話行動論」国立国語研究所編『国立国語研究所報告 92 談話行動の諸相 座談資料の分析』 三省堂
- (1993)『現代日本語文法の輪郭』 大修館書店
- 南不二男・江川清・米田正人・杉戸清樹(1980)「談話行動の総合テキストについて」『国立国語研究所報告 65 研究報告集 2』 国立国語研究所
- 村上恵(1994)「助言への抵抗と折衝過程—『子どもと教育電話相談』—」『広島大学教育学部紀要 第二部』43
- (1995)「相談談話における説得行動」『広島大学教育学部紀要 第二部』44
- 村上恵・熊取谷哲夫(1995)「談話トピックの結束性と展開構造」『表現研究』62 表現学会
- 森田良行(1976)「文型について」『講座 日本語教育』第12分冊 早稲田大学語学教育研究所
- (1989)「Ⅱ. 連文型」『日本語教育指導参考書 15 談話の研究と教育Ⅱ』 国立国語研究所
- (1990)『日本語学と日本語教育』 凡人社
- 茂呂雄二編(1997)『対話と知 談話の認知科学入門』 新曜社
- 任栄哲・李先敏(1995)「あいづち行動における価値観の韓日比較」『世界の日本語教育』5

国際交流基金日本語国際センター

山根智恵(2002)『日本語研究叢書 15 日本語の談話におけるフィラー』 くろしお出版

湯浅千映子(2004)「子ども向けのラジオ電話相談の談話における行為を示す発話機能」『表現研究』80 表現学会

「特集 疑問文・質問文」(1989)『日本語学』8—8 明治書院

「特集 会話」(1991)『日本語学』10—10 明治書院

「特集 新世紀の日本語教育 日本語教育学は成立するか」(1999)『月刊言語』28-4 大修館書店

「特集 話し言葉のスタイル」(2001)『月刊言語』30-7 大修館書店

「特集 カウンセリングのことば 心理臨床における言語の役割」(2004)『月刊言語』33-3 大修館書店

『国語学大辞典』(1980) 東京堂出版

『新版日本語教育事典』(2005)大修館書店

『日本語表現・文型事典』(2002) 朝倉書店

マイケル・マッカーシー著 安藤貞雄・加藤克美訳(1995)『語学教師のための談話分析』大修館書店

マクシン・ローゼンフィールド著 斎藤友起雄・川島めぐみ訳(1999)『電話カウンセリング 電話相談の専門性と治療関係』 川島書店

R・ネルソン＝ジョーンズ著 相川充訳(1993)『思いやりの人間関係スキル 一人のできるトレーニング』 誠信書房

Jon Blundell/Jonathan Higgins/Nigel Middlemiss, *Function in English*, Oxford, 1987

大西守・増茂尚志(1992)『外国人と日本人医師の臨床会話集』 三修社

国際交流基金著作・編集(1994)『日本語能力試験出題基準』 凡人社

国際交流基金日本語国際センター(1990)『日本語中級Ⅰ』 凡人社

海外技術者研修協会(1993)『新日本語の基礎Ⅱ』〈本冊 漢字かなまじり版〉 スリーエーネットワーク

—————(2000)『新日本語の中級』 スリーエーネットワーク

- スリーエーネットワーク(1998)『みんなの日本語 初級』 スリーエーネットワーク
- 筑波大学日本語教育研究会(1983)『日本語表現文型中級Ⅰ，Ⅱ』 凡人社
- 名古屋大学日本語教育研究グループ(1988)『現代日本語コース中級Ⅱ』 名古屋大学
出版会
- 名古屋大学言語文学部日本語学科(1992)『現代日本語コース中級Ⅰ，Ⅱ《聴解ワークシート》解答・スクリプト編』 名古屋大学出版会
- 日米会話学院日本語研修所(1987)『日本語でビジネス会話 中級編』〈本文冊〉 凡人社
—————(1989)『日本語でビジネス会話初級編：一生活とビジネス—』
凡人社
- 文化外国語専門学校日本語課程(1992)『楽しく聞こう 1，2 文化初級日本語聴解教材』
凡人社
- (1994)『文化中級日本語Ⅰ』 凡人社
- (2000)『新文化初級日本語Ⅰ』 凡人社
- 小柳昇・岩井理子(2002)『ニューアプローチ 中上級日本語 [完成編]』 日本語研究社
- 赤堀 昭(1988)『日本の技術4 漢方薬』 第一法規出版株式会社

【謝辞】

本嫌いで、勉強嫌いである筆者は、幼い時分より、勉強は向いていないと思いながら暮らしてきた。大学時代も、どの業種に就職しようかということばかり考えて過ごしていた。

しかし、日本女子大学文学部国文学科3年の時、「日本語学演習」で佐久間まゆみ助教授（当時）に出会い、日本語の談話を分析する分野があるということを知り、自分の中で、もう少し深めてみたいと思った。思えば、苦しく陰しい道の始まりであった。

日本女子大学3年生よりご指導を賜り、卒業論文、日本女子大学大学院の修士論文、本学研究科修士論文、そして、本論文においてご指導を賜りました、本学研究科佐久間まゆみ教授に厚く御礼申し上げます。文章・談話論研究の成果を日本語教育に生かす方法として、「段の統括機能」、「中心文」、「要約文」、「機能文型」、「談話型」、「文章型」等様々な視点から、常に最先端のご指導をしてくださいました。厚く御礼申し上げます。

さらに、日本語教育学の博士論文として、ご指導、ご助言を賜りました、本学研究科蒲谷宏教授、小宮千鶴子教授、修士論文のご指導を賜りました宮崎里司教授にも御礼申し上げます。

大学4年次に談話資料の録音・録画方法についてご助言を賜り、以降、ご指導、ご助言を賜りましたミネソタ大学のポリー・ザトラウスキー教授に御礼申し上げます。研究補助として、非言語行動の記述をさせていただき、談話が動的なものであることを教えていただきました。

日本女子大学文学部国文学科卒業論文の副指導を賜りました奥津敬一郎教授（当時）、同大学院在学中、ご指導・ご助言を賜りました石綿敏雄教授（当時）、清水康行助教授（当時）に厚くお礼申し上げます。

また、日本女子大学大学院在学中より現在にいたるまで、文章・談話研究会（TDK）で要約文の研究に携わらせていただき、研究の最前線を佐久間教授とともに教えてくださる東京外国語大学留学生センターの藤村知子助教授に厚く御礼申し上げます。研究会とともに活動させていただいた檜尾頌子氏、後藤利枝氏、佐野江美氏、そして、志半ばで病に倒れ、亡くなった故伊藤光氏にお礼申し上げます。

東京工業大学留学生センターの西條美紀教授、新聞の相談の文章構造についての研究をとおして、ご助言を賜りました小沼喜好先生、中井陽子常勤契約講師はじめ、早稲田大学文章・談話研究会の諸先生方にも感謝申し上げます。

日本女子大学大学院在学中、佐久間教授にお誘いいただき、参加させていただいた文章・

文法研究会で、故永野賢先生にお会いし、緊張のあまり一言も発することはできなかったが、いつも新鮮なご助言をしてくださいました。厚くお礼申し上げます。

日本女子大学大学院の博士前期、後期課程在学中、ともに研究をし、意見交換をし合った桑原和子氏、伊藤誓子氏、藤川典子氏、西由美子氏に深くお礼申し上げます。

本論文の執筆に際し、苦しいときも、常に温かく接し、助けてくださいました文章・談話研究室の朴ヘヨン氏に心より感謝申し上げます。

そして、権賢珠氏、チューシー・アサダーユット氏、河内彩香氏、安明姫氏、修了生の加藤綾子氏、村上康代氏、田中啓行氏、伊能裕晃氏はじめ、皆様に厚く御礼申し上げます。

私の姉である鈴木亮子（慶應義塾大学経済学部助教授）にも厚く御礼申し上げる。研究の話をしたことはほとんどないが、常に真摯な態度で研究と教育に打ち込んでいる姿は誇りである。そして、いつも温かく接してくれる兄の高橋洋道、姪の万里江、甥の遼平にも感謝申し上げます。

研究者、大学教員の目で厳しくも温かく見守ってくれる夫の父、小島芳次氏、仕事と家事と趣味すべてにおいて輝き続けている夫の母、りき子氏、いつも優しい笑顔で接してくれる夫の祖母、茂木房子氏にも厚くお礼申し上げます。

博士号を持ち、一度は研究職に就いたものの、現在新しい分野で仕事を始めるなど、常に新しいことに慎重かつ大胆に挑戦し続けている夫・小島琢矢に、深く感謝を申し上げる。

私の両親、鈴木実・鈴木敬子両氏に深く感謝申し上げます。

「勉強は一生を支えてくれるものだ。」と、いつも温かく見守ってくれ、進路に悩むと、「必ずうまくいく。」と助言してくれる父、鈴木実、「女性は家庭を持っても自分の顔を持たなくてはだめだ。」と言い、本論文の仮提出を喜んでくれた母、鈴木敬子、両親がいつも与え続けてくれた愛に深く感謝申し上げ、少しでもご恩を返していきたいと思う。

「パパも博士、亮子も博士、琢矢さんも博士、それに香子も博士の卵だなんて、うちは博士の佃煮ね。」と常々笑って言っていた母。だが、すべてにおいて最も有能で、最も人に温かく、最も自分に厳しい人は母であった。本年3月22日午後7時30分に、思いもよらない胃がんで旅立った母。姉の夢に飛び跳ねながら「私、元気なのよ。」と言って出てきたり、筆者の夢では一緒に散歩をしてくれた。母に笑われずに生きていきたいと思う。

最後に、「どうしてパパやママのところに生まれて来てくれたの？」の問いに対して、「誰かがピュンって連れてきてくれた。」と教えてくれた、愛して止まない息子、丞平（しょうへい）に深く感謝申し上げます。

「相談の談話資料集」

目 次

1. 相談の談話の文字化の方法	1
2. 【資料1】医療相談（消化器）2001.9.18（火）13:45～14:55 NHKラジオ第一放送「暮らしの電話相談 あなたの健康・家族の健康」	7
3. 【資料2】医療相談（呼吸器）2001.10.16（火）13:45～14:55 NHKラジオ第一放送「暮らしの電話相談 あなたの健康・家族の健康」	35
4. 【資料3】医療相談（漢方）2001.10.30（火）13:45～14:55 NHKラジオ第一放送「暮らしの電話相談 あなたの健康・家族の健康」	68
5. 【資料4】心理相談 2001.9.20（木）13:45～14:55 NHKラジオ第一放送「暮らしの電話相談 子どもの心相談」	107
6. 【資料5】心理相談 2001.10.18（木）13:45～14:55 NHKラジオ第一放送「暮らしの電話相談 子どもの心相談」	142
7. 【資料6】心理相談 2001.11.2（木）13:45～14:55 NHKラジオ第一放送「暮らしの電話相談 子どもの心相談」	180
8. 【資料7】 レファレンスの相談の談話（2004.7.26（月））	208
9. 【資料8】 レファレンスの相談の談話（2004.7.26（月））	216
10. 【資料9】 レファレンスの相談の談話（2004.7.26（月））	223
11. 『みんなの日本語』「第17課」（1998）スリーエーネットワーク	227
12. 『新文化初級日本語Ⅰ』「第16課」（2000）文化外国語専門学校	228
13. 『新日本語の基礎Ⅱ』（本冊 漢字かなまじり版）「第32課」（1993）スリーエーネットワーク	230
14. 『日本語映像教材 初級編 日本語でだいじょうぶ』「セグメント 23」（1996）国立国語研究所	231
15. 『楽しく聞こう 文化初級日本語聴解教材』「第16課」（1992）文化外国語専門学校	232
16. 『楽しく聞こう 文化初級日本語聴解教材』「第34課」（1992）文化外国語専門学校	234
17. 『日本語中級Ⅰ』「第9課」（1990）国際交流基金日本語国際センター	237
18. 『現代日本語コース中級Ⅱ』「第8課」（1990）名古屋大学総合言語センター日本語学科	239
19. 『現代日本語コース中級Ⅰ《聴解ワークシート》解答・スクリプト編』「8B」（1992）名古屋大学言語文学部日本語学科	240
20. 『現代日本語コース中級Ⅰ《聴解ワークシート》解答・スクリプト編』「15A」（1992）名古屋大学言語文学部日本語学科	242
21. 『日本語教育映像教材 中級編 関連教材 伝え合うことば』「seg.24②」（1994）国立国語研究所	246

相談の談話の文字化の方法

本研究の相談の談話の記述は、ザトラウスキー(1991)(1993)を参考にした、佐久間まゆみ監修(1991)¹、鈴木(1994)の談話資料、さらに、相談の談話資料集を作成した、能田(1994)(1996)、鈴木(2003a)の規則を踏まえた以下の24規則で行う。

なお、発話例は、主に【資料1】【資料6】から抜粋する。

1. 各発話には発話番号を付け、原則として改行して記す。
2. 発話番号の後に発話者のイニシャルをつける。ラジオの相談番組は、司会者と回答者、相談者の発話を明確にするため、司会者は「司」、回答者は「回」、相談者は「相」とそれぞれ示す。

1503 回 //じゃあ、お//願いしまー//す。

1504 相 はい。

1505 相 はい。

1506 司 はい。

1507 司 どうぞ、お//大事になさってください。

1508 相 どうも、ありがとうございました。

1509 司 はい。

1510 司 お大事にどうぞ。 【資料1】

371 司 胸の音はよくなったんですけども、

372 司 胸が苦しい状態、圧迫される感じがありました。

373 司 そして、12日に3回目の受診を受け、

374 司 えー、受診の時に、

375 司 胸のレントゲン検査、と心電図の検査を受けましたが

376 司 特に問題はありません。

【資料2】

3. 接続助詞、連用中止形、「～時に」「～場合」「～前に」「～次に」「～後」などの形式名詞は1発話として扱い、改行する。一人の発話の場合も同様にする。また、ある発話者の発話が、他の発話者の発話によってさえぎられた場合は、さえぎられる前までを1発

¹ 『談話資料集』は、1991年度提出の日本女子大学文学部国文学科卒業論文の分析資料として、日本語学ゼミ(佐久間まゆみ助教授(当時))の酒井陽子・須藤文恵・山田統子・脇坂昌枝・鈴木香子の5名で女子大学生の談話と対談番組計7資料を録画・録音し、文字化したものである。談話資料の収録の際は、佐久間・ザトラウスキー両氏にご指導いただいた。談話資料の文字化は、佐久間助教授(当時)にご指導いただき、発話区分の校閲も全て佐久間助教授にいただいた。

話として扱い、改行する。

1324 回 えー、喉が渇くとか、

1325 回 はい。

1326 回 あるいはあの一、歯の噛み合わせが悪くて、

1327 相 はい。

1328 回 つい、生唾飲んで//しまったり、

1329 相 はあ。

1330 相 はい。

1331 回 食べ物の中の空気を、//押し出さないで食べてしまったり、

1332 相 はい。

1333 相 はい。

1334 回 ということもあります。

1335 相 はい。

【資料 1】

4. 一人の発話の、文の終わりには「。」を、文の途中には「、」を記す。読点は、発話中のポーズに限らず、テキストとしての読みやすさを目安として記す。

606 司 えー、10数年前から、朝方お腹が空いている時に、

607 司 胃のあたりに、不快感を感じます。

608 司 ひどい時は、冷や汗も出るということです。

【資料 1】

5. 疑問表現にかかわらず、発話末のイントネーションが上昇している文には「？」をつける。

1443 回 そいで、えー、3年以降、検査はなさっていないんですね？

1444 相 さ、さあー、えーっと、そう、いや、こと、去年//ですね？

1445 回 あっ、そうですか。

1446 相 大腸、去年やりまし//た、また3年目を。

1447 回 あー、そうですか。

【資料 1】

6. 間接話法は、引用内容が明らかに直接話法のようなものだけ、「」をつけて記す。また、専門用語も「」内に記す。なお、「」内にも、規則3を適用し、接続助詞や文の終わりは改行する。

1351 相 その一、ちょっと悪くなるー2、3年前頃、

1352 回 はい。

1353 相 けんこ、会社の健康//診断で、

1354 回 はい。

1355 相 あの、「ガスが溜まってます。

1356 相 多いですねー。」って//おっ//しゃいました。

1357 回 うーん。

1358 回 うーん。

【資料1】

460 回 まあ一般的には、例えば、あー「^{とうきしぎやくかごしゆゆしょうきょうとう}当帰四逆加呉茱萸生姜湯」っていう薬ですね？

【資料3】

7. 倒置の文は、1 発話として表記する。ただし、倒置された一節が一定の長さを持つ場合は、その一節は別の発話とする。

1443 回 そいで、えー、3 年以降、検査はなさっていないんですね？

1444 相 さ、さあー、えーっと、そう、いや、こと、去年//ですね？

1445 回 あっ、そうですか。

1446 相 大腸、去年やりまし//た、また3年目を。

1447 回 あー、そうですか。

【資料1】

8. 前の発話の途中で重なる形で、次の日との発話が発せられたときは、前の発話中の次の発話が始まった箇所に「//」をつける。次の発話は前の行の「//」の下に記す。

284 司 は//い、どうぞ、お大事になさっ//てください。

285 相 どうも。

286 司 ありがとうございます//ました。

287 回 どうも。

【資料1】

9. あいづちは、前の発話が終わったところのすぐ後の、次の行に記す。

874 司 特に痛みはありません。

875 回 はい。

876 司 便通は順調です。

877 回 はい。

【資料1】

10. 応答表現は行頭に記す。

1670 回 それで一、タバコはもう完全に止められましたか？

1671 相 はい。

【資料2】

11. 前の発話に対するあいづちか判断しかねる間投表現は行頭に記す。

616 回 何を言ってて、

617 回 何をわかってほしいんですかー？

618ー [沈黙]

619 相 うーん。

【資料6】

12. 前の発話者が話しているとき、他の発話者があいづちを重ねて打った場合、前の発話と次のあいづちが重なる箇所に「//」を記し、「//」のすぐ後の、次の行にあいづちを記す。あいづちが複数回連続して発される場合は、その都度改行して記す。

1928 相 「ちゃんと行きなさい。」って言ってるんですけどー、

1929 司

うー//ん。

1930 回

そう。 【資料5】

13. 発話の途中、あるいは発話末の音節を延ばしている場合は、長音を付す。2拍以上延びていると判断された場合は、拍数に応じて長音を記す。

1283 相 あの、まあ、これとって、何かを言ってくるってことは、そんなにはないんですけどもー。

1284 回

うーーーん。

【資料6】

14. 1つの発話に続く笑い声は、それが生じる発話の前後に、{笑い} と記す。

490 回 お子さんが何かをこぼしたからですか？

491 回 それとも、お母さんが見てて、

492 回 感じたんですか？

493 相 あ、子どもが、年中 {笑い} こぼすようになって。

【資料6】

15. 独立して発せられる笑い声や、連続して発せられる他の発話者の笑い声は1発話とし、改行して{笑い} と書き、発話番号を記す。

710 相 小さく縮こもって、

711 回 {笑い}

712 相 汗だらけになってねー。

【資料1】

16. 沈黙は、発話番号をつけて、[沈黙] と記す。発話者のイニシャル欄には、「--」と記す。

616 回 何を言ってて、

617 回 何をわかってほしいんですかー？

618ー [沈黙]

619 相 うーん。

【資料6】

17. 相談番組放送時間内に挟まれる、ニュースや音楽は、《 》内に《ニュース》《音楽》

と記す。発話者のイニシャル欄には、「一」と記す。ニュースの内容等は、相談番組内の相談内容等に関わらないので、文字化はしない。

306一 《ニュース》 【資料1】

997一 《音楽・交通情報・ニュース》 【資料1】

18. 発話は、漢字・仮名交じりの表記にする。ただし、「私」「何か」といった、発音が紛らわしい漢字に際しては、以下のようにする。

18-1. 「私」－「わたし」

「わたくし」「あたし」などは、仮名表記にする。

1554 回 これ、隣のやつも、グループ3だったという意味だ//ろうと//私は思うんですね？

1555 司 あー。

1556 司 はい。

【資料1】

1412 相 わたくしが褒めると、

1413 相 「これも上手？

1414 相 これも上手？」ってやってたんですけどー、

1415 相 うん。

1416 相 今は、「やる？」って聞くと、

1417 相 やん、もう、絶対にやらないっていう感じで//いて。

1418 司 そうですね。 【資料4】

18-2. 「家」－「いえ」

「うち」は仮名表記にする。

1064 司 お宅では、ずっと家にはいらっしゃるわけですね？//お嬢さんは。

1065 相 はい、そうです。【資料6】

1116 相 まあ、うちの近くだったんですが。

1117 回 はい。

1118 相 はい。 【資料6】

18-2. 「何か」－「なにか」

「なんか」は仮名表記にする。

242 回 だから弱くなってるのも、そう、そうなることによって、

243 回 何かが足りないって教えてる//わけだしー、

244 司 うーん。

245 回 いろんなものが見えてきたら、

246 回 み、見せて、見てちょうだいって言ってるわけだし、

247 回 なん、なんかの、こう、メッセージである、

248 回 なんかの意味である、

249 司 はい。

250 回 そういうふうに受け取ることができたら、

251 回 それを生かすことができますと思います。【資料 6】

19. 数字は、原則としてアラビア数字で記す。

1001 司 みなさんからの相談の受付は、さきほど、2 時半で終了させて頂きました。

【資料 1】

20. 相談者の氏名は、音声から予想される漢字を当てて記す。

315 司 山口県にお住まいの勝本さん、6 3 歳の方、ご本人からの相談です。【資料 1】

21. わかりにくい読みにはルビをふる。

484 回 「^{そけいかっけつとう}疎経活血湯」です//ねー。

【資料 3】

22. 文字化の際に、聞き取れなかった部分については、以下の 2 通りをつける。

22-1. 何を言っているのか全くわからない場合は、(?) をつける。

920 回 また、(?) に、そこには、悪い物がしやすい場所でも//ありますので、

921 司 あー。

922 司 はい。

923 回 なるべく早く、いつ、あの一、医師、えー、お医者さんのところへ行って、

924 回 安心なさるほうがいいと思いますね。【資料 1】

22-2. 聞き取れたが、明確ではない場合、その部分は、() に補って記す。

1272 回 噛む、うまく噛ん、噛(める)ようになってま//すか。

1273 相 はい。【資料 1】

【資料1】 医療相談(消化器) 司会者:司 回答者:回 相談者:相 2001.9.18(火)13:45~14:55 NHKラジオ第一放送「暮らしの電話相談 あなたの健康・家族の健康」

大 話 段	小 話 段		
I 1 番 組 開 始 の 大 話 段			<p>1 司 1時45分になりました。</p> <p>2 司 「暮らしの電話相談」の時間です。</p> <p>3 司 今日、胃や腸といった消化器についての電話相談を致します。</p> <p>4 司 お答え頂くのは、東京女子医科大学名誉教授の、Y I さんです。</p> <p>5 司 Y先生よろしくお願い致します。</p> <p>6 回 よろしくお願ひします。</p> <p>7 司 この時間もみなさんから相談の受け付けをしています。</p> <p>8 司 電話番号は03、34858588、03の34858588番です。</p> <p>9 司 では、お電話たくさん、い、頂いてますので、</p> <p>10 司 早速、相談に参//りましょうか。</p> <p>11 回 はい。</p>
II 1 電 話 相 談 の 談 話	B 相 談 か け の 話 段	B 1 相 談 提 示 の 小 話 段	<p>12 司 初めの方はNにお住まいのMYさん、</p> <p>13 司 65歳の方ご本人からの相談です。</p> <p>14 司 下痢が、止まらないということな//んですけれども。</p> <p>15 回 うーん。</p> <p>16 司 2年半前から、下痢が止まりません。</p> <p>17 司 個人病院やそうぎょう、総合病院と、色々な、あー、病院で検査を受けましたが、</p> <p>18 司 特に、えー問題はありませんでした。</p> <p>19 司 大腸の内視鏡検査も2回受けましたが、</p> <p>20 司 こちらも、検査結果は特に問題がなかったと。</p> <p>21 司 で、現在も1日、えー、1回から3、4回の下痢や軟便を繰り返しています。</p> <p>22 司 腹痛は、ありません。</p> <p>23 司 食欲はあります。</p> <p>24 司 で、和食中心できちっとお食事は召し上がっている、</p> <p>25 司 三食一召し上がっているということなんですが、</p> <p>26 司 これはどういう原因が考えられ//るのでしょうかという、</p> <p>27 回 そうですねー。</p> <p>28 回 うーん。</p> <p>29 司 相談です。</p> <p>30 司 胃下垂があるというふうに、</p> <p>31 回 はい。</p> <p>32 司 えー、診断が//されていらっしゃるんでしょうか。</p> <p>33 回 はい。</p>
	A 相 談 開 始 の 話 段		<p>34 司 MYさん？</p> <p>35 相 はい。</p> <p>36 司 はい、こん//にちは。</p> <p>37 回 あっ、あっこんにちはー。</p> <p>38 相 あっ(?)、</p> <p>39 司 お待たせ致しました。</p> <p>40 回 //Yで一す。</p> <p>41 相 よろしくお願ひします。</p>
	B 相 談 か け の 話 段	B 2 相 談 内 容 確 認	<p>42 回 えーっと、ちょっと伺ってよろしいですかー。</p> <p>43 相 はい。</p> <p>44 回 はい。</p> <p>45 回 2年一半前から、えー非常にこう、今のような症状が出てきたんですよ？</p> <p>46 相 はいそうです。</p> <p>47 回 それまでは大変、調子もよくー、</p> <p>48 相 はい。</p> <p>49 回 これ、生活上何か変わったことはございませんですか？2年半、前のころ。</p> <p>50 相 えーっとですね、</p> <p>51 回 ええ。</p> <p>52 相 えー、2年半前って言いますとですね、</p> <p>53 相 あの一ー、トレーニングジムに行ってたんですよ。</p> <p>54 回 ええ。</p> <p>55 相 それでですね、あの一まあ痩せ柄ですので、</p>

56 相 少しふ、太りたいと思ひましてで//すね？
57 回 はい。
58 相 ちょっとあの一、補助食品なんかを食べていたんですね？
59 回 はい。
60 相 なんかしていたんですけども、
61 回 はい。
62 相 それで一、体重もまあ大体、増えましてですね一、
63 回 ええ。
64 相 それからあの一、急にですね、
65 回 ええ。
66 相 あの一ムカムカとしましてですね？
67 回 うん。
68 相 それから一その時に一、ちょっと貧血みたいの起こしたんですよ。
69 回 はい。
70 相 それでその後ずっと、それからず一、それが始めなんですね一。
71 回 なるほど一。
72 相 あとはそれ一からず一っと、下痢が止まらずに、
73 相 体重が減っていくもんですから。
74 回 うー一ん。
75 回 お酒は召し上がらない。
76 相 いえ、酒飲みません。
77 回 はい。
78 回 それから肝臓が悪いと言われたこともない。
79 相 はい。
80 回 水分が余計なこともない。
81 相 はい。
82 回 水気は、あつ、その、たくさん一、
83 相 取るということはありませぬ。
84 回 ないです//ね？
85 相 はい。
86 回 で何か、こう一、今の、お仕事は。
87 相 仕事はですね一、
88 相 え一簡単な、まあ事務関係一//の、しご、昼までですね？
89 回 あ一。
90 回 はい。
91 相 午前中も、自由にしてるんですけども、
92 回 はい。
93 相 あの一、そういうことですね、
94 相 まあ昼からはもう、そのような仕事はしてないんです けどね？
95 回 はい。
96 相 あまり神経は遣ってないんですけども。
97 回 うん。
98 相 はい。
99 回 いや、私ちょっとうかがったい、たかったのは、
100 相 はい。
101 回 2年半前一の、その、変化っていうのは、
102 回 まあトレーニングっていうこと、（その）補助食品ということ、
103 相 はい。
104 回 そういうこともあります、
105 回 お仕事の上での変化っていうのはなかったんですか。
106 相 仕事ははい、の変化はありません。
107 回 そうですか。
108 相 はい。
109 回 それから胃のじょう、胃の方でなんか言われたことがありますか？
110 相 胃の方はですね、あの一、大体慢性的な、に悪いんですけども、
111 回 はい。
112 相 これもですね、え一、2年半位前ですね？
113 相 3，4年ぐらい前でしょうか？
114 回 はい。
115 相 胃にですね一、

大 小
話 話
段 段

116 相 静脈瘤ですねー、
 117 回 はい。
 118 相 静脈瘤ができてると言われまして、
 119 回 ええ。
 120 相 それーもですね、個人病院だったんですけども、
 121 回 ええ。

122 相 えー、総合病院に行きましてー、
 123 相 えー、きちっと検査を受けましたらですね？
 124 回 うん。
 125 相 そこに膜がまいてるから、
 126 回 うん。
 127 相 普通の、普段の生活で、
 128 回 大//丈夫。
 129 相 えー、構いませんということで//ですね。
 130 回 はい、//はい。
 131 相 はい。
 132 回 あーよかったですね、//それはね。
 133 相 ええ。
 134 回 そうですかー。
 135 相 それとですね、
 136 回 うん。
 137 相 えー、食事をですね、
 138 相 あの一あんまり余計、腹八分くらいから九分だったら ですね？
 139 回 ええ。
 140 相 腹いっぱい食べましたら、
 141 相 すぐ下痢するというふうな形なんですねー。
 142 回 うーーん。

C C 143 回 あの一、お太りになりたいという願望が、
 相 144 回 一つありますよねー、こん、
 談 145 相 は//い。
 う 146 回 いつもこ、心の中に。
 提 147 相 はい。
 け 148 回 それで一、まあトレーニングやったり、
 の 149 回 補助食品を召し上がったりして、
 話 150 相 はい。
 段 151 回 その一、自分の、その消化能力っていいでしょうか、
 152 相 はい。
 153 回 その限界を超えて、
 154 回 食事の量が入っているんじゃないかなーという気がするんですけども、
 155 相 はーはーはー。
 156 回 いわゆる、そのー、ゆってみれば、
 157 回 たべ、量は普通の人なんですけども、
 158 相 はい。
 159 回 普通の人とおんなじなんですけども、
 160 回 あなたの体にとって食べ過ぎてると。
 161 相 はい。
 162 回 それで消化不良になって、
 163 相 はい。
 164 回 しまっているというような、感じがしますねー。
 165 相 はーはーはー。

B B 2 166 回 でー、もし、あの一、今、何か消化酵素とか消化薬みたいなものを頂いてるでしょ
 相 167 相 えーと、あの一クロレラ的是ね？
 談 168 回 はい。
 かけ 169 相 関係なもの。
 の 170 回 あーそういうものではなくて、
 話 171 相 はい。
 段 172 回 ほんとの意味での消化薬一、
 173 相 いえ、飲んでおりません。
 174 回 あーそう//ですか。

175 相 薬一切飲んでおりません。
176 回 そういうものの方が大事ですねー。
177 相 はいはい。
178 回 あの、
179 相 薬はもうできるだけ飲まないようにしてる//んですけど。
180 回 ううーん、逆に飲まないといー。

C C 181 回 例えば今あなたに申し上げたことは、
182 回 あなたの消化力、に、食べた量がおいつい、多すぎるんですよ。
相 183 相 はい。
談 184 回 と、それを消化してあげれば、
う 185 回 あー、下痢にならなくて、
け 186 相 はい。
の 187 回 いー、おーあのよく消化されたお通じになってくる。
話 188 相 はいはいはいはい。
段 189 回 そうすと、その消化薬を飲むことが、
190 回 消化薬は吸収される訳じゃなくて、
191 回 食べ物を消化して、
192 回 吸収しやすい、状態にする、
193 相 はい。
194 回 訳ですから、
195 相 はい。
196 回 えー、しょう、消化薬を飲んで、
197 回 た、それも食べ物と一緒に消化薬を飲む、
198 相 はい。
199 回 食べ物と消化薬が、一緒にまじら、混ざり合わされなければ、
200 回 その消化こう、の薬は、効き目がないんですよ。
201 相 はいはいはいはい。
202 回 でー、それ、食べ物と一緒に消化薬を、飲んで、いると、
203 回 食べ物がよく消化をされて、
204 回 えー、お通じになっていきますので、
205 相 はい。
206 回 わりに、こう、よくこなれたお通じって言っちゃ、変な表現ですけどもー、
207 相 はい。
208 回 変わっていくんじゃないかなーと、思いますねー。
209 相 あーそうですか。
210 回 うーん今ちょっと、あの一、お気持ち、が先にはしつ、なるもんだからー、
211 相 はい。
212 回 なんとか食べれば太ると、
213 相 ええ。
214 回 いうような、うん、お気持ちが、おありのような気もするんですね？
215 相 ええ。
216 回 で、特に食欲もあるとおっしゃってますし、
217 回 それに比べて、
218 回 自分の胃腸の、消化力が、追いついてないと。
219 相 あー。
220 回 だから、
221 相 そ//うですか。
222 回 いつも消化、不足のような状態。
223 相 はい。
224 回 ですから、あの、消化薬は、を、毛嫌いなさることなく、
225 相 ええ。
226 回 消化薬と一緒に、えー、あの一お飲みになって、
227 回 えー、いいお通じに変わっていくんじゃないかと思いますがねー。
228 相 あーそうですか。
229 司 はい。
230 相 ほーほー。
231 相 消化薬は飲んででも構わないんですよー。
232 回 ええこれはもう、何も副作用がある訳じゃないですから。
233 相 あーそうですか。
234 回 はい。

大 小
話 話
段 段

235 司 はい。
236 相 あーはい。
237 司 いかがでしょ//うか。
238 回 いかがでしょう？
239 相 はい。
240 司 はい。

C2 241 相 あーそれからですねー、
回 242 回 //はい。
答 243 司 はい。
確 244 相 あのー、例えば、そのー、うー下痢がと、最近ですねー、
認 245 回 はい。
の 246 相 下痢が止まったあと、あと二日ぐらいですね、
小 247 回 ええ。
話 248 相 病院に行かないなー、行かない時があるんですよ。
段 249 回 はいはいはい。
250 相 それであとはすぐまた下痢して、しまうん//ですけどね、
251 回 はい。
252 回 はい。
253 相 できるだけ食事は、あのー、あのー腹八分目ぐらいに控えてはおるんですけども、
254 回 うん。
255 相 それでもやっぱりー、あの下痢してるんですけど。
256 回 うん。

C 257 回 だからそれが、消化力が足りないから、
1 258 回 不消化のまんま、大腸に行きますんで、
回 259 相 あー。
答 260 回 大腸が、刺激をされて、
提 261 回 えー、お、押し出してしまうんですね？
供 262 相 あ、そうですか。
の 263 回 そすと、一旦押し、押し出して、
小 264 回 お腹の中空っぽになりますよ。
話 265 相 はい。
段 266 回 そすと、出る物が無いから
267 回 翌日出ないんですよ。
268 相 はいはいはい。
269 回 だから、いかにも、次、なんにも出ないからっていうような、不安にかられるんですけどもー、
270 相 ええ。
271 回 そうではなくて、
272 回 下痢のために全部出し切っちゃって、
273 相 ええ。
274 回 出る物が無いから。
275 相 はい。
276 回 また次に、不消化の食べ物があるから、
277 回 また、げ、一日置いて下痢をすると、
278 相 はい。
279 回 いうふうに考えて頂いたら、
280 相 はい。
281 回 わかって頂けると思うんですが。
282 相 はい、わかりました。
283 回 はい。

D 284 司 は//い、どうぞ、お大事になさっ//てください。
相 285 相 どうも。
談 286 司 ありがとうございます//ました。
終 287 回 どうも。
了 288 司 はい、（失礼）致します。
289 回 お大事に。

Ⅲ 290 司 まあ下痢についての、相談まず致しました。
番 291 司 今日は、「暮らしの電話相談、あなたの健康・家族の健康」、消化器についての電話
組 相談を致します。
継 292 司 胃や腸といった、あー消化器についての、電話相談です。

大 話 段	話 段	小 話 段	
続 の 大 話 段			<p>293 司 みなさんからの相談・ご質問にお答え頂くのは、</p> <p>294 司 東京女子医科大学名誉教授のY I 先生です。</p> <p>295 司 で、この時間も、みなさんからの相談の受付をしています。</p> <p>296 司 受付電話番号は、03、34858888。</p> <p>297 司 03の34858888番です。</p> <p>298 司 えー、下4桁は8が四つ、</p> <p>299 司 番号のお間違えのないようにお願い致します。</p> <p>300 司 さ、このあとは、お近くの放送局からお送りいたしまして、</p> <p>301 司 2時の、全国のニュースに続いて、</p> <p>302 司 2時じっぷん頃から、えー電話相談再び、始めましょう。</p> <p>303 司 今日は、消化器、胃や腸といった、</p> <p>304 司 消化器についての電話相談を致します。</p> <p>305 司 時刻は、まもなく、1時55分になるところです。</p>
V別番組			<p>306 ー 《ニュース》</p>
Ⅲ 番組 継続 の 大 話 段			<p>307 司 ラジオホットタイム、今週は有江活子がお案内役です。</p> <p>308 司 では、いち、1時台に引き続き、</p> <p>309 司 この2時台、電話相談を進めます。</p> <p>310 司 今日は、胃や腸といった、消化器についての電話相談をしています。</p> <p>311 司 みなさんからの相談にお答え頂いているのは、東京女子医科大学名誉教授のY I 先生です。</p> <p>312 司 Y先生よろしくお願//いしまーす。</p> <p>313 回 よろしくお願いたします。</p>
Ⅱ 1 電 話 相 談 の 談 話	B 相 談 か け の 話 段	B 1 相 談 提 示 の 小 話 段	<p>314 司 では、続いての方です。</p> <p>315 司 Y県にお住まいのKMさん、63歳の方、ご本人からの相談です。</p> <p>316 司 えー17年一前に、17年、17年前に、</p> <p>317 司 胃に、胃を、全部摘出する手術を受けました。</p> <p>318 司 で、順調に経過してきたということなんですが、</p> <p>319 司 5年前に、ビタミン12が、えー、非常に少ない、</p> <p>320 司 欠損しているということで、</p> <p>321 司 月に、じっぽんほど、3クルーの、そのビタミン12を補給する、</p> <p>322 司 補充する注射を受けていらっしゃるということです。</p> <p>323 司 一時的にビタミン12の値が上昇して、</p> <p>324 司 半年間ぐらい保つということなんですが、</p> <p>325 司 このビタミン12が、不足していると、</p> <p>326 司 治療を、受けなければ</p> <p>327 司 体にどんな影響が、起こるのでしょうか。</p> <p>328 司 また今後どんな対策を、考えなくてはいけないのでしょうかということで、</p> <p>329 司 胃を、一度、おー全部//摘出してしまった、</p> <p>330 回 うーん。</p> <p>331 司 その後、ビタミン12が今欠けているとい//うことですね。</p> <p>332 回 そうですねー。</p>
A 相 談 開 始 の 話 段			<p>333 司 KMさん？</p> <p>334 相 はい。</p> <p>335 司 はい、//こんにちは。</p> <p>336 回 ー。</p> <p>337 司 //お待たせ致しました。</p> <p>338 相 よろしくお願い致しまーす。</p> <p>339 回 Yで//ございます。</p> <p>340 司 はい。</p> <p>341 相 はい。</p> <p>342 相 よろしくー。</p> <p>343 回 どうぞー。</p> <p>344 相 ま、今ー説明された通りでございます//が。</p> <p>345 回 はい。</p> <p>346 司 はい。</p> <p>347 回 わかりました//ー。</p> <p>348 相 はい。</p>
B	B 2		<p>349 回 あの一、うーーん、</p> <p>350 回 月に、十本、まとめて、</p>

大
話
段

小
話
段

相
談
内
容
確
認
の
小
話
段

351 回 まとめていう言い方、三日に一回ぐら//いずつ。
352 相 はい、そうですね。
353 回 ええ。
354 相 週にですねー、
355 回 はい。
356 相 大体、3回ぐらい変わりましたね？
357 回 はい。
358 相 でー、B 1 2 と鉄分を、あの血管注射致し//ます。
359 回 はい。
360 相 はい。
361 回 えーそうしますと、
362 回 大体今、そのビタミンB 1 2 の数値がいくつとかいうのは、
363 相 ええ。
364 回 聞いて//らっしゃいますかー。
365 相 ええ、あの一、
366 相 ええ、聞いております。
367 相 あの、術後に、術後にですね、
368 回 はい。
369 相 10.50がずーっと続いてたんですよ。
370 回 はい。
371 相 その10.50がですね、
372 回 はい。
373 相 一番少ない時で9.5とか9.6っていう値になっちゃうん です//ね？
374 回 はいはい。
375 相 でー、まあ、あの一 1 ポイント前後のですね、
376 回 はい。
377 相 差が一これ非常に大きいからね？
378 相 ということで、まああの一 9 点台になりますとですね、
379 回 ええ。
380 相 あの一、そういうビタミンB 1 2 の血管注射を、ということなんです//けど、
381 回 はい。
382 回 {吸気}
383 相 で、初めわからなかったんですが、
384 相 それが、あの、胃の全摘出と関係があると言われましてです//ね、
385 回 はい。
386 相 ま、あの一ちょっとご相談した訳//ですが。
387 回 はあ。
388 回 あの今の、10.5とか9.6というの//は、
389 相 はい。
390 回 あのヘモグロビンっていう、
391 相 そうです。
392 回 血液の、濃さの一標準ですねー。
393 相 はい。
394 回 まっ、数値ですね？
395 相 はい。
396 回 そうではなくて、
397 回 血液の中のビタミンB 1 2 の数値っていう//の大体、
398 相 あー。
399 回 300とか、900とかいう数字なんです、
400 相 あっ//それはですね、
401 回 その数字はき、
402 相 ええ。
403 相 えーっと、300一、40とかですね、
404 回 ええ。
405 相 なんかそういう値だったですよ？
406 回 はい。
407 相 はい。
408 回 そうすと、注射をしていて、
409 回 300台が保たれているということですね？
410 相 そうですね。

411 回 は一、なるほど//ね。
412 相 そんなですから、ま400近い//数字、ということ//なんですけど//ね。
413 回 そうですね。
414 回 はい。
415 回 わかりましたー。
416 相 はい。

C C 417 回 えーっと、う、なぜ、ま、一つは一、胃の手術をするー、
1 相 はい。
相 回 419 回 おー、ビタミンB 1 2が減って、
談 回 420 回 //貧血が起きるか、というんですが、
う 相 421 相 はい。
け 回 422 回 え、胃の手術をまわり、になさった方で、
の 回 423 回 貧血になってない人はいっぱいいる訳ですけど//もー、
話 相 424 相 そうですねー。
段 回 425 回 あの、胃の手術でも、全部胃を取ってしまうと、
相 426 相 はい。
回 427 回 胃の、え、底部、あるいは上部という、部分に、
相 428 相 はい。
回 429 回 ビタミンB 1 2を作ったり、
回 430 回 吸収したりする部分が、あるんですね？
相 431 相 はい。
回 432 回 で、そこがなくなるために、
相 433 相 はい。
回 434 回 その一、ビタミンB 1 2が、欠乏してくると。
相 435 相 はい。
回 436 回 ビタミンB 1 2が欠乏すると、
回 437 回 え、血液を、の、おーヘモグロビンを作る力、えー、を、が、
回 438 回 えー低下してくると、
相 439 相 はい。
回 440 回 いうことで、
相 441 相 はい。

442 回 えー、手術をして
443 回 数年経ってからこういう症状が起きる方が、中にはあるんです。
444 相 はい。
445 回 全然起きない人もまたあるんですけど//ね？
446 相 はい。
447 回 でー、ま、こういう状態で、
448 回 例えば9.0と、6とか、そういう数字になりますと、
449 相 はい。
450 回 うーん、ヘモグロビンっていうのは酸素を運ぶ、役割をする、物質ですからー、
451 相 はい。
452 回 えーちょうど、ちょっと歩いても、
453 回 息切れがしたり、
454 相 はい。
455 回 階段のぼっても息切れがしたり、
456 回 //ドキドキしたりするという、うー、結果になってしまう訳ですね？
457 相 はーはーはーはーはー。
458 相 なるほど。
459 回 それを予防する意味でも、ヘモグロビンを高くして、
460 相 はい。
461 回 貧血でな、ないようにしてあげたいと、
462 相 はい。
463 回 そういうことで、先生がビタミンB 1 2と、鉄分とを一緒に、
464 回 え、静脈注射していると、
465 相 はい。
466 回 いう、うー、ことだと思うんですよ。
467 相 はい。
468 回 それで、その一、まっ、十本ずつー3クールという、うー、つ、えー、注射の仕方が
いいのか、
469 相 はい。

470 回 あるいは、いつ、ある程度のところまでレベルまで、ビタミンB 1 2 と、が一、あ、
保たれたら、
471 相 はい。
472 回 週に一回とか、
473 相 はい。
474 回 そういうふうに、こう継続的に、いー、静脈に注射をして、
475 回 貧血にならないようにすると、いうのがいいのか、
476 相 はい。
477 回 えー、ま、どちらとも言えないんですけども、
478 相 はい。
479 回 うーん、まっ、えー、まっ、胃がないということによって、
480 回 ビタミンB 1 2 の欠乏は、あなたの場合にはずーっと起きると思うんです。
481 相 あーなるほどー。
482 回 ええ。
483 相 はい。
484 回 ですから、その、それが一回にドーンと、血液の、ヘモグロビンを作って、
485 回 えー、ま、しばらく、たん、貯蓄をして、
486 回 それを使っていくというほう、方法がいいのか、
487 相 はい。
488 回 1 週間に一回なり、なんか、そういう形で、
489 回 えー、ある程度の一定の貯金をしておくのがいいのか、
490 相 はーはーはーはーはー。
491 回 どっちがいいのかっていうことは、
492 相 あっ、
493 回 //あの一ー、
494 相 なるほどー。
495 回 これからの、まっ、え、う、自分のお仕事とか一、
496 相 はい。
497 回 ね、いろんな環境とかによっても違いますしー、
498 相 はい。
499 回 いー、どっちか選ぶこ（と）、かは、また、別ですけども、
500 回 そういう方法もある訳ですね。
501 相 あっ、なるほどねー。
502 回 ですから、
503 相 はい。
504 回 これ、B 1 2 をお使いになることは、是非、大事なことだと、思います。
505 相 はい、わかり//ました。
506 回 そして、えー、先生が、(?)、どちらの方法を採られるかわかり
ませんが、
507 相 はい。
508 回 いつでもある程度のレベルを保って、
509 相 はい。
510 回 貧血にならないように、
511 回 貧血になると、
512 回 心臓も、それ、その分、余計働かなきゃいけない。
513 相 はい。
514 回 例えば、酸素が、100必要なところを、
515 回 おー、普通の貧血でなければ、
516 回 あー、（1， 2）、ある数字、100という血液を送ってやれば、いい訳ですがね？
517 相 はい。
518 回 ところが、貧血があると、
519 回 100の中の酸素の量が、少ないから、
520 相 はい。
521 回 120、130、という、量を送ってあげないと、
522 回 体ん中正常に、は、動かない訳です//よ。
523 相 なるほどー。
524 回 そうすと、心臓にもいろんな、えー影響が出てきます。
525 相 はーはーはーはーはー。
526 回 ですから、血液が、いつも薄いということは、
527 回 あーいろんなところに影響が出てきますので、

大 小
話 話
段 段

528 相 はい。
529 回 B 1 2、というのは、あなたにとってはとっても大切な、ものです。
530 相 あーそうですか。
531 回 そして、
532 相 はい。
533 回 その、うー、つ、えー、体に、入れ方という、補給の仕方は、
534 回 いろいろ、おー、その方の生活のパターンや、先生の考え方でいろいろあると思いま
すが、
535 相 はい。
536 回 あー、是非続けて頂きたいと思いま//すね。
537 相 あーそうですか。
538 回 はい。
539 相 はい。

C
2
回
答
確
認
の
小
話
段
540 相 じゃあそうすると、日常の生活とかですね、
541 回 はい。
542 相 その環境、あの一自分の動かす、あの一体の具合とかですね、
543 回 はい。
544 相 それによって、その値を一見極めてですね？
545 回 //はい、そうですね？
546 相 先生と相談しながら、
547 回 はい。
548 相 それが、ワンクール一月10本のワンクールなのか、
549 相 週に1回にするとかです//ね？
550 回 はい。
551 相 それを自分で掴めばいい訳ですね？//これから。
552 回 そうなんです。
553 回 はい。
554 相 はー、はー。
555 相 それが、
556 回 いつもおんなじようにその、
557 相 はい。
558 回 例えば先程の、ヘモグロビンが10.5とか、
559 相 はい。
560 回 ほんとは11,2欲しいんです//けども、
561 相 そうですねー。
562 回 えー、そ、それぐ、ぐらいで一落ち、まあなんとか、
563 相 はい。
564 回 えー日常生活じゅうぶんか、
565 相 //はい。
566 回 どうかってということもあるでしょうし。
567 相 あー、なるほど。
568 回 ええ。
569 司 はい。
570 相 あっ、それを掴めばよろしいという//ことですね？
571 回 そうです、そうですね？
572 相 それが、重要だということですか。
573 回 そうですねー。
574 相 わかりました。
575 回 はい。

D
相
談
終
了
576 相 はい、いろいろ、お世話//になりました。
577 司 どうぞ、お大事になさっ//てください。
578 回 はい。
579 回 じゃあ、お大事に//どうぞ。
580 相 はい、ありが//とうございました。
581 司 失礼致します。
582 回 はい。
583 司 はい。

II
2
584 司 これ、注射じゃなくて、
585 司 こう、錠剤などで飲めたらいいんでしょうけれども//ね、
586 回 あの一、

大 話 段	小 話 段	電話相談の補足解説の大話段	<p>587 司 そうするともっと、</p> <p>588 回 内服的な//物もあるんです。</p> <p>589 司 ええ。</p> <p>590 司 あっ、そうです//か。</p> <p>591 回 はい。</p> <p>592 回 ビタミンB 1 2 は、えー、神経系の、ビタミンとも言われてーい//ましてー、</p> <p>593 司 あー。</p> <p>594 回 神経痛の方や何か//にも、</p> <p>595 司 ええ。</p> <p>596 回 つ、えー使う内服薬もあります。</p> <p>597 司 はい。</p> <p>598 回 ところが、えー、な、胃を切除した場合には吸収がうまくいかない//もんですから、</p> <p>599 司 あー。</p> <p>600 回 内服ではなかなか、</p> <p>601 司 はい。</p> <p>602 回 あの、えー追いつかないということがあるんですねー。</p> <p>603 司 はい。</p>
II 1 電 話 相 談 の 談 話	B 1 相 談 か け の 話 段	B 1 相 談 提 示 の 小 話 段	<p>604 司 では、続いての方です。</p> <p>605 司 Oにお住まいのMSさん、64歳の方、ご本人からの相談です。</p> <p>606 司 えー、10数年前から、朝方お腹が空いている時に、</p> <p>607 司 胃のあたりに、不快感を感じます。</p> <p>608 司 ひどい時は、冷や汗も出るということです。</p> <p>609 司 その都度、受診し、</p> <p>610 司 胃カメラの検査を受けますが、</p> <p>611 司 特に異常はありません。</p> <p>612 司 血液検査も異常はないということです。</p> <p>613 司 主治医の先生からは、「原因がわからない。」と言われています。</p> <p>614 司 現在も、こうした症状が、月1、2回ありますが、</p> <p>615 司 2時間ほど我慢していると回復します。</p> <p>616 司 えー、この朝方の、//胃のあたりの不快感、</p> <p>617 回 うーん。</p> <p>618 司 原因はどんなことが考えられるで//しょうかということです。</p> <p>619 回 そうですねー。</p>
	A 相 談 開 始		<p>620 司 MSさん？</p> <p>621 相 はい。</p> <p>622 司 はい、//こんにちは。</p> <p>623 回 あっ、//こんにちは。</p> <p>624 相 よろしくお願い//致しま//す。</p> <p>625 司 お待たせ致しました。</p> <p>626 回 Yですー。</p>
	B 相 談 か け の 話 段	B 2 相 談 内 容 確 認 の 小 話 段	<p>627 回 あの、明け方の、ふ、胃のあたりの不快感というのはい、</p> <p>628 相 はい。</p> <p>629 回 胃のかなり上のほうに感じますか？</p> <p>630 相 えー、いや、下、おへその上ぐらいだと思います。</p> <p>631 回 おへその上。</p> <p>632 相 //はい。</p> <p>633 回 胸のほうではなくて。</p> <p>634 相 はい。</p> <p>635 回 はあ、そうですか。</p> <p>636 相 はい。</p> <p>637 回 そうすとね、比較的、やせーぎみの方でしょうかねー。</p> <p>638 相 そうですねー。</p> <p>639 回 そうですね//ー？</p> <p>640 相 はい。</p> <p>641 回 うーん。</p> <p>642 回 お夕食の時間は何時ごろですか？</p> <p>643 相 夕食は、5時半から6時ぐらいですけども、</p>

		644 回	はい。
		645 相	お昼を重点的にして、
		646 相	夕食は、あんまり、たくさん//食べないんですけどー。
		647 回	なるほどなるほどねー。
		648 相	はい。
		649 回	うーん。
		650 回	6時、お休みになるのが？
		651 相	え、10時、11時ですねー。
		652 回	あー。
		653 相	はい。
		654 回	それで、その間、お茶や、あの一、何か。
		655 相	あつ、お茶はよく飲みます。
		656 回	はい。
		657 相	はい。
		658 回	それから、その、甘い物は？
		659 相	甘い物は、あんまり頂きません。
		660 回	ふーん。
		661 相	はい。
		662 回	そうすと、夕食の後、
		663 回	寝る前には、お茶や何か、かなり召し上がりますか？
		664 相	お茶は2回ぐらい飲みます。
		665 回	濃い物お好きですか？
		666 相	は//い。
		667 回	そうでもないです//か？
		668 相	はいはい。
		669 回	濃いのがお好きで//すか。
		670 相	はい。
		671 回	はあー。
C	C 1 相 回 談 答 う 提 け の 話 段	672 回	そうですね、この、うーん、まあ、お茶っていうのは、いろんな意味で、大変体にいいものなんですがー、
		673 相	はい。
		674 回	えー、夕食の後、
		675 回	6時から10時の間、
		676 回	なんにも召し上がらないで、
		677 相	うん。
		678 回	明け方、こういう胃のあたりの不快感を起こすというのは、
		679 相	はい。
		680 回	多分、うーん、胃酸が少し夜中に出ているんだと思い//ますねー。
		681 相	はあ、あつ、はい。
		682 回	そうすと、その、胃酸を出す物としては、
		683 相	はい。
		684 回	お茶の中のカフェイン類、テオフィリンとかそういう、ものが、えー、胃酸を分泌する、
		685 回	たくさん出す働きを持っている//んですよー。
		686 相	はー、あーそうですか。
		687 回	でー、お茶は是非、体にいいもんですから、
		688 相	//はい。
		689 回	のん、飲んで頂くことにしてもー、
		690 相	はい。
		691 回	夕食の、
		692 相	はい。
		693 回	前。
		694 回	夕食の後は、
		695 相	はい。
		696 回	普通の白湯とかー、
		697 回	薄いお茶とかー、
		698 相	はい。
		699 回	そういう物に、し、なさったほうがいいのかもかもしれませんねー。
		700 相	はー、そうですか。
B	B	701 回	それから、あの一、うーん、明け方ということですよ？

大話 小
話 話
段 段

2 相 702 相 明け方でも、朝食前後でも、この頃は、もう、以前よりも頻繁に痛みが起こるようになってるんですけどー。

相 703 回 あっ、そうですかー。

相 704 相 はい。

相 705 回 うーん。

相 706 回 その、2時間ぐらいして、我慢していると、

相 707 相 はい。

相 708 回 いうの、起きて我慢していらっしゃるんでしょ//うか。

相 709 相 いえいえ、あの、もう横になって、

相 710 相 小さく縮こもって、

相 711 回 {笑い}

相 712 相 汗だらけになってねー。

相 713 回 あらまあー//ー。

相 714 相 はい。

相 715 回 あ、そうですか。

相 716 相 はい。

相 717 回 //そ、

相 718 相 ほんで、ひどい時は、

相 719 相 気一失うっていうんですか、

相 720 相 意識なくなってしまうんですよ。

相 721 回 あっ、かなりきりきり痛みますねー。

相 722 相 うーん、痛いっていうのか、

相 723 相 なんともいえない気分の悪さなんですけどねー。

相 724 回 うーん。

相 725 回 えーっと、今まで、えー、その、胃カメラを受けられて、

相 726 回 異常がなし。

相 727 相 はい。

相 728 回 そうするとー、お、お通じのほうも大丈夫ですよーねー。

相 729 相 いいえ、お通じもねー、

相 730 回 うん。

相 731 相 あのー、毎日1錠ずつ「コーラック」っていうのを飲んでるんです。

相 732 回 はい。

相 733 相 はい。

相 734 司 便秘//薬を飲んでらっしゃるんですね？

相 735 相 それが、ないと、もう//出ない。

相 736 司 はい。

相 737 回 なるほどねー。

相 738 相 はい。

相 739 回 そうすると、その、うーん、

相 740 回 そうすと、お通じに行くと、

相 741 回 お腹、楽になるような気はしません？

相 742 相 します。

相 743 相 ガスもなんか溜まりやすいみたい。

相 744 相 あんまり出ない。

相 745 回 うーん。

相 746 回 そうするとー、それ、何時頃、こう、その便秘のお薬お飲みになりますかー？

相 747 相 たいてい11時ー、

相 748 相 ご飯6時前後//に食べ//てー、

相 749 回 うんうん。

相 750 回 うんうん、うん。

相 751 相 11時ぐらい//に、1錠飲んで、

相 752 回 あー、そうです(か)。

相 753 相 寝るんですけど//ー。

相 754 回 はいはいはい。

C C 755 回 そうしましたらね？

相 756 相 はい。

相 757 回 今のお話の感じだと、

相 758 回 胃というよりも、腸のような感じ//がしますねー。

相 759 相 あー、はあ、そうですかー。

相 760 回 それで、きりきり絞るような、

大 話 段	話 段	小 話 段	
の 話 段	の 小 話 段		

761 回 あるいは、冷や汗が出るよう//な感じがあつ//て、
762 相 はい。
763 相 うーん。
764 回 少し、まあ、動いたり、
765 回 ごろごろしたりしてると、
766 回 お通じに行きたくなり、
767 回 おならが出たり、
768 相 はい。
769 回 して、
770 回 それで、えー、やや柔らかめ？
771 回 あるいは下痢に近い便//かな？
772 相 あっ、そうです。
773 回 そうですね？
774 相 うん。
775 回 それが出てしまうと、
776 回 なんか、//あの、
777 相 ほんと楽に、
778 回 ほーっとしたよう//な気になると。
779 相 はい、はいはい。
780 回 そうしますと、今のお薬が、少し強すぎるのかもしれないねー。
781 相 あーそうですか。
782 相 そしたら、変えたほうがいいですか。
783 回 ええ、そうですねー。
784 相 はい。
785 回 それで、あの一、うう一、お通じが出ない、
786 回 まっ、いつ、これはあなただけのことではなくて、
787 相 はい。
788 回 あの一ー、お通じーが硬かったり、
789 相 はい。
790 回 あるいは便秘がちの方っていうのは、
791 回 えー、下剤をお使いになるんですが一、
792 相 はい。
793 回 夜寝る前に飲んで、
794 相 はい。
795 回 えー、その一、ある程度、下痢に近い状態をお腹に作って、
796 相 はい。
797 回 そして、その下痢の働きで、
798 相 はい。
799 回 お通じを無理やり押し出すと。
800 相 はい。
801 回 そういうふうなことにしますと、
802 回 お一、非常に朝、つ、出るまでが気分が悪いんですよ。
803 相 はい。
804 回 それよりもむしろ、もっと、い、効き目が弱いっていうか、
805 回 い、あの、働きの優しい、
806 相 はい。
807 回 いー、下剤を、
808 相 はい。
809 回 食事の度に、
810 相 あ//一。
811 回 いー、あの一、少量お飲みになると、
812 相 はい。
813 回 お通じ全体が、朝食べたお通じも、
814 相 はい。
815 回 昼食べたお通じも、夜食べたお通じも、
816 相 はい。
817 回 みんな、同じように柔らかい状態になってる。
818 司 ふ//ふーん。
819 相 はー、はい。
820 回 そうすると、自分の今度は、えー、蠕動運動という、腸の動きによって、

821 相 はい。
822 回 押し出すことができる。
823 回 そういう状態が、き、望ましいわけですよ。
824 相 あー、そうですか。
825 回 あるいは、腹筋運動をするとか、
826 相 はい。
827 回 そういうことで、自らの力で押し出す。
828 相 はい。
829 回 今は下痢の力で押し出してる。
830 相 はい//はい。
831 回 うん。
832 回 それが、今の苦しい原因だと思います。
833 相 あーそうですか。
834 回 はい。
835 相 はー。
836 回 それで、い、ちょっとお薬をお変えに、
837 回 あの、あるいは、あの、消火器の専門の先生とか、
838 相 はい。
839 回 などに相談して、
840 相 はい。
841 回 えー、腸の検査を受けたこ、受けたほうがいいと思いますしー、
842 相 あーそうですか。
843 回 あの、そして、薬をちょっと、変えてみたほうが、
844 相 はい。
845 回 いいと、私は思いますねー。
846 相 あーそうですか。
847 回 はい。
848 相 // はい。
849 回 今一の状態、ちょっと、つ、辛そう
でかわいそうだし、
850 相 はい。
851 回 なるべく早く先生に相談してみてください。
852 相 はい、わかりました。
853 回 はい。

D 854 相 どうも//ありがとう//ごさい//ました。
855 司 はい。
相 856 回 はい。
857 司 はい、お//大事にどうぞー。
858 回 お願いしまー//す。
859 司 失礼致します。

860 司 もうおひとかた、アドバイスをお願い致します。
861 司 I 県にお住まいの59歳の男性、ご本人からの相談なんですけれども、
862 司 1週間前に、
863 司 左の下腹部を指で押すと、
864 司 やや硬いしこりに触れるのに気づきました。
865 司 少し細長く、
866 司 境目がはっきりして、
867 司 動く、
868 回 うんうん。
869 司 ということなんですね？
870 回 はあはあ。
871 司 で、この押すと、
872 司 上から、こう、圧迫すると、
873 司 便意を感じますが、
874 司 特に痛みはありません。
875 回 はい。
876 司 便通は順調です。
877 回 はい。
878 司 まだ病院で見てもらってませんが、
879 司 この左下腹部のしこり、

880 司 急いで受診すべきでしょうかという相談です。
881 回 {吸気}
882 司 血圧は、高いほうは110から//120。
883 回 うん。
884 司 下が80で、
885 司 163センチの63キロという体格の、59歳の男性から、の相談です//が。
886 回 そうですね。
887 司 はい。
888 回 あの、結論から言いますと、
889 司 ええ。
890 回 なるべく早く、あの、検査を受けられたほうがいいと思うんです//よ。
891 司 はい。
892 回 えー、下腹部の、特に左の下腹、つてい//うのは、
893 司 ええ。
894 回 お通じが固まって、
895 回 そういうふうに、こう、しこりを触れたりする時もあり ます。
896 司 はい。
897 回 それからー、あるいは、ポリープがあったり//とか、
898 司 うん。
899 回 あるいは、あの、炎症性の、おー、大腸の炎症があったり //と、
900 司 はい。
901 回 いうことがありますので、
902 回 なるべく早く検査を受けられたほうが、一番いいと思いますね。
903 司 はい。
904 回 そして、まあ、あの一、便意を、押し、押す、
905 回 そこのところを押しますと、
906 回 S字結腸の上の、かこ、えー、下行結腸だと思いますが、
907 回 そこのところの、を、押すと、
908 司 はい。
909 回 お通じが、行きたくない時でも、
910 回 そこを押すと、
911 回 誰でも、ある程度、行きたくなるような気がする場所なんですよ。
912 司 ええ。
913 回 お通じが溜まっている場所//ではある。
914 司 あーあー、はい。
915 回 だから、そこを押すことによって、
916 回 軽く、あの一、そういう気持ちになるのは、とう、当たり前なんです、
917 司 うんうん。
918 回 えー、ときには、そこに何かできていることも、ありますので、
919 司 はい。
920 回 また、(?)に、そこには、悪い物ができやすい場所でも //あ
りますので、
921 司 あー。
922 司 はい。
923 回 なるべく早く、いつ、あの一、医師、えー、お医者さんのところへ行って、
924 回 安心なさるほうがいいと思いますね。
925 司 はい。
926 司 わかりました。
927 司 まあ、あの一、この方は、便意は感じるけれど、
928 司 めん、//便通は順調だ//ということですねー。
929 回 出ない。
930 回 順調ですね。
931 司 それから、その前の方は、お話の感じからいくと、
932 司 ちょっとやはり、便秘が問題に//なってるのではないかという//ことですが、
933 回 そうなんです。
934 回 ええ。
935 司 薬にもいろいろ、あるんですよね？
936 回 はい。
937 司 まあ、便秘の薬といい//ますか。

便秘の薬には、そういうふうに、非常に、こう、腸の動きを
 938 回 激しくして、
 939 司 ええ。
 940 回 水分を吸収しないようにして、
 941 回 下痢の状態で、
 942 回 下痢で押し出すという、
 943 司 はい。
 944 回 そういうタイプもありますし、
 945 司 ええ。
 946 回 それから、お通じの嵩、量をね？
 947 司 増やし//て、
 948 回 増やして、
 949 司 はい。
 950 回 腸の中から、お、えー、あの一、その嵩で、食べ物が増えたような、//感じでもっ
 て、
 951 司 あー。
 952 司 はい。
 953 回 腸を刺激して、
 954 司 ええ。
 955 回 腸の動きを強くして、
 956 回 //出してあげるといふ、そういうタイプの、おー、下剤もありますし、
 957 司 うーん。
 958 司 はい。
 959 回 えー、まあ、さまざまな下剤がある。
 960 回 それからまた、えー、水に、すい、数滴、こう、あの、混ぜて飲んで、
 961 司 うん。
 962 回 便を柔らかくするというような、//下剤もあります。
 963 司 うーん。
 964 司 はい。
 965 回 それぞれの症状に合わせて、
 966 司 あー。
 967 回 それぞれの、おー、まっ、えっ、自分のから（だ）、
 968 回 お通じだけは、自分しか知らないんですよ。
 969 司 はい。
 970 回 医者も、それが、//わかってない、
 971 司 どう説明しても、
 972 回 え//え。
 973 司 はい。
 974 回 わからない//わけですね？
 975 司 ええ、そうですね、それぞれです//ね。
 976 回 ですから、その、工夫して、
 977 回 どういう飲み方が自分が一番楽か//っていうのを、逆に医者にも、が、教えてもらいた
 いくらいなんですよ。
 978 司 うーん。
 979 司 あー。
 980 回 ですから、いつも患者さんに申し上げるには、
 981 回 あの、お通じのことは、わたし、こうやって話している間だけでは、なかなか理解
 できないから、
 982 回 いろいろ試して、
 983 回 量を変えたり、
 984 回 飲む時間を変えたり、
 985 司 はい。
 986 回 まあ、3回に分けて//みたりして、
 987 司 ええ。
 988 回 一番いい方法を自分で見つけると、いうことが一番大事だと、いうふうに、
 989 回 {笑い} よく話してますけど。
 990 司 はい。
 991 司 この時間は、消化器についての電話相談をしています。
 992 司 お答え頂いているのは、東京女子医科大学名誉教授のY I さんです。
 993 司 では、音楽、ニュースをはさんで、

大 話 段	小 話 段	続 続 の	994 司	また、続けましょう。
			995 司	高中正義さんの演奏で、
			996 司	「スヌーザー」。」
V 別番組			997 ー	《音楽・交通情報・ニュース》
続Ⅲ の 大 話 組 段 継			998 司	では、「暮らしの電話相談」、
			999 司	胃や腸といった、消化器についての電話相談を続けます。
			1000 司	お答え頂いているのは、東京女子医科大学名誉教授のY I 先生です。
			1001 司	みなさんからの相談の受付は、さきほど、2時半で終了させて頂きました。
Ⅱ 2			1002 司	さあ、続いての方、さきほど、前半で、便秘についての相談が//ありましたけれども、
電 話 相 談 の 補 足 解 説 の 大 話 段			1003 回	そうですね。
			1004 回	ええ。
			1005 司	おー、続いての方なんですが、
			1006 司	K県にお住まいのI Uさん、38歳の女性、ご本人からの相談//です。
			1007 回	はい。
			1008 司	以前から便秘気味ではありました。
			1009 司	で、半年前に、
			1010 司	大腸の内視鏡の検査で、ポリープを切除しました。
			1011 回	うーん。
			1012 司	その後ひどくなって、
			1013 司	腸にガスが溜まるようになったということ//なんでしょうか。
			1014 回	うーん、//取って。 腸の一部が細くなっていると
			1015 司	いうことで、
			1016 司	下剤を飲まないで、
			1017 司	便は出ないけれども、
			1018 司	下剤を飲むと、
			1019 司	下痢ということを繰り返してい//ます。
			1020 回	はい。
			1021 司	現在は、漢方薬を使っていますが、
			1022 司	夕方になると、
			1023 司	お腹が張るような感じがあって、
			1024 司	苦しい状態です。
			1025 司	でー、今、I Uさんは、1日8時間、車の運転をするような、お仕事して//らっしゃるんでしょうか。
			1026 回	はあはあ。
			1027 司	えー、食事が不規則な//状態です。
			1028 回	うんうん。
			1029 司	下剤を飲まないで、
			1030 司	出ないけれども、
			1031 司	飲むと、
			1032 司	下痢になるという、
			1033 回	うん。
			1034 司	なんとか、よい方法は//ないでしょうか、という相談//です。
			1035 回	あー。
			1036 回	さきほどのお//話に、非常に 似てますよねー。
			1037 司	お電話はつながってないんですけれども。
			1038 司	はい。
			1039 回	あの一、うーん、やっぱり、お、お通じの場合っていうのは、
			1040 回	自分で、どうやって、あの、一番快適な、お//通じが出る環境を作っていくか、
			1041 司	ええ。
			1042 回	あるいは、薬の飲み方をどう変えていくかという//ことが、大切なんですが、
			1043 司	はい。
			1044 回	この方、非常に悪い条件が、いくつも揃って//います。
			1045 司	はい。
			1046 回	一つは、車に8時間お乗りになっているということ、は、
			1047 司	ええ。
			1048 回	まず、お通じっていうのは、行きたい時がベストなんです よ。
			1049 司	あー。

1050 司 便意をもよおした時に、
1051 回 え//え。
1052 司 行ったほうがいいという//ことですか。
1053 回 行くっていうこ//とです。
1054 司 はい。
1055 回 一度、そこで、行きたいのに、
1056 回 車運転してるから、
1057 司 うん。
1058 回 うーん、我慢//しようというふうに、
1059 司 はい。
1060 回 押さえつけてしまうと、
1061 司 ええ。
1062 回 直腸から頭に行く、反射が、止まってしまうんですね。
1063 司 //うーん。
1064 回 それから、上から今度、「お通じを出しましょう。」という指令が、降りてこなくな
1065 司 はー。
1066 回 そうすると、何日も行かなくなってしまう。
1067 司 ええ。
1068 回 ですから、あの、よく、うー、ことわざに、「直腸に猛獣を飼ってる」という言葉が
1069 司 ふーん。
1070 回 猛獣を押さえつけてしまうと、
1071 回 猫になってしまっ、
1072 司 ええ。
1073 回 お通じが出なくなってしまう//と、いうふうな、こと、ことわざがある//んですけど
1074 司 はあー。
1075 司 ええ、ええ、ええ。
1076 司 そういう意味では、行きたいときに、
1077 司 行かれない今の環境、じゃないかと、
1078 回 はい。
1079 回 それが一つ//ありますか？
1080 司 ええ。
1081 回 それから、もう一つは、あの、やっぱり、し、仕事自身が、運転ということだと、
1082 回 かなりストレスを感じます。
1083 司 うん。
1084 回 ストレスを感じると、
1085 司 腸が、そこで痙攣をしてしまったりして、
1086 回 はい。
1087 回 あるいは、動かなくなってしまう//りして、
1088 司 ええ。
1089 回 食べた物を気持ちよく押し出してくれないと、
1090 司 うーん。
1091 回 いうこともあります。
1092 司 ええ。
1093 回 まあ、えー、それ、それと、それから、下剤を飲むと、
1094 回 うーん、飲まないといられないけども、
1095 回 飲むと、
1096 回 今度は下痢になってしまうっていうのは、さきほどのお話の方と非常に似てまして、
1097 回 あの一、まあ、下痢でもって、お通じを押し出していると、
1098 司 はい。
1099 回 ということ、が、ありますか？
1100 司 はい。
1101 回 もう一つ、是非と思って、
1102 回 おはな、この方に、(?) 申し上げておきたいと思うのは、
1103 回 えー、大腸の検査が、お、ポリープを取って、
1104 回 えー、細くなっているところがあるというふうに、
1105 司 うーん。
1106 回 言われたということですけど//も、

1107 司 はい。
1108 回 うーん、そん、悪い意味での細くなっているためなのか、
1109 回 非常にストレスや何かで、痙攣とかそういうことで、
1110 司 うーん。
1111 回 細くなってしまっているのかわかりませんが、
1112 回 あの、是非また、えー、近いうちに、
1113 回 大腸の検査をして、
1114 回 異常がないことを確かめて、
1115 司 はい。
1116 回 おかれたほうが、//いいと思いますね？
1117 司 あー。
1118 回 ええ。
1119 司 この、大腸のポリープの検査、一度、その、大腸にポリープが見つかった場合は、
1120 司 どのくらいの頻度で、検査を受けたほうがいいでしょうか。
1121 回 あの一、う、胃のポリープと、大腸のポリープと、で、で、出来上がる、
1122 回 えー、なんて言いましょうか、
1123 回 えー、理由がちょっと違うんですね？
1124 回 前にも申し上げましたが、
1125 回 胃のポリープは、道路に傷がついたところ、胃酸で傷つけられた//ところを治すとい
うことで、
1126 司 うん。
1127 回 え、道路に土を盛る、
1128 司 うん。
1129 回 盛りすぎて、
1130 回 えー、盛り上がってしまっ//た、過形成というポリープ、//が、多いんですが、
1131 司 はい。
1132 司 ええ。
1133 回 大腸には、胃酸という傷つけるものがないわけですね？
1134 司 ええ。
1135 回 ですから、ポリープがあるということは、腫瘍性のもので//あることが大部分なん
です。
1136 司 うんうん。
1137 司 はい。
1138 回 ですから、ひと、一度、大腸にポリープが見つかった人というのは、大腸に、そうい
うものを作る、能力っていうと//変ですが、
1139 司 うーん。
1140 司 ええ。
1141 回 そういう癖がある//といたしますか、
1142 司 はい。
1143 回 そういう、うー、ふうに、とらえたほうがいいもんですから、
1144 回 ポリープが一つ、一度あったら、
1145 回 まず、半年後に検査を受ける。
1146 回 そして、なかったら、
1147 回 一年後に受ける。
1148 司 はい。
1149 回 そいで、またなかったら、
1150 回 2年おいてもいい//いと、いうふうに、
1151 司 あー、はあはあ。
1152 司 はい。
1153 回 考えて頂いて、
1154 回 えー、まあ、よく、えー、キノコの出る畑みたいなつもりで、
1155 司 はい。
1156 回 出たら取ってしまうというふうに、
1157 司 はい。
1158 回 考えておかれたほうがいいと思いますね。
1159 司 はい、わかりました。
1160 司 I Uさん、どうぞお大事になさってください。

II B B 1161 司 では、続いての方です。
1 1 1162 司 Hにお住まいのNMさん、
電 相 相 1163 司 えー、74歳のご主人について、奥様からの相談です。

大 話 段	小 話 段	話 相 談 の 談 話	話 段	小 話 段	
	談 話 段	談 話 段	1164 司	3年前に、	
			1165 司	便秘と、それから、お腹が張るという感じが強く、	
			1166 司	救急で、おうし、あの、受診しました。	
			1167 司	膨満感と便秘、の診断を受けました。	
			1168 司	レントゲン検査一では、ガスが溜まっていたということです。	
			1169 司	レントゲン検査で見たところ、	
			1170 司	ガスが溜まっていたということです。	
			1171 司	それ以来、胃腸薬と便秘薬を飲んでいますが、	
			1172 司	症状が続いています。	
			1173 司	食事は、食べたいという気持ちはあるけれども、	
			1174 司	あまり食べられない状態で、	
			1175 司	えー、吐き気などはないということです。	
			1176 司	現在、便通は良好なのですが、	
			1177 司	この、腹部の膨満感、	
			1178 司	原因は、どんなことが考えられるでしょうという相談です。	
			1179 司	血圧は、上が//126、下65、	
			1180 回	うーん。	
			1181 司	タバコを1日10本程度吸ってらっしゃるということで、	
			1182 司	165センチ、52キロの体格でいらっしゃいます。	
			1183 回	うーん。	
A			1184 司	NMさん？	
			1185 相	はい。	
相			1186 司	はい、//こんにちは。	
談			1187 回	あっ、こんにちは一。	
開			1188 相	はい、こん//にちは。	
始			1189 司	お待たせ致しま//した。	
			1190 相	す。	よろしく願い致//し//ま
			1191 司	はい。	
			1192 回	Yで一す。	
B	B		1193 回	あの一、うーん、なんといいきましょうか、	
	2		1194 相	はい。	
相			1195 回	ゆっくり召し上がるほうでしょうかねー。	
談	相		1196 相	そうですね、あの一、以前は、は、はや一//く、食べるほうだったんですけども、	
か	談		1197 回	早く食べるだった、はい。	
け	内		1198 相	今回、先生のほうから注意を受けまして、	
の	容		1199 回	はい。	
話	確		1200 相	ゆっくり食べるように努力してます。	
段	認		1201 回	あ、{笑い} そうです//か。	
	の		1202 相	はい。	
	小		1203 相	そして一、	
	話		1204 回	ええ。	
	段		1205 相	食べる量も、ほんと、もう、お茶碗に、ご飯が半分と、	
			1206 回	うん。	
			1207 相	副食は、もう、種類がたくさんあると、	
			1208 相	食べられませんので、	
			1209 回	はい。	
			1210 相	で、いろんなものを合わせて、	
			1211 相	一皿くらいですね？	
			1212 回	はい。	
			1213 相	それくらいいで、	
			1214 相	本人は食べたい気はありますけども、	
			1215 回	う一//ん。	
			1216 相	あとで、す、食べると、	
			1217 相	すぐ胃のほうで、張ってきて、	
			1218 相	とても苦しいんです？	
			1219 回	う一//ん。	
			1220 相	うん。	
			1221 相	そして、ずっとあの一、張った状態が続きますので、	

1222 相 本人は、とにかく、ガスが早く出てほしい、という、その気持ちがいっぱいなんです。
1223 回 なるほどねー。
1224 相 はい。
1225 回 うーん。
1226 回 なにか、お腹の手術なさったことないん//ですよーねー。
1227 相 はじ、
1228 相 全然こんなに//ちまでねー、あの、お医者さんにお世話になったこと//がありませ//んの。
1229 回 そうですよーねー。
1230 回 うーん。
1231 回 うん。
1232 回 その、3年前に、
1233 回 救急で、じゅ、あの一、受診した時には、
1234 相 はい。
1235 回 えー、胃の検査とか、大腸の検査はなさったんですよ。
1236 相 はい、処置一以後ですね？
1237 回 はい。
1238 相 はい。
1239 回 うー//ーん。
1240 相 これも、ちょっと3軒、あの一、
1241 回 はい。
1242 回 よ、お医者さんとか、
1243 相 精密検査やり//ました//けど//も一、
1244 回 はい。
1245 司 はあー。
1246 回 はい。
1247 相 いずれも、あの一、特別な//悪いところはありません。
1248 回 既に、日常的には、普段どうやってらっしゃいますか？
1249 回 あ//の一、あの一、例えば、運動なさってるとか、
1250 相 現在ですか？
1251 相 はい。
1252 回 体操なさってるとか。
1253 相 はい。
1254 相 //今のところは、1日に、朝30分ぐらい散歩//一に行って、
1255 回 うーん。
1256 回 はい。
1257 相 まあ、これだけはやらなくてはいけないと言いながら、
1258 回 はい。
1259 相 やっております。
1260 回 はい。
1261 相 そして、あと1日は、とにかくガスが出てほしいという気持ちが、もうずーっと続きまして、
1262 回 ええ。
1263 相 なにか、もう、家事の手助け一ぐらいのことを気を晴らすために、
1264 回 うん。
1265 相 やって下さってる//状態です。
1266 回 あっ、なるほどねー、うん。
1267 相 はい。
1268 回 あの一、歯はどうですか？
1269 相 歯は一、あの一、今のところ、あの一、
1270 回 うまく//噛み、
1271 相 治療歯もありますけども一、
1272 回 噛む、うまく噛ん、噛（める）ようになってま//すか。
1273 相 はい。
1274 回 はい。
1275 相 別に差し支えはござい//ません。
1276 回 はい、はい。
1277 回 あの一、多分ガスが溜まっているのはですねー、
1278 相 はい。

1279 回 えー、口から入る空気が、たくさんあるからだと思うんですねー。
 1280 相 はい。
 1281 回 で、胃に溜まったり、
 1282 回 腸に溜まったりし//てー、
 1283 相 はい。
 1284 回 えー、お腹の中がガスで。
 1285 相 はい。
 1286 回 げっぷはしませんか？
 1287 相 げっぷも出ます。
 1288 回 そうですねー。
 1289 相 はい。
 1290 回 うー//ん。
 1291 相 そして、げっぷが出れば、
 1292 相 本人は、「あー、出てくれた。」と//言ってー、
 1293 司 うーん。
 1294 相 ちょっと安堵する状態です//けども、
 1295 回 そうですねー。
 1296 相 それでも、ガスが、もうほんとう {笑い} もう、いつも溜まっ//ちゃって、
 1297 回 あー、大きな音でおならをなさること、ありますか？
 1298 相 あります。
 1299 回 あー、それ//はまた、いいことですねー。
 1300 相 はい。
 1301 相 はい。

C C 1302 回 あの一、まずですねー、
 1303 相 はい。
 相 1304 回 お腹の中のガスが多いっていうのは、口から飲んだ空気が大部分なんですよ。
 談 1305 相 はい。
 う 1306 回 えー、おならー、あるいは、げっぷの70パーセントは口から飲んだ空気ですか
 け 1307 相 はい、70パーセン//トね？
 の 1308 回 ええ。
 話 1309 回 あと一、ほんとに、便秘や何かで作られるガスっていうのは、10パーセントぐらい
 段 1310 相 はい。
 1311 回 ですから、大きなおならをなさっても、
 1312 相 はい。
 1313 回 あんまり臭くはないんですよ、
 1314 相 はい。
 1315 回 意外に。
 1316 相 そうです//ねー。
 1317 回 ええ。
 1318 相 //はい。
 1319 回 ですから、口からどうして空気を飲むんだろうか、
 1320 相 はい。
 1321 回 ということのほうが大事//でしてー、
 1322 相 はい。
 1323 回 えー、喉が渇くとか、
 1324 相 はい。
 1325 回 あるいはあの一、歯の噛み合わせが悪くて、
 1326 相 はい。
 1327 回 つい、生唾飲んで//しまったり、
 1328 相 はあ。
 1329 相 はい。
 1330 回 食べ物の中の空気を、//押し出さないで食べてしまったり、
 1331 相 はい。
 1332 相 はい。
 1333 回 ということもあります。
 1334 相 はい。
 1335 回 あー、中には、チューイ、こう、なんか、うーん、人とおしゃべりすることが多い
 と、

1336 相 はい。
1337 回 その、唾液を飲み込んでしまって、
1338 相 はい。
1339 回 えー、ガスが多くなるということもあるんで、
1340 相 はい。
1341 回 ある程度、癖の部分があるんですよね？
1342 相 あー、癖、はい。
1343 回 ええ。
1344 相 は//い。
1345 司 うーん。
1346 回 で、これが、あの、この一、便秘と腹部膨満感で、突然という時には一、
1347 相 はい。
1348 回 これは、その、前からそういう、ガスが溜まる癖はあったんだと思うんですけど
もー、
1349 相 あー、はい。
1350 相 その一、ちょっと悪くなるー2，3年前頃、
1351 回 はい。
1352 相 けんこ、会社の健康//診断で、
1353 回 はい。
1354 相 あの、「ガスが溜まってます。
1355 相 多いですねー。」って//おっ//しゃいました。
1356 回 うーん。
1357 回 うーん。
1358 相 「でもこれは病気ではないですから。」と、
1359 回 うん。
1360 相 聞いておりましたの//でね？
1361 回 ええ、ええ、ええ。
1362 相 その当時は、全然本人も、
1363 回 ええ。
1364 相 気にはなってま//せんでして。
1365 回 はい。
1366 回 （そ）んで、//そ、
1367 相 ある、ある日突然のこと//が起きまして。
1368 回 そうですねー。
1369 回 そいで、たまたまその、ガスが異常に多くなって、
1370 回 うまく通らなくなると、
1371 相 はい。
1372 回 腸がどこかでねじれたような形になって、
1373 相 はい。
1374 回 えー、ガスが下に行かなくなって、
1375 回 痛みが出たりー、
1376 相 はい。
1377 回 お腹が強くなって、
1378 回 張ってきたりする、ということがよくあるんですよ。
1379 相 はい。
1380 回 それから、また、もう一つは、あのー、便秘だからといって、
1381 相 はい。
1382 回 繊維質の多いものをたくさん食べ過ぎてー、
1383 相 はい。
1384 回 で、その繊維が、おつう、あのー、なんていうか、
1385 回 通行止めをしたり//してし//まって、
1386 相 はい。
1387 司 ふーん。
1388 回 便秘になってしまうことも、
1389 相 あー。
1390 回 あるんですね？
1391 相 あー、そうでございます//か。
1392 回 ええ。
1393 回 ですか//ら、やっぱり、よーく嚙むことと、
1394 相 はい。

大話 小
段 話 話
段 段 段

1395 相 はい。
1396 回 生野菜や何かよりも、煮野菜、煮たもののお野菜、
1397 相 はい。
1398 回 が、多いほうがいいと思いますし、
1399 相 はい。
1400 相 生よりで//すね？
1401 回 うん。
1402 相 はい。
1403 回 ゆっくり噛んで食べる//こと。
1404 相 はい。
1405 回 これから、わりに消化がうまくいかないものの中には、
1406 相 はい。
1407 回 えー、キノコ類などが、非常に、そのままお通じに出してしまう人もたくさんありますし、
1408 相 はい。
1409 回 (?) ても、
1410 回 やっぱりよく噛んで食べるという習慣ですねー。
1411 相 はい。
1412 回 それから、散歩もとっても大事ですがー、
1413 相 はい。
1414 回 うーん、お腹の腹筋を鍛える体操、
1415 相 はい。
1416 回 あの、仰向けで結構ですから、
1417 相 はい。
1418 回 えー、足を上げたり、
1419 回 下げたり、
1420 相 はい。
1421 回 体をわーっと右にねじったり、
1422 相 はい。
1423 回 左にねじったりして、
1424 相 はい。
1425 回 お腹をゆする、
1426 回 お腹の中をゆするというような//つもりで、
1427 相 はい。
1428 相 はい。
1429 回 腹筋運動みたい//なもの//をなさると、
1430 相 はい。
1431 相 はい。
1432 回 要するに、クークークーって {笑い} いって、
1433 相 あー。
1434 回 お通じが、
1435 相 {笑い}
1436 回 ガスが通ってって、
1437 相 はい。
1438 回 楽になることもありますので、
1439 相 はい。
1440 回 えー、ちょっと日常生活もそういうものを試してみてください。
1441 相 はい。

相 談 か け の 話 段	B 2 相 談 内 容 確 認	1442 回	B	1442 回	そいで、えー、3年以降、検査はなさっていないんですね？
		1443 相	2	1443 相	さ、さあー、えーっと、そう、いや、こと、去年//ですね？
		1444 回		1444 回	あっ、そうですか。
		1445 相		1445 相	大腸、去年やりまし//た、また3年目を。
		1446 回		1446 回	あー、そうですか。
		1447 回		1447 回	はい、わか//りました。
		1448 相		1448 相	はい。
相 談	C 1	1449 相	C	1449 相	はい。
		1450 回		1450 回	じゃ、その、そういうことを心がけて頂ければ、
		1451 相		1451 相	はい。
回 答		1452 回		1452 回	少しは楽になると思います。
		1453 相		1453 相	楽になる。

大 話 段	小 話 段	提 供 の 小 話 段	う け の 話 段
		1454 回	はい。
		1455 相	じゃあ、この、空気を飲むっていうことは、うーん。
		1456 回	うーん、難しいんです//よ？こ れ。
		1457 相	むつかしいです//ねー、もう。
		1458 回	ええ。
		1459 相	それはよく、主人にも、あの一、先生がおっしゃるんですけどもー、
		1460 回	うーん。
		1461 相	どうして、どうして自分だけこんなんだろうかと//思っ？
		1462 司	うーん。
		1463 回	うーん。
		1464 相	{笑い}
		1465 回	ある、癖みたいになってるんですよ？
		1466 相	はい。
		1467 回	よ、夜眠っている時は、のま、飲まないんですけど、
		1468 相	はい。
		1469 回	起きてる時に、
		1470 回	やっぱり飲んでしま//うんで一、
		1471 相	はい。
		1472 相	はい。
		1473 回	何かやっぱり気を紛らわすことも、とても大事だと思います //よ？
		1474 相	大事ですね。
		1475 回	ええ。
		1476 司	はい。
		1477 相	そして、あの、1日のうちに、
		1478 相	お昼が一番苦しいんです。
		1479 回	はい。
		1480 相	あ、お昼の食//後が。
		1481 回	そうですね。
		1482 相	はい。
		1483 回	で、おならが出て、
		1484 回	夕方になって、
		1485 回	出てくると、
		1486 回	楽になるんですよー。
		1487 相	そうですねー。
		1488 回	はい。
		1489 相	楽になって、
		1490 相	また、//あの一、// {笑い} 張ってきちゃって、
		1491 司	うーん。
		1492 回	ええ、ええ、ええ、ええ、ええ。
		1493 相	その繰り返しを、1日、また//繰り返しで、
		1494 司	うーん。
		1495 相	もう、何か、ねえ、あの一、忘れるように集中すればと思うんですけども、
		1496 回	まず//体を動かすことが一番ですよ。
		1497 相	そういう気持ちがなかなか。
		1498 相	はっ？
		1499 回	体を動かすことが一番です。
		1500 回	是非そういうふうに、心がけてください。
		1501 相	はい。
D	相 談 終 了	1502 回	//じゃあ、お//願いしまー//す。
		1503 相	はい。
		1504 相	はい。
		1505 司	はい。
		1506 司	どうぞ、お//大事になさってください。
		1507 相	どうも、ありがとうございました。
		1508 司	はい。
II 2		1509 司	お大事にどうぞ。
		1510 司	もうおひとかた、アドバイスをお願いします。
		1511 司	Oにお住まいのTGさん、64歳の方、ご本人からの、男性からの相談なんですが、

1512 司 大腸の内視鏡検査のグループ3というのはどんなふうに考えればよいのでしょうか//と。
 1513 回 うーん。
 1514 司 えー、健康診断、地区の健康診断を受けてきて、
 1515 司 えー、便の潜血反応が陽性となりました。
 1516 司 専門の、おー、病院で、大腸の内視鏡検査を受けて、
 1517 司 グループ3というふうに、
 1518 司 何度か、あー、その結果が出たということです。
 1519 司 主治医の先生からは、1と2は異常なし、
 1520 司 4から5は、まあ、あの一、悪性腫瘍だというような説明を受けましたけれども、
 1521 司 グループ3というのは、どういうふうに考えればいいので//しょうかという相談です。
 1522 回 あの一、
 1523 回 そうですね。
 1524 司 ええ。
 1525 回 あの一、えーっと、これは、細胞の、うーん、正常か、癌に近いかというところの、分け方の表し方なんです//が、
 1526 司 はい。
 1527 回 グループ1とかゼロとか、いうのは、まったくおっしゃるとおり正常で、
 1528 司 はい。
 1529 回 5になってくると、
 1530 回 非常に癌に、非常に近いと。
 1531 司 ええ。
 1532 回 3はその中間で、
 1533 司 はい。
 1534 回 グレーゾーンで、
 1535 司 あーはあはあ。
 1536 回 大事にして、
 1537 回 あんまり刺激しなければ、
 1538 回 正常のほうに戻って//いってしまうと。
 1539 司 あー。
 1540 司 あっ、戻ってしまう//ということが//考えられる。
 1541 回 ええ。
 1542 回 ええ。
 1543 回 ええ。
 1544 司 はい。
 1545 回 そういうふうに考えてますんで、
 1546 司 ええ。
 1547 回 その一、うーん、その、例えば、グループ3というのが、いつも同じポリープを、組織を取っているんじゃないくて、
 1548 司 ふーん。
 1549 回 多分、こっちのそし、ポリープを取って、
 1550 回 また半年、み、みたら、
 1551 回 こっちにもポリープがあったから、
 1552 回 それも取ったら、
 1553 回 グループ3。
 1554 回 これ、隣のやつも、グループ3だったという意味だ//ろうと //私は思うんですね？
 1555 司 あー。
 1556 司 はい。
 1557 司 ええ、ええ。
 1558 回 えー、先ほども、一つの畑にたくさんキノコが生えとおん //なじに、えー、あの一、しやすい人はとてもしやすい。
 1559 司 うーん。
 1560 司 ええ。
 1561 回 そういう、まあ、あんまり悪性じゃないけれど、
 1562 回 しょっちゅうできてるといいう人が、結構おられますので、
 1563 司 はい。
 1564 回 まめに大腸の内視鏡検査を、半年毎、

大	小
話	話
段	段

1565 回 あるいは、えー、もうなくなってしまったら、
 1566 回 1 年毎とか、いうふうにして、
 1567 回 検査を続けられるのが一番いいと思います。
 1568 司 はい。
 1569 司 まあ、そういう意味では、ある意味、グレーゾーンであ//るから、
 1570 回 グレーゾーンで、
 1571 司 大事にし//なくてはいけない、ということですね？
 1572 回 ええ、ええ。
 1573 回 そうですね。
 1574 司 はい、わかりました。

終Ⅳ
 了番
 組

1575 司 この時間は、消火器についての電話相談を致しました。
 1576 司 お答え頂いたのは、東京女子医科大学の Y I 先生でした。
 1577 司 ありがとうございます//いました。
 1578 回 どうも失礼しました。

【資料2】医療相談(呼吸器) 司会者:司 回答者:回 相談者:相 200110.16(火)13:45~14:55
NHKラジオ第一放送「暮らしの電話相談 あなたの健康・家族の健康」

大 小
話 話
段 段
段 段

I 番組開始の大話段	1 司	1時45分になりました。
	2 司	ここから、2時台にかけては、「暮らしの電話相談」です。
	3 司	毎週火曜日は、「あなたの健康・家族の健康」、
	4 司	で、今日は、呼吸器についての電話相談を致します。
	5 司	みなさんからの相談にお答え頂きますのは、東京都老人医療センター呼吸器部長のK Kさんです。
	6 司	K先生よろしくお願い致します。
	7 回	よろしくお願いします。
	8 司	えー、この時間も、みなさんからの相談の受け付けをしています。
	9 司	電話番号は03、34848888。
	10 司	03の34858888番です。
I 2 番組のテーマに関わる一般的解説の大話段	11 司	さて、K先生、あのー、ここ、このところ、やはり寒さが、めっきり寒くなってきました//んで、
	12 回	はい。
	13 司	結構、風邪をひいている方が、目//立つようになってきましたね。
	14 回	そうですね。
	15 司	ゴホゴホという//咳が取れないといい//ますかね。
	16 回	ええ。
	17 回	電車の中でもですね、
	18 司	ええ。
	19 回	あのー、咳き込んでいる人に時々会いますねー。
	20 司	はい。
	21 司	あの、この風邪と、それから、もう間もなくですか、//インフルエンザというの。
	22 回	ええ。
	23 回	//はい。
	24 司	これは、違うん、ものなんですよ？//今の風邪と。 あのー、風邪というのは
	25 回	ですね、あのー、風邪のほとんどは、まあ、ウィルスによって、起こるわけですね。
	26 回	でー、ウィルスによって、起こるんですがー、
	27 回	大人は、平均すると、
	28 回	いっ、いっ、年間にですね、4回ぐらいは風邪をひくと。
	29 司	はあはあ。
	30 回	それから、子供さんのほうが、もっと風邪をひいてです//ね、
	31 司	はい。
	32 回	7回くらいだと、
	33 司	あ//ー。
	34 回	言われてるんですねー。
	35 司	はい。
	36 回	そいでー、今、そのー、お話に出た、インフルエンザはですね、風邪の中でも、最も 激烈なものだと、いうことになりますね。
	37 司	はい。
	38 司	いずれも、ウィルス性のものであることには//変わりはないわけですねー。
	39 回	そうなんですよ。
	40 回	でー、ところがですねー、あの、インフルエンザ以外のものはー、実際は、その、主 なものが9種類で、
	41 回	えー、1種類が、また更に細かく分かれて//ますからね、
	42 司	あー。
	43 司	ええ。
	44 回	全体で200種類ぐらいあるわけですよ。
	45 司	あっ、そんなにある //んですか。
	46 回	それからー、1回かかってもですね、
	47 回	抗体ができずに、

- 48 回 また//すぐに下がってしまうものもあって、
49 司 ふーん。
50 回 何回も同じものに、感染してしまうということ、あるわけですね。
51 司 はい。
52 司 これ、違いはあるんですか？風邪とインフルエンザっていうのは。
53 司 まあ、自覚症状であったり、
54 司 さまざまな風邪の//症状で。
55 回 は、あの一、インフルエンザも風邪の一種なんです、
56 司 ええ。
57 回 症状が、非常に激烈なんですね？
58 司 はい。
59 回 で一、あの一いくつかの特徴がありまして、
60 回 一つは、まあ、流行期があること、ですねー。
61 回 実際は、真夏でもインフルエンザはあることはあるんですが、
62 司 ええ。
63 回 ほとんどあんまり問題にならない。
64 司 はい。
65 回 散発的に時々起こる、という//ぐらいですねー。
66 司 ええ。
67 回 ところが、あの一、流行期がありまして、
68 回 まあ、暮れからですねー、お正月ぐらい、
69 回 え、あの一、たくさんの方がですね、一斉に動き出す頃が、
70 司 はい。
71 回 拡散していく//一番危ない頃になっ//てしまうわけですね？
72 司 ええ、ええ。
73 司 ね？ まあ、移っていつてしまうということですよ
74 回 ええ。
75 回 それから一、症状の、あの一、起こり方がですね、非常に激烈で、
76 回 急激なんですね？
77 司 ふーん。
78 回 急にもう、あの一、全身の震えがきて、
79 回 そいで一、熱が、8度以上の高い熱が出ると//いうことですねー。
80 司 はい。
81 回 それから一、全身症状も、非常にありましてですね？
82 回 普通の風邪だと、例えば、喉がつかるとか、
83 回 あるいは、//喉が痛いとかですね、
84 司 うーん。
85 回 声が枯れるとか、
86 回 軽い咳が出るとか、
87 回 痰が出るとかっていうくらいですけども一、
88 司 ええ。
89 回 お一、インフルエンザのほうはですねー、
90 回 筋肉痛があるとか、
91 司 あっ。
92 回 全身のだるさも並大抵で//ないと。
93 司 そうですね、なんか、肩が痛くなったりしますよね？
94 回 ええ、あちらこちらが痛くなったり//ですねー、
95 司 はい。
96 司 うん。
97 回 あるいは、もう、「非常に重い病気にかかった一。」という、そういう重症感と{笑い}いいですかですねー、
98 回 そういふのがあるんですねー。
99 司 はい。
100 司 あ//とは。
101 回 それから、もう一つは、あの一、こじらすというかですねー、
102 回 更に、あの一、悪くなりますと、
103 回 一旦インフルエンザの、その、い、えー、ウィルス性の風邪が治った後にですねー、
104 回 あるいは、治らないうちに、
105 回 細菌性の、お一、感染を起こすと。

106 回 そうすると、重一い細菌性の肺炎になってしまうということですね。
107 司 はあー。
108 回 こちらはもう、ほんとに命にかかわることになるわけです。
109 司 はい。
110 司 この、やはり、インフルエンザに限らず、
111 司 風邪をひいた後の、肺炎というのが、やはりとても怖い、//ことですねー。
112 回 そうですね。
113 回 あの一、風邪そのものはですね、あの、頻回にひくわけですけども一、
114 司 ええ。
115 回 一つ一つをですね、あの一、きちっと、あ一、一つ一つが治っていけば、
116 回 さほど問題にならないわけですね。
117 司 うん。
118 回 で、問題は、その一、風邪を契機に肺炎を起こす、
119 回 あるいは、その肺炎を契機に、他の合併症を起こす、
120 司 うーん。
121 回 これが非常に問題になるわけです//ねー。
122 司 はい。
123 司 肺炎っていうのは、これは、自分で、「肺炎にかかってしまった。」、
124 司 「そこまでいってしまった。」っていうのは、わかる、ものなんですか？
125 回 あの一、肺炎という、まあ、風邪が上のほうならですねー、
126 回 肺炎は下のほうなんですか？
127 回 つまり、私//たちは、//下気道といってますけれども、
128 司 えっ？
129 司 はい。
130 司 はい。
131 回 肺のほうでもですね、下のほう、
132 回 は、肺というのは、あの、気管から、気管支、更に細気管支、
133 回 肺胞というふうに、こう、分かれていくんですが、
134 回 その下のほう一のところ、気管支の細いところから、細気管支、肺胞と//いうところ
で、
135 司 ふーん。
136 回 広範囲に炎症が起こるものを肺炎といっているわけですね？
137 司 はい。
138 回 それから、上のほうですね？
139 司 ええ。
140 回 例えば、鼻とかですね、
141 回 あるいは喉とかというレベルは、風邪と違って//いつてるわけですねー。
142 司 ふーん。
143 司 はい。
144 回 大体まあ、「上気道感染」、「下気道感//染」というふうに、こう、分けてるわけ
ですねー。
145 司 あー。
146 司 はい。
147 回 で、肺炎は、その、下気道感染の感染の代表であるということですね。
148 司 はい。
149 司 これは、もう、病院に行かなくてはわからない、も//のでしょうか。
150 回 まあ、あの一、症状が出ますか
らね？
151 司 はい。
152 回 一つは、息苦しいで、とか、
153 回 あるいは、高熱が出る、
154 回 それから、咳と痰、
155 回 痰に色がついてる、
156 司 はい。
157 回 というのが、ところが特徴ですねー。
158 司 高熱が出る。
159 回 はい。
160 司 それから咳。
161 回 ええ。

162 回 それか//ら、痰もありますよねー。
163 司 痰、
164 司 はい。
165 司 痰に色が//つく。
166 回 色がついてる。
167 司 はい。
168 回 黄色い色がついてる、
169 司 ええ。
170 回 あるいは、出にくい、//ということですねー。
171 司 あー。
172 回 それから、呼吸が苦しい、
173 司 はい。
174 回 ということですねー。
175 司 はい。
176 回 えー、ですから、まあ、風邪に比べると、
177 回 おー、格段に、その、症状が重くなっていること、
178 司 うん。
179 回 それから、「呼吸器症状」と我々は呼んでますけどね？
180 司 はい。
181 回 あの一、咳とか、痰とか、呼吸が苦しい、
182 回 あるいは、ぜんそく発作が起こるといような症状が非常に強く出るわけですねー。
183 司 ふーん。
184 回 たんに、喉が痛い、
185 回 あるいは、鼻水が出るというような程度では決してないという//ことですねー。
186 司 はい。
187 司 ええ、ええ。
188 回 ただ、あの、注意しなくちゃいけないのは、お年寄りの場合でしてね？
189 回 全身状態が、あの一、非常に悪くなっているおとしで、
190 司 うん。
191 回 あの、お年寄りで、寝たきりに近い方は、あまり熱が出なくて、
192 回 重症なことがあるんですね。
193 司 ふーん。
194 回 ですから、そういう場合は、非常に、要注意でして、
195 司 はい。
196 回 ただ、その場合も、いくつかのチェックポイントがありましてね？
197 司 はい。
198 回 あの、脈拍が速くなる。
199 司 はい。
200 回 で、通常はですね、私たちの脈拍は60から70ぐらいですけれども、
201 回 安静の状態で、100以上になる。
202 司 ええ。
203 回 それから、あー、呼吸の数がですね、1分間に大体、15、6ぐらいが普通なんです
が、
204 回 えー、20以上になる。
205 回 場合によっては、30ぐらいになって//しまいます。
206 司 あー。
207 回 まあ、つまりですね、
208 回 //ハアハアする。
209 司 はい。
210 司 ええ、ええ。
211 回 速い呼吸になってしまう。
212 司 はい。
213 回 ですから、まあ、それが呼吸が苦しいという、おっしゃらなくてもですね、
214 回 えー、それが、まあ、重症のサインであるということになりますねー。
215 司 ふーん。
216 司 そういった症状になりますと、
217 司 もう、やっぱり肺炎、
218 回 そう//ですね、肺炎一、
219 司 を、
220 司 注意//しなくては、疑わなくてはいけないと。

221 回 を疑いますので、
 222 回 病院に来て頂くということでしょうねー。
 223 司 そうですかー。
 224 回 ええ。
 225 司 みなさん、でも、こう、まあ、肺炎、そこまでいきますと、
 226 司 どなたでも大体は、病院に行くかと思うんで//すが、
 227 回 ええ。
 228 司 ちょっと風邪をひいたかな？
 229 司 熱が出たなっていう段階では、そんなに簡単には、すぐには病院に行かないと思うんですねー。
 230 回 そうですねー。
 231 司 どの段階で、//受診をすべきなのでしょうかね。
 232 回 あの一、一つは、やはり、高齢の場合ですね、
 233 司 はい。
 234 回 あの、高齢というのは、具体的には、75歳以上、後期の高齢者と//私たちは呼んでいます、
 235 司 ええ。
 236 回 75歳以上の方で、
 237 回 えー、症状が、かなり、いつもよりも強い風邪ですねー、
 238 司 ふーん？
 239 回 いつもよりも症状が重い方、
 240 回 それから、あー、何か、その一、元の病気があってですねー、
 241 司 ええ。
 242 回 例えば、脳卒中の後遺症でありますとか、
 243 回 あるいは、糖尿病でありますとか、
 244 回 あるいは、呼吸器の病気があって、
 245 回 喘息でありますとかですね、
 246 回 そういう状態があって、
 247 回 それで、えー、風邪をひいてですね、
 248 回 症状が、非常にまあ、いつもよりも強く出てるという場合には、
 249 回 受診して頂いたほうがいいでしょうねー。
 250 司 はい。
 251 司 一つは、いつもよりも、風邪の症状がかなり重い、のではないかな、//という時。
 252 回 ええ。
 253 司 はい。
 254 司 日数的には、どう {笑い} でしょうか。
 255 回 日数的にはですね、大//体、風邪全体という、あの一、しての経過はですねー、
 256 司 ええ。
 257 司 はい。
 258 回 1週間ぐらいで、だんだん良くなってくるわけですよ。
 259 司 うんうん。
 260 回 つまり、3日ぐらいのところがピークで//すねー、
 261 司 ええ。
 262 回 その後、日に日に良くなってくる//というーのが、まあ、風邪のコースですけども、
 263 司 はい。
 264 回 おー、3日を過ぎてもですねー、
 265 回 むしろだんだん悪くなってくる、
 266 司 うーん。
 267 回 それから、食事もできなくなって//くる、
 268 司 はい。
 269 回 夜も苦しくて眠れない、と//いうような場合には、非常に要注意ですねー。
 270 司 うーん。
 271 司 はい。
 272 司 やっぱ、3日以上続いた//場合には、受診をしたほうが//いいということなんですねー？
 273 回 そうですね。
 274 回 ええ。
 275 司 なるほど。
 276 司 で、家でできることは、どういうことでしょう。

277 回 まあ、あの一、風邪一、簡単なその、風邪というかですね一、
 278 回 いわゆる「上気道炎」の時にはですね一、
 279 司 ええ。
 280 回 ほとんど受診する必要はないわけですね。
 281 回 え一、暖かくして頂いてですね一、
 282 回 水分を十分に//摂る、
 283 司 う一ん。
 284 回 それから、あ一、冬の乾燥する時が、まあ、特に問題なんです、
 285 司 ええ。
 286 回 あの一、部屋はあんまり乾燥しないように、気をつけて頂くということでしょう
 ね一。
 287 回 まあ、そして、安静にして頂くという//ことでしょう。
 288 司 はい。
 289 司 はい。
 290 司 なるほど。
 291 司 よく、あの一、まあ、病院で薬を買って、
 292 回 ええ。
 293 司 それはもう、総合かんぼう薬があった、
 294 回 ええ、//ええ。
 295 司 感冒薬ですか。
 296 回 はい、はい。
 297 司 が、あったり、
 298 司 あと、いろんな、こう、部分部分に効く薬もあったりもし//ますけれども、
 299 回 そうですね。
 300 司 それはどうやって選んだらいいんでしょう、//か。
 あの一、総合感冒薬というのはです
 301 回 ね、まさしく {笑い} その名前の通りでし//てね？
 302 司 総合ですか。
 303 回 まあ、いろんなものに効く、
 304 回 例えば、熱も、解熱剤が少々入ってる。
 305 回 あるいは、咳どめ、
 306 回 あるいは、去痰薬、
 307 司 うん。
 308 回 痰を出す薬ですね？
 309 回 そういうものが、少しずつ入っている。
 310 回 あるいは、あの一、鼻水が出るというような、ものを抑える、抗ヒスタミン剤が入っ
 てる。
 311 司 ええ。
 312 回 で、少しずつ入ってるわけですね一。
 313 司 はい。
 314 回 少しずつ、まあ、入ってて、
 315 回 まあ、あ一、普通の方がですね一、え一、ご自分で飲んでもですね、
 316 回 比較的安全圏に//なるように、なっているわけですね一。
 317 司 あ一。
 318 司 なるほど一、はい。
 319 回 まあ、言ってみれば、少し弱めの薬が入っていると//いうことですよ一。
 320 司 あっ、はい。
 321 回 ところが、病院で出す薬というのはですね一、
 322 回 え一、その症状に合わせて、
 323 回 そこのところを狙った、かなり強力なものが//出ますので、
 324 司 ふ一ん。
 325 司 ええ。
 326 回 あの一、そういう違いはありますよね？
 327 司 はい。
 328 司 まあ、そういう場合は、お医者さんの、その、処方に合わせて、
 329 回 そうですね、あの、すべての//風邪は、当然、まあ、受診する必要はありません。
 330 司 ということでしょうか。
 331 司 ええ。
 332 回 あの一、ありませんけれども、
 333 回 そういう、う一、後期高齢者の方、

大 話 段	小 話 段		
		334 回	あるいは、重い病気の方、はですねー、早めに受診して頂いたほうがいいんじゃない でしょうかねー。
		335 司	はい。
		336 回	で、その場合は、特に、あの、おつきい病院、に、必ず、すぐ行く必要はありません で、
		337 回	かかりつけの先生を決めておいてですね、
		338 回	すぐに相談できる人を、
		339 回	いわゆるホームドクターですね？
		340 司	はい。
		341 回	ホームドクターを普段から決めておかれるのがいいんじゃないでしょうか。
		342 司	はい、わかりました。
組Ⅲ 継 続 番		343 司	さあ、2時台は、この呼吸器についての電話相談を致します。
		344 司	ただいまの時間、受け付けています。
		345 司	03、34858888。
		346 司	03の、3485の8888番です。
V別番組		347 -	《ニュース》
Ⅲ		348 司	ラジオホッとタイム、今週は有江活子のご案内役です。
		349 司	では、あーこの時間、1時台に引き続きまして
番 組 継 続		350 司	「あなたの健康家族の健康」、今日は呼吸器についてお送りいたしましょう。
		351 司	この時間は電話相談です。
		352 司	みなさんからの相談にお答え頂きます方は、東京都老人医療センター呼吸器部長のK K先生です。
		353 司	K先生よろしくお願い致します。
		354 回	よろしく願います。
		355 司	この時間もみなさんからこの呼吸器についての電話相談、受け付けています。
		356 司	電話番号は03、34858588、03の34858588番、
		357 司	呼吸器、の様々な症状、あるいは病気についての相談、ただいまの時間受け付けてい ます。
Ⅱ	B	B	358 司
1		1	359 司
電	相	相	360 司
話	談	談	361 司
相	談	談	362 司
談	か	提	363 司
の	け	示	364 司
談	の	の	365 司
話	話	小	366 司
	段	話	367 司
		段	368 司
			369 司
			370 司
			371 司
			372 司
			373 司
			374 司
			375 司
			376 司
			377 司
			378 司
			379 司
			380 司
			381 司
			382 司
A			383 司
			384 相
			385 司
			386 相
			387 司
			388 司
相 談 開 始			

389 相 お願い致します。
390 司 はい。
391 司 先生お願いしまーす。

B B 392 回 はい、あの一、風邪の症状ということですからけれども、
2 393 相 はい。
相 394 回 今は一あの要するに問題になっているのは、
談 395 回 胸が押されるような感じですか？
か 396 相 そうです。
け 397 相 咳が少し出まして。
の 398 回 少し出るんです//か？
話 399 相 ええ、そんなに、ず、続けて出てるわけじゃないんですけれども、
段 400 回 ええ。
401 相 咳は、あの、とちゅ、始めは出なかったんですが、
402 相 途中から出始めまして。
403 回 一番出るのは、い、一日のうちでいつ頃ですか？
404 回 //たとえば、
405 相 やっぱり温度が変わったとき、
406 相 お布団入ったときとか。
407 回 夜中は夜明けはどうですか？
408 相 夜明けとか、あの一そういう時も出ます。
409 回 出て眠れないくらいです//か。
410 相 眠れないってほどじゃないんですけれども、
411 回 ええ。
412 相 咳がなかなか、治りきれないっていいですか、
413 回 なるほど。
414 相 はい。
415 回 あの一今までですね、
416 相 はい。
417 回 あの一風邪をひかれると
418 回 必ずこんな症状になりました？
419 相 そうです。
420 相 それはあったんですけれども、
421 相 大体、風邪をひいても
422 相 2週間が最高、長くてそのくらいで治ってたんですが、
423 回 ええ。
424 相 もう3週間、経ちますので、
425 回 ええ。
426 相 それでも同じ症状が続くってことは、
427 相 ほかの病気もあるのかな？っていう心配が出てきた//もんですから。
428 回 なるほど。
429 回 あの一、熱はどうですか？今//は。
430 相 熱はないんです。
431 相 測ってもないんですけれども、
432 回 ええ。
433 相 なんとなく、あの、体温計ではないんですが、
434 相 ちょっと、
435 回 熱っ//ぼい感じですか？
436 相 自分で手、あれすると、そうです。
437 回 痰はどうですか？
438 回 痰に色がついてますか？
439 相 痰に色はついてません。
440 回 食欲はどうですか？
441 相 今はあります。
442 相 今ずっとまたあの、2度目の抗生物質頂いておりますので。
443 回 ええ。
444 相 いっ、1週間飲んで、
445 相 あの一、止めて、
446 相 えーその次の1週間はなかったんですけれども、
447 回 ええ。
448 相 また胸が圧迫されるってゆってあれしましたら、

449 相 先生が「もう一回、んじゃあ抗生物質飲んでみましょう」っておっしゃってくださいっ
て、
450 相 抗生物質飲んでおります。
451 回 で、抗生物質飲んでる時は、
452 回 よ、あの一、飲まない時よりもいいですか？
453 相 それはいいです。
454 回 あ一、そうですか。
455 相 いいですけども、
456 相 あんまり続けて飲むと、
457 相 ほかのとき今度効かなくなるんじゃないかって {笑い} いう//そういう、
458 回 あーそれはあんまりあの一、ご心配なさらずにですねー、
459 相 はい。
460 回 今の状態をとりあえず、完全に治してしまうということでしょうねー。
461 相 か。 あーそう//です

C C 462 回 それで一、あの一確かに一番最初はですねー、
1 相 はい。
相 463 相
談 464 回 えー風邪のようですよ、症状はね？
う 465 相 はい。
け 466 回 つまりウィルス性の風邪をひいてですねー、
の 467 相 はい。
話 468 回 そして、わたくし達はまあ、気管支が少し過敏だという、ふうに言ってますけれども
段 469 相 はい、はい。
470 回 軽いいわゆる、その喘息に近い状態だと思いますよね。
471 相 はい。
472 回 で、あの一ゼイゼイというのが長引いていると//いうことだと思います。
473 相 はい。
474 回 //ですから、気管支をすこーし広げる薬を一、お一//一、
475 相 はい。
476 相 それ出してもらっております。
477 回 あっもらってま、//いらっしゃるわけですか。
478 相 はい、今クラリ、
479 相 クラリシス//ト錠ですか？
480 司 あっ、はい。
481 相 ガーデンとか、
482 回 はいはい。
483 相 //のこと、とか、はっ、
484 回 はいはい。
485 回 そういう薬は、飲んでいらっしゃる//わけですよね？
486 相 はい、それ飲んでます。
487 相 //もう (?) いっぱい持っています。
488 回 うん、で一、あの一、抗生物質とかですねー、
489 相 はい。
490 回 あと、痰を出す薬は十分出てるようですから、
491 相 はい。
492 回 あの一、一応一今の飲んでいらっしゃる、こ、あの一、抗生物質がですね、
493 相 はい。
494 回 効いているようですから、
495 回 そのまま、お続けになられたらどうですか。
496 相 あっ//飲んでても大丈夫なんですか、
497 回 それで一、
498 相 抗生物質続けて。
499 回 大丈夫ですね、
500 相 あっそうですか。
501 回 その抗生物質は大丈夫ですね。
502 相 あっそうで//すか。

		503 回	い時ですね？	それからー、あの一、ゼイゼイが止まらな
		504 相		はい。
		505 回	え、つまりゼイゼイがずっと続いて、	
		506 回	特に夜明けに苦しいということがありますとですね？	
		507 回	あの一、気管支を広げる吸入薬がありますので、	
		508 相		はい。
		509 回	あの、主治医の先生に相談してみてください。	
		510 相		あっそうです//か。
		511 回		はい。
		512 相	はい。	
		513 相	わかりました。	
D	相 談 終 了	514 司	はい、//よろしいですか？	
		515 相	どうもありがとうございます//した。	
		516 回		はい、はい。
		517 司	お大//事に//なさってくださいーい。	
		518 回	じゃあお大事に一。	
		519 相	はい、どうもすみませ//ん。	
		520 司		(失礼) 致します。
II 2	電 話 相 談 の 補 足 解 説 の 大 話 段	521 司	その今先生の一、があの一患者さんにお話されたところで、	
		522 司	寝る前ですか？と、	
		523 回		はい。
		524 司	朝ですかとか、	
		525 回		ええ。
		526 司	ええ、そういうようなお話がありましたけれど	
		527 司	これは何か、	
		528 回	あの一ですね、	
		529 司	ええ、あるんで//しょうか。	
		530 回		心不全の方ね？
		531 司		ええ。
		532 回	心臓が悪くて、	
		533 回	そして、咳が出るということがある訳ですよ。	
		534 回	それはあの一、大体寝てしばらくするとですね、	
		535 回	咳が出るんですね？	
		536 回	で、足がむくむとか、	
		537 司		ええ。
		538 回	というような症状がありまして、	
		539 回	痰も比較的白っぽいんですね？	
		540 回	大体寝てしばらく経って、	
		541 回	体を横にすると	
		542 回	出てくるんですね？	
		543 司	あー？	
		544 回	で一、あの一喘息の場合はですね、	
		545 司		ええ。
		546 回	ほとんど夜明け、です//ね。	
		547 司		はい。
		548 回	3時か4時頃ぐらいに咳が出てくるんですねー。	
		549 司		ええ。
		550 回	ですからそういう違いはありますねー。	
		551 司		あっ。
		552 回	ですから、いつごろ症状が強くなるのか、	
		553 回	あるいは、その夜も昼も一じっとしているときは大丈夫なんだけれども、	
		554 回	坂道を上がるときにひどくなるとかですね？	
		555 回	あの一、いつそういう症状が出てくるかというのは、	
		556 回	病気を決める意味では非常に重要ですね。	
		557 司		あ、そうですかー。
		558 回		ええ。
		559 司	咳もただただ出ているのではなくて、	
		560 回		ええ。
		561 司	その時間時間、あるいは体の状態といえますか、	

			562 回	そうですね。
			563 司	それに合わせて//出ている、と。
			564 回	ええ、それで一ここはあの一ごく稀にですけどね？
			565 司	ええ。
			566 回	あの、薬の副作用で若干咳が出ることがあるんですね？
			567 司	はい。
			568 回	で、その中で一番あの一知られているのは
			569 回	高血圧の薬ですよ？
			570 回	高血圧の薬の副作用でですねー、
			571 回	咳が出るんですが、
			572 回	飲み始めてすぐに出る訳ではなくてですねー、
			573 回	ある期間経ってから風邪をひいて、
			574 回	それを機会に咳が止まらないという//形になることがあります。
			575 司	ええ。
			576 司	はい。
			577 回	ですから要注意ですねー。
			578 回	それからもう一つは目薬なんですよ？
			579 司	はあ。
			580 回	で目薬で、緑内障というあの、目の病気がありますが、
			581 回	あー、それで目薬をあの一、ベータブロッカーという薬が入りますとですね、
			582 回	え、その副作用で咳が出る、
			583 回	あるいは喘息気味になるということがあるんですねー。
			584 司	はい。
			585 回	ですからあの一、薬もいくつか飲んでいらっしゃる方が多いと思うんですけども、
			586 回	その全ての情報を、お一主治医に伝えて頂かないと、
			587 回	なかなか主治医は判断できないということになりますねー。
			588 司	はい、わかりました。
II 1 電話 相談 の 談 話	B 1 相談 かけ の 話 段	B 1 相談 提示 の 小 話 段	589 司	では、次の方です。
			590 司	続いての方、Oにお住まいのTYさん、72歳の方、ご本人からの相談です。
			591 司	慢性間質性肺炎についての相談です。
			592 司	昨年の暮れ、人間ドックを受けたところ、肺ガンの疑いがあるとされました。
			593 司	再検査をしました。
			594 司	で、こ一、今年の5月入院して、
			595 司	精密検査を受けた結果、慢性間質性肺炎の診断を受けました。
			596 司	で、主治医の先生から、3、今後3年間のせい、生存率は50%と言われたようです。
			597 司	初期症状で、3ヶ月ごとの定期、診断を、お一定期受診をしてくださいと言われました。
			598 司	で、半月前から漢方薬を飲んだり、
			599 司	あるいは、筋肉強化のために運動も始めました。
			600 司	で、こ一、お一、症状一、お一、について、
			601 司	今後もう少しこの、症状が悪化しないために、
			602 司	日常生活の注意点はどのようにしたらよいのでしょうか、というご質問です。
A	相 談 開 始		603 司	TYさん？
			604 相	はい。
			605 司	はい、こんにちは。
			606 司	//お待たせ致しました。
			607 相	あつ、こんにちは。
			608 司	//はい。
			609 相	すみません。
			610 司	K先生お願い致し//ます。
B	B 2 相 談 か け の 内 容		611 回	はい、あの一、慢性間質性肺炎であると、あの一言われた訳です//ねー。
			612 相	はい、そう//でござい(ます)。
			613 回	それは色んな検査をして、
			614 回	そして言われた訳ですね。
			615 相	はい、そうでございます。
			616 回	あの一、例えば、あ一気管支鏡をしてですね、

大
話
段話
段小
話
段話
段確
認
の
小
話
段

617 相 はい。
618 回 肺の一部を採ってくるというような検査//もされましたか。
619 相 はい。
620 相 はい、そうです。
621 回 あー、そうですか。
622 相 はい。
623 回 でー、現在その慢性間質性肺炎については特別な治療はして、いない//ということですね？
624 相 はい。
625 回 はい。
626 相 あの、突発性の、
627 回 えー//えーえー。
628 相 間質性肺炎という//ことで。
629 回 そういうことですね。
630 相 はい。
631 回 ま、あの一、特発性の肺腺症というとも言う訳ですけども、
632 相 はい。
633 回 肺がですねー、
634 相 はい。
635 回 固くなっていく、
636 回 伸びなくなっていくという病気なんですねー。
637 相 はーはー。
638 回 で、特発性というのはですねー、
639 相 はー。
640 回 原因がわからないという意味なんですよ。
641 相 はーはーはー。
642 回 で、原因がわからないから、
643 回 その原因を除いて
644 回 病気を治すという治療がうまくいかないという//ことなんですねー。
645 相 はー、あーそうで（ございます）ね。
646 回 ええ。
647 回 で、今一番苦しいのはどういうことですか。
648 相 ええ。
649 相 今ねー、
650 回 ええ。
651 相 それほどの症状は、ありません。
652 回 あっ、症状はないん//ですか。
653 相 ええ。
654 相 ただ、から、咳がね、
655 回 ええ。
656 相 時々出ると。
657 回 はい。
658 相 それから、
659 回 息苦しさはどうですか、//息切れ。
660 相 はっ、
661 相 息切れはね、
662 回 はい。
663 相 これはまあやっぱりちょっと階段上がったりすれば、
664 回 ええ。
665 相 出ますんで。
666 相 これ、あとし歳のせいかな、
667 回 ええ。
668 相 どっちかわからないような、感じですけど。
669 相 //まあやはり今までよりは、ちょっとそういう面ではちょっと苦しいなあと思うことがございます。
670 回 はあ。
671 回 ああ、そうですか。
672 相 はい。
673 回 あの一、からぜきはですね、

大 小
話 話
段 段

		674 相	はい。
		675 回	あの一、肺線維症、あるいは間質性肺炎の一つの特徴なんですねー。
		676 相	はあはあ。
		677 回	あるいは息切れもそうです。
		678 相	はあはあ。
C	C 1 相 談 う け の 話 段	679 回	で一、お話を伺うとですね、
		680 相	はい。
		681 回	あんまり、その一重一いと状態ということではないですよ。
		682 相	はい。
		683 回	ただ、ゆっくりですね、
		684 相	はい。
		685 回	原因が不明なだけにですね、
		686 相	はい。
		687 回	ゆっくり進行していく可能性は十分あります。
		688 相	は一は一。
		689 回	で、注意すべきことはですね、
		690 相	はい。
		691 回	あの一大体先程お話した、
		692 回	風邪で悪くなるんですよ。
		693 相	は一は一。
		694 回	つまり、そのウィルス性の感染で、
		695 相	は一。
		696 回	悪くなるのが、//多いんですね。
		697 相	は一は一。
		698 回	急性増悪と言いますけれども。
		699 相	は一は一。
		700 回	おー、ですからまあ、風邪に気を付けて頂くということですねー。
		701 相	はい。
B	B 2 相 談 か け の 話 段	702 回	それから一たばこは止めていらっしゃいますか？
		703 相	あつ、たばこはあの一飲んでおりません。
		704 回	あつ、そうですか。
		705 相	はい。
		706 回	あるいはあの一ほこりっぱい所で働くとかですねー、
		707 相	は一は一。
		708 回	そういうことはありませんか？
		709 相	あつ、それはありません。
		710 回	そうですか。
		711 相	はあ。
C	C 1 相 談 う け の 話 段	712 回	そうするとですね、
		713 相	はあ。
		714 回	風邪にまあ気を付けて頂くということですねー。
		715 相	はい。
		716 回	それを特にまああの一、うーんと冬場は気を付けて頂きたいと思いますね。
		717 相	はあ、そうですか。
		718 回	それから運動ですけれども、
		719 相	はいはい。
		720 回	ある程度の運動は、あの一いいんですけれども、
		721 相	は一は一。
		722 回	体を急に動かすも、運動ですね、
		723 相	は一。
		724 回	急に走り出すとかですね、
		725 相	は一は一。
		726 回	急に体に負担が、うんとかかるような運動は止められた方がいいでしょう。
		727 相	あー、そうございますか。
		728 回	ええ、ですから一番安全なのはですねー、
		729 相	は一。
		730 回	あの、すこーし汗ばむくらいか、
		731 回	あの、それ以下ぐらいで歩くことですね。
		732 相	あー、ウォーキング。
		733 回	ええ。

734 回 平//地を歩くというのは、これは一番安全ですね？
735 相 はあ。
736 相 は一は一。
737 回 あの一負荷も少ないし、
738 相 はあ。
739 回 それもまあ、いきなりあの一かなり、スピードを速くして歩くのではなくてですね、
740 相 は一は一。
741 回 体を慣らすつもりでゆっくり歩き始めて、
742 回 そして一定のスピードで歩きをつづ、歩き続ける、
743 回 //そして、またクールダウンと言いますけれども、
744 相 は一は一。
745 回 体を休める、意味でゆっくりスピードを落としていって、
746 回 体を休めていく、という//ふうな運動がいいんじゃないでしょうか。
747 相 は一は一。
748 相 あ一、そうでございます//か。
749 回 ええ。

C 750 相 これね一、先生、
2 751 回 はい。
回 752 相 その筋肉を、その、太くすると、
答 753 相 非常にこう、免疫性が出て、
確 754 相 いろいろいいんだってなことをちょっと、何かのテレビで見たことがあるんですが
認 ね、
の 755 相 その、筋肉運動だからっていうんで、
小 756 相 いま一、始めようとかう、思ってるんですがね、
話 757 回 あの、//意識、
段 758 相 それはどうなんでしょう。

C 759 回 意識的にですね一、
1 760 相 ええ。
回 761 回 筋力を強化というのは、まあ、あの一、生活に必要な、筋力というですね、
答 762 相 はい。
提 763 回 つまり、上肢、手とですね、
供 764 相 はあ。
の 765 回 下肢、
小 766 相 はあ。
話 767 回 足ということですよ。
段 768 相 は一は一。
769 回 で、上肢と下肢を鍛えることによって、
770 相 はあ。
771 回 あの一、横隔膜、つまり呼吸に必要な筋肉が横隔//膜ですけども、
772 相 おうかく、
773 相 はあ。
774 回 横隔膜をかんしつ、間接的にですね、
775 相 は一は一。
776 回 鍛えることができるというデータが多いんですね？
777 相 は一は一。
778 回 ですからあの一、そういう意味ではですね、
779 相 はあ。
780 回 歩くこと、歩くだけではしかし、上肢の運動にはなりませんので、
781 相 はい。
782 回 あの一、上肢の運動をまあ、少し入れられてですね、
783 相 はあ。
784 回 あんまり負担にならないくらいの運動はされた方がいいんじゃないでしょう//か。
785 相 あ一、そうですか。
786 回 ええ、あの一、くれぐれもですね、
787 相 はあ。
788 回 瞬発力、つまり急に走り出すとかですね一、
789 相 はあ。
790 回 急に負担がかかるような運動は止められた方がいいと思います。
791 相 あ一、そうでございますか。
792 回 はい。

大 話 段	小 話 段		
		793 司	はい。
		794 相	わかりました。
	D	795 司	はい、どうぞお大事になさって//ください。
		796 相	はい、どうもありが//とうございました。
	相 談 終 了 の 話 段	797 回	はい。
		798 司	お大事に。
		799 相	どうも。
		800 司	//失礼します。
		801 相	失礼致します。
		802 司	はい。
Ⅲ		803 司	(さあ)、この時間も、呼吸器についての、お一、みなさんからの相談の受付をしています。
番 組 継 続		804 司	受付電話番号は、03、3585-8888。
		805 司	03の35858888番。
		806 司	お答え頂いているのは、東京都老人医療センター呼吸器部長のKK生です。
		807 司	では、ここで一曲、お送り致しましょう。
		808 司	ジョニーピアソンオーケストラの演奏です。
		809 司	「秋風の妖精」。
V別番組		810 ー	《音楽》
Ⅱ	B	B	811 司
1		1	では、続いての方です。
電	相	相	812 司
話	談	談	Oにお住まいのHJさん、82歳の方、ご本人からの相談です。
相	か	提	813 司
談	け	示	75歳の頃から、右の肺の働きが不良となりました。
の	の	の	814 司
談	話	小	で、はち、78歳の時ということですから、
話	話	話	815 司
段	段	段	4年前に、
			816 司
			気管支炎で入院をしました。
			817 司
			その時に、主治医の先生から、その、えー、「右の肺が、ほとんど働いていない」と
			言われたということです。
			818 司
			それ以来、少し動くと、
			819 司
			から、体が疲れ、
			820 司
			息切れがする状態が続きました。
			821 司
			左の肺は、特に問題はないようです。
			822 司
			で、現在、在宅の酸素療法を行っています。
			823 司
			えー、起きた時、
			824 司
			あるいは、外出する時、
			825 司
			寝る前、など、各1時間の、お一、酸素療法の指示があります。
			826 司
			5回使っていらっしゃるということなんですが、
			827 司
			この、肺のためには、安静にすべきなのではないでしょうか。
			828 司
			それとも、できるだけ、動き回って、
			829 司
			少し、まあ、運動したほうがいいのでしょうかという、
			830 司
			えー、肺機能低下で酸素療法をしているという、
			831 司
			HJさんからの相談です。
A			832 司
			HJさん？
			833 相
			はい。
相			834 司
談			はい、こんにちは。
開			835 司
始			お待たせ//致しました。
			836 相
			(が、)
			837 相
			ありがとうございます。
			838 司
			はい。
			839 司
			では、K先生//お願い致し(ます)。
B	B		840 回
	2		HJさんね、
			841 相
			はい。
相			842 回
談			今までに病気をされたことがありますか？
か	相		843 相
け	談		あの一、ですから、申しましたようにね？
の	内		844 回
話	容		はい。
段	確		845 相
	認		34年にね？
			846 回
			はい。
			847 相
			あの、乳がんを手術したんです。
			848 回
			それは、どちら側ですか。

大話
話段
小話
段

の 849 相 あの、右です。
小 850 回 右側ですねー。
話 851 相 はい。
段 852 回 そして、その乳がんの手術は、かなり大掛かりな手術ですか。
853 回 //つまり、筋肉を、
854 相 ず、あつとね？
855 回 ええ。
856 相 ずっと、30回程ね、
857 回 はい。
858 相 放射線をかけたん//（です）。
859 回 かけましたねー。
860 相 はい。
861 回 そして、筋肉も、あの一、大きく、まあ、取ってあるわけですねー。
862 相 はいっ？
863 回 あの一、右のほうの胸の筋肉も一、
864 相 そうです。
865 回 あの一、手術して、
866 回 手術した時に、
867 回 同時に除いたわけですねー。
868 相 はい、あの、手遅れだったもんですからね？
869 回 あー、そうです//か。
870 司 うーん。
871 回 あの一、H J さんねー、
872 相 はい。
873 回 あの一、おそらくね？
874 相 はい。
875 回 あの一、あつ、H J さん、タバコは吸っていらっしやらないんでしょ？
876 相 あっ？
877 回 今までタバコを吸ったことはありますか。
878 相 はい、ございません。
879 回 ないでしょう。
880 相 はい。

C	C	881 回	そうするとですねー、
	1	882 相	はい。
相	回	883 回	その一、お一、34年、42歳の時にですねー、
談	答	884 相	はい。
う	提	885 回	乳がんの手術をされた、
け	供	886 相	はい。
	の	887 回	後遺症というふうに考えていいと思いますね。
	小	888 相	そうですか。
	話	889 回	ええ。
	段	890 回	そうするとですねー、
		891 相	はい。
		892 回	あの一、筋肉が、右のほうの、お一、前胸筋っというかですねー、
		893 相	はい。
		894 回	あの一、要するに、いー、肋骨の回りのですね、
		895 相	はい。
		896 回	広げて、
		897 回	呼吸を、お一、助ける筋肉を、大きく除いてあるわけですねー。
		898 相	はい。
		899 回	かつ、そこに放射線をかけたわけですよ。
		900 相	はい。
		901 回	そうすると、まあ、あの一、癒着も起こりますし、
		902 回	肺に、いー、肺の中にも障害が少し出るし、
		903 回	それから、肺の外側ですねー。
		904 相	はい。
		905 回	つまり、いー、胸のほうにも、お一、肺を動かすための筋肉の力が、非常に、いー、落ちてしまったと//いうことなんですね。
		906 相	はい。
		907 相	はい。

大 小
話 話
段 段

		908 回	それで、おそらく、あの一、右の肺の、動きが、あ一、悪いというふうに、
		909 回	お話されたんだと思うんですね。
		910 相	はい。
B	B	911 回	で、あの一、左から、左のほうは、なんともないというふうに、
相	2	912 回	//説明されてるわけでしょ？
談	相	913 相	いや、なんともない、
か	談	914 相	実は、「ま//だ動いてる。」っておっしゃってるんです？
け	内	915 回	ええ。
	容	916 回	あ一、そうですか。
	確	917 相	はい。
C	C	918 回	あの一、おそらくね？
相	1	919 回	左//のほうは、なんともないと思うんですよ。
談	回	920 相	はい。
う	答	921 回	つまり、悪くなる理由は、特別ありませんのでね？
け	提	922 相	はい。
	供	923 回	あの一、左のほうは、ちゃんと働いてる。
		924 回	しかし、肺というのはですね、
		925 相	はい。
		926 回	左右が、ちゃんと揃っていて、
		927 回	それで、まあ、機能しているわけですねー。
		928 相	はい。
		929 回	ところが、年をとってきて、
		930 回	すこーしずつ、両方の機能が落ちてきた、
		931 相	はい。
		932 回	そして、且つですねー、右側のほうが、乳がんの手術をされていてですね？
		933 相	はい。
		934 回	そして、その後、放射線もかけてですねー、
		935 回	肺も少し傷がついてる、
		936 回	そして、右の肺が動きにくいという状態だろうと思うんですよ。
		937 相	はい。
		938 回	それで、おそらく、まあ、酸素が足りなくなってますね、
		939 相	はい。
		940 回	自宅で酸素を吸うというという生活をされていると思うんですがー。
		941 相	はい。
B	B	942 回	ただ、一点問題があるのはですねー、
相	2	943 回	酸素は、今、どんなふうに使われてますか？
談	相	944 相	あのねー、
か	回	945 回	ええ。
け	相	946 相	あの、先生からの指示でね？
の	回	947 回	はい。
話	相	948 相	私は、なんか、1. 0 ですね？
段	回	949 回	はい。
	相	950 相	それでね、朝 1 時間とね？
	回	951 回	はい。
	相	952 相	ほんで、外出から帰ってきた時にね？
	回	953 回	はい。
	相	954 相	1 時間。
	回	955 回	はい。
	相	956 相	ほんで、夜寝る時に、
	相	957 相	1 時間っておっしゃってくださってるんですね？
	回	958 回	はあはあ。
	相	959 相	はい。
C	C	960 回	普通はね？
相	1	961 相	はい。
談	回	962 回	あの一、酸素を使う時にはですねー、
う	相	963 相	はい。
け	回	964 回	連続して使うというのが、原則なんですよ。
の	相	965 相	あー。
話	回	966 回	つまり、呼吸が苦しい時だけ、酸素を吸うというのはやらないんですよ。
	相	967 相	はい。

大
話
段

小
話
段

968 回 それで、あの、例えば、一番問題になるのは、夜、すやすやと眠っている時ですよ。
 969 相 はい。
 970 回 夜、すやすやと眠っている時はですね、
 971 回 呼吸が、非常に静かな呼吸になってしまうわけです。
 972 相 //はい。
 973 回 静かな、小さい呼吸になるわけ
 974 相 ですねー。
 975 相 はい。
 976 回 そうすると、寝てる間に、
 977 相 酸素不足になってる可能性があるわけですよ。
 978 相 はい。
 979 回 ですから、あの一、もし吸われるとすればですね、
 980 相 はい。
 981 回 夜、通して吸う、ということでしょうね。
 982 相 あー。
 983 回 夜、夜という意味はですねー、
 984 相 はい。
 985 回 あの一、夕方からですねー、
 986 相 はい。
 987 回 明け方まで、一日のうち半分はですね、
 988 相 はい。
 989 回 おうちにいらっしやる半分、
 990 相 つまり、1 2時間は、吸って頂いたほうがいいと思いますねー。
 991 相 あー、//そうですかー。
 992 回 そして、それを通して吸うということことですね。
 993 相 じゃあ、あの、夜になりましたらー、
 994 回 はい。
 995 相 あの一、それ、それから、ずっと吸わしてもらってもいいんですね？
 996 回 そうです。
 997 相 そうして、夜は、ずーっとですねー、
 998 相 はい。
 999 回 あの一、寝てる間もずっと、一日のうち、1 2時間以上をですね、
 1000 相 はい。
 1001 回 あの一、吸うようにされたほうがいいと思います。
 1002 相 あー、//それじゃあ、あー、それで
 1003 回 すか。 そいで、昼間一、昼間が問
 1004 回 題なんですけれども一、
 1005 相 はい。
 1006 回 昼間が必要かどうかをですねー、
 1007 相 はい。
 1008 回 主治医の先生に聞いて頂いて、
 1009 相 はい。
 1010 回 昼間、酸素なしに一、もし、生活できるようであればです//ね？
 1011 相 はい。
 1012 回 昼間は、酸素なしに、少し、いろいろ軽い運動をされたりですね？
 1013 相 はい。
 1014 回 普通に一、生活をされて、
 1015 相 はい。
 1016 回 そのかわり、夜、うー、寝てる時間も含めてですねー、
 1017 相 えー、前後を含めて、
 1018 回 1 2時間ぐらいは、きちっと吸って頂くと、//いうことが大事ですね。
 1019 相 あー、//そうですか。
 1020 相 ありがとうございます。
 1021 回 //はい。
 1022 相 ただね、//先生の、
 1023 回 あの一、要するにですねー、
 1024 相 あ、えっ？
 1025 回 息苦しい時だけ、酸素を吸うというのは、//間違いなんですよ。

ふーん、あの、そういうふうに、教わっ

1024 相 たもんですから。

1025 回 ええ、それはですねー、

1026 相 はい。

1027 回 息苦しい時だけ、一時的に酸素がワーッと増えましてですねー、

1028 相 はい。

1029 回 体のほうは一時的によくなるんですが、

1030 回 その後、急速な酸素不足になるんですね？

1031 相 はい。

1032 回 ですから、体にとっては、かえって、マイナスになるわけです。

1033 相 あー、そうですか。

1034 回 ええ。

1035 回 ですから、吸うとすればですね？

1036 相 はい。

1037 回 夜12時間ということでしょう。

1038 相 そうですか。

1039 回 はい。

1040 司 はい。

C 1041 相 そしたら、結局、夜寝る時に一、

2 1042 回 はい。

1043 相 あの、酸素（？）、まあ、9時だ、9時頃でしたら、

回 1044 相 9時頃から、

答 1045 回 ええ。

確 1046 相 酸素吸わして頂いて、

認 1047 回 ええ。

1048 相 ほいで、朝まで、そのまま休んだらいいんですね？

1049 回 そうです。

C 1050 回 それで一、あの一、りゅう、あの、量をですね？

1 1051 相 はい。

回 1052 回 つまりー、今1リッター、1分間に吸ってい//らっしゃるとおっしゃいましたよ

答 1053 相 はい。

提 1054 相 はい。

供 1055 回 で、それが、1でいいか、

の 1056 回 あるいは半分でもいいか、

小 1057 回 あるいは、すこーし減らすぐらいでいいのかをですね、

話 1058 相 はい。

段 1059 回 主治医の先生に、おう、あの、相談されてください。

1060 相 そうですか。

1061 回 はい。

1062 相 はい。

C 1063 相 あのね？

2 1064 司 はい。

1065 相 ともかくね？

回 1066 相 あの一、あれなんです。

答 1067 相 こう、人様とね？

確 1068 回 はい。

認 1069 相 お付き合いができないんですね？

の 1070 相 おんなじ行動がとれませんから。

小 1071 回 //あーあー、息が苦しくてね？

話 1072 司 うーん。

段 1073 相 それで、（？）も、道歩くにしてもね？

1074 回 ええ。

1075 相 人様の半分以下しか歩けませんねー。

1076 回 なるほどー。

1077 相 はい。

1078 相 あの、手押し車でね？歩いてるんですけどね？

B B 1079 回 今、その手押し車のところに、

2 1080 回 酸素を持って歩いてるんですか？

相 1081 相 あの、あの、重いんです。

大 話 段	話 段	小 話 段	談 話 内 容 確 認	1082 回	あー、そうですか。
				1083 相	はい。
				1084 回	そう//したら、
				1085 相	だから、ついね？
				1086 回	ええ。
				1087 相	あれするんです。
C	C	1	相 談 う け の 話 段	1088 回	そうしたらですねー、
				1089 相	はい。
				1090 回	あの一、その一、担当の主治医の先生にですねー、
				1091 相	はい。
				1092 回	あの一、昼間を吸うとすれば、
				1093 回	あの一、やはり、通して吸ったほうがいいと思うんですね？昼間も。
				1094 相	はい。
				1095 回	で一、通して吸うとすれば、
				1096 回	あの一、1分間に1リットルで、通して吸うということになります。
				1097 相	はい。
				1098 回	ですから、あの一ー、そうすると、夜も昼も使うということになりますよねー。
				1099 相	はい。
				1100 回	そのほうが、まあ、体にいいのかもしれませんが、
				1101 回	いずれにしてもですねー、
				1102 相	はい。
				1103 回	あの、続けて吸わないとだめです。
				1104 回	一日//に5回吸うというやり方はまずいんですよ。
				1105 相	あー。
				1106 相	あつ、そうですか。
				1107 回	ええ。
				1108 司	はい。
				1109 相	はい。
				1110 司	ええ。
				1111 相	いやー。
D			相 談 終 了	1112 司	どうぞ、お大事になさってください。
				1113 相	はい、//よくわかりました。
				1114 回	それではお大事に。
				1115 司	はい、失礼致します。
				1116 相	ありがとうございました。
				1117 回	//はい。
				1118 司	はい、失礼致します。
Ⅲ 番 組 継 続				1119 司	では、この呼吸器についての電話相談、音楽、ニュースをはさんで、
				1120 司	また続けます。
				1121 司	ヒロシマの演奏です。
				1122 司	「バップホップ」。
V別番組				1123 ー	《音楽・交通情報・ニュース》
Ⅲ 番 組 継 続				1124 司	この時間は、呼吸器についての電話相談をしています。
				1125 司	お答え頂いているのは、東京都老人医療センター呼吸器部長のKK先生です。
Ⅱ 1	B	B 1	相 談 か け の 話 段	1126 司	では、続いての方、Oにお住まいのOTさん、65歳の方、ご本人からの相談です。
				1127 司	えー、27歳から8歳の頃に、
電 話 相 談 の 談 話	相 談 提 示 の 小 話 段			1128 司	右上葉の区域切除術を受けました。
				1129 司	つまり、肺切除術を受けたということですね？
				1130 司	で、その後は、定期的に受診をしまして、
				1131 司	現在も、年2回、胸のレントゲン検査を受けていますが、
				1132 司	こちらは、特に問題ないと言われています。
				1133 司	日常生活上、特に変化はなく、
				1134 司	えー、肺活量は少なくなってきました。
				1135 司	またー、加齢に伴って、
				1136 司	この一部分が、えー、悪くなってくるのではないかと不安です。
				1137 司	日常生活で、どんなことに気をつけたらいいでしょうかという相談です。
A				1138 司	OTさん？
				1139 相	はい。

大 小
話 話
段 段

1199 相 4 5 キロぐらいまで痩せて。
1200 回 はあ、そうですか。
1201 相 はい。

C C 1202 回 あの一、まあ、要するにですね、
C 1 1203 相 はい。
相 1204 回 肺結核の後遺症ということなんですよ。
談 回 1205 回 つまりですね？
う 相 1206 相 はい。
け 回 1207 回 あの一、結核のほうは、すっかり治っているんだけど、
の 相 1208 相 はい。
話 回 1209 回 お一、昔、手術した、その後遺症ですね、
段 回 1210 相 はい。
回 1211 回 え一、肺の機能が、少し、まあ、落ちてると、
小 相 1212 相 はい。
話 回 1213 回 ということなんです？
段 回 1214 回 で、肺の機能というのはですね、あの一、健康な人でも、だんだん落ちてくるわけ
すよ、年とともにですね。
1215 回 ところが、昔、その、手術をしてるとですね、
1216 回 より、その落ち方が強くなってしまってますね？
1217 回 あの一、同年齢の人に比べると、
1218 回 呼吸は、より苦しい日が続いてると、
1219 回 おそらく、こういうことだろうと思うんですね。
1220 相 はい。
1221 回 で一、今ですね、あの一、現時点で、その、咳が出る、
1222 回 痰が出るとか、
1223 回 あるいは苦しいということがないようですから、
1224 相 はい。
1225 回 冬に備えての注意ということになると思いますね。
1226 相 はい。
1227 回 で、冬に備えての注意というのは、風邪の予防ということになると思うんですが、
1228 回 まず一、その、インフルエンザのワクチンについてはですね、あの一、もうすぐワク
チンが出回りますので、
1229 回 必ず、打って頂きたいと思いますねー。
1230 相 はい。
1231 回 それから一、
1232 回 これは、1 回でいいと思います、//今。
1233 相 はい。
1234 回 あの一、必ず打ってください。
1235 相 //はい。
それから、あの一、ほとんどの肺炎ですね、つまり、
1236 回 細菌によって、ばい菌によって起こる肺炎というのはですね、全体の 3 分の 1 以上
が、肺炎球菌という菌で起こるんですよ。
1237 相 はい。
1238 回 そいで、その肺炎球菌という菌については、ワクチンがあるんですね。
1239 相 はい。
1240 回 「肺炎球菌ワクチン」というのがあるんですねー。
1241 相 はい。
1242 回 で、これは、あの一、1 回打ちますとですね、
1243 回 少なくとも 5 年間ぐらいは有効です。
1244 相 はい。
1245 回 そうしますと、お一、肺炎球菌の、お一、肺炎にかかりにくい、
1246 回 すべて、まあ、完全に予防できるわけではありませんけれども、
1247 回 お一、かなりまあ、あ一、予防できる。
1248 回 それから、あ一、万が一感染しても、
1249 回 お一、軽くて済むということだと思います。
1250 回 それとです、ですね？
1251 相 はい。
1252 回 え一、まあ、その一、お一、二つ、
1253 回 つまり、ワクチンを、お一、きちんと打って頂くということと、
1254 回 それから、あの一、具合が悪くなった時にですね、

1255 相 はい。
1256 回 えー、すぐに相談できるー、うー、主治医を決めて頂くということでしょう。
1257 相 はい。
1258 回 それから、あの一、栄養のことを少し工夫されてはいかがでしょうかねー。
1259 回 体重をもう少し増やすようにですね、
1260 相 はい。
1261 回 えー、食べ物の、おー、種類を増やすとか、
1262 回 あるいは、少しカロリーを増やす、
1263 回 あるいは、タンパク質の多い物を増やすという、
1264 回 栄養面の工夫を少しされてはいかがでしょうか。
1265 相 あー、そうですか。
1266 回 //ええ。

C 1267 相 それでね、チーズがね？
2 1268 回 ええ。
回 1269 相 いいからと思って、
答 1270 相 チーズを食べ、たらね、
確 1271 相 今//度、コレステロールが溜まるいう結果が出てしまうんですねー。
認 1272 回 ええ。
の 1273 回 うん、//まあ、
小 1274 相 まあチーズだけじゃなくて、
話 1275 相 その、いろんなものを、あの、
段 1276 回 そうですねー。
1277 相 はい。
1278 相 そ、

C 1279 回 //あの一、確かに、あの一、チーズばかり食べますとね？
1 1280 相 (?)
1281 相 はい。
回 1282 回 コレステロールが高くなりますので、
答 1283 相 はい。
提 1284 回 まあ、良質のタンパクという点では//ですね、例えば鶏肉なんかも一、あの一、十分
供 の にいいですしね？
小 1285 相 はい。
話 1286 相 はい。
段 1287 回 あの一、赤身の肉を中心に、
1288 回 あるいは、魚もいいですし、
1289 相 はい。
1290 回 あの一、バランスのとれた//食事をしてですね、
1291 相 はい。
1292 相 はい。
1293 回 そいで、一時にたくさん、とぶ、あの一、食べますと、
1294 回 苦しくなるかもしれませんので、
1295 相 はい。
1296 回 すこーし分けて食べるということも、コツじゃー//ないかと思いますねー。
1297 相 あーそうですか。
1298 相 はい。
1299 回 そして、まあ、食べて動くということですよ。
1300 相 あー。
1301 回 食べてじっとしてるのも、よくありませんで、
1302 相 はい。
1303 回 あの、適度な運動、まあ、歩くこと、
1304 回 あるいは、体が、すこーしですね、//汗ばむくらいの運動を、毎日少しずつ、まあ、
日課の中に入れて頂くということでしょうねー。
1305 相 はい。
1306 相 あー、そうで//すか。
1307 司 はい。
1308 回 ええ。
1309 相 あー、ありがとうございます。
1310 司 //はい。

C 1311 相 それで、太ることはね、もう、体質やからと思って、
2 1312 相 あきらめてたんですけど、
回

大 小
話 話
段 段

1313 相 そういう、結核の手術したということの後遺症として、
 1314 回 ええ。
 1315 相 そういうことあるんですね？
 1316 回 そういことです。

 C 1317 回 つまりですね、
 1 1318 相 はい。
 1319 回 普通、呼吸に使うカロリーというのは、普通の人では、ほんのわずかなんですが、
 回 1320 相 はい。
 答 1321 回 呼吸が苦しいとですね、
 提 1322 相 はい。
 供 1323 回 その、呼吸をするためにカロリーを余計使ってしま//うんですね？
 の 1324 司 あー。
 小 1325 相 あー//ー。
 話 1326 回 で、それを補っていかないと、
 段 1327 相 はい。
 1328 回 普通の人よりも余計カロリーを補っていかないと、
 1329 回 どんどん痩せてくるとい//うことになります。
 1330 相 あー//ー、そうです（か）。
 1331 司 はい。

 C 1332 相 そいで肺活量も、あの、3年ほど前は、2000あったんですのね？
 2 1333 回 ええ。
 回 1334 相 え、えーっと、去年は、1900、
 答 1335 相 今年は1800ぐらい、100ぐらいずつ、減ってるんですよ。
 確 1336 回 ええ。
 認
 C 1337 回 それは、あの、病気が悪くなったのではなくてです//ね、
 1 1338 相 はい。
 回 1339 回 一つは、外側の、その、おー、胸の筋肉の力が少し弱くなってきたということだろう
 答 と思います//ねー。
 提 1340 相 はあー。
 供 1341 回 ですから、あのー、きんりょ、筋力を強化するためにはですね、
 の 1342 相 はい。
 小 1343 回 あのー、適度な運動//をして、
 話 1344 相 うんうん。
 段 1345 回 筋力が衰えていかないようにです//ね、
 1346 相 はいはい。
 1347 回 いつも工夫するという//ことでしょう。
 1348 相 ありがとうございます。
 1349 司 はい。

 C 1350 相 それから先生、そ//の2番目におっしゃいました、肺炎いん、えっ？
 2 1351 回 はいはい。
 回 1352 回 肺炎球菌です//ね？
 答 1353 相 球菌//ワクチンですけど、
 確 1354 回 ワクチン。
 認 1355 回 はい。
 の 1356 相 あの、インフルエンザのほうは、あの、去年から受けてるんで、
 小 1357 回 //ええ、ええ。
 話 1358 相 今年も受ける予定にしてるんですけどね？
 段 1359 回 はい。
 1360 相 それは、どこのお医者様でもして頂けるんで//すか。

 C 1361 回 ええ、どこでも打てます。
 1 1362 相 //肺炎、
 回 1363 回 あのー、かかりつけの先生におっしゃってですねー、
 答 1364 相 はい。
 提 1365 回 「肺炎球菌ワクチンということを聞いたんだけど。」とおっしゃって頂ければ、
 供 1366 回 取り寄せて頂けますから、
 認 C 1367 相 あー、//ほしたらインフルエンザの、あの、注射をして頂け
 2 る病院だったら、
 回 1368 回 あのー、
 答 1369 相 打て//ますね？
 確 1370 回 そうですね。

大 小
話 話
段 段

大 話 段	小 話 段	C 1 回 答 提 供	1371 回	あの一、ほとんど同時期に打っても、	
			1372 回	問題はありません。	
			1373 相	あっ、あっ、同時期に、	
			1374 相	同時に打っても。	
			1375 回	同時にというのは、	
			1376 回	//あの一、要するに、混ぜて打つという意味ではありませんが、	
			1377 相	あっ、ちょっと時間、	
			1378 相	あっ、はい。	
			1379 回	2箇所、あの一、打つという//ということですね。	
			1380 相	あー、あっ、なるほど。	
			1381 回	それでも、あの一、効果は//落ちないと言われてます//んで、	
			1382 司	はい。	
			1383 相		はい。
			1384 相		はい。
			1385 回	2種類しかありませんので//ね？	
			1386 相	あっ、	
			1387 回	あの一、取り寄せて頂ければと思います//けど。	
			1388 相	はい。	
			1389 相	はい。	
			1390 司	は//い。	
C 2 回 答 確 認			1391 相	そいで、先生、同時、じ、ではあきませんよね？	
			1392 相	ちょっと、//時間を、	
			1393 回	えっ？	
			1394 相	そのインフルエンザと//（？）、	
			1395 司	同じ日でも大丈夫なんです//か？	
C 1 回 答 提 供			1396 回		同じ日でも大丈夫ですよ。
			1397 相	あっ、//同じ日でも。	
			1398 司	はい。	
			1399 回	はい。	
			1400 相	//あーそうですか。	
D			1401 司	はい。	
			1402 司	はー//い。	
			1403 相	どうもありがと//うござい、	
			1404 回	//はいはい。	
			1405 司	どう//ぞ、お大事になさってください。	
相 談 終 了			1406 回	それじゃあ//お大事に一。	
			1407 相	ありがとうございました。	
			1408 相	ありが//とうございました。	
			1409 司	はい。	
Ⅱ 1 電 話 相 談 の 談 話	B 1 相 談 か け の 話 段	B 1 小 話 段	1410 司	では、続いての方です。	
			1411 司	I 県にお住まいのODさん、67歳の方、ご本人からの相談です。	
			1412 司	えー、おととしの暮れに風邪をひいて、	
			1413 司	肺炎となり、	
			1414 司	4ヶ月間入院しました。	
			1415 司	集中治療室に入ったこともあったようですね？	
			1416 司	で、去年の4月に退院し、	
			1417 司	散歩など、えー、リハビリをしています、	
			1418 司	息切れが続いています。	
			1419 司	食事中もあるようです。	
			1420 司	主治医の先生から、「両方の肺が縮んでいる。」と言われました。	
			1421 司	肺活量は1800ミリリットルです。	
			1422 司	で、入院中、不整脈もある、あったようです。	
			1423 司	で、現在は、脈拍70から98、1分間です。	
			1424 司	で、高齢になると、	
			1425 司	肺炎などをわずらうと、	
			1426 司	息切れが残るものなのでしょうか。	
			1427 司	心臓の疾患と、肺の関連は、ど、いかがでしょうかという相談です。	
			1428 司	えー、この方は、28歳の時に、	
			1429 司	肺結核をわずらって、	

大 小
話 話
段 段

		1430 司	左の肋骨 3, 4 本切除—したという経験をお持ちです。
A		1431 司	ODさん？
		1432 相	はい。
相		1433 司	はい、こんにちは。
談		1434 司	お待//たせ致しました。
開		1435 相	こんにちは。
始		1436 相	はい。
		1437 司	はい、K先生、お願いし//ます。
		1438 相	あ、よろしくお願い//します。
		1439 回	はい。
B	B	1440 回	ODさんね、
	2	1441 相	はい。
相		1442 回	今、あの一、夜はぐっすり、お休みになれますか？
談	相	1443 相	はあ、あの一、昼間寝ちゃうので、
か	談	1444 回	あー。
け	内	1445 相	ちょっと夜は、あの一、
の	容	1446 回	眠れない、
話	確	1447 相	ええ、眠れないんです。
段	認	1448 回	例えば、昼間寝ている理由はですね、昼間少し動くと、
	の	1449 回	息苦しいから、
	小	1450 回	動けない。
	話	1451 相	ええ、寝てるほうが楽なんです//ねー。
	段	1452 回	寝てるほうが楽だから、
		1453 回	動//かない。
		1454 司	うーん。
		1455 相	はい。
		1456 回	なるほど。
		1457 回	で、ずい、あの一、今ずいぶん痩せられてますか？
		1458 回	どうですか？
		1459 相	えーっと、大体、あの一、//病院、病気前より、
		1460 回	身長は、
		1461 回	はい。
		1462 相	えー、8キロやれ、痩せてまして、
		1463 相	40キロです。
		1464 回	身長はどのぐらいですか。
		1465 相	えー、178ぐらいで//す。
		1466 司	あー。
		1467 回	あー、それはかなり痩せてますね。
C	C	1468 回	あの一、おー、最初の質問のですね、
	1	1469 相	はい。
相		1470 回	高齢になると、
談	回	1471 回	その、肺炎ーが、肺炎にかかりやすくなって、
う	答	1472 回	その、肺炎になると、
け	提	1473 回	息切れが残るかというご質問なんです、
の	供	1474 相	はい。
話	の	1475 回	通常は残らないんですよ。
段	小	1476 相	はあ。
	話	1477 回	あの一、肺炎はですね、
	段	1478 相	はい。
		1479 回	肺の一、おー、肺に一、まあ、広範囲に炎症を起こすんですけども、
		1480 相	うん。
		1481 回	抗生物質が効くとですね、
		1482 相	うん。
		1483 回	肺は、きちっと元通りになるというのが、肺炎の特徴なんです//よね。
		1484 相	はい。
B	B	1485 回	そいでー、ODさんにちょっとお聞きしたいのはですねー、
	2	1486 相	はい。
相		1487 回	28の時に、
談	相	1488 回	肺結核で、
か	談	1489 相	はい。

大 話 段	小 話 段	小 話 段
け の 話 段	内 容 確 認 の 小 話 段	<p>1490 回 左の肋骨を、あの一、上のほうだと思いますけ//ども、おそらく、</p> <p>1491 相 はい、上葉。</p> <p>1492 回 そうでしょう。</p> <p>1493 相 はい。</p> <p>1494 回 で一、3、4本、あの、//取ったと、</p> <p>1495 相 取って、はい。</p> <p>1496 回 いうことですねー。</p> <p>1497 相 はい。</p> <p>1498 回 ところがですねー、</p> <p>1499 相 はい。</p> <p>1500 回 えー、肺は、両肺が縮んできたと言われておるわけですね？</p> <p>1501 相 はい。</p>
C	C 1 相 談 う け の 話 段	<p>1502 回 で、これはですねー、</p> <p>1503 相 はい。</p> <p>1504 回 あの一、要するに、肺結核の後遺症というよりも、</p> <p>1505 回 肺結核の後遺症というのは、要するに、いー、その、肋骨を切った左側だけに、が、問題なんですね？</p> <p>1506 相 うん。</p> <p>1507 回 で、両側が縮んできたというのは、これは別の病気と考えたほうがいいと思うんですよ。</p> <p>1508 相 なるほど。</p> <p>1509 回 つまり、そうするとですね、</p> <p>1510 相 はい。</p> <p>1511 回 あの一、最初の方の相談もありましたけど、</p> <p>1512 回 肺がだんだん//縮んでいくという病気があります。</p> <p>1513 相 はいはい。</p> <p>1514 相 はい。</p> <p>1515 回 肺線維症という病気があります。</p> <p>1516 相 はい。</p> <p>1517 回 で、それではないかという可能性が一つとですね、</p> <p>1518 相 はい。</p> <p>1519 回 で、不整脈が起こって、</p> <p>1520 回 脈が非常に速くなったりですねー、</p> <p>1521 相 はい。</p> <p>1522 回 あの一、するのは、酸素がすこーし足りなくなってますね？</p> <p>1523 相 はい。</p> <p>1524 回 そのために、心臓の酸素が足りなくなると、</p> <p>1525 回 脈が速くなっているんじゃないかという可能性がありますね。</p> <p>1526 相 はい。</p> <p>1527 回 そうすると、おー、治療としては、もし、酸素が低くなると、</p> <p>1528 回 体に足りないようならですね？</p> <p>1529 相 はい。</p> <p>1530 回 酸素を一、吸って頂くという、//ことですね？</p> <p>1531 相 うん。</p> <p>1532 回 先ほどのような相談//の方のようにですね。</p> <p>1533 相 はい、あの、酸素はですね、</p> <p>1534 回 ええ。</p> <p>1535 相 えー、95ぐらいあ（る）んです。</p> <p>1536 回 あー、それは安静の時でしょう。</p> <p>1537 相 あの一、病院行って、</p> <p>1538 回 ええ。</p> <p>1539 相 今通院してますので。</p> <p>1540 回 ええ、あの、じっとしてるとですね、</p> <p>1541 相 うんうん。</p> <p>1542 回 あの、95ぐらいあるんですが、</p> <p>1543 相 はい。</p> <p>1544 回 すこーし歩くとですね、</p> <p>1545 相 はい。</p> <p>1546 回 下がるという方がいらっしゃるわけです。</p> <p>1547 相 あっ、//なるほど。</p>

			1548 回	あるいは、あの一、ね、寝るとです ね？
			1549 相	はい。
			1550 回	夜、ぐっすり眠ると、
			1551 回	お一、うんと下がってしまうという方もいらっしゃるわけですね。
			1552 相	なるほど。
			1553 回	ですから、そこを少し、まあ、検査をして頂いたほうがいいかもしれませんし、
			1554 相	あつ、//なるほど。 心臓と肺の、が、どのように関連するかということであれば
			1555 回	ですね、
			1556 相	はい。
			1557 回	おそらくその可能性が強いと思いますね。
			1558 相	なるほど、はい。
			1559 回	そして一、あとは、薬につきましてはですね、
			1560 相	うんうん。
			1561 回	あの一、いわゆる、この薬を飲めば、
			1562 回	特効薬ですぐ治るというものはありませんが、
			1563 相	うん。
			1564 回	あの一、先程来の方のようにですね、
			1565 相	はい。
			1566 回	あの一、呼吸の苦しいのを、いろいろ工夫する、
			1567 回	え一、あるいは、栄養にも、う一、工//夫して頂いてですね、
			1568 相	うん。
			1569 相	はい。
			1570 回	かなり一、痩せてくれましたよね一。
			1571 相	はい。
			1572 回	で一、ですから、その、痩せの原因が、呼吸器以外にはないということを確認してで すね？
			1573 相	はい。
			1574 回	他に病気がないということを確認されたら、
			1575 回	そしたら、今度は、栄養の高いものを摂って頂いてですね？
			1576 相	はい。
			1577 回	適度な運動をして頂く、//ということでしょう。
			1578 相	なるほど。
			1579 相	うん。
			1580 回	それから、酸素をきちっと決めて頂いてですね、
			1581 相	うん。
			1582 回	え一、場合によっては、酸素が足りないようならばですね、
			1583 回	え一、在宅酸素療法を始められたほうがいいと思いますね。
			1584 相	なるほど。
			1585 司	はい。
			1586 相	以上です。
			1587 相	//はい。
			1588 司	ええ。
			1589 司	いかがですか？
			1590 相	はい、わかりました。
			1591 司	よろしいです//か？
			1592 相	よく、わかりました。
			1593 司	はい。
			1594 相	はい。
II 1 電 話	B 相 談 終 了	B 1 相	D 1595 司	お大事にど//うぞ一。
			1596 相	はい、どうも//ありがとうございまし//た。
			1597 回	じゃあ、(?)。
			1598 司	失礼致します。
			1599 相	どう//も一。
II 1 電 話	B 相 談	B 1 相	1600 司	はい。
			1601 司	では、次の方に参りましょう。
			1602 司	Aにお住まいのF Sさん、65歳の方、ご本人からの相談です。
			1603 司	痰が多いという、相談なんですけれども、

大 話 段	小 話 段	話 段	
相 談 の 談 話	か け の 話 段	談 提 示 の 小 話 段	<p>1604 司 3年ほど前から、体を動かすと、</p> <p>1605 司 息切れをするようになって、</p> <p>1606 司 受診しました。</p> <p>1607 司 酸素が不足しているということで、通院しています。</p> <p>1608 司 で、今年の10月、</p> <p>1609 司 痰が絡んで、</p> <p>1610 司 窒息しそうになり、</p> <p>1611 司 気管切開を受けました。</p> <p>1612 司 で、今年の3月に、</p> <p>1613 司 その、気管の中に入れていた、くど、管を除去して、</p> <p>1614 司 現在は、通常の呼吸方法に戻りましたが、</p> <p>1615 司 少し体を動かすと、</p> <p>1616 司 息切れと痰が絡みます。</p> <p>1617 司 痰は、白っぽくきれいで、</p> <p>1618 司 水あめのよう、で、</p> <p>1619 司 粘っこいということです。</p> <p>1620 司 それから、1日に4回、吸入を施していて、</p> <p>1621 司 それから、酸素も、今一、酸素療法もしている、らっしゃるということなんでしょう か。</p> <p>1622 司 この、痰が多い、えー、どういうふうに、えー、治療を受けたいのでしょうかと いう相談です。</p>
A			<p>1623 司 F S さん？</p> <p>1624 相 はい。</p> <p>1625 司 はい、こんにち//はー。</p> <p>1626 相 (お世話)、</p> <p>1627 司 お//待たせ致しました。</p> <p>1628 相 よろしく願いしまーす。</p> <p>1629 司 はい。</p> <p>1630 司 先生お願いします。</p> <p>1631 回 はい。</p>
B	B		<p>1632 回 F S さんねー、</p> <p>1633 相 はい。</p> <p>1634 回 今一、困っていらっしゃるのはですねー、</p> <p>1635 相 はい。</p> <p>1636 回 痰がたくさん出るということですねー。</p> <p>1637 相 はい。</p> <p>1638 回 それで、痰の色はどうですか？</p> <p>1639 相 あの、きれいなんです。</p> <p>1640 回 あー、透明であると。</p> <p>1641 相 はい。</p> <p>1642 回 しかし、切れにくいと。</p> <p>1643 相 はい。</p> <p>1644 回 で、鼻は悪いですか？</p> <p>1645 相 //ええ、あの、鼻水も出ます。</p> <p>1646 回 特に、</p> <p>1647 回 蓄膿症と言われていることはありますか？</p> <p>1648 相 それは、な、言われたことないですけど。</p> <p>1649 回 で、病気そのものにつきましたはね？</p> <p>1650 相 ええ。</p> <p>1651 回 あの、息切れの原因は、あの、肺の病気はなんだというふうに説明されてますか？</p> <p>1652 相 いや、あの、ほん、{咳} 気管支炎、</p> <p>1653 相 あの、10年ぐらい前にですね、</p> <p>1654 回 ええ。</p> <p>1655 相 あの、急性肺炎起こしたんです。</p> <p>1656 回 ええ、ええ、ええ。</p> <p>1657 相 (そ)して、それで、その、まあ、まあ、1年ぐらい入院してねー、</p> <p>1658 回 はい。</p> <p>1659 相 退院、治って、</p> <p>1660 回 はい。</p> <p>1661 相 いいなーと思っとったんですけども。</p>

1662 回 なるほど。
1663 回 そうす//るとですねー、
1664 相 ええ。
1665 相 はい。
1666 回 つまり、10年ぐらい前からですねー、
1667 相 はい。
1668 回 ゆっくり進行してるということですよー。
1669 相 ええ。
1670 回 それで一、タバコはもう完全に止められましたか？
1671 相 はい。
1672 回 で、それまでは、いちば、いくつから吸い始めました？
1673 相 えっ？
1674 回 いくつから吸い始めましたか？
1675 相 25ぐらいから吸いました。
1676 回 で一、止められたのはいつですか？
1677 相 6、うんと一、1年半になります。
1678 司 はあ。
1679 回 一番吸った時で何本ですか。
1680 相 うーん、50本ぐらい。
1681 司 はあ。
1682 回 50本ぐらい吸われた。
1683 相 はい。

C C 1684 回 で、おそらくね？
1 1685 相 はい。
相 1686 回 あのー、今の病気の苦しいのはですねー、
談 回 1687 相 はい。
う 答 1688 回 あの、タバコによって、
け 1689 相 はい。
の 1690 回 えー、タバコを長く吸うとですねー、
話 1691 相 はい。
段 1692 回 えー、気管支がやられて、
小 1693 相 はい。
話 1694 回 肺胞という、あの、酸素を取り入れる部分が、障害を受けるわけですよ。
段 1695 相 はい。
1696 回 で一、その、酸素を取り入れる部分がですね、
1697 相 は//い。
1698 回 壊れる、
1699 回 肺胞が壊れる状態を「肺気腫」といいますが、
1700 相 あーはい。
1701 回 あの、慢性気管支炎と肺気腫という状態がですね、
1702 相 ええ。
1703 回 えー、両方あると思うんですよ。
1704 相 うん、ええ。
1705 回 最近では、その病気をですね？
1706 回 「慢性閉塞性肺疾患」という難しい、よ、//（呼び）をするんですが一、
1707 相 ええ。
1708 回 私たちは、まあ、あー、最近は、「COPD」、「COP//D」というふうに呼んで
いるわけですけども一、
1709 相 はい。
1710 回 おそらく一、そうだろうと思いますねー。
1711 相 はい。
1712 回 この病気は、あのー、タバコを吸う人のですね、
1713 相 はい。
1714 回 20%から30%ぐらいに起こってくるわけです。
1715 相 はあ。
1716 回 そいで一、症状はですねー、大体40歳の後半ぐらいから起こってきましてですね？
1717 相 はい。
1718 回 で一、定年の頃になると、
1719 回 非常に症状が強く出るんですよ。
1720 相 はい。

大 小
話 話
段 段

		1721 回	ですから、55歳の時にですねー、
		1722 相	ええ。
		1723 回	重い急性肺炎をやられたというのはですね、
		1724 相	ええ。
		1725 回	この、「慢性閉塞性肺疾患」が急に悪くなる、
		1726 回	「急性増悪」といいますけれども、
		1727 相	ええ。
		1728 回	その状態だったと思いますねー。
		1729 相	はあ。
		1730 回	そいで、その後ですね？
		1731 相	はい。
		1732 回	あの一、息切れが、ずーっとまた、あー、続いているんだと思います。
		1733 相	ええ。
		1734 回	で、痰が多いのもですねー、
		1735 相	はい。
		1736 回	あー、そのせいなんですよー。
		1737 相	ええ。
相 談 か け の 話 段	B B 2 相 談 か け の 話 段	1738 回	で、今、吸入はやってらっしゃいますか？
		1739 相	はい、やってます。
		1740 回	何種類やってますか？
		1741 相	(3) 2. 5でやってます。
		1742 回	あっ、それは酸素のことでしょう。
		1743 相	ええ。
		1744 回	あの一、酸素以外に、薬としてですねー、
		1745 相	あっ、薬ですかー。
		1746 回	ええ。
		1747 相	あーっと、現在ですね、
		1748 回	え、あ、
		1749 相	8種類ぐらい飲んでます。
		1750 回	あーそうですか。
		1751 回	飲み薬だけですか？
		1752 相	あの一、それからー、うーんと、フル、フルタイト、
		1753 回	はいはいはい。
		1754 相	って//もの、
		1755 回	吸入、
		1756 相	ええ。
		1757 回	吸入薬の粉の物を使って//るわけですねー。
		1758 相	うん、ええ、ええ。
		1759 回	それからですねー、
		1760 相	はい。
		1761 回	シューっと出る物も使って//ますか？
		1762 相	ええ。
		1763 回	そ//れは何種類使ってますか？
		1764 相	テル、テルヒカ、
		1765 回	はい。
		1766 相	それやってます。
		1767 回	あーそうですか。
		1768 相	はい。
相 談 う け の 話 段	C C 1 相 談 う け の 話 段	1769 回	あの一ー、最初の粉の物ですね、
		1770 相	はい。
		1771 回	喘息の薬なんですよー。
		1772 相	あっ、はい。
		1773 回	で、あとの物が、その、シューっと出る物がですねー、
		1774 相	はい。
		1775 回	気管支を広げる薬なんです//が一、
		1776 相	ええ。
		1777 回	あの一、痰を出やすくするためにはですねー、
		1778 相	ええ。
		1779 回	気管支を広げる薬を吸入するのが、一番いい方法なんですよ。
		1780 相	ええ。

大話
話段
小話
話段

相 談 か け の 話 段	B 2 相 談 内 容 確 認 の 小 話 段	1781 回	それ、ですから、あの一、シューツと出る薬をですね、	
		1782 相		ええ。
		1783 回	今どんなふうに使ってますか？	
		1784 相	えっ？	
		1785 回	あの、何回使ってますか？1日に。	イチ
		1786 相	2回一。	
		1787 回	2回ずつを一、何//回、1日に。	
		1788 相		ええ。
		1789 相	い、1日に2回一、やる、おくす、	
		1790 相	いし、医師にね、	
		1791 回		ええ。
		1792 相	2回一、1日に2回やるようにって言われ//て、	
		1793 回		つまり、朝、晩ということですか。
		1794 相	ええ。	
		1795 回	朝、晩で、	
		1796 相		ええ。
		1797 回	1回に吸入する量は？	
		1798 回	なんか、何回吸入してますか？	
		1799 相	1回ずつやってます。	
相 談 う け の 話 段	C 1 回 答 提 供 の 小 話 段	1800 回	あ一、それはちょっと量が少ないと思いますね。	
		1801 相		はあ一。
		1802 回	あの一、1回に吸う量はですね、	
		1803 相		はい。
		1804 回	2吸入を、1日、朝、昼、晩、寝る前ぐらいにですね、	
		1805 相		ええ。
		1806 回	増やされたほうがいいと思います。	
		1807 相		はあ、//そうですか。
		1808 回	談してみてください。	それは、あの、主治医の先生にちょっと相
		1809 相		はい。
		1810 回	あの一、要するに、増やすとですね、	
		1811 相		はい。
		1812 回	場合によっては、副作用の出ることがあるんです。	
		1813 相		ええ。
		1814 回	例えば、あの、緑内障のある方だとですね、悪くなったり、	
		1815 相		ええ。
		1816 回	あるいは、あの一、前立腺肥大のある方だと、おしっこが出なくなったりする副作用 が出ますので、	
		1817 回	すぐに増やすというのは、あの、問題があるんですけど//も一、	
		1818 相		ええ。
		1819 回	主治医の先生に、ちょっと相談してみてくださいませんか？	
		1820 相		あ一。
		1821 回	あの、増やすべきだと思いますね一。	
		1822 相		ええ。
		1823 回	で、増やしますと、	
		1824 回	痰が切れやすくなりますので、	
		1825 相		あ一。
		1826 回	今よりも楽になると思います//が。	
		1827 相		あ一。
		1828 司	はい。	
		1829 相	あの、いち、いつ、1時間ぐらいかかるんですよ、あの、	痰//が止まるまで。
		1830 司	痰が出るのに。	
		1831 回		あ一//、そうですか。
		1832 司		あ一。
		1833 相		ええ。
		1834 回	あの一、痰、要するに、気管支を広げる薬をですね、	
		1835 相		ええ。
		1836 回	あの一、もう少し増やして頂く、	
		1837 回	特に吸入を増やして頂かないと、	
		1838 相		はあ。

大話
段

小話
段

	1839 回	通常は、おそらく、なかなかよくなりえないだろうと思	います。
	1840 相	はあーそうですか。	
	1841 回	ええ。	
	1842 相	//あー。	
	1843 司	はい。	
	1844 回	それは、あの、主治医の先生にちょっと相談し//てみてください。	
	1845 相	ええ。	
	1846 相	はい。	
	1847 司	はい。	
D 相 談 終 了	1848 司	//お大事にどうぞー。	
	1849 相	わかり、	
	1850 相	はい、わかりまし//た。	
	1851 司	はい。	
	1852 相	どうもー//ありがとうございました。	
	1853 司	失//礼致します。	
	1854 回	はいはい。	
II 2 電 話 相 談 の 補 足 解 説 の 大 話 段	1855 司	痰が切れない、	
	1856 司	痰が多いという方、すべてがその吸入をしたほうがいいのかというわけでは//ないんです ね？	
	1857 回	は、ないですねー。	
	1858 司	はい。	
	1859 回	あの一、病気によりけりでしてですねー、	
	1860 回	例えば、鼻が悪くて、	
	1861 回	えー、気管支が悪い、「副鼻腔気管支症候群」というような病気では//ですね？	
	1862 司	うーん。	
	1863 回	あの一、弱い抗生物質、マクロライド系の抗生物質っていうのがありますが、	
	1864 回	それを少量、長期に一、飲んで頂くとですね、	
	1865 回	それだけで、あの一、痰が非常に少なくなるという//ことがありますねー。	
	1866 司	はい。	
	1867 回	それから、あの一、タバコを吸っていらっしゃる方だと、禁煙するだけで、	
	1868 回	もう痰はほとんど出なく//なりますね。	
	1869 司	あつ、	
	1870 司	そうで//すかー。	
	1871 回	ええ。	
	1872 回	それは、もう、薬も吸入もなんにもいらないということになりますねー。	
	1873 司	うーん。	
	1874 回	ですから、あの一、痰というのは、非常に、まあ、呼吸器の重要なサインですね？	
	1875 司	//はい。	
	1876 回	咳もそうですけれ//ども。	
	1877 司	ええ、ええ。	
	1878 回	お一、原因をきちっと決めて、	
	1879 回	治療をするということが、非常に重要でしてですね、	
	1880 回	あの一、痰を切るためだけの薬を、いろいろ、こう、のど飴をなめるとかですね？	
	1881 回	あの一、そういうのは、あまりいい方法じゃないと思いますね。	
	1882 司	はい。	
	1883 司	わかりました。	
D 相 談 終 了	1884 司	この時間は、呼吸器についての電話相談を致しました。	
	1885 司	お答え頂いたのは、東京都老人医療センター呼吸器部長のKK先生でした。	
	1886 司	K先生ありがとうご//ざいました。	
	1887 回	はいはい、どうも、失礼しました。	

【資料3】 医療相談(漢方) 司会者:司 回答者:回 相談者:相 2001.10.30(火)13:45~14:55
NHKラジオ第一放送「暮らしの電話相談 あなたの健康・家族の健康」

大
話
段

小
話
段

I
1
番組
開始

1 司 では、「ラジオホッとタイム」、ここからは、「暮らしの電話相談」の時間です。
2 司 毎週火曜日は、「あなたの健康・家族の健康」をお送りしていますが、
3 司 今日は、漢方についてお伝えいたしましょう。
4 司 お話し頂くのは、東京大学助教授の、TM先生です。
5 司 T先生こんにちは。
6 回 はい、よろしく申し上げます。
7 司 よろしくお願い致します。

I
2
番組
の
テ
ー
マ
に
関
わ
る
一
般
的
解
説
の
大
話
段

8 司 少し、漢方薬、漢方の考え方について、この時間は、伺いたいと思います。
9 回 はい。
10 司 まあ、漢方専門の病院に行かなくても、
11 回 ええ。
12 司 最近、漢方薬を処方されることが、ずいぶん多くなったと思うんですが、
13 回 ええ。
14 司 この、漢方薬と、いわゆる西洋薬の使い方の違い、
15 司 基本的な違いってというのは、どういうところにあるんでしょうか。
16 回 まあ、薬ですからね、あ//の、基本的に同じといえば同じなんですが、
17 司 ええ。
18 司 はい。
19 回 多少だけ、違うところがありますね。
20 司 ええ。
21 回 で一、それはですね、漢方の場合は、
22 回 あのー、症状、よりも、もっと、その、まあ、その時の患者さんが訴えてる症状があ
りますね。
23 司 はい。
24 回 その症状よりも、もっと大事な治療すべきものがあると、
25 司 ふふーん。
26 回 それが、まあ、体質と考えておりましてですね、
27 司 はい。
28 回 そちらの治療から積み上げて、
29 回 治療していくという考え方があるんですね。
30 司 はい。
31 回 これは、あのー、西洋医学にはない考え方だと思います。
32 回 あのー、ですから、体質ですから、まあ、いろんな原因があるんですけども、
33 回 あのー、患者さんが今、あー、訴えてるいろんな訴えがですね、
34 回 そ、その訴えに、すぐに医者の方も飛びつかないで、
35 司 ええ。
36 回 その訴えが出てきた、もう少し深いところをですね、
37 司 ふー//ーん？
38 回 あの、漢方的な診察によっ
て、
39 回 探っていくというわけなん//です。
40 司 はい。
41 回 で一、まあ、あのー、それを一言で言うそうですね、
42 回 えー、まあ、日本の漢方では「気・血・水」なんていう考え方があり//ましてね、
43 司 「気・血・水」。
44 回 ええ。
45 司 どういう字を書きますか？
46 回 「気」は、あの、気持ちの「気」ですね？
47 司 はい。
48 回 「血」は、血液の「血」、
49 司 ええ。
50 回 「水」は、あの、水という字ですね？
51 回 それを、「気・血・水」と言いまして、

- 52 回 あのー、これは、あのー、西洋医学でも似たような考え方が、最近出てきておりますけど、
- 53 司 ふーん。
- 54 回 漢方では、かん、昔からですね、そのー、人間の体質というのは、気と血と水のバランスによって、
- 55 回 保たれているんだという考え方があるわけです。
- 56 司 はい。
- 57 回 それで、「気」というのは、あのーまあ、摂食意欲からですね、実際に食事を摂って、
- 58 回 消化・吸収するまでの、
- 59 司 ふふー//ん、ふーん？
- 60 回 全プロセスと「気」といいます。
- 61 司 ええ。
- 62 回 で、えー、「血」というのはですね、体の中の、おー、内部環境ですね？
- 63 回 ホルモンとか、循環とか。
- 64 回 それから、「水」というのは、あの、生体防御で、まあ、免疫、いわば//免疫のようなことですね。
- 65 司 あー。
- 66 司 はい。
- 67 回 で、これ、まあ、西洋医学的に翻訳すると、
- 68 回 「神経・免疫・内分泌」という言葉に該当するような概念なんですけども、
- 69 司 はい。
- 70 回 それが、まあ、漢方にありまして、
- 71 回 その、患者さんの、おー、訴えの中でー、
- 72 回 または、体質で、
- 73 回 「気・血・水」の何が乱れてるかということ、//診断してあげるという。
- 74 司 あー。
- 75 司 それは、食事の摂り方であったり、
- 76 回 ええ。
- 77 司 あるいは、その、体内のバランスであったり、
- 78 回 そうですね。
- 79 司 免疫なのかどうかという//こと、
- 80 回 それから、生まれながらの体質っていうっていうこともあり//ますね？
- 81 司 あー。
- 82 回 はい。
- 83 回 まあ、そういうものをいろいろ加味しながら、
- 84 司 ええ。
- 85 回 そのー、まず、その、病気、に、今なっているわけですけど、
- 86 回 その病気を治す土台から、手をつけていくわけですね。
- 87 司 ふーん？
- 88 回 で、目に見える症状に、すぐに、あー、治す//とか、
- 89 司 ええ。
- 90 回 薬を飲んでもらうということは、//まあ、二の次にするわけです。
- 91 司 はい。
- 92 司 ふーん。
- 93 回 それで、その、体質がよかった段階で、
- 94 司 はい。
- 95 回 ある程度、見通しがついた段階でですね、
- 96 回 今度は、症状を治していくと、//いう、
- 97 司 ふーん。
- 98 回 まあ、その、分解するとですね、
- 99 回 漢//方的な治療っていうのは、分解してみると、
- 100 司 ええ。
- 101 回 そういう、二つのステップがあると、//いうことになるわけですね。
- 102 司 あー。
- 103 司 そうしますと、何かの症状が出た場合に、

- 104 司 その原因というのは、今、先生がおっしゃった、「気・血・水」のどれかにあてはまる、
- 105 司 それとは、また関係ないところで起こっているもの//ではないわけですか。
まあ、大体が、大体が「気・
- 106 回 血・水」に関係したような、どっかが//乱れてる、
はい。
- 107 司
- 108 回 または、全部が乱れてる場合もありますね？
- 109 司 ええ。
- 110 回 えー、特に、ご高齢の方なんかですね、
はい。
- 111 司
- 112 回 慢性病が長引いたような人、
うーん。
- 113 司
- 114 回 そういう人は、あの一、「気・血・水」全部が足りなくなったり、
乱れてるということもあります。
- 115 回
- 116 司 はい。
- 117 回 (それ) から、若い方なんかでは、例えば、「気」だけが、すごく足りなくなっ
ちゃってる状態//ですね？
ええ。
- 118 司
- 119 回 えー、まあ、「気虚」というんですけども、
そういう、き、「気」が足りないような状態の時は、
- 120 回 「気」だけを補ってあげると、
//ふーん。
- 121 回
- 122 司
- 123 回 大体バランスが回復してくると。
ええ。
- 124 司
- 125 回 で、そして、体質が、ある程度良くなるとですね、
今度は、まあ、それを、体質治療というのを、我々の言葉で、「^{ホンチ}本治」というんです
けど、
- 126 回 もとをなおすという、
「本治」という、//言い方をしますけども一、
- 127 回
- 128 回
- 129 司 はい。
- 130 回 その一、体質治療がうまくいきますとですね一、
今度は、あー、症状のほうですね？
- 131 回
- 132 回 まあ、これは、「^{ヒョウチ}標治」というんです。
その、標本の標ですね？
- 133 回
- 134 司 ええ。
- 135 回 えー、かかげるという、
そういう、標本の標のほうも、症状のほうも、ある程度、それに伴って良くなる。
- 136 回
- 137 司 はい。
- 138 回 それでも良くならない場合は、
また、別の、症状のためだけの薬を//取り寄せると、
- 139 回
- 140 司 ふーん。
- 141 回 いう、まあ、二段構えで、基本的にはいくんです。
あーそうですかー。
- 142 司
- 143 回 ええ。
- 144 司 例えば、何か、こう、よく相談のある例で、//お話して頂くと、
まっ、
- 145 回
- 146 回 例えば一、まあ、アトピー性皮膚炎なんか、//最近多いですけど、
はい。
- 147 司
- 148 回 そういう時でもありますね、
アトピーの状態ですから、
- 149 回
- 150 回 皮膚に症状があるわけですよ。
ええ。
- 151 司
- 152 回 じゃあ、皮膚の漢方でも、皮膚の薬たくさんありますから、
そういうものをすぐにあげればいいのかっていうと、
- 153 回
- 154 回 そうではない。
はい。
- 155 司
- 156 回 その患者さんが、皮膚は乱れていて、
もう、汁が出てくるぐらい悪くてもですね、
- 157 回
- 158 司 うん。

159 回 じゃあ、体質はどこが悪いのかと、
160 回 意外とですね、アトピーの人っていうのは、消化機能が弱いことがあるんです。
161 司 あー。
162 回 で、消化機能が弱い場合は、
163 回 漢方では、あの、「気」が乱れていると、
164 司 はい。
165 回 考えましてですね、
166 司 ええ。
167 回 それ、それを整える薬をしばらく飲んでもらうんです。
168 司 うんうん。
169 回 それから、それでも残っている皮膚の症状に対して、
170 回 今度は、皮膚の漢方薬を飲んで頂くと、
171 回 非常に早く治り、//治るわけですね。
172 司 うーん。
173 回 で一、またはですね、え一、現代は、もう、別に江戸時代じゃ {笑い} ないですか
ら一、
174 回 あの一、漢方薬で体質治療をして、
175 回 そして、皮膚に残っている症状は、ステロイドの、弱いステロイドの入った軟膏をつ
けてもらって、
176 回 え一、治すと、
177 司 うん。
178 回 そういう、漢方と西洋薬の組み合わせも、勿論いいわけなんです。
179 司 はい。
180 回 で、その場合でも、大切なのはですね、
181 回 この一、お一、この一、「本治」といいまして、
182 回 体質のほうは、漢方できちんと治していくという考え方ですね？
183 司 ええ。
184 回 これが、非常に大事なんです。
185 司 はい。
186 回 お一、その逆をやってしまうとですね、
187 司 ええ。
188 回 いくら漢方薬だけを使って治療していても、
189 司 ふーん。
190 回 漢方的な治療とはいえない場合もある//わけですね。
191 司 あー。
192 司 今、お話を伺っていますと、
193 司 とにかく、体質を改善してから、
194 司 それから、こう、表面に出ている、//症状、について、
195 回 ええ。
196 司 今度は治していきましょうというお話ですが、
197 回 ええ。
198 司 例えば、アトピー性皮膚炎、ちょっと私自身は、そうではないので、
199 司 //よくわからないのですけれどもね？
200 回 ええ。 {笑い}
201 司 「かゆい。
202 回 ええ。
203 司 非常にかゆい。
204 司 とにかく、もう、かゆみを早く取ってほ//しい。
205 回 ええ。
206 司 それは、もう、体質よりも何よりも、とにかくこのかゆみを取ってほしいのだ。」と
いう//この訴えのほうが、//先に来るん、じゃないかな//と、思うんです//が一。
207 回 ええ。
208 回 ええ。
209 回 ええ。
210 回 ええ。
211 回 そういう時はですね一、
212 司 ええ。
213 回 漢方のほうでも、今は、あの、分解して、
214 回 そう言ってる//わけですけど一、
215 司 ええ。

216 回 その一、体質と症状を、一緒にね？
 217 司 ええ。
 218 回 そうは言っても、患者さんには苦しみがあるんだか//ら一、
 219 司 はい。
 220 回 その苦しみを除いてあげるのも医療なわけで一、
 221 司 ええ。
 222 回 その両方が入ったような薬も、ある//わけです。
 223 司 勿論、両方並行してくこともあるわけ//です
 ね一。
 224 回 そう、も、あるんです。
 225 回 ただ考え//方としてですね、
 226 司 はい。
 227 回 どっち、その、両方平行して治療する場合でも、
 228 回 どちらが大切かと、//いうとですね、
 229 司 うーん。
 230 回 この「本治」の、体質治療のほうに、重点を置いているのが、漢方治療ですよ。
 231 司 あ一//一。
 232 回 で、西洋医学的な治療っていうのは、どちらかというんです
 ね、
 233 回 ウェイトとして、
 234 回 症状のほうに、こう、ウェイトが来ちゃうことがあります ね？
 235 司 ええ。
 236 回 あの、かゆみを止めるんだったら、
 237 回 すぐ、ステロイドだとか//ですね、
 238 司 はい。
 239 回 そういう、かゆみ止めの、//錠剤とか、そういうふうになってきて、
 240 司 うーん。
 241 回 こう、症状のほうにウェイトがあるんですけど、
 242 回 漢方のほうは、体質のほうにウェイトがあるんだと、
 243 司 はい。
 244 回 いうことなんですね。
 245 回 ですから、あの一、治療としては、両方とも、患者さんの苦痛を取り除くという点で
 は、同じですけども、
 246 司 ええ、ええ。
 247 回 それぞれの薬とか、治療法に特徴があるわけです。
 248 司 あ一。
 249 司 ええ。
 250 司 そうしますと、普段は、そんなに、こう、なんの症状も出てない、元気な人にとって
 は、まあ、漢方というのは、あんまり縁のないところであります（か）？
 251 回 まあ、あの一、ご高齢になりましたらね？
 252 司 ええ。
 253 回 あの一、体質を維持するために、
 254 回 お飲み、続けてお飲みになるということはあると思いますが、
 255 回 まあ、若くて、
 256 回 元気な人がですね、//無理に飲むということでもないわけです。
 257 司 ええ。
 258 司 はい。
 259 回 ええ。
 260 回 それは、必要ないと思います。
 261 回 ただ、薬ですから、
 262 回 あの一、不用意に飲んでいるとですね、
 263 司 ええ。
 264 回 それは、いくら漢方でも、副作用を起こすことがありますので、
 265 司 //あ一。
 266 回 そういう点は、注意しなければいけないと思い//ます。
 267 司 いや、何かの予防のために、
 268 回 ええ。
 269 司 え一、ちょっと、胃でも強くしようかなと思って、
 270 司 飲むというものでは//ないんですね？

大 話 段	小 話 段	話 段	
			271 回 それは必要ないと思いますね。
			272 司 はい。
			273 回 はい。
			274 回 ですから、あの一、今、わたしが、あの、申し上げたいのはですね、漢方薬と西洋医学的な治療っていうのは、矛盾するというものではないということですね？
			275 司 ふーん。
			276 回 両方とも特徴がありますから、
			277 司 はい。
			278 回 その特徴をわきまえて、
			279 回 一緒に使って頂く場合もあると、ということなんです。
			280 回 で、//最近は、漢方薬をお使いになっている先生方はですね、そういう立場で、//使っている先生が非常に多いと思います。
			281 司 はい。
			282 司 ふーん？
			283 司 はい、そうですかー。
			284 司 はい。
Ⅲ 番 組 継 続 の 大 話 段			285 司 さあ、では、この後2時台は、漢方についての電話相談を致します。
			286 司 さあ、ここで、お知らせです。
			287 司 財団法人伝統文化活性化国民協会では、伝統文化を考えるというシンポジウムを、文化庁やNHKなどの後援で開催します。
			288 司 開催日時は、11月27日土曜日、
			289 司 午後1時30分から。
			290 司 場所は、東京千代田区の虎ノ門ホールです。
			291 司 シンポジウムでは、東亜大学学長のYMさんの基調講演のほか、
			292 司 パネルディスカッションが開かれます。
			293 司 参加ご希望の方は、官製はがきに、住所、氏名、年齢、電話番号をお書きの上、
			294 司 郵便番号、151の0051、
			295 司 151の0051、
			296 司 伝統文化活性化国民協会までお申し込みください。
Ⅴ別番組			297 司 電話番号は、03、5786、0356。
			298 司 03の57860356です。
			299 司 申し込みの締め切りは、11月10日です。
			300 司 お知らせでした。
Ⅲ 番 組 継 続 の 大 話 段			301 ー 《ニュース》
			302 司 ラジオホットタイム、今週は有江活子のご案内役です。
			303 司 さあこの2時台、先程に続いて、
			304 司 「あなたの健康家族の健康」、漢方についてお伝えいたしましょう。
			305 司 この時間は、みなさんからお電話を頂きながら、
			306 司 えー東京大学助教授の、TM先生にお答え頂きます。
			307 司 T先生よろしく願/い致します。
			308 回 はいよろしく願/いします。
			309 司 えー、この時間もみなさんから相談の受け付けをしています。
			310 司 受付電話番号は03、34858588、03の34858588番です。
Ⅱ 1 電 話 相 談 の 談 話	B 相 談 か け の 話 段	B 1 相 談 提 示 の 小 話 段	311 司 では、初めの方です。
			312 司 T県にお住まいのSKさん、58歳の方、ご本人からの相談です。
			313 司 20代から、えー、大変ひどい冷え性に悩んできました。
			314 司 で、5、6年前からは、後頭部から頭全体に、痛みが出てきて、
			315 司 それと同時に、首や肩こり、そして、目、目がショボショボするような症状が出ます。
			316 司 食事とは関係なく、胃がつかえる感じもあります。
			317 司 で、頸椎や腰椎に変形があり、
			318 司 週1回りハビリに通って、
			319 司 通うと、少し症状が緩和されるということなんです、
			320 司 えーこの様々な症状、を和らげ、和らげるための漢方薬があれば、
			321 司 教えてくださいという相談です。

大
話
段

小
話
段

A 相 談 開 始 の 話 段		322 司	S Kさん？
		323 相	はい。
		324 司	はい、こんにちは。
		325 相	はい、//こんにちは。
		326 回	こんにちは。
		327 相	//よろしく願い致します。
		328 司	(お待たせ) しました。
B 相 談 か け の 話 段	B 2 相 談 内 容 確 認 の 小 話 段	329 司	はい。
		330 司	T先生お願いし//ます。
		331 回	え、S Kさんね？
		332 回	あ//の一、
		333 相	はい。
		334 回	まっ、強い冷え性ということなんですけども、
		335 相	はい。
		336 回	どのばた、どの辺りが一番冷えますか。
		337 回	//足ですか、
		338 相	あっ、
		339 回	腰で//すか。
		340 相	ええ、足一とですね、
		341 回	ええ。
		342 相	それからあの一、動いているときはいいですけど、
		343 相	食事などでこう、座りますね一、
		344 回	ええ。
		345 相	そうすると、股間ていうんですか、
		346 回	ええ。
		347 相	あの一、スカートの、脇の縫い目があ//りますね一、
		348 回	ええ、ええ。
		349 相	その辺一、で、こう、折れるところ、
		350 回	ええ。
		351 相	あの一、足を上げると折れるところありますね。
		352 回	ええ。
		353 相	その辺の周辺から膝の上辺りにかけてが、特に冷えます。
		354 回	ああ。
		355 回	その時に足がむくむとかですね、
		356 回	色が変わってるとか、
		357 回	そういうことありますか？
		358 相	あーそういうのはないん//ですけれど。
		359 回	そういうのはないんですね？
		360 回	とに//かく冷え性(っていう)。
		361 相	履いてないですが。
		362 回	夜寝てるときどうですか？
		363 相	寝てるときも一冷えて
		364 相	あの夏でも靴下は離さ// {笑い} ないです。
		365 回	あーそうですか、ええ。
		366 回	夏でも靴下を履いてる人はまあ、かなりの冷えですね一。
		367 相	はあ//一一。
		368 回	ええ。
		369 回	それとですね、
		370 相	はい。
		371 回	S Kさんはあの一、のぼせたり、
		372 回	火照るようなことはありますか。
		373 相	あっ、それもあります。
		374 回	ありますか。
		375 相	はい。
		376 回	ええ。
		377 回	あの一、こういうふうですね、
		378 相	はい。
		379 回	冷え性、冷える冷えるっていうふうに、おっしゃる患者さんの中にはですね一、
		380 相	はあ。
		381 回	この、必ずのぼせを伴っているんですね？

382 相 はー。

383 回 で一、逆にですね、

384 回 あの、のぼせで来る患者さんもいらっしゃるんですよ。

385 回 のぼせてしょうがないと、

386 相 はー//はー。

387 回 う、顔に、顔が火照ったり、

388 回 汗かいて、

389 回 みつともないと。

390 相 あっ。{笑い}

391 回 なんとかのぼせを治してくださいという相談の時はですねー、

392 回 よーく伺ってみますと、

393 回 足が冷えてるんですよ。

394 相 はあー。

395 回 ところが、その自分で一患者さんご自身が気になる場所が違うんですね？

396 相 はあー。

397 回 この一、お一、S Kさんの場合は、足が冷えるのが気になると。

398 相 はい。

399 回 うん。

400 回 でものぼせもあると、

401 相 はい。

402 回 お一、いうことですね？

403 相 りんご病一じゃないかしらと思うくらい、

404 相 三日ぐらい火照ったあの一、ほっぺが赤く// {笑い} なっているようなことも、
あー {笑い} 赤くなっちゃう、うんうん

405 回 そういう、

406 相 時としてはあるんで//すけれど、

407 回 ある(?) ね？

408 相 //はい。

C C 409 回 だからあの一、つまりですね、

相 1 410 回 そういうことからもおわかりになりますように、

回 411 相 はい。

412 回 冷えるということは、あの病的なあの血管に異常があって冷える場合もあるんですけれども、

413 相 はあ。

414 回 あの多くの場合はですねー、

415 回 血液の分布といいますか循環のムラなんですね？

416 相 //はあー。

417 回 上半身のほうに行っちゃって、

418 回 下半身にあんまり行かないと、

419 相 はあ。

420 回 という状態で、

421 回 ムラが出ちゃってんで、

422 回 上がのぼせて一暑いのに、

423 相 はい。

424 回 腰から下が、妙に冷えちゃって、

425 回 どうしようもないと。

426 相 は//あ。

427 回 夏でも寒いと、

428 相 はい。

429 回 いうことが起こっている訳なんですね？

430 相 あーそうで//すか。

431 回 ええ。

432 回 ですから一、丁度、そういう、体のまあいわば、調節一、機能の異常ですね？

433 相 はあ//一。

434 回 体の調節の異常というのは、

435 回 漢方がわりに得意なところなんですよ。

436 相 あーそうです//か。

437 回 で、ここですね、

438 相 はい。

439 回 このうんと体を一、こう、強くあつためるような薬をたくさん飲んでも、
440 回 また、上の一、のぼせがひどくなっちゃうんですね？
441 相 あー//一。
442 回 だから一あの一少し弱めの漢方薬からお使いになっていくといいと思います。
443 相 あ、そうです//か。
444 回 それで一、あとですね、
445 回 S Kさんの場合は、他に胃腸症状もありますし一、
446 相 はい。
447 回 え一、まあ頸椎と腰椎の変形で、
448 回 どのくらいか、あの一ラジオではわかりませんが、
449 回 まあ年齢のわりには、骨粗鬆症が進んでいるということも、
450 回 一応疑われますよね？
451 相 あーそうですか。
452 回 ええ。
453 回 ですからやっぱり虚証ですね？
454 相 //はあ。
455 回 体力のない、
456 相 はい。
457 回 体に予備能力のない体質ですので、
458 相 ええ。
459 回 そういう時にはですね、
460 回 まあ一般的には、例えば、あ一「^{トウキ シギヤカ ゴシュ ショウキョウドウ}当帰四逆加呉茱萸生姜湯」っていう薬ですね？
461 回 ちょっと長いんですけど。
462 相 はあ、とうき、しーしー//ぎゃくか。
463 回 「とうきしぎゃくかご//しゅゆしょうきょうとう」っていう薬が//あるんですよ。
464 相 はい。
465 相 ごしゅうよ。
466 回 呉茱萸生姜湯っていうような//薬ですね？
467 相 はい。
468 回 え一、それからまあ、胃腸の、症状とか、
469 回 あの一そういうのを、もう少し、い一、早く治したいということであればです//
470 相 はい。
471 回 まあ「^{ハンゲ ヒャクジュツ テンマトウ}半夏白朮天麻湯」、
472 回 というような薬ですね？
473 相 はい。
474 回 え一、それからあと、「^{ウンケイトウ}温経湯」なんていう薬も使います。
475 相 うんけいとう。
476 回 そうです//ね。
477 相 はい。
478 回 それからあの一、まあ、冷えと一緒に、関節にいろいろと変形があつて、
479 回 関節が痛む、という場合にはですね//一、
480 相 はい。
481 回 え一、「^{ソケイ カクケツトウ}疎経活血湯」とかですね、
482 回 「^{ケイシカジュツトウ}経枝加朮附湯」という薬があります。
483 相 そけい？
484 回 「^{ソケイカクケツトウ}疎経活血湯」です//ね一。
485 相 かけつ、
486 回 //ええ。
487 相 はい。
488 回 そういうふうな薬もあつて、
489 回 まあいろんな薬があるんですよ。{笑//い}
490 相 は一は一//は一は一。
491 回 ですからあの一、
492 回 う一、ラジオだけでは、ど、どれかすぐ、絞る、訳にいかないんですけども//一、
493 相 はい。
494 回 まああの一、自分の症状に合った薬を、

495 回 おー、その、近くのしゅ、その先生と相談しながらですねー、
496 相 はい。
497 回 選ばれるといいと思います。
498 相 あーそうですか。
499 回 ええ。

C 500 相 えーと今あの一、お聞きしましたところね？
2 501 回 ええ。
回 502 相 えーと一、化学薬品、っ//ていいですか？
答 503 回 ええ。
確 504 回 ええ。
認 505 相 そういうものしか扱っていないっていう一、
の 506 相 //ことなんですね？
小 507 回 あっ、
話 508 相 //わたしが、
段 509 回 そうですか、//ええ。
510 相 はい。
511 相 あの一、リハビリ受けているところはですね。
512 回 ええ。
513 相 はあ。
514 回 あの一、まあ、
515 相 そしたら、
516 回 必ずですね、
517 相 はい。
518 回 あの一、一つの町に何人かは、
519 相 //はあ、
漢方に詳しい先生がいらっしゃいますので//です
520 回 ねー、
521 相 あーそうですか、//はい。
522 回 ええ。
523 回 ちょっとあの一、みんな口コミで、そういう先生がいらっしゃるかどうか、
524 相 ええ。
525 回 またはあの一、インターネットが得意な人はですね、
526 相 はい。
527 回 そういう、ホームページもあります//で、
528 相 は一//一。
529 回 そういうのを検索されるとですね、
530 相 はい。
531 回 あの一、すぐに、自分の家の近くに漢方の得意な先生が、わかります。
532 相 あっそうで//すか。
533 回 ええ。
534 相 そう//いうあの一、
535 回 そ、
536 相 科によって、得意不得意というふうに、なるんで//しょうか。
537 回 いや、そうじゃなくてですね、
538 相 はあ。
539 回 {咳} 今はあの一、かなりの先生方が一、
540 相 うん。
541 回 まあ例えば整形外科の先生でも、
542 相 はい。
543 回 漢方をお使いになる先生が、あー千葉のほうにもたくさんいらっしゃいます。
544 相 あーそうですか。
545 回 ええ。
546 相 はい。

C 547 回 それからですね、今、あの最後にちょっと言いそびれましたけども、
1 548 回 えー、まあS Kさんは違うようですけども、
回 549 回 患者さんによってはですね、
答 550 相 はい。
提 551 回 冷えがあるのに、
供 552 回 気になるのは、実はのぼせだっておっしゃる患者さんもういらっしゃるって、

大 話 段	小 話 段	話 段	小 話 段
	の 小 話 段	553 相 //	はい。
		554 回	先程申し上げましたけども//一、
		555 相	はい。
		556 回	そういう時に飲んでもらう薬も一漢方でありましてですね、
		557 相	はあはあ。
		558 回	えー、例えば「 ^{ケイブクリョウガン} 桂枝茯苓丸」とかですね、
		559 相	はい。
		560 回	「 ^{カシヨウヨウサン} 加味逍遙散」、
		561 相	はい。
		562 回	またはあの「 ^{ウンセイイン} 温清飲」のような薬ですね、
		563 相	はあ。
		564 回	こういうような薬を飲んでもらいますと、
		565 回	おー、のぼせがひどくて、
		566 回	でも冷えもあると、
		567 相	はあ。
		568 回	うー本人が気になるのはのぼせという時には、
		569 回	そういう薬が効くんです。
		570 相	はあはあはあはあ。
		571 回	ええ。
		572 回	で、あの一、しょう、ある症状はおんなじなんですけど、
		573 回	あの、本人の、気になりかたによってですね、
		574 相	はい。
		575 回	使う薬を、お//一、
		576 相	あーはあはあはあ。
		577 回	おー、が違ってくるという、
		578 相	あー//一、そうですか。
		579 回	それがまあ漢方のおもしろさですね？
		580 相	ははははは一。
		581 回	ええ。
	C 2 回 答 確 認	582 相	はい、じゃあ//やはり、きちんと先生に診て頂いてと//いうことがよろしいと。
		583 回	はい。
		584 回	そのほうがいいと思います
		585 回	ね？
		586 相	そうですね？
		587 司	はい。
		588 相	はい。
	D 相 談 終 了	589 相	はい、//どう、
		590 司	お大事になさって//ください。
		591 相	はい、ありがとう//ございました。
		592 司	失礼いたします。
II 2 電 話 相 談 の 補 足 解 説 の 大 話 段		593 回	{咳}
		594 司	(そうですか、) 血液循環のムラで、
		595 司	こう、上ばかり回って、
		596 司	下になかなか//こう、循環がうまく働かな//いということも、
		597 回	そうですね。
		598 回	ええ。
		599 司	あり得るんですね//一。
		600 回	ええ、でその患者さんは、気になるところが//違うんです。
		601 司	ええ。
		602 回	人によってですね。
		603 司	ええ。
		604 回	で概して言うそうですね、
		605 回	体力が比較的人のほう、
		606 司	はい。
		607 回	のぼせのほう、
		608 回	冷えがあっても、

大 小
話 話
段 段

609 回 のぼせ//が気になるんですね？
 610 司 はい。
 611 司 ええ。
 612 回 若い人とか//ですねー。
 613 司 ええ。
 614 回 えーところが、こう体力が落ちてくる、
 615 回 漢方のほうではそういう人を「^{キョウウ}虚証」と言いますね？
 616 司 はい。
 617 回 虚証の人とか、ご高齢になってくると、
 618 司 ええ。
 619 回 冷えが気になるんです。
 620 回 で、でものぼせてるんです。// {笑い}
 621 司 ええ。
 622 回 ええ。
 623 回 //そういうふうですね、
 624 司 はー。
 625 回 やっぱ体力の状態によって、
 626 回 この一気になるところが違ってくるんですね？
 627 司 //はい。
 628 回 同じ症状があっても、
 629 回 違ってくるんです。
 630 司 なるほど。
 631 司 はい。

Ⅱ 1 電話 相談 の 談 話	B 1 相 談 か け の 話 段	B 1 相 談 提 示 の 小 話 段	632 司 では、続いての方です。
			633 司 Nにお住まいのMMさん、
			634 司 小学校4年生のお嬢さんについての相談です。
			635 司 お父さんからの相談です。
			636 司 数年前から、鼻炎症状が始まりました。
			637 司 鼻づまりで、激しく、鼻水を、こう、出そうと鼻をかむということが続いているよう です。
			638 司 耳鼻科で1年前に、
			639 司 血液検査を受けたところ、
			640 司 ホコリとダニに反応がありました。
			641 司 で、今は、対処療法で治すということで、治療を受けてらっしゃるのでしょうか。
			642 司 このアレルギー性鼻炎について、
			643 司 よい漢方薬があれば、教えてくださいという相談です。
			644 司 もうおひとかた、T県のTNさん。
			645 司 えー、17歳の高校2年生の方について、
			646 司 おか、お母さんから、やはり、アレルギー性鼻炎についての相談、寄せられています けれども、
			647 司 えー、T県のTNさんも一緒に聞いて頂きたいと思います。
			648 司 お電話は、N県のMMさんにつながっています。
A 相 談 開 始 の 話 段			649 司 MMさん？
			650 相 はい。
			651 司 はい、こんにちは。
			652 相 //あつ、こんにちは。
			653 司 お待たせ致しまし//た。
			654 相 よろしくお願ひ致し//ます。
			655 司 はい。
			656 司 T先//生お願いします。
B 相 談 か け の 話 段	B 2 相 談 内 容 確 認 の 話 段		657 回 MMさん、
			658 相 はい。
			659 回 あのー、おー、症状が、こういうアレルギー性鼻炎の//症状があるのは、お嬢さんだ けですか？ご家族の中で。
			660 相 はい。
			661 相 あのー、私自身がですねー、
			662 回 ええ。
			663 相 アレルギー性鼻炎で、
			664 回 あー、お父//様が、ええ。

大 話 段	小 話 段	小 話 段	小 話 段
		665 相	特に花粉症が、ここ3年ほど、
		666 司	あー。
		667 相	ひどい状況なんですけどもー。
		668 回	はい。
		669 相	はい。
		670 相	あの一、こ、子供の時から、
		671 相	ちょっと、ホコリを吸いすぎると、
		672 相	わ//たし自身も、あの、くしゃみ出ましたりとか、
		673 司	//うん。 そういうことあったんですけど
		674 相	もー、
		675 回	ええ。
		676 相	あの一、で、あと一、アレルギー性鼻炎は、ほかの家族にはおりません。
		677 回	そうですか。
		678 相	はい。
		679 回	はい。
		680 回	じゃあ、お父さんの体質が、
		681 相	{笑い} そう//ですね。
		682 回	(?) か//ねー。
		683 相	困ったことになって。
		684 回	まあ、確かにそういうことありますねー。
		685 回	あの一、娘さんのほうは、//お父さんの体質。
		686 相	はい。
		687 相	そう//です。
		688 回	で、息子さんのほうは、お母さんの体質、
		689 相	は一は一//は一。
		690 司	は一。
		691 回	ってというのが、一般的ですね？
		692 相	は一は一//は一。
		693 回	ええ。
		694 回	わりにそういうことが//多いと思います。
		695 相	えーえーえーえー。
C 相 談 う け の 話 段	C 2 回 答 提 供 の 小 話 段	696 回	それで、まあ、あの一、こう、アレルギーがある時ですね、
		697 回	//特に、家の中のホコリとか、//ダニーにある時はですね、
		698 相	はい。
		699 相	ええ。
		700 相	はい。
		701 回	やはり、一つは、あの、環境の整備ですね？//家の。
		702 相	はい。
		703 回	家の中をきれいに整えるということ//は、とても大事です ね？
		704 相	はい。
		705 相	えーえー。
		706 回	風通しを良くしてですねー。
		707 相	はい。
		708 回	それから、あの一、ダニが発生すると、
		709 回	みなさん、神経質になって、
		710 相	ええ。
		711 回	あの、掃除機、一生懸命かけるんですけど//ども、
		712 相	はい。
		713 回	掃除機よりもー、おー、まあ、化学ぞうきんとかですねー、
		714 相	えーえーえー。
		715 回	それからー、あと一、その、棚の上の掃除が大事なんです。
		716 相	はあ//はあはあ。
		717 回	カーテンとか//ですね。
		718 司	うーん。
		719 相	え//え。 あの一、そういう、上のほう、から、ホコ//リが落っ
		720 回	こってきますのでー、
		721 相	うんうん。
		722 相	はい。

723 回 床をきれいにばっかしてて//も、しょうがないんですね。
724 相 えーえーえー。
725 司 うん。
726 相 はい。
727 回 (だから)、バランスを取って、
728 回 きれいにして、
729 相 ええ。
730 回 やはり、ホコリを、ホコリ、ダニを減らす、
731 相 はい。
732 回 努力が必要です//ね？
733 相 えーえー、そうです//ね。
734 回 ええ。
735 回 それから、ダニは、あの一、どうしても、お一、カビを食べて、
736 相 はい。
737 回 ダニがまず発生して、
738 相 えーえー。
739 回 そのダニをまた、ほかのダニが食べて増えて//くるとい、
740 相 は一は一は一。
741 回 こういう一、この一、
742 相 //はい。
743 回 食物連鎖みたいなのがありま//すので、
744 相 えーえーえー。
745 回 えー、まずは、カビが生えてないかどうか、
746 相 はい。
747 回 そういうのもチェックする必要があると思いま//す。
748 相 はい。
749 回 えー、それですね、
750 相 はい。
751 回 まあ、実際に、そういう時には、
752 相 //はい。
753 回 //一、
754 相 はい。
755 回 まあ、小学校4年生ですから、
756 相 はい。
757 回 まあ、大体、飲んでもらえる年齢に近づいてきてるとは思いま//すけども、
758 司 ふーん。
759 相 そうですね。
760 回 //ええ。
761 相 わりと、ちょっと我慢して、
762 相 飲//むようにはなっていますけど。
763 回 ええ、中には、あの一、{笑い} 飲むのを、
764 相 えーえーえー。
765 回 あの一、拒絶するような、
766 相 あっ、はい。
767 回 お子さんも、//いらっしゃるのでですね、
768 相 ええ。
769 相 はい。
770 回 えー、そんなに強い薬は飲めないんです//が一、
771 相 はい。
772 回 一番一般的には、あ//の一、「葛根湯」か「^{センキュウシンイ}川芎辛夷」という薬ですね？
773 相 はい。
774 相 えー、「せんきゅうしんい」ですか。
775 回 ええ。
776 相 はい。
777 回 この薬飲みますとですね一、
778 相 はい。
779 回 あの一、まずは、風邪の予防にもなります。
780 相 は一は一は一//は一。

781 回 がひかなくなってます//ね、
782 相 はい。
783 回 風邪をひくと、
784 回 どうしてもこういう体質の子は、鼻が、鼻に来てしまってます//ねー、
785 相 はい。
786 回 症状が悪化しますけど//もー、
787 相 えーえーえー。
788 回 まあ、風邪の予防にもなるという//ことで、
789 相 はい。
790 回 えー、しかも、比較的飲みやすい薬//ですの一、
791 相 あーそうですか。
792 回 これが、まず、第一適用になると思いま//す。
793 相 はい。
794 相 えーえー。
795 回 で、そのほかですね一、
796 相 はい。
797 回 あの一、「葛根湯」か「^{センキュウシンイ}川芎辛夷」飲むと、
798 相 はい。
799 回 ちょっと、あの、眠れ、
800 回 特に、寝しなに飲むと、
801 回 眠れなくなったり、
802 相 は一//は一は一。
803 回 興奮する子もおりますので、
804 相 はい。
805 回 そういう時はですね、
806 相 はい。
807 回 まあ、「^{ショウセイリュウノウ}小青竜湯」というくす//りが//いいと思います。
808 相 はい。
809 相 えーえーえー。
810 回 これ//も、一般的な薬なんですけど//も一、
811 相 はあはあ。
812 相 そうですね一、はい。
813 回 ちょっと酸っぱいですが一、
814 相 えーえー。
815 回 あの一、これなんかもいいと思います。
816 相 はい。
817 回 えー、しかし、あの一、非常に症状が長引いてきたような、
818 相 ええ。
819 回 うーん、鼻も、ちょっと色がついてくる//ようなですね、
820 相 うんうん。
821 回 //そういうような時には、
822 相 はい。
823 相 はい。
824 回 あの一、「^{ケイカイレンギョウユ}荊芥連翹湯」とかですね、
825 相 は一は一。
826 回 し、「^{シンイセイハイノウ}辛夷清肺湯」という薬、これを少し長めに飲むんですね？
827 相 はい。
828 回 ええ。
829 回 そうすると、体質がよくなってきてですね、
830 相 は一は一は一。
831 回 鼻が止まってきますが、
832 相 えーえー。
833 回 あの一、いずれの場合もですね、
834 相 はい。
835 回 あの一、鼻をよくかむ訓練が//必要ですね。
836 相 は一は一。
837 相 えー//えー。

838 司 //ふーん。
839 回 性鼻炎とかですね、 で一、あのー、よく、アレルギー
840 相 は//い。
841 回 そういうのがある子供は、
842 相 ええ。
843 回 あの、食欲がなくなったり、
844 回 こう、や//せてきたり、
845 相 はい。
846 回 顔が青白くてです//ね、
847 相 ええ、ええ。
848 回 あのー、う、外来にお越しになると、
849 回 もう、す//ぐ、症状聞かなくてもわかるん//ですよ。
850 相 はい。
851 相 はあはあ、そう//（ですか。）
852 回 そういう、独特の顔つきになっ//てくるんです。
853 相 えーえーえーえー。
854 回 お子さんとアレルギーのある子はです//ね？
855 相 はい。
856 司 ふーん。
857 回 で、それは、なぜかっていうとです//ね、
858 相 ええ。
859 回 鼻が悪いからなるんじゃないんです、これ。
860 相 //はい。
861 回 鼻を飲み込んでしまうんです。
862 相 //はあ。
863 回 そうするとですね、
864 相 はい。
865 回 いくら鼻をかんでも、
866 回 前のほうへうまく出ないんで、
867 相 はあはあはあ。
868 回 鼻をこう、後ろにすすってしまうんですね？
869 相 ええええ。
870 回 そして、飲み込んでしまうと、
871 相 はい。
872 回 この、ホコリとか、ダニを吸い込//んで、
873 相 うーん。
874 回 アレルギー反応起こした鼻水が//ですね、
875 相 はい。
876 相 ええ。
877 回 胃腸のほうに行っちゃうわけですよ。
878 相 はーはー//はー。
879 回 飲み込みますから。
880 相 はい。
881 回 「鼻後鼻漏」^{ビョウビロウ}つつって、
882 回 後ろ、鼻の後ろから回って、
883 相 はい。
884 回 胃腸のほうに行ってしまう。
885 相 えーえーえー。
886 回 そうすると、このー、アレルギー反応起こしたものが、今度、//胃腸の上で、反応起
こすわけですよ。
887 相 はい。
888 相 あ//ー、なるほど、はい。
889 司 ふーん。
890 回 胃や腸で。
891 相 はい。
892 回 そして、そのためにですね、
893 相 ええ。
894 回 食欲がなくなったり、
895 相 ええ。

896 回 体がだるくなったり、
897 相 はい//はいはい。
898 回 こう、体力が落ちてきたり、
899 相 はい。
900 回 集中力がなくなってきたり//とかね？
901 相 うんうんうん。
902 相 はい。
903 回 いろんなことが起こってくるわけ//なんです。
904 相 えーえー。
905 回 ですからー、そのー、アレルギー反応起こした、
906 相 はい。
907 回 鼻汁をですねー、
908 相 ええ。
909 回 必ず外に出すと。
910 相 はいはい。
911 司 //うーん。
912 回 それを、それには、鼻をかむしかないんですね？
913 相 えーえーえー。
914 回 これを励行しなきゃいけないんです。
915 相 はいはい//はい。
916 回 で、これができない子はです//ね、
917 相 はい。
918 回 その、体力がなかなか回復できない//んですよ。
919 相 あーそう//ですか。
920 司 あー。
921 回 え え。
922 相 はい。
923 回 で、先ほども申し上げました、//「葛根湯」か「せんきゅうしんい」はですね、
924 相 ええ。
925 相 はい。
926 回 これも、厳密に言いますと、少し胃腸に負担になる薬なんです。
927 相 うんうんうんうん。
928 回 そのためですね、
929 相 はい。
930 回 そのー、鼻をどうしてもすすってしまう子//は、
931 相 ええ。
932 回 一緒に、このー、この薬飲みますとで//すね、
933 相 なるほどー、{笑い} はい//い。
934 回 胃腸が、余計ー、し、//悪くなって、
935 相 ええ。
936 回 食欲が一時的に落ちること//があります。
937 相 はい。
938 相 ええ。
939 回 で、そういう子は、^{ショウセイリョウトウ}「小青竜湯」のちよつと酸っぱいですけど、
940 相 //はいはいはい。
941 回 そちらのほうが、
942 相 はい。
943 回 適用になります。
944 相 はいはい。
945 回 ええ。
946 回 でも、いずれにせよ、鼻をよくかむと。
947 相 あっ、そう//なんですか。
948 回 すると、
949 相 はい。
950 相 ええ。
951 回 ということですね？
952 相 あーそうですか。
953 回 ええ。
954 相 ありがとうございます//ます。

955 司 はい。
956 相 そして、// (?)
957 回 で、昔はですねー、
958 相 はい。
959 回 あのー、花粉症っていうのは、
960 相 はい。
961 回 日本では、春のことが多かったん//ですが、
962 相 えーえーえーえー。
963 回 最近は、子供でもですね、
964 相 はい。
965 回 秋に花粉症になってくる子が、
966 相 あっ、そういうよ//うに、うん、こともありますねー。
967 回 非常に、//多くなってきてますね。
968 司 あーー。
969 相 はい。
970 回 ええ。

C 971 相 で、あの、私の娘の場合、
2 972 相 ちょっと気になりますのが、まあ、あのー、かつては、ちょっと鼻をすする傾向が
回 あったもんですからー、
答 973 回 //ええ。
確 974 司 ええ。
認 975 相 それは、うちでよく言いまして、
の 976 相 あの、「鼻をかむように。」と。
小 977 回 ええ。
話 978 相 よくかむようになったんですけども、
段 979 相 で、食事もよくとりますし、
980 相 体力はあるようなんですけどもー、
981 相 ただ、鼻をかんでまして、
982 回 ええ。
983 相 で、鼻の奥のほうのが出ないという感覚らしくって、
984 回 ええ。
985 相 それを、こう、盛んにかむんですねー。
986 回 ええ。
987 相 ー//回二回って、紙あてても、
988 司 うーん。
989 相 一回二回じゃすまないで、
990 相 何回も何回も、こう、かむんですけども、
991 相 でも、奥のほうのは、なんか出てこない//っていう、
992 司 うん。
993 回 ええ。
994 相 そういうふうな、違和感があるらしくって、
995 回 ええ。
996 相 その辺が、特に、気になりまして、
997 相 なんか、あのー、鼻血でも出そうならいな {笑い} 勢いでかむもんです//から、
998 回 ええ。

C 999 回 まっ、それでもですね、
1 1000 相 はい。
回 1001 回 あのー、それは、もうすぐ出かかっている証拠だと//思います。
答 1002 相 えーえーえーえー。
提 1003 回 ですからー、
供 1004 相 はい。
の 1005 回 あのー、時々ですねー、
小 1006 相 はい。
話 1007 回 あのー、鼻をかみながら、
段 1008 相 え//え。
1009 回 か、か、かむー、かんでー、
1010 相 はい。
1011 回 で、耳鼻科の先生に、鼓膜だけはですね、
1012 相 はい。

大
話
段

小
話
段

1013 回 チェックして頂いて//もいいと思います。
 1014 相 あーなるほど。
 1015 司 うん。
 1016 回 それで、鼓膜をちゃんと//傷んでないか見な//がらですね、
 1017 相 はい。
 1018 相 ええ。
 1019 相 ええ。
 1020 回 それで、大丈夫でしたら、
 1021 相 はい。
 1022 回 そのまま、よく鼻をかますようにして頂//いたほうがいいと思います。
 1023 相 なるほど。
 1024 相 はい。
 1025 回 はい。
 1026 相 わかりました。
 1027 司 はい。
 1028 相 はい。

D
相
談
終
了

1029 司 どうぞお大事になさってください。
 1030 相 どうもありがとうございました。
 1031 回 はい。
 1032 司 はい。
 1033 司 失礼致します。
 1034 司 はい。

Ⅱ
2
電
話
相
談
の
補
足
解
説
の
大
話
段

1035 司 そうですね、
 1036 司 やっぱ小さいお子さんの場合は、
 1037 司 これは、こう、まあ、味といいますか {笑い} 、
 1038 回 ええ。
 1039 司 飲みづらいということで、
 1040 司 あの、漢方を敬遠する一場合が多いということで//すか？
 1041 回 そう//ですね。
 1042 司 それとも、小さくても、
 1043 司 やっぱり、あの一、いい漢方//は、
 1044 回 大体が//ですね、あの、子供の場合は、
 1045 司 飲ませたほうがいいですか？
 1046 回 自分の体質、つまり、病気を治すのに合っていると、
 1047 回 あの、かなり苦いものでも、すいすい飲んでくれることが多い//んです。
 1048 司 えーえー。
 1049 回 で、合ってないと、
 1050 回 拒絶すると、
 1051 司 はい。
 1052 回 ということなんで、
 1053 回 かえって、小児科の一、漢方専門の先生に言わせると、
 1054 回 「小児科のほう之乐だよ。」って、// {笑い} わたしなんかにもおっしゃるんです
 ね？
 1055 司 あー、そうですね。
 1056 回 ただ、そういうことがあります。
 1057 回 でも、
 1058 司 ええ。
 1059 回 あの、やはりですーね、
 1060 回 えー、とはいっても、
 1061 回 苦いものも結構ありますので、
 1062 司 ええ。
 1063 回 あの一、なかなか、特に、小学校上がる前ですね？
 1064 司 //うんうん。
 学暦の前、4歳から5歳ぐらい
 1065 回 をピークにして、
 1066 司 はい。
 1067 回 うー、なかなか飲んでももらえないこともあります。
 1068 司 あー。
 1069 司 やっぱ、甘いシロップのほうか飲みやすい {笑い} //ですもんね？//薬は。
 1070 回 {笑い} そうですね。

1071 回 まあ、それでも//まあ、今言いましたようにですね、
1072 司 はい。
1073 司 ええ。
1074 回 お子さんの場合、
1075 回 どうしても、この薬かな一つて、この、自信がない時 ですね、
1076 司 ええ。
1077 回 あの、漢方エキス製剤でも、2，3種類を、こう、お湯に溶いて、
1078 司 ふー//ん。
1079 回 そして、置いといて、
1080 回 「どれ、が、一番、飲みやすい？」って、子供に聞いてみるとですね、
1081 回 かなり苦いものでも、「これがいい。」って//言ってくれるんですね？
1082 司 あー。
1083 回 そうすと、それが、{笑い} た、体質改善に合ってるんです。
1084 司 ええ。
1085 回 で、そういう、最後は、究極の選択を本人にやらせると、
1086 司 {笑い} ええ。
1087 回 いう方法もあるんですよ。
1088 司 あー//そうですか。
1089 回 ええ。
1090 司 はい。
1091 司 //それ、
1092 回 あとです//ね。
1093 司 ええ。
1094 回 えーっと、この、TNさんの件ですね？
1095 司 はい。
1096 回 あのー、
1097 司 アレルギー性鼻炎、17歳、高校2年//生の方。
1098 回 高校生、もう少し、だから、//大きくなって
からですね？
1099 司 はい。
1100 司 はい。
1101 回 受験期の、お、お子さんですけどもー、
1102 司 はい。
1103 回 えー、こう、受験生はですねー、
1104 回 やっぱり、最近、あのー、「葛根湯」飲む人が、結構いますね？
1105 司 はい。
1106 回 一つは、あのー、おー、西洋薬の、この、鼻炎の薬 飲むと、
1107 司 //うーん。
1108 回 みんな眠くなっちゃうわけです。
1109 回 こう、抗//ヒスタミン剤が入ってますから、
1110 司 (?)
1111 司 えーえー。
1112 回 眠くなって、
1113 回 受験勉強できなくなっちゃう//わけですよ。
1114 司 そうですね。
1115 回 学習効率が落ちてしまうわけなん//ですね。
1116 司 はい。
1117 回 えー、漢方薬では、そういうことないんです。
1118 司 ええ。
1119 回 で、それどころかですね、あの、「葛根湯」のような漢方薬を飲んで頂きますと、
1120 回 中に、「麻^{マオウ}黄」という、薬、生薬が入っておりまして、
1121 司 はい。
1122 回 「麻黄」の中には、まあ、エフェドリンというですね、この、カフェインによく似た
作用をしてい//る、そういう物質が入ってるんです。
1123 司 ふーん？
1124 司 ちょっと覚醒作用//のある、
1125 回 そうです。
1126 回 起きるんですねー。
1127 司 ええ、ええ。
1128 回 目が覚めて、

1129 回 ぱっちり覚めてしまうしまう//薬。
 1130 司 はい。
 1131 回 ええ。
 1132 回 集中力が上がると//いう、そういうことで、風邪の予防にもなる、
 1133 司 あー、はーはー。
 1134 回 こう、集中力が増す、
 1135 司 うん。
 1136 回 えー、それから、鼻も止まってですねー、
 1137 回 そして、鼻炎にもいいわけですね？
 1138 司 うんうんうん。
 1139 回 それから、あの一、「葛根湯」というぐらいですから、
 1140 回 まあ、「葛根」、
 1141 回 葛の根が入ってるんですけど//も、
 1142 司 ええ。
 1143 回 葛の根はですねー、この一、お一、ちょうど、思春期の、青年期のいろんな雑念がで
 すね、
 1144 司 はい。
 1145 回 お一、こう一、しゅうちゅ、こう、の、取り除くような作用があるんですよ。
 1146 司 ふーん、うんうん。
 1147 回 まあ、リピーターみたいなものですね？
 1148 司 はい。
 1149 回 そういの、取り除いてくれますので、
 1150 回 やっぱり、あの、勉強に集中できるという//ことですね。
 1151 司 うーん。
 1152 回 あの、いつのまにか、風邪でもない受験生が、「葛根湯」飲むなんていう現象も見ら
 れるようになってですね、
 1153 司 はい。
 1154 回 そうですね、今から、あー、30年前はですね、
 1155 回 日本全国で、薬局で売られている「葛根湯」の販売量っていうのは、たかだか5億円
 ぐらいだったと言われてるん//です。
 1156 司 ええ、ええ。
 1157 回 現在はですね、その10倍近く、
 1158 司 あー。
 1159 回 売れるんですよ。
 1160 司 ええ。
 1161 回 それが、みんなお年寄りが飲んでんではなくて、
 1162 司 ええ。
 1163 回 若い人が飲んでるというですね、
 1164 司 ふーん。
 1165 回 そういう面白い現象もあるんです。
 1166 司 あー//そうですか。
 1167 回 あんまり知られてないことなんですけども、
 1168 司 ええ。
 1169 回 まあ、そういう一、「葛根湯」には、作用もあるん ですね？
 1170 司 ええ。
 1171 回 えー、まあ、アレルギーにも効くし、
 1172 回 この、神経のほうにも効くし、
 1173 回 全身状態もいい。
 1174 回 ただし、胃腸の丈夫な人にしてください {笑い} というのが、わたしからの注意です
 ね？
 1175 司 そうですか。
 1176 回 あの、胃腸の丈夫でない人が、「葛根湯」をいっぱい飲んでしまうと、
 1177 司 はい。
 1178 回 胃を荒らすことが、あったり、あります。
 1179 司 なるほど。
 1180 回 はい。
 1181 司 そうしますと、同じアレルギー性鼻炎でも、えー、小学校4年生、まあ、10歳ぐら
 いでしょうか、
 1182 司 11歳でしょうか、
 1183 司 の、子が飲むのと、

大 話 段	小 話 段	
		1184 司 17歳、
		1185 回 うん。
		1186 司 10代半ば、//が飲むの、
		1187 回 が飲むのは、とは、ちょっと、ちが、
		1188 司 全く違う//んですねー。
		1189 回 違うんですね、はい。
		1190 回 そこが、まあ、漢方のまた難しい//ところです。
		1191 司 ええ。
		1192 司 それは、体格に合わせて、
		1193 司 年齢に合わせて//っていうことになるんでしょうか。
		1194 回 年齢と体質、両方ですね？
		1195 回 両方加味して、
		1196 司 //ええ。
		1197 回 飲まなければいけないということですね？
		1198 司 はい。
		1199 回 ええ。
		1200 司 それから、ほかの症状、//によって、
		1201 回 もちろん。
		1202 回 ええ。
		1203 司 出てる//症状によって//も違うこと//なんですねー。
		1204 回 そうですね。
		1205 回 ええ。
		1206 回 はい。
		1207 司 はい、わかりました。
Ⅲ 番 組 継 続 の 大 話 段		1208 司 この時間は、えー、漢方についての電話相談をしています。
		1209 司 ただいまの時間も、えー、みなさんからの相談の受付をしています。
		1210 司 受付電話番号は、03、34858888。
		1211 司 03の34858888番です。
		1212 司 今日、みなさんからの相談にお答え頂いているのは、東京大学のTM先生です。
		1213 司 まあ、いろいろな、その、漢方薬の名前が出てきましたけれども、 これは、あくまでも、その、それぞれのみなさんの症状に、さまざまな複雑な症状に
		1214 司 合わせてお話をさせて頂いて//いるというふうに理解した//ほうが、よろしいでしょう か。
		1215 回 そうですね。
		1216 回 はい。
		1217 回 これ絶対にお薦めということでは{笑い} ないという//ことですね？
		1218 司 ええ。
		1219 司 ですから、//鼻、
		1220 回 ご参考にして頂け//れば。
		1221 司 はい。
		1222 司 鼻炎が出るから、
		1223 司 必ず「葛根湯」だ//っていうんでは//ないという、
		1224 回 ええ。
		1225 回 ないと。
		1226 司 ええ、そういう理解で、
		1227 回 はい。
		1228 司 いいわけですね？
		1229 回 はい。
		1230 司 はい。
		1231 司 さあ、では、電話相談、この後、音楽、ニュースをはさんで、
		1232 司 また続けて参ります。
		1233 司 T先生には少しお休み頂きましょう。
		1234 司 ではここで、ヴァイオリンの曲を聴いて頂きます。
		1235 司 ギル・シャハムのヴァイオリンの演奏で、
		1236 司 「懐かしい土地の思い出から」、
		1237 司 お聴きいただきましょう。
V別番組	1238	— 《音楽・交通情報》
のⅢ 大番	1239	司 ギル・シャハムのヴァイオリンの演奏で、
	1240	司 「懐かしい土地の思い出から」、

大 話 段	小 話 段	話 組 段	続 続	続 続	続 続
		1241	司	お聴きいただきました。	
		1242	司	時刻は、2時半に今なりました。	
		1243	司	では、この時間のニュース、小田切アナウンサーからです。	
		1244	司	どうぞ。	
V別番組		1245	—	《ニュース》	
大継Ⅱ		1246	司	では、「あなたの健康・家族の健康」、漢方についての電話相談、続けます。	
話続番		1247	司	お答え頂いているのは、東京大学助教授のTM先生です。	
役の紐		1248	司	みなさんからの相談の受付は、先ほど2時半で終了させて頂きました。	
Ⅱ	B	B	1249	司	では、続いての方、Tにお住まいのSTさん、59歳になる妹さんについて、お姉さんからの相談です。
1	相	相	1250	司	便秘についての相談です。
電	談	談	1251	司	5年前から、漢方薬の「センナ」を毎日飲んでいるということです。
話	か	提	1252	司	で、本人は、これを飲まないで、
相	け	示	1253	司	出ないのでということで、
談	の	の	1254	司	飲み続けているということなんです、
の	話	小	1255	司	えー、飲み続けて大丈夫でしょうか、という相談です。
談	段	話	1256	司	また、I県にお住まいのMYさん、39歳の女性、ご本人からも慢性便秘についての相談が寄せられていて、
			1257	司	市販の漢方の便秘薬を飲んでいます。
			1258	司	だんだんと、薬の量が多くなってきているのですが、
			1259	司	飲み続けてよいのでしょうかという相談、寄せられています。
			1260	回	はい。
			1261	司	えー、N県のMYさんも、一緒に聞いて頂きたいと思いますが、
			1262	司	お電話は、TのSTさんとつながっています。
A			1263	司	STさん？
相			1264	相	はい。
談			1265	司	はい、こんにちは。
開			1266	相	{咳払い}
始			1267	司	お待たせしており//ます。
の			1268	相	はい。
話			1269	司	はい、//T先生、
段			1270	相	あっ、よろしくお//願います。
			1271	司	はい、お願いしま//す。
			1272	回	はい。
B	B	2	1273	回	//あの、ちょっとお尋ねしますけどね？
			1274	相	{咳払い}
相	相		1275	相	はい。
談	談		1276	回	お姉さんは、体格なんかはよろしいんですか。
か	内		1277	相	私一は、いいです。
け	容		1278	司	あっ、
の	確		1279	回	あっ、
話	認		1280	相	で、//妹のほうは、
段	の		1281	司	相談が妹さんに、
	小		1282	回	あっ、妹さ//んのほう、
	話		1283	相	あっ、//妹は細いです。
	段		1284	回	どうも失礼しました。
			1285	回	いですか。あっ、細
			1286	相	はい。
			1287	回	はあ。
			1288	回	む、昔から細い//感じ。
			1289	相	昔から細いんです。
			1290	回	あ、そうですか。
			1291	相	それでね？
			1292	回	ええ。
			1293	相	あの一、あたしも全然気にはしてなかったんだけど、
			1294	相	私が入院した時に、
			1295	相	結局、その一、便秘の話が出て一、
			1296	相	あの一、妹に一、あの一、//「自力で出ないと駄目みたいよ。」って言ったら、

1297 司 ええ。
1298 司 うーん。
1299 相 あのー、「あたくしは漢方だから、
1300 司 //ええ。
1301 回 ええ。
1302 相 大丈夫よ。」って言って、
1303 回 ええ。
1304 相 まあ、あたしもそれ以上 {笑い} 言えないもんでね？
1305 回 ええ。
1306 相 でも、聞いたら、
1307 相 もう、6年ぐらい飲みっぱなしなんですよ？
1308 回 はい。
1309 相 で、飲まないと、
1310 相 全く出ないんですよ。
1311 司 あ//ー。
1312 相 だか(ら)、
1313 回 わかりました。
1314 相 //はい。
1315 回 ええ。

C C 1316 回 あのー、この「センナ」っていうのもですねー、
1317 相 はい。
相 1318 回 えー、まあ、漢方薬の一種ではあるんです。
談 1319 回 生//薬なんですか？
う 1320 相 はい。
け 1321 相 はいはい。
の 1322 回 でも、あのー、この、漢方では、あまり使わないんです。
話 1323 相 あっ、そうなん//ですか。
段 1324 回 それはなぜかっていうとですね、
1325 相 はい。
1326 回 やはり、あの、強い、下剤なんですか？
1327 相 あらま//あ。
1328 司 ふーん。
1329 回 まあ、そのー、つよ、強いっていつでもですねー、
1330 相 はい。
1331 回 あのー、純粋な西洋薬よりは弱いんですけども、
1332 相 はい。
1333 回 でも、やはり、若い人向きなんです。
1334 相 あー//そうですか。
1335 回 で、その、強いという理由はですねー、
1336 相 はい。
1337 回 これはあのー、「センナ」の成分というのはですねー、
1338 相 はい。
1339 回 あのー、小腸の中で、もう効いてきちゃうんですね？
1340 相 はい。
1341 回 しょ、その、ご存知のように、
1342 回 人間の腸は、
1343 相 はい。
1344 回 い、胃があって、
1345 回 十二指腸があって、
1346 回 小腸があって、
1347 回 大//腸があってー、
1348 相 はい。
1349 相 はい。
1350 回 そして、便になって出てくわけです//ね？
1351 相 はい。
1352 回 そういう経路をたどるわけですけどもー、
1353 相 はい。
1354 回 この「センナ」はですね、
1355 回 小腸のほうでも効いちゃうことが多いんです。
1356 相 ええ。

1357 回 で、そうしますとですね、小腸というのは、栄養を吸収する大事な場所ですね？
 1358 司 う//ん。
 1359 相 はい。
 1360 回 で、そこんところで、食物がですね、せつ//かく、胃でもって消化されて、
 1361 相 はい。
 1362 回 小腸で吸収されようとしてる時に、
 1363 回 そこを急行でもって通過しちゃうとですね、
 1364 相 はい。
 1365 回 場合によっては、栄養吸収障害を起こすことがあるわけです。
 1366 相 はい。
 1367 回 ええ。
 1368 回 そして一、漢方のほうでは、そ、その「センナ」を使う代わりにですね、
 1369 相 はい。
 1370 回 ^{ダイオウ}「大黄」という漢方薬を使います。
 1371 相 //はい。
 1372 回 大きな黄色と書きます。
 1373 相 はい。 あっ、//大きな黄色ね？はい
 1374 回 ^{ダイオウ}「大黄」という、
 1375 回 ええ。
 1376 回 これはですね一、「センナ」と同じぐらい強いん、
 1377 回 あの一、よく効きますけれども一、
 1378 相 はい。
 1379 回 その、小腸では、作用が、ないんです。
 1380 相 は//い。
 1381 司 ふーん。
 1382 回 そして、大腸に行って、
 1383 回 便ができるところで、便を柔らかくして、
 1384 相 //はい。
 1385 回 早く排泄させるようにすると、
 1386 相 はあ、//そうですか。
 1387 回 腸を刺激して、
 1388 回 早く、は、はい、排泄させると、いう作用があるんですよ。
 1389 相 はい。
 1390 回 お一、ですから一、あの一、「センナ」を飲むよりもですね、
 1391 相 ええ。
 1392 回 ^{ダイオウ}「大黄」のほう//が、その、体力がない人//には、向いているわけですね？
 1393 相 が、うん。
 1394 相 ええ。
 1395 相 はあ、そうですか。
 1396 回 ええ。
 1397 回 ですけど、若い、元気な人でですね一、
 1398 相 ええ。
 1399 回 「少し、私、痩せたいわ。」というぐらいの人には、
 1400 相 ええ。
 1401 回 「センナ」でもいいんです。
 1402 相 はい。
 1403 回 ええ。
 1404 回 それから、西洋薬のほうでは、もっと強い、その、お一、マグネシウム製剤ですね？
 1405 相 はい。
 1406 回 え一、こういうものが、やはり、小腸で効きますから、
 1407 相 あーそう//ですか。
 1408 回 あの一、若い、体力のある人、
 1409 相 ええ。
 1410 回 お一、うっかりすると、
 1411 回 肥満になってしまうような人、
 1412 相 ええ。
 1413 回 そういう人にはですね一、
 1414 相 ええ。

- 1415 回 この、ぼ、その、マグネシウムが入ったもの、セン、
1416 相 はい。
1417 回 または「センナ」でも十分ですが、
1418 相 あーそうで//すか。
1419 回 ねー、
1420 相 ええ。
1421 回 あの一、体力も落ちてきますからー、
1422 相 はい。
1423 回 まあそろそろ、お//ー、
1424 相 じゃあ、「^{ダイオウ}大黃」っていう//ほうに、代えたほうがいいってこと
は勧めたほうが、
1425 回 うん。
1426 回 ええ、そいで、「^{ダイオウ}大黃」もですね、
1427 相 はい。
1428 回 漢方の場合、あの、「^{ダイオウ}大黃」だけを飲んで頂くっていうことは、しないんです。
1429 回 必ず、「^{ダイオウ}大黃」でも、//やはり、下剤ですから、
1430 相 はい。
1431 相 はい。
1432 回 いろんな副作用、
1433 回 例//えば、腸が痛くなってしまう//とかですね？
1434 相 ええ。
1435 相 ええ、ええ、ええ。
1436 回 排便の前に、
1437 回 お腹が痛くなると//かー、
1438 相 ええ。
1439 回 いろんな副作用がありますから、
1440 回 そういうのを抑えるような、
1441 相 はい。
1442 回 微妙な配合をした薬を、飲んでもらうわけですね？
1443 回 で、//一番、
1444 相 それやっぱりお医者さん行かないと、
1445 回 ええ、それがいいと思いますが、
1446 相 あーそう//ですか。
1447 回 使ってもらおう薬はですねー、
1448 相 はい。
1449 回 えー、例えば、「^{マニニン}麻子仁丸」とかですね、
1450 相 ましにん、はいはい。
1451 回 「^{ジュンチャウ}潤腸湯」、
1452 相 はい。
1453 回 それから、まあ、「^{ダイオウカンソウ}大黃甘草湯」とかですね、
1454 相 あーそうですか。
1455 回 こういう薬があります。
1456 相 はい。
1457 回 ええ。
1458 回 でー、こういう薬はですねー、あの、比較的高齢の方でも、安//心して飲んでもら
える漢方薬なんです。
1459 相 はい。
1460 相 あー、そうで//すか。
1461 回 きまして、
1462 相 ええ。
1463 回 あまり癖になりません。
1464 相 //あーそうですか。

大話
話段
小話
話段

1465 司 ふーん、うん。
1466 回 ええ。
1467 回 //そ、それですねー、
1468 相 じゃあ、
1469 相 はい。
1470 回 あの一、漢方の場合は、もっとご高齢の方ですねー、
1471 相 ええ。
1472 回 体力がないと、
1473 相 ええ。
1474 回 おー、もう、例えば、半分寝たきりのようなですね、
1475 相 ええ、ええ。
1476 回 そうというような、
1477 回 で、腸が弛緩して、
1478 回 便秘してしまうと、
1479 相 //ええ。
1480 司 あー。
1481 回 いうような時にはですねー、
1482 相 はい。
1483 回 あの、^{ダイケンチュウウ}「大健中湯」というような漢方薬を飲んで頂くことがあります。
1484 相 あーそうなんですか。
1485 回 はい。
1486 相 わかりました。
1487 相 ありがとうございます（ました）。

C 1488 相 じゃ、お医者さんに一応行って、
2 1489 相 //ほうがいいって、
回 1490 回 相談されてですね？
答 1491 回 ええ。
確 1492 相 勧めたほうがいいんですね？
認 1493 回 はい。
1494 司 はい。

D 1495 相 ありがとうございます。
相 1496 司 お大事にどうぞ。
相 1497 司 はい、失礼致します。

Ⅱ
2 電話
相談の
補足
解説の
大話
話段

1498 司 //そし（て）、
1499 回 まあ、あの一、例//ええ申しあげましたようにですねー、
1500 司 ええ。
1501 回 あの一、若い人は、まあ、あの、強い、か、その、漢方でも比較的強いのがありま
す。
1502 司 はい。
1503 回 先ほどのマグネシウム製剤ですけどもー、
1504 司 ええ。
1505 回 あの、漢方では「ぼうしょう」という//名前をつけてるんですけど、
1506 司 ふーん。
1507 回 そういうものと、「大黄」が一緒に入ったような漢方薬はですねー、あの、便秘にと
てもよく効きます。
1508 司 はい。
1509 回 えー、それで、そういうような薬はですねー、
1510 回 例えば、^{トウカクジョウキトウ}「桃核承気湯」とか//ですねー、
1511 司 うーん。
1512 回 それから^{ボウフウツウショウサン}「防風通聖散」とか、そういうような薬があつて、
1513 回 一般的には、なんか、痩せ薬として使われるぐらいなこともあるぐらいですね？
1514 司 あー。
1515 回 ですから、栄養吸収障//害が起こり//ますからー、
1516 司 はい。
1517 司 ええ、ええ。
1518 司 はい。
1519 回 あの一、まあ、たくさん食べても、
1520 司 うん。

1521 回 お一、それを飲んで、
1522 回 排便をきちんとうながし、うながしていると、
1523 司 はい。
1524 回 太りにくいと。
1525 司 ええ、あつ。
1526 回 まあ、それ以上食べたら、
1527 回 おんなじですけども一。
1528 司 まあ、そうですね。 {笑//い}
1529 回 {笑い}
1530 回 でも太にくいというようなことですね、
1531 司 ええ。
1532 回 まあ、そういう利用のされ方もされておるようです。
1533 司 はい。
1534 司 これはでも、飲み続けていいものなんですか？
1535 司 つまり、うーん、できれば飲まずに、
1536 司 排便一//できれ、たほうがいいわけですよー。
1537 回 ええ、でも、やはりですねー、あの一、もう、「^{ダイオウセイザイ}大黃製剤」を飲まないと出
ないような人は、//腸が長かったりとかですね？
1538 司 ええ。
1539 司 はい。
1540 回 え一、そういうような、もう、体質的なものも結構ある ので、
1541 司 あーそう//ですか。
1542 回 あの一、飲み続けて結構だと思います。
1543 司 はい。
1544 回 で、中にはですねー、
1545 司 ええ。
1546 回 この、「^{ダイオウセイザイ}大黃製剤」を飲んでいて、
1547 回 こう、徐々に量を増やさないと、
1548 司 ええ。
1549 回 あの一、//お通じが出なくなってく、しまうという人もいらっしゃるんですが、
1550 司 そこが心配ですねー。
1551 司 はい。
1552 回 そういう時はどうするかっていうと、
1553 回 同じ量ですね、飲み方を変えるんです。
1554 司 はあー。
1555 回 普通は、まあ、朝昼晩飲んでもらうと、
1556 司 ええ。
1557 回 よく効くんですけども、
1558 回 それをですねー、朝昼晩じゃなくて、
1559 回 夕方、夕食後に、一度に飲んでみる//とかですねー、
1560 司 はい。
1561 司 あっ、朝昼晩の、みっ、3回分を、
1562 回 を一度に//飲んでみる、
1563 司 一度に飲んで//しまうとか、
1564 回 飲んでみるとか//ですね？
1565 司 はあはあはあ。
1566 回 または、あー、寝る前に飲むと、
1567 回 もっとよく効くとかですね、
1568 司 ええ、ええ。
1569 回 人によって、こう、飲む、
1570 回 おんなじ、同じ量なんですけど、
1571 回 飲むタイミングを//ちょっと変えることによって、
1572 司 ふーん。
1573 司 ええ。
1574 回 もう、効き方が全然違ってくる場合があります。
1575 司 あーそうです //か。
1576 回 ええ。

大 小
話 話
段 段

1577 回 だから、そういう工夫も必要だと思いますね？
 1578 司 はい。
 1579 回 で、漢方、いくら漢方だからといって、
 1580 回 あの、増やすのではなくて、
 1581 司 ええ。
 1582 回 飲み方を、自分に合った飲み方を見つけて、
 1583 司 はい。
 1584 回 そして、あの、排便ですから、
 1585 回 自分でわかるわけですから、
 1586 司 ええ。
 1587 回 病院に行かなくても、
 1588 司 はい。
 1589 回 もう、自分の飲み方が、
 1590 司 そうですねー。
 1591 回 確立できると思います//ので、
 1592 司 はい。
 1593 回 ひと工夫してみ、みたらよろしいんじゃないかと思います//ね。
 1594 司 はい。
 1595 司 わかりました。

II B B
1 相 相
電 談 談
話 話 話
相 話 話
談 話 話
の 話 話
談 話 話
話 話 話

1596 司 では続いての方です。
 1597 司 Kにお住まいのAYさん、66歳の方、ご本人からの相談です。
 1598 司 3ヶ月前に慢性甲状腺炎と、診断を受けました。
 1599 司 特に治療せず経過を見ています。
 1600 司 甲状腺が少し肥大している状態とい、のことです。
 1601 司 また睡眠障害があります。
 1602 司 朝一2時頃目覚めます。
 1603 司 安定剤を処方されていますが、
 1604 司 あまりご本人としては飲みたくないというお気持ちのようです。
 1605 司 その他に三叉神経障害で、
 1606 司 右の頬にしびれや歯茎の痛みも感じます。
 1607 司 で、様々な症状をお持ちのようなんですが、
 1608 司 全体的に合うような漢方薬があれば、
 1609 司 お聞きしたいということですね？
 1610 司 5、6年前には慢性自己免疫性肝炎も、
 1611 司 えー、という症状も出てらっしゃるそうです。

A
相
談
開
始

1612 司 AYさん？
 1613 司 はい、こんにちは。
 1614 相 こ//んにちはー。
 1615 司 お待たせ致//しました。
 1616 相 よろしくお願ひし//ま//一す。
 1617 回 はい。
 1618 司 はい。

C C
相 1
談 回
う 答
け 提
の 供
話 の
段 小
話 話
段 話 話

1619 回 AYさんね？
 1620 相 はい。
 1621 回 まあ、AYさんの体質を一、す、西洋医学的に一言で言うとうすね、
 1622 相 はい。
 1623 回 やっぱり膠原病体質なんですよ？
 1624 相 あーそうですか。
 1625 回 ええ。
 1626 回 こう、自己免疫疾患、
 1627 相 はー//はー。
 1628 回 膠原病があるということで//すね？
 1629 相 はーはー//はー。
 1630 回 ええ。
 1631 回 でそのためにまあ色んな甲状腺の症状とか、
 1632 回 肝臓の症状とか、
 1633 相 はーはー。
 1634 回 神経の症状とか、
 1635 相 //はーはー。
 1636 回 その、う、たくさん出てるんだと思//います。

		1637 相	はい、はいはい。
		1638 相	ええ。
相 談 か け の 話 段	B 2 相 談 内 容 の 確 認	1639 回	でー、A Yさんのご家族とか、
		1640 回	血のつながってる方でも
		1641 回	同じような症状の人、いらっしやいます？
		1642 相	いやー、今んところおりませんけれどもー、
		1643 回	ええ。
		1644 相	うーん、私ー、うーん、だけなんですけど。
		1645 回	あーそうですか。
		1646 相	あのー昨年ぐらいからね、
		1647 回	ええ。
		1648 相	右の頬もしびれてきて、
相 談 提 示 の 小 話 段	B 1 相 談 提 示 の 小 話 段	1649 回	ええ。
		1650 相	んで、あの、ちょっと歯医者さん行ったら、
		1651 回	ええ。
		1652 相	脳神経外科で、頭一を、を、の、おー検査をしてもらえって言われたんで、
		1653 回	ええ。
		1654 相	脳神経外科に行ったらー、
		1655 相	あのー三叉神経障害やっ//て言われたん。
		1656 回	ええ。
		1657 回	それはあのー、まあ、そのー膠原病とは関係ない、症状だと思います。
		1658 相	はあ、あーそう//ですか。
相 談 う け の 小 話 段	C 1 回 答 提 供 の 小 話 段	1659 回	ええ。
		1660 回	それは関係ないと思うんですがー、
		1661 相	はい。
		1662 回	えー、まあ全体としてはまず、膠原病体質を、治していかないとですね、
		1663 相	はい。
		1664 回	えー色んな症状は、とりにくい訳ですね？
		1665 相	あーそうで//す。 だから根本的にはまずそのそ
		1666 回	ちらの、免疫の異常です。
		1667 相	あつ、
		1668 回	膠原病ですから//ね？
		1669 相	あーそうです。
		1670 回	この免疫の異常を、調整するようなお薬をまず飲んで頂いたほうが//いいと思いま す。
		1671 相	はい。
		1672 相	あのねー、//以前にねー、
		1673 回	ええ。
		1674 相	あのー、さ、//さいこうかりゅう、
		1675 司	はい。
		1676 回	「 ^{サイロ} 柴 ^{カキウ} 胡 ^{コツボレイ} 加 ^{トウ} 竜 ^{トウ} 骨 ^{トウ} 牡 ^{トウ} 蛎 ^{トウ} //湯」ね？
		1677 相	かりゅう、
		1678 回	あ、ちっ、
		1679 相	//こ、
		1680 回	ええ。
		1681 相	こっ、ぼん、れいとうか、
		1682 回	ええ。
		1683 相	そんなんを頂いたことあるんです。
		1684 回	ええ。
		1685 回	それーはちょっとーあのー、A Yさんには今は強すぎると思います。
		1686 相	あーそうです//か。
		1687 回	ええ。
		1688 回	もっと若い方が、飲むべき薬でして。
		1689 相	あーそうですか。
		1690 回	ええ。
		1691 回	あのーまあ今みたいにこういう免疫の異常があるときはですね、
		1692 相	はーはー。
		1693 回	えー、いろんな薬がありますけどもー、

1694 相 //うん。
1695 回 ごく一般的に申し上げますとです//ねー、
1696 相 はーはー。
1697 回 えー、よ、弱い、きょうしょうの人に飲んでも、
1698 回 大丈夫なような柴胡^{サイコザイ}剤とですね、
1699 相 はい。
1700 回 それから、あーこの「四物湯^{シモツウ}」という薬をこう、組み合わせたほうがいいので、
1701 相 あっ、あちよっとお、教えてもらえます？
1702 回 ええ。
1703 回 ですから一例えはですね、
1704 相 ええ。
1705 回 あの「小柴胡湯^{ショウサイコトウ}」と一、
1706 相 しょうさいことう。
1707 回 はい。
1708 回 それと「四物湯^{シモツウ}」という薬をですねー、
1709 相 うん。
1710 相 //そんなん、しもつ？
1711 回 合わせて、
1712 回 「四物湯^{シモツウ}」ですね//一。
1713 相 しもつとう。
1714 回 ええ。
1715 回 これをまあ合わせて飲まれるといいと思います。
1716 相 あっ、合わせて飲む//の。
1717 回 一緒にのむんです。
1718 相 あー//そうですか。
1719 回 ですからね？ ちよっと、ええ、病気がちよっと複雑
1720 相 あーはい。
1721 回 またはですねー、
1722 相 はい。
1723 回 えー、じゅう、「十全大補湯^{ジュウゼンタイホトウ}」でもいいかもわかりません。
1724 相 じゅうぜん？
1725 回 「大補湯^{タイホトウ}」ですねー。
1726 相 たいほとう。
1727 回 ええ。
1728 回 それからまあ、「大防風湯^{ダイボウフウトウ}」。
1729 相 だい、
1730 回 ぼうふうとうですねー。
1731 相 ぼう、
1732 相 だい、ぼうふうとう。
1733 回 ええ。
1734 回 まあこう色々とありますけどもー、
1735 回 みんなですねー、このー、免疫の異常、を、おー調整して、
1736 回 体力をつけるようなー、
1737 回 方向で作用するお薬なんです。
1738 相 あーそうですか。
1739 回 ええ。
1740 回 で、こういうのを飲んでですねー、
1741 相 はい。
1742 回 えー頂きますと一、
1743 回 おー、この甲状腺のほうの調子もですね、
1744 回 それから特に、肝臓のほうの調子とか//そういうのが、
1745 相 はい。
1746 回 安定してきて、
1747 回 体力が回復してくるんじゃないかと思います。
1748 相 あーそうですか。

1749 回 はい。
1750 司 はい。
1751 相 はい。

C 1752 相 あのその一、
2 1753 司 はい。
回 1754 相 三叉神経の一、
答 1755 回 ええ。
確 1756 相 あー痛みというものは一、
認 1757 回 ええ。
1758 相 また、まー別なんですけども一、
1759 相 そういった効くあの、あれはないんでしょうか。

C 1760 回 ええ、ですからね？
1 1761 相 うん。
回 1762 回 あの、これを、前半で申し上げましたように一、
答 1763 相 うん。
提 1764 回 三叉神経の痛みは一、
供 1765 相 うん。
の 1766 回 漢方の方でいうと、
小 1767 相 はい。
話 1768 回 その^{ヒョウチ}標治とって、
段 1769 回 //症状なんですね？
1770 相 はい。
1771 相 はいはい。
1772 回 ですから、A Yさんの場合はまず、体質をまずよくして、
1773 相 はい。
1774 回 そのあとに一、
1775 相 はい。
1776 回 三叉神経の問題を取り組めば、
1777 回 基本的にはいいんです。
1778 相 あーそうですか。
1779 回 ですけどもそうは言っても三叉神経も、一番痛いのは三叉神経だと思いますので、
1780 相 そうです。
1781 回 そういうときにはですね一、
1782 相 はい。
1783 回 この「大防風湯」という薬ですね？
1784 回 これ//は、
1785 相 だいぼうふうとう。
1786 回 ええ。
1787 回 これは色んな痛みに、を訴えて
1788 回 免疫の異常があるときに一、
1789 回 よく効く薬なんです。
1790 相 はい。
1791 回 体も飲んでいると、
1792 回 なんとなくあったまってきます。
1793 相 はーそう//ですか。
1794 回 汗//は、
1795 相 これから、
1796 相 汗も冷えますねー、ほんな//ら。
1797 回 ええ。
1798 回 ですから一、これ、これからお試しになると、
1799 回 いいんじゃないかと思います//ねー。
1800 相 はー、「大^{ダイ}//防風湯^{ボウフウトウ}」//（ですね）。
1801 司 はい。
1802 回 はいそうですー。
1803 司 そうです//ねー。
1804 相 あ、そうです//か。
1805 回 はい。
1806 司 はい。

C 1807 相 それはーあの一、あれでしょうか、

大 話 段	小 話 段			
		2 回 答 確 認	1808 相 私一のいるとこ一、あの一、か//んぼう、 1809 司 普通の病院で一、 1810 回 ええ、病院の//先生に相談されると一、 1811 司 でよろしいでしょうか。 1812 回 お一処方して頂けると思います。 1813 相 あーそうですか。 1814 回 はい。 1815 司 はい。	
		D 相 談 終 了	1816 司 どうぞお大事になさってください。 1817 相 はいどう//もありがとうございました。 1818 司 はい、失礼致します。 1819 司 はい。	
II 1 電 話 相 談 の 談 話	B 1 相 談 か け の 話 段	B 1 相 談 提 示 の 小 話 段	1820 司 では、続いての方です。 1821 司 A県にお住まいのMNさん、 1822 司 36歳の方について、お母さんからの相談です。 1823 司 お嬢さんについての相談です。 1824 司 今年の6月に、 1825 司 脳幹部出血で入院しましたが、 1826 司 手術ができないために、 1827 司 2ヵ月後に、 1828 司 退院しました。 1829 司 現在は、週2回、 1830 司 えー一、通院して、 1831 司 リハビリを受けているということです。 1832 司 症状としては、目がぶれて、 1833 司 二重に見えるということ、 1834 司 もしくは、喉の腫れ、歯茎が腫れています。 1835 司 (それ) から、右の顔、顔面神経痛で、 1836 司 しびれや痛みがあります。 1837 司 左手指のしびれ、があります。 1838 司 また、不眠の状態もあるということです。 1839 司 現在は、安定剤のみ飲んでいるということなんですが、 1840 司 この、脳出血後の症状、えー、さまざまな症状があります。 1841 司 よい漢方薬があれば、 1842 司 教えてく//ださいという相談です。 1843 回 はい。	
	A 相 談 開 始 の 話 段		1844 司 MNさん？ 1845 相 はい。 1846 司 はい、こんにちは。 1847 相 こんにちは。 1848 回 ええ。 1849 司 お待//たせ致しました。 1850 相 お世話になりま//す。 1851 回 ええ。 1852 司 はい、//T先生、おね、	
	B 相 談 か け の 話 段	B 2 相 談 内 容 確 認	1853 回 えーと、娘さんはお若いんですね？ 1854 相 ええ、36歳//です。 1855 回 ええ。 1856 回 はい。 1857 回 だから、まあ、体力は十分あると//思いますのでね？ 1858 相 ええ、あります。 1859 回 //はい。 1860 相 はい。	
	C 相 談 う け の	C 1 回 答 提 供 の	1861 回 あの一、こういう、脳幹部出血っていうのは、もうほんとに、西洋医学的にも、手も 足も出ない、難しい場所なんです よね？ 1862 相 あー。 1863 回 ええ。 1864 回 //それで一、一番大事なことはですね一、 1865 相 はい。 1866 相 はい。	

大 話 段	話 段	小 話 段	
	話 段	小 話 段	1867 回 よく、あの一、患者さんもお家族の方もですね、
			1868 相 はい。
			1869 回 「とにかく早く治してくれ。」って//おっしゃるんですが一、
			1870 相 はい。
			1871 相 はい。
			1872 回 一番大事なことは、再発防止です。
			1873 相 再//発で//すか。
			1874 司 うーん。
			1875 回 再発防止。
			1876 相 はあー。
			1877 回 これが、まず、いち、守りですね？
			1878 相 はい。
			1879 回 きちんと守りをすると、お一、いう、こういう、心構えと、闘病が大切なんです。
			1880 相 はあー。
			1881 回 で、再発したら、
			1882 回 大変なことになってしまいますので、
			1883 相 はい、は//い。
			1884 回 再発させないと。
			1885 相 はい。
			1886 回 で、そのために、第一にはですね、
			1887 相 はい。
			1888 回 血圧の管理です。
			1889 相 はい。
			1890 司 //はあ。
			1891 回 血圧を毎日きちんと測って、
			1892 相 はい。
			1893 回 血圧を安定させると。
			1894 相 はい。
			1895 回 いかに安定化させるかで、
			1896 回 決まってきます。
			1897 相 あーそうですか。
			1898 回 ええ。
			1899 回 これが一、大事なことですね？
			1900 相 //はい。
			1901 回 じ、自宅で血圧もちゃんと測んなきゃいけない//で すね？
			1902 相 ええ、はい。
			1903 回 ええ。
			1904 回 そうということで、ちゃんと表をつけて、
			1905 相 はあ。
			1906 回 そして、血圧が、なんによって乱れるかっていうことも、原因まで、ちゃんとに家族 の人みんなでね、
			1907 相 はい。
			1908 回 知恵を出し合って、
			1909 回 分析する必要があると//思いますね？
			1910 相 あーそうですか、はい。
			1911 回 そのあとに、初めて漢方薬です。
			1912 相 あーそう//ですか。
			1913 回 それをしないでですね、
			1914 相 はあ。
			1915 回 ただ「漢方でください。」つつつても、
			1916 司 う//ーん。
			1917 相 はい。
			1918 回 これはもう、本末転倒もはなはだしいですね？
			1919 相 あーそうですかー。
			1920 回 ええ。
			1921 回 それで一、まあ、そういう時にですね、
			1922 相 はい。
			1923 回 あの一、普通は、脳幹部出血を起こしたばかりの時っていうのはですね、

- 1924 相 はい。
- 1925 回 あの一、漢方では、「まくすい剤」っていいまして ですね？
- 1926 相 はい。
- 1927 回 こう、脳に浮腫がたくさん起こってますので、
- 1928 相 はい。
- 1929 回 脳の浮腫を、と、取りながらー、
- 1930 回 なおかつ、出血部位の吸収を早めるような漢方薬を飲んでもらうんです。
- 1931 相 はい。
- 1932 回 まあ、代表的な薬としては//ですね、
- 1933 相 はい。
- 1934 回 えー、「^{ゴレイサン}五苓散」とか、
- 1935 回 まあ、「^{ケイン フクリョウガン}桂枝茯苓丸」とかですね？
- 1936 回 これ//ら、
- 1937 相 「^{ゴレイサン}五苓散」。
- 1938 回 「^{ゴレイサン}五苓散」とか「^{ケイン フクリョウガン}桂枝茯苓丸」。
- 1939 回 ただこれは、
- 1940 相 はい。
- 1941 回 えーっと、発作を起こしたのが、えー、おい、えー、
- 1942 相 6月//25日。
- 1943 回 6月ですよ？
- 1944 相 はい。
- 1945 回 ですから、ちょっと、もう、時期が経ってますから、
- 1946 相 あー。
- 1947 回 これを使う時期は、もう、//過ぎてると思います//ねー。
- 1948 相 あっ、
- 1949 相 あーそうですか、はい。
- 1950 回 で一、今の時期はですねー、
- 1951 相 はい。
- 1952 回 もう、これから、3ヶ月半ほど一、約4ヶ月ですか、
- 1953 相 ええ。
- 1954 回 えー、経っておりますので、
- 1955 相 はっ、はい。
- 1956 回 えー、今度は、あー、神経のほうの回復をうながすような薬を飲んで頂かなければ、//いけないわけですね？
- 1957 相 はい。
- 1958 相 はい。
- 1959 回 で一、そういう時にはですねー、
- 1960 回 一般的には、あー、「^{ウンセイイン}温清飲」という薬にですねー、
- 1961 回 あと、「^{オウギケンチュウトウ}黄耆建中湯」という薬をちょっと足しまして、
- 1962 相 はい。
- 1963 回 合わせて飲んでもらうというようなことを致します。
- 1964 相 うんゆ、
- 1965 回 おう、う、「^{ウンセイイン}温清飲」、//に、「^{オウギケンチュウトウ}黄耆建中湯」ですね？
- 1966 相 おん、
- 1967 回 けんちゅうとう、
- 1968 相 ええ。
- 1969 回 はい。
- 1970 回 えー、そういう薬を飲んでもらうと、//いう方法とですね、
- 1971 相 はあ。
- 1972 相 はあ。
- 1973 回 あとは、エキス剤にはなくて、
- 1974 回 煎じ薬しかないんですけども一、
- 1975 相 はい。
- 1976 回 えー、私がよく使うのは、

1977 相 はい。

1978 回 あの「補陽還五湯」という薬//ですね？

1979 相 すいません、もう一度お願いします。

1980 回 「補陽還五湯」という、

1981 相 ほようかんご、

1982 回 ちょっと珍しい処方なんですけどもー、

1983 相 あっ、はあはあ。

1984 回 これを飲みますと、

1985 回 神経がですね、

1986 相 はい。

1987 回 わりに安定してくるんですね？

1988 相 あーそれで//すか。
で、リハビリも、効率が上がってくるも

1989 回 んですから、

1990 相 はい。

1991 回 「補陽還五湯」とかですねー、

1992 相 はい。

1993 回 あと一、お一、「痿証方」という薬があります。

1994 相 いしょうほう。

1995 回 ええ、これも、あの、エキス剤ではないんですが、

1996 回 煎じ薬しか、ないんです//けど//もー、

1997 司 ふーん。

1998 相 はい、はい。

1999 回 こういふ、「痿証方」という薬//ですねー。

2000 相 はい、はい。

2001 回 こういふような薬を、まあ、服用して頂くと、

2002 相 あーそう で//すかー。

2003 回 お一、いふことですね？

2004 相 あーそうです//か。

2005 回 ええ。

2006 回 でも、一番大事なのは、血圧の管理になるわけ//です。

2007 相 あっ、そうですか。

2008 回 ええ。

2009 相 それで//ですね、

B B 2010 回 それで一、

2 2011 相 はい。

相 2012 回 あの、発作を起こす前は、血圧は高かったんですか？

談 2013 相 いえ、低かったんです。

か 2014 回 低かったですか。

け 2015 相 ええ。

の 2016 回 ええ、どのぐらいでした？

話 2017 相 あー、

段 2018 回 ちょっとわか//らない、ええ。

小 2019 相 低血圧なんです。

話 2020 回 低血圧だったんですね？

段 2021 相 ええ。

C C 2022 回 で一、そういう時はですね、時々そういう人は、血圧が、なんかのストレスで、

1 2023 相 はい。

相 2024 回 こう、上がるようなことも、あるんですよね？

談 2025 相 あー。

う 2026 回 ええ。

け 2027 回 ですから一、まあ、そういう、ストレスをかけない、

の 2028 回 または、あー、そういうストレスがなんであるかと、//いふのも探る必要がありま

話 2029 相 はい。

段 2030 相 あーそうですかー。

2031 回 それからもう一つはですねー、

2032 相 はい。

2033 回 まあ、今後のこともあるんですけども一、
2034 相 はい。
2035 回 あのー、やはり、いー、昼間きちんと起きてですね、
2036 相 はい。
2037 回 夜、ぐっすり、ね、寝かす、そういうサイクルをですね、
2038 相 はい。
2039 回 早く確立することですね？
2040 相 はい。
2041 回 あのー、どうしても脳の中に出血するとですね、
2042 回 それが乱れてしまうんです//ね？
2043 相 あー。
2044 回 体の生体内リズムっていいですか、
2045 相 ええ。
2046 回 その、脳幹っていうのは、特にその、ホルモンとか一、
2047 相 はい。
2048 回 あー、そういう大事な自分の体のリズムを、形作るところなので、
2049 相 はい。
2050 回 そこに傷がついているわけですから、
2051 相 はい。
2052 回 あのー、全体のリズムが狂ってしまってますね、
2053 相 は//あー。
2054 回 んですが一、
2055 相 はい。
2056 回 それをですね、
2057 相 はい。
2058 回 自分でも、こう、意識的に一、夜きちんと寝て、
2059 相 はい。
2060 回 昼間ずーっと、まあ、なるべく起きていますと。
2061 相 ええ。
2062 回 まあ、うとうとするのは仕方がないにし//てもですね、
2063 相 ええ、ええ。
2064 回 昼間きちんと起きていますと、
2065 相 はい。
2066 回 リハビリを一生懸命やると、
2067 相 ええ。
2068 回 人ともよく話すと、
2069 相 はい。
2070 回 いうようなことでですね、
2071 相 ええ。
2072 回 メリハリをつけてくってことが、あの、神経の回復には非常に大切です。
2073 相 あーそうですか。
2074 回 ええ。
2075 司 ふ//ーん。
2076 回 で、そういうことも、やられるといいと思います。
2077 相 あーそうですか。
2078 回 ええ。
2079 相 あり//がとうございます。
2080 回 それとですね、{笑い} もう一つあるんですけ//ども、
2081 相 はい、はい。
2082 回 こういう、脳幹出血した時一の、ひ、人にですね、時々ですけども、
2083 相 はい。
2084 回 心臓がですね、
2085 相 はい。
2086 回 えー、ちょっと具合が悪いところがあって、
2087 相 はい。
2088 回 それで、あの、血栓が飛んだりした後に、
2089 回 出血するとかですね、
2090 相 はい。
2091 回 そういうことを起こす人が、時々いらっしゃるんで//す。

大 小
話 話
段 段

2092 相 あーそうですか。
2093 回 ですからあの一、まあ、入院されてたので、
2094 相 はい。
2095 回 心臓のほうは、全部チェックを受けてると思いますけども一、
2096 相 はい。
2097 回 そういうことがなかったかどうかを、
2098 相 ええ。
2099 回 もう一度一、確認されたほうが//よろしいんじゃないかと思いますね？
2100 相 あっ、そうですね。
2101 回 え//え。
2102 相 はい。
2103 司 //はい。
2104 相 ありがとうございます。
2105 司 お大事にどうぞー。

C 2106 相 あのですねー、
2 2107 司 はい。
回 2108 相 すいません、あの、頬//の痛みとか一、
答 2109 司 どうぞ？
確 2110 回 //はい？
認 2111 司 はい？
の 2112 相 頬の一、
小 2113 回 ええ。
話 2114 相 痛みですねー、
段 2115 回 ええ。
2116 司 はい。
2117 相 そういうものは、やはり一、こういう、今先生がおっしゃったようなお薬、あの、漢方でもよろしいでしょうか。
2118 回 そうです。

C 2119 回 ですが、それもですねー、
1 2120 相 はい。
回 2121 回 やはり、脳幹のほうと関係ある症状ですので一、
答 2122 相 はい。
提 2123 回 あの一、脳幹っていうのは、そういう顔面神経とか、三叉神経と関係あるんですよ、場所が。
供 2124 相 あー。
の 2125 回 ええ。
小 2126 回 ですから一、かなりしつっこい痛みになりますけれども一、
話 2127 回 それ//が取れるかどうかで、
段 2128 相 はい。
2129 回 その薬が効いてるかどうか判断できるわけですね？
2130 相 あーそうですか。
2131 回 ええ。
2132 相 はあ。
2133 回 だから一、あの一、その、自覚症状、
2134 回 例えば、手の動きとか、あし、足の動きとかですねー、
2135 相 はい。
2136 回 そうというのは、なかなか一、こう、うまく回復できないかもわかりません//けども一、
2137 相 そうですねー。
2138 回 その一、顔の痛みはですねー、
2139 相 はい。
2140 回 わりに一、あの、はっきりしてますので一、
2141 相 はい。
2142 回 それの一、この、痛みがよくなったかどうかで、
2143 回 薬が合ってるかどうかを//判断することができるん//ではないかと思います。
2144 司 うーん。
2145 相 あっ、そうですか。

C 2146 相 それですね、もう、ごめんなさい。
2 2147 司 はい。
回 2148 相 あの、「気」、「気」の漢方っていうのはございますでしょうか。

大 話 段	小 話 段	話 段	答 確 認 の 小 話 段	
			2149 回	気の漢方//と、
			2150 相	「気を入れる」とか、
			2151 相	「入る」とかいう、き、漢方はございますでしょうか。
			2152 相	//先ほど、
			2153 回	気を(?)、先ほどの「 ^キ 気// ^{ケツイ} 血水」のいう、気ですね?
			2154 相	はっ、はっ、そうです。
			2155 相	//はい。
			2156 回	ええ。
			2157 回	それが一番代表的なのは、あの、薬用人参の入った漢方薬です。
			2158 相	//薬用人参ですね?
			2159 回	人参ですね?
			2160 回	え//え。
			2161 相	はい。
			2162 回	そういう漢方薬の気が入るわけですね?
			2163 相	あー、そういうのも飲んだほうがよろしいですね。
			2164 回	はい。
			2165 相	はい。
			2166 相	わかりました。
			2167 司	はい。
			2168 相	どうも//いろいろお手数おかけしました。
			2169 司	お大事にどうぞー。
			2170 回	はい、どうぞお大事 //にしてくださ
			2171 相	い。ありがとうございます//ました。
			2172 司	はい。
			2173 司	失礼致します。
			2174 司	はい。
			2175 司	この時間は、「あなたの健康・家族の健康」、
			2176 司	漢方についての電話相談を致しました。
			2177 司	お答え頂いたのは、東京大学助教授の、TM先生でした。
			2178 司	T先生ありがとうございました。
			2179 回	はい、どうもー。
			2180 司	明日のこの時間、「暮らしの電話相談」は、「介護Q&A」、
			2181 司	介護についての電話相談を致します。
			2182 司	介護をしながらのお悩みについて、お寄せください。
			2183 司	みなさんからの相談の受付は、1時からです。
			2184 司	では、時間まで、ウリー・ハーマンの演奏で、「フォアブラザー」。
IV	番 組 終 了 の 大 話 段			

【資料4】 心理相談 司会者:司 回答者:回 相談者:相 2001.9.20(木)13:45~14:55
NHKラジオ第一放送「暮らしの電話相談 子どもの心相談」

大
話
段

小
話
段

I 1 番組 開始 の 大 話 段	1 司	では、ここから、2時台にかけて、
	2 司	「暮らしの電話相談」です。
	3 司	毎週木曜日は、「子どもの心相談」をしています。
	4 司	今日、皆さんからの相談にお答え頂くのは、東京都立梅が丘病院院長の、S T先生です。
	5 司	S T先生、どうぞよろしくお願い致します。
	6 回	あっ、よろしくお願い致します。
	7 司	えーっと、この時間も、皆さんからの相談の受付をしています。
	8 司	受付電話番号は、03、3485888.
	9 司	03の34858888番です。
I 2 番組 の テ ー マ に 関 わ る 一 般 的 解 説 の 大 話 段	10 司	皆さんからの相談にお答え頂く前に、
	11 司	少し先生に、お話を伺いたいと思います。
	12 司	なにか、最近、子どもたちの間にも、「心身症」が増えているのだそうですねー。
	13 回	はい。
	14 司	ええ。
	15 司	これは、その、自分の、こう、気持ちとか、悩みというものを、
	16 司	言葉では表すのではなくて、
	17 司	違う形で出てきてしまう、
	18 回	はい。
	19 司	ということなんですね。
	20 司	一体、子どもの、えー、子どもたちの心とか、体の中に、どういうことが起きているんでしょうか。
	21 回	はい。
	22 回	そうですねー、あの一、人間は生きてますと、
	23 回	子どもさんたちもそうですけども、
	24 司	ええ。
	25 回	生きてますと、
	26 回	あの一、まず、おうちの中の悩みとか、
	27 司	はい。
	28 回	それから、学校の悩みとか、
	29 司	ええ。
	30 回	あるいは、ご、ご自身一、ご自身の悩みとか、
	31 司	うーん。
	32 回	あるいは、その地域とか、まあ、たくさんの悩みがあって、
	33 回	まあ、俗に言うと、
	34 回	あの一、 2×4 が8というか、
	35 回	あの一、お一人が八つ以上の悩みを持っているという//ことになりますけども、
	36 司	うーん。
	37 司	ええ。
	38 回	あの一、幼いお子さんですと、
	39 回	その、悩みを悩みと感じられないということと、
	40 司	ええ。
	41 回	それが、これがお母さん、これが辛いんだよーっというふうに、
	42 回	表現ができないという、
	43 司	あー。
	44 回	未発達の部分があるので、
	45 司	はい。
	46 回	あの一、体で表現をするという//ことが、もう、しばしば見られますね。
	47 司	ええ。
	48 司	はい。
	49 司	勿論、悩みは悩みとして、
	50 司	何か感じているんだけど、
	51 司	それ、自分ではわかっていないという部分も、あるんです、か。

52 回 そうですね、悩みを悩みと感じる、
53 司 ええ。
54 回 機能、機能というか、
55 回 働きが、//まだ未熟であるとか、
56 司 うーん。
57 司 ええ。
58 司 それは、まあ、小さいという//ことで。
59 回 小さいことで、そうですね。
60 司 ええ、ええ。
61 回 小さいということと、その部分だけが発達をしていないという、
62 司 あー。
63 回 方々がおられます。
64 司 はい。
65 回 はい。
66 司 それは、こう、言葉で表すことができないと。
67 回 そうなんですね。
68 司 ええ。
69 司 そうしますと、まあ、一応やっぱり、言葉で表すことができないので、
70 司 体で、何かしかのシ、シグナルを出してくるということになるんでしょうか。
71 回 はい。
72 司 ええ。
73 司 そこで、その、「心身症」という言葉が、で、出てくるんですが、
74 司 そうですね、子どもたちにも、心身症ですか。
75 回 はい。
76 司 ええ。
77 回 これはもう、小さいお子さんから、あの、かなりお年寄りまで、
78 司 うーん？
79 回 こう一、広一い年代に渡って、
80 回 見られますね？
81 司 ええ。
82 回 はい。
83 司 まあ、「心身症」という言葉そのものは、よく聞くんですけども、
84 司 ど、どういうふうに、まあ、い、医学的には説明して頂けるんでしょうか。
85 回 そう//ですねー、
86 司 心身症、
87 司 はい。
88 回 これはあの、例えばですね、心臓とか、
89 司 ええ。
90 回 あるいは、胃とか、
91 司 ええ。
92 回 腸とかにですね、内科的に検査をしますと、
93 回 やはりちょっと変化があるんです、//なんか病気の。
94 司 ふーん？
95 回 それでいて、そういった症状が、
96 司 ええ。
97 回 ストレス、ですねー、
98 司 ええ。
99 回 ストレスがあると、
100 回 出てくるとか、
101 回 //ストレスが強くなると、
102 司 あー。
103 回 そういう、病状が悪くなるという。
104 司 はい。
105 回 はい。
106 回 ですから、身体症状が、こう、体の症状があるということと、
107 司 うん。
108 回 それから、ストレスとの関連しながら、
109 回 あの、病気が進んでいくと。
110 司 あー、そうですか。

111 回 はい。
112 司 これはやっぱり、その、いろんな、体のさまざまな部分に、そういった症状が出てくるんですか？
113 回 そうです//ねー、あの一、おそらくあの一、身の回りの方々も、心当たりがあると思いますけど、
114 司 ええ。
115 司 はい。
116 回 例えば、具体的に申し上げますでしょうか？少し。
117 司 はい。
118 回 はい。
119 回 そうしますと、皮膚ですね？お肌の皮膚なんかで出ま//すと、
120 司 ええ。
121 回 あの一、皮膚が時々、やな場面になると、
122 回 痒くなるとかね？
123 司 あー。
124 回 もう、ものすごく痒くな（る）、
125 司 はい。
126 回 「皮膚掻痒症」と申します。
127 回 //痒くなったり？
128 司 ええ。
129 司 なんか、じんま疹が出てきてしま//ったりとか。
130 回 はい。
131 司 はい。
132 回 それから、アトピーってありますね？
133 司 はい。
134 回 アトピーが、そういう、ストレスに、伴って、
135 回 強一くなつて、
136 回 うーんと痒くなるとか、
137 司 ええ。
138 回 あとは、皮膚ですと、「円形脱毛症」なん//ていうようなこととかですね、
139 司 あー。
140 司 はい。
141 回 じんま疹ができるとか、
142 司 ええ。
143 回 まあ、例えば皮膚だと、そういうふうな感じで、
144 回 あの一、体、気持ちのSOSを出していると。
145 司 ふーん？
146 司 一つは皮膚です//ねー。
147 回 はい。
148 司 それからあとは、どういつ//た症状があるんですか？
149 回 そうですねー、あとは筋肉なんかですと、
150 司 ええ。
151 回 横から見ても、
152 回 周りから見てもわかるように、
153 回 「チック」なんてございますねー。
154 司 はい。
155 回 そう、目をパチパチさせると//かー、
156 司 ええ。
157 回 （それ）から、体を急にギューっと動かすとか、
158 司 はい。
159 回 それから、声を「うーん。」とか出すとか、
160 回 「アー。」とか、
161 司 ええ。
162 回 「音声チック」といいます（が）、
163 回 音声、//（？）のチックとかです//ね？
164 司 はい。
165 司 ええ。
166 回 まあ、そんなこととか、

167 回 それから、例えば、手が震えちゃって、
 168 回 「書癡」、
 169 回 結婚式の、その一、サインなんか、そこで震えてしまうとか、
 170 司 ええ。
 171 回 手が震えて書けないって、//あれは「しょけい」と申します。
 172 司 あー。
 173 司 はい。
 174 回 それと、手が震えちゃうとか、
 175 司 う、うーん？
 176 回 そういった、運動の症状も出ることもありま//すねー。
 177 司 あー？そうですか。
 178 回 はい。
 179 司 そういった、まあ、わりに目で見て、
 180 司 わかるような//部分、
 181 回 はい。
 182 司 それから、内臓的にはどうなのでしょう。
 183 回 そうですねー、一番、あの一、子どもさんを、なぐ、なぐ、あの一、悩ませるのは、
 「過呼吸症候群」なんて、
 184 司 過呼吸。
 185 回 はい。
 186 回 あの、不安になりますと、
 187 回 心臓が、ハアハア、こう、
 188 司 ええ。
 189 回 ドキドキドキドキしまして、
 190 回 //呼吸が、ハアハアハアハアって、
 191 司 はい。
 192 司 うー//ーん。
 193 回 こう、死ぬのではないのかとかいっ//
 (て)、
 194 司 ええ。
 195 回 救急車を呼ぶような、//そういう、怖いこととか、
 196 司 あー？
 197 司 はい。
 198 回 あとは、わりと有名なのは、学校行こうかなーなんて思うと、
 199 回 その、下痢の症状が始まるとか、
 200 司 うーん。
 201 回 それから、お腹が痛くなってしまう//たりですね？
 202 司 はい。
 203 司 ええ。
 204 回 そういった問題とか。
 205 司 はあー？
 206 司 例えば、食欲が減ってしまったり、
 207 回 はい。
 208 司 それから、ぎゃ、//逆に、異常に増えてしまったりということも、
 209 回 はい。
 210 回 はい。
 211 司 ありますでしょうか。
 212 回 そうですねー。
 213 回 //やはりあの一、今の、若い女性、このごろ男性も多いですけども、
 214 司 ふーーん？
 215 司 ええ。
 216 回 あの、相当な勢いで増えていますのが、「やせ症」とか、
 217 司 ええ。
 218 回 「拒食症」と言われる、//方々で、
 219 司 はい。
 220 回 とても軽いものから、

221 司 ええ。
222 回 それから重いものまでですね、
223 司 はい。
224 回 まあ、そういったことが、極度の、「肥満が怖いなー。」なんていう人が、//相当増えていましたり？
225 司 ふーん？
226 司 はい。
227 回 それから、逆に、なんかストレスがあると、
228 回 たくさん食べちゃう人とか、
229 司 あー？
230 回 どうでしょうね、//みんな。
231 司 はい。
232 回 まあ、そういったことーが、//まあ、あったり、
233 司 うん。
234 回 あの一、いろーんな体の全体の、その、なんていいますかね、
235 回 働きが、こう、変わってくるという、
236 司 うーん。
237 回 簡単に言いますと、
238 回 人間には、「自律神経」ってのがありまして、
239 司 ええ。
240 回 「交感神経」と「副//交感神経」、
241 司 はい。
242 回 まあ、非常に興奮を促すほうと、
243 司 ええ。
244 回 抑えるほうっていうのがあるんですが、
245 回 そこへ、こう、ストレスが働きまして、
246 回 あの、体のいろんな部分が、
247 司 うん。
248 回 その、不調を一、を、こう、出してくると、
249 回 まあそんなことになりますねー。
250 司 ええ。
251 司 まあ、大人の場合ー、//でしたらね？
252 回 はい。
253 司 それが、なんかこう、//自分の体の調子が悪いっていうのは、//わかるんですけども、
254 回 はい。
255 回 はい。
256 司 やっぱ、子どもーは、なんかだるいなとか、
257 司 こう、//疲れやすいなっ//っていうだけで、
258 回 はい。
259 回 はい。
260 司 なかなか、自分だどうだっていうことは、うまく伝えられない//のでしょうねー。
261 回 そうです//ねー。
262 司 ええ。
263 司 そういった状態の中で、
264 回 はい。
265 司 「どうも、最近うちの子がおか//しい。」、
266 回 うん。
267 司 あの一、「なんかおかしいのではないのか。」という部分を、
268 回 はい。
269 司 どうやって気づいて//いけるんでしょうか。
270 回 はい。
271 回 まあ、これはあの一、日常を、その一、よく付き合っておられる時に、
272 回 観察をしているっていうことが一番なんです//が一、
273 司 ええ、ええ。
274 回 おおむねは、口数が減りますねー。
275 司 はあー、はい。
276 司 はい。

277 回 それから、動きが少なくなるかなーということとか、
278 司 動きという//のは、もう、//体を、
279 回 はい。
280 回 あの、活動性ですね？
281 司 活動性//ですか。
282 回 はい、活動//性とか。
283 司 はい。
284 司 ええ。
285 回 まあ、その二つで、
286 回 あの一、が、大体初めの、//なんていいですかね？
287 司 あー？
288 回 こう、サインといいますか、
289 回 S//OSで、
290 司 はい。
291 回 だんだんに、こう、不活発になってくるとか、
292 司 ええ。
293 回 まあ、そんなことで、出てまいりますねー。
294 司 はい。
295 司 じゃあ、そういうことは、ちょっとした、なんかこう、体の疲れぐらいでは、よく出
てくる症状ではありますけれ//どもねー。
296 回 はい。
297 司 ええ。
298 回 そうですね//一、それにまあ、
299 司 それと一、
300 司 //ええ。
301 回 はい。
302 回 それが一、まあ、^{イチツツカ}1日2日、
303 司 ええ。
304 回 例えば運動会の練習とか、//学芸会とか、旅行とか、
305 司 ええ。
306 司 はい。
307 回 まあそういった、あの、なんていいですかね、
308 回 それを充電するための、2日間ぐらいいいんですけども、
309 司 ええ。
310 回 それが1週間とか、2週間//とか続くと、
311 司 はあー。
312 司 ええ。
313 回 「おや？これはスランプかな？」というふうな、//感じで、
314 司 うーん。
315 回 その一、対応する必要があるんでしょうねー。
316 司 はい。
317 司 その場合は、どういう//ふうに、子どもたちに問いかけることができるんでしょう
か、
318 回 はい。
319 司 そういうことに、まあ、気づいた時にですねー。
320 回 そうですねー、子どもさんは、なかなか、あの一、ひみ、秘密主義といいますか、
321 司 ええ。
322 回 言わない、
323 回 で、言えないというのがありまして、
324 回 一番未熟な、身近な人に言わないという//、ことがありますので、
325 司 うーん。
326 回 やはり、それとなく先生とか、
327 司 ええ。
328 回 それから、養護の先生とか、
329 司 ええ。
330 回 に、あの、「学校ではどうですか？」とか、
331 回 まあ、そういうことで、あの一、伺ってみるといいんじゃないでしょうかねー。
332 司 はい。

大
話
段

話
段

小
話
段

Ⅲ 番 組 継 続 の 大 話 段		333 司	さあ、今日は、//「子どもの心相談」を致します。
		334 回	はい。
		335 司	お答え頂くのは、東京都立梅が丘病院、院長のＳＴ先生です。
		336 司	この時間も、皆さんからの相談の受付をしています。
		337 司	受付電話番号は、０３、３４８５８８８。
		338 司	０３の３４８５８８８番です。
		339 司	えー、８が四つです。
		340 司	番号のお間違えのないように、お願い致します。
		341 司	時刻は、１時５５分になります。
	V別番組	342 ー	《各地のニュース、全国のニュース》
Ⅲ 番 組 継 続 の 大 話 段		343 司	２時１０分を過ぎています。
		344 司	「ラジオホッとタイム」、今週は、有江活子のご案内役です。
		345 司	では、この時間は、「子どもの心相談」を致します。
		346 司	お答え頂くのは、東京都立梅ヶ丘病院院長のＳＴ先生です。
		347 司	ＳＴ先生、よろしく//お願い致します。
		348 回	はい、あっ、よろしく申し上げます。
		349 司	はい。
Ⅱ １ 電 話 相 談 の 話 段	A	350 司	では、初めの方です。
	相	351 司	もしもしー？
	談	352 相	はい。
	開	353 司	はい、//こんにちは。
	始	354 相	(いいのかな)。
	の	355 司	お待たせ//しております。
	話	356 相	はい。
	段	357 司	こんにちは。
		358 相	どうも、お願い致します。
B	B	359 司	どなたの相談でしょうか。
	1	360 相	あの一、孫一のことなんですけ//れど。
	相	361 司	はい。
	談	362 司	お孫さん、何年生ですか。
	か	363 相	１年生なん//です。
	け	364 司	１年生の、女の子一、
	の	365 相	女の子//です。
	話	366 司	ですね？
	段	367 司	はい。
		368 司	では、お孫さんの家族を教えてくださいませんか？
		369 相	えっと、両親と、
		370 司	はい。
		371 相	妹と、
		372 司	はい。
		373 相	あの一、ほ、本人です。
		374 司	はい。
		375 司	小学校１年生//のお孫さん。
		376 相	はい。
		377 司	どう、どうなさいましたか。
		378 相	はっ？
		379 司	どうなさいましたか。
		380 司	どのようなご相談//ですか？
		381 相	あのねーえ？
		382 司	はい。
		383 相	夏休みの少し前から、
		384 司	ええ。
		385 相	それまでは、毎日学校行ったんですけれど、
		386 司	はい。
		387 相	(とも)ちゃん、あの一、「お腹が痛くなった。」って言って、
		388 相	学校から電話があるんです。
		389 司	ええ。
		390 相	あの一、夏休み前にね？
		391 相	７月の１０日頃。

392 司 ええ。
393 相 そして、あの一、迎えに行って、
394 相 お医者さんへ連れてくんですけど、
395 司 ええ。
396 相 お医者さんに診断してもらっても、
397 相 どこも悪くないということで、
398 司 ええ。
399 相 四日くらい、それが続いて、
400 司 はい。
401 相 そしたら、今度は、朝、
402 司 ええ。
403 相 学校行く時に、
404 司 ええ。
405 相 「お腹が痛いから、
406 相 学校休む。」って言って、
407 相 休み始めたら、
408 相 それからね、学校行かないんです。
409 司 うーん。
410 司 //で、
411 相 学校行くと、
412 相 お腹が痛くなる//から、
413 司 あー、そうですか。
414 相 嫌だっつって。
415 司 はい。
416 司 あの一、2学期始まってますけれども、
417 相 //はい。
418 司 2学期、
419 司 //には、
420 相 2学期も行かないんですよ。
421 司 あっ、そうですか。
422 司 //はい。
423 相 それで、2学期でねー、
424 司 ええ。
425 相 あの、夏休みじゅう、元気で遊んでたもんですから、
426 司 ええ。
427 相 あの、2学期になったら、
428 相 行くかなと思って、
429 相 みんなで心待ちにしてたんですけれど一、
430 司 ええ。
431 相 どうしても行かない//んです。
432 司 はあ、そうですか。
433 司 何か学校で、
434 司 えー、こう、お孫さんにとって、
435 司 不愉快なことといいますか、
436 司 そんなことがあったかもしれない、というようなことは、どうでしょう、おばあちゃんとして//は。
437 相 そうですね、学校、
438 司 うん。
439 相 どうして行かないのって言うと、
440 相 「面白くないから、
441 相 行かない。」って//言うんです。
442 司 はあ、はあ、はあ。
443 司 あー、そうですか。
444 司 で、あの、普段は、おばあちゃんとよく、
445 司 す、今、一緒には、えー、暮ら//してはらっしゃらないんです//ねー。
446 相 あの一、
447 相 暮らしてはいないんです。
448 相 あの、別の棟でねー、
449 司 ええ。
450 相 あの一、保育園行ってたもんで、

451 相 お母さんが、保育園連れてって、
 452 相 置いて、
 453 相 勤めに行っちゃうんですけど、
 454 司 //はい。
 455 相 今は、学校行かない {笑い} もんだから、
 456 相 私//のうちへ、
 457 司 ええ。
 458 相 とんで来ちゃうんです、朝。
 459 司 あっ、そうですか。
 460 相 はい。
 461 司 そうすと、大体日は、おばあちゃんと一緒に//過ごされているということですね？
 462 相 そうなんです。
 463 相 だもんで、心配で//ねー、
 464 司 あー。
 465 相 このまんま、どうしようと//思っ。て。
 466 司 そうですかー。
 467 司 はい。
 468 司 あのう、おばあちゃんここにいらっしゃる時は、
 469 司 お孫さんどんなふうにして、
 470 相 //元気で、
 471 司 過ごしてらっしゃる。
 472 相 それこそ元気でねー、
 473 司 ええ。
 474 相 折り紙たたんだり、
 475 司 あー。
 476 相 そういうことが、とても好きなものですから、
 477 司 ええ。
 478 相 あの一、絵を描いたりー。
 479 司 そうですかー。
 480 司 はい。
 481 司 では、S T先生お願い致します。

A 482 回 あっ、
 相 483 回 あっ、こんにちは、//S Tです。
 談 484 相 あっ、こんにちは、どうもー。
 開 485 回 はい。
 始 486 相 よろしく願//い致します。
 487 回 ええ。

B B 488 回 あの、ご心配ですねー。
 2 489 相 はいー。
 相 490 回 はい。
 談 491 回 それですね、
 492 相 はい。
 け 493 回 ちょっと伺いますが、
 の 494 相 はい。
 話 495 回 あの、夜なんか、よく寝てます？
 段 496 相 ええ、夜はねー、とても眠られる//ようです。
 497 回 そうです。
 498 回 食欲も大丈夫ですねー？
 499 相 はっ？
 500 回 食欲も大丈夫//ですね？
 501 相 食欲は、ものすごく旺盛なんです。
 502 回 そうですね。
 503 回 活発ですね？
 504 相 ご飯をねー、とてもご飯が好きでー、
 505 回 はい。
 506 相 ご飯をとてゑ食べるんです。
 507 相 おかわりして、
 508 相 もうねー、一膳半ぐらい食べるんです。

509 回 はい。
510 回 それで、あの、面白くないっていうのは、具体的になんだと言っていましたか。
511 回 友達とか、
512 回 先生//とかねー？
513 相 友達っていう//かね？
514 回 ある科目とか、
515 回 なんか言っていましたかー？
516 相 勉強が嫌いだって//言うんです。{笑い}
517 回 勉強が嫌いなんですか。
518 回 勉強の中でも、何が、とく、やなん、やだって言うんですかねー。
519 相 ええ、そうですね、計算やらせると、
520 相 結構早くね、
521 回 うん、
522 相 //おともだ、
523 回 計算が得意なんですねー？
524 相 お友達より計算早くやっちゃうんですけどー、
525 回 そう//ですかー。
526 相 どういうことでしょうねー。
527 回 ねえ。
528 相 何か、やる、
529 回 あとは、あの、お友達のことを文句を言ったりとか、
530 相 //そういうこと言わないですね。
531 回 あの一、先生の不平なんかは、どう//でしょうか。
532 相 文句は言わないです。
533 回 いじめとか、そんなことは、ない//んですね？
534 相 そういうことは、ない、
535 相 なかったようなんです。
536 回 そうですか。
537 回 なんか、えらい、恥をかいたとか、
538 回 そんなことも、言って//ませんでした？
539 相 ええ、そういうこともないようなんです//けれどねー。
540 回 そうですか。
541 回 あの、学校の先生とは、どの程度、連絡をとれてんですか//ね。
542 相 ええ、先生はねー、
543 回 うん。
544 相 うちの、すぐ上のアパートに、いるもんですから、
545 回 はあはあ。
546 相 あの一、今年、初めて、大学卒業して、
547 回 うん。
548 相 そして、あの一、担任の先生にな、なった、
549 相 お若い先生なんです、22歳だとかいってね。
550 回 うん。
551 相 その先生と、とても気が合うようで、
552 回 はい。
553 回 あの、受け持ちの先生ですね？
554 相 受け持ちの先生が、うちの傍のアパートにいるもんですから、
555 回 うーん。
556 相 帰りに寄ってくれたりね、
557 相 あの、夏休みにも、3回ばっか来てくれて、
558 回 その時は、大丈夫ですね？
559 相 大丈夫だったんです。
560 相 お食事したりね、
561 相 図書館へも行ってくださっ//たりしてー。
562 回 うん。
563 回 じゃ、それは是非続けて頂いてね、
564 相 はい。

		565 回	それで、あと、あの、学校の保健室なんかは、使いましたか？
		566 相	ええ、保健室行って一、
		567 相	私が迎えに行くと、
		568 相	寝ているんですよ//ね、
		569 回	ええ。
		570 相	「お腹が痛いから。」って言って。
		571 回	なるほどね？
C 相 談 う け の 話 段	C 1 回 答 提 供 の 小 話 段	572 回	また、あの、行けば、
		573 回	保健室なんかも、是非利用して頂くんですが、
		574 相	はい。
		575 回	まあ、今後のスタンスとしま、しましては、
		576 回	あの一、行ける時間とか、
		577 相	はい。
		578 回	まあ、好きな科目とか？
		579 相	はい。
		580 回	あの、行事とかですね？
		581 相	はい。
		582 回	そういったところで、どこか行くかい？っていうことを、
		583 回	その一、なんていうんですかね？
		584 回	よく、コミュニケーションのいい、受け持ちの先生と、お話をしたらどうでしょうかね。
		585 相	ああ。
		586 回	それ//で、
		587 相	あの、
		588 回	はい。
		589 相	先生とはね、
		590 回	はい。
		591 相	ときたま、あの、うちに寄ってくださってね、
		592 回	はい。
		593 相	先生は大好きだって言うんです。
		594 回	とてもいいですね。
		595 相	はい。
		596 回	ですから、あの、順序としましてはね？
		597 相	はい。
		598 回	あの一、ここに書いてありますように、
		599 回	買い物とか、
		600 回	外出とか、
		601 回	図書館とか、
		602 相	はい。
		603 回	で、その、あとにね、
		604 相	はい。
		605 回	保健室へ行くとか？
		606 相	はい。
		607 回	あの、とっても楽な、こう、なんていいですかねー、
		608 相	はい。
		609 回	行きやすい授業ですね？
		610 相	はい。
		611 回	行きやすいところから、こう、行くというように、
		612 回	あの、先生が見守ってくれるよっていうふうな言葉を言って頂いて、
		613 相	はい。
		614 回	あの一、出かけたらどうでしょうかね。
		615 相	あー、そうです//か。
		616 回	はい。
		617 回	そこです、ものすごい、こう、腹痛があるとか、
		618 相	はい。
		619 回	すごく、こう、感情的に泣き叫ぶとかいったら、
		620 回	そこで、あの、ストップをしますけれども、
		621 相	あー、そうですか。

大	小
話	話
段	段

622 回 あのー、行ってみると、
 623 回 案外、大丈夫な場面と、
 624 相 はい。
 625 回 やな場面があると思いますので、
 626 相 はい。
 627 回 是非、そんなふうなことをやってみて頂けますか？
 628 相 あーそうです//か。
 629 回 でー、あと、おばあちゃまのスタンスというか、
 630 回 あの、対応の仕方はね？
 631 相 はい。
 632 回 あまり、こう、あなたのほうから、「心配だ」っていうふうに、
 633 回 こう、働きかけたり？
 634 相 はい。
 635 回 あまり、こう、赤ちゃん返りさせないように、
 636 相 はい。
 637 回 を、視野の中に入れながら、
 638 回 よくできたら、
 639 回 「よくできたね」っていうふうな感じで、
 640 相 あー。
 641 回 あの、ほめるという、
 642 相 えーえー。
 643 回 ええ。
 644 回 ですからまあ、あの、言葉は、
 645 相 はい。
 646 回 変ですけど、
 647 回 お腹の中は、ギンギラギンに心配してても、
 648 回 顔は、さりげなく、こう、対応して、
 649 相 はい。
 650 回 傾向を見て、
 651 相 はい。
 652 回 ちょうど、いい先生がおり、ね？
 653 回 おられるから、
 654 相 はい。
 655 回 あの、徐々にやってみたらいかがでしょうか。
 656 相 あー、そうです//か。
 657 回 はい。
 658 相 //わかりました。
 659 回 あの、活動性もあるし、
 660 相 はい。
 661 回 あの、全体的には心配はないですよ。
 662 相 あー、そうで//すか。
 663 回 ええ。
 664 回 じゃあ、そんなことで、//経過をご覧になってください。
 665 相 はい。

D
 相 666 相 はい、どうも、
 667 回 はい。
 668 相 お世話になりました。
 669 回 //はい、どうぞ。
 670 相 ありがとう//ございました。
 671 司 お大事にどうぞ。
 672 相 はい。
 673 相 //またよろしく願います。
 674 司 失礼します。
 675 回 はい。
 676 司 はい。
 677 相 ありがとうございまし//た。
 678 司 はい。

Ⅱ	A	679 司	では、次の方です。
1	相	680 司	もしもし？
電	談	681 相	はい。

大 話 段	小 話 段	話 段	話 相 談 の 談 話
		開始 の 話 段	682 司 はい、こんにちは。 683 司 お待たせ致//しました。 684 相 こちら、 685 相 あっ、こんにちは。 686 司 はい。
	B 1 相 談 か け の 話 段	B 1 相 談 提 示 の 小 話 段	687 司 どなたの相談でしょうか。 688 相 あの、私の孫ですけど。 689 司 お孫さん、は//い。 690 相 はい。 691 司 何年生でしょう。 692 相 中学校2年生です。 693 司 はい。 694 司 えーっと、男の子、 695 相 //え、男の子で//す。 696 司 です、ね？ 697 相 はい。 698 司 では、お孫さんの家族を教えてください。 699 相 はい。 700 相 両親に、 701 司 はい。 702 相 あの、本に、にん、 703 司 //はい。 704 相 中学、中2と、 705 司 中学2年//生。 706 相 ええ。 707 相 4年生の、 708 司 //はい。 709 相 男の子2人です。 710 司 はい。 711 司 弟さんがい//らっしゃる。 712 相 はい。 713 司 中学2年生のお孫さん、どのような相談でしょうか。 714 相 あの一、中学校1年生のしが、4月までは、学校行きましたが、 715 司 はい。 716 相 5月以降、ふっ、いわゆる不登校になってしまったんです。 717 司 はい。 718 相 そして、現在も休んでおります。 719 司 はい。 720 相 それで、両親が、いろいろと、こう、そう、相談っていいですか、 721 相 そういう集まりに行ったり、 722 司 ええ。 723 相 あの、本をいろいろと読みあさったようです//けれども、 724 司 ええ、ええ。 725 相 あの、なんか、ケースバイケースが多くって、 726 司 ええ。 727 相 なん、なにかひとつ、どうしたらいいかっていうことが、こう、 728 相 わからないという状態なんですね？ 729 司 はい。 730 相 それで、まず、今のところ、両親は、 731 司 ええ。 732 相 あの一、家族で、見守るということと、 733 司 はい。 734 相 それから、家族で、居心地よく、//してやるということに心配りをして、 735 司 ええ。 736 司 ええ。 737 相 暮らしているようですけれども、 738 司 ええ。 739 相 あの、その、見守るとか、 740 相 居心地よくとか、こう、いろいろ、聞いたりなんかしてるようなんですけれ//ども、 741 司 はい。

742 相 中には、ただそれだけではいけない、
743 相 なにかね？
744 司 ええ、ええ。
745 相 言ってやらなければならないんだって、
746 相 あの一、特に、将来のことについて、あの、こういう仕事するんだとか、
747 司 ええ。
748 相 高校には行くんだとか、
749 相 なんか、そういうことをビシッとっておかないと、
750 相 そのまんまになってしまうという、そういう助言を頂いたんだそうで、
751 司 はい。
752 相 まあ、言ったりもしてみたそうですけれども、
753 司 ええ。
754 相 本人は、あ、あの、曖昧一、に返事するとか、
755 司 はい。
756 相 それから、黙りこんでしまうとかという状態で、
757 司 ええ。
758 相 その一、居心地よくとか、
759 司 ええ。
760 相 見守るということは、
761 相 一体、具体的に、どういうふうに、
762 司 はい。
763 相 家族が接してやればいいのか、
764 司 //はい。
765 相 または、どういう、話しかけですね？
766 司 はい。
767 相 してやればいいのかということについて、
768 相 あ、の、両親のほう、なんか、こう、
769 司 ええ。
770 司 迷ってらっしゃる//訳ですねー？
771 相 迷ってますので、
772 相 私//自身も、
773 司 はい。
774 相 うちに来ますのでね、孫も。
775 司 お孫さんが。
776 相 ええ。
777 司 はい。
778 相 それで、あの、どういうふうにしたらいいかっていうことを、
779 司 はい。
780 相 ご相談申し上げたいのですけれども。
781 司 はい。
782 司 普段は、お孫さんは、どんなふうにしてらっしゃるんでしょうか。
783 司 //どう過ごしてらっしゃいますか？
784 相 あ、の、
785 相 普段は、
786 司 ええ。
787 相 まず、うちで、勉強はほとんどしません。
788 司 はい。
789 相 テレビを見たり、
790 相 それから、今は、あの、将棋ですね？
791 司 はい。
792 相 しよ、
793 相 あ、の、
794 司 しよ、
795 相 あ、の、将棋に、
796 司 ええ。
797 相 将棋に、夢中といたらいいんでしょうか。
798 相 す、まあ、時々、本買って、一人で、
799 相 そして、もう、父親も、相手にならないんですね。
800 司 ええ。

801 相 ええ。

802 相 というようですけれども、

803 相 その、(?)、//あの、教室みたいなところねー、

804 司 しよ、

805 司 将棋ですか？

806 相 将棋です。

807 司 将棋//ですね？

808 相 駒を使う将棋。

809 相 囲碁と、

810 司 //囲碁、将棋の将棋ですね？

811 相 の、

812 相 うん、将棋です。

813 司 はい。

814 相 で、そういう教室があるので、

815 司 //あー。

816 相 行ってみないかと勧めても、

817 司 ええ。

818 相 行かないんで、

819 司 ええ。

820 相 一人でやってる、//という。

821 司 あっ、はい。

822 相 で、誰も、もう、

823 相 相手にならないってはおかしいんです//けれども、

824 司 強くなったんですねー？

825 相 ええ。

826 司 うん。

827 相 相手にならないっていうのは、あの、孫のほうが、うまくって、

828 司 ええ。

829 相 ええ。

830 相 という状態で、

831 相 まだ一人でやってるんです？

832 司 はい。

833 相 今はそれだけです。

834 司 //はあ。

835 相 あと、時々、弟たちと野球一、をしてるようです。

836 司 そうですか。

837 相 ええ。

838 司 はい。

839 司 では、S T先生//、お願い致します。

840 回 はい、ええ。

841 相 //はい。

A 相 談 開 始	842 回	あの一、S Tです。
	843 回	こんにちは。
	844 相	こんにちは。
	845 回	//はい。
	846 相	よろしくお//願い致しま//す。
847 回	ええ。	

B 相 談 か け の 話 段	B 2	848 回	あの一、あなたも、いろいろね、ご心配して おられるよう//ですねー。
	849 相	ええ、とっても心//配なんです。	
	850 回	そういうこと、	
	851 相	//あの一、	
	852 回	そうしますとですねー、	
	853 相	ええ。	
	854 回	ちょっとうたがい、伺いたいんですけれども一、	
	855 相	ええ。	
	856 回	小学校、幼稚園とか、	
857 相	ええ。		
858 回	小学校と、とかですね、		

859 相 ええ。
860 回 やはり一人遊びとか、
861 相 {息を吸う}
862 回 そういった、碁、碁、将棋ですか？
863 相 ええ。
864 回 そういったことが大変好き//で。
865 相 ええ、ええ。
866 回 //一人で。
867 相 あの、なんか、でも、幼稚園では、
868 相 あの、母親が、写真で、幼稚園の先生が、「仲良しと一緒に食べなさい。」って、
869 相 あのー、ご飯を食べる時にねー、
870 回 はい。
871 相 あー、時々そういうことやったんだそうです？
872 回 はい。
873 相 その時に、気にかかったのは、
874 相 みんな、なんかこう、丸くなって食べてるのに、
875 回 うん。
876 回 一人で。
877 相 うん、一人でいたっていうのが、なーんか、気にかかるってことは、あのー、話して
ましたし。
878 回 じゃ、孤独を好んだり、
879 相 いやー。
880 回 それから、一つのことに、大変、こう、上手だとか、
881 回 こだわ、あの、なんていうのか、
882 相 //あつ、
883 回 こだわるとか、
884 回 そういうところは、少しあるんですかね、//小さい時（から）。
あのー、なんか、飽きやすいんですけど
885 相 ね、
886 回 はい。
887 相 夢中に//なるところがあるんです。
888 回 わかりました。

C C 889 回 じゃあ、//あのー、
相 1 890 相 ええ。
談 回 891 回 いくつかありましてですねー、
う 答 892 相 ええ。
け 提 893 回 やっぱ、あのー、こういう場合には、
の 供 894 回 いろいろやることを、その、おちのないように、
話 の 895 相 ええ。
段 小 896 回 こう、点検しながら、
話 話 897 相 ええ。
段 898 回 あの、彼を、なんていうのかな？
899 回 バックアップする必要があると思うんですねー。
900 相 はい。
901 回 まあ、一つは、学校からの協力ですけれども、
902 相 ええ。
903 回 で、二つは、おうちの方とか、
904 相 ええ。
905 回 （それ）から、三つ目には、あの、教育相談ってございますよね？
906 相 ええ。
907 回 とか、
908 回 で、四つ目には、彼が得意な、その、碁会所ならぬ、将棋会所、
909 回 //なん、なんて言うんですかね。
910 相 ええ、ええ。
911 回 そういうところを利用されると、
912 回 大いにいいと思いますので、
913 相 ええ。
914 回 その中で、あの、彼が、成長ですね？
915 相 ええ。
916 回 やっぱ、やるべきことは挑戦しよう、

917 回 集団に入ろうというような気持ちが、育ってくるといいと思うんですが、
 918 相 ええ。
 919 回 まず、第一番に、あの一、伺いますが、
 920 回 学校の先生からは、あの一、お誘いの電話とか、
 921 相 あっ、
 922 回 そんなことはどうです？
 923 相 なんか、ないようなん//ですけど。
 924 回 うーん、そうですか。
 925 相 //ええ。
 926 回 是非それはですね、
 927 相 ええ。
 928 回 お父様と、お母様とですね、
 929 相 ええ。
 930 回 あの、電話をください、
 931 回 まず、頂いたりすることがいいですね。
 932 相 はい。
 933 回 で、あの一、うちへ来ちゃい、来ちゃいますと、
 934 回 逃げどころがなくなっちゃ//いますので、
 935 相 ええ、ええ。
 936 回 電話で、あの、お話ができるかどうか、
 937 相 ええ。
 938 回 ということ、その一、依頼してもらえますかね、学校のほうに。
 939 相 あの一、両親のほうから、
 940 回 ええ。
 941 相 学校に依頼す//ればよろしいんですね？
 942 回 ええ、そうですね。
 943 相 //はい。
 944 回 そうしますと、
 945 相 ええ。
 946 回 学校は、自分を、あ一、見捨ててないなとか、
 947 相 ええ。
 948 回 期待してるなっていう//感じを、うんと思ってもらうのが、一番かな？という//感じが一番ですね？
 949 相 ええ、ええ。
 950 相 あ一、そうですか。
 951 回 それ、是非やって、
 952 相 ええ。
 953 回 で、もし、あの一、本人がいい、いいよというんでしたら、
 954 相 ええ。
 955 回 あの、うちへ来て頂くと。
 956 相 あっ、
 957 回 ま、そんなこともありますけど、
 958 相 ええ。
 959 回 いきなり来ると、
 960 回 いやがるがありますから、
 961 相 ええ、//ええ。
 962 回 それは慎//重にという、
 963 相 うん、あの一、なんか、一度、いらして頂いたら、
 964 相 逃げてしまった//そうで。
 965 回 そうですね？
 966 相 ええ。
 967 回 それがありますのでね？
 968 相 ええ。
 969 回 でも、逃げるという中には、
 970 相 ええ。
 971 回 やはり、こう、自分を見ていただく、
 972 回 み、見てもらってるなっていう気持ちと、
 973 回 やだなっていう気持ちが//錯綜してますから、

974 相 ええ、ええ、//はい。
975 回 全部嫌じゃないもんですから、
976 相 あー。
977 回 それを継続的にお願い//しますということ//ですね？
978 相 はい。
979 相 ええ。
980 回 で、二番目には、おうちでは、やはり（？）ですねー。
981 相 ええ。
982 回 機嫌のいい時と、
983 回 悪い時と、
984 相 ええ。
985 回 中くらいの時がありますよねー。
986 相 ええ、ええ、え//え、そうです。
987 回 あの、いい時には、
988 相 ええ。
989 回 あの一、彼にですね？
990 回 やはり、こう、家の中のルールを守ろうよーと、
991 相 ええ。
992 回 寝る時は、寝ましようとか、
993 相 ええ。
994 回 少しおうちの中で、なんかやりましようとか、
995 相 ええ。
996 回 あの、いい時に、ちょっと声をかけておいて、
997 相 ええ、ええ。
998 回 そしてですねー、
999 相 ええ。
1000 回 ふっと、まあ、ちょっと、あんまり怒らせないで、
1001 相 ええ。
1002 回 一つ、ふっと、顔色が変わって、
1003 回 怒るなっていう程度の注意はしてみたらどうでしょう。
1004 相 はい。
1005 回 怒ったら、
1006 回 1，2，3っていうふうに怒ると、
1007 相 ええ。
1008 回 あの、様々な反応が起こりますので、
1009 相 はい。
1010 回 やはり、あの、一番いい時に、
1011 相 //はい。
1012 回 みんなで、おんなじことをやろうねっていう//こと
は、
1013 相 ええ。
1014 回 普段話して頂く//というおうちの努力//をして頂くと。
1015 相 はい。
1016 相 ええ。
1017 相 はい。
1018 回 で、もう一つは、あの、ご近所に、あの、あれありますか、教育相談。
1019 回 教育相談っていうのは、あの、
1020 相 ええ。
1021 回 電話かけますと、
1022 回 教育委員会へ電話をかけてください。
1023 相 はい。
1024 回 そこに、教育相談所っていうのがあります//から、
1025 相 はい。
1026 回 とりあえず、あの一、ご両親なり、あなたが、が、ですね、
1027 相 ええ。
1028 回 どんなふうにして、
1029 回 あ、彼を、その一、理解して、
1030 相 ええ。
1031 回 一体どんなふうにして、
1032 回 こう一、まあ、指導して、

1033 相 ええ。
1034 回 まあ、いくかっていうことを//聞いてみて、
1035 相 ええ。
1036 回 まず、ご両親、あるいは、あなたから言ってみてください。
1037 相 はい。
1038 回 で、そのうちに、彼が、あの、その、教育相談に現われるという、
1039 相 ええ。
1040 回 ま、そういった順序ですね？
1041 相 えっ、あの、「彼が現われる」っていうのは、
1042 回 ええ、//彼、
1043 相 教育相談じゃなくて、
1044 回 えっ、//教
育相談、
1045 相 （？）ことですね？
1046 回 ええ、教育相談のほうに、
1047 相 ええ。
1048 回 もう、行くようになります、だんだんにやってますと。
1049 相 あっ、あっ、そう、はあ。
1050 回 ええ、あの一、ちょっと時間がかかりますが//ね？
1051 相 ええ。
1052 回 まあ、そんなことで。
1053 相 //ええ。
1054 回 実は、3番目には、あの、4番目には、先程一、囲碁が、あー
ん、将棋がとても上手//なので、
1055 相 ええ、ええ。
1056 回 大人との集団は、わりといいはずですから、
1057 相 はい。
1058 回 あの一、大人との集団だと、
1059 回 あの一、なんて言いますかねー、
1060 回 お互いの非難とか？
1061 相 ええ。
1062 回 それから、競争が起きませんので、
1063 相 はい。
1064 回 是非、あの一、そういうところも利用しながら、
1065 相 ええ。
1066 回 あの一、自分、が、こう、なんて言いますかねー、これは、うーん、
1067 回 まあ、自己評価っていうんですけど、
1068 相 ええ。
1069 回 自分には優れたところがあるよと、
1070 相 //ええ。
1071 回 いうふうな、自信ですね？
1072 回 つなが//るものが一、あの一、伸びていきますので？
1073 相 ええ。
1074 相 はい。
1075 回 そういったことを通じながら、
1076 相 ええ。
1077 回 いくと。
1078 回 そうすると、そういうところでも、みんな//アルバイ、アドバイスをもらえます。
1079 相 ええ。
1080 相 はい。
1081 回 ですから、その4本をやって頂けたらいいのかなと。
1082 回 少し、あの一、なんて言いますかね、
1083 回 頑固というか、
1084 相 ええ。
1085 回 言うことをきかないところがあるので、
1086 相 ええ。
1087 回 あの一、少し時間はかかりますけれども、
1088 相 はい。
1089 回 見守ってください。

大話段 小話段

		1090 相	はい。
		1091 回	で、その頑固さがね、
		1092 相	ええ。
		1093 回	あとで、とてもいいことに、あの、あれですよ？
		1094 相	//ええ。
		1095 回	あの一、そ、役立ちますので、
		1096 相	あー。
		1097 回	是非、じゃ、//そんなことで、見てください。
		1098 相	はい。
		1099 相	ええ、はい。
		1100 回	じゃあ、//どうぞー。
		1101 相	まったく、小さいくちから、あの一、頑固、//なところ、頑固でした。
		1102 回	ええ、あの一、がん、
		1103 回	そうですねー。
		1104 相	ええ。
		1105 回	頑固というのは、あとで役立つことになります。
		1106 相	あー、そうなんで//（すか）。
		1107 回	ええ。
		1108 相	それ//一、
		1109 回	ですから、それを役立てる//ように、少し//見守ってあげて？
		1110 相	ええ。
		1111 相	はい。
		1112 相	ええ。
D 相 談 終 了 の 話 段		1113 回	じゃ、そんなことで。
		1114 相	はい。
		1115 回	どうぞー、みて//ください。
		1116 相	どうも、//ほんとに、//ありがとうございます//た。
		1117 司	はい。
		1118 回	はい。
		1119 回	はい。
III 番組継続の 大話段		1120 司	(?)、どうぞ、//失礼致します。
		1121 回	はい。
V別番組			
II 1 電 話 相 談 の 話 段	A	1122 司	では、音楽、ニュースをはさんで、
		1123 司	また、子供の心相談続けます。
		1124 ー	《音楽・交通情報・ニュース》
		1125 司	では、続いての方です。
	相	1126 司	もしもし？
	談	1127 相	はい。
	開	1128 司	こんにちほ。
	始	1129 司	お待た//せ致しました。
	の	1130 相	あつ、こんにち、
	話	1131 相	はい、どうもすみません。
B 1 相 談 か け の 話 段		1132 司	はい。
	B	1133 司	どなたの、相談でしょうか。
	1	1134 相	あつ、孫の、孫と一、
	相	1135 司	はい。
	談	1136 相	それから、私との間のことです。
	提	1137 司	はい。
	示	1138 司	お孫さん、何年生の。
	の	1139 相	ねんちゅう 年中です、幼稚園の。
	小	1140 司	年中さんといいますと、
	話	1141 相	えーっと、今一、
	段	1142 司	5歳、
		1143 相	もうじき5歳に//なります。
		1144 司	ですか。
		1145 司	は//い。
		1146 相	はい。
		1147 司	お孫さん一の、では、ご家族を教えてください。

1148 相 はい、両親と、
1149 司 はい。
1150 相 いもう（と）、3歳の妹がおります。
1151 司 はい。
1152 司 お//ばあちゃまは、一緒に暮らしてらっしゃら//ないん、
1153 相 あのー、
1154 相 あっ、あのー、一つ屋根の下じゃな
いんですけれ//ども、
1155 司 ええ。
1156 相 あの、通りを挟みまして、
1157 司 ええ。
1158 相 あのー、両方、一件一件に暮らしており//ますから、
1159 司 あっ、そうですか。
1160 相 道路、道路の幅だけの、7メートル//ぐらい離れているぐらいです。
1161 司 はー。
1162 司 はい。
1163 相 はい。
1164 司 どのような相談でしょうか。
1165 相 えー、あのー、私は、昨年主人を亡くしまして、
1166 司 ええ。
1167 相 あの、今、一人で暮らしてるんですけれども、
1168 司 はい。
1169 相 すぐ前に、その、あの、孫二人と、
1170 司 うん。
1171 相 あの、弟ふ、あの、息子夫婦がおりまして、
1172 司 はい。
1173 相 で、息子たちは、共稼ぎです。
1174 司 はい。
1175 相 でー、あのー、上の子が幼稚園で、
1176 相 下の子が保育園に通っております。
1177 司 はい。
1178 相 で、幼稚園の子は、昨年まで保育園だったんですけれどー、
1179 司 ええ。
1180 相 あのー、私一の意見で、
1181 司 ええ。
1182 相 幼稚園のほうがいいんじゃないかっていう、
1183 司 うんうん。
1184 相 あの、いろんな、こう、保育の様子とか、
1185 司 ええ。
1186 相 あー、眺めてまして、
1187 司 ええ。
1188 相 自分の子供が、幼稚園ーで育ったもんですから、
1189 司 はい。
1190 相 別に保育園が悪いって//いうんじゃないんですけれども、
1191 司 ええ、ええ。
1192 司 はい。
1193 相 なんか、あのー、もうちょっと、集団の中で、
1194 司 ええ。
1195 相 あの、規律を持って、
1196 相 あのー、育てたほうがいいんじゃないかって、
1197 相 私がちょっと、提案したもんですから、
1198 司 ええ。
1199 相 あのー、うちのー、まあ、嫁のほうが、
1200 相 あのー、「おばあちゃまが、協力してくださるんだったら、
1201 司 うん。
1202 相 そうします。」ってことで、
1203 相 そう（いうふうに）なったんです。
1204 司 はい。

1205 相 で、あの一、2年保育なもん、
 1206 相 3年保育から始まってのを、2年保育に入れたもんですから、
 1207 司 うん。
 1208 相 最初の頃は、可哀想だなーと思うくらいだったんですがー、
 1209 司 うん。
 1210 相 あの、まあ、上手に適応して、
 1211 司 //うん。
 1212 相 夏休みまで、無事に過ごしてきました。
 1213 司 はい。
 1214 相 それで、あの一、今日は、あの一、ママがお迎えに行けるとか、
 1215 相 今日は、パパがお迎えに行けるとか、
 1216 司 ええ。
 1217 相 あっ、行かないから、
 1218 相 あの一、おばあちゃまだねー、とか、
 1219 司 ええ。
 1220 相 そういうふうに、あの、毎日、//まあ、あの、やりくりしながら、
 1221 司 うーん。
 1222 司 ええ。
 1223 相 なんとかやってきたんです。
 1224 司 はい。
 1225 相 ところが、夏休みが終わりました頃から、
 1226 司 ええ。
 1227 相 急に、孫の様子が、ちょっと変わりまして、
 1228 司 はい。
 1229 相 あの一、私、あの、「おばあちゃまは嫌だ。」っていうんですね？
 1230 司 うーん。
 1231 相 あの、お迎えに来るのが。
 1232 司 はい。
 1233 相 で、あの一、まあ、待ってらっしゃる、
 1234 司 //うん。
 1235 相 お迎えのお母様たちが、みんな若いのに、
 1236 司 ええ。
 1237 相 あの、ちらほらとおばあちゃんがいらっしゃるのでー、
 1238 司 うん。
 1239 相 あの、そういうの、嫌だったんじゃないかなーと、私は、最初思っ、
 1240 司 ええ。
 1241 相 いたし、
 1242 相 今も、まあ、そう思いたいのですけども、
 1243 司 はい。
 1244 相 最近、ちょっと、なんか、ちょっと、暴力的になりまして、
 1245 司 ええ。
 1246 相 あの、その、私に対して、
 1247 相 とっても、もう、絶対嫌だっ、ということを、こう、あの一、まあ、足、女の子ですの
 1248 司 うん。
 1249 相 こう、足蹴りしたりですね、
 1250 司 はい。
 1251 相 あの、背中たたいたりー、
 1252 司 ええ。
 1253 相 それからあの一、あの、かご、おな、いろんなお稽古ごととしてると、
 1254 相 あの、かばんなど、重いもんですからー、
 1255 相 「半分持ちましょうか？」って言うのとー、
 1256 司 ええ、ええ。
 1257 相 あの一、その一、「持つんなら、どうぞ。」っていう、
 1258 相 持ちたいんなら、っていうような感じで、
 1259 司 うーん。
 1260 相 ぼーんって、それを、こう、放り出したりですね、
 1261 司 ええ。
 1262 相 すごくなんか、今までにない態度なんですねー。
 1263 司 はい。

1264 相 (それで)、私も、びっくりしちゃいまし//てね、
 1265 司 うん。
 1266 相 じゃ、あの、「じゃ、ここんところ、ママがやりくりして、
 1267 相 なんとか行ってください。」ってふってるんですけども、
 1268 司 ええ。
 1269 相 あの一、まあ、息子も、「おばあちゃんに、そういう態度とっちゃいけないよ。」と
 か、
 1270 司 ええ。
 1271 相 「あー、どうして今までそんなことしなかったのに、
 1272 相 そうなの？」とか、
 1273 司 ええ。
 1274 相 あの一、いろいろ言うんですけども一、
 1275 司 ええ。
 1276 相 あの一、理由は言いません。
 1277 司 はい。
 1278 相 あの一、まだ、ちっちゃいから、
 1279 相 自分でも言えないのか、
 1280 相 それとも、言いたくないのか、
 1281 相 ちょっとわからないんですけど一、
 1282 司 はい。
 1283 相 言わないですし一、
 1284 司 ええ。
 1285 相 あの一、朝なども、「今日はどうするの？」って、
 1286 相 私が、「おはようございます。
 1287 相 今日はどうするの？」って行くと、
 1288 相 もう、それは、ちょっと、言葉で言うのも、
 1289 相 恥ず//かしいような、ちょっと、態度出したりするんですねー。
 1290 司 はあ。
 1291 相 で、なんか、このまま大きくなったら、
 1292 相 どうするんだろう//って、私、心配になってきちゃったんです。
 1293 司 はあ。
 1294 司 はい。
 1295 相 それで、あの一、うーん、{2秒}
 1296 相 どうふうに接したら、
 1297 司 ええ。
 1298 相 っていうふうに。
 1299 司 おばあちゃんには、どんな場面でも、そん、そういう態度をとるようになったんです
 か？
 1300 相 はい。
 1301 司 そうじゃないこともあるんですか？
 1302 相 そうですね、
 1303 司 //ええ。
 1304 相 いや、わりあいと、
 1305 司 あー。
 1306 相 どんな場面でもです。
 1307 司 特//に、というのはありますか？
 1308 相 あの一、で、私があの、
 1309 司 ええ。
 1310 相 ちょっと、ふと思ったのはですね、
 1311 司 ええ。
 1312 相 ちょっと静かに考えて一、
 1313 相 あの、今、ピアノも習ってるんですねー。
 1314 相 それで、あの一、お稽古に、
 1315 相 先生のところでは、習ってきて一、
 1316 相 次、また、先生行くまでに、
 1317 相 「あなた、全然練習しないのは、駄目よ。
 1318 司 うーん。
 1319 相 あの、少し、あの一、もうおやつも終わったんだから、
 1320 相 あの一、ピアノやってみたら？」っていうふうに、言ったんですね？
 1321 司 ええ。

1322 相 そしたら、あの一、「ママがやれって言わないのに、
1323 司 うん。
1324 相 どうして、おばあちゃんは、そういうふうに、
1325 相 あの、私に言うんだ。」っていうことを言うんですね？
1326 司 ええ。
1327 相 それで、ママには、あの一、私は、預かることは構わないんですけど一、
1328 司 うーん。
1329 相 あの一、「今日は、幼稚園から帰ってきたら、
1330 相 これとこれをやっておきなさい。
1331 相 （それ）から、お着替えは、これをするんですよ。」って、
1332 司 うん。
1333 相 話し合いはしたんですけども一、
1334 司 ええ。
1335 相 あの一、幼稚園から帰ってきても、
1336 相 制服を脱がないで、あの、いたり、
1337 相 それから、脱いでも、
1338 相 なかなかお着替えしないんで、
1339 相 あの、「これ、着たら？」って出すと、
1340 相 絶対に反対の物を//着たがるんですね？
1341 司 あ一。
1342 司 ええ。
1343 相 それから、あと、自分がこれを着たいのに、
1344 相 それが見えないから、
1345 相 「嫌だ。」とかっ//て、//すごく。
1346 司 ええ。
1347 司 あ一、そうですか。
1348 相 あの一、今までは、そういうことなかったのに、
1349 相 なんか、夏休みを境、//に、なんか。
1350 司 うん。
1351 相 で、息子も心配するので、
1352 相 私が、そういう成長の段階かしらね一、っていうふうには、//よく、取ったんですけど一、
1353 司 ええ、ええ。
1354 相 あの一、私自身も一、まあ、主人が亡くなって、
1355 相 大黒柱がいなくなったから、
1356 相 心の不安定が、あるのかな？とも、
1357 司 うん。
1358 相 自分でも反省してるんですけど一、
1359 司 はい。
1360 相 なにか、たかが4歳か5歳の、//子を相手に、と思うんですけど一、
1361 司 うーん。
1362 相 なん//か、
1363 司 はあ一。
1364 相 その、このまま成長していったら//どうしようっていう、
1365 司 はい。
1366 司 あ一、そうですねー。
1367 相 なんか、//今、難しいなと思って。
1368 司 ええ。
1369 司 そうですかー。
1370 相 //はい。
1371 司 はい。
1372 司 では、S T先生、
1373 回 はい。
1374 司 お願いします。
開 A 1375 回 //あつ、あの、S Tです。
始 相 1376 相 はい。
談 1377 回 こんにちはー。
1378 相 あつ、どうも、すみ//ません。
B B 1379 回 ええ、あの一、大変ね、おや、

大 話 段	小 話 段	話 段	
相 談 か け の 話 段	2 相 談 内 容 確 認 の 小 話 段	1380 相	はい。
		1381 回	お悩みのようですけれども、
		1382 相	はい。
		1383 回	あの一、まあ、伺いましたら。
		1384 相	//はい。
		1385 回	{咳払い}
		1386 回	あとは一、あの、お友達関係なんかはどうです？
		1387 相	あ一、やはり、に、似たような、
		1388 相	あっ、どちらかというと、
		1389 相	男の子が好きです。
		1390 司	うん。
		1391 相	//それ、
		1392 回	みんなとうまくやっているようですか。
		1393 相	と、思えるんですけど、
		1394 回	//そうですか。
		1395 相	ちょっと、そのところは。
		1396 相	あの一、うち、いつでも、あの一、親たちがですね一、
		1397 相	「この子は、女子だけの学校じゃなくて、
		1398 相	共学じゃなくちゃだめね。」って言うくらい、
		1399 相	あの一、幼稚園から帰ってくると、
		1400 相	男の子の話が多いんです。
		1401 回	なるほどね。
		1402 相	はい。
		1403 回	え一っと、趣味は？
		1404 相	そうですね一、なん、
		1405 回	趣味ですけどね一、
		1406 回	なんかありますか？
		1407 相	最初の頃は、夏休みの間は、
		1408 相	あの一、絵を、か、絵を描かせたりですね、
		1409 回	はい。
		1410 相	折り紙を折らせたり一、
		1411 相	字を書いたりするの、とっても上手に一、
		1412 相	わたくしが褒めると、
		1413 相	「これも上手？
		1414 相	これも上手？」ってやってたんですけど一、
		1415 回	うん。
		1416 相	今は、「やる？」って聞くと、
		1417 相	やん、もう、絶対にやらないっていう感じで//いて。
		1418 回	そうですね。
		1419 相	はい。
相 談 う け の 話 段	C 1 回 答 提 供 の 小 話 段	1420 回	まあ、全体的には、ご心配なさらないでいいと思うんですが、
		1421 相	あっ、そうですか。
		1422 回	まあ、一つはですね、
		1423 相	はい。
		1424 回	少し、あの、遅れてきた反抗期と言いますか、
		1425 相	はい。
		1426 回	あの一、かなり、ご両親一、
		1427 相	はい。
		1428 回	への ^{自分} 依存とか、
		1429 相	はい。
		1430 回	あの一、いろんな甘えがですね、
		1431 相	はい。
		1432 回	押さえてきたのが、ここで、え一、{2秒}
		1433 回	かなり、もう、やだよってというような感じで、
		1434 相	はい。
		1435 回	出ているのかもしれませんが。
		1436 相	あっ、//そうですか。
		1437 回	で、まあ、その時の、あの一、おばあちゃま のですね、

1438 相 はい。
1439 回 あのー、なんて言いますかねー、
1440 回 あり方というのは、
1441 相 はい。
1442 回 あのー、簡単にですね、
1443 相 はい。
1444 回 「今日、さあ、行きましょう。」とか、
1445 相 はい。
1446 回 それから、ピアノなんか、「さあ、行こうか？」とかですね、
1447 相 はい。
1448 回 あの、その前の段階の、
1449 相 はい。
1450 回 こう、いろんな指示とか？
1451 相 はい。
1452 回 それから、このー、「ちょっとこうしたほうがいいんだよ。」というふうな、
1453 相 はい。
1454 回 あの、強い、なんて言いますかねー、
1455 回 あの、指導を、ちょっと避けてみましょうか。
1456 相 あー、そうです//かー。
1457 回 ええ。
1458 相 はい。
1459 回 そして、それはですね、こういう一つの提案なんです、
1460 相 はい。
1461 回 あのー、お母様、
1462 相 はい。
1463 回 と、お父様が、いる時に、
1464 相 はい。
1465 回 約束事を書いてもらって、
1466 相 はい。
1467 回 で、あのー、「ピアノの練習しましょうね。」とか//ね？
1468 相 はい。
1469 回 「お片づけしましょうね。」なん//て書いてもらって、
1470 相 はい。
1471 相 はい。
1472 回 できたら、
1473 回 おうち帰ったら、
1474 回 シールでもつけてもらって、
1475 相 はい。
1476 回 で、あの、お母様お父様の指示のもとで、
1477 相 はい。
1478 回 こう、おやりになったらどうかなーっていうこと、を、一つ、提案しますねー。
1479 相 あー、そうです//か、はい。
1480 回 ええ。
1481 回 ですから、あのー、逆に、「お母様、お父様、あ、甘えたいよー。」
1482 回 だけど、ちょっと、いないから、
1483 相 ええ。
1484 回 あのー、その、なんて言いますかねー、
1485 回 「依存と攻撃」と言うんですけども、
1486 相 はい。
1487 回 依存したいんだけど、
1488 回 依存したい方がいられないと、
1489 相 はい。
1490 回 逆に、攻撃なんです、
1491 回 一番、あたりのいい、おばあちゃんに行くという、
1492 相 あー、//そうですか。
1493 回 が一番頼りで？ まあ、逆に言うと、あなた
1494 相 はい。
1495 回 一番安心できる存在であるという、

1496 回 あのー、そのー、態度とは裏腹な、
 1497 相 はい。
 1498 回 まあ、そのー、安心感を持っているっていうふうに思っ
 1499 回 自信を持って頂ければいいですね、//おばあちゃまは。
 1500 相 はっ、そうですか。
 1501 回 うん。
 1502 回 ですから、これからのことは、直接、//行こうぞ、「行こうよ。」とか、
 1503 相 はい。
 1504 相 はい。
 1505 回 それは、ピアノでもなんでもそうですけど、
 1506 相 はい。
 1507 回 その前に、あのー、よく言う、形容詞と形容//動詞ですね？
 1508 相 はい。
 1509 回 「だめだ。」とか
 1510 回 「いい。」とか、
 1511 相 はい。
 1512 回 あんまり、そんなことおっしゃらないで、
 1513 相 ええ。
 1514 回 あっさり、こう、視野の中に入れて？
 1515 相 はい。
 1516 回 いくと、
 1517 回 彼女が、かえって寄ってくるかもしれませんね？
 1518 相 あー、そうですか。
 1519 回 はい。
 1520 回 です//から、冷たくなく、
 1521 相 私はね？
 1522 回 うん。
 1523 相 その、小さい時から、
 1524 回 はい。
 1525 相 赤ちゃんの時から、
 1526 回 はい。
 1527 相 あのー、二人ともとっても忙しい仕事している//もんですから、
 1528 回 はい。
 1529 相 ほとんど私が育てたような形//、だっ//たんですねー。
 1530 司 あー。
 1531 回 そう。
 1532 回 うーん。
 1533 回 たい、大変でしたねー。
 1534 相 はい。
 1535 相 それで、あの、ほんとにちっちゃい時から、
 1536 相 0歳の時から、
 1537 相 一応、保育園ー、行っててもー、
 1538 相 私が迎えに行ったり、
 1539 回 //はい。
 1540 相 送ってったり、
 1541 相 それから、もう、夜も、ミルクあげたり、
 1542 相 おむつ取り替えたり、
 1543 相 離乳食も、全部、ほとんど我が子のように育てたんですね。
 1544 回 そうで//すか。
 1545 相 ですから、それがなんか、あの、それだけに、
 1546 回 ええ。
 1547 相 まあ、可//愛かった訳なんです。が。
 1548 回 ええ。
 1549 回 そうですねー。
 1550 回 それが、も//う、とっても、いいこと、ですねー。
 1551 相 はい、急になんか。
 1552 相 はい。
 1553 回 それをですね、10対^{ゼロ}0の、
 1554 相 はい。

大
話
段

小
話
段

1555 回 養育とか、て、手をかけることから、
 1556 相 はい。
 1557 回 6対4ぐらいに、だんだんひいてきて、
 1558 相 はい。
 1559 回 この、視野の中に入れながら、
 1560 回 その一、見てあげて、
 1561 相 はい。
 1562 回 やってみたいかがでしょう。
 1563 相 //あっ、そうです（か）。
 1564 回 今、三つほど申し上げましたが、
 1565 相 はい。
 1566 回 それを是非やってみて頂けますか？
 1567 相 はい、わかりま//した。
 1568 回 はい。
 1569 回 じゃあ、あの、そんなことでね、
 1570 相 はい。
 1571 回 あなたの存在、すごく大切だっていうことが、ご本人がわかっているけども、
 1572 相 はい。
 1573 回 表現が、
 1574 相 はい。
 1575 回 その一、子供っぽいついていうことで、
 1576 相 はい。
 1577 回 あの一、がっかりすることはありませんよ？
 1578 相 はい、わかりまし//た。
 1579 回 はい。
 1580 回 じゃあ、やってみま//しょうねー。
 1581 相 はい。
 1582 相 はい、頑張って//みます。
 1583 回 はい。

D 1584 相 //ありがとうございました。
 相 1585 司 はい。
 談 1586 司 はい。
 終 1587 相 //どうもすみません。
 了 1588 司 失礼致します。
 1589 司 はい。

Ⅱ A 1590 司 では、もうおひとかた、えー、アドバイスをお願い致します。
 2 相 1591 司 もしもし？
 電 相 1592 相 あっ//、恐れ入ります。
 話 司 1593 司 はい。
 相 1594 司 こんにちは。
 談 司 1595 司 お待たせしております。
 の 相 1596 相 お願い致します。
 談 司 1597 司 はい。
 話

B B 1598 司 どなたの相談でしょうか。
 1 1599 相 孫のことです。
 相 1600 司 はい。
 談 1601 司 お孫さん、何年生でしょうか。
 提 1602 相 5年生です。
 示 1603 司 5年生の、
 の 1604 相 女の//子です。
 話 1605 司 女の子ですね？
 小 1606 相 はい。
 話 1607 司 えっと、では、ご家族を教えてくださいませんか？
 段 1608 相 えーっと、長男の嫁と、
 1609 司 はい。
 1610 相 その5年生の女の子と、
 1611 司 はい。
 1612 相 えー、4歳半の、
 1613 司 はい。

1614 相 下の弟のことで、
 1615 相 私は、別居しております。
 1616 司 はい、わかりました。
 1617 司 小学校5年生のお孫さん、
 1618 相 はい。
 1619 司 どのような相談でしょう。
 1620 相 うーん、ちょっと、夫婦、あの、その孫の？
 1621 司 はい。
 1622 相 あの一、両親が、うまくいってなくて、
 1623 司 ええ。
 1624 相 で、そばに、その一、5年生の女の子の、母方のりょうし、あの、母親がいるんですが、
 1625 司 はい。
 1626 相 うーん、あの、うーん、わたしは、遠く離れてますので、
 1627 司 ええ。
 1628 相 ええ。
 1629 相 あんまり、あの、話はできないんですが、
 1630 司 はい。
 1631 相 たまたま？
 1632 司 はい。
 1633 相 あの一、母親が、夜、遊びに出た時に、
 1634 司 ええ。
 1635 相 えー、子供のお食事を、その祖母に頼んでるんですがー、
 1636 司 ええ。
 1637 相 その5年生の女の子は、
 1638 司 ええ。
 1639 相 その祖母のところに行きたくないと、
 1640 司 ええ。
 1641 相 いうことなんです。
 1642 司 ええ。
 1643 相 で、私は、その、一人になりたいっていう、その、
 1644 司 うん。
 1645 相 5年生の女の子の気持ちが？
 1646 司 うん。
 1647 相 まだ、5年、10歳なのに？
 1648 司 はい。
 1649 相 一人でいたいっていう気持ちが？
 1650 司 はい。
 1651 相 理解できなくて、
 1652 司 ええ。
 1653 相 そして、この先？
 1654 司 ええ。
 1655 相 続けていってどうなのかなーと思って。
 1656 司 はい。
 1657 相 はい。
 1658 司 その、お孫さんのお父さんとお母さんといいますか、
 1659 相 はい。
 1660 司 今、お電話をされている方の、息子さん夫婦の、
 1661 相 はい。
 1662 司 えー、今、まあ、仲が悪くなっている//ということ//なんです//ね？
 1663 相 はい。
 1664 相 はい。
 1665 相 はい。
 1666 司 で、そこ、その間にいて、
 1667 司 お孫さんが非常に、
 1668 相 はい。
 1669 司 えー、//気持ちの上で//気を遣って//いると。
 1670 相 気をつかつ、
 1671 司 はい。

1672 司 はい。
1673 相 そして、//ええ。
1674 司 はい。
1675 相 そうなんです。
1676 司 はい。
1677 司 で、おばあちゃんにいろんなことを相談されるわけですか？
1678 相 私にですか？
1679 司 はい。
1680 相 はい、はい、そうです。
1681 相 //でも、
1682 司 どういうふうに。
1683 相 うん、あんまり言わないんですけど//も一、
1684 司 ええ。
1685 相 あの一、長男からたまたま聞いたことがあったりして一、
1686 司 はい。
1687 相 うーん、言うんですけども一、
1688 相 うーん、あんまりは言わないんですけど一、
1689 司 うん。
1690 相 あの一、まあ、母親が？
1691 司 ええ。
1692 相 帰ってこない時に、
1693 相 あの、食事のほうを？
1694 司 ええ。
1695 相 あの一、はっ、お嫁さんの母方に？
1696 司 うん。
1697 相 子供二人を頼んでいくんですけども一、
1698 司 ええ。
1699 相 その一、10歳の孫娘は、
1700 司 ええ。
1701 相 行きたくないということなんです。
1702 司 はい。
1703 司 //(?)
1704 相 っていうことは一、
1705 司 はい。
1706 相 うーん、結局は、自分一は、お母さんに？
1707 司 うんうん。
1708 相 あんまりよく思われてないっていうような気持ちがあると//思っ、
1709 司 はい。
1710 相 ええ、ええ。
1711 相 いると思うんですね？
1712 司 はい。
1713 相 はい。
1714 司 はい。
1715 司 わかりま//した。
1716 相 で、私//としては、それを聞いて、
1717 司 ええ。
1718 司 うん。
1719 相 まだ、10歳の子供が、//一人でね？
1720 司 うん。
1721 相 うん。
1722 相 いたっていう、その、気持ちがわからないので、
1723 司 ええ。
1724 相 そだ、子供を育ててきたんですけども、
1725 司 ええ。
1726 相 果たしてそれで、鵜呑みにしていいのかどう//かな？と思ひまして。
1727 司 うーん。
1728 司 あっ、はい。
1729 相 はい。
1730 司 わかりました。

大 小
話 話
段 段

		1731 司	では、S T 先生、お願い致し//ます。
		1732 相	恐れ入ります。
		1733 ー	{ 3 秒 }
		1734 司	はい。
		1735 司	//大丈夫（ですか）。
		1736 ー	{ 回答者の咳 }
		1737 司	はい。
A 相談 開始		1738 回	あの、S T でございます。
		1739 相	あつ、お願い致//します。
		1740 回	どうも。
C 相 談 う け の 話 段	C 1 回 答 提 供 の 小 話 段	1741 回	あの一、ご心配ですね。
		1742 相	はい。
		1743 回	あの一、遠くにおられるので、
		1744 相	はい。
		1745 回	あの、様子もわからないという//ことでね一、
		1746 相	はい、はい。
		1747 回	心配も、もっと大きくなりますね一。
		1748 相	はい。
		1749 回	うーん。
		1750 回	そうしますとですね一、
		1751 相	はい。
		1752 回	{ 咳払い } 一応あの一、事実関係と申しますか、
		1753 相	はい。
		1754 回	あの一、あなたと息子さんの間でですね、
		1755 相	はい。
		1756 回	少し、あの一、これは、あの一、ご夫婦の問題は、必ず、建設的っていうか、
		1757 相	はい。
		1758 回	必ず、あの一、新婚当時に戻るわけです。
		1759 回	もど、戻るように？
		1760 相	はい。
		1761 回	仲良くしようじゃないかっていう前提でもって、
		1762 回	お話をして頂きたいと思います。
		1763 相	はい。
		1764 回	どうすればいいのかっていう事実関係をちょっとね？
		1765 相	はい。
		1766 回	あの一ー一、お話をして頂くことと、
		1767 相	はい。
		1768 回	それからやっぱり、そういった、あの一、不仲の雰囲気、
		1769 相	はい。
		1770 回	ちょうど年頃よりも、もうちょっと前ですけども、
		1771 相	はい。
		1772 回	かなり感性の鋭い、あの一、お嬢ちゃまがね一、
		1773 相	はい。
		1774 回	そういうふうな、心配をしているということで、
		1775 相	はい。
		1776 回	なかなか難しいことですね一。
		1777 相	はい。
		1778 回	かなり、こう、今は、あの一、結婚をされたり？
		1779 回	離婚をされるというご家庭が、あの、多くなっているということで、
		1780 相	はい。
		1781 回	ずいぶん子供さんの悩みでもって、
		1782 回	私どももご一緒になって考えるんですが、
		1783 回	なかなかうまくいかないことがあります。
		1784 相	はい。
		1785 回	まあ、そんなことでですね一、やっぱり、あの一、これはですね一、あの一、そのお嬢様をですね一、
		1786 相	はい。
		1787 回	一番信頼している、どなたかおられますかね一。
		1788 回	あの、//なんでもお話をできるよう//な。
		1789 相	結局、

1790 相 うん。
 1791 相 父親と、
 1792 回 はい。
 1793 相 私なんです。
 1794 回 そうですね。
 1795 相 はい。
 1796 回 それから、第三者の方にね？
 1797 相 はい。
 1798 回 すこーし、あの一、入って頂いて、
 1799 相 はい。
 1800 回 これは、あの一、教育相談でも大丈夫だと思うんですけど、
 1801 回 教育相談所ってございます？
 1802 相 はい、はい。
 1803 回 ええ。
 1804 回 そして、幼稚園生ですけども、
 1805 相 はい。
 1806 回 そちらで、お子さんのですね？
 1807 相 はい。
 1808 回 言っていること、とかですね、
 1809 相 はい。
 1810 回 感じていることをまとめあげることと、
 1811 相 はい。
 1812 回 それから、あの一、お母さまのほうから直接、
 1813 相 はい。
 1814 回 もうあなたはやはり、あの一、どんな状況になっても、
 1815 回 愛してると。
 1816 相 はい。
 1817 回 絶対守ってあげるんだと。
 1818 相 はい。
 1819 回 か、か、かけ、かけ、かけがえのないお子さんであるということを直接、もう、言っ
 て頂けるとかね？
 1820 相 それが、
 1821 回 まあ、
 1822 回 なかなか言いにくい。
 1823 相 うーん、状況ができないような//状態でいますので一、
 1824 回 ええ。
 1825 回 はい。
 1826 相 それが一番//心配なんです。
 1827 回 ええ。
 1828 回 そうですね。
 1829 回 それを//目指して、
 1830 相 はい。
 1831 回 その、教育相談等にですね？
 1832 相 はい。
 1833 回 こう、入ってもらおうと//いうことが必要ということと、
 1834 相 はい。
 1835 相 はい。
 1836 回 それから、一方では、かなり、あの一、不安が強いもんですから、
 1837 相 はい。
 1838 回 あの一、プレイセラピーとか？
 1839 相 はい。
 1840 回 あの一、同年代のお子さんの遊びとか、
 1841 相 はい。
 1842 回 あの一、さまざまな、あの一、この5歳のお嬢ちゃんの不安を解消する方法もありますの
 で、
 1843 相 はい。
 1844 相 あっ、5歳じゃなくって、
 1845 相 10歳なんで//す。
 1846 回 あっ、10、あ一。
 1847 司 5年生ですね？

- 1848 回 あっ、//そうですか、10歳。
1849 相 5年生です。
1850 回 10歳だともう、
1851 相 はい。
1852 回 かなりね？
1853 相 全部わかってますので//一、
1854 回 わかってますよねー。
1855 相 はい。
1856 回 そのへんのところを、言葉でも？
1857 相 はい。
1858 回 その、なんていいますかねー、
1859 回 いろんな行動でも、
1860 回 支える、ふ、方がですねー、
1861 相 はい。
1862 回 あの一、いきなり、その一、法律的なものじゃなくて、
1863 相 はい。
1864 回 その、教育相談等の、か、
1865 回 あるいは、心理の方々、
1866 相 はい。
1867 回 あるいは、我々みたいな、
1868 相 はい。
1869 回 あの一、子供の心に対応する医者ですね？
1870 相 はい。
1871 回 ちょっとご利用なさる、
1872 回 もう、ほんとに利用するということですね？
1873 相 うー//ーん。
1874 回 と申しますけど、
1875 相 はい。
1876 回 おうちの中をどう、うまくやったら、
1877 回 格好がよくいくのかなとか、
1878 相 はい。
1879 回 ご本人を、それを支えるとか、
1880 相 はい。
1881 回 その二面のお力添えができますので、
1882 相 はい。
1883 回 是非あの、もう一つの機関、医者//とか、
1884 相 そうしますと、
1885 回 はい。
1886 相 あの、地域の児童相談所とか、
1887 回 はい。
1888 相 そういうとこに伺ったほうがよろし//いんでしょうか。
1889 回 ええ、あの一、これは、そうですねー、一応そ
ういったことで、
1890 回 あの一、おと、あなたの息子さんである、//この、お父様を通じないと、
1891 相 はい。
1892 相 はい。
1893 回 おばあちゃまですと、ちょっと無理かもしれませんね。
1894 相 はい。
1895 回 当事者ではないと、なかなか難しいことがありますので、
1896 相 はい。
1897 回 よく、あの、お父様と、お一、息子さんと話し合って、
1898 相 そうですね。
1899 回 是非やってみてください。
1900 相 ええ。
-
- C 201 相 それとね？
202 回 はい。
203 相 まあ、そう、そういう機関に行く前に、
204 回 はい。
205 相 その、孫娘に対して、

大話
話段

小話
話段

認 1906 回 はい。
1907 相 私が？
1908 回 はい。
1909 相 どう接して、

C 1910 回 ええ、これはですねー、一番の問題、一番のあれは、「必ずうまくいくか
1 回 ら。」とか、
1911 回 「上手に行くように。」というふうな、両方の弱点から入らないで頂けますか？
回 1912 相 あー、そうですか。
1913 回 ええ、あの一、「必ず、//みんなで頑張ろう
提供 ね。」と。
の 1914 相 うん、私が、
小 1915 相 うん。
話 1916 相 あの一、
段 1917 回 はい。
1918 相 「おばあちゃんがいるから、
1919 回 ええ。
1920 相 大丈夫だよ。」//とか、
1921 回 ええ、もう、その、それを繰り返してやってみましょうか。
1922 相 って言ってあげ//たほうが、
1923 回 はい。
1924 回 はい。
1925 相 いいわけ//ですね？
1926 回 ええ、そうですね。
1927 相 はい。
1928 回 まあ、そんなようなことでね、あの一、必ず、努力してれば大丈夫だよとかね？
1929 相 うんうん。
1930 回 見捨てないんだよっていう//ようなこと//を、あの一、事実一とは違ったもの//で
も、
1931 相 うん。
1932 相 うん。
1933 相 違っても一、
1934 回 ええ。
1935 相 まだまだ、
1936 回 それは言い続けると。
1937 相 あの、騙すわけではな//いんだけども一、
1938 回 ええ。
1939 回 え、ええ。
1940 回 希望を言い続ける//と。
1941 相 うん。
1942 相 「大丈夫だよ一。」って//いうふうに言って、
1943 回 はい。
1944 回 はい。
1945 相 やってよろしいんでしょうか？
1946 回 ええ、それはもう、必ずみんなで努力するというものでね？
1947 相 はい。
1948 回 で、お母様も、あの一、今そういったお付き合いがあるけれども、
1949 相 はい。
1950 回 その、そういうお付き合いの中で、ご自分の問題と、
1951 相 はい。
1952 回 それから、さまざまな責任と？
1953 相 はい。
1954 回 それから、将来？
1955 相 はい。
1956 回 それに伴って、
1957 相 //はい。
1958 回 なんかいろんなマイナスの面が出てくるっていうことが、あの一、//
必ず、その、考えて頂けるはずですから、
1959 相 うーん。
1960 相 そうです//か？
1961 回 みんなで努力してみましょね。

	1962	相	そうですか？
C	1963	相	でも、
2	1964	回	ええ。
回	1965	相	その子がね？
答	1966	回	はい。
確	1967	相	大きくなった時に//ね？
認	1968	回	はい。
の	1969	相	自分が母親になった時に？
小	1970	回	は//い。
話	1971	司	うーん。
段	1972	相	弟に対して、
	1973	回	はい。
	1974	相	やったこととか、
	1975	相	自分にやられたことが、
	1976	回	//はい。
	1977	司	うーん。
	1978	相	どのように？
	1979	回	//はい。
	1980	司	うーん。
	1981	相	トラウマではないんですけども、
	1982	回	はい。
	1983	相	戻ってき、くるようなことが困るのでー。
	1984	回	ええ。
	1985	相	私は、今、自分ー//で、
	1986	司	あー。
	1987	相	孫娘に、
	1988	回	はい。
	1989	相	どう対処していいかなー。
C	1990	回	ええ、それは、ですからやはり、あの、誰でもそうなんですけども、
1	1991	相	はい。
回	1992	回	おばあちゃまは、とてもいい方らしい、
答	1993	司	えー、//えー。
提	1994	相	はい。
供	1995	回	ということがとてもよくわかりますね。
の	1996	回	いい人に会おうということと、
小	1997	相	はい。
話	1998	司	はい。
段	1999	回	それから、ご自分の、//やる範囲のことをきちっとすることと、
	2000	相	はい。
	2001	相	//はい。
	2002	司	はい。
	2003	回	まあ、そういった、居場所を作って、
	2004	回	どこでも来な//さいよと、
	2005	司	そうですね。
	2006	回	その三つを提供し//てあげてください。
	2007	司	はい。
	2008	相	あつ、//そうですか。
	2009	司	ごめんなさい、お時//間となりまし た。
D	2010	回	じゃあ、そんなことで//、どうも。
相	2011	相	ありがとうございます//いました。
談	2012	司	どうぞ。
終	2013	回	はい。
了	2014	司	はいー//、失礼致します。
の	2015	回	ええ。
話	2016	回	はい。
段			

【資料5】 心理相談 司会者:司 回答者:回 相談者:相 2001.10.18(木)13:45~14:55
NHKラジオ第一放送「暮らしの電話相談 子どもの心相談」

大
話
段

小
話
段

I 1 番組 開始 の 大 話 段	1 司	では、ここから、2時台にかけて、
	2 司	「暮らしの電話相談」の時間です。
	3 司	今日は、「子どもの心相談」を致します。
	4 司	この時間も、皆さんからの相談の受付をしています。
	5 司	受付電話番号は、03、35858888。
	6 司	03の34858888番です。
	7 司	今日のスタジオのアドバイザーは、心理カウンセラーのURさんです。
	8 司	こんにちは。
	9 回	こんにちは。
	10 司	よろしく申し上げます。
	11 回	よろしくお願い致します。
I 2 番組 の テ ー マ に 関 わ る 一 般 的 解 説 の 大 話 段	12 司	えー、少し、えー、最近の子どもたちの様子について、お話を伺いたと思います。
	13 司	今日は、「よい子の落とし穴」、//というテーマで少しお話を頂けるといことす ねー。
	14 回	はい。
	15 司	「よい子の落とし穴」、どういうことですか？
	16 回	あの、親にとってはね？
	17 司	ええ。
	18 回	うちでよく勉強をし、
	19 回	学校でも、先生の(?)がめでたくて、
	20 司	うん。
	21 回	とても安心って思いますよね。
	22 司	ええ。
	23 回	ですけども、その、そういうふうに、いい、いい子をやってる子どもたちが、実は とっても、くたびれてる。
	24 司	うーん。
	25 回	そこらへんのところで、「あっ、うちの子、いい子で大丈夫。」っていうんじゃないく て、
	26 司	ええ。
	27 回	いい子やってんだったら、
	28 回	大丈夫じゃないんじゃないかな//って、{笑い}
	29 司	えー？
	30 回	ちょっとね、その辺のところにね、
	31 司	ええ。
	32 回	一つ、こう、あれを、み、目線を変えてみてはいかがでしょう//っていう、ことを お話した、したいなと思ってるんです。
	33 司	はい。
	34 司	その、具体的にどういう部分でということですか。
	35 回	そうですね、例えばね、今の子どもたちというのは、
	36 司	ええ。
	37 回	い、い、顔を三つ、最低三つは持ってるん//です。
	38 司	三つ。
	39 回	それは、親にとってのいい子という顔、
	40 司	はい。
	41 回	それから、学校で、先生にとってのいい生徒という顔、
	42 司	うん。
	43 回	それから、おと、子ども集団、お友達関係の中で、
	44 回	「あの人って、いい人ね。」って言われるような顔を持ってるんですね？
	45 司	うん。
	46 回	で、この顔はね、それぞれに違うんです。
	47 司	はい。
	48 回	三つとも違ってるん//です。
	49 司	違うんで//すか。
	50 回	ええ。
	51 回	で、それを、だから、相手によって、

- 52 回 場によって、
53 回 使い分けてるわけですね？
54 司 えー。
- 55 司 親の前で、
56 回 ええ。
57 司 学校の、まあ、先生の//前で、
58 回 うん。
- 59 司 友達の前で、
60 回 うん。
61 司 その、いい子という種類は、全然違う顔で出てきているわけですか。
62 回 うー、いや、微妙に違う//んです。
63 司 微妙に違う、はい。
- 64 回 例えば、その、学校、
65 回 あっ、まっ、親にとってのいい子っていうのは、
66 司 うん。
- 67 回 最近は、勉強をよくする、
68 司 うん。
- 69 回 宿題もやってく、
70 回 忘れ物もしないっていうんで、
71 回 外交に適應するのに、ちゃんとした子が、いい子なんですねー。
72 司 あー。
- 73 回 で、昔、私が子どもの頃っていうのは、お手伝いをする、
74 司 はい。
- 75 回 のが、いい子であって、
76 司 ええ。
77 回 私の母などは、うちで学校の勉強したいって言うとな、
78 回 学校の勉強を、うちでしなきゃならないほどね？
79 回 物わりの悪い子に//産んだ覚えはありませんって、言われて、
80 司 {笑い}
- 81 司 あー。
82 回 すごく、うちで勉強するの、肩身が狭かったんですけども、
83 司 ええ、ええ。
- 84 回 今は、もう、勉強するのがいい子ですよね？
85 司 はい。
- 86 回 で、かつて、学校で、学校では、先生の言うことを聞いて、
87 司 うん。
- 88 回 学級委員をやったり、
89 回 いろんな役割を率先してやる子が、先生にとっては、いい子だったんですよね？
90 司 はい。
- 91 回 ですけれども、今は、そういう役割を、しよ、率先してやる子っていうのは、
92 司 うーん。
- 93 回 一つ間違うと、
94 回 いじめのターゲットに選ばれるんですよね？
95 司 はい。
- 96 回 で、まあ、先生にとって、
97 回 無難な子っていう意味でいうと、
98 回 集団の輪を乱さない、
99 司 うーん。
- 100 回 同調行動をやって、
101 司 はい。
- 102 回 出すぎず引っ込まずみたいだね？
103 司 あー？
- 104 回 やっぱその、安定した、あの、中央の集団、
105 回 しゅ、集団の真ん中にいるような子どもたちっていうのが、扱いやすい、いい子なわけですよね？
- 106 司 ええ。
107 回 それから、お友達関係の中でいうと、
108 回 先生にとってのいい子をやっていると、
109 回 目立って、
110 回 ターゲットになりやすいです//から、

111 司 うーん。
 112 回 むしろね、適当に悪ぶるっていうのが必要になってきて//るんです。
 113 司 適当に悪ぶる、はい。
 114 司 というのは。
 115 回 あの、要するに、許される、ギリギリの範囲？くらいで、逸脱行動をする、
 116 司 ふーん。
 117 回 っていうことをするんですね？
 118 司 逸脱//行動。
 119 回 ええ。
 120 回 だか//ら、例えば、
 121 司 うん。
 122 司 ええ。
 123 回 先生や親にとっては、お掃除をちゃんとするとか、
 124 司 ええ。
 125 回 あの一、服装がね？きちんとしてる//かとかっていうのは、
 126 司 うん。
 127 回 まあ、いい子の一つの//指標ですけども、
 128 司 うん。
 129 回 お掃除はさぼってしないとか、
 130 司 うん。
 131 回 それから、あの、授業中、先生が、まあ、授業の仕方がへただったりすると、
 132 回 みんなで、その、カンペンを落とそうなんて言って、
 133 回 一緒になって、
 134 回 カンペンを//落とすとかー、
 135 司 ええ、ええ、落としちゃって、
 136 回 え//え。
 137 司 はい。
 138 回 いうふうなことで、
 139 回 要するに、なんていうんでしょうね、
 140 回 大人にとっては、ちょっと困ったなっていうことをすることによって、
 141 回 子ども集団の中で浮かないようにする、
 142 司 あー。
 143 司 まあ、話が通じる、ひ、まあ、ということに、
 144 回 ええ。
 145 司 に、なってるわけですね？
 146 回 そうですよ？
 147 司 友達同士//話が通じる、程度に悪ぶる。
 148 回 ええ、ええ。
 149 回 だから、それがちょっと//エスカレートすると、
 150 司 あー。
 151 回 一緒に万引きをするとか、
 152 司 はあー。
 153 回 いうことも起こってくるわけですね？
 154 司 ええ。
 155 司 なるほど。
 156 司 一人では飛び出さないっていうこと//なんですか？
 157 回 そうですよ？
 158 司 うんうんうん。
 159 回 だから、いい子っていうのは、逆に一人で飛び出しちゃう、かん、
 160 回 あの、もう、//古典的な意味でのいい子っていうのはね？
 161 司 あー。
 162 司 ええ。
 163 司 例えば、筆入れなんかを落とした時に、
 164 司 「なんで、みんなそんなことするの？」っていうようなことを、こう、バンと立っ
 て、
 165 司 言ってしまうような子は、
 166 回 もう、今は、受けないですよ？
 167 司 うーん。
 168 回 むしろ疎外されるっていうんですか。
 169 司 う、うーーん？

170 回 ですから、そういうことで、すごくやっぱり、周りと同調行動をして、
 171 回 自分を抑えて、
 172 司 はい。
 173 回 本当の自分をだ、表さないようにすると、いうことで、
 174 回 いい子を保っている子どもたちが、増えてきてるんです よね？
 175 司 あー？
 176 司 親の前で、
 177 司 学校の前で、
 178 司 そして友達の前で、
 179 回 ええ。
 180 司 それぞれ、まあ、う、受けがいいと//いいですか、
 181 回 ええ、ええ。
 182 司 //いい子をやってる。
 183 回 受け入れられる。
 184 司 じゃあ、どこで、本当の自分っていうのは、
 185 回 だから、//いつも、こう、自分を抑えてるわけですね。
 186 司 出るんでしょう。
 187 司 うん。
 188 回 ですからね、とても疲れて帰ってくるんです。
 189 司 はい。
 190 回 それからね、とてもイライラしてて、
 191 司 ええ。
 192 回 怒りっぽくて。
 193 回 あの、すぐ、まあ、今でいうと、
 194 回 よくキレ、すぐキレるとかっていいですね？
 195 司 ええ。
 196 回 やっぱりね、す、じ、本来の自分を出せてなくて、
 197 回 違う自分を、もう一人の自分を生きてると、
 198 回 本来の自分っていうのは、とても苛立って、
 199 司 うん。
 200 回 怒りを溜め込むんですよね？
 201 司 ええ。
 202 回 それ、そういうふうなことがあるので、
 203 回 出す場所がないんですね。
 204 司 ええ。
 205 回 で、昔でいえば、
 206 回 あの、っていうか、お父さん、は、外で一生懸命そうやって、お仕事してくると、
 207 回 袴ぬご、脱いでね？
 208 司 うん。
 209 回 もう、お行儀も悪いし、
 210 司 うん。
 211 回 好き一なことをやると、いうのがお父さんでしたよね？
 212 司 はい。
 213 回 今はなかなか {笑い} できなくなってる//かもしれませんけれど、
 214 司 うんうんうんうんうん。
 215 回 で、そういう意味でいうと、
 216 回 子どもも、学校で、外で、いい子のお仕事をしてくる。
 217 回 で、だけど、うちでも、いい子の役割を演じなきゃいけない//てことがあるので、
 218 司 うーん。
 219 回 うちを少しゆるやかにしてあげないと、
 220 回 大変なんでしょうね。
 221 司 ふーん？
 222 司 そういった、あー、部分っていうのは、親はどうやって見つけだすことができるんで
 しょうか。
 223 司 まあ、多少はキレるというのはあるのかもし//れないけど、
 224 回 ええ、ええ。
 225 司 でも、お父さんお母さんにとっては、それは、やはりかなりいい子に見えてるわけ
 ですよ//ね？まだまだ。
 226 回 そうです、そうです。

227 司 ええ。
228 回 だからね、いい子をやってるっていうのは、親に合わせてることで、
229 回 ほとんどの自分を出してない可能性があるよ。
230 司 うん。
231 司 はい。
232 回 だから、子どもにとって、必要なのは、うちというのはね、絆脱いで、
233 回 自分の、ありのままの姿で//いたい場所なんですよ？
234 司 ええ。
235 司 ええ。
236 回 そうすと、あれもしたくない、
237 回 これもしたくないって、疲れてる子//だったらねー。
238 司 言いますよねー、ええ。
239 回 そこを一つ、受け取ってくれる場になってく必要があるよ。
240 司 うーん、でも、こう、ついつい、でも、それはだらしがない、
241 回 ええ。
242 司 ないこと//じゃ//ないかと//いうことで、
243 回 ええ。
244 回 ええ。
245 回 うん。
246 司 親は注意をしますよね。
247 回 はい。
248 司 「そんなにだらっとして。」
249 回 ええ。
250 司 「宿題しなくていい//の？」っていうふうに、なってしまいますけど。
251 回 ええ。
252 回 だから、子どもはイライラして、
253 回 反抗的になって、
254 司 うーん。
255 回 いくことにならざるを得ないわけですよ？
256 司 ええ。
257 回 だから、やっぱりどっかで、羨もひと休み。
258 司 うーん、うんうん。
259 司 羨も、勿論しなくてはいけない。
260 回 ええ。
261 回 はい。
262 司 でも、そういう逃げ場も作らなくてはいけない。
263 回 っていうかね、子どもって、ある年齢に、を、超えてると、
264 回 もうね？羨ましいことは、十分に入ってるわけ。
265 司 何をしちゃいけない//いかっていうのは。
266 回 えっと、うんうん、いや、//何をしなきゃいけないか、
267 回 すべきこともわかって。//
268 司 ええ。
269 回 で、そのことができなくなってきた時というのは、
270 回 この子はちょっと疲れて、
271 回 けんかになるかもしれないと、
272 回 い//うふうに、//手綱をゆるめるところが大事なんじゃないでしょうかね。
273 司 うん。
274 司 うーん。
275 司 うんうんうん。
276 司 はい。
277 司 うーん？
278 司 これやっぱり、学校の様子であったり、
279 司 友達の様子っていうのは、かなり、その一、お父さん、お母さんっていうのは、
280 回 うん。
281 司 えー、知る機会はあるんでしょうか。
282 司 その、家と違う、

283 司 学校でも違う、
 284 司 友達でも違うっていう部分をですね。
 285 回 大人に見せる顔は、全部使い分けてますからー、
 286 回 みんな、大人はそれがほんとの顔だと思っているわけですよね？
 287 司 うーん。
 288 回 だから、わりとこう、小さなワルをしている子どもたちというのは、わりと自分を出して
 289 司 うーん。
 290 回 そこで上手に、こう、解消してるんでしょうね？
 291 司 ええ。
 292 回 だけど、大人の目があまり行き届きすぎると、
 293 回 そういう小さなワルをして、
 294 回 自分のストレスを発散してったり、
 295 司 うん。
 296 回 遊びの中で、まあ、消化してくっていうね？
 297 司 うーん。
 298 回 その、子どもにとっての健全な機能が、失われていってるんじゃないでしょうか？
 299 司 はい。
 300 司 そういう、なんか、逃げ道というか、
 301 回 ええ。
 302 司 子どもだけで、ホッとできるような、//部分っていうのが、必要なんでしょうか。
 303 回 ええ。
 304 回 ねえ？なかなか今、居//にくいていうことがありますよね？
 305 司 うーん。
 306 回 ですからあの、受験のね？さん、えっと、小学校6年生くらいですから、
 307 回 受験生ですよね？
 308 司 うん。
 309 回 受験生の、家庭教師をしている大学生が、あの、こんなことを言ってるんですけど
 310 司 ええ。
 311 回 勉強を教えてる6年生の男の子が、あの一、ふっとね？「人を殺してみたいなー。」
 312 回 //「ムカつくなー。」っていうような言葉をつぶやくことがあるんだそうですね？
 313 司 うーん。
 314 司 ええ。
 315 回 で、自分の時は、もう、あの、やっぱり受験生、あの、しょう、中学受験やったんだ
 316 回 けど、
 317 回 もう、疲れ果てちゃって、
 318 司 うん。
 319 回 今の子どもたちは、「ムカつくなー。」とか、
 320 回 「人を殺してみたいなー。」っていうふうな形で、
 321 司 うん。
 322 回 じぶ、自分に向かった、か、ところから、人に向かってく？苛立ちを抱えてるって
 323 司 うーん。
 324 回 やっぱりその辺のところがね？
 325 司 うん。
 326 回 勉強してるから、
 327 回 大丈夫なんじゃなくて、
 328 司 ええ。
 329 回 勉強してたら、
 330 回 大丈夫じゃないかも {笑い} しれないと。
 331 司 ふーん？なるほど。
 332 司 はい。

のⅢ 333 司 「いい子の落とし穴」ということで、
 大番 334 司 お話を頂きましたが、
 話組 335 司 このあと2時台は、電話相談です。

大 話 段	小 話 段	話 段	
段 継 続			336 司 皆さんからの相談を受け付けています。 337 司 番号は、03、34858888番。 338 司 今日の、えー、スタジオのカウンセラーは、URさんです。
V 別 番 組			339 ー 《各地のニュース、全国のニュース》
Ⅲ 番 組 継 続 の 大 話 段			340 司 「ラジオホットタイム」、今週は、有江活子のご案内役です。 341 司 では、1時台に引き続き、 342 司 この2時台、「暮らしの電話相談」です。 343 司 今日、「子供の心相談」について、 344 司 えー、みなさんからの相談を受け付けながら、 345 司 進めます。 346 司 今日のスタジオのアドバイザーは、心理カウンセラーのURさんです。 347 司 どうぞよろしくお願い致します。 348 回 よろしくお願ひ致します。 349 司 えー、この時間の受付電話番号は、03、34858888。 350 司 03の、34858888番です。
Ⅱ 1 電 話 相 談 の 談 話	A 相 談 開 始		351 司 では、初めの方です。 352 司 もしもしー？ 353 相 はい、もし//もし？ 354 司 はい、こんにちわ。 355 司 お待たせ致しました。 356 相 お世話様になります。 357 司 はい。
	B 1 相 談 提 示 の 小 話 段	B 1 相 談 提 示 の 小 話 段	358 司 えー、どなたのご相談でしょうか。 359 相 はい、中学2年の男子です。 360 司 はい。 361 司 お母さんでいらっしゃる//ますね？ 362 相 はい、そうです。 363 司 はい。 364 司 ご家族を教えてください//か？ 365 相 はい、あの、下に、小6の女子がいて、 366 司 はい。 367 相 4人家族です。 368 司 はい、わかりました。 369 司 中学2年生のお兄ちゃんですね？ 370 相 はい、そう//です。 371 司 はい。 372 司 どのような相談でしょうか。 373 相 {笑い} 先ほど、先生から一、 374 司 ええ。 375 相 あのー、よい子の落とし穴っていうお話を一、あのー、きか、聞かせて頂きました が一、 376 司 はい。 377 相 うち、まるで逆で一、 378 司 ええ、ええ。 379 相 あのー、そのー、よい子の中で一、 380 相 あのー、悪いことをし放題っていいですか一、 381 司 ええ。 382 相 あのー、授業中、 383 相 出欠の時点から居眠りをしている。 384 司 はい。 385 相 それで一、1年の時から一、 386 司 うん。 387 相 先生から一、4、5回、電話で、 388 司 ええ。 389 相 授業態度が悪いっていうことで、 390 司 はい。 391 相 電話でいろいろ相談しましたがけれども一、 392 司 ええ。 393 相 その都度、あの、折り目節目に一、 394 司 ええ。

395 相 もう注意するから、
396 司 うーん。
397 相 あの一、っていう、いろいろ話し合いをしますけれども一、
398 司 ええ。
399 相 また2年になって、
400 相 今2年//なんですけれども一、
401 司 うんうん。
402 司 ええ、ええ。
403 相 やはり、また先生から電話ありまして一、
404 司 はい。
405 相 で、朝から寝ていて一、
406 司 うん。
407 相 あの一、知能テストも一、
408 司 うん。
409 相 評価できないっていう電話もらいました。
410 司 はい。
411 相 で一、部活がハードなんですが一、
412 司 ええ。
413 相 あの一、一応、12時には寝て一、
414 司 ふうん。
415 相 朝練のため一、
416 司 ええ。
417 相 6時半に起きて一、
418 司 はい。
419 相 で一、7時に家を出て行くっていう、
420 司 あー一。
421 相 そういう生活をしていますけれども一、
422 司 はい。
423 相 で一、なんでそんなに眠いのかって、
424 司 うん。
425 相 思うんですけど一、
426 司 ええ。
427 相 わかんないですけど、
428 相 親としては、もう、困ってしまっ一、
429 司 ええ。
430 相 で、あの一、まあ、先生からも、あの、「気持ちの張りがない。」、
431 司 うーん。
432 相 あの一、忘れ物とか？
433 司 ええ。
434 相 それから、あの、遅刻？
435 司 うーん。
436 相 あの一、部活の遅刻ですね？
437 司 ええ、ええ。
438 相 で、あの一、今度、先生が一、部活の顧問が担任になりましたので、
439 司 はい。
440 相 やはりあの、1年の、先生からの引継ぎだと思う {笑い} んですけども一、
441 司 ええ、ええ。
442 相 部活の顧問が担任になりまして一、
443 司 ええ。
444 相 あの一、レギュラーであつたんですけど一、
445 司 うーん。
446 相 「部活、6時になっても、
447 相 終わらないじゃないか。」とかって言ったのを、先生が聞きつけて一、
448 司 ええ。
449 相 「お前はクビだ。」って//いう {笑い} ことになりまして一、
450 司 あー。
451 司 ええ、ええ、ええ、ええ。
452 相 で一、試合の前日だったので、
453 相 みんな熱が入ってたのに、

454 相 そういうことを言うわけなんですか？
455 司 うーん。
456 相 それで一、謝って一、
457 相 また、部活、元に戻してもらったんですけど一、
458 司 はい。
459 相 今になってみると、
460 相 「もうやめたい。」、
461 司 あー//一。
462 相 「結局、もうレギュラーにはなれないから、
463 相 やめたい。」。
464 司 はい。
465 相 それから一、その、寝てるのも一、
466 司 うん。
467 相 あの一、クラスで？
468 司 ええ。
469 相 まじめな子ばかり多く//で一、
470 司 あ一。
471 司 はい。
472 相 自分は、友達が、
473 司 うん。
474 相 クラス外にいるので一、
475 司 ええ。
476 相 そういう、おちゃらけた？
477 相 //気の休まる友達？
478 司 うん。
479 司 //ええ。
480 回 うーん。
481 相 そういう友達は、いっぱいいます。
482 司 あっ、他のクラス//には。
483 相 クラスに、//他のクラスに。
484 司 はい。
485 司 ええ。
486 相 ただ一、自分のクラスには、まじめなクラスで、な//ので？
487 司 あ一。
488 回 ええ。
489 相 あの一、つまらない。
490 司 ふーん。
491 相 で//一、友達は、います。
492 司 あ一。
493 司 はい。
494 相 で、メールをしています。
495 司 あーそうですか。
496 相 はい。
497 相 ですけど一、これから、
498 司 うん。
499 相 その、寝てるっていうのを、病気なのか一//、どうなのか、
500 司 うーん。
501 相 親も、心配でして一。
502 司 そうですね一。
503 相 はい。
504 司 うんうんうん。
505 相 で、これから一、試験だとか、そういう、高校入試とか、//あるんですけど一、
506 司 ええ。
507 司 ええ。
508 相 あまりにも内申点が悪くて一、
509 司 ええ。
510 相 あの一、テストじゃなくって、
511 相 態度のほうで。
512 司 はい。
513 相 もう、ほんとに、先生から、

514 司 ええ。
515 相 つい、こないだ、
516 司 ええ。
517 相 あの一、「最下点になります。」っていうふうに、
518 相 {笑い} 電話もらいました。
519 司 うーん。
520 相 態度が悪くって、
521 司 //ええ。
522 相 フラフラしている？
523 司 はい。
524 相 あの一、3時間あったのに、
525 司 うん。
526 相 1枚も出せなかった、
527 司 うん。
528 相 こうしつですね？ {笑い}
529 司 ええ。
530 相 それだから一、「最低の点数にしますが、
531 相 お願いします。」っていう電話もらいました。
532 司 あーそうですかー。
533 相 はい。
534 相 そうした学校の話は、息子さんは、よくお母さんには話されるわけですか？
535 相 話さないです。
536 司 あっ、話さない。
537 司 今のお話は、では、どのようにして、
538 司 お//し、
539 相 先生からです。
540 司 あっ、先生から。
541 相 はい。
542 相 部活の先生と一、
543 司 はい。
544 相 担任が一緒です。
545 司 あー。
546 司 そうすと、息子さんが、こう言った、ああ言ったという言葉、す、すべて先生からの言葉として、
547 司 お//母さんは知ったと。
548 相 そうです。
549 司 は//い。
550 相 はい。
551 司 おうちでは、その、お父さんお母さんと交えて、
552 司 話をするということは、
553 相 //あまりないです。
554 司 ないですか。
555 司 あまりないですか。
556 相 はい。
557 司 はい。
558 相 あとは一、
559 司 ええ。
560 相 あの一、同じ部活のお母さんですねー。
561 司 あっ、//そうです//か。
562 回 (なるほど。)
563 相 はい。
564 司 はい、わかりまし//た。
565 相 はい。
566 司 では、U先生お願いします。
567 相 はい。

A
開
始
談

568 回 こんにちは。
569 相 こんにちは。

B B

570 回 あの一、ちょうど対照的なお子さん//の話でしたね。

大
話
段

話
段

小
話
段

2 571 相 はい、そうなんです。{笑い}

相 572 回 あの、こうやって、学校から注意があり、ありました時に、

談 573 回 お母さんなりお父さんなりが、お子さんに、

け 574 相 //はい。

の 575 回 言うことは言うんですか？

話 576 相 //はい。

段 577 回 注意といますか、

578 相 そうです。

579 回 そうすと、彼はどうします？

580 相 あっ、「じゃあ、気をつけるよ。」って。

581 回 あっ、気をつけるよ、

582 相 はい。

583 回 だけど、気をつけないわけ//ですね？

584 相 気をつけないです。

585 相 絶対におんなじことの繰り返しです。

586 回 そうですか。

587 回 そういう点では、うちでも、あらゆる争いを、敢えて避けると、いうことですねー。

588 相 争いっていいますと。

589 回 あの、ほら、お母さん、お父さん、「気をつけなさい。」って言って、

590 回 「そんなこと言ったって。」っていうふうにして、

591 回 いろいろ言うと、

592 回 もめるわけですよー。

593 相 ただ、その、約束が一、

594 回 ええ。

595 相 やっぱり守られてないっていうことで一、

596 回 ええ。

597 相 年中、けん、けんかです。

598 回 どんな、ま、約束が守られてない。

599 相 あの一、授業中の態度。

600 回 あー//一。

601 相 「ちゃんとするって言ったじゃない。」って、

602 回 あー、//そう。

603 相 だけどまた先生から電話があった。

604 回 うん。

605 相 {笑い}

606 司 うーん。

607 回 というんで、やっぱり言い争いにはなってるわけですか。

608 相 なってます。

609 回 で、あれですか？

610 回 物が、と、飛んでくるとか、

611 回 そういうことまでは、いってないわけですね？

612 回 言葉のやり取りだけ。

613 相 うーん、そうですねー、やっぱり、用件を出して、

614 回 ええ。

615 相 「やらなかったんだから一、

616 回 うん。

617 相 携帯を取り上げるよ。」とか一、

618 回 あー。

619 相 そういう一、

620 相 「お小遣いは、ちょっと減らすからね。」とか一、

621 回 ええ。

622 相 そういうこと言ってみても一、

623 回 ええ。

624 相 全然空回りです。

625 回 そうですね。

626 相 //はい。

627 回 逆にこれをやると、

628 回 逆効果で、

629 相 //ええ。

630 回 親子関係がこじれますよね？

631 相 はい。

C C 632 回 ですから、むしろ、あたしはね？
1 633 相 はい。
相 634 回 あの、今日のお話を、この、お母様の今のお話を聞いていてね？
談 635 相 はい。
う 636 回 こういうお子さんは逆に安心だなと思って聞いてたんです。
け 637 相 {笑い}
の 638 回 っていうのは、こう、自分をかなり正直に出してますよね？
話 639 相 そうです。
段 640 回 の、納得しない、
641 相 はい。
642 回 6時に終わると言ったのに、
643 回 約束が違うじゃないかって//いうふうにして、
644 相 はい。
645 相 {笑い}
646 回 ちゃんと自己主張してますよね？
647 相 してます、年中してます。
648 回 ねえ。
649 司 うん。
650 回 で、そうやって、自分を作る時期で、
651 回 それも、この年齢っていうのは、社会的に、たい、大人に対して、
652 回 自己主張をしていくっていうことを通して、
653 回 その、成長してく時期ですからね？
654 相 はい。
655 回 こういうことがちゃんと出来てる子っていうのは、
656 相 はい。
657 回 意外とね、この時期を過ぎると、
658 回 安心なんですよね。
659 相 はあー。
660 回 「はいはい、ご無理、ごもっとも。
661 回 その通り。」って言った方が、逆にその先、心配なんですよ？
662 相 はい。
663 回 で、彼は、やってるのを、こう、ずっとお話聞いてると、
664 相 はい。
665 回 学校で、授業をボイコットしてるっていう話ですよ？
666 相 そうですねー。
667 相 まさに、ボイコットという形で、
668 回 {笑い}
669 回 かなり、彼は、ある意味で、あの一、態度がしっかりはつきりあって一、
670 相 はい。
671 回 あの一、先生も、彼を、なんていうのかな、
672 回 先生の思う通りに、もう、操作できなくなってるわけですよ？
673 相 はい。
674 回 ですから、そういう点では、あの、一つの、こう、なんていうのかな、
675 回 集団の中で、自分を確立してやってく、
676 相 はい。
677 回 表現手段の一つじゃないでしょうか。
678 相 はい。 {笑い}
679 回 だから、あの、学校の先生と、お母さんが一緒になって、
680 相 はい。
681 回 その、「ちゃんと学校の授業聞きます。」とか、
682 回 学校での管理上の問題をね？
683 相 ええ。
684 回 親も家庭で協力するっていうのは、あたしはね、これは、家庭が居場所にならないっ
ていう意味で、
685 回 マイナスだと思います。
686 相 はい。
687 回 それに加えて、
688 回 ペナルティーで、

689 回 お小遣いを減らすの、
690 回 携帯を取り//上げるのって言ったらね？
691 相 {笑い}
692 相 はい。
693 回 子供にとっては一、
694 相 はい。
695 回 あの一、親との信頼関係、ズタズタですよね？
696 相 はい。
697 回 で一、でも、メールをやっているところを見ると、
698 相 はい。
699 回 携帯は、実際は使ってるんですか？
700 相 はい。
701 回 だから、お母様が、いろいろ送り出す、あの一、罰則が一、
702 相 はい。
703 回 ほんとは、無意味化しちゃってるわけですよねー。
704 相 そうです。
705 回 ねえ。
706 相 はい。
707 回 だとすると、かえって、こういう意味のない罰則は、
708 相 はい。
709 回 関係を悪くするだけだってことが、
710 相 ええ。
711 回 ありますからね？
712 相 はい。
713 回 他の方法を考えられたほうがいいんじゃないですか？
714 相 ええ。
715 相 どういう、手段っていうか、
716 回 ええ。
717 相 どういうふうに接したらいいか、
718 回 こういう方に関してはね？
719 相 ええ。
720 回 ある意味で、あの、まあ、確信犯っていいですか、
721 相 はい。
722 回 自分は、ある思いがあって、
723 回 こうするんだっていうことが、はっきり//あるお子さんなのでね？
724 相 はい。
725 相 はい。
726 回 その、しっ、しっ、叱責をしたり、
727 回 罰を与えるよりは、
728 相 はい。
729 回 どうしてあなたは、そういうことをする必要があるんだろうねっていうことを責める
んじやなくって//ね？
730 相 はい。
731 回 子供の胸の内を聞くということだね？
732 相 はい。
733 回 もうちょっと、コミュニケーションを変えたらいいんじゃないでしょうか。
734 相 あー。
735 回 で、大体、あの、男のお子さんと、よくね、中学、中学・高校ってね、学校で、あ
の、授業の時間、ね、寝て過ごすお子さんっていうのは、
736 相 はい。
737 回 時々あたくしも出会うんですけれ//どもね？
738 相 はい。
739 回 要するに、先生に対するプロテストが多いんですね？
740 相 {笑い}
741 回 先生に対する抗議っていうのかな？
742 相 はい。
743 回 だから、学校に行かないっていうことでプロテストする子と、
744 相 はい。

745 回 学校に行って、
746 相 はい。
747 回 あの、授業を、教室に座ってても、
748 回 授業を受けないっていう形で、プロテストする子と、
749 相 はい。
750 回 どうもね、二通りあるんですよ？
751 相 はい。
752 回 で、彼は、学校行きながらの、あの、まあ、学校拒否ですよ。
753 相 はい。
754 回 っていうことで、かなり、あの、芯の強いお子さんなんじゃ //ないでしょうか
ねー。
755 相 {笑い}
756 司 うーん。
757 相 そうですねー。
758 回 というふうに、見方を変えて、
759 相 はい。
760 回 ちょっと彼と距離を置くとね？
761 相 はい。
762 回 彼の成長してく姿が見えるんじゃないでしょうか。
763 相 あー、そうですかー。
764 回 ええ。
765 回 それで、今は、子供の数がすごく少なくなってます よね？
766 相 はい。
767 回 ですから、中学は、内申で子供に縛りをかけるけれど、
768 相 はい。
769 回 高校のほうは、
770 相 はい。
771 回 ですから、そういう点でいいますと、
772 回 前のテストの点数が、
773 相 はい。
774 回 あの、当日の試験の点数ですよー。
775 相 はい。
776 回 総合に取れていれば、
777 相 あー。
778 回 それほど落とされるってことは、ないみたいですよ？
779 相 あー、そうですか。
780 相 はい。
781 回 ですから、その辺のところも、
782 相 ええ。
783 回 もうちょっと、なんていうんですか、
784 回 公認的な情報を、お母さんが、
785 相 ええ。
786 回 あの、手に入れられてね？
787 相 はい。
788 回 あのー、実際は違うよっていう話が、きつといっぱい出回ってるはずですから。
789 相 あー、そうですか。
790 相 はい。
791 回 で、//子供たちのほうには、もっとそういう情報が行ってる場合があって、
792 相 あー。
793 相 ええ。
794 回 だから、その、学校の先生の縛りが、
795 相 ええ。
796 回 あんまり効果を持たないってことも、//起きてるようですけれども、
797 相 はあー。
798 回 いかがでしょうかねー。
799 相 あー、そうですかー。
800 回 ええ。

C 801 相 うー//ーん。
2 802 回 うーん。
回 803 相 そうですねー。

答
確
認
の
小
話
段

804 相 あのー、うちの子、いいところもあるわけなんですよ。
805 回 //うーん。
806 回 どんなところが。
807 相 {吸気} まあ、勉強でいえば、
808 相 英検 3 級。
809 回 あー。
810 司 うー//ーん。
811 相 それー//と、まあ、普段の勉強って、全然しないです。
812 回 ええ。
813 回 ええ。
814 相 ただ、そういう、好きなことはできる？
815 回 はい。
816 相 だから、そのー、確かに、気に入った先生の授業は、
817 回 ええ。
818 相 あの、100点近く取る。
819 司 あー。
820 回 やっぱりねー。
821 相 ええ。
822 相 そういの、あります、//確かに。
823 回 ねえ。
824 相 ええ。
825 相 だけどー、それは、ごく限られてて、{笑い}
826 回 ええ。
827 相 ほんとに、あのー、先生も授業がやりづらんだろうと思います。
828 回 ええ、ええ。
829 相 ええ。

C
1
回
答
提
供
の
小
話
段

830 回 ただねー、授業中に騒ぐ人に比べて、
831 回 寝てる人のほうが、授業の邪魔にはならないんですよ。
832 相 そうです。
833 回 ええ。
834 相 ええ。
835 回 で、なおかつ、自分の意思是、きちっとね？
836 相 ええ。
837 回 「先生の授業に、僕は参加しないよ。」ってことが、
838 相 //はい。
839 回 表示できるわけですから、
840 相 ええ。
841 回 ねえ。
842 回 無抵抗不服従で、
843 回 とても効果的なやり方ですよ？
844 相 はい。
845 回 ということを、//ある程度、認めるく//らいの、
846 相 はい。
847 相 はい。
848 相 ええ。
849 回 器を親が大きくしな//いと、
850 相 あー、そうですね。
851 回 こうい子、あのー、器から飛び出しちゃったら、
852 回 あとが大変ですよ？
853 相 ええー。
854 回 それから、あの、じつ、持つ、自分の、この人自身は実力を持ってるわけで、
855 相 はい。
856 回 やる気になったら、
857 回 こうやって、成果は手に入れるお子さんなんですからー、
858 相 あー。
859 回 要//する(に)、
860 相 ただ、その、あと1年ー、まあ、2年近くある、その、学校でー、
861 回 はい。
862 相 先生からはー、
863 回 ええ。

864 相 もう、ほんとに、いいことなんか、なんにもない奴だっというふうに、
865 相 評価されてます。
866 回 あー、//そう。
867 司 うーん。
868 相 ええ。
869 相 もう、味噌くそですね。
870 回 それは、担任の先生がそうなんですよねー。
871 相 担任とー、
872 相 あの一、教科ごと、みんな先生違いますのでー、
873 回 ええ。
874 相 担任から、その、各教科の先生も、そうだっということを書いて//ます。
875 回 うん。
876 回 まあ、先生がこういう評価をすれば//ね？
877 相 ええ。
878 回 子供のほうは、ふてくされたくもなりますよね？
879 相 ええ。
880 回 立場が弱いわけだから。
881 相 ええ。
882 回 で、この時に、
883 回 子供にとっては、味方が欲しいんですね？
884 相 ええ。
885 回 で、その、子供の味方になれるのって、親しかいないわけですよ。
886 相 はあ。
887 回 あなたのそういうふうに、抵抗したい気持ちもよくわかると、
888 相 ええ。
889 回 いう部分は、受け取ってやった上で、
890 相 ええ。
891 回 でも、もうちょっと賢い方法がないかしらねっということも、
892 相 ええ。
893 回 あの一、子供の気持ちを聞きながらね？
894 相 はい。
895 回 あの一、辿っていったらあげること、大事なんじゃ //ないでしょうか。
896 相 あー。
897 相 そう//ですね。
898 回 うん。
899 回 周りが全部否定している時というのは、
900 相 ええ。
901 回 やっぱ、立場が弱い人っていうのは、とことん抵抗しますよね？
902 相 はい。
903 回 だから、これ以上追い詰めたら、
904 相 ええ。
905 回 この子は、うちわ、器から飛び出しちゃって、
906 相 ええ。
907 回 逆に、とっても反抗的なことをしないと、
908 相 ええ。
909 回 あの一、身が立たなくなる、
910 相 うん。
911 回 //かもしれませんよねー。
912 相 そうですねー。
913 回 で、だ（から）、ギリギリのところじゃないかしら。
914 相 そう //です。
915 回 ええ。
916 相 うん。

C 917 相 で、部活を辞めたいって言い出してるんですけ//どー、
2 918 回 ええ。
回 919 回 ええ。
答 920 相 私としては、
確 921 回 うん。

大 小
話 話
段 段

認 922 相 辞めない理由を、
の 923 回 ええ。
小 924 相 そういう、変なほうに走っちゃうとー、
話 925 回 ええ。
段 926 相 今の部活は、きつ、ハードなのでー、
927 回 はい。
928 相 そこから出たら、
929 相 少しは楽になる。
930 回 はい。
931 相 で、その楽になった分を、まあ、タバコとか、
932 回 はい。
933 相 そういう、悪いほうに走るのが、心配でー、
934 相 うーん、まあ、「やっpegorん。」って言ってるんですけどー。

C 935 回 むしろ、これ、逆なんですよね。
1 936 相 はあー。
回 937 回 部活がハードで、
答 938 回 きつくて、
提 939 回 疲れて//ると、
供 940 相 ええ。
の 941 相 ええ。
小 942 回 子供たちが手を出すのは、タバコ。
話 943 相 あー。
段 944 回 それから、もう一つ、その、いわゆる、そのエロ本っていうんですか？
945 相 ええ。
946 回 そういった物に手が出てきますよね？
947 相 はい。
948 回 それで、それが、緩やかになると、
949 相 はい。
950 回 必要なくなるもんですから、
951 相 あー。
952 回 むしろ離れますねー。
953 相 あー、そうですかー。
954 回 だから、
955 相 じゃあ、逆ですね。
956 回 逆ですね？
957 相 あー。
958 回 夜12時に寝て、
959 回 朝、6時半に起きるっていうことは、
960 相 はい。
961 回 睡眠時間が6時間半しかないってこ//とで、
962 相 はい。
963 相 はい。
964 回 それで、昼間の生活が、こう、部活が長時間ハードだとするとね？
965 相 はい。
966 回 肉体的にも、疲労困憊なんじゃないですか？
967 相 そうですね、//10キロ痩せました。
968 回 ね。
969 回 ねえ。
970 司 うー//ーん。
971 相 はい。
972 回 だから、そこらへんの、と、
973 回 10キロ痩せた？
974 相 はい、体重が。{笑い}
975 回 へえー。
976 回 食事はどうしてますか？
977 相 //そう、
978 回 食べられてます？
979 相 はい、食べてますけどー、
980 相 給食は、あんまり食べないんじゃないか {笑い} と思うんですけどー、
981 回 ですよー。

982 相 はい。
983 回 やっぱり、これは、あの、かなり、その、み、見た目は、そういう、反抗的といいま
すかねー、
984 相 はい。
985 回 あれだけでも、
986 回 かなり内面も、身体的にも、この方しんどい状況なんじゃないですか？
987 相 はい、そう思います。
988 回 ねえ。
989 相 はい。
990 回 そしたら、それを受け取って、
991 相 はい。
992 回 ゆっくり休養させたり、
993 回 回復させたし、り、//してやれる場合は、
994 相 はい。
995 相 あー。
996 回 家庭しかないですよ。ね。
997 相 そうですねー。
998 回 で、//それが、
999 相 あの、
1000 相 ええ。
1001 回 できるのは、まずお母さんですよ。ね。
1002 相 はい。 {笑い}

C 1003 相 親も、なんか甘くって、
2 1004 回 ええ。
回 1005 相 なんか、どうして先生は、あの一、優しい言葉一言かけてくれればー、
答 1006 回 う、うーん。
確 1007 相 うちの子なんか、すごいその気になっちゃうのと思うんですけどー、
認 1008 回 ええ。
の 1009 相 なんで、こういう切り捨てる教育なのかなーなんて思っちゃうんですけど。
小 1010 回 そういうことを、まず、お母さんが、しっかり学校の先生に言うことからの始まりで
話 1011 相 あー、でも、言えないですねー。
段

C 1012 回 やっぱりね、親がしっかり、おや、あの、学校に対してね？
1 1013 相 はい。
回 1014 回 「うちの子に対して、
答 1015 回 そういうこと言うのは、失礼だ。」と、
提 1016 相 ええ。
供 1017 回 いうことをきっちり言えないと、
の 1018 相 あー。
小 1019 回 学校の先生は、どんどんエスカレートしていきますよね。
話 1020 相 そうですねー。
段 1021 回 ええ。
1022 回 お母//さんが、
1023 相 「いいとこなんて一個もない。」なんて、
1024 相 よく先生//言え、言えますよねー。
1025 司 うん。
1026 回 //そうねー。
1027 司 うん。
1028 回 だから、それを、お母さんとお父さんと一緒に行ってー、
1029 回 そこに対してきちっと抗議をするっていうくらいの強さが、欲しいんじゃないか思い
//ますねー。
1030 相 うーん、//そうですかー。
1031 回 で、そういうこと、お母さん、お父さん、やって
くれるようになると、
1032 回 子//供はずいぶん落ち着いて、
1033 相 うーん。
1034 回 軌道修正するようになっていきます。
1035 相 あーそうですかー。
1036 回 はい。
1037 司 はい。

大話 小
話 話
段 段

		1038 相	はい、わかりました。
		1039 回	はい。
		1040 相	はい。
D 相談 終了		1041 相	どうも//ありがとうございました。
		1042 司	参考にどうぞ。
		1043 回	どう//（も）。
		1044 司	はい。
		1045 司	失礼致します。
II 1 電 話 相 談 始 の 話 談 話 段	A	1046 司	では、次の方に参りましょう。
	相	1047 司	もしもし？
	談	1048 相	はい、//もしもし。
	開	1049 司	はい、こんにちは。
	始	1050 相	こん//にちは。
	の	1051 司	お待たせ致しました。
	話	1052 相	はい。
	談	1053 司	はい。
	話	1054 相	恐れ入ります。
B 相 談 か け の 話 段	B	1055 司	どなたのご相談でしょうか。
	1	1056 相	はい、あの、ただいま高校1年生の一、
	相	1057 司	はい。
	談	1058 相	あの、娘のことで。
	提	1059 司	はい。
	示	1060 司	お母さんでいらっしゃる//よねー。
	の	1061 相	はい、そうです。
	小	1062 司	ご家族を教えてくださいませんか？
	話	1063 相	はい、えー、両親と、
	段	1064 司	はい。
		1065 相	それから、あの、娘1人です。
		1066 司	はい、わかりました。
		1067 相	はい。
		1068 司	高校1//年せ、
		1069 相	夫は、
		1070 司	ええ。
		1071 相	あの、単身赴任で、
		1072 司	あつ、単身赴任で。
		1073 相	ええ。
		1074 司	//はい。
		1075 相	はい、おります。
		1076 司	高校1年生のお嬢さん、
		1077 相	はい、//そうです。
		1078 司	どうなされましたか？
		1079 相	ええ、あの一、現在高校1年生ですけども一、
		1080 司	ええ。
		1081 相	あの一、実は、去年、も、あの、高校{笑い}1年生だったんですね？
		1082 司	ええ。
		1083 相	ということは、あの一、去年入学致しまして、
		1084 司	はい。
		1085 相	あの一、1学期は、なんとか、あの一、行ったんですけども一、
		1086 司	ええ。
		1087 相	やはりちょっと、お友達関係のことで、
		1088 司	うーん。
		1089 相	ええ、ちょっとトラブルがありまして、
		1090 司	はい。
		1091 相	あの、ちょっと1人のお子さんは、
		1092 相	お子さんから、ずーっと、あの一、無視という形で、
		1093 司	ええ。
		1094 相	ええ。
		1095 相	あの一、まあ、私は、いじめだと思うんですけども、

1096 司 うーん。

1097 相 あの一、もう、2ヶ月近くも、ずーっと無視状態で、
1098 司 ええ。

1099 相 一切、口をきいてもらえない、グループの中で、
1100 司 はい。

1101 相 そういう状態が、ずーっと続いたものですから、
1102 司 ええ。

1103 相 もうあの、本人が、とても参ってしまっただけ？
1104 司 うん。

1105 相 ええ。

1106 相 それで、もう、行かれなくなってしまったんですね？
1107 司 はい。

1108 相 で、もう一、ほんとにこれは、行かせたら、
1109 相 もう、危険だなって//私が判断するくらいまで、
1110 司 うん。

1111 相 ええ。

1112 相 あの一、身体的にも？
1113 司 ええ。

1114 相 精神的にも、ちょっともう、あの一、弱ってしまったものですから、
1115 司 ええ。

1116 相 まあ、先生にもお話致しまして、
1117 相 で一、お休み、しばらくしてたんですけれども、
1118 司 ええ。

1119 相 あ一、本人が、「もう、ちょっと、辞める方向で考えたい。」って言ったものですか
ら、
1120 司 うん。

1121 相 まあ、とりあえず、ギリギリ、まで、あの一、休学という形を取らせて頂くということ
でね？
1122 司 はい。

1123 相 ええ。

1124 相 そして、あの一、まあ、他の学校、いろいろ見て回ったんですけれども、
1125 司 ええ。

1126 相 まあ、通信制の高校//とか、
1127 司 うん。

1128 相 まあ、サポート校とか、
1129 相 今、すごくたくさんあるんですけれど//も一、
1130 司 はい。

1131 相 あの一、調べて回って、
1132 相 で一、まあ、本人がそれを見た結果ね？
1133 司 ええ。

1134 相 あの一、どこにも一、やっぱり自分が、行きたいと思うような学校がなかったって言
うんですね？
1135 司 はい。

1136 相 ええ。

1137 相 そして一、やっぱり普通の、高校生活がしたいっていうわけなん//ですね？
1138 司 ふ、ふーん。

1139 相 で、まあ、なん、まああの一、いわゆる一、そういう、不登校のお子さんたち一、
1140 相 以前不登校の子、または、現在不登校の子が来てる、所は、
1141 司 はい。

1142 相 時間的にも、かなり、こう、ゆるいんですよね？
1143 司 ええ、ええ。

1144 相 ええ。

1145 相 ですから、まあ、夕方ぐらい出て来て、
1146 司 うん。

1147 相 あの一、気が向いた時に、来て、
1148 相 まあ、先生と話しながら、
1149 相 まあ//勉強したりとか、
1150 司 はい。

1151 相 まあ、通信の一、

1152 司 ええ。
1153 相 あのー、レポートを、まあね？
1154 司 ええ、//ええ。
1155 相 あの、出すのが目的でしょうからー、
1156 司 うん。
1157 相 そして、まあ、高校生活も、ある程度、こう、普通の高校生活が楽しめるような、
1158 司 うん。
1159 相 あのー、高校もいくつかあったんですけども、
1160 司 はい。
1161 相 本人は、やはりきちんとした時間//に行って、
1162 司 うーん。
1163 司 はい。
1164 相 あの、普通にー、先生の授業を集団で受けて、
1165 司 ええ。
1166 相 でー、あの、普通に勉強がしたいって、
1167 司 うーん。
1168 相 あの、やっぱ、自分で思ったらしいんです。
1169 司 はい。
1170 相 そういう所いくつか見てね？
1171 司 ええ。
1172 相 そして、あのー、今年、もう一度、やりたいって言いましたので、
1173 相 もう、入学致しまして、
1174 相 もう//1回入学式 {笑い} 出まして、
1175 司 ええ。
1176 司 はい。
1177 相 で、今現在、//に至ってるんですね？
1178 司 ふーん。
1179 司 はい。
1180 相 ええ。
1181 相 そして、あー、まあ、中間テストも受けたんですけどもー。
1182 司 うん。
1183 相 ええ。
1184 相 でー、あの、まあ、席替えがある前は、
1185 司 ええ。
1186 相 とてもよかったんですけども、
1187 司 はい。
1188 相 お友達関係もね？
1189 司 ええ、ええ。
1190 相 今年は、とても穏やかで、
1191 相 楽しい//、あの、クラスだっていうことで、
1192 司 うーん。
1193 司 ええ。
1194 相 喜んでいたんですけども、
1195 司 はい。
1196 相 やはり、あの、ここにきまして、
1197 相 まあ、席替えがあって、
1198 司 ええ。
1199 相 そして、今度は、こん、まあ、グループも、こう、どんどん変わってきますねー、//
やはり。
1200 司 はい。
1201 相 で、あのー、すごく、今まで仲良くしてたお子さんとー、
1202 司 うん。
1203 相 今度は、こう、離れてしまったわけなんですか？
1204 司 ええ、//ええ。
1205 相 は、もう他のお友達と、どんどん//あの、輪を広げてってー、
1206 司 うーん。
1207 司 ええ。

1208 相 あの、すごくこう、人気者になって、
 1209 司 ええ。
 1210 相 いったらしんですね？
 1211 司 はい。
 1212 相 で、まあ、グループでも、最初はまあ、5，6人いたらしくって、
 1213 司 うん。
 1214 相 その中にも、何人かやっぱり、他の子とも、どんどんどん、
 1215 司 うん。
 1216 相 輪を広げてく。
 1217 相 そして、本人もね？
 1218 司 ええ。
 1219 相 やはり、その中に入りたいもんですからー、
 1220 司 うん。
 1221 相 あの一、自分からも、うーん、自分なりに積極的に？
 1222 司 うん。
 1223 相 話しかけて、
 1224 司 ええ。
 1225 相 あの一、いったらしいんですけれどもー、
 1226 司 はい。
 1227 相 どうもなんかこう、他の子に話しかけて、
 1228 相 返ってくる言葉とー、
 1229 司 うん。
 1230 相 自分のほうに、あの一、話しかけても、
 1231 相 返ってくる言葉が、全然なんか、違うように感じるって言うんですね？
 1232 司 はい。
 1233 相 で、こう、会話が續かないらしいんですよ。
 1234 司 あー。
 1235 相 で、もともと、こう、どちらかといいますと、
 1236 相 おとなしいタイプでー、
 1237 司 ええ、ええ。
 1238 相 まあ、何をね？
 1239 司 ええ。
 1240 相 話していいか、
 1241 相 ちょっとわからない、//というような、あの一、子なんですね？
 1242 司 はい。
 1243 司 はい。
 1244 相 ええ。
 1245 相 ですから、こう、ギャーギャーギャーギャーふざけてるのを見ててもー、
 1246 司 うーん。
 1247 相 自分はどうも、その中にも入っていかれないけれども、
 1248 司 ええ。
 1249 相 なにしろ、その、集団の中で、
 1250 相 楽しい、ね？まあ、あの一、子たちを見ててー、
 1251 司 うーん。
 1252 相 自分は、なんか独りだっということを痛切に、こう、感じて//らしいんですね？
 1253 司 あー。
 1254 相 はい。
 1255 相 とっても寂しくて、
 1256 司 ええ。
 1257 相 んで、あの一、今まで仲いい子がー、と、まあね？
 1258 司 うん。
 1259 相 時々話しても、
 1260 司 ええ。
 1261 相 そのお子さんは、もう、なんか全然相手にしてくれない。
 1262 司 うーん。
 1263 相 もう、心がもう、娘のところには、もう全然ないような、//やはり。
 1264 司 ええ、ええ。
 1265 相 で、他の子のところに行くと、
 1266 相 もう、ほんとに楽しそうに話してるらしいんですね？
 1267 司 うーん。

1268 相 で、その姿を見ると、
 1269 司 ええ。
 1270 相 あっ、やっぱり私は、あの、好かれていないんだな一つて。
 1271 司 うーん。
 1272 相 なんてこんなに、あの一、1人だけね？
 1273 司 ええ。
 1274 相 あの一、他にもおとなしいお子さんがいても一、
 1275 司 ええ。
 1276 相 その子の名前を呼んで一、
 1277 相 「遊ぼうよ。」とか話しかけてくれるらしいんですけども一、
 1278 司 ええ。
 1279 相 娘に、こう、話しかけてくれる子は一、ほとんどいないって言うんですよ、本//人が言うにはね？
 1280 司 はい。
 1281 司 ええ。
 1282 相 で、「もう、ほんとに寂しくて、
 1283 相 寂しくて、
 1284 相 悲しい。」、
 1285 相 そして、あの、独りが死ぬほど怖いっていう//タイプなんですか？
 1286 司 あー。
 1287 司 ええ。
 1288 相 ええ。
 1289 相 でも、あの、やっぱり真面目なものですから、
 1290 司 うんうんうん。
 1291 相 あの一、勉強は一生懸命やるんですね？
 1292 司 ええ。
 1293 相 ですから、あの一、授業中は、もう、あの一、先生一//のお話を一生懸命聞いて、
 1294 司 うーん。
 1295 司 ええ、ええ。
 1296 相 その学校の先生の授業が、とても好きなんですよ。
 1297 司 うーん。
 1298 相 で一、あの、でも、休み時間と昼休みは、すごく嫌だ{笑い} っていうんですね？
 1299 司 あー、(そ)、
 1300 相 ですから、「もう、休み時間なんかなければいいのに、
 1301 司 うーん。
 1302 相 授業だけだったらいいのに。」っていうんです。
 1303 司 はい。

中 1304 司 お母さん、そうしましたらね？
 断 1305 相 ええ。
 断 1306 司 音楽・ニュースを挟んで、
 り 1307 司 またお話伺いながら、
 の 1308 相 はい。
 小 1309 司 U先生のアドバイスをして//頂きますので、
 話 1310 相 はい。
 段 1311 司 少しお待ち頂けますか？
 1312 相 はい、お願いします。
 1313 司 はい。
 1314 相 はい。

Ⅲ 番組 1315 司 では、ジョナサン・ケインの演奏で、
 継続 1316 司 「愛の翼」。

V 別番組 1317 ー 《音楽・交通情報・ニュース》

続Ⅲ 1318 司 では、「子どもの心相談」、続けます。
 番組 1319 司 スタジオのアドバイザーは、心理カウンセラーのURさんです。
 継

Ⅱ 話 B B 1320 司 先ほど、お電話が途中になってしまいました。
 1 段相 1 1321 司 高校1年生のお嬢さんについて、お母さんからの相談です。
 電 ー談 相 1322 司 お友達に無視をされてしまったということをきっかけに、
 話 回か 談 1323 司 学校を休むようになって、

大 話 段	小 話 段	話 段	
相 談 の 談 話 （ 続 き ）	（ A 回 相 婦 談 開 始 ）	提示	1324 司 えー、今年から、また行くようになったんだけども、
			1325 司 なかなか、クラスの中で、お友達ができないといった相談です。
			1326 司 もしもし？
			1327 相 はい。
			1328 司 はい。
			1329 司 お待たせしております。
			1330 相 あっ、恐れ入ります。
B 相 談 か け の 話 段 （ 回 婦 ）	B 1 相 談 提 示		1331 司 はい。
			1332 司 で、お母さん、一番、この、最近ですねー、
			1333 相 はい。
			1334 司 お嬢さんの体のことなどで、心配に思ってることは、どんなことなんですか？
			1335 相 そうですね、体のことで言いますと、
			1336 司 はい。
			1337 相 やはり、あの一、以前より食欲も落ちてきましてー、
			1338 司 はい。
			1339 相 そして、あの一、やっぱり、おき、起きづらいということもあり//ますしー、
			1340 司 ええ。
			1341 相 それからー、そうですね、あの一、イライラしたり、
			1342 司 ええ。
			1343 相 時々するんですね？
			1344 相 で、特に、夜、イライラした、
			1345 司 うーん。
			1346 相 あの、なん、「なんだかわからないけど、
			1347 相 イライラするの。」って言ってー、
			1348 司 うー//ーん。
			1349 相 なんか、ちょっと物に軽く当たったり、
			1350 司 はい。
			1351 相 あの一、なんか、してるんですね？
			1352 司 ええ。
			1353 相 普段、とっても穏やかな、あの、いい子なんですけれども、
			1354 司 うーん。
			1355 相 で、どうしてかっていったら、
			1356 相 「夜になると、
			1357 相 学校行く時間が、近くなってくるから。」//って言うんですね？
			1358 司 あー。
			1359 回 うーん、そうですかー。
			1360 相 そして、もう、そういうことまで、もう、先の先まで読んで、
			1361 相 こう、心配する子なんですね？
			1362 司 ええ。
			1363 相 ええ。
			1364 司 はい。
			1365 相 ですからねー、
			1366 司 うん。
			1367 相 そういうところ。
			1368 相 それとやっぱり、やはり一番心配なのは、あの、もう、ほんとに、こう、いつでも学 校のことが、頭から離れないということで、
			1369 司 うーん。
			1370 相 楽しめないんですねー。
			1371 司 はい。
			1372 相 何に関してもね？
			1373 司 ええ。
			1374 相 で、あの一、ほんとに中学の時からの一、仲良しの方、お友達いるんですけれども ね？
			1375 司 うん。
			1376 相 その子と、たまに会って遊んでも、
			1377 相 学校のことを、が、離れないもんですからー、
			1378 司 うん。
			1379 相 以前のように、楽しくね？

大 小
話 話
段 段

1380 司 うーん。
1381 相 遊べないって言うんですね？
1382 司 はい。
1383 相 ええ。
1384 相 ですから、もう、頭の中、学校のことだけで、もう、いっぱいになってしまってるよ
うなのでー、
1385 司 ええ。
1386 相 ちょっと、今、余裕がない。
1387 司 はい。
1388 相 そして、あの一、とても不安定なので、
1389 司 ええ。
1390 相 こう一、正しい判断がね？
1391 司 ええ。
1392 相 ちょっとこう、いろいろできないような状態なんです。
1393 司 そう//ですか。
1394 相 頭がパニックみたい//に
なって、おりますね。
1395 司 はい、わかりました。
1396 司 はい。
1397 回 あっ、はい。
1398 司 では、U先生お願いします。
1399 相 はい。

A相談
開始

1400 回 よろしくをお願いします。
1401 相 はっ、こちらこそよろしくお願ひ致します。
1402 相 ありが//とうございます。

B B
2
相 相
談 相
か 談
け 内
の 容
話 確
段 認
の の
小 小
話 話
段 段

1403 回 あの一、お話聞いてますとねー、
1404 相 ええ。
1405 回 とても学校に行きにくいお子さんが、
1406 相 はい。
1407 回 「学校行かなくちゃいけない、
1408 回 行かなくちゃいけない。」って思ってるときに、
1409 回 起こってくる、あの、事態が、こう、出揃ってる感じがあるんですよね？
1410 相 はい。
1411 回 だから、ほんとはこの方は、学校行きたい方ではなくて、
1412 相 ええ。
1413 回 あの一、行くのが辛い方ですよー。
1414 相 あの一、今は、そういう状態なので、
1415 相 辛いんですね？
1416 回 そうですねー。
1417 相 でも、学校は行きたいんですよ。
1418 相 普通の高校生として、行きたいんですよ。
1419 回 ええ。
1420 相 ええ。
1421 回 ですからね、あの、行きたいという気持ちを持ちながら、
1422 相 ええ。
1423 回 行かれないのが、登校拒否、不登校の原因なんですね。
1424 相 ええ、ええ。
1425 回 行きたくないから、
1426 回 行かないって、子どもたちは言わないんですよ。
1427 相 ええ、ええ。
1428 回 「行きたいのに、
1429 回 行かれない。」
1430 相 はい。
1431 回 「行かれない私を理解して。」
1432 回 「行かれない私を受け入れて。」っていうん//で、
1433 相 ええ。
1434 回 あの一、学校のことが気になる、気になるっていうふうに、訴えるんですよね？
1435 相 そうですね。

1436 回 ええ。
1437 相 はい。
1438 回 だから、むしろこれは、周りの人が、この子どもの訴えを、どう受け取ってやるかっていうのが、ポイントになってくると思うですね。
1439 相 あー、そうですか。
1440 回 え//え。
1441 相 はい。
1442 回 お母さんとしては、どうなのでしょう、
1443 相 ええ。
1444 回 この、方が、
1445 相 はい。
1446 回 あの、こういう、苦しさを見ていて。
1447 相 ええ、ええ。
1448 相 あの、わたくしはね？
1449 回 ええ。
1450 相 あの、前回のこともありますし、
1451 回 はい。
1452 相 あのー、そんなにね、無理しなくて、あの、いいんだよって、いつも言ってるんです。
1453 回 はい。
1454 相 あの、だから、あの子が、こういう、もし、高校中退したら、
1455 相 自分の将来は、もう、めっちゃめっちゃになるって、
1456 相 そういうふうに言うんですね？
1457 回 はい。
1458 相 あの、履歴書も、中退っていう文字が入るし、
1459 回 ええ。
1460 相 将来、就職もできないし、
1461 相 結婚もできない、
1462 相 そういうふうに言うものですからー、
1463 相 で、そんなことはないよって、
1464 回 うん。
1465 相 あなたが、もう、あの、自分でね？それを、あのー、好きなことを見つけて、
1466 相 一生懸命やれば、
1467 相 将来開けるしね？
1468 回 うん。
1469 相 先のことをー、今からそんなにね？心配しなくていいのよって、
1470 相 今は、もう、あの、いろんな道があるんだからー、
1471 相 勉強がしたければ、
1472 相 したくなったときにね？
1473 相 あの、いろんな方法で、やればいいんだから、
1474 相 もう、家にいても、構わないよって、言うんです。
1475 回 はい。
1476 相 で、あのー、私と娘とは、とても、こう、よく話もしますしー、
1477 回 はい。
1478 相 あの、小さい時からー。
1479 相 でー、娘も私に、ほとんど、なんでも話してくれるんですね？
1480 相 ですから、あのー、私といると、
1481 相 すごく楽しいしー。
1482 回 はい。
1483 相 で、あのー、私も、ほんと危険だなんて思った時があったんです、去年。
1484 相 //こう、
1485 回 どういうふうに危険だっ、//たんでしょう。
1486 相 //どもー、
1487 回 ええ。
1488 相 あのー、帰ってきた姿を見てー、
1489 回 はい。
1490 相 目がもう、うつろでね？

1491 回 ええ。
1492 相 それで、もう、足元もフラフラしてるしー、
1493 回 あー、あつ。
1494 相 もう、幽霊のようになって、
1495 相 歩いて帰ってきたんですね？
1496 回 はあー。
1497 相 で、それ、たまたまちよっと、私、バス停まで、あの一、さん、あの一、ちょっと心配でしたので、
1498 回 うーん。
1499 相 迎えに行ったんです。
1500 回 はい。
1501 相 そしたら、向こうから、なんかもう、ヒョロヒョロした、幽霊のような子が歩いてきて、
1502 相 そしたら、それが娘だったわけなんですね？
1503 回 ええ。
1504 相 そして、あー、もうこれは大変、
1505 回 うーん。
1506 相 あー、このまま行かせたら、
1507 相 電車も乗り継いで行くものですからー、
1508 回 はい。
1509 相 あの一、ちょっと、ね？
1510 回 はい。
1511 相 思い余ってとか、そういうことを一番心配したものですからー、
1512 相 もう、すぐあの一、心療内科に連れてったんですね？
1513 回 ええ。
1514 相 そして、心療内科の受診、して頂いて、
1515 相 まあ、先生に、一人でいても、
1516 相 人間は、あの一、ね？みんな一人なんだからね？
1517 相 一人でいても、
1518 相 {笑い} 大丈夫にならなけれ//ば、
1519 回 うん。
1520 相 そういう強い心を持たなければだめだよってことを、こう、話されたいんですね？
1521 回 なるほどねー。
1522 相 で、それについて、娘は、「もう、全然、先生は私のことをわかっ//ってくれてない。」と、
1523 回 わかってないですねー。
1524 相 私は、もう、だから、あそこには二度と行く気はない。
1525 回 うん。
1526 相 ただ、あの一、楽になるお薬を頂けるって//いうからー、
1527 司 うーん。
1528 回 うん。
1529 相 あの一、行ったんであってー、
1530 回 うん。
1531 相 で、その薬は、まあ、ごく軽いお薬しか、まあ、先生が出せないっておっしゃったんで、
1532 回 ええ。
1533 相 それを飲んだんですけどもー、
1534 相 まあ、ほんの数分、まあ30分ぐらいは、ボーっとして？
1535 回 うん。
1536 相 まあ、ちょっと楽になるようだったんですけども、
1537 相 その後、もう、ガクンって、こう、落ちるらしいんですね？
1538 回 うん。
1539 相 もう、そんな、あの、元にすぐ戻るようでしたら、
1540 相 私、もう、そういう薬は飲みたくないからー、
1541 相 もう、もう行かないし、
1542 回 はい。
1543 相 あの、母親、わたくしがいれば、

1544 相 もう、私はもう、家にいて、
 1545 相 楽しいしー、
 1546 相 リラックスできるからー、
 1547 相 あの一、「もう行かない。」と言って、
 1548 相 もう、病院は1回やめたんです//ね？
 1549 回 うん。
 1550 回 学校も、そういうふうに言えるようになるといいですねー。
 1551 相 そうですねー。
 1552 回 ねえ。
 1553 相 で一、あの、なにしろ、もう、家にいる時は、
 1554 相 ほんとに、もうあの、楽しくてね？
 1555 相 2人で、もう冗談//言い合って、
 1556 回 うん。
 1557 相 いつも、こう、ふざけているような親子なんですよ？
 1558 回 はい。
 1559 相 ただ、学校に行くと、
 1560 相 自分が、こう、出せないわけなんですか？
 1561 回 そうですねー。
 1562 相 ですから、その殻をね？
 1563 回 ええ。
 1564 相 取り去れば、
 1565 相 楽になるってというのは、あの、わかってるんですね？あの子も。
 1566 相 //あの一、
 1567 回 だけど、実際には、難しいんですよ？
 1568 相 そうです。
 1569 相 あの一、私もね？そういう、やっぱり、若い頃、
 1570 相 そういうふうに、経験したことがありますので、
 1571 相 あの子の気持ちが、すごくわかるんです。
 1572 回 はい。
 1573 相 で一、あの、この年になって、
 1574 相 やっとね？もう誰とでも話せるし、
 1575 回 はい。
 1576 相 楽になってきたので。
 1577 回 ええ。
 1578 相 ですから一、その、「あなた、壁を作っているから、
 1579 相 その壁取り払えばいいじゃない。」って言われても、
 1580 相 取り払えないものは、もう、ほんとわかるんですよ。
 1581 回 ええ。
 1582 相 それができればね？
 1583 相 苦労しない【笑い】 んですけどね？
 1584 回 そうですよー。
 1585 相 だから、あの一、ほんとに気持ちがわかるんです、彼女//の。
 1586 回 はい。
 1587 相 そして、学校以外では一、すごく元気なんですよ？
 1588 相 あの一、まあ、夏休みは、アルバイトも許可されてましたので、
 1589 回 はい。
 1590 相 アルバイトもしたりしてね？
 1591 相 もう、アルバイトも、1日も休まずに行きましたし、
 1592 回 うん。
 1593 相 もう、イキイキして帰ってくるんです。
 1594 回 そうですか。
 1595 相 で一、まあ、働くことは、自分はとても好きだって、
 1596 回 ええ。
 1597 相 言うんですね？
 1598 相 ですから、あの一、
 1599 回 という意味では、非常に問題がはっきりしていて一、
 1600 相 ええ。
 1601 回 学校を、この方、一つ外せば、
 1602 相 ええ。

1603 回 あの、普通の、というか、心配のない状態になるという//ことですよね？
 1604 相 そうですね。
 1605 相 そうです。
 1606 回 で、学校をどう外すかっていうことですよね？
 1607 相 そうですねー。
 1608 相 で、本人が一、
 1609 回 ええ。
 1610 相 なにしろ去年のことがありますのでね？
 1611 回 はい。
 1612 相 やっぱり、自分で自分を、こう、どうしても、もう、二度とあの失敗を繰り返しては
 いけないような、
 1613 相 そういう思いで、
 1614 相 自分で自分を、こうね？
 1615 回 はい。
 1616 相 縛りつけてる一、ところがあるんです。
 1617 回 そうですねー。
 1618 相 ええ。
 1619 相 で、私はもう、なんにもこだわらないんですよ、そういうことに関して。
 1620 回 はい。
 1621 回 本人がこだわってるんですよね？
 1622 相 本人がこだわってるんですけどー。
 1623 回 だから、こだわってる本人に対して、
 1624 相 ええ。
 1625 回 あの、「こだわらないように。」って、い、言くと、
 1626 回 逆効果なんですか？
 1627 相 あー、はい。
 1628 回 ますますこだわりがひどくなるんです。
 1629 相 あーそうですか。

C C 1630 回 で、その点で言いますとね？
 1631 相 ええ。
 相 1632 回 この方場合は、その一、すごくこう、行かねばならないっていう、こう、脅迫的な
 談 ね？//観念。
 1633 相 ええ。
 1634 相 ええ、ええ。
 1635 回 こだわりにとらわれていて、
 1636 相 ええ。
 1637 回 がんじがらめになっているわけですよね？
 1638 相 ええ、ええ、そうですね。
 1639 回 ですから、こういうがんじがらめの状態をほどいていくのには、
 1640 相 ええ。
 1641 回 多分こう、周りの方の力だけでは、ちょっと難しそうなので、
 1642 相 ええ。
 1643 回 あの、いわゆるほんとの意味で、こう、カウンセリングっていうんですか？
 1644 相 ええ。
 1645 回 本人の辛さを聞いてくれて、
 1646 回 頑張りとか、
 1647 回 別の態度を取れっていうんじゃないかってね？
 1648 相 ええ。
 1649 回 あなたのしんどさって、とってもよくわかる//わっていうふうに、
 1650 相 ええ、ええ。
 1651 回 心から、こう、共感して聞いてくれるような一、
 1652 相 ええ。
 1653 回 そういうカウンセラーの方と出会うと、
 1654 回 少し問題が整理できるかもしれませんねー。
 1655 相 あっ、そうですか。
 1656 回 はい。
 1657 相 あの、母親以外の一、
 1658 回 そうで//すね。

1659 相 理解してくれる（人に）、
1660 回 ちょっとお母さんとお子さんが、あの、距離が取れてないので、
1661 相 ええ。
1662 回 こう、なんかこう、堂々巡りになっちゃってるみたいなのでね？
1663 相 ええ。
1664 回 むしろ、あの、第三者で、距離の取れる方と、お嬢さんが、お話できるといいんじゃないでしょうか。
1665 相 あー、そうですか。
1666 回 はい。
1667 相 あー、そういう方を、
1668 司 うーん。
1669 回 ええ。
1670 相 あの、そういう方ー、
1671 回 //それ、
1672 相 あの、つい最近なんですけれどもね？
1673 回 ええ。
1674 相 あの一、まあ、み、見つかったというと、
1675 相 失礼な言い方//なんですけれどもー、
1676 回 ええ、ええ。
1677 相 あの一、ええ、よく、//相談に乗ってくれる方に、ちょっとお会いできたのでね？
1678 回 うーん。
1679 回 あっ、そうですか。
1680 相 で、まあ、あの一、とりあえず、夏休みまで、
1681 回 うーん。
1682 相 休むなり、なんなりね？
1683 回 うーん。
1684 相 あの一、どうで、休んでもいいし、
1685 相 時々行ってもいいし、
1686 相 夏休みに一、まあ、将来のことを、まあ、ゆっくり相談しながら、
1687 相 考えましょうって、すごく、彼女の気を楽しに、あの一、させてくれるような？
1688 回 はい。
1689 相 アドバイスをして下さる方に、あの一、最近、
1690 回 あっ、そうで//すか。
1691 相 ええ、お話できたんですね？
1692 回 そうですか。
1693 回 それはよかったですね。
1694 相 ええ、そうです。
1695 回 ですから、そういう関係を信頼しながら、
1696 回 ちょっとお子さんに委ねるっていうところで、
1697 相 ええ。
1698 回 やってみてはいかがでしょうか。
1699 相 そうです//ね。
1700 回 はい。
1701 司 はい。

C 1702 相 じゃあ、あまりわたくしは、
2 1703 司 うーん。
回 1704 相 そんなに、ああしたら、こうしたら、とかそういう、ことは、アドバイスとか、あん
答 まり、こう、しない、
確 1705 回 ええ。
認 1706 相 努め//てしないようにした、
1707 回 はい、しないほうがいいと思います。

C 1708 回 こ、こういうこだわりのある方っていうのは、
1 1709 相 ええ。
回 1710 回 ああしなさい、
答 1711 回 こうしなさい、っていうふうに、
提 1712 相 ええ。
供 1713 回 プラスの方面から、アドバイスされても、
の 1714 相 ええ。
小 1715 回 すごくこだわりがひどくなるんですね？

大 話 段	小 話 段	話 段	
		1716 相	あー、そうですか。
		1717 回	ですから、それ//、逆効果だと思いますので、
		1718 相	逆効果なんですね？
		1719 相	ええ。
		1720 回	ですから、そういう点では、ちょっと、あの、そういう方に委ねてみればいかがで しょうか。
		1721 相	あ、そうですか。
		1722 回	お、お子さんと、そちらの方にね？
		1723 相	あつ。
		1724 回	はい。
		1725 相	はい。
確 認	C 2 回 答	1726 相	で、//じゃあ、わたくしは、あの、どのように接したらよろしいでしょうか。
		1727 司	はい。
C 1 回 答 提 供 の 小 話 段		1728 回	そうですね、まああの一、とにかく、なんていうんですか、
		1729 回	ちょっと距離が取れてない感じが、お話を聞いててしますのですね？
		1730 相	ええ。
		1731 回	あの、少しご自分のことを、何か始められるといいかもしれませんね、お母さんが。
		1732 相	あつ、わたくしがですか。
		1733 回	そう。
		1734 回	お母さんが夢中になれるご自分のことを始めて、
		1735 相	ええ。
		1736 回	ちょっとお子さんとの距離を取ってみると、
		1737 相	ええ。
		1738 回	いう、
		1739 相	私が他にこう、//あの一、(?)を目に向け、あのね？
		1740 回	うん。
		1741 司	//ええ。
		1742 回	うん。
		1743 相	他に？// (?) っていう。
		1744 回	お嬢さんがね？
		1745 相	ええ。
		1746 回	アルバイトをして、
		1747 回	とっても元気になった//っていうのとおんなじで、
		1748 相	{笑い}
		1749 回	お母さんも趣味のことをすると、
		1750 回	子どもの問題から離れられると、
		1751 相	ええ。
		1752 回	いうことがあると思いますので、
		1753 回	ちょっと観点を変えてみるといかがでしょうか。
		1754 相	ええ、そうですね。
		1755 司	はい。
		1756 相	私も結構、いろいろ他に、
		1757 司	うーん。
		1758 相	あの、出て歩いたりとか、
		1759 回	ええ。
		1760 司	そうですかー。
		1761 相	してますのでー、
		1762 司	//ええ。
		1763 回	はい。
		1764 回	//じょー、じゃあ、どうぞその辺のところを、
		1765 相	(?) 頑張ってみます。
		1766 回	はい。
		1767 司	はい。
D 相 談 終 了		1768 司	ご参考にな//さってください。
		1769 相	(?) ます。
		1770 相	わかりました。
		1771 司	はい。
		1772 司	では、失礼致します。

II 1 電話 相談 開始 の 話 段	A 相 談 開 始 の 話 段	1773 司	では、あー、もうひとかた参りましょう。
		1774 司	もしもし？
		1775 相	まだまだ、あつ。
		1776 司	もしもしー？
		1777 司	あつ、お電話がちよっとつながっていないようですねー。
		1778 司	えーっと、今の、おー、お母さん、あの、
		1779 司	あつ、つながりましたか？
		1780 司	もしもし？
		1781 相	はい、もしもし。
		1782 司	はい、お待たせ致しました。
		1783 相	はい。
B 相 談 か け の 話 段	B 1 相 談 提 示 の 小 話 段	1784 司	どなたのご相談でしょうか。
		1785 相	あつ、じ、自分なんです。
		1786 相	あつ、S A//です。
		1787 司	あつ、ご自分の、
		1788 相	はい。
		1789 司	ことですか？
		1790 相	はい。
		1791 司	えーっと、S Tさんとお呼びしていいんですか？
		1792 相	はい、いいです。
		1793 司	はい、わかりました。
		1794 相	はい。
		1795 司	何年生でしょうか。
		1796 相	高校1年生//です。
		1797 司	高校1年生で//すか。
		1798 相	はい。
		1799 司	はい。
		1800 司	では、ご家族、教えて頂けますか？
		1801 相	はい。
		1802 相	お、お父さんと、お母さんとー、
		1803 司	はい。
		1804 相	ほんで、お母さんのほうのおばあちゃんと、
		1805 司	はい。
		1806 相	中学1年生の妹です。
		1807 司	はい、わかりました。
		1808 相	はい。
		1809 司	S Aさん、どうしましたか？
		1810 相	あの一、中学校3年生の一？受験の頃からー？
		1811 司	ええ。
		1812 相	今まで全然、勉強しているのも平気だったんですけどー、
		1813 司	ええ。
		1814 相	その時から、なんか、勉強一、だんだん、手につかなくなって//しまって？
		1815 司	うーん。
		1816 司	ええ。
		1817 相	そいで、一応高校受験は、合格した、して、
		1818 相	自分の第一希望の所に入ることができたんですけどー、
		1819 司	はい。
		1820 相	それから、あの一、合格招集日とか？
		1821 司	うん。
		1822 相	春休み中であって、
		1823 司	ええ。
		1824 相	が、学校、いろいろ行け、
		1825 相	入学式とか、
		1826 司	ええ。
		1827 相	出るようになっ、行ってから？
		1828 司	うーん。
		1829 相	なんか、自分の思ってた学校と違うなあと思ってー？
		1830 司	ええ。
		1831 相	なんか、それまではすごく、行きたい学校だったのに、
		1832 司	ええ。

1833 相 もう、い、行きたくないなあと、おも、思ってしまうようになってしまったんですよー。
1834 司 はい。
1835 相 それで、春休みも、すごい宿題、出るってわかってたんですけどー、
1836 司 ええ。
1837 相 思ってた以上に一杯出たりとか？
1838 司 ええ。
1839 相 それとか、ゴールデンウィーク中も宿題ばっかりで、
1840 司 うん。
1841 相 やっと高校生になって、
1842 相 遊べると思っても、
1843 司 ええ。
1844 相 なんか、いつも走り続けてないと、
1845 司 うー//ーん。
1846 回 そうそう。
1847 相 いけない、
1848 相 気が抜け、気を抜くことができない、//学校生活で、
1849 司 うん。
1850 相 このままだったら、
1851 相 なんか、自//分が、し、しんどいなあと//思ってた？
1852 司 うん。
1853 司 うーん。
1854 司 ええ。
1855 相 もう、学校辞めたいなあって思うようになってきたんですよー。
1856 司 はい。
1857 相 で、がっ、学校の雰囲気とかも？
1858 司 ええ。
1859 相 今までは中学校とかも、二クラスしかなかったし？
1860 司 うん。
1861 相 先生とかも、すごい、こう、1人1人わかってくださるばっかりで、
1862 司 あー。
1863 相 //よかったんですけどー、
1864 司 ええ。
1865 司 ええ。
1866 相 なんか、高校一、入って、
1867 相 そこの子、やっぱりいろんな学校から、たく//さん人が来てるわけだしー、
1868 司 うん。
1869 司 そうですねー。
1870 相 なんか、そういうのもあって、
1871 相 なんか、じぶ、空気が合わないなあと思ってねー、
1872 司 うーん。
1873 相 すごーいしんどくなってしまったんですよー。
1874 司 ええ。
1875 相 それで、5月のゴールデンウィーク終わった頃からー、
1876 司 うん。
1877 相 もう学校に、行けなくなったんですよー。
1878 司 はい。
1879 司 今日も休んで、
1880 相 あっ、はい。
1881 司 いるんですか？
1882 相 はい。
1883 相 そ//れで、
1884 司 体の調子はどうですか？
1885 相 あっ、体の調//子なんですけどー、
1886 司 うん。
1887 司 ええ。
1888 相 最初はちょっと、精神的にしんどいなあと思っ//てたんですけど、
1889 司 うん。
1890 司 ええ。
1891 相 6月に、5月の終わりごろから？

大 小
話 話
段 段

1892 司 うん。
1893 相 ちょっと、お腹とか調子崩して一、
1894 司 うーん。
1895 相 今、なんか、原因わからない {笑い} んですけど一、
1896 司 うーん。
1897 相 熱がちょっと続いたりと//かしてて、
1898 司 あら一。
1899 相 病院//ちょっと行ってるんですよ一、今。
1900 司 うん。
1901 司 あーそうですか一。
1902 相 はい。
1903 司 はい。
1904 司 わかりました。
1905 司 では、U先生//お願いします。
1906 回 あっ、はい。

A相談 1907 回 こんにちは。
開始 1908 相 こんにちは。

B B 1909 回 あの、あなたは、もう、学校行きたくないなーって思って、いますよね。
2 1910 相 はい。
相 1911 回 お父さんやお母さんはどうですか？
談 1912 相 は、お父さんは、//早く行ってほしい//っていうのもあるし一、
か 1913 回 ええ。
け 1914 司 う、うーん。
の 1915 回 ええ。
話 1916 相 やっぱ、せっかく自分が行きたいって言って、
段 1917 相 行った所なんだから、
小 1918 相 行きなさいとか？
話 1919 回 ええ。
1920 相 えっと、普通科と家政科があって？
1921 回 はい。
1922 相 お父さんとしては、「普通科は勉強が大変だから？
1923 回 うん。
1924 相 家政科にしとけば？」って言ってたから、
1925 回 ええ。
1926 相 今ご、結局私の希望で、普通科にしてしまったというのがあっ//たから？
1927 回 ええ。
1928 相 「ちゃんと行きなさい。」って言ってるんですけど一、
1929 司 うー//ん。
1930 回 そう。
1931 相 お母さんも、「まあ、そろそろ行けたらいいね一。」って言っ//てるんですよ。
1932 回 うん。
1933 回 あ一、そうなの。
1934 相 はい。
1935 回 そうすと、あなたの判断なり、あなたの主張を、受け取って、
1936 回 理解してくれる人が、うちの中にいないのね？
1937 相 あっ、でも、でも、
1938 回 ええ。
1939 相 お母さんは？
1940 回 はい。
1941 相 まだ理解してくれてるし、
1942 回 ええ。
1943 相 お父さんも、さい、最初に比べたら？
1944 回 ええ。
1945 相 だいぶわかってきてくれるようになったんですよ一。
1946 回 あ一、そう。
1947 相 はい。
1948 回 それって、ほんとの意味でわかってくれるようになるのに、少しまだ時間が必要？
1949 相 あ一、うーん、ちょっと、お父さんのほうは、もうちょっと、うーん、かかるかな一
//とか思ったり。

1950 回 あー、そう。
 1951 相 うーん。
 1952 回 で、あなたは、最終的にどうしたいんだろう。
 1953 相 できれば、3年間、
 1954 回 はい。
 1955 相 その、進学校で？
 1956 回 ええ。
 1957 相 あの、やっぱり、大学進学っていうー、所の学校で？
 1958 回 うん。
 1959 相 みんなは、多分進学 {笑い} すると思うんだけどー、
 1960 回 ええ。
 1961 相 自分、もう精神的にも精一杯だから、
 1962 回 ええ。
 1963 相 一応、高校は卒業したいのでー、
 1964 回 ええ。
 1965 相 どうか3年間行って、
 1966 回 ええ。
 1967 相 大学進学しないとしても、
 1968 相 卒業だけは、したいなあと思っているんですけどー。
 1969 司 //うーん。
 1970 回 そう。
 1971 相 はい。
 1972 回 で、その、その時に、この高校で卒業したいなーって思ってるの？
 1973 回 //それとも他の所で卒業資格が取ればいいのか？
 1974 相 はい。
 1975 相 他のと、最初のうちは、
 1976 回 ええ。
 1977 相 もう退学したいし、
 1978 回 ええ。
 1979 相 もう、この学校じゃなくて、
 1980 相 他の所、あの一、定時制の学校？
 1981 回 ええ。
 1982 相 とか、通信教育とか、そっちのほうがいいなあと思ったんですけどー、
 1983 回 ええ。
 1984 相 やっぱり、自分が一番行きたかった所だしー、
 1985 相 ここの学校で//卒業//したいなあと思ってるんですよー。
 1986 司 うん。
 1987 回 うーん。
 1988 回 そうですかー。
 1989 相 はい。

C C 1990 回 そうすと、あなたは、二つの心の間で、揺れているのよねー。
 相 1991 相 はい。
 回 1992 回 勉強がすごくきつくてー、
 談 1993 相 はい。
 う 1994 回 やっと高校に入ったら、
 け 1995 回 遊べるとってた//のにー、
 の 1996 相 うーん。
 話 1997 相 はい。
 段 1998 回 それができなくて、
 1999 相 はい。
 2000 回 もう、こんな学校、辞めたいわって思う自分と、
 2001 相 はい。
 2002 回 あの、大学進学は目指せないんだけどー、
 2003 相 うん。
 2004 回 高校卒業資格だけは欲しいなあと思う、
 2005 相 はい。
 2006 回 もう一つの、ねえ？
 2007 回 もう一人の自分と、自分の心の中で、いつもこう、行きつ戻りつ揺れてるみたいよ
 ね？

2008 相 あっ、はい。
 2009 回 ねえ。
 2010 相 はい。
 2011 回 で、そういうふうな時って、体の調子って悪くなるんですよー。
 2012 相 はい。
 2013 回 だから、体のほうが、「もう無理できないから、
 2014 回 助けてよ。」って//悲鳴を上げる状態が、
 2015 相 あっ。
 2016 相 はい。
 2017 回 熱が出たり、
 2018 相 あっ。
 2019 回 お腹の//調子が悪くなったり、
 2020 相 はい。
 2021 相 あとすごく、なんか、疲れたら、
 2022 回 ええ。
 2023 相 ねむ、ずーっと眠っちゃうんですよー。
 2024 回 ええ、そうでしょうねー。
 2025 相 はい。
 2026 回 神経使ってね、
 2027 回 自分の望んでないことをしてるとね、
 2028 回 とっても人間って疲れるのよねー？
 2029 相 あー、はい。
 2030 回 だからね、ここで一番大事なのは、
 2031 相 はい。
 2032 回 自分の体の声を聴くってということなの。
 2033 相 はい。
 2034 回 体って、とっても、しゅう、正直なのね？
 2035 相 はい。
 2036 回 なぜかっていうと、命を抱えているから、
 2037 相 うん。
 2038 回 体って、ほんとうにね、無理をできないところがあるのね？
 2039 相 はい。
 2040 回 だから、無理をし始めると、
 2041 回 もう、ここで止まったほうがいいよっていうんで、
 2042 回 熱が出たり、
 2043 相 あー。
 2044 回 具合が、悪くなったりするのね？
 2045 相 はい。
 2046 回 だから、体の声を聴きながら、
 2047 回 自分が本当に無理なくできるところって、どの辺なんだろうっていうのを、自分と相談する必要があるみたいねー。
 2048 相 あー、はい。
 2049 回 ねえ。
 2050 回 それで、お父さんもお母さんも、最終的には、あなたのことが大事だから、
 2051 相 はい。
 2052 回 あなたの命がとっても大事だと思うのね？
 2053 相 はい。
 2054 回 きっと、あなたのほんとに求めているところっていうのは、わかってくれるようになると思うのね？
 2055 相 あっ、はい。
 2056 回 だから、一番大事なのは、あなたは、あなたが自分を大事にすること。
 2057 相 あっ、はい。
 2058 回 ね？
 2059 回 そして、体が、無理だっていうときには、体に合わせて、
 2060 相 はい。
 2061 回 あの一、自分をいたわってあげること。
 2062 相 はい。
 2063 回 それから、あの、高校卒業の資格って、今いろんな形で取りやすくなってますよねー？

2064 相 はい。
 2065 回 ですから、あの、自分が本当にやりたいことが見つかると、
 2066 相 あっ。
 2067 回 それで、高校資格じゃなくって、やりたいことが、きっと出てくると思うのね？
 2068 相 あっ、はい。
 2069 回 ねえ。
 2070 回 そうすると、それに合わせて、
 2071 回 高校どうしようかっていうのも、決まってきますよね？
 2072 相 はい。
 2073 回 だから、あなたって、今何したいんだろうっていうところも、ちょっと自分と相談してみて？
 2074 相 あっ、はい。
 2075 ー [沈黙]
 2076 司 はい。

C 2077 回 他には何か、ありますか？
 2 2078 相 //あー、そ、
 回 2079 回 聞いてみたいこととか、お話。
 答 2080 相 えー、そ、それでー、
 確 2081 回 はい。
 認 2082 相 あの、なんか、周りーの人から、どう見られるかとか//いうのが、すごく気になってしまっ
 の 2083 回 うーん。
 小 2084 回 ええ。
 話 2085 相 中学校の時とかも、ねえ。
 段 2086 回 ええ。
 2087 相 周りは、結構自由にしても、
 2088 相 自分はいい子にしとかないといけないとか？
 2089 回 ええ。
 2090 相 結構、じ、人の目を気にしちゃうからー、
 2091 回 ええ。
 2092 相 自分をどう出していいかわからないって//いうことが、ある、//あるんですよ。
 2093 回 うーん。
 2094 回 そう。
 2095 回 そうですねー。
 2096 相 はい。

C 2097 回 まあ、時間が少なくなったので、
 1 2098 回 そいじゃあ、//そこについて、ちょっとお話をしますね？
 回 2099 相 はい。
 答 2100 相 はい。
 提 2101 回 やっぱりね、人間って、精神的に疲れてきてね、
 の 2102 相 はい。
 小 2103 回 エネルギーが落ちてくると、
 話 2104 相 はい。
 段 2105 回 周りの人の目がとっても気になるの。
 2106 相 あー。
 2107 回 それで、自分の思うように動けなくなるのね？
 2108 相 はい。
 2109 回 だから、精神的にも疲れてるんだと思うわよ？
 2110 相 あー、疲れ//たら、
 2111 回 それから、
 2112 相 そんなになっちゃう//んですね。
 2113 回 ええ。
 2114 司 うん。
 2115 回 それから、身体的にも、こう、体が、不調が出てるでしょう？
 2116 相 はい。
 2117 回 だから、もう、これは、ちょっと限界だから、
 2118 相 はい。
 2119 回 自分を大事にして。

大 話 段	話 段	小 話 段
-------------	--------	-------------

2120 回 うちにいると、
 2121 回 人の目、気にな、気にならなくてすみすよねー。
 2122 相 はい。
 2123 回 集団に行くと、
 2124 回 人の目が気になるという状態だと思うのね？
 2125 相 はい。
 2126 回 だから、うちで、少しゆっくりしたらどうでしょうっていうふうに、
 2127 相 はい。
 2128 回 体と精神のほう、教えてくれるっていうことじゃないかしら。
 2129 相 あー、そうですねー。
 2130 回 はい。
 2131 回 そんなことで、ちょっと自分と相談してみて？
 2132 相 はい、わかりました。
 2133 司 はい。
 2134 相 はい。

D
相
談
終
了

2135 司 では、失礼致します。
 2136 相 はい、あり//がとうございま//したー。
 2137 司 ごめんください。
 2138 司 はい。
 2139 司 //失礼致しまーす。
 2140 回 それじゃあ、またー。
 2141 司 はい。

IV
番
組
終
了
の
大
話
段

2142 司 えー、この時間は、「子どもの心相談」を致しました。
 2143 司 スタジオのアドバイザーは、心理カウンセラーのURさんでした。
 2144 司 ありがとうございます//した。
 2145 回 どうも失礼致しましたー。
 2146 司 明日のこの時間、1時、えー、1時45分から2時台にかけての、「暮らしの電話相談」は、「余暇を楽しく」庭木についての電話相談を致します。
 2147 司 明日も、皆さんからの相談の受付、1時から始めます。
 2148 司 午後1時から始めます。
 2149 司 受付電話番号は、03、34858888。
 2150 司 03の34858888番です。
 2151 司 2時55分になります。

【資料6】 心理相談 司会者:司 回答者:回 相談者:相 2001.11.2(木)13:45~14:55
NHKラジオ第一放送「暮らしの電話相談 子どもの心相談」

大
話
段

小
話
段

I 1 番組 開始	1 司	では、「子どもの心相談」の時間です。	
	2 司	今日お答え頂きますのは、児童精神科医のS E先生です。	
	3 司	S先生、こんにちは。	
	4 回	はい、//こんにちは。	
	5 司	よろしく願//いします。	
	6 回	よろしく願います。	
I 2 番組 の テ ー マ に 関 わ る 一 般 的 解 説 の 大 話 段	7 司	この時間は、「トラウマ」について、少しお話を伺いたと思います。	
	8 司	何度か、「トラウマ」については、お話を頂いたことがあるんですけども、	
	9 回	はい。	
	10 司	その一、まず、「トラウマ」っていう言葉自体が、相当、もう、市民権を得ていると いいですか、	
	11 司	認知されている言葉なのかなと思うんですが、	
	12 司	いかがでしょうか。	
	13 回	そうですね、	
	14 司	え//え。	
	15 回	言葉としては、あの一、私も見たことはありませんけれども、	
	16 回	あの一、テレビ番組などで一、	
	17 司	ええ。	
	18 回	取り上げられたりしていることもある、	
	19 回	ドラマ形式で?	
	20 回	取り上げられたりしてもいるというふうなことは、聞いているので一、	
	21 回	まあ、今の子どもたち、あの一、病院でお会いする子どもたちに一、「トラウマある よね?」みたいな{笑い} ことを言って、	
	22 司	ええ。	
	23 回	そしたら、「あ一。」と、みんな{笑い} おも、みんな思い当たるので、	
	24 司	うん。	
	25 回	子どもたちなりに、あの、感じていることはあるんだと思います。	
	26 回	ただ、定義的に、どういうことをトラウマっていうのかっていうことについては、ま だ、あの一、	
	27 回	まあ、定義なんていうのはね一、	
	28 回	//いろんな人がいろんなこと言えるわけですけど、	
	29 司	ええ。	
	30 回	一番、わたくしが、これがもっともな定義かな一と思っているのは、	
	31 回	あの、アメリカのボストン大学の精神科一の、教授をしておられる一、ベッセルヴァ ンダーコークつという、	
	32 回	あの一、トラウマに関しては、いろんな意味で、	
	33 回	世界的権威の先生がいるんですけど//も一、	
	34 司	はい。	
	35 回	その方が言っている、	
	36 回	自分にとって、	
	37 回	非常一に、まあ、恐怖、	
	38 回	不快な思いを伴った、	
	39 司	ええ。	
	40 回	できごとの、過去に起こったそういうできごとの、感覚	断片?
	41 司	はい。	
	42 回	が、なんかのとりがえによって、	
	43 回	え一、現在引き出されるものを、	
	44 司	はい。	
	45 回	いうと。	
	46 回	で、まさにそうだと思うんですね?	
	47 司	う一ん。	
	48 回	感覚断片っていうことは、まあ、私たちは、記憶、例えば、今お話していても一、	
	49 回	お話は、まあ、簡単に言えば、	
	50 回	頭でしますよね?	
	51 司	ええ。	

52 回 で、肩から下は、少し身振りがあって、
53 回 文字書いたりしても、
54 回 痛い思いしてないし、
55 回 痒かったり、
56 回 ね？具合悪く//ないわけですよ。
57 司 ええ。
58 回 だけどー、ちょっとこれが、まあ、ビルから、ビルじゃ、どっかから落っこってしま
うとかー、
59 司 うーん。
60 回 何かにぶつかるみたいなことをしたらー、
61 回 それは、体の感じとして、
62 回 痛かったり、
63 回 もう、恐怖の思いだったり、
64 回 //怖いことがありますよねー。
65 司 はい。
66 司 ええ。
67 回 その体一、とんでもないことが起こるってことは、全身に起こるわけですからー、
68 司 うん。
69 回 やっぱ、体全体がとんでもない状態におかれるわけですけどもー、
70 回 そのとんでもなかった、
71 回 まっ、一番多いのは、恐怖、
72 司 はい。
73 回 の感覚なんですけども、
74 回 その恐怖っていうのは、非常に身体的な感覚なんですがー、
75 回 それが、その、感じちゃいけない、
76 回 感じちゃいけないっていう、状況におかれること、一杯あるわけで、
77 司 ええ。
78 回 こんなことしてちゃいけない、
79 回 ああしなきゃいけない、
80 回 こうしなきゃ、
81 回 で、頭も、一生懸命、計算するわけですね？
82 司 うん。
83 回 で、体のことは、さておいて、
84 回 頭で計算して、
85 回 そのこと終わったことにしてても、
86 回 体のその感覚は、まあ、いわば、その状態でフリーズされて、
87 司 ええ。
88 回 凍結されたまんま残っていますので、
89 回 刺激となるようなできごとがあつたら、
90 回 スッと、その感覚断片が想起されるわけですね？
91 司 ええ。
92 回 で、想起されるってことは、非常に不愉快な思いになったり、
93 司 うん。
94 回 非常に怖い思いに襲われたりする。
95 司 ええ。
96 回 そういうことは、まあ人間、誰でもありますよね？
97 司 はい。
98 回 はい。
99 回 そういうことだ//と思います。
100 司 そうですか。
101 回 はい。
102 司 そういう、あの、子どもたちの症状ということで、
103 司 お話を何度か、して頂いたことがあるんですが、
104 司 親の、トラウマが、
105 司 子どもたちの毎日の生活、あるいは、さまざまな症状に影響を与えているということ
は、ありうるんですか。
106 回 もうちょっと広い言い方をすれば、
107 司 ええ。
108 回 親の、生き、まあ、生き様っていうか、
109 回 親のお人柄？

- 110 回 生き方？
 111 回 日々の、物の考え方？
 112 回 感じ方ー？
 113 回 何が好きで、
 114 回 何が嫌いで、
 115 回 何は、まとめたくて、
 116 回 何は避けたくて、
 117 回 何は触れないかっていう、そういうの、全部含まれますでしょう？
 118 司 ええ。
 119 回 ですから、親にとって、
 120 回 こういう話題は避けなきゃ、
 121 回 まあ、意識的にそう思っているかどうか別として、
 122 回 こういうこと、苦手だから、
 123 回 ないことにしたいみたいなのは、もう、それは一、直接的、間接的に一、子どもは、
 その空気を呼吸して、
 124 回 育っていくという意味では、とても影響します。
 125 司 はい。
 126 司 それは、トラウマのみならず、
 127 司 いろんなことが、この、子どもたちに影響しているという、
 128 回 そ//うですね、あの、いろんなことが影//響するわけですけども一、
 129 司 ことなわけですね。
 130 司 はい。
 131 回 あのー、わたくしなどの仕事の領域、の話からすると、
 132 司 うん。
 133 回 その、そうですねー、トラウマって考え方が、まあ、出始めたのは、わりと一、そ、
 そんな古い話じゃないですね？
 134 司 ええ。
 135 回 そいで、トラウマの治療が、あの、非常に有効の治療ができるようになったのも、た
 かだか10年ぐらい前からで//しょうか。
 136 司 うん。
 137 回 で、そういう治療をして一、
 138 回 いろんなことが明らかになってって、
 139 回 子どもが、大変な状態から？
 140 回 心身ともに大変な状態から、だんだん、より健康になってくるプロセスっていうの
 は、
 141 司 ええ。
 142 回 子どもの中で、いろーんな気づき、また、いろーんな、
 143 回 「この時に、お父さんは、ああ言ったじゃない。」とか、
 144 回 「お母さんとお父さんの間に、こんなことがあったじゃない。」とか、
 145 回 「あんなこと、おじいちゃんに私が言われたの。」とか、
 146 回 いろんなこと言いますよねー。
 147 司 ええ。
 148 回 そうすと、親は一、今まで全然自分が、いわば意識しないでやっていたことが一、
 149 司 ええ。
 150 回 どれだけの影響を及ぼしていたかってことを、目の当たりにさせられると同時に、
 151 回 「なんでこの子は、こんなに気にしていたのに一、
 152 回 自分はないことにしてたんだろう。」
 153 司 うーん。
 154 回 で、よく考えてみたら一、
 155 回 ああ、そこは触れてはいけなかったから、
 156 回 自分は、ずーっと触れないことにして、
 157 回 やってきたけれども、
 158 回 子どもは、それでは生きていけなかったんだな一っていうふうに、感じておられて、
 159 回 そう語られる親御さんが、どんどん増えてます。
 160 司 うーん。
 161 回 気づいてくる親//が増えてるってことだと思います。
 162 司 ええ。
 163 司 あーそうですか。
 164 司 その、トラウマそのもの、さまざまな恐怖というのは、まあ、だ、どなたでも、大なり
 小なりある。

- 165 司 それは、昔の人にだってあったわけで//すよねー。
 166 回 あったんですねー、はい。
 167 司 でも、なぜ、今が、これだけ、こう、注目されるようになってしまったんでしょう。
 168 回 いろんな、見方ができる//と思うんですけど、
 169 司 ええ、ええ。
 170 回 その、注目する、
 171 回 の、注目し、//してって、
 172 司 注目する、
 173 回 してって、叫んでいるからだと思うんですね？
 174 回 人間の精神ってこんな//なのよ？
 175 司 ええ、ええ。
 176 回 子どもは、大人よりもある意味では、いろんなことを表面化しやすいですから、
 177 回 表面化することによって、
 178 回 見て見て、
 179 回 僕、私はこんな人間、
 180 回 こういうこともあり、
 181 回 こういうこともあり、
 182 回 こういうこともあるんだよ。
 183 回 どれも自分の一部であって、
 184 回 これはあっちゃいけない、
 185 回 あっちゃいけないって言われると、
 186 回 すごく辛いんだよっていうふうなことを、大人に見せてきてるんだと思うんですね？
 187 司 ええ。
 188 回 うーん、だから、すごく大きな言い方をすれば、
 189 回 人間の意識？の//進化だと思います。
 190 司 うん。
 191 回 人間が一、次の、より、こう、進んだ段階に進んでいく時？
 192 司 あーあー。
 193 回 進化していく時//に一、
 194 司 ええ。
 195 回 今までは、ないことにして、
 196 回 次の世代に浮き合わせて、
 197 回 その次の世代で、
 198 回 また、ないことにしてみたいなことが、人間の歴史で、だったわけですよー。
 199 司 はい。
 200 回 でも、それじゃあ、今の子どもたちは生きていけないよ。
 201 回 いろんな部分が自分の中であって、
 202 回 どれだって、ちゃんと、うーん、並存したいし、
 203 回 その中には、社会的に、いては望ましくない部分があって、
 204 回 それにいては望ましくないから、
 205 回 いないようにしようねーとか、
 206 回 こういう形で、表現されるようにしようねーっていうふうに、
 207 回 自分の中で、バランスをとっていけるようになるのが、望ましい大人になるなり方で
 すよね？子どもが。
 208 司 はい。
 209 回 大人が、「こうなっちゃいけないからー。」って、
 210 回 押さえ込んで、
 211 回 恐怖で押さえ込んでいるのであれば、
 212 回 また次に、//う、伝えてしまいますから。
 213 司 うん。
 214 司 はい。
 215 回 ですから、わたくしは、まさにトラウマが注目されるようになったのは一、人間の意
 識がそこまで進化してきつつあるからであって一、
 216 司 ええ。
 217 回 人間に対する一つのこう、
 218 回 次に進んでいくのは、こういうことであり、
 219 回 それを//私たちが自分のこととして受け入れ、
 220 司 うーん？
 221 回 自分の中にある、いろんな思いを、いかに一、お互いに共有できるように一、

222 回 あれはあっている、
 223 回 これはあっちゃだめってことじゃなくて、
 224 回 自分の中で統合できる、
 225 回 一人一人の人間として？
 226 回 人間を育てていくのが、今からの、大人が、子どもにしてやらなくちゃならないこと
 なんだよーっていう、
 227 回 //使命として、
 228 司 あー。
 229 司 はい。
 230 回 与えられているように思います。
 231 司 それは、心のありようだったり、
 232 司 体なりが弱くなってきたから、
 233 司 出やすくなったっていうのではないんですね？
 234 司 進化、というふうに捉えるわけですね？
 235 回 進化って、必ずしも//いっつも、いいとか
 236 司 ええ、ええ。
 237 回 悪いは、//あてはめるのは別ですよ？
 238 司 あっ、はい。
 239 司 //ええ。
 240 回 変わって//ってるわけです。
 241 司 あっ、はいはい。
 242 回 だから弱くなってるのも、そう、そうなることによって、
 243 回 何か足りないって教えてる//わけだしー、
 244 司 うーん。
 245 回 いろんなものが見えてきたら、
 246 回 み、見せて、見てちょうだいって言ってるわけだし、
 247 回 なん、なんかの、こう、メッセージである、
 248 回 なんかの意味である、
 249 司 はい。
 250 回 そういうふうに受け取ることができたら、
 251 回 それを生かすことができますと思います。
 252 司 はい。
 253 回 はい。
 254 司 これは、やはり、治療を受けなくてはいけない、
 255 司 あるいは、まあ治療をしなくても大丈夫っていう、
 256 司 その境目っていうのはあるんでしょうか。
 257 回 まあ、ご自分が症状を出されたり、
 258 回 ご家族が症状を出されたりして、
 259 回 とっても、苦しいっていう時には、
 260 回 適切な治療、を、求められればー、
 261 回 日本でもできるようにはなっていますしー、
 262 回 治療を受けることによって、
 263 回 自分の中の、今まで、いちゃいけなかった部分が、
 264 回 「いてもいいんだ。」って言われるのは、
 265 司 はあ。
 266 回 ありがたいことですよ。
 267 司 はい。
 268 司 その、恐ろしがってると思ってる自分もいるということも認める。
 269 回 「恐ろしくないんだよ。」って、
 270 司 うん。
 271 回 言えて、
 272 回 「あー、そうだね。
 273 回 安心だね。」って、そういうふうに、共存できるようになるって、
 274 回 人間と人間だけじゃなくて、
 275 回 人間の内部でも必要だと思います。
 276 司 はい。
 277 回 はい。

278 司 「子どもの心相談」、今日お答え頂くのは、児童精神科医のS E先生です。
 279 司 では、この後、えー、2時10分すぎから、皆さんからの相談にお答え頂こうと思って
 おります。

大話段 小話段

継続		280 司	時刻は、1 時 5 5 分になります。
V 別番組		281 ー	《各地のニュース、全国のニュース》
Ⅲ 番組継続の大話段		282 司	2 時 10 分を過ぎました。
		283 司	「ラジオホットタイム」、今週は有江活子のご案内役です。
		284 司	では、この時間、「子どもの心相談」を致します。
		285 司	お答え頂くのは、児童精神科医の、S E 先生です。
		286 司	S 先生、よろしくお願い致します。
		287 回	はい、よろしくお願いしまーす。
		288 司	この時間も、皆さんからの相談の受付をしています。
		289 司	受付電話番号は、0 3、3 4 8 5 8 8 8 8。
		290 司	0 3、3 4 8 5 8 8 8 8 番です。
Ⅱ 1 電話相談の談話	A 相談開始	291 司	では、初めの方です。
		292 司	もしもし？
		293 相	はい。
		294 司	はい、こんにちは。
		295 司	お//待たせ致しました。
		296 相	こんにちは。
		297 司	はい。
	B 1 相談かけの話段	298 司	どなたの相談でしょうか。
		299 相	えっとー、中学 2 年の男子です。
		300 司	お母さんでいらっしゃる//すよね？
		301 相	はい、そうです。
		302 司	ご家族を教えてください。
		303 相	はい。
		304 相	両親と、あの、小学校 6 年の女子、
		305 司	はい。
		306 相	妹がいます。
		307 司	はい。
		308 司	お兄ちゃんのほうです//ね？
		309 相	はい。
		310 司	はい。
		311 司	どのような相談でしょうか。
		312 相	そうですねー、あのー、小学校の時はー、
		313 司	ええ。
		314 相	あのー、今、通信表見たんですけどー、
		315 相	「友達の輪の中心としてー、
		316 司	はい。
		317 相	とても楽しいムードを、作//ってー、
		318 司	はあー。
		319 相	いろいろなことに挑戦してくれて、
		320 相	頑張っています。」って書いてあるんですけどー、
		321 司	はい。
		322 相	中学に入ってからは一、寝てばかりでー、
		323 司	ええ。
		324 相	あのー、あの、む、{笑い} よく言う、「無気力」っていうの//とは、また、違うんですけれどもー、
		325 司	うーん。
		326 司	はい。
		327 相	あのー、1 年間、部活が厳しくてー、
		328 司	ええ。
		329 相	その反動で、あの、学校で寝るわけです。
		330 司	ええ。
		331 相	でー、家に帰っても、
		332 相	寝ることと、
		333 司	うんうん。
		334 相	好きなギターを弾く？
		335 司	はい。
		336 相	それだけの生活です、毎日が。
		337 司	ええ。
		338 相	それで、あの、部活を辞めました。

339 司 はい。
340 相 そうしましたら、学校一で、寝ることは、比較的少なくなったんですけどもー、
341 司 うん。
342 相 やっぱり態度が悪くなってー、
343 司 ええ。
344 相 学校からは、再三、あの一、いろいろ、出向いて、
345 相 こちらで出向いたことがありますしー、
346 司 はい。
347 相 あの一、あの一、「どうしようもなく、
348 相 いい//ところのない人間。」って {笑い} 言われてるんです。
349 司 うーん。
350 司 学校の、先生から。
351 相 はい。
352 相 それで一ー、
353 司 ふー//ーん。
354 相 どういうふうにしてー、
355 司 ええ。
356 相 本人を、いい方向に持ってくかっていうのを、
357 司 ええ。
358 相 いつも、こう、考えてるんですけどー、
359 司 はい。
360 相 あの一、そこに、この一、ギターが好きだっていうことでー、
361 司 ええ。
362 相 あの一、ちょっとー、学校からの落ちこぼれの子が、お友達なわけです。
363 司 ええ。
364 相 んで、それが心配でー、
365 司 うん。
366 相 あの一、親は一、あの一、引き裂きに行った {笑い} こともありますしー、
367 司 ええ。
368 相 あの一、その、集まっている所に乗り込んで、
369 司 はい。
370 相 行ったこともありますしー、
371 相 してるんですけどー、
372 相 //どうやったら、本人がわかって、
373 司 うんうん。
374 相 理解してくれてー、
375 司 うーん。
376 相 あの一、少しでもこう、いい方向に持っていけるかっていうのがー、
377 司 ええ。
378 相 今、親の悩みなんで。
379 司 はい。
380 司 そう// (ですかー)。
381 相 で一、学校とも、いろいろ連絡を取って、
382 司 うーん。
383 相 いい方向に持ってくには、どうしたらいいか、
384 司 はい。
385 相 あの一、お聞きしたいと思いまし//て。
386 司 そうですかー、はい。
387 司 お父さん、お母さんとは、よくお話は、
388 司 //します？
389 相 しー、しますけれどもー、
390 司 ええ。
391 相 あの一、そういう、友達関係のことは、嘘ばかり言ってます。 {笑い}
392 司 あっ、お子さんが、
393 相 はい。
394 司 お父さん、おかあ、おか、
395 司 お父さんにも、お話はされるんですか？
396 相 そうですね、
397 司 ええ。
398 相 夜、こう、友達 {笑い} から引き離しに行くのは、父親なんです。

大
話
段

小
話
段

399 司 ええ。
400 相 はい。
401 司 そうですか。
402 相 はい。
403 司 では、S先生、お//願い致します。
404 回 ふーん。
405 相 はい。

A
相
談
開
始

406 回 こんにちは。
407 相 こんにちは。
408 相 よろしくお//願い致します。
409 回 どうぞよろしくお//願いしまーす。
410 相 はい。

B
1
相
談
か
け
の
話
段

B
1
相
談
提
示
の
小
話
段

411 相 あの一、
412 回 うん。
413 回 はいっ？
414 相 1年の時に、
415 回 はい。
416 相 あの一、UR先生には、
417 回 はい。
418 相 あの一、寝てばっかりいるんで、
419 相 どうし{笑い} たらいいでしょうかっていう電話をしたらー、
420 回 はい。
421 相 「部活を辞めたほうがいい。」って言われてー、
422 回 はい。
423 相 はい。
424 相 そして、辞めた結果が一、
425 回 はい。
426 相 やっぱ、こう一、安易なほうについていうか、
427 相 「おちゃらけた人間が好きだ。」とか一、
428 回 //はい。
429 司 うーん。
430 相 そういうことで一、
431 相 あの一、やっぱ意に反したほうに走ってしまった//ような気がするんですけども一。
432 回 うん。
433 回 そうなんですか？
434 相 はい。

B
2
相
談
内
容
確
認
の
小
話
段

435 回 あの一、部活は一、
436 相 はい。
437 回 あの一、体力的に大変な部だったんですか？
438 相 そうです、本人には、ちょっと無理でした。
439 回 あ一、そうだったの一。
440 相 はい。
441 回 ふー//ん。
442 相 あの一、続けられる一子もいるんですけど一、
443 回 はい。
444 相 うちの子には、精神的にちょっと、無理だったような気がします。
445 回 体力的っていうより、精神的に無理だった、
446 回 という//ことですか？
447 相 うーん、両方です。
448 回 体力的にも厳しく、
449 相 はい。
450 回 また、精神的にも、あの一、しごきというか、
451 回 わり、わりと、//スパルタ的だっ、
452 相 うーん、そうですね。
453 相 スパルタ的、スパルタ的でした。
454 回 あー？。
455 回 うんうん。
456 相 で一、{笑い} 残念なことに、うちの子が辞めてから、
457 回 はい。

458 相 改善されたそうですけれどもー。
459 回 //あっ、そうなん//ですか。
460 相 ええ。
461 相 ええ。
462 回 何部だったんですか？
463 相 あの一、テニスなんですけどー、
464 回 はい。
465 相 あの一、夏休みも一、5日ぐらいつきり、
466 回 ええ。
467 相 あの一、休みなくて、お盆の。
468 回 はい。
469 相 あとは、1日練習です。
470 回 うーん。
471 相 それであの一、普段の日は一、朝練があります、毎日。
472 回 はい。
473 相 で一、まあ、6時近くまで？
474 回 はい。
475 相 あの一、部活があります。
476 回 それに出しておられて、
477 回 お母さんも、とても胸が痛んでいたんでしょう？
478 相 ただ、辞めることが、辞める子がいなくて、
479 回 はい。
480 相 {笑い} みんなすごい頑張って、
481 回 はい。
482 相 いたわけです。
483 相 で、勿論いい成績が出ますから、
484 相 みんな、一致団結して一、
485 回 はい。
486 相 なんか、やってたような気がしますけどー、
487 相 うちは一、やっぱりちょっと無理じゃないかな一って思っていました。
488 回 思っておられたんですよ//ねー。
489 相 はい。
490 回 お子さんが何かをこぼしたからですか？
491 回 それとも、お母さんが見てて、
492 回 感じたんですか？
493 相 あ、子どもが、年中 {笑い} こぼすようになって。
494 回 あっ、お子さんがこぼすようになっ//たんですね？
495 相 はい。
496 相 はい。
497 回 ふーん。
498 回 ということは、彼は、やめ、辞めることについては一、
499 相 はい。
500 回 それでよかったんでしょうか？
501 相 よかったと思います。
502 回 ふんふん。
503 回 お子さんは、辞めたことでホッとはしているんですね？
504 相 はい。
505 回 お母さんも、ホッとはしているんですね？
506 相 はい。
507 回 はい。
508 回 そうしたら、えーっと、今度はどうなったということでしたっけ。
509 相 それで一、あの一、エレキギターのほうに走りまして一、
510 回 ええ。
511 相 と一、そういう友達が一、落ちこぼれの友達が多いんです、
512 回 はい。
513 相 エレキギターの関係だと。
514 回 はい。
515 相 で一、家に帰ってきて、
516 相 寝る時間が多いです。
517 回 うんうん。

518 相 で、夜中に起き出して一、
519 回 うん。
520 相 エレキギターを、
521 回 うん。
522 相 音が出ないように弾く。
523 回 うんうんうんうん。
524 相 そういう感じーで、
525 相 まあ、昼夜逆転とまではいかないんですけどー、
526 回 うんうん。
527 相 うーん、1 2時半ぐらいまではー、起きてます。
528 回 うんうん。
529 相 で、学校ではー、
530 回 はい。
531 相 寝ることは少なくなったんですがー、
532 回 はい。
533 相 落ち着きがない。
534 回 あっ、はい。
535 相 はい。
536 相 おしゃべりとかー、
537 回 はい。
538 相 悪い態度が目につきます、と言われてます。
539 回 うーん。
540 回 じゃあ、あの一、さっき、えー、どう、何か、「どうしようもなく、いいところがない。」という表現を？
541 相 はい。
542 回 されたということ言っておられましたねー。
543 相 はい。
544 回 これはきついですね。
545 相 あの一、それはー、1年の時に言われたんでー、
546 回 ええ。
547 相 まだ部活やってた時なんですけどー、
548 回 はい。
549 相 それからやっぱり変わっちゃったっていう感じはあります。
550 相 あの一、ほんとに、楽なほう、楽なほう、安易なほうにー、
551 回 ええ。
552 相 方向転換しちゃったっていう、{笑い}
553 相 そうことはあります。
554 回 じゃあ、お父さんお母さんにとっても、
555 回 彼が中学校に入ってからの一、
556 相 はい。
557 回 変化ぶりというのはー、
558 相 はい。
559 回 びっくりされたんですか？
560 相 ええ、されたしー、
561 相 やっぱり、学校でもー、みんながそう思われていると思います、友達仲間に、{笑い} 昔の。
562 回 あー。
563 相 はい。
564 回 ご、ごめんなさい。
565 回 あ、その時々お母さんが、こう、笑い声があるのが、私が、どうしてかな？って、不思議なんですけどー、
566 回 おかしくないですよーねー。
567 相 そうですかー。
568 回 うん、おかしい？
569 相 うーん。
570 ー [沈黙]
571 相 もう、なんか、まいんち取っ組み合いしててー、
572 回 ええ。
573 相 疲れちゃったっていうの、あるんですけどー、
574 回 そうなん、

575 回 //毎日取っ組み合いなんですかー。
576 相 うん。
577 相 ええ、そうです。
578 回 うーん。
579 回 大変ね。
580 相 {笑い}
581 回 ふーん。
582 回 で、この取っ組み合いとおっしゃるのは、
583 相 はい。
584 回 お母さんと息子さんですか？
585 回 お父さんと息子さんですか？
586 回 その辺はどうなってるんですか？
587 相 はい、母親とです。
588 回 お母さんと息子さん//で。
589 相 はい。
590 回 ふーん。
591 回 何をめぐっての取っ組み合いですか？
592 相 うーん、もっと真面目にできないのかっていう。
593 回 はい、うーん。
594 回 もっと真面目にできないのか。
595 相 はい。
596 回 お母さんは、この、このままだと、
597 相 はい。
598 回 息子さんが、
599 相 はい。
600 回 どうしようもなく、
601 相 はい。
602 回 蟻地獄のように一、
603 相 ええ。
604 回 ブルブルブルと、
605 相 はい。
606 回 こう、引きずられてってしまうという恐怖は、お強いのですか？
607 相 はい。
608 回 うーん。
609 ー [沈黙]
610 回 ど、どの程度強いんでしょうねー。
611 相 うーん。
612 ー [沈黙]
613 相 言ってもわかってくれないっていう、
614 回 あっ、言ってもわかってくれない。
615 相 はい。
616 回 何を言ってて、
617 回 何をわかってほしいんですかー？
618 ー [沈黙]
619 相 うーん。
620 相 「悪い友達と付き合わないでくれ。」、
621 回 ふーん。
622 相 そう//すと一、
623 回 いつ、
624 回 「悪い友達と付き合わないでくれ。」、
625 回 はい、それから？
626 相 と一、「居眠りしないでくれ。」
627 回 ふーん。
628 相 学校での、
629 回 ふ、//ふーん。
630 相 居眠りはしないでくれ。
631 回 ふーん。
632 ー [沈黙]
633 回 ふー//ん。
634 相 で一、あの一、本人は、「もう、してないよ。

635 相 付き合っていないよ。」とか、
636 相 「もう居眠りしてないよ。」//って言います。
637 回 うーん。
638 回 うーん。
639 相 でも、まるっきりーそうじゃなくてー。
640 回 ふーん。
641 相 はい。
642 回 あの一、{呼気}とても、お母さんが、お子さん、への一、お子さんへの思いがあり、
643 回 お子さんへの心配、愛情から一、
644 相 はい。
645 回 ここでなんとか一、その、ズルズルっと、こう一、水面下に沈んでしまう？
646 相 はい。
647 回 のを、うーん、引き上げなきゃっていう、そういう感じですよー。
648 相 はい。
649 回 お子さんのほうからは、多分、随分違った感じなんだろうと、
650 相 はい。
651 回 思うんです。
652 相 ええ、そうーみたいです。
653 回 そ、「そうみたいです。」っておっしゃるのは、//どうしてですか？
654 相 {笑い}
655 相 あの一、「おちゃらけた人間がいい。」って言うんです。
656 回 はい。
657 相 そうすと、今の状態が一、
658 回 はい。
659 相 あの一、ほんとに、おちゃらけてるし、自分も、
660 回 はい。
661 相 友達もそんな感じだしー、
662 回 はい。
663 相 あの一、なん、なんの、その、踏ん張って頑張るっていうの、ないわけなんです。
664 回 はい。
665 相 だから一、本人は、結構、満足してるみたいなんです よねー？
666 回 はい。
667 相 それ、感じるのでー。
668 回 うん。
669 回 そうですか。
670 相 はい。

C C 671 回 あの一、まず、今までのお話から、どういうことが起こっているかについて、
相 1 672 回 考えられることを申し上げますから一、
回 673 相 はい。
答 674 回 それをお聞きになったあとで、
提 675 回 また、質問なさってください//ね？
供 676 相 はい。
の 677 回 あの一、まあ、おっしゃったことだけからですから一、
話 678 相 はい。
段 679 回 あの一、どこまで一、正確に、わたくしが反映できてるかはわかりませんが一、
680 相 はい。
681 回 こういうふうなことがあったら、
682 回 こんなこと考えられるよ、ってこと、まず申し上げます。
683 相 はい。
684 回 小学校の頃の彼のことを聞いて一、
685 相 はい。
686 回 いると一、
687 相 はい。
688 回 とっても、彼は頑張ったんだろうと思います。
689 相 はい。
690 回 とっても頑張ったんだろうと思います。
691 回 そして、どの子も一、頑張ることを評価されるのは、
692 相 はい。
693 回 嬉しいです。

694 相 はい。
695 回 それは嬉しいです。
696 相 はい。
697 回 ですが、どこかで、疲れ時ってというのは、まあ、来ますよねー。
698 相 はい。
699 回 で、あの一、中学校に入った時に一、
700 回 彼の一、がんば、ガンバリズムっていいでしょうか、
701 相 はい。
702 回 頑張ってなきやってというのが、まあ、切れた時期と一、
703 相 はい。
704 回 それから、部活？
705 相 はい。
706 回 の厳しさというのが、それに輪をかけて一、
707 回 なにか、息子さんの、それまで一、うーん、僕はこうであろうと、
708 相 はい。
709 回 していたものを、まあ、一時的だと思いますけど、
710 回 根底から覆した感じはします。
711 相 はい。
712 回 それで、彼の中には、もう、あんなに頑張ってやってきたら、
713 回 結果的に、自分は、あんな、い、あんな目に遭って一、
714 相 ええ。
715 回 あれだけ辛い思いをして一、
716 相 ええ。
717 回 っていうのが、彼のストーリーだろうと思うんですね？
718 相 はい。
719 回 そうすと、今ここで、また頑張ったら一、
720 相 ええ。
721 回 頑張ることを褒められるし一、
722 相 ええ。
723 回 褒められてやっていたら、
724 回 また、な、今まだ中学生ですか//ら一、
725 相 ええ、ええ。
726 回 今からの人生長いですよー。
727 相 はい。
728 回 部活で、そーうとう、きつい思いをしたん、だと思えますから、
729 相 はい。
730 回 また、いつそういうことが来るかわからない。
731 相 はい。
732 回 その時の自分のもろさみみたいなものが、予測できたら一、
733 相 うん。
734 回 頑張ることに対する恐怖というのは、とてもあるだろうと思います。
735 相 あー。
736 ー [沈黙]
737 相 うーん。
738 回 それはいいですか？
739 相 はい。
740 回 それはいいですか？
741 相 はい。
742 回 しかしながら一、人間は、いつもいつも、その、うーん、頑張ることに恐怖を感じるばかりじゃないですよ？
743 相 はい。
744 回 えー、おちゃらけと、頑張りを混ぜることも、ほんとはできるわけですよ。
745 相 あー。
746 回 遊びながら一、
747 回 楽//しみながら一、
748 相 ええ。
749 相 ええ。
750 回 えー、適当に頑張るって、そういう、こう、バランスを取ることができるんですね？
751 相 はい。
752 回 彼は、多分小学校の時は、外から見てどうかは別としても、

753 回 内心は一、
754 相 はい。
755 回 おちゃらけるということよりも一、
756 相 はい。
757 回 頑張っていたんでしょう。
758 相 はい。
759 回 で、それだけではもう、僕はやっていけないという、
760 相 ええ。
761 回 ことを、感じていたんでしょうしー、
762 相 はい。
763 回 それから、先ほどのお話からすると一、
764 回 まあ、部活を辞めた結果、
765 回 寝ることは減ったということですねー、
766 相 はい。
767 回 授業中。
768 相 はい。
769 回 やっぱり、うーん、体力的、精神的に一、限界が来ていて一、
770 相 はい。
771 回 今まだ、なん、なんていうかなー、
772 回 休養取って、
773 回 僕って、ほんとにやる力があるんだって、
774 相 ええ。
775 回 自分で思っているところまでは、//来てないよう//に思います。
776 相 ええ。
777 相 はい。
778 相 そう思います。
779 回 ですよーねー。
780 相 はい。
781 回 そうだとしたらー、
782 相 ええ。
783 回 うーん、お母さんの一、そう、そう思ったとしてですよ？
784 相 ええ。
785 回ほんとにこの子は、今、うーん、ちょっとバランスを欠いていて一、
786 相 ええ。
787 回 休養も必要だけれど、
788 回 だけど、お母さん、おわかりのように、
789 回 彼の中には力がありますか//らー、
790 相 はい。
791 回 力があるっていうことは、//信じながら一、
792 相 はい。
793 相 はい。
794 回 なおかつ、彼が今疲れていること？
795 相 はい。
796 回 それから、今まで、熱中していなかった、
797 回 ちょっと反れたこともしてみたいこと？
798 相 はい。
799 回 おわかりになつてると思うんですよ。
800 相 はい。
801 回 その辺りで、声をかけていくとしたら、
802 相 ええ。
803 回 どういう声かけになりますか？
804 相 {吸気} うーん。
805 回 例えばね？
806 相 はい。
807 回 「悪い友達と付き合わないでね。」っていうのは、この思春期の子どもに言うのは、
808 相 うん。
809 回 一番ねー、
810 相 うーん。
811 回 賢くない台詞なんです。
812 相 うーん。

813 回 一番一、子どもは内心、悲しいけど、
814 回 反発します。
815 相 あー。
816 回 だ（から）、その台詞は変えたほうが {笑い} いいと思うんですよ？
817 相 {笑い}
818 回 お、おんなじ効果を狙うんだったら。
819 相 あー。
820 回 「あなたのことが大切なのよ。」って伝え//たいんだと思うし？
821 相 ええ。
822 相 ええ。
823 回 「あなたの中には、いいものがあるんだよ。」っ//て伝えたいん//だと思うんだけ
ど一、
824 相 ええ。
825 相 ええ。
826 回 それが、お友達のことを悪く言ってしまうと一、
827 相 ええ。
828 回 子どもは、自分が批判されたっていうふうに取りますし一、
829 相 うーん。
830 回 それは、お母さんが意図していることと、おそらく、違う方向に、
831 相 あー。
832 回 親子関係を引っ張ってくような気//がします。
833 相 あーそうですか一。
834 回 はい。
835 相 うーん。
836 一 [沈黙]
837 相 なんかすごく一、意思が弱いっていうふうに感じてて一。
838 回 ちょっと待ってください、
839 回 ちょっと//待って、
840 相 ええ。
841 回 ちょっと待って。
842 相 {笑い}
843 回 お子さんが一、小学校6年生の時に、
844 回 証明したことは一、
845 相 ええ。
846 回 彼はやればできるっていうことなんです。
847 相 うん、そうです。
848 回 ね？
849 相 はい。
850 回 ところが、頑張りすぎた結果、
851 回 今//は、そうじゃない方向に針がぶれてます。
852 相 ええ。
853 相 ええ。
854 回 彼の中に力があることを、一時なりとも//疑う必要はありません。
855 相 ええ。
856 相 はい。
857 回 彼の力を信じてやっていいんです。
858 一 [沈黙]
859 回 彼の優しさも一、
860 回 彼の明るさも一、
861 回 彼のリーダーシップも一、
862 回 勇気も一、
863 回 なんにも損なわれないであります。
864 相 そうでしょうか。
865 回 はい。
866 回 はい。
867 回 ただ彼は、今まで試したことがないものを、今試したいんだろうと思います。
868 相 うーん。
869 回 「そういう自分もいるんだよ。」、
870 相 あっ。
871 回 「そういう自分だけでいたい。」って、彼は言っているんじゃないと思います。

872 相 そういう、そういう自分だけじゃないっていうことを思ってますでしょうか。
873 回 思ってます。
874 回 もしもね？
875 相 はい。
876 回 あの、台詞の持っていきかたでね？
877 回 「悪いお友達と付き合わないで。」とか、
878 回 「居眠りしないで。」って言うてしまうと、
879 回 昔の彼でいろ、になっちゃいますよねー。
880 相 はい、そう//です。
881 回 で、
882 回 で、昔の彼は、もう彼は、何度もやったから、
883 回 それはもう、任せて、
884 回 馴染みなわけですよ。
885 相 はい。
886 回 「あれは、僕、よく知ってるよ。」と。
887 相 はい。
888 回 だけど、あれやってたらー、
889 回 その、部活のことで、とんでもない目に遭ってー、
890 回 僕は、これじゃ、やってけないと思ったと。
891 相 あー。
892 回 あれだけじゃ、僕はやってられないっていうのが、すごく、息子さんの危機意識にあります。
893 相 はい。
894 回 もうちょっと、おちゃらけたところを、今試してるんですよ。
895 相 はい。
896 ー [沈黙]
897 相 //はい。
898 回 おちゃらけた彼もいていいじゃない。
899 相 {笑い}
900 回 君には、こういう面もあり、あるって発見できて、
901 回 うん、いろんな面もあって、
902 回 素敵なことだねって、お母さんが言えれば、
903 相 うーん。
904 回 息子さんは、「そうだ。
905 回 僕にはいろんな面があっていいんだ。
906 相 うーん。
907 回 今は、この面しか出していたくないけれど、
908 相 はい。
909 回 僕が今まで持っていたものは、なーんにも失われていないんだ。」と。
910 相 はい。
911 回 「休養していれば、
912 相 うん。
913 回 僕の中には力があるって、
914 相 はい。
915 回 信じていいんだ。」って思えるように、
916 相 あー、//はい。
917 回 なるはずですし、
918 相 はい。
919 回 親が一番、こういう時に、
920 回 お子さんに対して、
921 回 援助してあげたいのは、
922 回 「君からはなんにもなくなってるよ？」
923 相 うーん。
924 回 今はちょっと休んでてー、
925 回 今まで出てなかった面が一、
926 回 ちょっと表面に出たがっててー、
927 回 「こんな僕も認めて。」って、言ってるんだと思うので、
928 相 はい。
929 回 「こんな面もあるんだね。」、
930 相 あー。

931 回 って、口では言ってやっていいし、
932 相 あー、そうですかー。
933 回 お子さんの今まで持っていた素晴らしさは、
934 回 それを今、言ってしまうと、
935 回 お子さんは、プレッシャーを？
936 相 はい。
937 回 感じるかもしれませんがー、
938 相 はい。
939 回 お母さんは、ぜーんぜん、それは疑わないでいていいしー、
940 相 ええ。
941 相 そうですねー。
942 回 うんうん。
943 回 それを抱えたまま、
944 回 今のおちゃらけたお子さん、
945 回 「うん、これも、この子の、あとから加わった一部分。」
946 相 はい。
947 回 そういう気持ちでおられるのがー、
948 相 はあ。
949 回 お子さんに、「うん、僕ってやってける。」っていう勇気を与えるような気がします
が、
950 回 いか//がでしょう。
951 相 あー？

C 952 相 じゃあ、どういう言葉がけをかけて、あげたらいいんでしょうか。
2 953 回 うん。
回 954 相 学校行く時とか。
答 955 回 学校行く時？
確 956 相 はい。
認 957 ー [沈黙]
958 相 いつも、「寝ないでね。」とか、{笑い} そう言ってんです //けど、

C 959 回 「今日も1日ご苦労さん。」、
1 960 回 っていうのはいかがですか？
回 961 相 うーん、//はい。
答 962 回 学校にいちんち行ってるのは大変ですよ。
提 963 相 そうですねー、//確かに。
供 964 回 ほんとに体力的に、わたくしは、今、彼、
の 965 相 き//びしいと思います。
小 966 回 授業に集中できないだろうと//思うしー、
話 967 相 ええ。
段 968 回 もう、自分で気がつかなくて、
969 回 パタッと寝ちゃうだろうと思うんですよ。
970 相 うーん。
971 回 でもー、寝ないようになったよって言ってることは、
972 相 ええ。
973 回 「前の僕は、いるんだ。
974 回 //まだいるんだ。」って、自分で自分に言い聞かしているんだと思うんです？
975 相 あー。
976 相 はい。
977 回 そしたら、そういう時に、一番言えるのはー、
978 相 はい。
979 回 「あー、今日も一日大変だけど、
980 回 ご苦労様。」って//言ってー、
981 相 あー、はい。
982 回 にっこり、送り出してあげてください。
983 相 あー、はい。
984 相 わかりました。
985 回 よろしいですか？
986 相 はい。

D 987 回 //お願いします。
相 988 相 どうもありがとうございます//たー。
談 989 回 はい、はい。

大 話 段	小 話 段	話 段	終 了	990 司	はい。
				991 回	失//礼しまーす。
				992 相	はい、どう//もご面倒かけまーす。
				993 司	失礼します。
Ⅲ 番 組 継 続				994 司	えー、今日お答え頂いているのは、児童精神科医の S E 先生です。
				995 司	では、音楽・ニュースを挟んで、
				996 司	また続けましょう。
				997 司	ショーン・ハークネスの演奏で、
				998 司	「カミング・ホーム」。
V 別番組				999 ー	《音楽・交通情報・ニュース》
継 Ⅲ 続 番 組				1000 司	では、「子どもの心相談」続けます。
				1001 司	お答え頂いているのは、児童精神科医の S E 先生です。
				1002 司	皆さんからの相談の受付は、先ほど 2 時半で終了致しました。
Ⅱ 1 電 話 相 談 の 談 話	A 相 談 開 始			1003 司	では、続いての方です。
				1004 司	もしもしー？
				1005 相	もしもし。
				1006 司	はい、こんにちは。
				1007 相	//こんにちは。
				1008 司	お待たせしています。
				1009 相	お願いします。
				1010 司	はい。
	B 1 相 談 か け の 話 段	B 1 相 談 提 示 の 小 話 段		1011 司	どなたの相談でしょうか。
				1012 相	えっと、中学 2 年の、娘です。
				1013 司	はい。
				1014 相	//はい。
				1015 司	お母さんでいらっしゃいますね？
				1016 相	はい。
				1017 司	ご家族を教えてください。
				1018 相	えっと、両親と、
				1019 司	はい。
				1020 相	えーっと、兄、高校 3 年の兄と、
				1021 司	はい。
				1022 相	と、本人です。
				1023 司	はい。
				1024 司	わかりました。
				1025 司	どのような相談でしょうか。
				1026 相	えーっと、昨年 9 月の初めなんですがー、
				1027 司	ええ。
				1028 相	えっとー、下校途中に一、
				1029 相	あの一、まあ、襲われましてー、
				1030 司	ええ。
				1031 相	で一、あの一、頭一、に、15 針ほどの//怪我をしまして、
				1032 司	はあー。
				1033 司	ええ。
				1034 相	で、2 週間ほど入院してたんですがー、
				1035 司	ええ。
				1036 相	それ以降、学校のほうには、行かれなくなりましてー、
				1037 司	ええ。
				1038 相	で、あの一、ちょっとまだ、犯人のほうも、あの一、まだ、検挙されてない状態なの で一、
				1039 司	はい。
				1040 相	ええ。
				1041 司	うーん。
				1042 相	で、あの一、まあ、あの、だいたい、落ち着いてはきたんですがー、
				1043 司	ええ。
				1044 相	あの一、まあ、これ//から、どういうふうに、
				1045 司	うーん？
				1046 司	ええ。
				1047 相	やって、いったら、いいのか、ちょっと。
				1048 司	あー、そうですかー。

大 小
話 話
段 段

1049 相 あの一、まあ、今のところは、//うちでは、あの、普通に、
1050 司 はい。
1051 司 うん。
1052 相 あの一、まあ、何事もないように、
1053 司 //うん。
1054 相 生活をしているんですが、
1055 司 はい。
1056 相 あの一、まあ、親として、
1057 司 うん。
1058 相 まあ、このまま、で、いいのか、
1059 司 うーん。
1060 相 また、いい接し方があるのか、
1061 司 うん。
1062 相 お聞きしたい、//ところなんですが。
1063 司 そうですね。
1064 司 お宅では、ずっと家にはいらっしゃるわけですね？//お嬢さんは。
1065 相 はい、そうです。
1066 司 どんなふうに過ごしているんでしょうか。
1067 相 あ、本を読んだり、
1068 司 ええ。
1069 相 まあ、うーんと、まあ少し、少しですが、
1070 相 得意な、あの一、まあ、勉強ちょっとしたりー、
1071 司 ええ。
1072 相 あとは、なんかこう、おかずを作ったり、
1073 司 うん。
1074 相 そんなふうに、はい。
1075 相 たまにあの、わたくしと、
1076 司 ええ。
1077 相 あ、買い物に行ったりとか、
1078 相 そういうふうに過ごしてます。
1079 司 そうですか。
1080 相 はい。
1081 司 事件のことについて、
1082 司 お話をするということは。
1083 相 あっ、ほとんどな//い。
1084 司 ない、です//か。
1085 相 はい。
1086 司 わかりました。
1087 司 では、S先生//お願い致します。
1088 相 (すみません)。
1089 回 はい。

A 相 談 開 始		1090 回	こんにちは。
		1091 相	こんにちは。
		1092 回	お願い//しますー。
		1093 相	どうぞよろしく申し上げます。
		1094 回	はい。

B 相 談 か け の 話 段 小 話 段	B	1095 回	とても、{呼気} ご家族、にとってもー、
	2	1096 相	はい。
	相	1097 回	とても大変な、1年2ヶ月ですねー。
	談	1098 相	そうですねー、はい。
	内	1099 回	これはもう、青天の霹靂だったのですか？
	容	1100 相	はい、そうです。
	確	1101 相	突然。
	認	1102 回	お母さんには、どういうふうにして、
	の	1103 回	ニュースが入ったのです//か。
	話 段	1104 相	あっ、あの、本人が一、
	1105 回	はい。	
	1106 相	あの一、まあ、ちょっと、{吸気} あの一、そうですね。	
	1107 相	あの一、まあ血だらけで、	
	1108 回	はい。	

1109 相 あの一、まあ全身びしょびしょで、
1110 回 はい。
1111 相 あの一、帰ってきて、
1112 相 まあ、なんていうんですかね？
1113 相 放心状態で、
1114 回 はい。
1115 相 やっと帰ってきたって、
1116 相 まあ、うちの近くだったんですが。
1117 回 はい。
1118 相 はい。
1119 相 それ一、そういうふうで。
1120 回 はい。
1121 相 はい。
1122 相 なんですけど一。
1123 回 ふーん？
1124 相 はい。
1125 回 お嬢さんは、その時のことについて、
1126 相 はい。
1127 ー [沈黙]
1128 回 な、な、覚えていないこととかあるのですか？
1129 相 ええ、あの一、まあ、あの一、気を失って、
1130 相 しばらくの間は、気を失っていたと思うんで、
1131 回 はい。
1132 相 あの一、まっ、すぐには、あの一、うーん、何もしゃべれなかったので一、
1133 回 はい。
1134 相 あのしばらくして、
1135 相 あの一、少しずつ思い出して一、
1136 回 はい。
1137 相 あの一、言ったことが、
1138 相 あの一、まあ、ちょっと、
1139 相 あの一、その前後のこととかは、
1140 回 はい。
1141 相 あの、少しずつ、話したんですが、
1142 相 その//と、
1143 回 はい。
1144 相 あの一、思い出した時は。
1145 相 はい。
1146 回 はあ。
1147 相 今はもう、ほとんど、その話はしません。
1148 回 ふーん？
1149 相 はい。
1150 回 これは夜だったのです//（か）。
1151 相 いえ、あの一、午後1時頃です。
1152 回 午後1時頃。
1153 相 はい。
1154 回 さっき、びしょ一、濡れっ（て）、
1155 相 ええ、そうです//ね一。
1156 回 雨が降って//いた。
1157 相 いえ。
1158 相 あの一、まあ、その、後ろから、
1159 回 はい。
1160 相 あの、なんていうんですかね、
1161 相 袋のような物をかぶせられて一、
1162 回 はい。
1163 相 で、なんか、石のような物で一、
1164 回 はい。
1165 相 殴られた後、
1166 回 はい。
1167 相 あの、多分、排水溝に、
1168 相 あの一、押し込まれたと思うんですけど。

1169 回 はい。
1170 相 はい。
1171 相 それで、その排水溝の泥水、
1172 相 //ついていて、
1173 回 はあー。
1174 相 びしょびしょだっ（た）、はい。
1175 回 あ、そーうなんですか。
1176 相 はい。
1177 回 これは学校帰り？
1178 相 はい、そうです、はい。
1179 ー [沈黙]
1180 回 それまでに娘さんが、なんか、変な人に追っかけられてるとか、
1181 回 そんなことは言ったこと、なかったんですか？
1182 相 あ、ないです。
1183 相 はい、一//度も。
1184 回 一度もなかったの//ね？
1185 相 はい。
1186 回 じゃ、ほんとに通る//魔。
1187 相 突然。
1188 相 多分一、そうだと思うんですが、
1189 相 まだ、犯人は、見つかってないんで一、
1190 相 あの一、わかりませんけども一。
1191 回 ええ。
1192 相 はい。
1193 回 全く、あの、心当たりもない//わけで。
1194 相 ないです、全く。
1195 回 ないわけですね？
1196 相 はい。
1197 回 じゃ、時々その、うーん、まあ今はやりの、ストーカー的に一、あの一、くっついてくる人とか、世の中にはいるのですが一、
1198 相 はい。
1199 回 そういうこと//では、//なかったみたい。
1200 相 ええ。
1201 相 あの一、一度もそういう話は、聞いてませんし一、
1202 回 はい。
1203 相 まあ、周りでも、あの、知らなかったし一、
1204 回 ええ。
1205 相 学校のほうでも一、そういうことが、ないか、
1206 相 あの一、いろいろ、警察のほうでも一、//聞いてもらったんですが一、
1207 回 はい。
1208 相 はい。
1209 相 そういう話も、あの一、//学校でトラブルもなく一、
1210 司 うーん。
1211 回 はい。
1212 相 はい。
1213 相 もう、ほんとに突然だったんで一。
1214 回 そうですか。
1215 相 はい。
1216 回 はい。
1217 回 で、お嬢さんは、では、こうなってしまう前、
1218 回 この、とんでもない目に遭われる前？
1219 相 はい。
1220 回 え一、中学校1年生でしたね一。
1221 相 はい。
1222 回 その前は一、どう、どういうお子さんだったか、
1223 回 もう少し教えてください。
1224 相 あっ、あの一、まあ、わりと一あの一、静かなほうだと思いますし一、
1225 回 はい。
1226 相 あの一、そんなにあの一、お友達は、そんなにたくさんはいないんですが一、
1227 回 はい。

1228 相 まあ、あの、少しのお友達と一、
1229 回 はい。
1230 相 あの一、仲良く、はい、行ってたと思うんですが、
1231 相 特に、あの一、なんか、こう、変わったようになっていう、そういう//ことはなく、
1232 回 うん。
1233 相 まあほんと、おとなしい一、
1234 回 おとな//しい、お子さんだっ//たというこ//と。
1235 相 はい。
1236 相 はい。
1237 相 まっ、口数は、あの、その当時から少な
かったんですが一。
1238 回 ふー一//ーん。
1239 相 はい。
1240 回 そうですか。
1241 相 はい。
1242 回 はい。
1243 回 で、今、
1244 相 はい。
1245 回 お子さん一は、まあ、おうちで落ち着いていると言われましたね一。
1246 相 はい。
1247 回 うーん、お子さん一が、え、
1248 回 あっ、そうだ、
1249 回 眠りはどうですか？
1250 相 あっ、あの一、うーん、夜は、//あの一、なかなか、あの一、まあ、遅いんです
が一、
1251 回 はい。
1252 回 はい。
1253 相 あの一、一人では寝られません。
1254 回 一人では寝られ//ない。
1255 相 はい。
1256 回 はい。
1257 回 お子さんが、今お母さんに訴えてくることは、どういうことですか？
1258 相 あの一、特に、あの一、何もないんですが一、
1259 回 うん。
1260 相 まあ、少し前までは、
1261 回 はい。
1262 相 あの一、一人になることは、もう絶対に、//あの一、ものすごく怖がって、//いたん
ですが一、
1263 司 うん。
1264 回 はい。
1265 回 はい。
1266 相 あの一、最近は、あの一、少しの間なら、
1267 回 はい。
1268 相 あの一、うちの中だ、なら、あの一、留守番できるようになったんですけども一、
1269 回 はい。
1270 相 はい。
1271 相 あの一、なにか、こうしてほしいっていうことは、特には、ないですね一。
1272 回 そうですか一。
1273 相 はい。
1274 回 それは少し、親御さんにとっては、物足りなくはないですか？
1275 回 もっと言ってくれたら、
1276 回 してあげられるのに一//とか、例えば。
1277 相 そうですね一。
1278 相 あの一、なにかこう、まあ、あの一、どっかに行きたいとか一、
1279 回 はい。
1280 相 そういうことは言うんですが一、
1281 回 はい。
1282 相 はい。
1283 相 あの一、まあ、これといって、何かを言ってくるってことは、そんなにはないん
ですけども一。

1284 回 うーん。
1285 ー [沈黙]
1286 回 はい。
1287 回 じゃあ、もう一度、お母さんの今日のお尋ねを、もう 1 回、
1288 回 何をお聞きになりたいのか、
1289 回 もう 1 回おっしゃってください。
1290 相 はい。
1291 相 あの一、まあ、今は、こういうふうに着いているんですが一、
1292 回 はい。
1293 相 あの一、まあ、あの一、将来もありますし一、
1294 回 はい。
1295 相 まあ、学校には実際、行ってないわけですから一、
1296 回 はい。
1297 相 あの一、まあ、このまま？
1298 回 うん。
1299 相 ずっと、中学一、は、行かない状態で、
1300 相 ずっと終わって一、
1301 回 はい。
1302 相 で、私一、親として、
1303 回 はい。
1304 相 どういうふうに一、
1305 回 はい。
1306 相 あの一、子どもにしてあげられるのかなってというのが、
1307 相 ちょ//っと、今、いろいろ考えて、はいるんですが一、
1308 回 うん。
1309 回 はい。
1310 相 あの一、このままの？状態で一、
1311 相 何か、どこかに、こう一、出かけて一、
1312 相 相談する所が、に、行ったらいいのかとか一。
1313 回 うん。

C C 1314 相 あの一、
1315 ー [沈黙]
相 1316 相 //いろいろ、
談 1317 回 一つに、
う 1318 相 はい。
け 1319 回 ええ。
の 1320 回 あの一、一つ一、申し上げてよいかなと思うのは、な、必ず治るということです。
話 1321 相 はい。
段 1322 回 必ず治ります。
1323 相 はい。
1324 回 ただ治るのに一、
1325 相 はい。
1326 回 その一、ちゃん、ちゃんとした治療の手が、はい、入り一、
1327 相 はい。
1328 回 お嬢さんが、その一治療してくれる人を信頼できて一、
1329 相 はい。
1330 回 彼女の体は、どっか、随分多くの部分が、1 年 2 ヶ月前で、止まってますから一、
1331 相 はい。
1332 回 で、ひっ、年月は過ぎてっても、
1333 回 体は、ね？、去年のまま、止まっていますし一、
1334 相 はい。
1335 回 うーん、外に出るっていったら、
1336 回 怖い怖い怖い？
1337 相 はい。
1338 回 っていう状態になると思うんですけども一、
1339 回 治るということは、体が過去のまま留まらずに一、
1340 回 そのことではない、
1341 回 現在動ける体が、増えていくということなんですけれども一、
1342 相 はい。

- 1343 回 お嬢さんに、「治っていけるよ。」っていうことを言うのが、親御さんのお仕事だと思うんですね？
- 1344 相 はい。
- 1345 回 それで、治っていくについては、「あなたは、まず、どういう、どういうふうなことが治りたいのかなー。」って、
- 1346 回 問いかけてみてあげることは、できると思います。
- 1347 相 はい。
- 1348 回 例えば、外にいる時にー、
- 1349 回 外に行くのを、もっと怖くなくなりたいとかー、
- 1350 相 はい。
- 1351 回 夜眠れるようになりたいとかー、
- 1352 相 はい。
- 1353 回 他にどういうことが出てくるのか、
- 1354 回 ちょっと、い、今、私は、想像もつか、ないんですけどもー、
- 1355 回 やっぱ、怖い思いが何度も浮かぶのは、嫌だっていうのが、一番基本にはあるんだと思うんですけどもー、
- 1356 相 はい。
- 1357 回 そういう、お嬢さん、に、お父さんとお母さんは、どんなことをしても、
- 1358 回 あなたが、前の一、自由な自分に戻っていけるための援助をするし、
- 1359 回 そのための治療を探してあげたいからー、
- 1360 回 できるだけのことをするよ。
- 1361 回 とんでもない目に、あなたは遭って、
- 1362 回 あれは、ものすごく不当な目であって、
- 1363 回 その中に、あなたは閉じ込められている必要はないし、
- 1364 回 閉じ込められているのは、すごく不当なことだし、
- 1365 回 とんでもない目に遭ったけど、
- 1366 回 あなたが、なにか、駄目になったわけじゃないし、
- 1367 回 あなたは、今、とても苦しんでるけど、
- 1368 回 これは治っていくよっていうふうなことはー、
- 1369 回 力強くおっしゃっていいんだと思いますよ？
- 1370 相 あっ、はい。
- 1371 相 そうですね。
- 1372 回 うーん。
- 1373 相 あの一、まあ、そーんなようなことは、何回かは、あの一、
- 1374 相 まっ、学校には、今行っていないわけですからー、
- 1375 回 はい。
- 1376 相 あの一、い、行きたい気持ちが全然ないわけじゃなくて、
- 1377 回 はい。
- 1378 相 あの一、行きたい気持ちはあるんだけどもー、
- 1379 回 はい。
- 1380 相 あの一、怖い。
- 1381 回 はい。
- 1382 相 い、行くのが//怖いとかー、
- 1383 回 はい。
- 1384 回 はい。
- 1385 相 あの一、うーん、人の目が怖いとか、
- 1386 回 はい。
- 1387 相 なんかそういうのがあると思うんでー、
- 1388 回 はい。
- 1389 相 あの一、絶対にー、もう、悪い人が出ないようにー、
- 1390 回 はい。
- 1391 相 あの一、してあげるからね？っていうふうには、何回かは、言って、みたんですがー、
- 1392 回 はい。
- 1393 相 まあ、それに対しての、答えは、ない、//んー、
- 1394 回 まあ、一つには、いつもいつも親がついていられるわけじゃありませんよねー。
- 1395 相 はい。
- 1396 回 ですから、絶対に悪いことが起こらないとは限らないわけですよ。
- 1397 相 はい。

- 1398 回 ですから、そ、それは、どんな人だって、言われても、
 1399 回 だって、「お母さん、いつまでも生きてて {笑い} くれるわけじゃないじゃない。
 1400 相 はい。
 1401 回 子どもは内心、思うかもしれませんよねー。
 1402 相 はい。
 1403 回 で、それよりもー、あの、今眠れないっていうこと自体が、彼女の体が、本来の、回復をしていくー？
 1404 回 過去のことは過去にしー、
 1405 回 あっ、私ーは、たくさん怖い目に遭ったけどー、
 1406 回 あの時と今は、違うのかもしれないって、思えるような体が変わっていくのを妨げている可能性は、あります。
 1407 相 はい。
 1408 相 あっ//はい。
 1409 回 ですから、
 1410 相 ええ。
 1411 回 あの一、お嬢さんが、ここの先生は信頼できるって、思えるようなー、
 1412 回 お話をちゃんと聞いてくれてー、
 1413 相 はい。
 1414 回 で、お嬢さんが、準備できる以上の速度で、お嬢さんの、その、とても辛い傷に？
 1415 相 はい。
 1416 回 触れるんじゃないくて、
 1417 回 なぜお嬢さんが、とんでもない状態に、置かれてて、
 1418 回 そのから出られないことの苦しさをー、
 1419 回 受け止めてくれる、ようなー、
 1420 回 医療相談機関というのをー、お母さんが探すことはできると思います。
 1421 相 はい。
 1422 回 それはなさってますか？
 1423 相 あの一、今は、あの一、そういう所には、行っていませんしー、
 1424 回 はい。
 1425 相 あの一、今は、あの一、
 1426 相 なんていうんでしょうねー、
 1427 相 娘ーは、あの一、がっこ、2週間に1度、中学一のほうで、
 1428 相 あの一、カウンセラーの先生の所にお伺いしているんですがー、
 1429 回 はい。
 1430 相 あの一、まあ本人の口から、
 1431 回 はい。
 1432 相 何か言葉を発して、
 1433 回 はい。
 1434 相 先生に、の、質問に答えるとかー、
 1435 回 はい。
 1436 相 お話をするとかっていうことは、一切なくー、
 1437 回 はい。
 1438 相 あの一、まあ、聞かれた、て、
 1439 相 あの一、うなずいたり、
 1440 回 はい。
 1441 相 首を振ったりするだけの状態なんですがー、
 1442 回 はい。
 1443 相 あの一、前は、こう、しぶしぶ行ったり、
 1444 相 行かなかったり、
 1445 相 まあ、行かないほうのことが多かったんですがー、
 1446 回 はい。
 1447 相 今は、あの一、まあ、わりあいと、
 1448 回 はい。
 1449 相 あの一、素直に行くようにはなったんですね？
 1450 回 はい。
 1451 相 はい。
 1452 相 まあ、それだけーは、少しは、しん、
 1453 相 あの一、心//も少し、こう、//あの一、前向きになってきたのかなー//というふうには思ってるんですけれ//どもー。

1454 回 そうですね？
1455 回 そうですね？
1456 回 そうですね？
1457 回 ええ。
1458 回 それに行けてることも素晴らしいことなので、
1459 相 はい。
1460 回 怖い思い抱えてても、
1461 回 それができるようになったのは、ほんとに前進だし、
1462 回 それ、よくなっているんだねっていうような、
1463 相 はい。
1464 回 もう、ほんとの、小さな小さな1歩であれ、
1465 回 「それはちゃんと治ってってる証拠だよ。」って、言ってあげないとー、
1466 相 はい。
1467 回 お嬢さんには、暗闇のほうしか、まだ見えていませんでー、
1468 相 はい。
1469 回 少し、ずつ、光が増えてってるっていうのを、
1470 回 ちゃんと、何度も伝えていくのが、お母さんの仕事、
1471 相 あっ、
1472 回 お父さんとお母さんの仕事だろうと思います。
1473 相 はい。
1474 回 それと、あの、眠りを改善することは、必要のように思いますのでー、
1475 相 はい。
1476 回 これは、お母さんが信頼できると思える、
1477 回 精神科の、クリニックでよろしいですからー、
1478 相 はい。
1479 回 お話をしてー、
1480 相 はい。
1481 回 で、お嬢さん、
1482 回 あの一、ほんとにぐっすり眠るって、すごく大事なことなんですよ？
1483 相 はい。
1484 回 お嬢さん、今眠れてないと思うんですよ。
1485 相 まあ、あの一、うーん、寝てるような、寝てない {笑い} ような//いう。
1486 回 そうですね、眠りが多分浅いと思うんです。
1487 相 はい。
1488 回 で、眠りを深くしていくことによって、
1489 回 昼間起きている間の、その、脳の情報処理が一、変わっていきますので、
1490 回 変わっていくということは、ほんとに夢かうつつかわからない状態が一、
1491 回 「いや、これは過去のこと？」
1492 回 「あっ、これは今のこともかもしれない。」、
1493 回 「これはやっぱ、過去のことかな？」というふうな、
1494 回 そういう判断をできる部分が、今よりも活性化されると思いますのでー、
1495 相 はい。
1496 回 そういう意味において、
1497 回 睡眠薬、く、薬としては、すい、睡眠薬ということになりますがー、
1498 回 お嬢さんが、よりぐっすり、よ、夜眠れることはー、
1499 回 あなたが回復していく上で、大事なことなんだよっていうことは、
1500 回 わたくしは、お母さんが伝えていいと思うし、
1501 相 はい。
1502 回 それで信頼できる、先生を、お見つけになつてー、
1503 回 少ーしでいいですから、
1504 相 はい。
1505 回 夜の睡眠を深めることは、援助してあげていいと思います。
1506 相 はい。
1507 回 それからー、あの一、トラウマの治療というのも、今はできますけれどもー、
1508 相 はい。
1509 回 うーん、その、その前にー、
1510 回 お嬢さんの、こ、この縮こまってる、この、大変さがー、
1511 相 うーん。
1512 回 どれほど大変であろうかという理解？
1513 相 はい。

大 小
話 話
段 段

1514 回 を、親がして一、
1515 相 はい。
1516 回 この苦しさ、十分わかるがゆえに一、
1517 回 これから少しでも、あなたが楽になっていく上で一、
1518 回 お父さんもお母さんも手伝うから一、
1519 回 1歩1歩、必ず進んでいけるよっていう、そういう、
1520 回 未来に光を、み、見てる姿勢っていうのを一、
1521 相 はい。
1522 回 うん、伝えるっていうこと、を、もうちょっと力強く、
1523 相 うーん。
1524 回 してもいいかなって、思いました。
1525 相 あっ、はい。
1526 相 わかりました。
1527 回 はい。

答 C 1528 相 あの一、じゃあ、こう、これからの、こう、将来のことに向けて一、
確 2 1529 相 いろいろこう、もっともっと、
認 回

C 1530 回 あれをする、これをするっ//ってことではないんですよ。
1 1531 相 励んで。
回 1532 相 ええ。
答 1533 回 「あなたは、今のような牢獄に一、
提 1534 回 閉じ込められているのは一、
供 1535 回 脳の中での情報処理が止まっているから、
の 1536 回 そうなっちゃってるけど、
小 1537 回 あなたが悪いんでもないし、
話 1538 回 あなたが汚れているんでもないし、
段 1539 回 起こったことは、どんでもないことで一、
1540 回 だけど、この状況から、立ち直っていけるよ一、
1541 回 そういう治療もあるよ一、
1542 回 そういう先生、探そう。」っておっしゃって一、
1543 回 いろーんな情報探してみてください。
1544 相 //はい。
1545 回 必ず、あると思います、見つかるもの
が。
1546 相 はい。
1547 回 //はい。

C 1548 相 えっと、なんか、そう、精神科、医の、ような、
2 1549 回 はい。
回 1550 相 所ですか？
答 1551 回 そうですね。
確 1552 相 //はい。

C 1553 回 精神科医、えーまたは、心療内科のクリニ//ックでよろしいんです
1 が一、
回 1554 相 心療内科。
答 1555 相 あっ、はい。
提 1556 回 お母さんが、ほんとにこの先生は、何を言っているか、
供 1557 回 ちゃんと意味の、あ、ある話をしてくれていると、
の 1558 相 はい。
小 1559 回 感じられる先生が見つかるまで一、
話 1560 相 はい。
段 1561 回 粘り強く、
1562 回 いろーんな所、探してみてください。
1563 相 あっ、はい。
1564 回 または、お嬢さんのお話を一、
1565 回 あっ、この人なら、
1566 回 ちゃんと聞いてくれるかな一、
1567 回 あの一、お話を根掘り葉掘り聞くんじゃなくて一、
1568 相 はい。
1569 回 ただ一緒に？
1570 回 いてくれ、
1571 相 はい。

1572 回 それが、ビーズを編むでもいいしー、
 1573 回 一緒に音楽聴くでもいいけどー、
 1574 相 はい。
 1575 回 「一緒にいようね。
 1576 回 一緒に時間過ごそうねー。
 1577 回 一緒に人といるだけで、
 1578 回 私はあなたと一緒にいることが、それはそれで、私にとっては嬉しいしー、
 1579 回 一緒にいてくれることが、嬉しいよ。」って、
 1580 回 思ってくれるようなカウンセラーの先生って、いると思うんですよ。
 1581 相 はい。
 1582 回 そういう先生を、お見つけになるまで、粘ってー、
 1583 相 はい。
 1584 回 人間に対する？
 1585 回 信頼感をー、
 1586 回 お嬢さんが持ってもいいんだっていうところまではー、
 1587 相 はい。
 1588 回 まだ、お母さんができること、
 1589 回 今まで申し上げたことが、いくつかあるように思います。
 1590 回 治療は、その先だと思えます。
 1591 相 あっ、はい。
 1592 回 はい。
 1593 相 わかりました。
 1594 回 そういうことで//す。
 1595 相 はい。

D 相 談 終 了 の 話 段	1596 回 よろしくー、
	1597 相 はい。
	1598 回 //お願いしまーす。
	1599 相 ありがとうございます//ましたー。
	1600 司 はい。
	1601 回 //はい。
	1602 司 ごめんください。
	1603 相 はい。
	1604 回 失//礼しまーす。
	1605 司 失礼致しま//す。
1606 相 はい。	
1607 司 はい。	
1608 ー [沈黙]	

終 IV 了 番 組	1609 司 この時間は、「子どもの心相談」を致しました。
	1610 司 お答え頂いたのは、児童精神科医の S E 先生でした。
	1611 司 ありがとうございます//いました。
	1612 回 はい、ありがとうございました。

【資料7】レファレンスの談話(2004.7.26(月))

話 小
段 話
段

A 相 談 開 始		1 回	どうぞ。
		2 回	おはようございます。
		3 相	お願いします。
		4 回	ど//うぞ。
		5 相	おはようございます。
B 相 談 か け の 話 段	B 1 相 談 提 示 の 小 話 段	6 相	えっと、すみません、ちょっと、あの一、雑誌のことで一、
		7 相	あ//の、お尋ねしたいっていうか、
		8 回	はい。
		9 相	//お願いしたいんですけど、
		10 回	はい。
		11 回	ええ。
		12 相	よろしいでしょうか。
		13 回	はい。
		14 相	じゃ、ここに置かせて（いただいて）。
		15 回	はい。
		16 相	はい、すみません。
		17 相	えっと、こちらの、あの一、うーんと、雑誌の題なんですけれども、
		18 回	はい。
		19 相	あの一、WINEで見ましたら、
		20 回	はい。
		21 相	ないん、ですよね？、こちらの、
		22 回	はい。
		23 相	所蔵に。
		24 回	はい。
		25 相	で、そのときに、どのようにしたら入手できるのか、
		26 回	はい。
		27 相	ちょっとご相談したいと。
		28 回	はい、わかりました。
		29 相	はい。
	B 2 相 談 内 容 確 認	30 回	えっと、WINEでも、所蔵は確認されていらっしゃるということで。
		31 相	そうなんです、//こういう、
		32 回	はい。
		33 回	すみません、申し訳ないですが、
		34 回	もう一度確認させていただきますね？。
		35 相	はい、お願いします。
		36 回	『大学教育』、
		37 相	『学会誌』ですね。
		38 回	はい。
		39 ー	{h パソコンを打ち、検索する}
		40 回	そうですね、ないですね。
		41 相	はい。
C 相 談 う け の 話 段	C 1 回 答 提 供 の 小 話 段	42 回	そうしますと一、え一、早稲田にないものをお探しの//場合はですね、
		43 相	はい。
		44 回	えっと、ここに、「情報検索」というのが、//あります。
		45 相	あります。
		46 相	はい。
		47 回	で、ここをクリックしていただいて、
		48 相	はい。
		49 回	「雑誌を探す」、
		50 相	はい。
		51 回	あの、「図書を探す」というところでも、同じところに登録がされているんですが、
		52 相	はい。
		53 回	「雑誌を探す」ということで、
		54 相	はい。
		55 回	こちらを。
		56 回	そうしますと、「雑誌の所在を探す」というところの一、

- 57 回 えー、あつ、そうですね。
58 相 はい。
59 回 下から3番目、「NACSIS、
60 相 はい。
61 回 総合目録データベース」という、//国立情報学研究所が作っているデータベース
が、あります。
62 相 はい。
63 相 はい。
64 相 NACSIS。
65 回 うん。
66 相 はい。
67 回 こちらで、えー、図書とー、
68 相 はい。
69 回 雑誌のー、所在を調べることができるんですがー、
70 相 はい。
71 回 早稲田はー、この国立情報学研究所にー、雑誌のデーターは、挙げているんですけれ
どもー、
72 相 はい。
73 回 図書のデータは、提出していないんですね？。
74 回 ですからー、早稲田の場合は、まず、図書は、必ずW I N Eで検索をしていただい
てー、
75 相 はい、図書はW I N E。
76 回 はい。
77 回 で、雑誌は、こちらの国立情報学研究所のほうに、情報を提供してますのでー、
78 相 はい。
79 回 W I N Eでも、それから、NACSIS Web Cat、
80 回 NACSIS Web //Cat、
81 相 あ、両方。
82 回 //はい。
83 相 はい。
84 回 どちらでも所蔵を確認することができますので。
85 相 じゃ、これは、えーっと、早稲田の中に、あるかないかも、//わかるように、
86 回 わかります。
87 相 あー、そうで//すか。
88 回 雑誌に限っては//なんですけど。
89 相 あっ、雑誌に限っては。
90 回 は//い。
91 相 あー、全然//こういうこと、
92 回 図書の場合はだめなんですけれども。
93 相 あー、そうですか。
94 回 はい。
95 相 あっ、ちょっと全然使ってなかったんで。
96 回 で、ここで、
97 相 はい。
98 回 『大学教育学会誌』ということで、
99 相 はい、はい。
100 回 えー、まあ「全資料」。
101 回 「図書・雑誌」、
102 相 はい。
103 回 「雑誌」ということで。
104 相 えー、そうですね。
105 回 ええ。
106 回 一応雑誌ということで、検索をしてみますと、
107 回 こういうふうに出てきます。
108 相 はい。
109 回 で、さらにここをクリックすると、
110 相 はい。
111 回 詳細の書誌と、下に、
112 相 はい。

113 回 所蔵館の一覧が出てきますので、
114 相 はい。
115 回 少し見てください。
116 相 ええ、ほんとう、たくさん載ってる。

B B 117 回 で、どうされますか。
相 2 118 回 あのー、//一つは一、
相 119 相 はい。
相 120 相 はい。
相 121 回 うーん、えーっと、慶応の日吉で持っていまし//て一、
相 122 相 あっ、あっ、慶//応さんが持ってるんですか。
相 123 回 (?) 号。
相 124 回 21-2号一//ですか?
相 125 相 はい、21-2号と、24-2号なんですけど。
相 126 回 そうしますと、//慶応で、19から24っていうのは持っています//ので、
相 127 相 はい。
相 128 相 はい、はい。
相 129 回 えーっと、資料のページ、あるいは//論文が特定で//きていますよね?
相 130 相 はい。
相 131 相 ええ、えっと、人の名前と、
相 132 相 はい。
相 133 相 これはね?、ちょっとページが載ってなかったの。
相 134 相 はい。
相 135 相 ほんで、こちらのほうは、あの、載っています。
相 136 相 はい。
相 137 相 はい。
相 138 回 で、えっと、著者//め、の//方と、タイトル//がわかっ//てますので、
相 139 相 あっ、著者。
相 140 相 はい。
相 141 相 タイトルと、はい。
相 142 相 はい、はい。
相 143 回 これだけで、もう、取り寄せることもできます。
相 144 回 で、慶応の場合は、
相 145 相 はいはい。
相 146 回 えっと、早稲田の提携校//になってますので一、
相 147 相 はいはい、そうですね、はい。
相 148 回 で、もし、日吉までいらっしゃるようなご都合があれば、
相 149 回 それもできますしー、
相 150 相 はい。
相 151 回 あとは、その、コピーの取り寄せもできますので、
相 152 相 あっ、//そうですか。
相 153 回 にしちゃいますか。 コピーの取り寄せ// (?)
相 154 相 はい、はい。
相 155 相 お願いできますか。
相 156 回 そうしましたら、//この二つということ//で、いいでしょうか。
相 157 相 はい。
相 158 相 はい。
相 159 回 はい。
相 160 一 {h 用紙を出す}
相 161 回 ここに、
相 162 相 はい。
相 163 回 まず、ここの部分だけ書いていただけ//ますか?
相 164 相 はい、はい。
相 165 回 この//1枚は、
相 166 相 (?) //ね?
相 167 相 はい。
相 168 回 ペンがいいんですけれども。
相 169 一 {h ペンを取り、mへ渡す}
相 170 相 あー、すいません。
相 171 相 これ、(?)。

話 小
段 話
段

B 1 相 談 提 示 の 小 話 段		172 相	それで、もう1件、ちょっと、よ//ろしいですか？
		173 回	はい。
		174 回	はい。
		175 相	こちらの、これなんですけれども一、
		176 回	『The recognition、//of macrosuructure』
		177 相	はい。
		178 相	はい。
		179 相	こちらの、えーっと一、
		180 相	かっこして、
		181 相	(本庄) って書いて//あったものなんですが一、
		182 回	あっ、はい、はい。
		183 回	はい。
		184 相	そういう場合は、
		185 回	はい。
		186 相	雑誌//で、
C 相 談 う け の 話 段	C 1 回 答 提 供 の 小 話 段	187 回	取り寄せですね。
		188 相	あっ、取り//寄せになる//わけですか。
		189 回	はい。
		190 回	はい。
		191 回	で、雑誌の現物の取り寄せもできますし一、
		192 相	はい。
		193 回	それから、必要な部分の複写、これも(?) //に取り寄せることができます。
		194 相	はい。
		195 相	は一、そうですか。
		196 回	はい。
B 相 談 か け の 話 段	B 2 相 談 内 容 確 認 の 小 話 段	197 回	それも、
		198 相	あっ、お願い、//できます？
		199 回	はい。
		200 相	すみません。
		201 回	はい。
		202 相	確か、かっこして、
		203 相	(本庄) //っていつてあったもんですから。
		204 回	はい。
		205 回	はい。
		206 回	それで、その一、これは何号でしょうか。
		207 相	ちょっとすみません。
		208 回	はい。
		209 一	{m めがねをかける}
		210 相	2ですね。
		211 相	//2の、
		212 回	2。
		213 回	はい。
		214 相	ひゃくごじゅう、
		215 相	ちょっと待って。
		216 回	はい。
		217 相	(156から168くらい、だと思っんですけど)。
C 相 談 う け の 話 段	C 1 回 答 提 供 の 小 話 段	218 一	{h パソコンを打って検索する}
		219 回	えーっと、これはですね一、
		220 相	はい。
		221 回	えーっと、ここに、図書館の所蔵が4から5って書いてありますので、
		222 相	はい。
		223 回	これは、やはり持っていないんですね、早稲田で。
		224 相	あっ、そうですか。
		225 相	かっこして、
		226 相	(本庄) っってあるんですけど、
		227 相	だ、駄目なわけですか。
		228 回	ここに、所蔵の、ちょっとわかりにくいんですけども、
		229 相	はい。
		230 回	(?) が書いてあって//ですね一、
		231 相	はい。

232 相 はい。
233 回 4 から 5、
234 回 それから、6 - 1。
235 回 ここしか持っていないので。
236 相 はあー。
237 回 必要なのは 2 号なんですよ？
238 相 そうなんです。
239 回 で、2 号は//持っていないですね。
240 相 2 ですが、
241 相 うんと、1984 年。
242 相 あっ、87 年から。
243 相 あっ、この間だけしか//持っていないわけね？
244 回 そうなんです、はい。
245 回 なので、
246 相 はい。
247 回 また、あの、n a c s i s で、//検索をするっていうことに、なるんですがー。
248 相 はあ、すいません。
249 ー {h パソコンを打って検索する}
250 回 (?) 持っていないですから、
251 相 あっ、そうか、これが。
252 回 ええ、//「早大」っ//ていうふうに出るんですけどもー、
253 相 あーあー。
254 相 あ、はいはいはいはいはいはいはい。
255 回 この、この所蔵//範囲っていうの、
256 相 さっきと同じですね？。
257 回 ええ。
258 相 はい。
259 回 なのでー、
260 相 はい。
261 回 これは (?) なんですよ。
262 相 はあ。
263 回 で、この場合ですと、
264 相 はい。
265 回 明大、あっ、明大止めたほうがいいかもしれない。
266 回 (?) ところがあれば、っていう感じですけども。
267 回 上智。
268 回 上智では持ってますねー。
269 相 あっ、ありま、
270 回 はい。
271 相 これですか。
272 回 はい。
273 相 はいはいはいはいはい。
274 回 なので、上智の場合は、//直接行って、
275 相 はい。
276 相 はい。
277 回 そういうふうに、紹介状お書きしますのでー、
278 相 はい。
279 回 直接行って、
280 相 はい。
281 回 ご利用っていうこともできますしー、
282 相 はい。
283 回 取り寄せっていうことも、やっぱりできます。
284 相 あっ、そうです？
285 回 はい。
286 相 えーっとね、これはもう、文献、この人のって決まってるんですけども、
287 回 はい。
288 相 そうした場合は、えーっと、
289 回 これも、2 号の 156 か//ら、
290 相 6 から、168 という意味だと思う//んですけど、
291 回 あっ、はい。

話 小
段 話
段

292 相 はい。
293 回 そしたら、同じように、こちらと同じように//指定して一、
294 相 はい。
295 相 はい。
296 回 複写を取り寄せることもできます。
297 相 あっ、できますか。
298 回 はい。
299 相 それじゃあ、お願い一、
300 回 はい。
301 相 よろ、よろしいですか。
302 回 はい。
303 相 //すいません。
304 回 そうすると、3点という//ことで。
305 相 はい、3点です、はい。

B B 306 回 こちらはいいんですか？
相 1 307 相 ちょっと、こちらね一、調べるあれがなかったんですけど、
相 308 回 うん。
相 309 相 いいですか？
相 310 相 ちょっと、あの、WINEとか、全然調べて//きてないんですけど、
回 311 回 あっ、そしたら、えっと、これは、
相 312 相 じゃあ、また、
相 313 相 はい。
回 313 回 調べが終わったと//ころで、っていうことで。
相 314 相 はい、はい。
相 315 相 はい。
相 316 相 すいません。

C C 317 相 そいじゃあ、えっと、これをとりあえず、書いた、
相 1 318 回 あっ、ごめんなさい。
回 319 回 もう、これは書いてください//たんですよ？
相 320 相 はい。
相 321 相 はい。
回 322 回 そうしましたら、ちょっとこれをコピーしてきますので一、
相 323 相 あっ、助かります。
相 324 相 すいません。
回 325 回 ちょっとお待ちください。
相 326 相 はい、どうも、ありがとうございます。
一 327 一 {h コピーをとりに席をはずす}
回 328 回 1枚の(?)//(?//)、
相 329 相 はい。
相 330 相 はい、はい。
相 331 相 ありがとうございます//ます。
回 332 回 はい。
一 333 一 {h パソコンを打って検索する}
相 334 相 これは、
一 335 一 {m 用紙に記入する}
相 336 相 すいません、ペー//、ジは、
回 337 回 えー、わからなければ、
回 338 回 書かなくて//結構です。
相 339 相 あっ、いいです//か、すみません。
回 340 回 はい。
一 341 一 {m 用紙に記入する}
相 342 相 これで、
回 343 回 タイトル、//ですね一。
相 344 相 タイ、タイ//トル。
回 345 回 はい。
一 346 一 {m 用紙に記入する}
相 347 相 すいません、ちょっと長いので、
相 348 相 こちら(?)、

349 相 えっと、これコピー、
 350 回 はい。
 351 相 とってきて、
 352 回 すみません。
 353 回 えっと、学年一、
 354 相 あー、すいま//せん。
 355 回 はい。
 356 ー (?)
 357 回 あと、費用なんですがー、
 358 相 はい。
 359 回 私費で一、お支払い//ということで。
 360 相 はい、そうです、はい。
 361 回 じゃあ、ここの私費のところに。
 362 相 はい。
 363 相 あっ、はい。
 364 回 はい。
 365 回 それで結構です。
 366 相 んで、よろしいです//か？
 367 回 はい、// (承知いたしました。)
 368 相 (お世話さます。)
 369 回 {h 用紙に記入する}
 370 回 えっと、書類と、
 371 相 はい。
 372 回 私費。
 373 相 はい、そう//です。
 374 回 (?)
 375 回 いいです//か？、それで。
 376 相 はい。
 377 回 はい、そうですね。
 378 回 はい。
 379 回 340、{h 用紙を確認する}
 380 回 えっと、これで、
 381 相 はい。
 382 回 これで大丈夫か。
 383 相 はい、すみません。
 384 回 えっと、これ「(?)」ですか？
 385 相 そうです、(?)です。
 386 回 はい、//わかりました。
 387 相 はい。
 388 相 失礼しま(した)。
 389 ー {h 用紙を確認する}
 390 回 はい、それでは、//3点お預かりしましてー、
 391 相 はい。
 392 相 はい。
 393 回 コピーが届きましたら、
 394 相 はい。
 395 回 こちらのメールのほうにご連絡//さしあげますので、
 396 相 あっ。
 397 相 いただけま//すか？
 398 回 こちらのほうに、いらしてくだ//さい。
 399 相 はい。
 400 回 それで、村//上さん、
 401 相 はい。
 402 回 えっと、研究科の方ですので、
 403 相 はい。
 404 回 あの、こちらのですね、
 405 相 はい。
 406 回 図書館のホームページの一、
 407 相 はい。
 408 回 中央図書館の一、
 409 相 はい。

410 回 {パソコンの画面を見せながら} この、「文献の取り寄せサービス」//ってところ
の、
411 相 はい。
412 相 はい。
413 回 ここのところは一、
414 相 はい。
415 回 申し込み票が、あるの、
416 回 取れるように//なっているんですね？
417 相 あっ、全然知らなかった。
418 相 はい。
419 回 で、えっと、こちらで、//申し込み票を打ち出していただいて、
420 相 はい。
421 回 記入していた//だいて、
422 相 はい、はい。
423 回 ファックスで、
424 回 こちら宛てのファックス//で、えっと、申し込み一//も、できます。
425 相 はい。
426 相 あっ、できるんですか。
427 相 あー、それ//は、
428 回 はい。
429 回 はい。
430 相 あー、助かります、(?)。
431 回 ということ//でして一、//もしよろしけ//れば、是非ご利用になってくだ//さい。
432 相 はいはい。
433 相 すいません。
434 相 ありがとうございます。
435 相 はい。

D
相 436 相 ほんで、また、これ、ちょっと調べて、
437 回 はい。
438 相 お願いし//ます。
439 回 はい。
440 相 すいません。
441 回 失礼//いたします。
442 相 助かりました。
443 相 じゃ、よろしくお願いし//ます。
444 回 はい。
445 相 ごめんなさーい。

【資料8】レファレンスの談話(2004.7.26(月))

小
話
段

A 相 談 開 始		1 回	はい。
		2 回	では、どうぞ。
		3 相	お願いいたしまーす。
B 相 談 か け 提 示	B 1 相 談 提 示	4 相	えっとですねー、
		5 回	はい。
		6 相	あの一、論文探すときにー、
		7 回	はい。
		8 相	日本語の論文は、探せるんですけどー、
		9 回	はい。
		10 相	英語の論文がですねー、
		11 回	はい。
		12 相	あの一、国会図書館のほうでも、探せないんですがー。
C 相 談 う け	供 C 1 回 答 提 示	13 回	そうですね、国会図書館の雑誌記事索引は、//日本語の論文（だけなん）ですね。
		14 相	{笑い} あっ、そうですか。
	C 2 回 答 確 認	15 相	前は探せましたよね？
		16 相	なんか、あの、早稲田の中でやってたときは、英語のでも探せたんですけど。
	C 1 回 答 提 供	17 回	えっと、要するに、国会図書館の雑誌記事索引は、えー、日本で刊行されている雑誌に、掲載されている論文、
		18 回	日本で、//刊行されていてー、
		19 相	あー。
		20 回	国会図書館が、えっとー、まあ、えー、学術雑誌、ね？
		21 相	あー。
		22 回	買うと、あの一、みなした雑誌に出てる論文をデータ作ってますのでー、
		23 回	そういうものに、その英語の論文が、掲載されていれば、
		24 回	あの一、//検索の対象になると思うんですね。
		25 相	ないです。
B 相 談 か け の 話 段	B 1 相 談 提 示	26 相	どうやって探せばいい、いいんですかね、英語論文。
		27 回	えーっとですね、どういう、ふうに探す、あの一、
		28 相	名前、またはあの、キーワードで探したい(ん)、
		29 回	名前というのは、その論文の著者、//ですか？
		30 相	はい、論文の著者。
		31 回	論文の著者、あるいは、その論文の//内容を表すキーワードで、えーっと、探したいと。
		32 相	の、
C 相 談 う け の 話 段	C 1 回 答 提 供 の 小 話 段	33 回	えーっとですね、そうだな。
		34 回	一番一般的に、まず、あの一、インターネット経由、で探すということであれば、
		35 回	えーっと、使えるデータベースとして、
		36 回	いくつかあの一、大学一の図書館、あの、早稲田大学図書館のホームページから、リンクを貼っているデータベースがあります。
		37 相	ふーん。
		38 回	それがですね、えーっと、このホームページは見たことはありますか？
		39 相	はい、//いつも（この）情報検索//から、入りますから。
		40 回	はい。
		41 回	そうですか、はい。
		42 回	はい。
		43 相	はい。
		44 回	「情報検索」で、
		45 相	はい。
		46 回	「雑誌を探す」//4という項目を選択して、
		47 相	はい。
		48 回	で、えーっと、「論文記事を探す」のところに、外国のがありますよね？
		49 相	あー//一。
		50 回	はい。

51 回 「論文記事を探す」という項目の中に、まあ、日本で刊行されて//いる、
52 相 今日、ここですね？、
53 回 はい。
54 回 探すため一のデータベースへのリンクと、
55 相 うん。
56 回 それからあの一、まあ、外国の、外国で刊行されている雑誌に掲載されている論文を
探すための、えーっと、//データベースへのリンクです。
57 相 ふーん。

58 回 お探しになっているのは、分野的には、分野としては、何になりますか？
59 相 多分言語学。
60 回 言語学。
61 相 //はい。
62 回 そうですか、わかりました。
63 相 これ、名で、それぞれ別に//なっているってことですか？

64 回 えっとー、ここの項目に出ているのはですね、
65 回 あの一、特に専門の分野一、が、決まっていない、
66 回 えー一、あつ、ただのでもないですね。
67 回 ごめんなさい。
68 回 あの一、両方あります。
69 回 例えば、このOCLC、
70 回 えーっとですね、一般的に、テーマを決めずに探すということであれば、
71 相 ええ。
72 回 この、「OCLC」の「FirstSearch」、
73 回 それから、この辺ですね。
74 相 ええ。
75 回 それとか一、はい。
76 回 えーっと、この、I S I の「Web of Scievce」、
77 相 ええ、はあ一。
78 回 それから、ここに、「ingenta」ってあるんですけども、
79 回 こんなものが、あの一、テーマを、あ一、定めずっていうか、
80 回 まあ、特定のテーマなしに、あの一、全部、いわばこの検索の対象とされているデー
タベースとして、
回 えーっと、使うことができます。
81 相 ふーん。
82 回 OCLCのFirstSearch//と、
83 相 と、
84 回 まあ、IB//Z Online、
85 相 IBZと、
86 回 それから、Web of Science、
87 相 Web of Scienceですね？
88 回 それから、ingentaと。
89 相 ingenta。
90 回 はい。
91 回 それから、言語学専門の、えーっと、雑誌記事検索用のデータベースとして、
92 回 この、//「Linguistics Abstracts on Line」と、
93 相 うんうん。
94 回 これらを使うことができます。
95 相 うーん。
96 回 えーっとですね、OCLCのFirstSearchを、こう、見てみると、
97 回 ここ、クリックしますよね？
98 回 で、ここに説明がありますので、
99 回 この説明は、まあ、すいません、時間があるときに読んでみてください。
100 相 {笑//い} はい。
101 回 ええ。
102 回 えーっと、まあ「First Searchにログオン」っていう//ふうになりますので、
103 相 はい。
104 回 これをログオンします。

- 105 回 で、First Searchっていうのは、あの一、まあ、OCLCっていう、大きなアメリカにある、その一、まあ、データベースを提供している機関なんですけれども、
- 106 相 はい。
- 107 回 その提供しているデータベースで一、えーっと、いくつものデータベースから、あの一、成り立っています。
- 108 回 で一、{コンピュータを操作する}
- 109 相 うーん。
- 110 回 ここに、Databasesっていうタグがありますので、
- 相 ええ。
- 111 回 これをクリックすると、
- 112 回 このデータベースの一覧が出まして、
- 113 回 あの一、こういうデータベースです。
- 114 回 で、全部検索することができるんですが、
- 115 回 この「ArticleFirst」というのが、一番、もう雑誌の検索、記事の検索のために、よく使われています。
- 116 相 へー。
- 117 回 で、これをクリックすると、
- 118 回 えっと、こういう検索の画面になりまして、
- 119 回 キーワードとか、論文の著者から探すことができます。
- 120 相 うーん。
- 121 回 えっと、どんなキーワードを、//打ちますか？
- 122 相 例えば、じゃあ、え、著者、
- 123 回 ええ、いいで//すよ。
- 124 相 とかでもいいです//か？、入れちゃっても。
- 125 回 はい。
- 126 相 Tannen、というので見たいん//ですけど。
- 127 回 はい。
- 128 一 {j パソコンを操作する}
- 129 回 Tannen、検索をしてみると、
- 130 回 えーっと、全部で27件ですね。
- 131 相 うーん。
- 132 回 で、えーっと、論文のタイトルのリストが出ますので、
- 133 回 そこをクリックすると、
- 134 一 {j パソコンを操作する}
- 135 回 えーっと、こういう情報、までがわかります。
- 136 回 えーっと、論文のタイトルが、Argument Cultureで、
- 137 相 うーん。
- 138 回 えー、Sourceのところ、掲載されている雑誌、えー、雑誌ですね？。
- 139 相 ここが雑誌名。
- 140 回 はい、そうです。
- 141 相 うーん。
- 142 回 「Peace Research Abstracts」、
- 143 相 ふーん。
- 144 回 の、39巻、ナンバー3で、
- 145 相 うん。
- 146 回 えー、このページですね？、に出てますと、いうことがわかります。
- 147 相 で、これを、
- 148 回 はい。
- 149 相 早稲田のほうで検索するわけですか？
- 150 回 そうですね。
- 151 回 この一、この雑誌、早稲田大学で持っているかどうか、
- 152 回 次に考えるのはですね？。
- 153 相 うんうん。
- 154 回 まあ、まず、読みたい雑誌、リストアップして、
- 155 回 で、そのうち早稲田大学で手に入るのはどれかと、
- 156 相 うー//ーん。
- 157 回 で、早稲田大学で手に入らなくても、
- 158 回 日本の国内で手に入るのはどれかと、
- 回 まあ、そういうふう、探し方を広げていくことができます。
- 159 回 まあ、まずは早稲田にあるかどうかっていうことですね？。

160 相 あー。

161 回 はい。

162 相 ですね。

163 回 はい。

164 回 これが、雑誌のタイトルですから、

165 回 えーっと、

166 相 コピーして、

167 回 コピーして、

168 回 裏で、//あの、WINEあげとけばー、

169 相 はい。

170 相 はい。

171 回 で、{ j パソコンを操作する }

172 相 探せる。

173 回 探せると。

174 相 はい。

175 ー { j パソコンを操作する }

176 相 おー、なるほど、なるほど。

177 回 ボタンを押して、{ パソコンを操作する }

178 回 残念ながら、ありませ//ん。

179 相 { 笑い } ないですね。

180 回 はい。

181 回 まあ、というふうに、//あの、ワンタイトルずつあの一、論文も手に入っていきます。

182 相 はい、わかりました。

183 相 はい。

184 回 で、このデータベースは、あの一、同時に、接続できる数が限られてますので、

185 回 検索を終了するときは、この、「Exit」という、この、ボタンを押して、

186 回 終了してください。

187 相 あー、はい、Exitを押す。

188 回 はい。

189 相 えーっと、

190 回 はい。

191 相 えー//一、

192 回 「Exit」というボタンが、画面に出てるときは、それを必ず押してください。

193 相 あー、はい。

194 回 そうですね、(?)。

195 相 はい。

196 回 あの一、順序が、あの一、左右前後してしちゃうんですけれども、

197 回 この、マルWって、マークがついているデータベースは、

198 相 はい。

199 回 本来、有料のデータベースで、早稲田大学が、あの一、一括して契約してるんですね。

200 相 はあー。

201 回 で、早稲田大学からのみ、料金不要で利用できるシステムですが、

202 回 同時に何人しか検索ができないという、あの一、制約があります、ので、

203 回 終わるときは、「Exit」を押して、

204 相 はい。

205 回 終わったぞと、

206 相 あー、あー、あー。

207 回 してください。

208 相 わかりました。

209 回 その他に、えーっと//ですね、まあ、みんな、あと//は、見ていただければわかると思うんですけど//も、

210 相 あー。

211 相 はい。

212 相 はい。

213 回 「Web of Science」は、exitして、

215 回 まず説明がありますので、

216 相 はい。

217 回 ログインしていただいて、

218 相 サイエンスっていうことは、

219 相 サイエンスっていうことは、
 220 回 はい。
 221 回 この、データ//ベースはですね、ISIという、大きなデータベースを提供している会社によるものなんですけれども、
 222 相 これは、{笑い}
 223 相 はい。
 224 回 あの一、自然科学、社会科学、もともと、自然科学のデータベースで発達したんですが、
 225 相 おー。
 226 回 自然科学、社会科学、人文、あー、
 227 相 あっ、そこまで広げて//るんですか。
 228 回 はい、そうです。
 229 相 //うーん。
 230 回 人文科学//っていうふうに見ることがで
 231 相 きます。
 232 相 ふーん。
 233 相 うーん。
 234 相 { j パソコンを操作する }
 235 相 (?)
 236 回 あれ、こーれはですね、何か、今日はちょっと不具合なようで、
 237 相 {笑い} あっ、//そうですか。
 238 回 あの、
 239 相 はい。
 240 回 通常ですと、利用できるの、
 241 相 はい。
 242 回 えー、すいません、これは、き、あの、日を改めて使ってみて//ください。
 243 相 はい。
 244 回 画面に、あの、指示に従って検索すれば、
 245 相 あの一、わかると思います。
 246 相 はい。
 247 回 えー、最初に、分野を自然科学、社会科学、人文しゃ、あー、人文科学から、あの、//選ぶ画面が出てきます。
 248 相 選ぶ。
 249 相 はい。
 250 回 それから、Cited of Reference、えー、見ないと難しいんですけども、
 251 相 はい。
 252 回 あの一、「General Search」、一般的な検索と、
 253 相 うん。
 254 回 「Cited of Reference Search」、あの、重要文献検索という二つの選択肢がありますので、
 255 相 うんうん。
 256 回 あの、「General Search」、一般検索のほうを選んでいただければ。
 257 相 これでも先ほどのような、
 258 回 そう//ですね。
 259 相 キーワードから探すことがで//きる。
 260 回 キーワードとか著者から//探せます。
 261 相 著者検索。
 262 回 はい。
 263 相 はい、わかりました。

261 相 もう一つ、お聞きしたい//のですが、
 262 回 はい、なんでしょう。
 263 相 なんかね、以前ですね、
 264 回 はい。
 265 相 理系の、
 266 回 はい。
 267 相 理系のほうの文献だと、
 268 相 あの、要約されて、
 269 相 論文が要約されて出てくる一、
 270 回 はい。
 271 相 サイトがあると、
 272 回 日本の論文対象のサイトですか、

273 回 それとも外国の論文ですか？
274 相 私が見たのは日本語で//した。
275 回 日本語ですか？
276 相 はい。
277 相 あれで、ぶ、なんていうか、
278 相 文系のほうの、要約が出てくるようなサイトとかあるんでしょうか。

C C 279 回 ものによりますね。
相 1 280 回 さっきの、えーっとね、
回 281 回 うーんとね、あのー、文献の要約が出る、理系の、あー、違う、
答 282 回 要約の出る、ぶ、理系の文献のサイトっていうのは、おそらく、あのー、かつて、
提 283 回 「JDream」って言ってたやつで、
供 283 回 今は、えーっと、{ j パソコンを操作する } あっ、これ//ですね、「JDream」。
の 相 そうですね。
話 284 回 これのことだろうと思うんですけどもー、
段 285 相 はい。
286 回 これは残念ながら、えーっと、自然科学、それから、工学専用なんですね？
287 相 あー。
288 回 自然科学、工学に関わる、日本国内で刊行された資料の検索、に使うものなので、
289 回 えー、
290 回 これの、なんか文系版みたいな//のは、ないんですか？
291 相 文系版は、あいにく、な//いですね。
292 相 {笑い} わかりました。
293 回 あのー、国内//のものだとー、
294 相 はい。
295 回 これしかないと思います。
296 相 ー。
297 回 で、国内刊行のものは、理系のものしか、
298 相 うーん。
299 回 要約つきでは、原則としては探せない//と思います。
300 相 うーん。
301 回 外国の論文につきましては、えーっと、{ j パソコンを操作する }
302 回 うーんとですね、この「ingenta」っていうデータベースは、えー、データベースが
確か、あー、要約が確か、ついてます。
303 相 あっ、あの文系でも。
304 回 はい、そ//うです。
305 相 あー、そうで//すか。
306 回 はい。
307 相 あー、ありがとうございます。
308 回 はい。

C C 309 相 (それじゃあ、)
2 310 回 ingentaは、これ、料金無料で、学内のどこからでもアクセス、
回 311 相 学外でも、
答 312 回 学内学外どち//らでも、あのー、アクセスできます。
確 313 相 あー、そうですか。
認 314 相 あー、なるほど。
315 相 これ、普通に、例えばキーワードとか著者を入れて、
316 回 そうです。
317 回 みんな同様に、キーワード(?)、//あのー、キーワードなら、
318 相 あのー、
319 相 要約も、出てく、一緒に出てくる感じですか。
320 回 全部ではないんですけども、
321 相 //うーん。
322 回 相当のに付いてくるんです。
323 回 はい。
324 相 うーん。

C C 325 回 それから、この「Linguistics Abstracts On Line」は、すみません、私、不勉強
1 326 回 で、
回 326 回 まだ//中は具体的に見てないんですけども、
答 327 相 いえ。

小
話
段

提
供

328 回 これも要約，付いてるんじゃないでしょうかね。
329 回 どうでしたかね。
330 相 {笑い} わかりません。
331 回 {笑//い}
332 相 一応見てみます。
333 回 検討してください。
334 相 はい，ありがとうございます。

D
相
談
終
了

335 回 以上でよろしいでしょうか。
336 相 はい。
337 相 はい，ありがとうございます。
338 回 はい。
339 ー {n 椅子から立ち上がる}
340 回 はい，失礼しまーす。

【資料9】レファレンスの相談の談話(2004.7.26(月))

小
話
段

A 相 談 開	1	相	すみません、（お願いいたします）。
		2 回	どうぞ。
B 相 談 か け の 話 段	B 1 相 談 提 示	3 相	あのですね、この一、えっと、文献なんですけれども一、
		4 回	はい。
		5 相	WINEで検索しましたら一、
		6 回	はい。
		7 相	戸山、には「雑誌」っていうふうに、書い、きこまれてあるんですね//一。
		8 回	戸山の//雑誌。
		9 相	はい。
		10 相	で、中央一、ここには置いてないってということなんですか？
		11 回	えっと、これは、
		12 相	はい。
B 2 相 談 内 容 確 認		13 回	雑誌名は、これ（は）、『文藝言語研究言語篇』になります、//か？
		14 相	ええ、はい。
		15 相	こ//れは、
		16 回	筑波大学文芸・言語学系で//しょうかね。
		17 相	は、はい。
		18 一	{h パソコンを打って検索する}
C 相 談 う け の 話 段	C 1 回 答 提 供 の 小 話 段	19 回	文芸言語研究言語篇。
		20 回	そうですね。
		21 相	あっ、//はい。
		22 回	戸山だけですわ。
		23 回	なので一、えーっと、戸山に行って一、
		24 相	あっ。
		25 回	利用して//いただくって//いうことになるんですよ。
		26 相	はあ。
		27 相	ええ。
		28 相	はあ、あ一、そうですか。
C 2 回 答 確 認 の 小 話 段	C 2 回 答 確 認 の 小 話 段	29 回	は//い。
		30 相	あたし、この、雑誌というのは、その一、//本の番号とかはつ
		31 回	いてないんですか？
		32 回	えーっと、ここが番号ですね。
		33 相	フの078//というのが番号になって//ます。
		34 相	あっ、そうなんですか。
		35 回	はい、どうぞ。
		36 相	(?)を//して。
		37 回	はい。
		38 相	え。{K パソコンの画面を見ながらメモをとる}
C 1 回 答 提 供 の 小 話 段	C 1 回 答 提 供 の 小 話 段	39 相	だいじょぶですね。
		40 回	はい。
		41 回	それで、お使いになりたいのは、11号。
		42 回	そうですね、大丈夫ですね。
		43 回	1 から45一まで持っ//ていて、
		44 相	あっ、はい。
		45 回	それい、以降も継続するっていうことに(?)ので一。
		46 相	//はい。
		47 回	はい。
B 相 談 か け	B 1 相 談 提 示	48 相	すみません、あの、戸山キャンパスってわかんない//んですけども一。
		49 回	あっ、ちょっとお待ちください
		50 相	ね。
C 相 談 う け 提	C 1 回 答 提 示	51 一	{h 地図を持ってくる}
		52 回	(?)、今こちら、ここが//中央図書館になります。
		53 相	あっ、はい。
		54 回	で、中央図書館を出ましたら一、
		55 相	はい。

小
話
段

の
話
段

56 回 右手のほうに、坂をずーっと上がっていただくとー、
57 相 はい。
58 回 早稲田通りに、ぶ、突き当たるんですね？
59 相 あっ。
60 回 で、早稲田通りが、ここなんですけど。
61 相 正門ー//は。
62 回 正門はね、ここ//です。
63 相 あっ、{笑い} //すい（ません）。
64 回 （？）正門、こちらのほう。
65 回 正門のほうがわかりやすいですか？
66 相 {笑い} そうですね、//なんか（？）//できれば。
67 回 {笑い}
68 回 地下鉄の早稲田駅はわかり//ますか？
69 相 は、はいはい。
70 回 地下鉄の早稲田駅は、ここですね。
71 相 はい。
72 回 で、早稲田駅を出て、
73 回 ここに、穴八幡とか、交番がある、角//はわかります？
74 相 はい。
75 相 あっ、はい。
76 回 はい。
77 回 で、地下鉄のほうから来るとー、
78 相 ええ。
79 回 ここをあの、左のほうに曲がると、
80 回 ここが、あの、文学部の入り口になるんですけれ//ども、
81 相 うん、はい。
82 回 で、文学部の図書館が、こちらになりますね。
83 回 こう、入っていただいて、
84 相 はい。
85 回 一番、この、左奥の建物になります。

C 86 相 あっ、ここ番号には、
2 87 回 はい。
回 88 相 //（？）られないんですか？
答 89 回 （？）です。
確 90 回 うーんとですね、戸山キャンパ、戸山図書館、3//8号館の1ですね。
認 91 相 8（号館）。
の 92 相 はい。
小 93 回 えー、38の1。
話 94 相 （？）
段 95 回 はい。
96 回 1階に、あの、生協の//カフェテリアとかがある、//建物なので、
97 相 はい。
98 相 はい。
99 相 あっ、
100 回 すぐに//わかると思います。
101 相 はい。
102 相 はい。
103 回 はい。

け B 提 B
相 示 1
談 か 相 談
104 相 なんか、私、レファレンスカウンターで、本、と、あの、取り寄せてくれるって話聞
いたんですけれどもー。
105 回 あっ、はい。

C C 106 回 えっとー、戸山のー、そうですね、
相 107 回 もし、でしたら、雑誌のコピーでよろしければ、
談 108 相 はい。
う 109 回 取り寄せはできるんですけれどもー。
け 110 相 あっ、あー。
の 111 相 雑誌だったら、
話 112 相 コピーはできると//いう（感じで）。
段 113 回 雑誌には、はい。
114 回 向こうにいらして、
115 回 コピーをすることも、勿論できますしー、
116 相 ええ。
117 回 それから、コピーだけの取り寄せ、

小話
話話
段段

118 回 雑誌は、取//り寄せることができないんですよ。

119 相 あっ。

120 相 あっ、そうなんですか？

121 回 はい。

122 相 へー。

C
2
回
答
確
認

123 相 じゃ、それで、ここで受け取ることができるって//ことですか？

124 回 そうですね。

125 回 申し込んだ所で受け取ることが//できるんです。

126 相 あー。

127 相 あー、そうですか。

128 回 はい。

B
相
談
か
け

B
1
相
談
提
示

129 相 じゃ、それをお願いしても、

130 回 いいですよ。

131 相 いいですか？

132 相 はあ、すいません。

C
相
談
う
け
の
話
段

C
1
回
答
提
供
の
小
話
段

133 ー {h 用紙を出す}

134 回 こちらに書いていただけ//ますか？

135 相 あっ、はい。

136 回 はい。

137 ー {k 用紙に記入する}

138 回 あっ、ごめんなさい。

139 相 はい。

140 回 これがね、こちらに書いていただくタイトルだったので、

141 相 はい。

142 回 ここには一、この、えー、『文藝言語研究言語//篇』というのを書いていただきたかったので、

143 相 あっ、あっ。

144 相 じゃ、//もう、

145 回 ここにあとで『文藝言語研究言語篇』っていうのを書いて、

146 相 うん。

147 回 矢印を//こういうふうにしてくだ {笑い} さい。

148 相 {笑い} そうですね。

149 相 すい//ません。 {笑い}

150 回 はい。

151 回 それでわかりますから。

152 ー {k 用紙に記入する}

153 相 で、こっちが、

154 回 に、雑誌の//（？）、そうですね、はい。

155 相 は、はい。

156 相 で、矢印 {笑い} //入れて。

157 回 そうですね。

158 回 それでわかります。

159 回 で、書いた方//のお名前は。

160 相 えー。

161 回 えっと、それはね、こちらですね。

162 相 {笑い} ごめんな//さい。

163 回 すみませんね。 {笑い}

164 相 それで著者が、

165 回 巻号が11で//すか？

166 相 11号、はい。

167 回 で、ページはわからないんですね？

168 相 はい。

169 回 はい。

170 相 で一、これが1。

171 回 それで、コピーのところにチェックをしてください//て、

172 相 はい。

173 回 えーと、お支払いは、何か、//研究費とかがついてますか？、

174 相 あっ。

175 回 ついて//ません。

176 相 ないです、 {笑い} //はい。

177 回 じゃあ、私費のところ。

178 相 はい。

179 回 はい。

180 回 で、ファックスで取り寄せになりますので、

小
話
段

181 相 はい。
182 回 1 枚20円になります//けど、
183 相 あっ、20円、はい。
184 回 よろしいです//か？
185 相 はい、わかりま//した。
186 回 はい。
187 相 お願いします。
188 回 はい、じゃあ、お預かりいたし//ます。

C
2
回
答
確
認
の
小
話
段

189 相 で、いつ、いつ頃一。
190 回 えっとですねー、
191 相 はい。
192 回 えっと、お昼過ぎまでには届くと思います。
193 回 今日中には少なくとも、必ず届いていますので。
194 相 あっ、そうですか。
195 回 はい。
196 相 じゃあ、
197 回 特にご連絡はしませんので、
198 相 あっ、はい。
199 回 適当な時間、午後でしたら、
200 回 大丈夫だと思います。
201 相 午前中でも、間に//あ、
202 回 午前中、
203 相 12時//過ぎ、
204 回 (?) 2時間ぐらい//は、あの、余裕を見て//いただいているので、
205 相 2時間ぐらいですか。
206 相 あっ、はい。
207 回 あとは、ちょっと戸山の混み具合、//ですから、
208 相 あっ、そうですか。
209 回 お昼過ぎのほうが無難だと思います。
210 相 わかりました。

D
相
談
終
了

211 相 お願いし//ます。
212 回 はい、お預かりいたします。
213 相 あっ、これー、
214 回 どうぞ、//お持ちになってください。
215 相 (?) ありがとうございます。
216 相 よろしくお願いしまー//す。
217 回 はい、お預かりしまーす。

みんなの日本語(1998)
スリーエーネットワーク
第17課

- 文型 1. ここで 写真を 撮らないで ください。
2. パスポートを 見せなければ なりません。
(見せないといけません)
3. レポートは 出さなくても いいです。

会話
どう しましたか
医者:d, 松本:m

話 小
段 話
段

B 相談 かけ の話 段	B1相談 提示の 小話段	1 医者	どう しましたか。
		2 松本	きのうから のどが痛くて、
		3 松本	熱も少しあります。
		4 医者	そうですか。
		5 医者	ちょっと 口を 開けて ください。
		6	-----
C 相談 うけ の話 段	c1回答提供 の小話段	7 医者	かぜですね。
		8 医者	ゆっくり 休んで ください。
	c2回答確認	9 松本	あのう、あしたから 東京へ 出発しなければ なりません。
	c1回答提供 の小話段	10 医者	じゃ、薬を 飲んで、
		11 医者	きょうは 早く 寝て ください。
		12 松本	はい、わかりました。
D相談終了の話段		13 医者	じゃ、お大事に。
	14 松本	どうも ありがとう ございました。	

新文化初級日本語 I (2000)

文化外国語専門学校

第16課 病院

目標

病気やけがをした時、病院で自分の症状が説明でき、
医師や看護婦の簡単な説明が理解できる。

例文・説明

1. 階段から落ちたんです。
2. A: まだ痛いですか。
B: いいえ、もう痛くありません。
3. もう少しかかるかもしれません。
4. お風呂に入らないでください。
5. 治るまでお風呂に入らないでください。
6. (1) 寝る前に、はりかえてください。
(2) ごはんを食べた後(で)、飲んでください。

アルン：相談者，医者：回1，患者：回2

話
段
小
話
段

		本文1	階段から落ちて、ひざを打ったんです。 (中村外科病院で)
A	相談開始 の話段	1 アルン	すみません。
		2 アルン	初めてなのですが…。
		3 看護婦	保険証はありますか。
		4 アルン	はい。
		5	.
		6 看護婦	では、そちらの待合室でお待ちください。
		7	.
		8 看護婦	アルンさん、どうぞ。
		9 アルン	はい。
		10	.
B	相談 かけ の話 段	11 医者	どうしたんですか。
		12 アルン	階段から落ちて、
		13 アルン	ひざを打ったんです。
	B2相談 内容確 認の小 話段	14 医者	いつですか。
		15 アルン	おとといです。
		16 医者	どうしてすぐ来なかったんですか。
		17 アルン	だいじょうぶだと思ったんです。
		18 アルン	でも、だんだん痛くなって、
		19 アルン	冷やしたんですが、
		20 アルン	まだ痛いんです。
C	相談 うけ の話 段	c1回答	ちょっと見せてください。
		22 アルン	ここなんです。
		23 医者	少しはれていますね。
		24 医者	レントゲンを撮りましょう。
		25 アルン	はい。
		26	(レントゲン写真を見て)
		27 医者	ううん、骨に異状はありません。
		28 医者	しつぷ薬をあげますから、
		29 医者	毎日はりかえてください。
		30 アルン	はい。
		31 医者	痛みどめの薬もあげます。
		32 アルン	あのう、すぐ治りますか。

小
話
段

	33 医者	4、5日で治ると思いますが、
	34 医者	もう少しかかるかもしれません。
	35 アルン	そうですか。
	36 医者	治るまでお風呂に入らないでください。
	37 医者	激しい運動もしないでください。
c2回答 確認の 小話段	38 アルン	先生、シャワーもいけませんか。
	39 医者	いいえ、シャワーはいいですよ。
	40 アルン	はい。
	41 アルン	どうもありがとうございました。
	42 ———	
c1回答 提供の 小話段	43 看護婦	アルンさん。
	44 看護婦	これ、しつぷ薬です。
	45 看護婦	毎日寝る前に、はりかえてください。
	46 看護婦	それから、これは痛みどめです。
	47 看護婦	食後に飲んでください。
c2回答 確認の 小話段	48 アルン	えっ、「しょくご」ですか。
	49 看護婦	ええ。
	50 看護婦	ごはんを食べた後で、飲んでください。
	51 アルン	はい。
	52 アルン	食べた後ですね。
D 相談終了 の話段	53 看護婦	今日は、5, 250円です。
	54 看護婦	これは診察券です。
	55 看護婦	この次から持って来ててください。
	56 アルン	保険証は要らないんですか。
	57 看護婦	ええ、診察券だけでけっこうです。
	58 看護婦	ほかに、わからないことはありませんか。
	59 アルン	だいじょうぶです。
	60 アルン	どうもありがとうございました。
	61 看護婦	おだいじに。

新日本語の基礎Ⅱ 〈本冊 漢字かなまじり版〉(1993)
スリーエーネットワーク
第32課 会話 病院で
文型

1. すぐ 病院へ 行った ほうが いいです。
2. あしたは たぶん いい 天気でしょう。
3. 午後から 雪が 降るかも しれません。

相談者－ ナロン, 回答者－医者

話 段	小 話 段		
B 相談 かけ の 話 段	B1相談 提示の 小話段	1 医者	どう しましたか。
		2 ナロン	おとといから のどが 痛くて、
		3 ナロン	せきが 出るんです。
		4 医者	じゃ、シャツを 脱いで、
		5 医者	そこに 横に なって ください。
C 相談 うけ の 話 段	c1 回 答提供 の 小 話 段	6
		7 医者	なぜですね。
		8 ナロン	そうですか。
B 相談 かけ の 話 段	B2相談 内容確 認の 小 話 段	9 医者	アレルギーは ありませんか。
		10 ナロン	ありません。
		11 医者	じゃ、薬を 3日分 出します。
C 相談 うけ の 話 段	C2回答 確認の 小 話 段	12 ナロン	あのう、会社へ 行っても いいですか。
		13 医者	ええ、大丈夫でしょう。
		14 ナロン	おふろは？
		15 医者	きょうは 入らない ほうが いいですね。
		16 ナロン	わかりました。
D相談終了		17 ナロン	ありがとう ございました。
		18 医者	お大事に。

日本語映像教材 初級編 日本語でだいじょうぶ
(1996) 国立国語研究所

セグメント 23 これはどうですか ー相談するー
(ストーリー I 「勉強」(f))

登場人 相談者ー張 玉萍(中国人、日本語学校学生) 回答者ー図書館職員
物 (学校の近くの図書館の職員)

話
段
小
話
段

場面(1)図書館のカウンター。		
A相談開始の話 段	1 張	すいません、……。
	2 職員	はい。
B相 談 か け の 話 段	B1相談	3 張 あのを、日本がアジアから輸入している物のことをしらべているんですが。
	提示の	4 職員 あ、ぼうえきですか。
	小話段	5 張 はい、何かわかりやすい本はないでしょうか。
	B2相談	6 職員 アジアからの輸入についてわかりやすく書いた本。……
	内容確	7 職員 うーん、輸入というと、どんな物を輸入しているかとか、
	認の小	8 職員 どうやって運ぶかとか、
	話段	9 職員 いろいろな問題がありますよねえ。
		10 張 ええ、とくに、東南アジアからの輸入品のしゅるいのことを。
		11 職員 ……そうですね。
		12 職員 日本語でいいんですね。
		13 張 はい。
		14 張 できるだけ新しいのを。
C相 談 う け の 話 段	C1回答	15 職員 こんなのはどうですか。
	提供の	16 張 ええと、「アジアの経済と日本」、現代経済研究所編。
	小話段	17 職員 それから、これもいいかもしれません。
		18 職員 工業せいひんについては、これがいちばんくわしいと思いますよ。
		19 職員 え、3年前だから、
		20 職員 ちょっと古くなっているかもしれませんけど。
		21 張 あ、でも、いちおう見てみます。
		22 職員 ええと、「アジアの経済と日本」、現代経済研究所編。ここで見ますか。
		23 職員 それとも、借りてゆきますか。
		24 張 ええと、ちょっと時間がないので、
		25 職員 じゃ、こちらへどうぞ。
		26 張 はい、ありがとうございます。
D相談終了の 話段		27 職員 あと、その本の参考文献のリストを見ると、
		28 職員 もっといろんな本が出ているでしょう。
		場面(2)貸し出しカウンター。
		29 職員 それじゃ、ちょっと貸してください。
		30 張 はい。
		31 職員 貸し出しカードはありますね。
		32 張 はい。
		33 職員 はい、どうぞ。
		34 張 どうも。
		35 職員 貸し出しは2週間ですから、
		36 職員 3月ついたちまでに返してください。
		37 張 はい。
		38 張 どうもありがとうございました。

楽しく聞こう 文化初級日本語聴解教材
(1992) 文化外国語専門学校

第16課 「病院」pp.46-51
病気の症状や処方箋の指示を聞く
文法・文型 ～より～んです。

時間 6分41秒

小
話
段

Ⅱ-1. 3人の人が風邪をひいています。テープを聞いて、症状の記号を書きなさい。記号はⅠの中から選んでください。
1. マリーさん

A相談開始の 話段	1	医者	マリーさんどうぞ。
	2	患者	はい。
B相談 提示の 小話段	3	医者	どうしたんですか。
	4	患者	はい、あのう、気分が悪いんです。
	5	医者	ちょっと見せてください。
	6	医者	口をあけて…
	7	医者	ああ、はれてますね。
	8	患者	はい、のどが痛いんです。
	9	医者	ふうん、のどが痛い…。
	10	患者	それに、寒気もするんです。
	11	医者	顔が赤いですね。
	12	医者	ちょっと熱があるかもしれませんね。
C相談 提供の 小話段	13	患者	はい、今朝測ったら
	14	患者	熱が38度でした。
	15	医者	食欲はありますか。
	16	患者	あまりありません。
	17	医者	これは風邪ですね。
	18	医者	じゃあ、ちょっと待ってください。
	19	医者	今カルテを書きますから、
	20	医者	後で薬をもらってください。
	21	医者	うがいもしてください。
	22	患者	はい、ありがとうございます。
D相談終了の 話段	23	医者	はい、お大事に。
			2. リンさん
A相談開始の 話段	24	医者	リンさんどうぞ。
	25	患者	はい、おねがいします。
B1相談 提示の 小話段	26	医者	どうしたんですか。
	27	患者	あのう、きのうから食欲がないんです。
	28	患者	なんだかむかむかするんです。
	29	医者	ふうん、吐き気がするんですね。
B2相談内 容確認の 小話段	30	医者	何か悪いものを食べましたか。
	31	患者	いいえ、食べませんでした。
	32	医者	ふうん。
B1相談 提示の 小話段	33	患者	あのう、それから、くしゃみがとまらないんです。
	34	医者	くしゃみ。
	35	患者	はい。
	36	患者	鼻水もでるんですが…。

小
話
段

段 C 相談 う け の 話	C1回答 提供の 小話段	37 医者	じゃあ、風邪ですね。
		38 医者	胃をやられたんですよ。
		39 患者	はあ、風邪ですか。
		40 医者	ええ、じゃあ、薬をあげますから、
		41 医者	後でもらって
		42 医者	飲んでください。
D相談終了の話 段		43 患者	はい、ありがとうございました。
		44 医者	はい、お大事に。
3. パクさん			
A相談開始の話 段		45 医者	パクさんどうぞ。
		46 患者	はい。
B 相談 か け の 話 段	B1相談 提示の 小話段	47 医者	どうしたんですか。
		48 患者	先生、頭が痛いんです。
		49 患者	とても痛いんです。
		50 医者	熱があるみたいですね。
		51 医者	ちょっと測ってみましょう。
		52 医者	…あれ、40度もありますよ。
		53 患者	ええっ。
		54 患者	…それに(ゴホゴホ)咳がとまらないんです。
	B2相談内 容確認の 小話段	55 医者	鼻はどうですか。
		56 患者	あの、鼻は…つまってるみたいです。
段 C 相談 う け の 話	C1回答 提供の 小話段	57 患者	においがしません。
		58 医者	ううん、これは完全に風邪ですね。
		59 医者	ちょっと注射を1本打ちましょう。
		60 医者	後で薬もあげますよ。
		61 医者	よく寝て、
		62 医者	よく休んでください。
D相談終了の 話段		63 患者	はい、ありがとうございます。
		64 患者	じゃあ、注射を打ちますから、
		65 医者	待っていてください。

楽しく聞こう 文化初級日本語聴解教材
(1992) 文化外国語専門学校

第34課 「身の上相談」pp.48-49

身の上相談の手紙とお礼の手紙をもとにアドバイスを聞く

文法・文型 使役形

相談者－a子 回答者－石井i, 田中t, 鈴木s, 司会者

小
話
段
話
段

悩み相談の手紙

B 相談 かけ の話 段	B1 相談 提示 の小 話段	1	高校生	の娘を持つ母親です。
		2	娘はひとりっ子で	高校2年になりますが、
		3	最近、	学校へ行かなくなってしまって、
		4	どうしたらいいか	悩んでいます。
		5	1年の時は	元気に学校に通っていたのですが、
		6	急に	学校が嫌いになったようです。
		7	ときどき、「どうして	英語や数学を勉強しなくちゃいけないの?」と言って
		8	母親の私を	困らせます。
		9	最近は	学校にも行かないで
		10	渋谷や新宿に	出かけて、
		11	夜、遅くうちに	帰ってきます。
		12	私が	学校でのことを心配して注意しても
		13	「もう学校を	やめるからいいの。」と言って
		14	私の言うことを	聞きません。
		15	どうしたらいいの	でしょうか。
A 相談 開始 の 話 段	A 相談 開始 の 話 段	16	司会	ええ、お昼のワイドショー身の上相談の時間です。
		17	司会	皆様、ご機嫌いかがですか。
		18	司会	ええ、今日はこういうお手紙をいただきました。
		19	司会	高校生のお子さんの問題でお悩みのa子さんのケースですが、
		20	司会	ええ、今日は実はa子さんにこのスタジオに来ていただいていますので、
		21	司会	実際にお話をうかがいながら
		22	司会	皆様のご意見をお話いただきたいと思います。
		23	司会	ゲストの方々は、東東大学教授の石井先生(石井:よろしく。),
		24	司会	作家の鈴木先生(鈴木:どうぞよろしく。),
		25	司会	そして、教育評論家の田中先生です(田中:よろしくお願いします。).
		26	司会	先生方、よろしくお願い致します。
		27	司会	それではさっそくですが、このa子さんの悩みについて、どのように解決
		28	司会	したらよいか、
C 相談 うけ の話 段	c1 回答 提供 の小 話段	29	司会	ええ、では、石井先生いかがでしょうか。
		30	石井	ええ、そうですね。
		31	石井	私は子供の好きなようにさせるのがいいと思いますね。
		32	石井	まあ、無理に学校へ行かせたり
		33	石井	やりたくない英語や数学をやらせるより、子供の好きなこと、たとえば、
		34	石井	料理が好きなら
		35	石井	料理を作らせたり、
		36	石井	絵が好きなら
		37	石井	絵をかかせたりしたほうがいいと思いますね。
		38	石井	学校はやめてもいいんじゃないですか。
B相談	B2	39	石井	勉強はしたい時にすればいいんですよ。
			石井	a子さん、娘さんはどんなことが好きなんですか。

小
話
段

かけの 話段	相談内 容確認	40 a子 41 a子	そうですね。 何が好きか、ちょっと…。
C 相談 うけ の話 段	c1回 答提 供の 小話 段	42 田中 43 田中 44 司会 45 田中 46 田中 47 田中 48 田中 49 田中 50 田中	学校をやめるというのは、少し問題があると思いますね。 …あもう、私が今言ってもいいですか。 ええ、どうぞ、田中先生。 私は親と一緒に子どもの問題を考えなくてはいけないと思うんです。 例えば、子供が学校に行きたくないと言ったら、 一緒に学校まで行ってあげる、 また、宿題でわからないところがあったら 親も一緒に考えてあげる、とかですね…… 最近の高校の問題は難しいですからね。
B 相談 かけ の話 段	B2相 談内 容確 認の 小話 段	51 田中 52 a子 53 a子 54 a子 55 a子	どうですか、a子さん、今までお子さんと一緒に勉強するということがあ りましたか。 いいえ、私は勉強のことはよくわかりませんので… それにうちの娘は小さい時からよく勉強する子で、 よく1人で勉強していましたので 大丈夫だと思っていたんです。
C 相談う けの話 段	c1回 答提 供の	56 田中 57 田中 58 a子	ううん、大丈夫だと思ってねえ…… とにかく無理にでも学校へ連れて行くことが大切です。 はい…。
B相 談か けの 話段	B2相 談内 容確 認の 小話 段	59 司会 60 鈴木 61 司会 62 鈴木 63 鈴木 64 a子 65 a子 66 鈴木 67 a子 68 a子 69 a子 70 司会	あもう、鈴木先生はどうお考えですか。 はい、ええと、ちょっとaさんに質問してもいいですか。 ええ、どうぞ。 それでは、aさんにご質問しますが、 aさんは今お仕事をしていっぱいいますか。 いいえ、結婚してから仕事はしていません。 家庭の主婦です。 じゃあ、今、aさんにとって、いちばん関心のあることは何ですか。 それはもちろん娘のことです。 娘の問題を考えると、 夜も寝られないんです。 そうですね。
C相 談う けの 話段	c1回 答提 供の 小話 段	71 司会 72 石井 73 石井 74 石井 75 石井 76 鈴木 77 司会 78 鈴木 79 鈴木 80 田中 81 田中 82 田中 83 鈴木 84 鈴木 85 鈴木 86 鈴木 87 鈴木 88 鈴木 89 鈴木	石井先生、いかがでしょう。 んん…。 やっぱり1度学校をやめさせたらどうですか。 そして、音楽や絵を習わせたほうがいいですよ。 学校は意味がありません。 あの、いいですか。 あ、鈴木先生、どうぞ。 私はお母さんが自分自身の好きなことをやればいいと思うんですよ。 いつも子供のためとか、家族のために何かをするというのは、本当に 子供の問題に答えることはできないと思うんですよ。 鈴木先生、それはどういうことですか。 今は娘さんの問題であって、 お母さんの問題ではないと思うんですが…。 ええ、でも、親の生き方が子供に影響を与えると思うんです。 いつも子どものことばかり考えて、 子供に何かさせようとするのはよくないと思うんです。 親も自分のやりたいことを持って いつも努力していれば、 子供もそれを見て 学ぶことができるんじゃないかと思うんですよ。

小
話
段

c1回			鈴木先生も、石井先生も、もっとお子さんの学校のことや勉強のことを
答提	90	田中	考えてくださいよ。
供の	91	田中	最近は女の子でもみんな大学に進学していますからねえ。
小話	92	田中	例えば、お母さんが勉強がわからないなら、
段	93	田中	いい家庭教師をさがして
	94	田中	勉強を教えてもらおうというのもいいと思いますけどね。
D相談終了	95	司会	ええ、皆さんからいろいろなご意見が出ましたけど、
の話段	96	司会	a子さん、参考になったでしょうか。
	97	a子	はい、いろいろなアドバイスをいただきましたので、
	98	a子	また、うちへ帰って考えてみたいと思います。
	99	a子	ありがとうございました。

『日本語中級 I』 1990 国際交流基金日本語国際センター
9課「子供の病気」pp.73～83

【会話文】 pp.73-75

登場人物: マリー

看護婦

医師

場面: 子供の具合が悪くなり、医師の診察を受ける

1. 電話口で

2. 病院で

話
段

小
話
段

A 相談 開始 の 話 段	(電話口で)	
	1 マリー	もしもし。
	2 看護婦	はい、山本医院です。
	3 マリー	リーと申しますが、
B 相談 かけ の 話 段	4 マリー	夜分申しわけございません。
	B-1相談提示	5 マリー 子供が急に熱を出しまして……。
	B-2相談 内容確認 の小話段	6 看護婦 どんな具合ですか。
		7 マリー 夕方から元気がなくなって、
		8 マリー さきほど熱を計ってみましたら、38度もあるのです。
		9 看護婦 お子さんはおいくつですか。
		10 マリー 三つの男の子です。
		11 看護婦 せきが出ますか。
		12 マリー はい、こんこんと、ときどきたんのつまったようなせきをします。
		13 看護婦 吐き気はありませんか。
		14 マリー 吐き気はないようですが、
		15 マリー 冷たい飲み物をほしがります。
		16 看護婦 そうですか。
	B-1相 談提示 の小話 段	17 マリー 今からお伺いしてもよろしいでしょうか。
		18 看護婦 ちょっとお待ちください。
A相談開始 の話段		19 マリー はい。
		20 看護婦 お待たせしました。
		21 看護婦 先生にお話ししておきましたから、
		22 看護婦 どうぞおいでください。
		23 マリー どうもありがとうございます。
	(医院で)	
		24 看護婦 リーさん、どうぞ診察室にお入りください。
		25 マリー はい。
B 相談 かけ の 話 段	B-1相 談提示 の小話 段	26 医師 どうしましたか。
		27 マリー この子が急に熱を出して、
		28 マリー 元気がないのです。
		29 医師 熱を計ってみましょう。
		30 医師 体温計をわきの下にはさんでください。
		31 医師 はい、そうです。
		32 医師 38度5分ありますね。
		33 医師 口をあけて。
		34 医師 はい、あーんをして。
		35 医師 のどが赤いですね。
B-1相 談内容 確認の 小話段		36 医師 食欲はありますか。
		37 マリー 食べ物はあまりほしがりません。
		38 医師 げりは。
		39 マリー げりはしていません。

話 段	小 話 段		
		40 医師	ちょっと服を脱がせてください。
		41 マリー	はい。
		42 医師	おなかをみせてください。
		43 医師	はい、じゃ、後ろを向いて。
		44 医師	はっしんは出ていませんね。
C 相談 うけ の話 段	C-1回 答提示 の小話 段	45 マリー	いかがでしょうか。
		46 医師	そうですね。
		47 医師	肺炎をおこすといけませんから、
		48 医師	注射を打っておきましょう。
		49 医師	解熱剤をあげますから、
		50 医師	二、三日様子をみてください。
		51 医師	あたたかくして
		52 医師	静かに寝かせてあげてください。
		53 マリー	はい。
		54 医師	心配はいらないと思いますが、
D 相談 終了		55 医師	熱が下がらないようでしたら
		56 医師	もう一度おいでください。
		57 マリー	夜分とつぜんで申しわけございませんでした。
		58 医師	どうぞお大事に。
		59 マリー	どうもありがとうございました。

『現代日本語コース中級Ⅱ』名古屋大学総合言語センター日本語学科（1990）
 第8課 助言する pp. 207-234
 会話1 研究室で
 アリス：相談者，先生：回答者

話 段	小 話 段		
A 相談 開始 の話 段		1 アリス	先生、今よろしいでしょうか。
		2 先生	うん。
		3 先生	いいですよ。
		4 先生	何ですか。
B 相談 かけ の話 段	B-1相 談提示 の小話 段	5 アリス	あのう、このあいたの論文、見てくださいましたか。
		6 先生	うん。
		7 先生	なかなかよかったですよ。
		8 先生	がんばったね。
		9 アリス	いえ……。
		10 先生	うーん。
		11 先生	ええと、どこにしまったかなあ。
		12 先生	あ、ここ。
		13 先生	ここ。
		14 先生	あった。
		15 先生	あった。
		16 アリス	あのう、第2章のところがあまりよくないんじゃないかなあと思 うんですけど。
		17 先生	あ、ここね。
		18 先生	うん、そうね。
		19 先生	ちょっとごちゃごちゃしてるなあ、たしかに。
		20 アリス	ええ。
C 相談 うけ の話 段	C-1回 答提供 の小話 段	21 先生	思いきって短くしたらどうですか。
		22 先生	次の章がメインなんだからね。
		23 アリス	はい。
		24 アリス	じゃ、ちょっと書きなおしてみます。
		25 先生	うん。
		26 先生	あとはいいいんじゃないですか。
		27 アリス	はい。
D相談終 了		28 アリス	ありがとうございました。

『現代日本語コース中級 I《聴解ワークシート》解答・スクリプト編』
 (1992) 名古屋大学言語文学部日本語学科
 8B pp.81-82
 B 医療費補助の申請をする
 アリス(女性)が医療費の補助について学生係に聞きに行く。

話 段	小 話 段		
A相 談開		1 アリス	あのう、ちょっとすみませんが。
		2 学生係	はい。
B 相 談 か け の 話 段	B-1相談 提示の 小話段	3 アリス	先週、病院に行ったんですけど、
		4 学生係	はい。
		5 アリス	あのう、前にたしか医療費の補助が受けられるとか。
		6 学生係	あ、はい、はい。
	B-2相談 内容確 認の小 話段	7 学生係	ええと、何科にかかったんですか。
		8 アリス	内科です。
		9 学生係	じゃあ、この用紙に必要事項を書き込んで
		10 アリス	はい。
		11 学生係	医者の証明をもらってください。
		12 アリス	はい。
		13 学生係	あ、国保には入ってますよね。
		14 アリス	えっ、こくほ……。
		15 学生係	ええ、国民健康保険。
		16 アリス	ああ、あの、日本に来た時に入った保険ですか。
		17 学生係	ええ、ええ、それですよ。
		18 アリス	はい、入ってます。
C 相 談 う け の 話 段	C-1回答 提供の 小話段	19 学生係	この補助はね、
		20 アリス	ええ。
		21 学生係	国保に入っていないと受けられないんです。
		22 アリス	あ、そうですか。
		23 学生係	ええ、で、たとえばね、医療費が1万円かかったとするとね、
		24 アリス	ええ。
		25 学生係	その8割を国保が払ってくれるんです。
		26 アリス	はあ。
		27 学生係	だから、あなたは2割の2000円、まず払わなきゃいけないんですね、病 院で。
		28 アリス	ええ。
		29 学生係	で、そのあなたが払った分の8割を国際教育協会が払ってくれるんで す。
		30 アリス	ああ、そうですか。
		31 アリス	そうすると……。
		32 学生係	うん、ですから、結局、自己負担は400円ね。
		33 アリス	ああ、そうですか。
		34 学生係	ええ、だから、この前あなたが払った額の8割をね、協会が補助してく れるんですよ。
		35 アリス	わあ、私の場合はいくらぐらいになるかなあ。
	C-2回答確 認の小話段	36 アリス	あのう、きょう申請すると、
		37 アリス	どのぐらいでもらえるんですか。
	C-1回答 提供の 小話段	38 学生係	ちょっと遅くなりますよ。
		39 アリス	はあ。
		40 学生係	ここから本部のほうへ申請して、
		41 学生係	そして、本部から協会のほうへ申請するわけですからね。
		42 アリス	はあ。
		43 学生係	で、ちょっとでも書類がまちがってたりするとね、

話 小
段 話
段

44 学生係 たとえばサインがなかったり、
45 学生係 印鑑がなかったりするとね、
46 アリス ええ。
47 学生係 それだけまた余計に時間がかかりますからね。
48 アリス あ、そうですか。
49 学生係 ええ、とにかくお金をもらうわけですからね、
50 アリス ええ。
51 学生係 書類がきちんとしていて、
52 学生係 全部そろってないとだめですから。

C-2回答確認 53 アリス はい、で、いつごろになりますか。

C-1回答 54 学生係 そうですね。
提供の 55 学生係 はやくて1か月ぐらいかかると思っていてください。
小話段 56 アリス 1か月。
57 学生係 ええ。
58 アリス はい、わかりました。

D相談終 59 アリス どうもありがとうございました。
了

『現代日本語コース中級 I《聴解ワークシート》解答・スクリプト編』
 (1992) 名古屋大学言語文学部日本語学科
 15相 pp.74-75
 A 電話教育相談

話 段	小 話 段		
A相 談開 始の 話段		1 相談者 もしもし。 2 回答者 はい、どうぞ。 3 相談者 あ、よろしくお願いいたします。 4 回答者 はい。	
B 相 談 か け の 話 段	B 1 相 談 提 示 の 小 話 段	5 相談者 あのう、2年くらい前の、中学3年生の頃から 6 回答者 はい。 7 相談者 あのう、あれがきたないとか、 8 相談者 これがきたないとか言い出しまして、 9 回答者 はあはあ。 10 相談者 日に何度も全部着かえたりなんかしてたんですけど、 11 回答者 はあ。 12 相談者 高校生になりまして、 13 相談者 ま、はじめはあのう学校へ、まあ、なんとか行ってたんですけど、 14 回答者 ええ。 15 相談者 ま、あの、対象が、いろいろ変わるわけなんですね。 16 回答者 はいはい。 17 相談者 で、お友達にかばんをさわられたとか、 18 回答者 ええ。 19 相談者 服をよごされたとか、 20 相談者 友達のすることがいろいろ気になりだして、 21 相談者 2年生になってからは、いつも学校へ行く時乗るバスまでがずいぶん気になっ てきて、 22 回答者 はあ。 23 相談者 とうとうこわくなって 24 相談者 学校へ行けなくなってしまったんです。 25 回答者 はあ。 26 相談者 それで、あのう、出席日数が、あの、少なくて、 27 相談者 ま、留年ということになってしまったんですけど、 28 相談者 あのうでも、また来年からどっかよその学校で、 29 回答者 ええ。 30 相談者 もう一回2年生からやり直すと、 31 相談者 ま、本人の希望で、ま、そういうふうにしたんですけどね。 32 回答者 ええ。 33 相談者 ま、でもあと何か月間か 34 回答者 はい。 35 相談者 このまま家でぶらぶらしていると、 36 相談者 ま、不規則な生活にもなりますし、 37 回答者 はい。 38 相談者 それから、兄弟もおりませんので 39 回答者 はい。 40 相談者 あの一人っ子なものですから、 41 回答者 はあ。 42 相談者 話し相手もないし 43 回答者 ええ。 44 相談者 寂しくもあるし。 45 回答者 ええそうですね。 46 相談者 あのう、なんか、来年4月まで、	

小
話
段

	47 回答者	ええ。
	48 相談者	どこかの施設とか
	49 回答者	はい。
	50 相談者	ま、そういうような病院でもいいんですけど、
	51 相談者	入れたいと思うんです。
	52 回答者	はい。
	53 相談者	それで、あのう、教えていただきたいと思ひまして。
	54 回答者	あ、はい。
	55 相談者	よろしくお願いいたします。
	56 回答者	はい。
B 2 相 談 内 容 確 認 の 小 話 段	57 回答者	あのう、以前からそういう病院とか、施設とかということを希望していらっしゃいましたか。
	58 相談者	え、まあ。
	59 相談者	でも、あのう、高校1年までは休みながらでも、
	60 回答者	ええ。
	61 相談者	まあ、なんとか行ってもらえたので
	62 回答者	ええ。
	63 相談者	あのう、学校へね。
	64 回答者	はい。
	65 相談者	で、あのう、そのままやってたんですけども、
	66 回答者	ええ。
	67 相談者	あの来年からも学校に行ける間は、
	68 回答者	え。
	69 相談者	あの本人も行くって言ってますから、
	70 回答者	はい。
	71 相談者	なんとか、あの学校へ行かせて、
	72 回答者	ええ。
	73 相談者	で、ま、無事高校だけは卒業して
	74 回答者	はい。
	75 相談者	そのあとで、大学も好きなところに行かせるから、
	76 回答者	はい。
	77 相談者	ってことにしていたんです。
	78 回答者	はいはい。
	79 回答者	はい、あのう、そういった、ま、不潔に対する恐怖っていうんでしょうか、
	80 相談者	ええ。
	81 回答者	あのう、それは今のうちに、まあ、学校をお休みするようになってからも程度としては同じ程度で
	82 相談者	いえ。
	83 回答者	くりかえしますか。
	84 相談者	いえ、あの、家にいる間は、
	85 回答者	はい。
	86 相談者	多少、あのう、気分のいらいらが少なくなっちゃうんですけど
	87 回答者	ああ、はいはい。
	88 相談者	その対象がお友達ですのですね、
	89 回答者	ええ、ええ。
	90 相談者	ま、全部、学校中が全部汚れてるって感じ
	91 回答者	ああ、はい。
	92 相談者	なんです。
	93 回答者	あのう、お母さんとしても、やはり家においておくよりも、どこかで
	94 相談者	はい。
	95 回答者	治療したほうがいいのかというふう
	96 相談者	はい。
	97 回答者	に感じてらっしゃいますか。

話 段	小 話 段		
		98 相談者	はい。
		99 相談者	あの主人もそうなんですけど。
		100 回答者	ああ、はあ、はあ、はあ。
C 相談 う け の 話 段	C 1 回 答 提 供 の 小 話 段	101 回答者	あのう、非常に極端な結論を申し上げることになるかと思いますけれども、
		102 相談者	はい。
		103 回答者	あのう、お子さんにとって最大の治療者はお母さんやお父さんなんですね。
		104 相談者	そうですか。
		105 回答者	はい。
		106 回答者	あのう、まあ、他人にたいしての、こう、不潔というんでしょうか、
		107 相談者	はい。
		108 回答者	不安というのかな、
		109 回答者	そういうものを今訴えていらっしゃるようだけれども、
		110 相談者	ええ。
		111 回答者	そういうのは実は単なる現象にすぎないんですね。
		112 相談者	はあ。
		113 回答者	ですから、それはもう気のするようにやらせるしかないんです、
		114 回答者	その不潔恐怖症の現象そのものはですね。
		115 相談者	ああ、そうですか。
		116 回答者	ええ。
		117 相談者	はあ。
		118 回答者	で、結局、問題はお嬢さん自身が自分の値打ちが見つからないというところにあるんだと思うんですね。
		119 相談者	はあ。
		120 回答者	あのう、今まであなたがいないとさびしいという関係、つまりお嬢さんが自分の値打ちを認められているという関係がどれだけあったかということなんですね。
		121 相談者	はあ。
		122 回答者	まあ、今、お嬢さんがそれを警告しているんじゃないかなあっていう気がするんですけども。
		123 相談者	ああ。
		124 回答者	あのう、そういった意味でね、あのう、学校へ行くことがなによりだとか、
		125 相談者	はい。
		126 回答者	それからそのう、不潔はとりこし苦労なんだとか、
		127 回答者	強くお嬢さんにおっしゃるのは、かえってお嬢さんを追いつめてしまってるんじゃないかと。
		128 回答者	で、たとえば、お家の中のお仕事にしても、お母さんたいへんだから
		129 回答者	あなた手伝ってくれないかなっていうように、
		130 回答者	仲間に入れてあげるとかして、
		131 回答者	お父さんやお母さんが、もっと根本のところできつめてあげること、
		132 回答者	お父さんやお母さんの手元において、
		133 回答者	安心して暮らして行けることが、お嬢さんには大切なんだと思うんです。
		134 相談者	うん。
		135 回答者	とにかく不潔恐怖をとること、
		136 回答者	学校や病院に行かせることに専念しすぎないでね、
		137 相談者	はい。
		138 回答者	こう、お父さんやお母さんといっしょに何かやれるということがいいと思うんです
		139 相談者	ああ、そうですか。
		140 回答者	ええ。
		141 回答者	ですから、ま、そういう思春期の、あのう問題によくなれた病院に行かれて、
		142 回答者	あのう、しっかりとした指導を受けながらですね、
		143 相談者	はい。

話 段	小 話 段	
	144 回答者	あのう、入れてしまうということじゃなくって、
	145 回答者	日常生活のあるところで乗り越えられる道を探されるというのが一番、あのう、 いいんじゃないかというふうに思います。
	146 相談者	ああ、そうですね。
	147 回答者	はい。
D相談 終了	148 相談者	どうもありがとうございました。
	149 回答者	いいえ。

『日本語教育映像教材 中級編 関連教材 伝え合うことば』(1994) 国立国語研究所
seg.24②(タスク:診察を受ける)
相談者:黄 回答者:医師

話 段	小 話 段			
		A相談開始	60	医師 どうぞ、ここへ。
B 相 談 か け の 話 段	B-1相談 提示の 小話段		61	医師 どうしました。
			62	黄 あの、体がだるくて、
			63	黄 熱があるみたいなんです。
			64	医師 はあ。
			65	医師 体温計を見せてください。
			66	黄 はい。
			67	黄 ええと、37度なな、ええ、37てんなな度ですか。
			68	医師 あ、いいですよ。
			69	医師 なな度ななぶですね。
			70	黄 ななぶ。
			71	黄 そうですか。
	B-2相談 内容確 認の小 話段		72	医師 他に、痛いところはありませんか。
			73	医師 頭は痛くないですか。
			74	黄 いえ、頭は痛くありませんが、
			75	黄 背中がちょっと。
			76	医師 はあ、背中。
			77	医師 首や肩は凝っていませんか。
			78	黄 こって、と言いますと。
			79	医師 ええと、こう、固くなって、
			80	医師 ちょっと痛いような。
			81	黄 ああ、そうですね。
			82	黄 凝っています。
			83	医師 じゃ、ちょっと胸を出してください。
			84	医師 ………
C 相 談 う け の 話 段	C-1回答 提供の 小話段		85	医師 まあ、風邪ですね。
			86	医師 心配することはありませんけど、
			87	医師 明日いっぱい静かに寝ていてください。
			88	医師 お薬を出しますから、
			89	医師 一日に三回、毎食後、のんでください。
	C-2回答 確認の 小話段		90	黄 あのう、明日とあさって、バザーをやることになっていまして、
			91	黄 わたしたちは、ギョウザの店を出すことになっているんですが。
			92	医師 ギョウザの店。
			93	医師 ううん、本当は休んだほうがいいんですがねえ。
			94	医師 ま、あすの朝、熱がなければね、激しい仕事さえしなければ
			95	医師 大丈夫だと思いますけど。
			96	黄 はい、わかりました。
D相談 終了			97	黄 ありがとうございます。
			98	医師 お大事に。

早稲田大学 博士（日本語教育学） 学位申請 研究業績書

[学位論文・学術論文・著書・その他（学会発表等）の順に記入してください]

氏 名 鈴木 香子

(2007年6月20日現在)

学位論文

1. 対話資料における「話段」の考察 1994 日本女子大学文学研究科修士論文
2. 発話機能に基づく日本語の相談の談話の構造分析 2003 早稲田大学大学院日本語教育研究科修士論文

学術論文

1. 佐久間まゆみ, 鈴木香子 : 1993 女子学生の日常談話の接続表現. 国文目白, 32号, 31-48頁.
(『日本語学論説資料』30巻第1分冊(1993)論説資料保存会 pp.93-102に転載)
2. 鈴木香子 : 1995 内容区分調査による対話の「話段」設定の試み. 国文目白, 34号, 76-84頁.
3. 鈴木香子 : 2002 ラジオの医療相談の談話の構造分析. 早稲田大学日本語教育研究, 1号, 117-130頁. (『日本語学論説資料』39号第5分冊に転載)
4. 鈴木香子 : 2003 ラジオの心理相談の談話の構造分析. 早稲田大学日本語教育研究, 3号, 57-69頁.

その他

《学会発表》

1. 鈴木香子 : 1993 対話資料における「話段」の展開. 日本女子大学国語国文学会
2. 鈴木香子 : 2003 発話機能に基づく日本語の電話相談の構造分析. 早稲田大学日本語教育学会
3. 鈴木香子 : 2003 日本語の相談の談話の構造分析. Association of Teachers of Japanese Seminar
4. 鈴木香子 : 2003 相談の談話における「回答の話段」の展開. 早稲田大学日本語学会
5. 鈴木香子 : 2003 相談の談話における発話機能による話段の分析. 国語学会 2003年度秋季大会, 国語学会 2003年度秋季大会予稿集, 55-62頁.
6. 鈴木香子 : 2005 相談の談話における話段の表現特性. 第42回表現学会全国大会

《研究代表》

1. 2003年7月～2004年3月「日本語の相談の談話における構造と機能」早稲田大学特定課題研究助成費（一般助成）課題番号 2003A-979
2. 2004年7月～2005年3月「相談の談話における発話機能による構造分析」早稲田大学特定課題研究助成費（一般助成）課題番号 2004A-396

《研究分担》

1. 鈴木香子 : 2006 日本語文法6B ——機能文型による授業の方法と可能性——. 早稲田大学日本語研究教育センター2005年度重点研究 研究成果報告書「日本語機能文型」教材開発のための基礎的研究, 76-77頁.
2. 鈴木香子 : 2006 日本語文法8C ——日本語機能文型の学習の可能性——. 早稲田大学日本語研究教育センター2005年度重点研究 研究成果報告書「日本語機能文型」教材開発のための基礎的研究, 97-100頁.